

*YAMAGATA UNIVERSITY, GRADUATE SCHOOL OF MEDICAL SCIENCE
FACULTY OF MEDICINE*

2017年度

2017年1 - 3月(2016年度)を含む

研究業績集



山形大学 大学院医学系研究科
医 学 部

凡 例

記載事項に付する記号は、次のとおりとした。

1. 論 文

原 著

- * 当該講座等以外の，本学医学部内の共著者
- ** 本学医学部以外の共著者
- A 本学他学部との共同研究
- B 他大学・病院等との共同研究
- C 民間共同研究
- D 国際共同研究
- E 留学先・出向先で行った等，講座等以外の研究成果
- F 査読を受けていない

著 書

- * 当該講座等以外の，本学医学部内の共著者
- ** 本学医学部以外の共著者
- A 本学他学部との共同研究
- B 他大学・病院等との共同研究
- C 民間共同研究
- D 国際共同研究
- E 留学先・出向先で行った等，講座等以外の研究成果
- F その他，分担執筆，編集協力

2. 学会報告及び座長

国際学会

国内の学会

- * 当該講座等以外の，本学医学部内の発表者
- ** 本学医学部以外の共著者
- A 本学他学部との共同研究
- B 他大学・病院等との共同研究
- C 民間共同研究
- D 国際共同研究
- E 留学先・出向先で行った等，講座等以外の研究成果

目 次

医 学 科

基礎講座

解剖学第一（形態構造医学）講座	2017年1－3月（2016年度）	1
	2017年度	2
解剖学第二（組織細胞生物学）講座	2017年1－3月（2016年度）	3
	2017年度	4
生理学講座	2017年1－3月（2016年度）	6
	2017年度	7
薬理学講座	2017年1－3月（2016年度）	9
	2017年度	10
感染症学講座	2017年1－3月（2016年度）	11
	2017年度	12
腫瘍分子医科学講座	2017年度	14
免疫学講座	2017年1－3月（2016年度）	15
	2017年度	16
法医学講座	2017年1－3月（2016年度）	18
	2017年度	19
分子病態学講座	2017年1－3月（2016年度）	21
	2017年度	22
公衆衛生学・衛生学講座 [公衆衛生学講座]	2017年1－3月（2016年度）	25
	2017年度	26
医療政策学講座	2017年1－3月（2016年度）	31
	2017年度	32
生化学・分子生物学講座	2017年1－3月（2016年度）	35
	2017年度	36

臨床講座

内科学第一講座（循環器内科学分野・呼吸器内科学分野・腎臓内科学分野）		
	2017年1－3月（2016年度）	39
	2017年度	45
内科学第二講座 消化器内科学分野 [内科学第二（消化器内科学）講座]		
	2017年1－3月（2016年度）	67
	2017年度	74
内科学第二講座 臨床腫瘍学分野 [臨床腫瘍学講座]	2017年1－3月（2016年度）	88
	2017年度	89
内科学第三講座 神経学分野 [内科学第三（神経・内分泌代謝学）講座／高次脳機能障害学講座]		
	2017年1－3月（2016年度） [内科学第三（神経学）講座]	93
	2017年1－3月（2016年度） [高次脳機能障害学講座]	95
	2017年度	96
内科学第三講座 糖尿病・内分泌代謝学分野 [内科学第三（神経・内分泌代謝学）講座]		
	2017年1－3月（2016年度）	101
	2017年度	102
内科学第三講座 血液・細胞治療内科学分野 [血液・細胞治療内科学講座]		
	2017年1－3月（2016年度）	105
	2017年度	107

精神医学講座	2017年1－3月(2016年度)	112
	2017年度	113
小児科学講座	2017年1－3月(2016年度)	116
	2017年度	117
外科学第一講座(消化器外科学分野・乳腺甲状腺外科学分野・一般外科学分野)		
	2017年1－3月(2016年度)	121
	2017年度	124
外科学第二講座(心臓血管外科学分野・呼吸器外科学分野・小児外科学分野)		
	2017年1－3月(2016年度)	131
	2017年度	133
脳神経外科学講座	2017年1－3月(2016年度)	145
	2017年度	148
整形外科学講座	2017年1－3月(2016年度)	156
	2017年度	160
皮膚科学講座	2017年1－3月(2016年度)	175
	2017年度	176
腎泌尿器外科学講座	2017年1－3月(2016年度)	183
	2017年度	186
眼科学講座	2017年1－3月(2016年度)	196
	2017年度	197
耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座	2017年1－3月(2016年度)	203
	2017年度	205
放射線医学講座	放射線診断学分野 [画像医学講座]	2017年1－3月(2016年度)
		2017年度
放射線医学講座	放射線腫瘍学分野 [放射線腫瘍学講座]	2017年1－3月(2016年度)
		2017年度
産科婦人科学講座	2017年1－3月(2016年度)	223
	2017年度	224
麻酔科学講座	2017年1－3月(2016年度)	230
	2017年度	232
歯科口腔・形成外科学講座	2017年1－3月(2016年度)	236
	2017年度	237
救急医学講座	2017年1－3月(2016年度)	240
	2017年度	241
病理診断学講座	2017年1－3月(2016年度)	244
	2017年度	245
東北未来がん医療学講座	2017年1－3月(2016年度)	219
	2017年度	220

看護学科

基礎看護学講座	2017年1－3月(2016年度)	247
	2017年度	248
臨床看護学講座	2017年1－3月(2016年度)	252
	2017年度	254
地域看護学講座	2017年1－3月(2016年度)	258
	2017年度	260

医学系研究科

先進的医科学専攻

創薬・システム医科学コース

生命情報工学講座	2017年1－3月 (2016年度)	265
	2017年度	266

医学部附属施設

メディカルサイエンス推進研究所

遺伝子実験センター	2017年1－3月 (2016年度)	268
	2017年度	269
動物実験センター	2017年度	271
生化学解析センター	2017年1－3月 (2016年度)	272
	2017年度	273
総合医学教育センター	2017年1－3月 (2016年度)	275
	2017年度	276

医学部附属病院

中央診療施設

検査部	2017年1－3 (2016年度)	279
	2017年度	281
放射線部	2017年1－3月 (2016年度)	287
	2017年度	288

特殊診療施設

輸血・細胞治療部	2017年1－3月 (2016年度)	292
	2017年度	293
リハビリテーション部	2017年1－3月 (2016年度)	294
	2017年度	298
病理部	2017年1－3月 (2016年度)	312
	2017年度	313
MEセンター (臨床工学部)	2017年1－3月 (2016年度)	316
	2017年度	317
薬剤部	2017年1－3月 (2016年度)	320
	2017年度	322

編集後記	325
山形大学医学部研究業績集編集委員会	326

[] 内は旧講座名

平成29年 (2017年) 4月に先進的医科学専攻が設置され、新組織体制へ移行した。

今号より年度毎に研究業績をまとめることとし、2017年1－3月 (2016年度) の研究業績は、新組織体制移行先の講座の研究業績に含めた。

なお、旧講座である内科学第三 (神経・内分泌代謝学) 講座の2017年1－3月 (2016年度) 研究業績は、移行先である内科学第三講座 神経学分野、糖尿病・内分泌代謝学分野それぞれに分けてまとめた。

基礎講座

解剖学第一（形態構造医学）講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Shinozaki K**, Nito M, Kobayashi S**, Hayashi M**, Miyasaka T**, Hashizume W, Shindo M**, Naito A: Monosynaptic facilitation of group I afferents between brachioradialis and extensor carpi radialis in humans. *Neurosci Res.* 2017; 114: 30-34 B

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i 一般演題

- 1) 小林裕人, 吉田沙織, 鈴木克彦**, 清重佳郎**, 白澤信行**, 内藤輝: 胃のエストロゲンとアルコールデヒドロゲナーゼの関連性の検討. 第122回日本解剖学会総会・全国学術集会, 長崎; 2017年3月 B
- 2) Nito M, Hashizume W, Jimenji M, Miyasaka T**, Shindo M**, Naito A: Inhibition of group Ia afferents from flexor digitorum superficialis to flexor carpi radialis motoneuron pool in humans. 第122回日本解剖学会総会・全国学術大会, 長崎; 2017年3月 B

解剖学第一（形態構造医学）講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Sato T**, Nito M, Suzuki K**, Fujii H**, Hashizume W, Miyasaka T**, Shindo M**, Naito A: Oligosynaptic inhibition of group Ia afferents from brachioradialis to triceps brachii motor neurons in humans. Muscle Nerve. 2018; 57: 122-128 B
- 2) Nito M, Hashizume W, Suzuki K**, Sato T**, Fujii H**, Miyasaka T**, Shindo M**, Naito A: Inhibition of group Ia afferents between brachioradialis and flexor carpi radialis in humans: a study using an electromyogram-averaging method. J Clin Neurophysiol. 2018; 35: 138-143 B

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i 一般演題

- 1) Nito M, Hashizume W, Jimenji M, Miyasaka T**, Shindo M**, Naito A: Oligosynaptic inhibition of group Ia afferents from the flexor digitorum superficialis to the flexor carpi ulnaris motoneurons in humans. 第40回日本神経科学大会, 千葉; 2017年7月 B
- 2) Nito M, Hashizume W, Jimenji M, Yoshimoto T, Miyasaka T**, Shindo M**, Naito A: Effects of tonic vibration stimuli on monosynaptic Ia facilitation in human upper limb. 第123回日本解剖学会総会・全国学術大会, 武蔵野; 2018年3月 B
- 3) Yoshimoto M, Nito M, Hashizume W, Jimenji M, Miyasaka T**, Shindo M**, Naito A: Spinal reflex arc from the anterior part of the deltoid muscle to biceps brachii motoneurons in humans. 第123回日本解剖学会総会・全国学術大会, 武蔵野; 2018年3月 B
- 4) 高野優太**, 小林裕人, 由利拓真**, 吉田沙織, 内藤輝, 清重佳郎**: 高齢者における小臀筋脂肪浸潤の成因の検討. 第123回日本解剖学会総会・全国学術大会, 武蔵野; 2018年3月 B

(2) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 吉元拓也, 佐藤史人**, 仁藤充洋, 治面地学, 橋爪和足, 宮坂卓治**, 内藤輝: 肩の8方向の等尺性収縮における三角筋と大胸筋の活動について～筋電図を用いた解析～. 日本解剖学会第63回東北・北海道連合支部学術集会, 弘前; 2017年9月 B

(3) 研究会

i 一般演題

- 1) 吉元拓也, 佐藤史人**, 仁藤充洋, 治面地学, 橋爪和足, 宮坂卓治**, 内藤輝: 肩の力計測装置と筋電図を用いた三角筋と大胸筋の等尺性収縮の解析. 第34回山形電気生理研究会, 山形; 2017年11月

(4) 座長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 内藤輝: 海馬シナプス可塑性の刺激パターン依存性. 第34回山形電気生理研究会, 山形; 2017年11月

ii 一般演題

- 1) 仁藤充洋: 筋硬度は滑走距離ではなく関節角度と直線関係にある. 第34回山形電気生理研究会, 山形; 2017年11月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第34回山形電気生理研究会, 山形; 2017年11月

解剖学第二（組織細胞生物学）講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Iwazaki K*, Tanaka T, Hozumi Y**, Okada M*, Tsuchiya R*, Iseki K**, Topham MK**, Kawamae K*, Takagi M*, Goto K: DGK ζ Downregulation Enhances Osteoclast Differentiation and Bone Resorption Activity Under Inflammatory Conditions. J Cell Physiol. 2017; 232: 617-624 B, D
- 2) Tanaka T, Goto K, Iino M*: Sec8 modulates TGF- β induced EMT by controlling N-cadherin via regulation of Smad3/4. Cell Signal. 2017; 29: 115-126
- 3) Shimomura T**, Nakano T, Goto K, Wakabayashi I**: R59949, a diacylglycerol kinase inhibitor, inhibits inducible nitric oxide production through decreasing transplasmalemmal L-arginine uptake in vascular smooth muscle cells. Naunyn Schmiedebergs Arch Pharmacol. 2017; 390: 207-214 B
- 4) Suzuki A*, Matsumoto Y*, Shirata T*, Goto K, Enokido M*, Otani K*: C3435T polymorphism of the MDR1 gene is not associated with blood levels of hypothalamus-pituitary-adrenal axis hormones in healthy male subjects. Genet Mol Res. 2017; 16: doi:10.4238/gmr16019447

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Goto K: Regulation of p53 and NF κ B by DGKzeta. 7th DGK meeting, Kobe, Japan; March 2017

(2) 国内の学会

i 一般演題

- 1) 中野知之, 後藤薫: DGK ϵ 欠損による白色脂肪組織の褐色化メカニズムの解析. 第122回日本解剖学会総会, 長崎; 2017年3月
- 2) 田中俊昭, 後藤薫: DGK ζ 結合蛋白 NAP1L1 による NF- κ B 転写調節を介したアポトーシス制御. 第122回日本解剖学会総会, 長崎; 2017年3月
- 3) 八月朔日泰和, 後藤薫: ラット糖尿病モデルの膵臓ランゲルハンス島における DGK ζ の局在変化. 第122回日本解剖学会総会, 長崎; 2017年3月
- 4) 清野慶子, 中野知之, 伊関憲**, 後藤薫: 肝星細胞活性化における α 型ジアシルグリセロールキナーゼの機能的役割の解析. 第122回日本解剖学会総会, 長崎; 2017年3月 B

解剖学第二（組織細胞生物学）講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Tanaka T, Iseki K^{**}, Tanaka K, Nakano T, Iino M^{*}, Goto K: DGK ζ ablation engenders upregulation of p53 level in the spleen upon whole-body ionizing radiation. *Advances in Biological Regulation*. 2018; 67: 93-100 B
- 2) Kosawada T^{**}, Ohnishi K^{**}, Satoh H^{**}, Feng Z^{**}, Goto K: Novel methods to apply micro dynamic stimulations on cultured adhesive cells and its application in constructing gel-embedded three-dimensional neuronal structures differentiated from human iPS cells. *Microsyst Technol*. 2018; 24: 625-638 A
- 3) Nakano T, Ogasawara S^{**}, Tanaka T, Hozumi Y^{**}, Mizuno S^{**}, Satoh E^{**}, Sakane F^{**}, Okada N^{**}, Taketomi A^{**}, Honma R^{**}, Nakamura T^{**}, Saidoh N^{**}, Yanaka M^{**}, Itai S^{**}, Handa S^{**}, Chang YW^{**}, Yamada S^{**}, Kaneko MK^{**}, Kato Y^{**}, Goto K: DaMab-2: Anti-Human DGK α Monoclonal Antibody for Immunocytochemistry. *Monoclon Antib Immunodiagn Immunother*. 2017; 36: 181-184 B
- 4) Tanaka T, Hozumi Y^{**}, Iino M^{*}, Goto K: NAP1L1 regulates NF- κ B signaling pathway acting on anti-apoptotic Mcl-1 gene expression. *Biochim Biophys Acta Molecular Cell Research*. 2017; 1864: 1759-1768 B
- 5) Hozumi Y^{**}, Fujiwara H^{*}, Kaneko K^{*}, Fujii S^{*}, Topham MK^{**}, Watanabe M^{**}, Goto K: Diacylglycerol kinase ϵ localizes to subsurface cisterns of cerebellar Purkinje cells. *Cell Tissue Res*. 2017; 368: 441-458 B, D
- 6) Tanaka T, Goto K, Iino M^{*}: Diverse Functions and Signal Transduction of the Exocyst Complex in Tumor Cells. *J Cell Physiol*. 2017; 232: 939-957

(2) 総説及び解説

- 1) Nakano T, Goto K: Diacylglycerol Kinase. Choi S (ed.), *Encyclopedia of Signaling Molecules 2nd ed*. Springer, Cham, doi.org/10.1007/978-3-319-67199-4_101585

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Goto K, Nakano T: DGK ϵ and obesity. Fifty-Eighth International Symposium on “Biological Regulation and Enzyme Activity in Normal and Neoplastic Tissues”, Bologna, Italy; October 2017

ii 一般演題

- 1) Nakano T, Goto K: DGK ϵ deficiency impairs lipolytic activity and causes insulin insensitivity in adipocytes under high-fat diet conditions. Keystone symposia, Keystone, Colorado, USA; January 2018

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 中野知之, 後藤薫: ジアシルグリセロール代謝不全に起因する脂肪蓄積とインスリンシグナル異常. 第123回日本解剖学会総会シンポジウム, 東京; 2018年3月

ii 一般演題

- 1) 田中俊昭, 後藤薫: DGKzeta 結合蛋白 NAP1-like proteins による p53 アセチル化制御を介した細胞周期およびアポトーシス制御機構の解析. 第123回日本解剖学会総会, 東京; 2018年3月
- 2) 東海林悠, 田中俊昭, 欠畑誠治*, 後藤薫: グルコース欠乏負荷条件下における ζ 型ジアシルグリセロールキナーゼの機能解析. 第123回日本解剖学会総会, 東京; 2018年3月
- 3) 八月朔日泰和*, 後藤薫: 下垂体中間葉細胞におけるベータ型ジアシルグリセロールキナーゼの情報伝達

系. 第 123 回日本解剖学会総会, 東京; 2018 年 3 月 B

(3) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 中野知之, 後藤薫: DGK ϵ 欠損は白色脂肪細胞における脂質代謝異常を惹起する. 第 63 日本解剖学会・東北北海道地方会, 弘前; 2017 年 9 月
- 2) 田中俊昭, 後藤薫: DGK ζ 結合蛋白 NAP1-like proteins を介する p53 アセチル化制御による細胞周期および細胞死の制御機構の解析. 第 63 日本解剖学会・東北北海道地方会, 弘前; 2017 年 9 月

(4) その他

- 1) 後藤薫: 脂質代謝と生体ストレス応答制御. 金沢大学研究セミナー, 金沢; 2017 年 5 月
- 2) 後藤薫: ヒトの進化論～狂気と創造性の狭間で. 金沢大学特別講義, 金沢; 2017 年 5 月
- 3) 後藤薫: 生体ストレス応答におけるジアシルグリセロールキナーゼ (DGK) と p53 制御メカニズム. 秋田大学研究セミナー, 秋田; 2017 年 10 月
- 4) 後藤薫: ヒトの進化論～狂気と創造性の狭間で. 秋田大学特別講義, 金沢; 2017 年 10 月

生理学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Yamazaki Y, Sumikawa K**: Nicotine-induced neuroplasticity counteracts the effect of schizophrenia-linked neuregulin 1 signaling on NMDAR function in the rat hippocampus. *Neuropharmacology*. 2017; 113: 386-395

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 山崎良彦, 田中謙二*: オリゴデンドロサイト脱分極による軸索伝導修飾の軸索の長さ方向における部位的差異. 新学術領域「グリアアセンブリによる脳機能発現の制御と病態」第4回班会議, 博多; 2017年1月 B
- 2) 山崎良彦: オリゴデンドロサイトの膜電位変化による有髄線維の軸索伝導と出力先シナプス伝達に対する修飾効果. 第94回日本生理学会大会, 浜松; 2017年3月

生理学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Hozumi Y^{**}, Fujiwara H, Kaneko K, Fujii S, Topham MK^{**}, Watanabe M^{**}, Goto K^{*}: Diacylglycerol kinase ϵ localizes to subsurface cisterns of cerebellar Purkinje cells. Cell and Tissue Research. 2017; 368(3): 441-458
- 2) Starkus JG^{**}, Poerzgen P^{**}, Layugan K^{**}, Kawabata KG^{**}, Goto JI, Suzuki S^{**}, Myers G^{**}, Kelly M^{**}, Penner R^{**}, Fleig A^{**}, Horgen FD^{**}: Scalaradial Is a Potent Inhibitor of Transient Receptor Potential Melastatin 2 (TRPM2) Ion Channels. Journal of Natural Products. 2017; 80(10): 2741-2750 E
- 3) Yamazaki Y, Hozumi Y^{**}, Kaneko K, Fujii S: Modulatory Effects of Perineuronal Oligodendrocytes on Neuronal Activity in the Rat Hippocampus. Neurochemical Research. 2018; 43(1): 18-31

(2) 総説及び解説

- 1) 藤井聡: 職場ストレスへの生理的反応. 産業医学ジャーナル. 2017; 40(4): 88-91

(3) 著書

- 1) 藤井聡: 第111回医師国家試験問題解説書. 東京; 株式会社テコム出版事業部, 2017

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Yoshihiko Yamazaki: Portion-and cell-type specific modulation of synaptic transmission at destination synapses induced by oligodendrocyte depolarization. 新学術領域「グリアアセンブリによる脳機能発現の制御と病態」第5回班会議・国際シンポジウム, 東京; 2018年1月

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 山崎良彦: physiological significance of facilitation of axonal conduction induced by oligodendrocyte depolarization. 新学術領域「グリアアセンブリによる脳機能発現の制御と病態」第4回夏のワークショップ, 新潟; 2017年6月

(3) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 藤井聡, 山崎良彦, 後藤純一, 藤原浩樹: 海馬シナプス可塑性の刺激パターン依存性. 第49回東北生理談話会, 秋田; 2017年10月

(4) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 藤井聡, 山崎良彦, 後藤純一, 藤原浩樹: 海馬シナプス可塑性の刺激パターンの依存性. 第34回山形電気生理研究会, 山形; 2017年11月

ii 一般演題

- 1) 後藤純一, 山形要人^{**}, 島田忠之^{**}, 藤原浩樹, 山崎良彦, 藤井聡: 結節硬化症原因遺伝子欠損マウスにおけるシナプス可塑性異常の改善に向けたアプローチ. 第34回山形電気生理研究会, 山形; 2017年11月 B
- 2) 多田裕治, 松本翔平, 水野綱紀, 武内健太郎, 田崎太一, 藤原浩樹, 後藤薫^{*}, 藤井聡: DGK- ϵ ノックアウトマウスを用いた行動解析. 山形大学医学部実験動物セミナー・第28回研究成果発表会, 山形; 2017年12月

(5) 座 長

i 一般演題

- 1) 山崎良彦：一般演題 4. 第 34 回山形電気生理研究会, 山形; 2017 年 11 月
- 2) 藤原浩樹：一般演題 5. 第 34 回山形電気生理研究会, 山形; 2017 年 11 月

薬理学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Okuda-Tanino A**, Sugawara D**, Tashiro T**, Iwashita M**, Obara Y, Moriya T**, Tsushima C**, Saigusa D**, Tomioka Y**, Ishii K, Nakahata N**: Licochalcones extracted from Glycyrrhiza inflata inhibit platelet aggregation accompanied by inhibition of COX-1 activity. PLoS ONE. 2017; 12(3): e0173628

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i 一般演題

- 1) 樫野友利奈*, 小原祐太郎, 石井邦明: 各種イオンチャネルの発現における ERK5 の役割の解明. 第90回日本薬理学会年会, 長崎; 2017年3月
- 2) 野呂田郁夫, 石井邦明: KCNQ1 の膜発現に対するアミオダロンの垂急性作用. 第90回日本薬理学会年会, 長崎; 2017年3月
- 3) 岡本洋介, 神部良太*, 永澤悦伸, 小原祐太郎, 石井邦明: ヒト心臓K⁺チャネル、Kv1.5 と Kir2.1 に対する高濃度グルコースの異なる影響. 第94回日本生理学会大会, 浜松; 2017年3月

(2) 研究会

i 一般演題

- 1) 小原祐太郎, 今井 亨*, 佐藤秀則*, 武田裕司*, 加藤丈夫*, 石井邦明: Midnolin による Parkin の発現制御機構とパーキンソン病との関連性について. 第8回 GPCM, 仙台; 2017年3月

(3) その他

- 1) 石井邦明: K⁺チャネルの生理学. 大分大学特別講義, 大分; 2017年2月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第29回蔵王カンファレンス, 山形; 2017年1月

薬理学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Obara Y, Ishii K: Transcriptome analysis reveals that midnolin regulates mRNA expression levels of multiple Parkinson's disease causative genes. Biol Pharm Bull. 2018; 41: 20-23
- 2) Wu M, Obara Y, Ohshima S, Nagasawa Y, Ishii K: Insulin treatment augments KCNQ1/KCNE1 currents but not KCNQ1 currents, which is associated with an increase in KCNE1 expression. Biochem Biophys Res Commun. 2017; 493: 409-415
- 3) Obara Y, Imai T*, Sato H*, Takeda Y*, Kato T*, Ishii K: Midnolin is a novel regulator of parkin expression and is associated with Parkinson's Disease. Sci Rep. 2017; 7: 5885

2. 学会報告及び座長

(1) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 小原祐太郎, 今井 亨*, 佐藤秀則*, 武田裕司*, 加藤丈夫*, 石井邦明: Midnolin とパーキンソン病の関連性の解明. 第68回日本薬理学会北部会, 山形; 2017年9月
- 2) 菅野秀典*, 内藤 整*, 伊藤裕美*, 一柳 統*, 小原祐太郎, 成澤貴史*, 加藤智幸*, 長岡 明*, 石井邦明, 土谷順彦*: ERK5 は腎細胞癌に対する薬物治療のターゲットになりうる. 第68回日本薬理学会北部会, 山形; 2017年9月

(2) 研究会

i 一般演題

- 1) 小原祐太郎, 今井 亨*, 佐藤秀則*, 武田裕司*, 加藤丈夫*, 石井邦明: Midnolin とパーキンソン病の関連性の解明. 第9回 GPCM, 神戸; 2018年3月

(3) その他

- 1) 石井邦明: K⁺チャンネルの生理学. 大分大学特別講義, 大分; 2017年5月
- 2) 石井邦明: イオンチャンネル薬理学・抗不整脈薬. 富山大学特別講義, 富山; 2017年11月
- 3) 小原祐太郎, 石井邦明: プレスリリース「新しいパーキンソン病の関連遺伝子を発見」. 山形; 2017年11月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第68回日本薬理学会北部会, 山形; 2017年9月
- 2) 第30回蔵王カンファレンス, 山形; 2018年1月

感染症学講座

1. 論 文

(1) 著 書

- 1) 松寄葉子：アデノウイルス感染症. 矢崎義雄総編, 内科学 第11版. 東京; 朝倉書店, 2017: 315-316

感染症学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Goto T, Shimotai Y, Matsuzaki Y, Muraki Y^{**}, Sho R^{*}, Sugawara K, Hongo S: Effect of Phosphorylation of CM2 Protein on Influenza C Virus Replication. *J Virol.* 2017; 91(22): e00773-17 B
- 2) Suzuki Y, Seto J^{**}, Shimotai Y, Itagaki T^{**}, Katsushima Y^{**}, Katsushima F^{**}, Ikeda T^{**}, Mizuta K^{**}, Hongo S, Matsuzaki Y: Multiple-Locus Variable-Number Tandem-Repeat Analysis of *Mycoplasma pneumoniae* Isolates between 2004 and 2014 in Yamagata, Japan: Change in Molecular Characteristics during an 11-year Period. *Jpn J Infect Dis.* 2017; 70(6): 642-646 B
- 3) Suzuki Y, Shimotai Y, Itagaki T^{**}, Seto J^{**}, Ikeda T^{**}, Yahagi K^{**}, Mizuta K^{**}, Hongo S, Matsuzaki Y: Development of macrolide resistance-associated mutations after macrolide treatment in children infected with *Mycoplasma pneumoniae*. *J Med Microbiol.* 2017; 66(11): 1531-1538 B
- 4) Itagaki T^{**}, Aoki Y^{**}, Matoba Y^{**}, Tanaka S^{**}, Ikeda T^{**}, Matsuzaki Y, Mizuta K^{**}: Detection of Saffold viruses from children with acute respiratory infections in Yamagata, Japan, between 2008 and 2015. *J Med Virol.* 2018; 90(1): 34-40 B
- 5) 板垣勉^{**}, 的場洋平^{**}, 水田克巳^{**}, 松寄葉子: 2015年山形市近郊で流行したコロナウイルス OC43 感染症. *日本小児科医会会報.* 2017; 53: 131-134 B
- 6) 勝島由利子^{**}, 勝島史夫^{**}, 水田克巳^{**}, 松寄葉子: パラインフルエンザウイルスが分離された発疹症の4例. *小児科診療.* 2018; 81(1): 125-128 B

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i 一般演題

- 1) 邵力^{*}, 張旭紅^{*}, 大谷勝実^{**}, 武田弘明^{**}, 福井忠久^{*}, 上野義之^{*}, 本郷誠治: ヘリコバクター・ピロリ sabA 遺伝子の多様性と SabA タンパク質発現と胃十二指腸疾患との関連. 第90回日本生化学会大会合同大会, 神戸; 2017年12月 B
- 2) Shimotai Y, Goto T, Matsuzaki Y, Muraki Y^{**}, Sugawara K, Hongo S: Identification of amino acid residue(s) involved in nuclear export of influenza C virus NS1 protein. 第65回日本ウイルス学会学術集会, 大阪; 2017年10月 B
- 3) Sato K^{**}, Hayashi H^{**}, Shimotai Y, Matsuzaki Y, Yamaya M^{**}, Hongo S, Kawakami K^{**}, Nishimura H^{**}: Analysis of host serine proteases involved in cleavage of HE protein of the influenza C virus. 第65回日本ウイルス学会学術集会, 大阪; 2017年10月 B
- 4) 板垣勉^{**}, 田中静佳^{**}, 池田辰也^{**}, 水田克巳^{**}, 松寄葉子: ヒトパレコウイルス3型感染症について. 第27回日本外来小児科学会, 津; 2017年9月 B
- 5) 下平義隆, 後藤崇成, 松寄葉子, 村木靖^{**}, 菅原勘悦, 本郷誠治: C型インフルエンザウイルス NS1 タンパク質の核外移行シグナルの解析. 第31回インフルエンザ研究者交流会の会, 静岡; 2017年6月 B
- 6) 松寄葉子, 下平義隆, 本郷誠治, 水田克巳^{**}, 西村秀一^{**}: 2015-16シーズンのC型インフルエンザの流行. 第31回インフルエンザ研究者交流会の会, 静岡; 2017年6月 B
- 7) 佐藤光^{**}, 林日出喜^{**}, 下平義隆, 山谷睦雄^{**}, 本郷誠治, 川上和義^{**}, 西村秀一^{**}: C型インフルエンザウイルス HE タンパクの開裂に関わる宿主プロテアーゼの解析. 第31回インフルエンザ研究者交流会の会, 静岡; 2017年6月 B
- 8) 的場洋平^{**}, 水田克巳^{**}, 松寄葉子: 2014-2015年における山形県のヒトコロナウイルスの流行. 第58回日本臨床ウイルス学会, 長崎; 2017年5月 B

(2) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 鈴木裕, 松寄葉子: 山形県における 2014 年から 2016 年に分離した肺炎マイコプラズマの疫学的動向. 第 38 回山形県医学検査学会, 長井; 2017 年 10 月 B
- 2) 下平義隆, 後藤崇成, 松寄葉子, 村木靖**, 菅原勘悦, 本郷誠治: C 型インフルエンザウイルス NS1 の核外移行に関与するアミノ酸の解析. 第 71 回日本細菌学会東北支部会, 仙台; 2017 年 8 月 B
- 3) 高橋雅輝**, 小原崇裕**, 松寄葉子, 佐々木裕**, 吉野直人**, 梶田弘子**, 小野泰司**, 村木 靖**: 岩手県で検出された C 型インフルエンザウイルスの性状解析. 第 71 回日本細菌学会東北支部会, 仙台; 2017 年 8 月 B
- 4) 佐藤光**, 林日出喜**, 下平義隆, 松寄葉子, 山谷睦雄**, 本郷誠治, 川上和義**, 西村秀一**: C 型インフルエンザウイルス HE タンパクの開裂に関わる宿主プロテアーゼの解析. 第 71 回日本細菌学会東北支部会, 仙台; 2017 年 8 月 B

(3) 座 長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 本郷誠治: 特別講演「D 型インフルエンザウイルス」. 第 31 回インフルエンザ研究者交流の会, 静岡; 2017 年 6 月

ii 一般演題

- 1) 本郷誠治: ウイルス 2. 第 71 回日本細菌学会東北支部会, 仙台; 2017 年 8 月

腫瘍分子医科学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Okada M, Takeda H, Sakaki H, Kuramoto K, Suzuki S, Sanomachi T, Togashi K, Seino S, Kitanaka C: Repositioning CEP-1347, a chemical agent originally developed for the treatment of Parkinson's disease, as an anti-cancer stem cell drug. *Oncotarget*. 2017; 8(55): 94872-94882
- 2) Takeda H, Okada M, Kuramoto K, Suzuki S, Sakaki H, Sanomachi T, Seino S, Yoshioka T*, Hirano H**, Arita K**, Kitanaka C: Antitumor activity of gemcitabine against high-grade meningioma in vitro and in vivo. *Oncotarget*. 2017; 8(53): 90996-91008
- 3) Sanomachi T, Suzuki S, Kuramoto K, Takeda H, Sakaki H, Togashi K, Seino S, Yoshioka T*, Okada M, Kitanaka C: Olanzapine, an Atypical Antipsychotic, Inhibits Survivin Expression and Sensitizes Cancer Cells to Chemotherapeutic Agents. *Anticancer Res*. 2017; 37(11): 6177-6188
- 4) Kuramoto K, Suzuki S, Sakaki H, Takeda H, Sanomachi T, Seino S, Narita Y**, Kayama T*, Kitanaka C, Okada M: Licochalcone A specifically induces cell death in glioma stem cells via mitochondrial dysfunction. *FEBS Open Bio*. 2017; 7(6): 835-844
- 5) Iwazaki K*, Tanaka T*, Hozumi Y*, Okada M, Tsuchiya R*, Iseki K*, Topham MK**, Kawamae K*, Takagi M*, Goto K*: DKG ζ Downregulation Enhances Osteoclast Differentiation and Bone Resorption Activity Under Inflammatory Conditions. *J Cell Physiol*. 2017; 232(3): 617-624

(2) 総説及び解説

- 1) 鈴木修平, 吉岡孝志, 岡田雅史: JNKシグナル経路を標的としたがん幹細胞の治療戦略. 月刊細胞(細胞 The Cell). 2017; 49(3): 32-34

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 北中千史: グリオーマ幹細胞. 第37回コンgres総会, 横浜; 2017年5月11日
- 2) 北中千史: 悪性グリオーマの新規治療戦略. 第76回日本癌学会学術総会, 横浜; 2017年9月30日

ii 一般演題

- 1) 岡田雅司, 鈴木修平, 清野学, 武田弘幸, 北中千史: 新規JNK阻害薬であるAS602801はがん幹細胞を抑制する. 第76回日本癌学会学術総会, 横浜; 2017年9月28日
- 2) 岡田雅司, 鈴木修平, 倉元謙太, 武田弘幸, 北中千史: がん幹細胞におけるJNK経路の機能解析. 2017年度生命科学系学会合同年次大会, 神戸; 2017年12月6日

(2) その他

- 1) 北中千史: がんを「治る病気」にするための山形大学医学部の取り組み. 山形大学医学部発の未来医療発展会議 in 鶴岡, 鶴岡; 2017年11月23日
- 2) 北中千史: 「がん」はどうやってできるのか?. 山形大学医学部附属病院がん看護研修会, 山形(山形大学医学部CBT室); 2017年12月1日
- 3) 岡田雅司, 武田弘幸, 榊宏倫, 鈴木修平, 北中千史: パーキンソン病薬として開発されたCEP-1347はがん幹細胞標的治療薬として働く. 山形大学動物実験セミナー・第28回研究成果発表会, 山形(山形大学医学部交流会館 会議室); 2017年12月21日

免疫学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Takeda Y, Shimomura T^{**}, Asao H, Wakabayashi I^{**}: Relationship between Immunological Abnormalities in Rat Models of Diabetes Mellitus and the Amplification Circuits for Diabetes. J Diabetes Res. 2017; 2017: 4275851. DOI: 10.1155/2017/4275851 B

免疫学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Nishise S*, Takeda Y, Abe Y*, Sasaki Y*, Nara H, Asao H, Ueno Y*: Effect of Temperature on Granulocyte and Monocyte Adsorption to Cellulose Acetate Beads. *Ther Apher Dial.* 2017; 21: 248-254
- 2) Takeda Y, Nara H, Asao H: Analysis of signal transducers using flow cytometry is useful for detection of contractive and fluctuating signal. *Yamagata Med J.* 2017; 35: 21-32
- 3) Jin L, Nara H, Rahman M, Takeda Y, Araki A, Asao H: Protein Tyrosine Phosphatase SHP-2 Is Involved in the Interleukin-21-Induced Activation of Extracellular Signal-Regulated Kinase 1/2. *Tohoku J Exp Med.* 2018; 244: 187-193

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 一般演題

- 1) Yuji Takeda, Tomoyuki Kato*, Nobuhito Nemoto, Akemi Araki, Md. Yeashin Gazi, Hidetoshi Nara, Hironobu Asao: IL-21 augments systemic anaphylaxis through the duodenum-migrated neutrophils that express eotaxin receptor. The 5th Annual Meeting of the International Cytokine and Interferon Society, Kanazawa; 2017, October
- 2) Nobuhito Nemoto, Yuji Takeda, Hidetoshi Nara, Akemi Araki, Md. Yeashin Gazi, Yuuya Takakubo*, Michiaki Takagi*, Hironobu Asao: Changes of intestinal immunity during arthritic progression in mouse model. Orthopaedic Research Society 2018 Annual Meeting, New Orleans; 2018, March

(2) 国内学会

i 一般演題

- 1) Yuji Takeda, Hidetoshi Nara, Akemi Araki, Hironobu Asao: Analysis of cytokine signals using flow cytometry is useful for detection of contractive and fluctuating signals. 第46回日本免疫学会, 仙台; 2017年12月
- 2) Nobuhito Nemoto, Yuji Takeda, Hidetoshi Nara, Akemi Araki, MD. Yeashin Gazi, Michiaki Takagi*, Hironobu Asao: Integrated analysis of intestinal immunity at initial onset and relapse stages in arthritis mouse model. 第46回日本免疫学会, 仙台; 2017年12月
- 3) Hidetoshi Nara, Yuji Takeda, MD. Yeashin Gazi, Nobuhito Nemoto, Akemi Araki, Hironobu Asao: Interleukin 21 arrests bone marrow derived dendritic cells PD-L1 high immunosuppressive state. 第46回日本免疫学会, 仙台; 2017年12月
- 4) Tomoyuki Kato*, Yuji Takeda, Hitomi Ito*, Yuta Kurota, Mayu Yagi*, Toshihiko Sakurai*, Sei Naito*, Hisashi Kawazoe*, Osamu Ichianagi*, Norihiko Tsuchiya*, Hironobu Asao: GPI-80, a useful marker of MDSC in mRCC patients, is a reference for the search for new MDSC markers. 第76回日本癌学会, 横浜; 2017年9月
- 5) 加藤智幸*, 武田裕司, 伊藤裕美*, 黒田悠太, 奈良英利, 櫻井俊彦*, 西田隼人*, 内藤整*, 川添久*, 荒木明美, 一柳統*, 浅尾裕信, 土谷順彦*: 転移性腎細胞癌患者における末梢血中 GPI-80 発現は予後因子となる。第55回日本癌治療学会学術集会, 横浜; 2017年10月

(3) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 武田裕司, 荒木明美, 根本信仁, MD. Yeashin Gazi, 奈良英利, 浅尾裕信: IL-21 isoform 過剰発現マウスにおけるアナフィラキシー反応増悪のメカニズム. 第71回日本細菌学会東北支部総会, 仙台; 2017年8月
- 2) 押切由美, 奈良英利, 武田裕司, 荒木明美, 根本信仁, Md. Yeashin Gazi, 浅尾裕信: インターロイキン12 (IL-12) p40 の新規スプライスバリエーションの同定と機能解析. 第71回日本細菌学会東北支部総会, 仙台; 2017年8月

(4) 研究会

i 一般演題

- 1) 根本信仁, 武田裕司, 奈良英利, 荒木明美, Md. Yeashin Gazi, 黒田悠太, 高木理彰, 浅尾裕信: マウス関節炎モデルにおける腸管免疫系の変化. 実験動物セミナー 第28回研究成果発表会, 山形; 2017年12月
- 2) 荒木明美, 金蓮今, 奈良英利, 武田裕司, 根本信仁, MD. Yeashin Gazi, 浅尾裕信: 炎症性発がんにおけるIL-21の関与. 実験動物セミナー 第28回研究成果発表会, 山形; 2017年12月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 武田裕司: 「Heterophil 勉強会」の開催 (株式会社JIMRO 依頼講習会開催) (1回/2カ月 2017年)

法医学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) 水野 大, 川原正博*, 水野敬子, 久合田伸子, 山崎健太郎: カンナビノイド受容体作動薬の視床下部神経細胞株 (GT1-7 細胞) に対する毒性評価. 社会医療研究. 2017; 15: 11-20

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i 一般演題

- 1) 水野 大, 水野敬子, 川原正博*, 久合田伸子, 山崎健太郎: マクロファージ由来細胞株を用いたアロマセラピー精油の免疫調節作用のスクリーニング. 日本薬学会第 137 年会, 仙台; 2017 年 3 月

(2) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 山崎健太郎, 羽田俊裕*, 水野 大: 複数の手段を併用して死亡したベンゾエピン中毒の 1 剖検例. 第 31 回日本中毒学会東日本地方会, 盛岡; 2017 年 1 月

(3) その他

- 1) 山崎健太郎: 死体の診かた. 山形地方検察庁, 山形市; 2017 年 3 月

法医学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) 梅津和夫, 永幡嘉之**, 山崎健太郎, 畠中裕之**, 高橋法人**, 濱崎真克**, 守屋 開**, 五十嵐敬司**: ホウネンエビ類における新たな3種の確認. DNA 多型. 2017; 25: 45-46
- 2) 渡辺剛太郎**, 梅津和夫: チャ(茶)由来の非特異的ピークの判別. DNA 多型. 2017; 25: 127-130
- 3) 松末 綾**, 梅津和夫, 飯野守男**, 湯浅 勲**: 中国人特異的アレルの検索: それは存在するのか. DNA 多型. 2017; 25: 157-160
- 4) 山崎健太郎, 羽田俊裕**, 水野敬子, 水野 大: ハロペリドールと複数の睡眠鎮静薬服用と、リストカットを認めた浴室内死亡の1剖検例. 法医学の実際と研究. 2017; 60: 59-62
- 5) 水野 大, 川原正博**, 水野敬子, 久合田伸子, 山崎健太郎, 視床下部神経細胞株 (GT1-7細胞) におけるカンナビノイド受容体作動薬の毒性評価. 法医学の実際と研究. 2017; 60: 63-70
- 6) 渡辺剛太郎**, 松浦有祐**, 梅津和夫, 山崎健太郎: 覚せい剤混合血痕の検査法. 法医学の実際と研究. 2017; 60: 71-74
- 7) Kase M**, Shimizu T**, Kamino K**, Umetsu K, Sugiyama H**, Kitano T**: Brown hagfish from the northwest and east coasts of Honshu, Japan are genetically different. Genes Genet Syst. 2018; 92: 197-203

(2) 総説及び解説

- 1) 水野 大: 毛髪を用いた薬物分析. ぶんせき. 2017; 12: 589-590

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 一般演題

- 1) Yamazaki K, Haneda T**, Mizuno K, Mizuno D: Epidemiological study on of suicide in Yamagata prefecture, Japan, in relation with multiple processes, focusing especially from on toxicological aspects, in Yamagata prefecture, Japan. The 10th International Symposium Advances in Legal Medicine (ISALM), Dusseldorf (Germany); September 2017

(2) 国内の学会

i 一般演題

- 1) 山崎健太郎, 羽田俊裕**, 水野 大: 複数の向精神薬服用と、リストカットを認める、浴室内死亡の1剖検例. 第39回日本中毒学会総会, つくば; 2017年6月
- 2) 水野 大, 水野敬子, 川原正博**, 久合田伸子, 山崎健太郎: 神経モデル細胞を用いた、カンナビノイドレセプターを介する神経毒性の評価. 第101次日本法医学会学術全国集会, 岐阜; 2017年6月
- 3) 田畑光敏**, 梅津和夫, 北野 誉**: カプトムシ N-アセチルラクトサミン特異的レクチン遺伝子の進化. 日本進化学会第19回大会, 京都; 2017年8月
- 4) 渡辺剛太郎**, 梅津和夫: 動物アモロゲニン由来の非特異的ピークの判断. 日本DNA多型学会第26回学術集会, 東京; 2017年11月
- 5) 佐々木一樹**, 横山和卓**, 梅津和夫, 北野 誉**: モンクシヤチホコのN-アセチルラクトサミン特異的レクチンPFAの進化. 第40回日本分子生物学会年会, 神戸; 2017年12月
- 6) 水野 大, 水野敬子, 川原正博**, 久合田伸子, 山崎健太郎: マクロファージ由来細胞株 (RAW264.7細胞) を用いた, IL-12 発現に対して影響を与えるアロマテラピー精油のスクリーニング. 日本薬学会第138年会, 金沢; 2018年3月

(3) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 山崎健太郎, 羽田俊裕**, 水野敬子, 水野 大: 屋内で死後長時間経過した死体の環境背景の検討 (第2

報). 第18回日本法医学会北日本地方集会・法医学談話会第104回例会, 盛岡; 2017年10月

(4) 座 長

i 一般演題

- 1) 山崎健太郎: 一般演題. 第18回日本法医学会北日本地方集会・法医学談話会第104回例会, 盛岡; 2017年10月
- 2) 水野 大: 個別発表2. 日本社会医療学会第18回学術集会, 宮崎; 2017年10月

(5) そ の 他

- 1) 山崎健太郎: 死体の診かた. 山形地方検察庁司法修習生研修, 山形市; 2017年5月
- 2) 山崎健太郎: 死亡事故の取扱. 山形県消防学校救急科研修, 三川町; 2017年11月
- 3) 山崎健太郎: 死亡診断書(死体検案書)作成方法と死体検案のすすめかた. 山形県医師会死体検案研修会, 酒田市; 2017年11月
- 4) 山崎健太郎: 死亡診断書(死体検案書)作成方法と死体検案のすすめかた. 山形県医師会死体検案研修会, 山形市; 2017年11月
- 5) 山崎健太郎: 外因死. 山形県警察学校検視専科, 天童市; 2018年1月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 山崎健太郎: 第32回日本中毒学会東日本地方会主催, 山形市; 2018年1月

分子病態学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) 小川孔幸^{**}, 柳澤邦雄^{**}, 石崎卓馬^{**}, 清水啓明^{**}, 三井健揮^{**}, 一瀬白帝, 野島美久^{**}, 半田 寛^{**}: 自己免疫性血栓止血性疾患に対するリツキシマブ療法後の遅発性好中球減少症 — 単施設における解析 —. 臨床血液. 2017 Jan; 58(1): 42-46 B

(2) 総説及び解説

- 1) Ichinose A; Japanese Collaborative Research Group on AH13: Autoimmune acquired factor XIII deficiency due to anti-factor XIII/13 antibodies: A summary of 93 patients. Blood Rev. 2017 Jan; 31(1): 37-45

(3) 著書

- 1) 一瀬白帝: 血液凝固第 XIII/13 因子欠乏症の分子病態と臨床検査. 神戸; シスメックス株式会社 学術本部, 2017 年 1 月

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Ichinose A: Acquired FXIII deficiency. 61st Annual Meeting of the Society of Thrombosis and Hemostasis Research (GTH), Switzerland; February 16, 2017

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 一瀬白帝: 抗線溶因子としての FXIII/13 と自己免疫性出血病 XIII/13 診療ガイドについて. 第 10 回日本血栓止血学会学術標準化委員会 (SSC) シンポジウム, 野村コンファレンスプラザ日本橋 (東京都中央区); 2017 年 1 月 21 日

(3) 研究会

i 一般演題

- 1) 尾崎 司, 杉山大輔, 高岡勇輝, 曲 泰男, 山口宗一, 橋口照人, 北島 勲, 惣宇利正善, 一瀬白帝: イムノクロマト法を用いた自己免疫性出血病 XIII/13 と出血性後天性 XIII/13 因子欠乏症の迅速鑑別診断. 第 17 回 TTM フォーラム学術集会, 大手町サンケイプラザ (東京都千代田区); 2017 年 3 月 4 日

3. 特許等の出願

3 件

分子病態学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Ogawa Y**, Yanagisawa K**, Souri M, Mihara M**, Naito C**, Takizawa M**, Ishizaki T**, Mitsui T**, Handa H**, Osaki T, Nojima Y**, Ichinose A: Successful Management of a Patient with Autoimmune Hemorrhaphilia due to Anti-Factor XIII/13 Antibodies Complicated by Pulmonary Thromboembolism. *Acta Haematol.* 2017 Apr 6;137(3):141-147 B
- 2) 小林宣彦**, 小川孔幸**, 柳澤邦雄**, 石崎卓馬**, 内海英貴**, 鈴木伸明**, 松下 正**, 一瀬白帝, 半田 寛**: 抗リン脂質抗体症候群を合併した自己免疫性の後天性 von Willebrand 症候群. *臨床血液.* 2017 June; 58(6): 613-618 B
- 3) Ogawa Y**, Yanagisawa K**, Uchiyama H**, Ishizaki T**, Mitsui T**, Gouda F**, Ieko M**, Ichinose A, Nojima Y**, Handa H**: Clinical characteristics and outcomes of acquired hemophilia A: experience at a single center in Japan. *Int J Hematol.* 2017 Jul;106(1):82-89 B
- 4) Arishima H**, Neishi H**, Kikuta KI**, Morita M**, Hosono N**, Yamauchi T**, Souri M, Ichinose A: Lobar Hemorrhage Induced by Acquired Factor XIII Deficiency in a Patient with Cerebral Amyloid Angiopathy. *J Stroke Cerebrovasc Dis.* 2017 Oct;26(10):e203-e205 B

(2) 総説及び解説

- 1) 自己免疫性出血病 FXIII/13 日本血栓止血学会診療ガイド作成委員会 (一瀬白帝, 和田英夫, 惣宇利正善, 橋口照人, 矢富 裕, 小川孔幸, 北島 勲, 朝倉英策, 岡本好司, 家子正裕, 山本晃士, 江口 豊): 自己免疫性出血病 FXIII/13 診療ガイド. *日本血栓止血学会誌.* 2017; 28(3): 393-420

(3) 著書

- 1) 一瀬白帝: 後天性フォンヴィルブランド症候群 (病). *動脈・静脈の疾患 (下)* (日本臨床 75 増刊 5). 東京: 日本臨床社, 2017: 918-925

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 尾崎 司, 惣宇利正善, 小澤龍彦**, 村口 篤**, 一瀬白帝: 自己免疫性出血病 XIII/13 症例より作製したヒト単クローン抗体のエピトープ解析 (ワークショップ 1AW06-7). 2017 年度生命科学系学会合同年次大会 (第 40 回日本分子生物学会年会, 第 90 回日本生化学会大会), 神戸ポートアイランド (神戸市中央区); 2017 年 12 月 6 日 B
- 2) 小川孔幸**, 一瀬白帝: 群馬大学での自己免疫性出血病 XIII/13 の診療経験. 第 12 回日本血栓止血学会学術標準化委員会 (SSC) シンポジウム, 野村コンファレンスプラザ日本橋 (東京都中央区); 2018 年 2 月 10 日 B

ii 一般演題

- 1) 一瀬白帝: 我が国の自己免疫性凝固因子欠乏症の実態 (ポスター126). 第 114 回日本内科学会総会・講演会, 東京国際フォーラム (東京都千代田区); 2017 年 4 月 14-16 日
- 2) 小川ひな**, 大久保里枝**, 川西智子**, 若井幸子**, 叶内和範**, 惣宇利正善, 森兼啓太*, 一瀬白帝: 透析後止血困難で当初第 VIII, 第 IX 因子インヒビターが疑われた高力価第 V 因子インヒビター症例 (0-018). 第 39 回日本血栓止血学会学術集会, 名古屋国際会議場 (愛知県名古屋市); 2017 年 6 月 8-10 日 B
- 3) 叶内和範**, 惣宇利正善, 小川ひな**, 大久保里枝**, 若井幸子**, 森兼啓太*, 一瀬白帝: 複合的凝固系異常所見を示した高力価の中和型抗 V 因子抗体 (第 V 因子インヒビター) の実験的解析 (0-020, P-008). 第 39 回日本血栓止血学会学術集会, 名古屋国際会議場 (愛知県名古屋市); 2017 年 6 月 8-10 日 B
- 4) 金谷秀平**, 柳澤邦雄**, 小川孔幸**, 田原研一**, 清水啓明**, 三井健揮**, 齋藤貴之**, 一瀬白帝, 半田 寛*:

自然軽快と再燃を繰り返した後天性 von Willebrand 症候群 (AvWS) の 1 例. 第 39 回日本血栓止血学会学術集会 (0-033, P-074), 名古屋国際会議場 (愛知県名古屋市); 2017 年 6 月 8-10 日 B

- 5) 惣宇利正善, 尾崎 司, 一瀬白帝: 凝固第 XIII 因子の細胞内活性および基質タンパク質の探索 (0-073). 第 39 回日本血栓止血学会学術集会, 名古屋国際会議場 (愛知県名古屋市); 2017 年 6 月 8-10 日
- 6) 尾崎 司, 高岡勇輝**, 杉山大輔**, 曲 泰男**, 惣宇利正善, 一瀬白帝: イムノクロマト法による A 型自己免疫性出血病 XIII/13 の迅速診断 (0-074). 第 39 回日本血栓止血学会学術集会, 名古屋国際会議場 (愛知県名古屋市); 2017 年 6 月 8-10 日
- 7) 一瀬白帝, 惣宇利正善, 尾崎 司: 厚生省指定難病 288 診療ガイド作成の基礎となる自己免疫性出血病 XIII/13 症例追跡調査結果のまとめ (0-075). 第 39 回日本血栓止血学会学術集会, 名古屋国際会議場 (愛知県名古屋市); 2017 年 6 月 8-10 日
- 8) 上村由樹**, 西村拓哉**, 富田秀春**, 尾崎 司, 惣宇利正善, 一瀬白帝: 長年出血症状を多発するも診断を得られずに経過していた自己免疫性出血病 XIII/13 の 1 例 (P-013). 第 39 回日本血栓止血学会学術集会, 名古屋国際会議場 (愛知県名古屋市); 2017 年 6 月 8-10 日 B
- 9) 松村郁子**, 小川孔幸**, 柳澤邦雄**, 小倉秀充**, 尾崎 司, 惣宇利正善, 一瀬白帝, 半田 寛**: 止血に難渋した気道出血を契機に診断された成人発症の凝固第 XIII/13 因子欠乏症例 (一般演題 No. 15). 第 18 回日本検査血液学会学術集会, 札幌コンベンションセンター (北海道札幌市); 2017 年 7 月 22-23 日 B
- 10) 金谷秀平**, 小川孔幸**, 柳澤邦雄**, 石埜卓馬**, 大崎洋平**, 清水啓明**, 家子正裕**, 一瀬白帝, 半田 寛**: ステロイド治療中に深部静脈血栓症と腸管気腫症を合併した後天性血友病 A の 1 例 (一般演題 No. 16). 第 18 回日本検査血液学会学術集会, 札幌コンベンションセンター (北海道札幌市); 2017 年 7 月 22-23 日 B
- 11) Tsutsumi Y**, Okamoto H**, Komori Y**, Sasaki N**, Kawata E**, Akaogi T**, Souri M, Osaki T, Ichinose A, Uoshima N**, Kobayashi Y**: Autoimmune hamorrhaphilia XIII/13 (AH13) initially presenting subcutaneous & intraabdominal bleeding (OS3-11C-2). 第 79 回日本血液学会学術集会, 東京国際フォーラム (東京都千代田区); 2017 年 10 月 20-22 日 B
- 12) 惣宇利正善, 尾崎 司, 一瀬白帝: 巨核球における凝固 XIII 因子の活性と基質 (ポスター 1P-0292). ConBio2017 (2017 年度生命科学系学会合同年次総会), 神戸ポートアイランド (神戸市中央区); 2017 年 12 月 6-9 日

(2) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 杉田聖子, 瀧島 勳, 甲斐貴彦, 鈴木浩二, 猪野友里, 沢登貴雄, 尾崎 司, 惣宇利正善, 一瀬白帝: 原因不明で多彩な出血症状を繰り返し自己免疫性出血病 XIII/13 と診断した 1 例 (口演). 日本内科学会 第 633 回関東地方会, 日内会館 (東京都文京区); 2017 年 6 月 10 日

(3) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 一瀬白帝: 後天性第 13 因子欠乏症の全て. 第 7 回後天性第 XIII (13) 因子欠乏症研究会学術集会 特別講演, JP タワー名古屋ホール&カンファレンス (名古屋市); 2017 年 6 月 10 日

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 一瀬白帝: 我が国の難知性疾患 (難病) 対策の進展と血液凝固難病について. 第 5 回血栓竹田フォーラム・第 3 回 Q-may 凝固線溶セミナー学術集会 教育講演, 竹田市総合社会福祉センター (大分県竹田市); 2017 年 9 月 2 日
- 2) 一瀬白帝: 指定難病に追加された特発性血栓症と追加提案中の F5 インヒビター. 第 3 回山形県血液研究会教育セミナー, 山形国際ホテル (山形県山形市); 2017 年 10 月 6 日

iii 一般演題

- 1) 惣宇利正善, 尾崎 司, 一瀬白帝: 巨核球における凝固 XIII 因子の活性と基質 (口演). 第 25 回山形分子生物学セミナー, 山形大学工学部 百周年記念会館 (山形県米沢市); 2017 年 11 月 11 日
- 2) 尾崎 司, 惣宇利正善, 一瀬白帝: 自己免疫性出血病 XIII/13 症例より作製したヒト単クローン抗体のエピトープ解析 (口演). 第 25 回山形分子生物学セミナー, 山形大学工学部 百周年記念会館 (山形県米沢市); 2017 年 11 月 11 日

(4) 座 長

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 一瀬白帝, 人見清隆: 微生物からヒトに至るトランスグルタミナーゼ遺伝子ファミリーの多彩な機能 (ワークショップ 1AW06). 2017 年度生命科学系学会合同年次大会 (第 40 回日本分子生物学会年会, 第 90 回日本生化学会大会), 神戸ポートアイランド (神戸市中央区); 2017 年 12 月 6 日

ii 一般演題

- 1) 惣宇利正善: 一般演題の座長. 第 3 回山形県血液研究会, 山形国際ホテル (山形県山形市); 2017 年 10 月 6 日

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワorkshop等の開催

- 1) 第 3 回山形県血液研究会, 山形国際ホテル (山形県山形市); 2017 年 10 月 6 日
- 2) 第 25 回山形分子生物学セミナー, 山形大学工学部 百周年記念会館 (山形県米沢市); 2017 年 11 月 11 日

公衆衛生学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Ito J^{**}, Ishii N^{*}, Akihara R^{*}, Lee J^{*}, Kurahashi T^{*}, Homma T^{*}, Kawasaki R, Fujii J^{*}: A high-fat diet temporarily renders Sod1-deficient mice resistant to an oxidative insult. *J Nutr Biochem*. 2017 Feb; 40: 44-52
- 2) Himori N^{**}, Kunikata H^{**}, Kawasaki R, Shiga Y^{**}, Omodaka K^{**}, Takahashi H^{**}, Miyata T^{**}, Nakazawa T^{**}: The association between skin autofluorescence and mean deviation in patients with open-angle glaucoma. *Br J Ophthalmol*. 2017 Feb; 101(2): 233-238 B
- 3) Sasongko MB^{**}, Agni AN^{**}, Wardhana FS^{**}, Kotha SP^{**}, Gupta P^{**}, Widayanti TW^{**}, Supanji^{**}, Widyaputri F^{**}, Widyaningrum R^{**}, Wong TY^{**}, Kawasaki R, Wang JJ^{**}, Pawiroranu S^{**}: Rationale and Methodology for a Community-Based Study of Diabetic Retinopathy in an Indonesian Population with Type 2 Diabetes Mellitus: The Jogjakarta Eye Diabetic Study in the Community. *Ophthalmic Epidemiol*. 2017 Feb; 24(1): 48-56 D
- 4) Iwase A^{**}, Sekine A^{**}, Suehiro J^{**}, Tanaka K^{**}, Kawasaki Y, Kawasaki R, Sinai MJ^{**}, Araie M^{**}: A New Method of Magnification Correction for Accurately Measuring Retinal Vessel Calibers From Fundus Photographs. *Invest Ophthalmol Vis Sci*. 2017 Mar; 58(3): 1858-1864 B

(2) 総説及び解説

- 1) 平塚義宗, 小野浩一, 中野匡, 田村寛, 後藤励, 川崎良, 川島素子, 山田昌和: 成人を対象とした眼科検診の現状と地域独自の取り組み. *日本の眼科*. 2017; 88(1 付録): 3-22
- 2) 川崎良, 阿久根陽子, 平塚義宗, 山田昌和: 成人を対象とした糖尿病網膜症検診プログラムの費用対効果分析. *日本の眼科*. 2017; 88(1 付録): 33-41
- 3) 山田昌和, 平塚義宗, 小野浩一, 田村寛, 中野匡, 川崎良, 阿久根陽子, 川島素子: 包括的スクリーニングとしての成人眼科検診の効果. *日本の眼科*. 2017; 88(1 付録): 50-57

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) Kawasaki R: Comparative analysis. *Macular Diseases in Asia: Updates on the Epidemiology, Associated Factors and Genetics of Age-related Macular Degeneration and Diabetic Retinopathy in Asia*. Asian-Pacific Academy of Ophthalmology, Singapore; March 3rd, 2017
- 2) Kawasaki R: Diabetic retinopathy screening programs in Japan. *Diabetic Retinopathy Screening Programs in Different Parts of the World*. Asian-Pacific Academy of Ophthalmology, Singapore; March 3rd, 2017

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Kawasaki R: Background information of Polypoidal Choroidal Vasculopathy. *Instruction course on PCV*. Asian-Pacific Academy of Ophthalmology, Singapore; March 3rd, 2017

1. 論 文

(1) 原 著

- 1) Machida H*, Shibata Y*, Inoue S*, Igarashi A*, Tokairin Y*, Yamauchi K*, Kimura T*, Sato K*, Nakano H*, Nishiwaki M*, Kobayashi M*, Yang S*, Minegishi Y*, Furuyama K*, Yamamoto T*, Watanabe T*, Konta T, Ueno Y*, Kato T*, Kayama T*, Kubota I*: Prevalence of diabetes mellitus in individuals with airflow obstruction in a Japanese general population: The Yamagata-Takahata Study. *Respir Investig.* 2018; 56(1): 34-39
- 2) Honda Y**, Watanabe T*, Otaki Y*, Tamura H*, Nishiyama S*, Takahashi H*, Arimoto T*, Shishido T*, Miyamoto T*, Shibata Y*, Konta T, Kawasaki R, Daimon M**, Ueno Y*, Kato T**, Kayama T*, Kubota I*: Gender differences in the impact of anemia on subclinical myocardial damage and cardiovascular mortality in the general population: The Yamagata (Takahata) study. *Int J Cardiol.* 2018; 252: 207-212
- 3) Takakubo Y*, Ohta D*, Ishi M*, Ito J*, Oki H*, Naganuma Y*, Uno T*, Sasaki A*, Akabane T*, Dairaku K*, Goto S*, Goto Y*, Kanauchi Y*, Kobayashi S*, Nakajima T*, Masuda K*, Matsuda M*, Mura N*, Takenouchi K*, Tsuchida H*, Onuma Y*, Shibuya J*, Seino M*, Yamaguchi O*, Hiragami K*, Urayama Y*, Furukawa T*, Okuda S*, Ogura K**, Nakamura T*, Sasaki K*, Konta T, Takagi M*: The Incidence of Atypical Femoral Fractures in Patients with Rheumatic Disease: Yamagata Prefectural Committee of Atypical Femoral Fractures (YamaCAFe) Study. *Tohoku J Exp Med.* 2017; 242(4): 327-334 B
- 4) Tsuruya K**, Yoshida H**, Nagata M**, Kitazono T**, Iseki K**, Iseki C**, Fujimoto S**, Konta T, Moriyama T**, Yamagata K**, Narita I**, Kimura K**, Kondo M**, Asahi K**, Ohashi Y**, Watanabe T**: Association of Hypertriglyceridemia With the Incidence and Progression of Chronic Kidney Disease and Modification of the Association by Daily Alcohol Consumption. *J Ren Nutr.* 2017; 27(6): 381-394 B
- 5) Wakasugi M**, Kazama J**, Narita I**, Iseki K**, Fujimoto S**, Moriyama T**, Yamagata K**, Konta T, Tsuruya K**, Asahi K**, Kondo M**, Kurahashi I**, Ohashi Y**, Kimura K**, Watanabe T**: Association between Overall Lifestyle Changes and the Incidence of Proteinuria: A Population-based, Cohort Study. *Intern Med.* 2017; 56(12): 1475-1484 B
- 6) Sato Y**, Fujimoto S**, Konta T, Iseki K**, Moriyama T**, Yamagata K**, Tsuruya K**, Narita I**, Kondo M**, Kasahara M**, Shibagaki Y**, Asahi K**, Watanabe T**: Body shape index: Sex-specific differences in predictive power for all-cause mortality in the Japanese population. *PLoS One.* 2017; 12(5): e0177779 B
- 7) Honda Y**, Watanabe T*, Shibata Y*, Otaki Y*, Kadowaki S**, Narumi T*, Takahashi T*, Kinoshita D*, Yokoyama M*, Nishiyama S*, Takahashi H*, Arimoto T*, Shishido T*, Inoue S*, Miyamoto T*, Konta T, Kawasaki R, Daimon M**, Kato T**, Ueno Y*, Kayama T*, Kubota I*: Impact of restrictive lung disorder on cardiovascular mortality in a general population: The Yamagata (Takahata) study. *Int J Cardiol.* 2017; 241: 395-400
- 8) Iseki K**, Asahi K**, Yamagata K**, Fujimoto S**, Tsuruya K**, Narita I**, Konta T, Kasahara M**, Shibagaki Y**, Yoshida H**, Moriyama T**, Kondo M**, Iseki C**, Watanabe T**: Mortality risk among screened subjects of the specific health check and guidance program in Japan 2008-2012. *Clin Exp Nephrol.* 2017; 21(6): 978-985 B
- 9) Ichikawa K*, Konta T, Sato H**, Ueda Y**, Yokoyama H**: The clinical and pathological characteristics of nephropathies in connective tissue diseases in the Japan Renal Biopsy Registry (J-RBR). *Clin Exp Nephrol.* 2017; 21(6): 1024-1029 B
- 10) Kamei K**, Konta T, Hirayama A*, Ichikawa K*, Kubota I*, Fujimoto S**, Iseki K**, Moriyama T**, Yamagata K**, Tsuruya K**, Narita I**, Kondo M**, Shibagaki Y**, Kasahara M**, Asahi K**, Watanabe T**: Associations between serum uric acid levels and the incidence of nonfatal stroke: a nationwide community-based

- cohort study. *Clin Exp Nephrol*. 2017; 21(3): 497-503 B
- 11) Nakamura K^{**}, Uchida T^{*}, Sho R, Hamasaki A^{*}, Hayashi J^{*}, Sadahiro M^{*}: Risk factor analysis for the aortic enlargement in patients with chronic type B aortic dissection. *Jpn J Vasc Surg*. 2018; 27: 55-60
 - 12) Wu F^{**}, Narimatsu H^{**}, Li X^{**}, Nakamura S^{*}, Sho R, Zhao GM^{**}, Nakata Y^{**}, Xu WH^{**}: Non-communicable diseases control in China and Japan. *Global Health*. 2017; 13(1): 91. doi: 10.1186/s12992-017-0315-8 D
 - 13) Goto T^{*}, Shimotai Y^{*}, Matsuzaki Y^{*}, Muraki Y^{**}, Sho R, Sugawara K^{*}, Hongo S^{*}: Effect of the phosphorylation of the CM2 protein on influenza C virus replication. *J Virol*. 2017; 91(22): e00773-17 B
 - 14) Nakamura S^{*}, Narimatsu H^{**}, Katayama K^{**}, Sho R, Yoshioka T^{*}, Fukao A, Kayama T^{*}: Effect of genomics-related literacy on non-communicable diseases. *J Hum Genet*. 2017; 62(9): 839-846
 - 15) 松田友子, 田中敦^{**}, 松田徹^{**}, 阿彦忠之^{**}, 川崎良: 山形県庄内地域における入浴事故の実態と気温との関連性について. *日本健康開発雑誌*. 2017; 38: 28-37
 - 16) Miyata K^{**}, Yoshikawa T^{**}, Mine M^{**}, Nishi T^{**}, Okamoto N^{**}, Ueda T^{**}, Kawasaki R, Kurumatani N^{**}, Ogata N^{**}: Cataract Surgery and Visual Acuity in Elderly Japanese: Results of Fujiwara-kyo Eye Study. *Biores Open Access*. 2017 Apr; 6(1): 28-34 B
 - 17) Daien V^{**}, Granados L^{**}, Kawasaki R^{**}, Villain M^{**}, Ribstein J^{**}, Du Cailar G^{**}, Mimran A^{**}, Fesler P^{**}: Retinal vascular caliber associated with cardiac and renal target organ damage in never-treated hypertensive patients. *Microcirculation*. 2017 May; 24(4): e12344. doi: 10.1111/micc.12344 E
 - 18) Takai Y^{**}, Tanito M^{**}, Omura T^{**}, Kawasaki R, Kawasaki Y^{*}, Ohira A^{**}: Comparisons of retinal vessel diameter and glaucomatous parameters between both eyes of subjects with clinically unilateral pseudoexfoliation syndrome. *PLoS One*. 2017 Jun; 12(6): e0179663 B
 - 19) Jinnouchi H^{**}, Kitamura A^{**}, Yamagishi K^{**}, Kiyama M^{**}, Imano H^{**}, Okada T^{**}, Cui R^{**}, Umesawa M^{**}, Muraki T^{**}, Hayama-Terada M^{**}, Kawasaki R, Sankai T^{**}, Ohira T^{**}, Iso H^{**}: CIRCS Investigators: Retinal Vascular Changes and Prospective Risk of Disabling Dementia: the Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS). *J Atheroscler Thromb*. 2017 Jul; 24(7): 687-695 B
 - 20) Hatanaka Y^{**}, Tajima M^{**}, Kawasaki R, Saito K^{**}, Ogohara K^{**}, Muramatsu C^{**}, Sunayama W^{**}, Fujita H^{**}: Retinal biometrics based on Iterative Closest Point algorithm. *Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc*. 2017 Jul; 2017: 373-376 B
 - 21) Sasongko MB^{**}, Widyaputri F^{**}, Agni AN^{**}, Wardhana FS^{**}, Kotha S^{**}, Gupta P^{**}, Widayanti TW^{**}, Haryanto S^{**}, Widyaningrum R^{**}, Wong TY^{**}, Kawasaki R, Wang JJ^{**}: Prevalence of Diabetic Retinopathy and Blindness in Indonesian Adults With Type 2 Diabetes. *Am J Ophthalmol*. 2017 Sep; 181: 79-87 E
 - 22) Yabana T^{**}, Shiga Y^{**}, Kawasaki R, Omodaka K^{**}, Takahashi H^{**}, Kimura K^{**}, Togashi K^{**}, Horii T^{**}, Sasaki K^{**}, Yuasa T^{**}, Nakazawa T^{**}: Evaluating retinal vessel diameter with optical coherence tomography in normal-tension glaucoma patients. *Jpn J Ophthalmol*. 2017 Sep; 61(5): 378-387 B
 - 23) Tanaka S^{**}, Kawasaki R^{**}, Tanaka-Mizuno S^{**}, Iimuro S^{**}, Matsunaga S^{**}, Moriya T^{**}, Ishibashi S, Katayama S^{**}, Ohashi Y^{**}, Akanuma Y^{**}, Sone H^{**}, Yamashita H^{*}: Japan Diabetes Complications Study Group: Severe hypoglycaemia is a major predictor of incident diabetic retinopathy in Japanese patients with type 2 diabetes. *Diabetes Metab*. 2017 Oct; 43(5): 424-429 B
 - 24) Namba H^{*}, Kawasaki R^{*}, Sugano A^{*}, Murakami T^{*}, Nishitsuka K^{*}, Kato T^{**}, Kayama T^{*}, Yamashita H^{*}: Age-Related Changes in Ocular Aberrations and the Yamagata Study (Funagata). *Cornea*. 2017 Nov; 36 Suppl 1: S34-S40
 - 25) Sasaki M^{**}, Harada S^{**}, Kawasaki Y^{*}, Watanabe M^{**}, Ito H^{**}, Tanaka H^{**}, Takeuchi A^{**}, Tsubota K^{**}, Takebayashi T^{**}, Nishiwaki Y^{**}, Kawasaki R: Gender-specific association of early age-related macular degeneration with systemic and genetic factors in a Japanese population. *Sci Rep*. 2018 Jan; 8(1): 785 B
 - 26) Namba H^{*}, Kawasaki R, Sugano A^{*}, Nishi K^{*}, Murakami T^{*}, Nishitsuka K^{*}, Kato T^{**}, Kayama T^{*}, Yamashita H^{*}: Cross-Sectional and Longitudinal Investigation of the Power Vector in Astigmatism: The Yamagata

- Study (Funagata). *Cornea*. 2018 Jan; 37(1): 53-58
- 27) Ward SA**, Storey E**, Woods RL**, Hamilton GS**, Kawasaki R, Janke AL**, Naughton MI**, O' Donoghue F**, Wolfe R**, Wong TY**, Reid CM**, Abhayaratna WJ**, Stocks N**, Trevaks R**, Fitzgerald S**, Hodgson LAB**, Robman L**, Workman B**, McNeil JJ**; ASPREE Study Group: The Study of Neurocognitive Outcomes, Radiological and Retinal Effects of Aspirin in Sleep Apnoea- rationale and methodology of the SNORE-ASA study. *Contemp Clin Trials*. 2018 Jan; 64: 101-111 E
- 28) Torp TL**, Kawasaki R, Wong TY**, Peto T**, Grauslund J**: Changes in retinal venular oxygen saturation predict activity of proliferative diabetic retinopathy 3 months after panretinal photocoagulation. *Br J Ophthalmol*. 2018 Mar; 102(3): 383-387 E

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Kawasaki R: Tele-screening & Automated-grading for Eye Diseases: "What do ophthalmologists expect?" 2nd Asian Pacific Tele Ophthalmology Society 2017, Hong Kong; 2017/7/15
- 2) Kawasaki R: Diabetic retinopathy screening programmes in Japan. EURETINA 2017, Barcelona, Spain; 2017/9/10
- 3) Kawasaki R: Diabetic retinopathy screening in low and middle income countries. International diabetes federation congress, Abu Dhabi; 2017/12/4-8

ii 一般演題

- 1) Kon S*, Konta T, Kamei K**, Ichikawa K*, Kubota I*: The Association Between Renal parameters and Urinary microRNAs in Patients With Nephropathy. The 54th ERA-EDTA Congress, Madrid, Spain; June 2017
- 2) Iseki K**, Konta T, Asahi K**, Yamagata K**, Fujimoto S**, Tsuruya K**, Narita I**, Kasahara M**, Shibagaki Y**, Moriyama T**, Kondo M**, Iseki C**, Watanabe T**: Association Of Dipstick Proteinuria With All-Cause Mortality In General Population: Results From The Specific Health Check And Guidance Program In Japan. The 54th ERA-EDTA Congress, Madrid, Spain; June 2017 B
- 3) Kamei K**, Kon S*, Ichikawa K*, Konta T, Kubota I*, Fujimoto S**, Iseki K**, Moriyama T**, Yamagata K**, Tsuruya K**, Narita I**, Kondo M**, Kasahara M**, Shibagaki Y**, Asahi K**, Watanabe T**: The Association Between Serum Uric Acid And Mortality In The CKD Population: A Longitudinal Survey Of A Nationwide Cohort In Japan. The 54th ERA-EDTA Congress, Madrid, Spain; June 2017 B
- 4) Torp TL**, Vergmann AS**, Kawasaki R, Wong TY**, Peto T**, Grauslund J**: Successful panretinal photocoagulation leads to changes in the retinal venular vascular geometry in patients with proliferative diabetic retinopathy. ARVO Annual Meeting, Baltimore USA; 2017 May E
- 5) Sasaki M**, Harada S**, Tsubota K**, Takebayashi T**, Nishiwaki**, Kawasaki R: The differential association of early age-related macular degeneration with environmental and genetic factors in a Japanese population. EURETINA 2017, Barcelona, Spain; 2017/9/10 B

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 今田恒夫: スポンサーードシンポジウム 3 腎癌機能低下例の病態と注意点. 第 55 回日本癌治療学会学術集会, 横浜市; 2017 年 10 月
- 2) 川崎 良: 近視及び強度近視の疫学と疾病負担. シンポジウム I 近視の展望. 第一回日本近視学会総会, 東京; 2017 年 5 月
- 3) 川崎 良: 眼科健診の現状と未来. シンポジウム IV 第 58 回日本人間ドック学会, 大宮; 2017 年 8 月
- 4) 川崎 良: 徹底討論! 糖尿病網膜症マネジメントのすべて 2017 -アップデートと症例検討会. インストラクションコース 日本臨床眼科学会, 東京; 2017 年 10 月
- 5) 川崎 良: 症例対照研究とコホート研究. インストラクションコース 日本臨床眼科学会, 東京; 2017 年 10 月

- 6) 川崎 良: 学校近視の頻度と推移日本臨床眼科学会. SIG 眼光学アップデート 日本臨床眼科学会, 東京; 2017年10月

ii 一般演題

- 1) Konta T, Asahi K**, Yamagata K**, Fujimoto S**, Tsuruya K**, Narita I**, Kasahara M**, Shibagaki Y**, Iseki K**, Moriyama T**, Kondo M**, Watanabe T**: Association between renal function and mortality in the community-based elderly population. 第28回日本疫学会学術総会, 福島市; 2017年10月 B
- 2) 今田恒夫, 守山敏樹**, 柴垣有吾**, 笠原正登**, 成田一衛**: 特定健診男性受診者における血清尿酸値と生命予後の関連. 第51回日本痛風・核酸代謝学会学術総会, 米子市; 2018年2月 B
- 3) 邵力, 張旭紅*, 橘寛彦*, 張捷**, 吉田雪絵**, 川崎良, 飯野光喜*: 口腔癌におけるmiR-223 標的遺伝子のバイオインフォマティクス予測と実験的検証. 第76回日本癌学会学術総会, 横浜; 2017年9月 B
- 4) 邵力, 張旭紅*, 大谷勝実, 武田弘明**, 福井忠久*, 上野義之*, 本郷誠治*: ヘリコバクター・ピロリ sabA 遺伝子の多様性と SabA タンパク質発現と胃十二指腸疾患との関連. 第90回日本生化学会大会 合同大会, 神戸; 2017年12月 B
- 5) 松田友子, 川崎良, 邵力, 田中敦**, 松田徹**, 阿彦忠之**, 今田恒夫: 山形県庄内地域における気温と入浴事故発生の関連. 第28回日本疫学会学術総会, 仙台; 2018年2月 A, B
- 6) 吉田雪絵**, 邵力, 今田恒夫: 乳幼児の歯と口腔の健康における歯科健診データの活用. 第28回日本疫学会学術総会, 仙台; 2018年2月 C
- 7) 横山 悠**, 高橋秀肇**, 川崎 良, 面高宗子**, 津田 聡**, 前川重人**, 中澤 徹**: プリモニジンまたはチモロールの24ヶ月投与による視野障害進行抑制効果の検討. 日本緑内障学会, 広島; 2017年9月 B
- 8) 伊藤浩幸**, 川崎 良, 岩瀬愛子**, 堤 妙**, 安樂礼子**, 榎本暢子**, 石田恭子**, 酒井 寛**, 新家 眞**, 富田剛司*: 多治見スタディ・久米島スタディ間での正常眼視神経乳頭形状比較. 日本緑内障学会, 広島; 2017年9月 B
- 9) 杉原一暢**, 高井保幸**, 谷戸正樹**, 川崎 良, 新田耕治**, 片井麻貴**, 北岡康史**, 横山 悠**, 面高宗子**, 内藤知子**, 山下 高明**, 溝上志朗**, 岩瀬愛子**, 大久保真司**, 松本長太**, 杉山和久**, 中澤 徹**: ステレオ眼底カメラにより計測した網膜血管径および視神経乳頭形状パラメーターの関連. 日本緑内障学会, 広島; 2017年9月 B
- 10) 高井保幸**, 杉原一暢**, 谷戸 正**, 川崎 良, 新田耕治**, 片井麻貴**, 北岡康史**, 横山 悠**, 面高宗子**, 内藤知子**, 山下高明**, 溝上志朗**, 岩瀬愛子**, 大久保真司**, 松本長太**, 杉山和久**, 中澤 徹**: ステレオ眼底カメラにより分類した緑内障視神経乳頭形状分類と網膜血管径の関連. 日本緑内障学会, 広島; 2017年9月 B
- 11) 野崎実穂**, 川崎 良, 高村佳弘**, 吉田茂生**, 喜田照代**, 築城英子**, 野間英孝**, 井上 真**, 長岡泰司**, 野田航介**, 村上智昭**, Joo Eun Lee**, Ian Wong**, 鈴間潔** End DME Study Group: Anti-VEGF monotherapy versus combined anti-VEGF and endpoint management laser photocoagulation for diabetic macular edema (The END-DME study). 日本臨床眼科学会, 東京; 2017年10月 B
- 12) 森實祐基**, 川崎 良, 藤原篤之**, 金永圭祐**, 坂手 滯**, 稲垣明日香**, 後藤保人**, 守本典子**, 小椋祐一郎**, 白神史雄**: 全都道府県を対象にした視覚障がい認定の疫学調査-都道府県別検討. 日本臨床眼科学会, 東京; 2017年10月 B
- 13) 川崎 良, 小椋祐一郎**, 荘野道宏**, Melissa Bauer**, Spyros Roumpanis**, Vladimir Bezlyak**: 医科診療レセプトデータを用いた網膜疾患における VEGF 阻害剤治療パターンの検討. 日本網膜硝子体学会, 東京; 2017年12月 B

(3) 国内地方会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 富永 綾, 豊口禎子, 白石 正: 国立大学病院の災害対応体制. 日本病院薬剤師会東北ブロック第7会学術大会, 盛岡; 2017年6月

ii 一般演題

- 1) 松田友子, 邵力, 今田恒夫, 田中 敦, 松田 徹, 阿彦忠之, 石川 仁, 川崎 良: 山形県庄内地域の高齢者における気温と入浴事故発生の関連. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月 B
- 2) 鈴木翔太郎, 小座間睦恵, 芳賀泉輝, 佐藤 彩, 池田瑞紀, 林 優, 佐藤祐子, 細野るみ子, 宇津木努, 小

澤千佳：入院患者におけるステロイド系抗炎症薬の使用の有無と感染症発生状況の実態調査。山形県公衆衛生学会，山形市；2018年3月

(4) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 今田恒夫：日本腎臓学会腎生検レジストリーからみた膠原病患者の腎病変。第7回膠原病の腎障害研究会，横浜市；2017年11月
- 2) 今田恒夫：ネフローゼ症候群診療ガイドラインと最近の動向。第4回難治性ネフローゼ症候群治療研究会，横浜市；2018年2月
- 3) 富永 綾，豊口禎子，細谷 順，白石 正，堀龍一朗，東海林佳兼，阿部修一：注射用抗菌薬使用量と耐性の検討。第12回山形県抗菌薬療法研究会，山形；2017年11月

(5) 座 長

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 今田恒夫：教育講演3「Multi-Hit Pathogenetic Pathways in IgA Nephropathy」。日本腎臓学会学術総会，仙台市；2017年5月
- 2) 今田恒夫：教育セミナー7 透析患者の糖尿病治療2017。東北腎不全研究会，新潟市；2017年9月
- 3) 今田恒夫：膜性腎症 Up Date。日本腎臓学会東部学術大会，横浜市；2017年10月
- 4) 今田恒夫：よくわかるシリーズ1CKDの診断と治療。日本腎臓リハビリテーション学会，仙台市；2018年3月
- 5) Kawasaki R: APAO-AAPPO workshop. Asia Pacific Academy of Ophthalmology, Hong Kong; Feb 2018

ii 一般演題

- 1) 今田恒夫：生活習慣病対策。第44回山形県公衆衛生学会，山形市；2018年3月

医療政策学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) 佐野洋史^{**}, 後藤励^{**}, 村上正泰, 柿原浩明^{**}: へき地の勤務条件に対する大都市の内科系勤務医の選好. 日本労働研究雑誌. 2017; 680: 86-101
- 2) 村上正泰: 地域別データから考える地域医療構想の課題と論点: 回復期の体系化と慢性期・在宅医療の在り方を中心に. 山形県医師会学術雑誌. 2017; 52: 1-30 F
- 3) Sugawara Y, Tanimoto T^{**}, Miyagawa S^{**}, Murakami M, Tsuya A^{**}, Tanaka A^{**}, Kami M^{**}, Narimatsu H: Scientific Misconduct and Social Media: Role of Twitter in the Stimulus Triggered Acquisition of Pluripotency Cells Scandal. Journal of Medical Internet Research. 2017; 19(2): e57. doi: 10.2196/jmir.6706

(2) 総説

- 1) 村上正泰: 不透明な地域医療構想調整会議の行方. 医薬経済. 2017; 1536: 30-31
- 2) 村上正泰: 政策決定を取り巻く不透明な内外情勢. 医薬経済. 2017; 1535: 30-31
- 3) 村上正泰: トランプ時代の世界の混沌と正念場の日本. 表現者. 2017; 71: 98-102
- 4) 村上正泰: 病院再編に関心を強める製薬企業. 医薬経済. 2017; 1534: 30-31
- 5) 村上正泰: 少子化の進展と医療・介護人材確保. 医薬経済. 2017; 1533: 30-31
- 6) 村上正泰: 厳しい展開が見込まれる18年度同時改定. 医薬経済. 2017; 1532: 30-31
- 7) 村上正泰: 日本経済の「後進国化」懸念と医療費. 医薬経済. 2017; 1531: 30-31
- 8) 村上正泰: 日本外交の困難な舵取り. 表現者. 2017; 70: 88-92

(3) 著書

- 1) 村上正泰: 高額薬剤の医療費問題を考える: イノベーション推進と国民皆保険堅持の両立に向けて. 富田善彦, 金山博臣, 植村天受, 篠原信雄編集, Year Book of RCC 2016. 大阪; メディカルレビュー社, 2017: 61-67

(4) その他

- 1) 村上正泰: 「地域医療構想」の実現に向けて. 蔵王協議会だより. 2017; 25: 4

2. 学会報告及び座長

(1) その他

- 1) 村上正泰: 山形県の地域医療構想に関する最新の動向. バイタルネット山形営業部勉強会, 山形県; 2017年2月
- 2) 村上正泰: 地域における病院再編と医師配置の検討に向けて～山形大学の取り組み～. 国立大学医学部附属病院院長会議「東北・北海道地区会議」, 山形県; 2017年1月
- 3) 小玉幸助: 個別援助技術の理論と実践. 一般財団法人児童健全育成推進財団 児童館職員研修, 宮城県; 2017年1月

医療政策学講座

1. 論 文

(1) 原 著

- 1) 小玉幸助, 森谷就慶*, 大竹伸治*: 精神保健福祉領域における高次脳機能障害研究 —経済損失額算出の試み: 精神保健福祉援助技術の必要性について. 保健福祉学研究. 2017; 15: 21-27
- 2) 小玉幸助, 村上金男*, 大平雅弘*, 小松督紀*, 齊藤寧*: 保育士版 OSCE の開発と試み —宮城誠真短期大学の保育指導方法. 宮城誠真短期大学研究紀要. 2017; 8: 15-21 F

(2) 総説及び解説

- 1) 村上正泰: 終末期医療と「死生観」の問い. 医薬経済. 2018; 1560: 32-33
- 2) 村上正泰: かかりつけ医機能の評価と在宅医療の推進. 医薬経済. 2018; 1559: 32-33
- 3) 村上正泰: 入院基本料評価体系の大幅再編の行方. 医薬経済. 2018; 1558: 32-33
- 4) 村上正泰: 抜本的見直しを余儀なくされた新薬創出加算. 医薬経済. 2018; 1557: 32-33
- 5) 村上正泰: 全体では「マイナス」が定着する診療報酬改定. 医薬経済. 2018; 1556: 30-31
- 6) 村上正泰: 「新しい経済政策パッケージ」を巡る課題. 医薬経済. 2018; 1555: 32-33
- 7) 村上正泰: 医療政策の不透明さと持続可能性への課題. 月刊保険診療. 2018; 1537: 47-51
- 8) 村上正泰: 朝鮮半島という「七首」と核問題. 表現者. 2018; 76: 80-84
- 9) 村上正泰: 費用対効果評価への期待と留意点. 医薬経済. 2017; 1554: 32-33
- 10) 村上正泰: 厳しさを増す病院経営と改革の必要性. 医薬経済. 2017; 1553: 32-33
- 11) 村上正泰: 曖昧になる機能別必要病床数の位置付け. 医薬経済. 2017; 1552: 30-31
- 12) 村上正泰: 保険給付範囲を巡る議論の行方と問題点. 医薬経済. 2017; 1551: 36-37
- 13) 村上正泰: 日本人の意思決定における遠心力と求心力. 表現者. 2017; 75: 106-110
- 14) 村上正泰: 政局の混乱と消費税増税の行方. 医薬経済. 2017; 1550: 30-31
- 15) 村上正泰: 14年ぶりに減少した16年度概算医療費. 医薬経済. 2017; 1549: 32-33
- 16) 村上正泰: 盛り上がる子育て関連財源論争の行方. 医薬経済. 2017; 1548: 30-31
- 17) 村上正泰: 不安定な政治情勢と今後の政策動向. 医薬経済. 2017; 1547: 32-33
- 18) 村上正泰: 大衆社会の「空気」と日本人. 表現者. 2017; 74: 87-91
- 19) 村上正泰: 厳密な需要推計の「不可能性」. 医薬経済. 2017; 1546: 30-31
- 20) 村上正泰: 医局制度と新専門医制度改革. 医薬経済. 2017; 1545: 32-33
- 21) 村上正泰: 負担増の必要性和と応能負担. 大阪保険医雑誌. 2017; 610: 15-18
- 22) 村上正泰: 都道府県別診療報酬特例は抜けぬ刀? 医薬経済. 2017; 1544: 30-31
- 23) 村上正泰: 参照価格制度と種類別負担割合の問題点. 医薬経済. 2017; 1543: 32-33
- 24) 村上正泰: 「シンギュラリティ」という悪夢. 表現者. 2017; 73: 103-107
- 25) 村上正泰: 既得権打破が生む「新たな利権」. 医薬経済. 2017; 1542: 30-31
- 26) 村上正泰: 政治改革の成れの果ての政治劣化. 医薬経済. 2017; 1541: 30-31
- 27) 村上正泰: 検討すべき他省庁予算活用の可能性. 医薬経済. 2017; 1540: 30-31
- 28) 村上正泰: 「働き方ビジョン」報告書の実現可能性. 医薬経済. 2017; 1539: 32-33
- 29) 村上正泰: 前のめり外交の危険 —外交における「慎慮」の必要性. 表現者. 2017; 72: 97-101
- 30) 村上正泰: 医療費の財源確保の必要性和と医療改革. 大阪保健医雑誌. 2017; 607: 13-15
- 31) 村上正泰: 引き続き焦点となる7対1病床削減の行方. 医薬経済. 2017; 1538: 30-31
- 32) 村上正泰: 繰り返される過剰な「大変革」幻想の陥穽. 医薬経済. 2017; 1537: 32-33

(3) 著 書

- 1) 村上正泰: 病院の再編・統合と地域づくり 山形県における取り組み. 田城孝雄, 内田要, まちづくりとしての地域包括ケアシステム. 東京; 東京大学出版会, 2017: 79-93 F
- 2) 伊藤嘉高: ボランティアリズム. コミュニティ事典. 神奈川; 春風社, 2017: 212-213 F
- 3) 伊藤嘉高: マカオのコミュニティづくり. コミュニティ事典. 神奈川; 春風社, 2017: 728-729 F

- 4) 伊藤嘉高: 人類学/民族誌の系譜. コミュニティ事典, 神奈川; 春風社, 2017: 878-879 F
- 5) 小玉幸助: 最初の面接で何をすべきか —インタビュー. 高井由起子, 子どもと家族をアシストする相談援助. 大阪府大阪市; 保育出版社, 2017: 28-31 F
- 6) 小玉幸助: 保育者養成校と就職状況について. 宮城誠真短期大学学生支援担当, 改訂版保育者養成就職支援白書. 宮城県大崎市; 宮城誠真短期大学, 2017: 21-24 F

(4) その他

- 1) 村上正泰: 療養病床の行方と新類型「介護医療院」. The Journal of JAHMC. 2017; 28(6): 1-4
- 2) 小玉幸助, 小松督紀, 齊藤亮一: 保育者が抱える特別支援を要する子どもとその保護者に対する支援について —教育原理の視点から検討する専門職配置と相談体制の構築: 保育組織体制について. 宮城誠真短期大学研究紀要. 2017; 8: 37-45
- 3) 小玉幸助, 井坂亨: 教育相談に関する一考察(1) —高校生の進路不安による自殺の視点から: キャリアカウンセリングの必要性について. 宮城誠真短期大学研究紀要. 2017; 8: 47-54
- 4) 小玉幸助: 保育士の質向上を目的とした保育士版 CBT の研究開発 —N-CBT 共通試験の開発を目指して. 全国保育士養成協議会東北ブロック研究助成事業. 個人研究助成対象研究

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i 一般演題

- 1) 小玉幸助: 心理社会的療法に関するエビデンスレベル分類調査 —統合失調症を中心とした我が国の文献調査研究. 日本精神保健福祉学会, 兵庫県; 2017年9月
- 2) 中西淑美, 伊藤嘉高: 看護職のコンフリクト・マネジメントにおける実態調査 —協働阻害要因. 第19回日本医療マネジメント学会, 宮城県; 2017年7月

(2) 国内地方会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 村上正泰: 人口減少社会における医療提供体制改革. 第20回北日本看護学会学術集会, 山形県; 2017年9月

(3) その他

- 1) 村上正泰: 平成30年度診療報酬改定について. 山形大学医学部附属病院保険診療委員会講演会, 山形県; 2018年3月
- 2) 村上正泰: 介護制度. 山形大学認知症講座, 山形県; 2018年3月
- 3) 村上正泰: 医療制度. 山形大学認知症講座, 山形県; 2018年2月
- 4) 村上正泰: 最近の医療政策と今後の医療提供体制改革. 第40回広島県農村医学研究会, 山形県; 2018年2月
- 5) 村上正泰: 地域医療構想と診療報酬改定の動向. みゆき会病院, 山形県; 2018年1月
- 6) 村上正泰: 機能評価係数Ⅱと病院運営について. 保険診療に関する講演会, 山形県; 2017年11月
- 7) 小玉幸助: 発達障害について. 古川学園中学高等学校 教職員研修会, 宮城県; 2017年11月
- 8) 村上正泰: 診療報酬改定・薬価制度改革とこれからの医療の行方. 多摩大学の医療・介護ソリューション研究所主催第5回医療介護研究会, 東京都; 2017年11月
- 9) 村上正泰: 医療経済論. 宮城県看護協会平成29年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル, 宮城県; 2017年10月
- 10) 村上正泰: 医療提供体制改革の課題と展望. 第57回北海道医師会後志ブロック医師大会, 北海道; 2017年10月
- 11) 伊藤嘉高: Reassembling the social は異質なアクターをつなぐネットワークたりうるか?. 第3回アクターネットワーク理論と社会学研究会, 東京都; 2017年9月
- 12) 村上正泰: 2025年問題に関する医療政策. 山形大学医学部附属病院がん看護研修会, 山形県; 2017年9月
- 13) 村上正泰: 医療経済論. 山形県看護協会平成29年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル, 山形県;

2017年8月

- 14) 小玉幸助：保護者支援・地域連携。宮城県子ども総合センター児童館館長研修会，宮城県；2017年8月
- 15) 村上正泰：保健医療福祉政策論。岩手県看護協会平成29年度認定看護管理者教育課程サードレベル，岩手県；2017年7月
- 16) 村上正泰：地域包括ケアの推進と退院支援・地域連携。山形県村山管内医療機関退院支援部署連携会議，山形県；2017年7月
- 17) 村上正泰：山形県における医療提供体制改革の課題～地域の状況と医療政策の行方～。平成29年度山形県病院協議会役員会，山形県；2017年7月
- 18) 村上正泰：地域医療構想と在宅医療・在宅看護。平成29年度在宅医療・在宅看護教育センター特別講演，山形県；2017年6月
- 19) 村上正泰：ヘルスケアシステム論。山形県看護協会平成29年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル，山形県；2017年6月
- 20) 村上正泰：地域医療構想・診療報酬改定の動向と公立病院を取り巻く課題。全日本自治団体労働組合衛生医療評議会，東京都；2017年5月

生化学・分子生物学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Homma T, Akihara R, Okano S*, Shichiri M**, Yoshida Y**, Yamada K**, Miyata S**, Nakajima O*, Fujii J: Heightened aggressive behavior in mice deficient in aldo-keto reductase 1a (Akr1a). Behav Brain Res. 2017; 319: 219-224 B
- 2) Ito J**, Ishii N, Akihara R, Lee J, Kurahashi T**, Homma T, Kawasaki R*, Fujii J: A high fat diet temporarily renders Sod1-deficient mice resistant to an oxidative insult. J Nutr Biochem. 2017; 40: 44-52

生化学・分子生物学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Lee J, Kang E. S**, Kobayashi S, Homma T, Sato H**, Seo H. G**, Fujii J: The viability of primary hepatocytes is maintained under a low cysteine–glutathione redox state with a marked elevation in ophthalmic acid production. *Exp Cell Res.* 2017; 361: 178–191 B, D
- 2) Hamashima S**, Homma T, Kobayashi S, Ishii N, Kurahashi T**, Watanabe R**, Kimura N**, Sato H**, Fujii J: Decreased reproductive performance in xCT-knockout male mice. *Free Radic Res.* 2017; 51: 851–860 A, B
- 3) Kobayashi S, Lee J, Takao T**, Fujii J: Increased ophthalmic acid production is supported by amino acid catabolism under fasting conditions in mice. *Biochem Biophys Res Commun.* 2017; 491: 649–655 B
- 4) Lee J, Homma T, Fujii J: Mice in the early stage of liver steatosis caused by a high fat diet are resistant to thioacetamide-induced hepatotoxicity and oxidative stress. *Toxicol Lett.* 2017; 277: 92–103
- 5) Kang E. S**, Lee J, Homma T, Kurahashi T**, Kobayashi S, Nabeshima A**, Yamada S**, Seo H. G**, Miyata S**, Sato H**, Fujii J: xCT deficiency aggravates acetaminophen-induced hepatotoxicity under inhibition of the transsulfuration pathway. *Free Radic Res.* 2017; 51: 80–90 B, C, D
- 6) Tasaka E**, Matsumoto S**, Tada H**, Kurahashi T**, Zhang X, Fujii J, Utsumi T**, Iuchi Y**: Protective role of testis-specific peroxiredoxin 4 against cellular oxidative stress. *J Clin Biochem Nutr.* 2017; 60: 156–161 B
- 7) Shirato T**, Homma T, Lee J, Kurahashi T**, Fujii J: Oxidative stress caused by a SOD1 deficiency ameliorates thioacetamide-triggered cell death via CYP2E1 inhibition but stimulates liver steatosis. *Arch Toxicol.* 2017; 91: 1319–1333
- 8) Bentea E**, Lieffering J. V. **, Verbruggen L**, Martens K**, Kobayashi S, Deneyer L**, Demuyser T**, Albertini G**, Maes K**, Sato H**, Smolders I**, Lewerenz J**, Massie A**: Zonisamide attenuates lactacystin-induced parkinsonism in mice without affecting system xc⁻. *Exp Neurol.* 2017; 290: 15–28 E
- 9) Doll S**, Proneth B**, Tyurina Y. Y**, Panzilius E**, Kobayashi S, Ingold I**, Imler M**, Beckers J**, Aichler M**, Walch A**, Prokisch H**, Trumbach D**, Mao G**, Qu F**, Bayir H**, Fullekrug J**, Scheel C. H**, Wurst W**, Schick J. A. **, Kagan V. E. **, Angeli J. P. F. **, Conrad M**: ACSL4 Dictates Ferroptosis Sensitivity by Shaping Cellular Lipid Composition. *Nat Chem Biol.* 2017; 13(1): 91–98 E

(2) 総説及び解説

- 1) 金野祐, 藤井順逸: 血球細胞の酸化障害と血液関連自己免疫疾患. *生化学, みここれびゅう.* 2017; 89; 81–85

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 一般演題

- 1) Sho Kobayashi (poster), Shinji Hamashima**, Takujiro Homma, Junichi Fujii, Hideyo Sato**: Macrophages from xCT-deficient mice survive under low cysteine/glutathione redox conditions with high oxidative stress. OCC World Congress 2017 and Annual SFRR-E Conference; METABOLIC STRESS AND REDOX REGULATION, Germany; June 2017 B
- 2) Takujiro Homma (poster), Naoki Ishii, Sho Kobayashi, Junichi Fujii: Heterozygous SOD1 deficiency causes male infertility by triggering autoimmune response in mice with the NZW background. Heterozygous SOD1 deficiency causes male infertility by triggering autoimmune response in mice with the NZW background. The 8th Joint Meeting of Society for Free Radical Research Australasia and Japan with International Symposium on Coenzyme Q10, Tokyo; December 2017

- 3) Jaeyong Lee (poster), Sho Kobayashi, Takujiro Homma, Eun Sil Kang**, Hideyo Sato**, Han Geuk Seo**, Toshifumi Takao**, Junichi Fujii: Production of ophthalmic acid by the glutathione-synthesizing pathway in mouse hepatocytes under cysteine insufficiency. The 8th Joint Meeting of Society for Free Radical Research Australasia and Japan with International Symposium on Coenzyme Q10, Tokyo; December 2017 B, D
- 4) Junichi Fujii (Oral), Naoki Ishii, Takujiro Homma, Jaeyong Lee, Sho Kobayashi, Hikaru Mitsuhashi**, Naoko Kimura**, Yorihiro Yamamoto**: CoQ10 and ascorbic acid ameliorate reproductive ability of SOD1-deficient female mice. The 8th Joint Meeting of Society for Free Radical Research Australasia and Japan with International Symposium on Coenzyme Q10, Tokyo; December 2017 A, B

(2) 国内の学会

i 一般演題

- 1) 小林翔(口演), 浜島真司*, 本間拓二郎, 藤井順逸, 佐藤英世**: マクロファージの酸化ストレス防御と NO 産生におけるシスチン・グルタミン酸トランスポーターの役割. 第17回日本NO学会, 徳島; 2017年5月 B
- 2) 石井直樹(ポスター), 本間拓二郎, 李在勇, 小林翔, 三橋輝**, 木村直子**, 山本順寛**, 藤井順逸: CoQ10およびアスコルビン酸はSOD1欠損雌マウスの生殖機能を改善する. 第70回日本酸化ストレス学会, つくば; 2017年6月 A, B
- 3) 本間拓二郎(ポスター), 浜島真司*, 小林翔, 倉橋敏裕**, 渡辺連**, 木村直子**, 佐藤英世**, 藤井順逸: シスチントランスポーター・xCTの男性生殖能における役割の検討. 第70回日本酸化ストレス学会, つくば; 2017年6月 A, B
- 4) 邵力(ポスター)*, 張旭紅, 橘寛彦*, 張捷**, 吉田雪絵**, 川崎良*, 飯野光喜*: 口腔癌におけるmiR-223標的遺伝子のパイオインフォマティクス予測と実験的検証. 第76回日本癌学会学術総会, 横浜; 2017年9月 B
- 5) 邵力(ポスター)*, 張旭紅, 大谷勝実**, 武田弘明**, 福井忠久*, 上野義之*, 本郷誠治*: ヘリコバクター・ピロリsabA遺伝子の多様性とSabAタンパク質発現と胃十二指腸疾患との関連. 2017年度生命科学系学会合同年次大会 (ConBio2017), 神戸; 2017年12月 B
- 6) 小林翔(ポスター), 李在勇, 高尾敏文**, 藤井順逸: 絶食によるアミノ酸代謝の亢進はオプタルミン酸合成を促進する. 2017年度生命科学系学会合同年次大会 (ConBio2017), 神戸; 2017年12月 B
- 7) 本間拓二郎(ポスター), 浜島真司*, 小林翔, 倉橋敏裕**, 渡辺連**, 木村直子**, 佐藤英世**, 藤井順逸: シスチントランスポーター・xCT欠損マウスは雄性生殖能が低下する. 2017年度生命科学系学会合同年次大会 (ConBio2017), 神戸; 2017年12月 A, B

(3) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 小林翔, 浜島真司, 本間拓二郎, 佐藤英世, 藤井順逸: xCT欠損によりグルタチオン・レドックスバランスに障害のあるマクロファージの細胞培養系における性質. 日本生化学会東北支部第83回例会, 仙台; 2017年5月

(4) 研究会

i 一般演題

- 1) 小林翔(講演): グルタチオン生合成を制御するシステイン供給系. 第2回グルタチオン学術研究会, 東京; 2017年9月
- 2) 小林翔(口演), 浜島真司, 本間拓二郎, 佐藤英世, 藤井順逸: xCT欠損マウスを用いた活性化マクロファージにおけるグルタチオン・レドックス系の役割の解明. 第25回山形分子生物学セミナー, 米沢; 2017年11月
- 3) 石井直樹, 本間拓二郎, 李在勇, 小林翔, 三橋輝, 木村直子, 山本順寛, 藤井順逸: SOD1欠損雌マウスの生殖機能はCoQ10およびアスコルビン酸によって改善する. 第25回山形分子生物学セミナー, 米沢; 2017年11月
- 4) 李在勇(口演), 小林翔, 本間拓二郎, 藤井順逸: 絶食したSOD1欠損マウスに蓄積する脂肪滴は臓器障害の原因とはならない. 第28回山形大学医学部動物実験セミナー, 山形; 2017年12月
- 5) 石井直樹(口演), 本間拓二郎, 李在勇, 小林翔, 三橋輝, 木村直子, 山本順寛, 藤井順逸: CoQ10とアスコルビン酸によるSOD1欠損雌マウスの生殖機能の改善. 第28回山形大学医学部動物実験セミナー, 山形; 2017年12月

- 6) 高橋未来 (口演), 本間拓二郎, 石井直樹, 宮田哲, 中島修, 藤井順逸: アスコルビン酸合成能の欠損はマウスの運動能力を高める. 第28回山形大学医学部動物実験セミナー, 山形; 2017年12月

(5) 座 長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 藤井順逸 (座長) : 第2回グルタチオン学術研究会, 東京; 2017年9月
- 2) Junichi Fujii (Chair): Session 5. New methods. The 8th Joint Meeting of Society for Free Radical Research Australasia and Japan with International Symposium on Coenzyme Q10, Tokyo; 2017 December

臨床講座

内科学第一（循環・呼吸・腎臓内科学）講座

1. 論 文

(1) 原 著

- 1) Nemoto T, Shibata Y, Inoue S, Igarashi A, Tokairin Y, Yamauchi K, Kimura T, Sato M, Sato K, Nakano H, Abe S^{**}, Nishiwaki M, Kubota I: MafB enhances the phagocytic activity of RAW264.7 macrophages by promoting Fcgr3 expression. *Biochem Biophys Res Commun.* 2017; 482(2): 375-381
- 2) Otaki Y, Watanabe T, Takahashi H, Yamaura G, Nishiyama S, Arimoto T, Shishido T, Miyamoto T, Kubota I: Serum carboxy-terminal telopeptide of type I collagen. *Heart Vessels.* 2017; 32(2): 149-156
- 3) Hashimoto N, Arimoto T, Narumi T, Iwayama T, Kutsuzawa D, Ishigaki D, Kumagai YU, Tamura H, Nishiyama S, Takahashi H, Shishido T, Miyamoto T, Watanabe T, Kubota I: The Neutrophil-to-Lymphocyte Ratio Predicts All-Cause Mortality in Patients with Implantable Cardioverter Defibrillators. *Pacing Clin Electrophysiol.* 2017 ; 40(2) : 135-144
- 4) Otaki Y, Watanabe T, Kinoshita D, Yokoyama M, Takahashi T, Toshima T, Sugai T, Murase T^{**}, Nakamura T^{**}, Nishiyama S, Takahashi H, Arimoto T, Shishido T, Miyamoto T, Kubota I: Association of plasma xanthine oxidoreductase activity with severity and clinical outcome in patients with chronic heart failure. *Int J Cardiol.* 2017 ; 228 : 151-157
- 5) Inoue S, Shibata Y, Kishi H, Nitobe J^{**}, Iwayama T, Yashiro Y, Nemoto T, Sato K, Sato M, Kimura T, Igarashi A, Tokairin Y, Kubota I: Decreased left ventricular stroke volume is associated with low-grade exercise tolerance in patients with chronic obstructive pulmonary disease. *BMJ Open Respir Res.* 2017; 4(1): e000158
- 6) 宍戸哲郎: ミッドカインの新しい役割—心腎連関調節機構に関して. *週刊 医学のあゆみ.* 2017 ; 260(4) : 312-313

(2) 総説及び解説

- 1) 今田恒夫: 無症候性血尿・蛋白尿(家族性良性血尿). *腎疾患・透析最新の治療.* 2017; 2017-2019: 124-126
- 2) 柴田陽光, 佐藤建人, 井上純人: 血清鉄低値は呼吸機能低下の原因なのか?. *別冊 BIO Clinica.* 2017 ; 6(1) 呼吸器疾患と慢性炎症 : 101-105

(3) 症例報告

- 1) 水戸琢章, 宍戸哲郎, 宮本卓也, 小林祐太, 須貝孝幸, 渡邊哲, 須藤文, 久保田功: 早期心筋虚血の診断にHBF染色が有用であった1剖検例. *日本内科学会東北地方会誌.* 2017; 29(1): 34
- 2) 立花紳吾, 新関武史, 北原辰郎, 石野光則, 竹村昭宣, 池野栄一郎, 久保田功: 長距離走の後に心肺停止になったが、救命に成功し社会復帰することができた1症例. *日本内科学会東北地方会誌.* 2017; 29(1): 34
- 3) 太田隆仁, 五十嵐朗, 井上純人, 柴田陽光, 久保田功, 東海林佳兼: メボリズムが著効した気管支喘息と慢性好酸球性肺炎ノ1例. *日本内科学会東北地方会誌.* 2017; 29(1): 45
- 4) 藤田耕太郎, 市川一誠, 近壮一朗, 渡部紗由美, 荒海光良, 亀井啓太, 佐藤紘子, 今田恒夫, 久保田功: 肺胞出血を合併し血漿交換を行ったIgA血管炎の1例. *日本内科学会東北地方会誌.* 2017; 29(1): 51

(4) 著 書

- 1) Shibata Y: Epidemiology of COPD: Why Is the Disease So Poorly Recognized?. *Chronic Obstructive Pulmonary Disease.* Berlin; Springer, 2017: 17-28

(5) そ の 他

- 1) Sugai T, Watanabe T, Toshima T, Takahashi T, Kinoshita D, Yokoyama M, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyamoto T, Kubota I: Aspartate Aminotransferase-Lymphocyte Ratio Index (ALRI) predicts Major Advers Cardiac Events in Patients with Heart Failure. *第81回日本循環器学会学術集会抄録.* 2017: 166

- 2) Toshima T, Wanezaki M, Watanabe T, Nishiyama S, Tamura H, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Yamanaka T, Miyamoto T, Konta T, Kubota I : Characteristics of Patients with Acute Myocardial Infarction Showing Atypical Presentation. 第81回日本循環器学会学術集会抄録. 2017: 207
- 3) Watanabe T, Kubota I, Iwayama T, Yashiyo Y, Noguchi T, Ohishi M, Tsutsui H, Kawasaki T, Furukawa Y, Yoshimura M, Morita H, Nakao Y, Nishimura K, Higashi M, Miyamoto Y, Naitoh H, Yasuda S : Gender Differences in the Impact of Hyper-uricemia in Coronary Artery Calcification: Sub-analysis of the NADESICO Study. 第81回日本循環器学会学術集会抄録. 2017: 207
- 4) Yokoyama M, Watanabe t, Ohtaki Y, Nishiyama S, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyamoto T, Kubota I : Elevated Platelet to Lymphocyte Ratio Predicts Poor Prognosis in Patients with Peripheral Artery Disease after Endovascular Therapy. 第81回日本循環器学会学術集会抄録. 2017: 224
- 5) 熊谷遊, 岩山忠輝, 有本貴範, 沓澤大輔, 高橋大, 宍戸哲郎, 山中多聞, 宮本卓也, 渡邊哲, 久保田功 : Batrial Volume Predicts Atrial Fibrillation Recurrence after Pulmonary Vein Isolation. 第81回日本循環器学会学術集会抄録. 2017: 232
- 6) 高橋徹也, 渡邊哲, 宍戸哲郎, 須貝孝幸, 豊島拓, 横山美雪, 木下大資, 西山悟史, 高橋大, 有本貴範, 宮本卓也, 久保田功: The U-shaped Relationship between Physical Activity and Cardiovascular Mortality in Japanese General Population. 第81回日本循環器学会学術集会抄録. 2017: 237
- 7) Takahashi T, Watanabe T, Shishido T, Sugai T, Toshima T, Yokoyama M, Kinoshita D, Nishiyama S, Takahashi H, Arimoto T, Miyamoto T, Kubota I: Serum Iron Levels Predict Cardiovascular Mortality in General Population. 第81回日本循環器学会学術集会抄録. 2017: 226
- 8) 橋本直土, 田村晴俊, 渡邊哲, 和根崎真大, 西山悟史, 岩山忠輝, 高橋大, 有本貴範, 宍戸哲郎, 山中多聞, 宮本卓也, 久保田功: Decreased Left Atrial Appendage Wall Motion Velocity Predisposes to Recurrence of Atrial Fibrillation after Catheter Ablation. 第81回日本循環器学会学術集会抄録. 2017: 286
- 9) Hashimoto Naoaki, Arimoto T, Iwayama T, Kumagai Y, Kutsuzawa D, Watanabe T, Kubota I: Plasma von Willebrand Factor Predict Coagulation Activity in the Left Atrium and outcome of Atrial Fibrillation Ablation. 第81回日本循環器学会学術集会抄録. 2017: 276
- 10) 木下大資, 宍戸哲郎, 須貝孝幸, 豊島拓, 高橋徹也, 横山美雪, 西山悟史, 高橋大, 有本貴範, 宮本卓也, 渡邊哲, 久保田功: Plasma Decorin is a Feasible Predictor in Patients With Chronic Heart Failure. 第81回日本循環器学会学術集会抄録. 2017: 346
- 11) Toshima T, Nishiyama S, Wanezaki M, Tamura H, Takahashi H, Watanabe T: The Relationship between Risk Factor and Onset Time of Acute Myocardial Infarction. 第81回日本循環器学会学術集会抄録. 2017: 336
- 12) 宍戸哲郎: Role of Nuclear HMGB1 against Failing Heart. 第81回日本循環器学会学術集会抄録. 2017: 427
- 13) Yokoyama M, Watanabe T, Sugawara S, Matsui M, Ikeno E, Hirono O, Ando K, Daidoji H, Ohtaki Y, Yshiro Y, Nishiyama S, Arimoto T, takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Kubota I: Impact of Changes in Eicosapentaenoic Acid/Arachidonic Acid (EPA/AA) Ratio on Coronary Atheroma Volume under EPA Therapy. 第81回日本循環器学会学術集会抄録. 2017: 443
- 14) 柴田陽光: 一般住民では、喫煙による呼吸機能の悪化でどれぐらいの健康被害がもたらされるのか。総合健診. 2017; 44(1): 178
- 15) 柴田陽光: COPD 大規模住民0次コホート研究の現状と展望. COPD Selected Papers. 2017; 8(1): 18
- 16) 有本貴範, 岩山忠輝, 沓澤大輔, 熊谷遊, 渡邊哲, 久保田功: 正しい診断書で1年7ヶ月の運転停止になった1例とそうでない記載で1年後に許可された1例. 第9回植え込みデバイス関連冬季大会プログラム/抄録. 2017: 211
- 17) 五十嵐朗, 峯岸幸博, 古山広大, 梁秀鼎, 中野寛之, 佐藤建人, 佐藤正道, 根本貴子, 布宮慶子, 西脇道子, 木村友美, 山内啓子, 東海林佳兼, 井上純人, 柴田陽光, 久保田功: 術前の強制オシレーション法パラメータは周術期呼吸器合併症を予測可能か?. 第13回 MostGraph 臨床研究会 プログラム. 2017: 9
- 18) 杉山斎, 今田恒夫: 腎炎・ネフローゼ症候群のリハビリテーション. 第7回日本腎臓リハビリテーション学会 学術集会・プログラム・抄録集. 2017

- 19) 高橋鴻志, 五十嵐朗, 井上純人, 峯岸幸博, 古山広大, 梁秀鼎, 中野寛之, 佐藤建人, 佐藤正道, 根本貴子, 西脇道子, 木村友美, 山内啓子, 東海林佳兼, 柴田陽光, 久保田功: 急性骨髄性白血病を合併した前縦隔腫瘍の1例. 第104回日本呼吸器学会東北地方会・第134回日本結核病学会東北支部学会・第11回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会東北支部会講演プログラム・抄録集. 2017: 23
- 20) 今田恒夫, 亀井啓太, 守山敏樹, 柴垣有吾, 笠原正登, 成田一衛, 藤本昭一, 井関邦敏, 山縣邦弘, 鶴屋和彦, 近藤正英, 旭浩一, 渡辺毅: 特定健診データベースからみた高尿酸血症の頻度と関連因子. 第50回日本痛風・核酸代謝学会総会プログラム抄録集. 2017: 150

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 宍戸哲郎: Role of Nuclear HMGB1 against Failing Heart. 第81回日本循環器学会学術集会, 金沢; 2017年3月

ii 一般演題

- 1) 柴田陽光: 一般住民では、喫煙による呼吸機能の悪化でどれぐらいの健康被害がもたらされるのか. 日本総合健診医学会第45回大会, 千葉; 2017年1月
- 2) 今田恒夫, 亀井啓太, 守山敏樹, 柴垣有吾, 笠原正登, 成田一衛: 特定健診データベースからみた高尿酸血症の頻度と関連因子. 第50回日本痛風・核酸代謝学会総会, 東京; 2017年2月
- 3) 杉山斉, 今田恒夫: 腎炎・ネフローゼ症候群のリハビリテーション. 第7回日本腎臓リハビリテーション学会 学術集会, つくば; 2017年2月
- 4) Sugai T, Watanabe T, Toshima T, Takahashi T, Kinoshita D, Yokoyama M, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyamoto T, Kubota I: Aspartate Aminotransferase-Lymphocyte Ratio Index (ALRI) predicts Major Advers Cardiac Events in Patients with Heart Failure. 第81回日本循環器学会学術集会, 金沢; 2017年3月
- 5) Toshima T, Wanezaki M, Watanabe T, Nishiyama S, Tamura H, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Yamanaka T, Miyamoto T, Konta T, Kubota I: Characteristics of Patients with Acute Myocardial Infarction Showing Atypical Presentation. 第81回日本循環器学会学術集会, 金沢; 2017年3月
- 6) Watanabe T, Isao K, Iwayama T, Yashiyo Y, Noguchi T, Ohishi M, Tsutsui H, Kawasaki T, Furukawa Y, Yoshimura M, Morita H, Nakao Y, Nishimura K, Higashi M, Miyamoto T, Naitoh H, Yasuda S: Gender Differences in the Impact of Hyper-uricemia in Coronary Artery Calcification: Sub-analysis of the NADESICO Study. 第81回日本循環器学会学術集会, 金沢; 2017年3月
- 7) Takahashi T, Watanabe T, Shishido T, Sugai T, Toshima T, Yokoyama M, Kinoshita D, Nishiyama S, Takahashi H, Arimoto T, Miyamoto T, Kubota I: Serum Iron Levels Predict Cardiovascular Mortality in General Population. 第81回日本循環器学会学術集会, 金沢; 2017年3月
- 8) Yokoyama M, Watanabe t, Ohtaki Y, Nishiyama S, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyamoto T, Kubota I: Elevated Platelet to Lymphocyte Ratio Predicts Poor Prognosis in Patietients with Peripheral Artery Disease after Endovascular Therapy. 第81回日本循環器学会学術集会, 金沢; 2017年3月
- 9) Hashimoto Naoaki, Arimoto T, Iwayama T, Kumagai Y, Kutsuzawa D, Watanabe T, Kubota I: Plasma von Willebrand Factor Predict Coagulation Activity in the Left Atrium and outcome of Atrial Fibrillation Ablation. 第81回日本循環器学会学術集会, 金沢; 2017年3月
- 10) Toshima T, Nishiyama S, Wanezaki M, Tamura H, Takahashi H, Watanabe T: The Relationship between Risk Factor and Onset Time of Acute Myocardial Infarction. 第81回日本循環器学会学術集会, 金沢; 2017年3月
- 11) 熊谷遊, 岩山忠輝, 有本貴範, 杏澤大輔, 高橋大, 宍戸哲郎, 山中多聞, 宮本卓也, 渡邊哲, 久保田功: Biatrial Volume Predicts Atrial Fibrillation Recurrence after Pulmonary Vein Isolation. 第81回日本循環器学会学術集会, 金沢; 2017年3月
- 12) 高橋徹也, 渡邊哲, 宍戸哲郎, 須貝孝幸, 豊島拓, 横山美雪, 木下大資, 西山悟史, 高橋大, 有本貴範,

宮本卓也, 久保田功: The U-shaped Relationship between Physical Activity and Cardiovascular Mortality in Japanese General Population. 第81回日本循環器学会学術集会, 金沢; 2017年3月

- 13) 橋本直土, 田村晴俊, 渡邊哲, 和根崎真大, 西山悟史, 岩山忠輝, 高橋大, 有本貴範, 宍戸哲郎, 山中多聞, 宮本卓也, 久保田功: Decreased Left Atrial Appendage Wall Motion Velocity Predisposes to Recurrence of Atrial Fibrillation after Catheter Ablation. 第81回日本循環器学会学術集会, 金沢; 2017年3月
- 14) 木下大資, 宍戸哲郎, 須貝孝幸, 豊島拓, 高橋徹也, 横山美雪, 西山悟史, 高橋大, 有本貴範, 宮本卓也, 渡邊哲, 久保田功: Plasma Decorin is a Feasible Predictor in Patients With Chronic Heart Failure. 第81回日本循環器学会学術集会, 金沢; 2017年3月
- 15) Yokoyama M, Watanabe T, Sugawara S, Matsui M, Ikeno E, Hirono O, Ando K, Daidoji H, Ohtaki Y, Yshiro Y, Nishiyama S, Arimoto T, takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Miyamoto T, Kubota I: Impact of Changes in Eicosapentaenoic Acid/Arachidonic Acid (EPA/AA) Ratio on Coronary Atheroma Volume under EPA Therap. 第81回日本循環器学会学術集会, 金沢; 2017年3月

(2) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 高橋鴻志, 五十嵐朗, 井上純人, 峯岸幸博, 古山広大, 梁秀鼎, 中野寛之, 佐藤建人, 佐藤正道, 根本貴子, 西脇道子, 木村友美, 山内啓子, 東海林佳兼, 柴田陽光, 久保田功: 急性骨髄性白血病を合併した前縦隔腫瘍の1例. 第104回日本呼吸器学会東北地方会・第134回日本結核病学会東北支部学会・第11回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会東北支部会, 仙台; 2017年3月

(3) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 柴田陽光: COPD articles: Year in review 2016 Pathophysiology. 第10回ディスカバリー-COPD研究会, 東京; 2017年1月
- 2) 今田恒夫: 地域住民健診からみた尿酸の臨床的意義～高島研究からの故草津～. トピロリック インターネット シンポジウム, 山形; 2017年1月
- 3) 渡邊哲: 冠動脈疾患症例の高尿酸血症治療戦略. CIBA Cardiovascular & Hyperuricemia Seminar, 千葉; 2017年2月
- 4) 柴田陽光: 山形高島研究から理解された一般住民における気流閉塞のインパクトと、呼吸不全死のインパクトと呼吸不全死の予測因子. 第38回 南大阪呼吸器レクチャー, 大阪; 2017年2月
- 5) 市川一誠: 多発性嚢胞腎の診断. 大塚製薬(株)社内勉強会, 山形; 2017年2月
- 6) 有本貴範: 心房細動治療に関する最新の知見. 石巻循環器セミナー, 石巻; 2017年2月
- 7) 井上純人: 呼吸器疾患における咳を考える. 第12回山形臨床耳鼻科医会, 山形; 2017年2月
- 8) 高橋大: Leave the appropriate thing behind～Zilver PTX 留置が望ましい症例像を明確にするための検討～. 三重PTX症例検討会, 三重; 2017年2月
- 9) 渡邊哲: 心房細動と脳梗塞. 脳卒中再発予防を考える会, 山形; 2017年2月
- 10) 今田恒夫: 高尿酸血症は心血管病のリスク因子となりうるか?～地域住民健診における尿酸の臨床的意義～. 山形高尿酸血症ドクターズミーティング, 山形; 2017年3月
- 11) 高橋大: 末梢動脈疾患 (PAD)に対するカテーテル治療のさらなる進歩とPAD啓蒙の重要性～合併する2型糖尿病治療やフットケアのポイントも含めて～. 第177回 新庄最上臨床懇話会, 山形; 2017年3月
- 12) 今田恒夫: 高尿酸血症は心血管病のリスク因子となりうるか?～地域住民健診における尿酸の臨床的意義～. 高尿酸血症治療セミナー in 盛岡, 盛岡; 2017年3月
- 13) 渡邊哲: 山形県心筋梗塞発症登録評価研究事業の現状について. 第3回チーム岩手で考える, 盛岡; 2017年3月
- 14) 柴田陽光: 山形高島研究から得られた呼吸器疾患の知見. Scientific Exchange Meeting in Tokyo, 東京; 2017年3月

ii 一般演題

- 1) 井上純人: 分子標的薬の副作用マネジメントへの取り組み. ErbB Family Blocker Expert Meeting, 仙台; 2017年1月

- 2) 近壮一朗：DDAVP を使用し治療を行った水中毒の2例。山形臨床水・電解質研究会，山形；2017年1月
- 3) 高橋大：Leava the appropriate thing behind～Zilver PTX 留置が望ましい症例像を明確にするための検討～。PTX 特別講演会 in 福島，福島；2017年1月
- 4) 高橋大：フォシーガしばらく使ってみました、安全でした。第3回循環器医のための最新治療勉強会，山形；2017年2月
- 5) 宮本卓也：虚血性心疾患（心筋梗塞・狭心症）の診断と治療。アステラス製薬社内研修会，山形；2017年2月
- 6) 高橋大：末梢動脈から全身の動脈硬化を診る～最近の冠動脈・末梢動脈のカテーテル治療の進歩～。第2回山形動脈硬化セミナー，山形；2017年2月
- 7) 有本貴範：実例から学ぶ心房細動マネージメント。Thrombosis Expert Seminar in Yamagata，山形；2017年2月
- 8) 柴田陽光：術前の強制オシレーション法パラメータは周術期呼吸器合併症を予測可能か？。第13回 MostGraph 臨床研究会，名古屋；2017年2月
- 9) 五十嵐朗：術前の強制オシレーション法パラメータは周術期呼吸器合併症を予測可能か？。第13回 MostGraph 臨床研究会，名古屋；2017年2月
- 10) 亀井啓太：健診受診者における血清尿酸と腎障害・脳卒中発症・生命予後の関連。痛風・高尿酸血症サミット IN 山形，山形；2017年2月
- 11) 高橋大：PCI 後の抗血栓療法。大塚製薬（株）社内勉強会，山形；2017年2月
- 12) 有本貴範：どんな患者に心房細動アブレーションを行うか。新庄・最上循環器セミナー，山形；2017年2月
- 13) 田村晴俊：大動脈弁狭窄症の診かたとカテーテル的治療。第52回山形県超音波検査研究会研修会 企業セミナー，山形；2017年2月
- 14) 市川一誠：手のこわばりを主訴に来院し SAPHO 症候群の診断に至った症例。やらんなネット懇話会，山形；2017年3月
- 15) 沓澤大輔：最新の心房細動治療について考える。心房細動ファーマシーセミナー in 朝日町，山形；2017年3月
- 16) 中野寛之：吸入指導の取り組み。第3回やまがた医療連携吸入指導勉強会，山形；2017年3月
- 17) 佐藤紘子：当科におけるリウマチ治療の現状。第34回山形リウマチ研究会，山形；2017年3月
- 18) 高橋大：EVT 領域における最新治療。テルモ社内講演会，山形；2017年3月

(4) 座 長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 今田恒夫：関節リウマチにおける TNF 阻害薬の使い分け。Biologics Users' Meeting in YAMAGATA，山形；2017年1月
- 2) 今田恒夫：糖尿病性腎症の最近の話題。第5回 Cross Talk Conference～CKD と糖尿病～，山形；2017年1月
- 3) 柴田陽光：ニボルマブの使用経験から見てきた課題と今後の期待～可能性を最大限高めるために～。オプジーボ肺癌効能追加 1周年記念講演会～癌治療のパラダイムシフトと副作用マネージメント～，山形；2017年1月
- 4) 渡邊哲：自律神経と不整脈。第10回山形不整脈薬物療法講演会，山形；2017年2月
- 5) 今田恒夫：CDK とサルコペニア・フレイル対策。第7回日本腎臓リハビリテーション学会 学術集会，つくば；2017年2月
- 6) 今田恒夫：健診受診者における血清尿酸と腎障害・脳卒中発症・生命予後の関連/高尿酸血症と臓器障害。痛風・高尿酸血症サミット IN 山形，山形；2017年2月
- 7) 柴田陽光：COPD 治療 up TO DATE。第3回やまがた医療連携吸入指導勉強会，山形；2017年3月
- 8) 柴田陽光：進歩する肺癌治療～新しいパラダイム～。サイラムザ肺癌治療講演会，山形；2017年3月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 柴田陽光：喘息治療の現状と残された課題・ICS/LABA 配合剤による喘息コントロールの向上・フルティフォームの実臨床における使用感。喘息治療エリアミーティング 2017 in 山形，山形；2017年3月

iii 一般演題

- 1) 渡邊哲：フォシーガしばらく使ってみました、安全でした・実地医家における SGLT2 阻害剤の期待と使用経験～1 次予防・2 次予防患者への症例をふまえて～. 第 3 回循環器医のための最新治療勉強会, 山形; 2017 年 1 月
- 2) 渡邊哲：北里スタイル OCT ガイド PCI. Blood vessels protection for Diabetic patients, 山形; 2017 年 2 月
- 3) 渡邊哲：スタチン治療の残余リスクに対するアプローチ/PCSK9 阻害剤を投与すべき患者像について/二次予防患者での積極的 LDL 管理が必要な患者像. 山形 PCI Expert Seminar, 山形; 2017 年 2 月
- 4) 柴田陽光：ドライバー遺伝子変異検査法の現状と未来. Scientific Exchange Meeting in Yamagata, 山形; 2017 年 2 月
- 5) 井上純人：Lung cancer Hot Topics～肺癌治療 今後の展望～. Scientific Exchange Meeting in Yamagata, 山形; 2017 年 2 月
- 6) 有本貴範：糖尿病を合併した虚血性心疾患における MIBI 投与時の味覚と心筋リスク. 第 22 回山形心臓核医学懇話会, 山形; 2017 年 3 月
- 7) 市川一誠：当科におけるリウマチ治療の現状. 第 34 回山形リウマチ研究会, 山形; 2017 年 3 月
- 8) 今田恒夫：自己炎症疾患の診断と治療. 第 34 回山形リウマチ研究会, 山形; 2017 年 3 月
- 9) 柴田陽光：呼吸器健診研修並びに肺がん患者の症例検討. 呼吸器健診研修会並びに肺がん患者の症例検討会, 山形; 2017 年 3 月
- 10) 井上純人：サイラムザの症例の症例報告. サイラムザ肺癌治療講演会, 山形; 2017 年 3 月

(5) その他

- 1) 井上純人：喘息とのつきあい方. 市民公開講座 アレルギーは怖くない, 山形; 2017 年 2 月
- 2) 山中多聞：カテ室コメンテーター・症例検討ディスカッサー. COT Hands-on Workshop in YAMAGATA, 山形; 2017 年 3 月
- 3) 高橋大：コメンテーター 症例検討及びカテーテル治療の実技. 日本海 EVT Conference 2017, 山形; 2017 年 3 月

3. 学会等での受賞

- 1) 新関武史：Young Investigator's Award 優秀演題賞『側枝に抜けたワイヤーを本幹に誘導するのに難渋した LAD CTO の一症例について』（症例検討部門）. 第 41 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会, 仙台; 2017 年 1 月

内科学第一講座（循環器内科学分野・呼吸器内科学分野・腎臓内科学分野）

1. 論 文

(1) 原 著

- 1) Kadowaki S**, Watanabe T, Otaki Y, Narumi T, Honda Y**, Takahashi H, Arimoto T, Shishido T, Miyamoto T, Kubota I: The clinical and pathological. *World Journal of Cardiology*. 2017; 9(5) : 457-465
- 2) Nemoto T, Shibata Y, Inoue S, Igarashi A, Tokairin Y, Yamauchi K, Kimura T, Sato M, Sato K, Nakano H, Abe S**, Nishiwaki M, Kobayashi M, Yang S, Minegishi Y, Furuyama K, Machida H, Kubota I: MafB silencing in macrophages does not influence the initiation and growth of lung cancer induced by urethane. *EXCLI J*. 2017; 16: 914-920
- 3) Honda Y**, Watanabe T, Shibata Y, Otaki Y, Kadowaki S**, Narumi T, Takahashi T, Kinoshita D, Yokoyama M, Nishiyama S, Takahashi H, Arimoto T, Shishido T, Inoue S, Miyamoto T, Konta T, Kawasaki R*, Daimon M**, Kato T**, Ueno Y*, Kayama T*, Kubota I: Impact of restrictive lung disorder on cardiovascular mortality in a general population: The Yamagata (Takahata) study. *Int J Cardiol*. 2017; 241: 395-400
- 4) Watanabe T, Ando K**, Daidoji H**, Otaki Y, Sugawara S**, Matsui M**, Ikeno E**, Hirono O**, Miyawaki H**, Yashiro Y**, Nishiyama S, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T**, Miyamoto T, Kubota I: A randomized controlled trial of eicosapentaenoic acid in patients with coronary heart disease on statins. *J Cardiol*. 2017; 70(6): 537-544
- 5) Yokoyama M, Watanabe T, Otaki Y, Watanabe K, Tushima T, Sugai T, Takahashi T, Kinoshita D, Tamura H, Nishiyama S, Takahashi H, Arimoto T, Shishido T, Yamauchi S, Yamanaka T, Miyamoto T, Kubota I: Impact of Objective Malnutrition Status on the Clinical Outcomes in Patients With Peripheral Artery Disease Following Endovascular Therapy. *Circ J*. 2018; 82(3): 847-856
- 6) Kamei K**, Konta T, Hirayama A**, Ichikawa K, Kubota I, Fujimoto S**, Iseki K**, Moriyama T**, Yamagata K**, Tsuruya K**, Narita I**, Kondo M**, Shibagaki Y**, Kasahara M**, Asahi K**, Watanabe T**: Associations between serum uric acid levels and the incidence of nonfatal stroke: a nationwide community-based cohort study. *Clin Exp Nephrol*. 2017; 21(3): 497-503
- 7) Honda Y**, Watanabe T, Otaki Y, Tamura H, Nishiyama S, Takahashi H, Arimoto T, Shishido T, Miyamoto T, Shibata Y, Konta T, Kawasaki R*, Daimon M**, Ueno Y*, Kato T**, Kayama T*, Kubota I: Gender differences in the impact of anemia on subclinical myocardial damage and cardiovascular mortality in the general population: The Yamagata (Takahata) study. *Int J Cardiol*. 2018; 252: 207-212
- 8) Sato M, Shibata Y, Inoue S, Igarashi A, Tokairin Y, Yamauchi K, Kimura T, Nemoto T, Sato K, Nakano H, Abe S**, Nishiwaki M, Kobayashi M, Yang S, Minegishi Y, Furuyama K, Kubota I: MafB enhances efferocytosis in RAW264.7 macrophages by regulating Axl expression. *Immunobiology*. 2018; 223(1): 94-100
- 9) Konta T, Kamei K**, Ichikawa K, Kayama T*, Kubota I: The Association between Serum Uric Acid and Renal Damage: The Takahata Study-New Insights. *Contrib Nephrol*. 2018; 192: 34-40
- 10) Ichikawa K, Konta T, Sato H**, Ueda Y**, Yokoyama H**: The clinical and pathological characteristics of nephropathies in connective tissue diseases in the Japan Renal Biopsy Registry (J-RBR). *Clin Exp Nephrol*. 2017; 21(6): 1024-1029 B
- 11) Machida H, Shibata Y, Inoue S, Igarashi A, Tokairin Y, Yamauchi K, Kimura T, Sato K, Nakano H, Nishiwaki M, Kobayashi M, Yang S, Minegishi Y, Furuyama K, Yamamoto T, Watanabe T, Konta T, Ueno Y*, Kato T**, Kayama T*, Kubota I: Prevalence of diabetes mellitus in individuals with airflow obstruction in a Japanese general population: The Yamagata-Takahata Study. *Respir Investig*. 2018;

56(1): 34-39

12) 邨野浩義, 井上純人, 東海林佳兼, 五十嵐朗, 柴田陽光, 久保田功: 肺扁平上皮癌の経過中にアガリクスによる薬剤性肺障害を発症した1例. 日本呼吸器学会誌. 2017; 6(3): 186-189

13) 近壮一郎, 井上純人, 五十嵐朗, 東海林佳兼, 柴田陽光, 久保田功: 家族性地中海熱の経過中に悪性胸膜中飛腫を発症した1例. 日本呼吸器学会誌. 2017; 6(3): 195-199

(2) 総説及び解説

1) 今田恒夫: よくわかる!慢性腎臓病の定義と分類. 健康生活マガジン「健康一番」けんいち. 2017; 4: 38-43

2) 今田恒夫: 他科エキスパートが教える 産婦人科医のための合併症管理 6. 腎機能異常. 産科と産婦人科. 2017; 84(6): 683-687

3) 柴田陽光: 特集「重症喘息—基礎から臨床まで—」喘息重症化因子 4. 喫煙 (Asthma-COPD Overlap). 最新医学. 2017; 72(7): 50-56

4) Otaki Y, Watanabe T, Kubota I: Heart-type fatty acid-binding protein in cardiovascular disease: A systemic review. Clinica Chimica Acta. 2017; 474: 44-53

5) 今田恒夫: 高尿酸血症は心血管病のリスク因子となりうるか?. 山形県医師会学術雑誌. 2017; 53: 1-4

(3) 著書

1) 渡邊哲, 豊島拓: 大重脈弁狭窄症の新しい治療標的—microRNA 解析—. BIO Clinica. 東京;北隆館, 2017: 46-49

(4) その他

1) 渡邊哲: 心臓病「心不全 高齢化に伴い患者増」・急性心筋梗塞「山形では夏に少なく冬に多い」・弁膜症—開胸せず弁置換術も登場—・心房細動—投薬治療から根治の手術—. 朝日新聞山形県版. 2017

2) 今田恒夫, 近壮一郎, 荒海光良, 渡部紗由美, 樺澤麻美, 亀井啓太, 佐藤紘子, 市川一誠, 久保田功: IgA腎症における腎指標・腎組織病変と尿中microRNAの関連. 日本腎臓学会誌. 2017; 59(3): 264

3) 亀井啓太, 近壮一郎, 市川一誠, 今田恒夫, 藤本昭一, 井関邦敏, 守山敏樹, 山縣邦弘, 鶴屋和彦, 成田一衛, 近藤正英, 笠原正登, 柴垣有吾, 旭浩一, 渡辺毅: CKDをもつ地域住民における血清尿酸値と生命予後の関連. 日本腎臓学会誌. 2017; 59(3): 266

4) 佐藤祐二, 藤本昭一, 今田恒夫, 井関邦敏, 守山敏樹, 山縣邦弘, 鶴屋和彦, 成田一衛, 近藤正英, 笠原正登, 柴垣有吾, 旭浩一, 渡辺毅: 新しい体格指標である ABSI は日本人の男性では死亡を予測するが、CKD女性では予測しない. 日本腎臓学会誌. 2017; 59(3): 371

5) 宮本卓也, 山中多聞, 水戸琢章, 熊谷遊, 横山美雪, 和根崎真大, 大瀧陽一郎, 田村晴俊, 西山悟史, 高橋大, 有本貴範, 宍戸哲郎, 渡邊哲, 久保田功: 責任病変の同定が困難で2枝同時PCIを要した周術期心筋梗塞の1症例. 第164回日本循環器学会東北地方会プログラム. 2017: 57

6) 須貝孝幸, 高橋大, 横山美雪, 大瀧陽一郎, 西山悟史, 有本貴範, 宍戸哲郎, 宮本卓也, 渡邊哲, 久保田功: 腸腰筋CT値の低下は末梢動脈疾患患者の予後を予測する. 第164回日本循環器学会東北地方会プログラム. 2017: 47

7) 渡部賢, 渡邊哲, 田村晴俊, 西山悟史, 高橋大, 有本貴範, 宍戸哲郎, 山内聡, 山中多聞, 宮本卓也, 久保田功: 冠動脈疾患の合併が大動脈瘤患者の予後に与える影響の検討. 第164回日本循環器学会東北地方会プログラム. 2017: 51

8) 佐藤正道, 柴田陽光, 井上純人, 五十嵐朗, 東海林佳兼, 山内啓子, 木村友美, 根本貴子, 佐藤建人, 中野寛之, 梁秀鼎, 古山広大, 峯岸幸博, 久保田功: 下気道感染症患者における血清LYVE1濃度の解析. 日本呼吸器学会誌. 2017; 6 (増刊号 第57回日本呼吸器学会学術講演会プログラム): 141

9) 佐藤建人, 古山広大, 峯岸幸博, 梁秀鼎, 中野寛之, 佐藤正道, 根本貴子, 木村友美, 山内啓子, 五十嵐朗, 東海林佳兼, 井上純人, 柴田陽光, 久保田功: 非小細胞肺癌における病期と血清ヘプシジンとの関連. 日本呼吸器学会誌. 2017; 6 (増刊号 第57回日本呼吸器学会学術講演会プログラム): 157

10) 中野寛之, 井上純人, 五十嵐朗, 東海林佳兼, 山内啓子, 木村友美, 根本貴子, 佐藤正道, 佐藤建人, 梁秀鼎, 古山広大, 峯岸幸博, 八木橋崇仁, 久保田功, 柴田陽光: 血清E-selectin濃度と炎症性肺疾患の予後との関連について. 日本呼吸器学会誌. 2017; 6 (増刊号 第57回日本呼吸器学会学術講演会プログラム): 168

- 11) 佐藤建人, 古山広大, 峯岸幸博, 梁秀鼎, 中野寛之, 佐藤正道, 根本貴子, 木村友美, 山内啓子, 五十嵐朗, 東海林佳兼, 井上純人, 柴田陽光, 久保田功: COPD 増悪時の予後とシスタチンC との関連. 日本呼吸器学会誌. 2017 ; 6 (増刊号 第 57 回日本呼吸器学会学術講演会プログラム) : 256
- 12) 峯岸幸博, 井上純人, 佐藤建人, 佐藤正道, 根本貴子, 木村友美, 山内啓子, 五十嵐朗, 東海林佳兼, 柴田陽光: 肺炎患者における日常生活動作レベル低下の予測因子の検討. 日本呼吸器学会誌. 2017 ; 6 (増刊号 第 57 回日本呼吸器学会学術講演会プログラム) : 266
- 13) 佐藤建人, 古山広大, 峯岸幸博, 梁秀鼎, 中野寛之, 佐藤正道, 根本貴子, 木村友美, 山内啓子, 五十嵐朗, 東海林佳兼, 井上純人, 柴田陽光, 久保田功: 鉄欠乏状態下での喫煙曝露の影響についての検討. 日本呼吸器学会誌. 2017 ; 6 (増刊号 第 57 回日本呼吸器学会学術講演会プログラム) : 241
- 14) 梁秀鼎, 井上純人, 布宮慶子, 佐藤建人, 佐藤正道, 五十嵐朗, 柴田陽光: 吸入指導における吸入デバイスと吸入手技の評価. 日本呼吸器学会誌. 2017 ; 6 (増刊号 第 57 回日本呼吸器学会学術講演会プログラム) : 406
- 15) Kon S, Konta T, Kamei K, Ichikawa K, Kubota I : THE ASSOCIATION BETWEEN RENAL PARAMETERS AND URINARY MICRORNAS IN PATIENTS WITH IGA NEPHROPATHY. Nephrol Dial Transplant. 2017 ; 32(Suppl. _3) : III542
- 16) Kamei K, Kon S, Ichikawa K, Konta T, Kubota I, Fujimoto S, Iseki K, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K : THE ASSOCIATION BETWEEN SERUM URIC ACID AND MORARITY IN THE CKD POPURATION : A LONGITUDINAL SURVEY OF A NATIONWIDE COHORT IN JAPAN. Nephrol Dial Transplant. 2017 ; 32(Suppl. _3) : III573-III574
- 17) 大瀧陽一郎, 宮本卓也, 山浦玄斎, 和根崎真大, 沓澤大輔, 田村晴俊, 西山悟史, 高橋大, 有本貴範, 宍戸哲郎, 山中多聞, 渡邊哲, 久保田功: 経皮的冠動脈形成術によるバルサルバ洞解離から 1 年後に上行大動脈解離を来した 1 例. 第 164 回日本循環器学会東北地方会プログラム. 2017 : 51
- 18) 須貝孝幸, 高橋大, 横山美雪, 大瀧陽一郎, 西山悟史, 有本貴範, 宍戸哲郎, 宮本卓也, 渡邊哲, 久保田功: 腸腰筋 CT 値の低下は末梢動脈疾患患者の予後を予測する. 第 164 回日本循環器学会東北地方会プログラム・抄録集. 2017 : 47
- 19) 渡部賢, 渡邊哲, 田村晴俊, 西山悟史, 高橋大, 有本貴範, 宍戸哲郎, 山内聡, 山中多聞, 宮本卓也, 久保田功: 冠動脈疾患の合併が大動脈瘤患者の予後に与える影響の検討. 第 164 回日本循環器学会東北地方会プログラム・抄録集. 2017 : 51
- 20) 鈴木貴也, 亀井啓太, 近壮一朗, 荒海光良, 渡部紗由美, 樺澤麻美, 佐藤紘子, 市川一誠, 今田恒夫, 久保田功: SLE に伴う肺動脈性肺高血圧症の 1 例. 日本内科学会東北地方会誌. 2017 ; 29(2) : 26
- 21) 齋藤悠司, 有本貴範, 渡邊哲, 久保田功, 禰津俊介, 本田晋太郎, 菊池章洋, 桐林伸行, 近江晃樹, 菅原重生: 皮下植込み型 ICD リードを胸骨右縁に植え込んだ Brugada 症候群の 1 例. 日本内科学会東北地方会誌. 2017 ; 29(2) : 27
- 22) 花輪翁有, 井上純人, 五十嵐朗, 東海林佳兼, 柴田陽光, 今田恒夫, 久保田功: 好酸球性中耳炎, 副鼻腔炎を合併した気管支喘息に対し、オマリズマブが奏功した 1 例. 日本内科学会東北地方会誌. 2017 ; 29(2) : 29
- 23) 豊島拓, 渡邊哲, 西山悟史, 和根崎真大, 岩山忠輝, 田村晴俊, 有本貴範, 高橋大, 宍戸哲郎, 山内聡, 山中多聞, 宮本卓也, 今田恒夫, 久保田功: 高度腎機能障害を有する急性心筋梗塞患者の急性期予後に関する検討. 第 37 回心筋梗塞研究会抄録集. 2017 : 40
- 24) 熊谷遊. 有本貴範, 岩山忠輝, 沓澤大輔, 渡邊哲, 久保田功: 心房細動アブレーション術中の抗 Xa 活性の検討. カテーテルアブレーション関連大会 2017 プログラム・抄録集. 2017 : 220
- 25) Yokoyama M, Watanabe T, Takahashi H, Toshima T, Otaki Y, Tamura H, Nishiyama S, Arimoto T, Shishido T, Yamauchi S, Yamanaka T, Miyamoto T, Kubota I : Platelet to lymphocyte ratio is a feasible predictor for poor outcome in patients with peripheral artery disease after endovascular therapy. 第 49 回日本動脈硬化学会総会・学術集会抄録集. 2017 : 33
- 26) 豊島拓, 西山悟史, 渡邊哲, 和根崎真大, 岩山忠輝, 田村晴俊, 有本貴範, 高橋大, 宍戸哲郎, 山内聡, 山中多聞, 宮本卓也, 今田恒夫, 久保田功: 急性心筋梗塞患者における冠動脈危険因子とメタボリックシンドロームの時代的変遷. 第 49 回日本動脈硬化学会総会・学術集会抄録集. 2017 : 33

- 27) 柴田陽光 : COPD の診断をめぐって「診断基準と病期」. 人間ドック. 2017 ; 32(2) : 263
- 28) 熊谷遊, 有本貴範, 岩山忠輝, 沓澤大輔, 中村圭佑, 亀井祐哉, 桐林伸幸, 禰津俊介, 村形寿彦, 渡邊哲, 久保田功 : 心臓MRI で測定した両心房最大容量は、肺静脈隔離術後の心房細動再発を予測し得る. 第9回東北臨床不整脈研究会学術集会プログラム. 2017 : 10
- 29) Watanabe T, Narumi T, Kubota I: Impact of sarcopenia on the prognosis in heart failure. 第21回日本心不全学会学術集会プログラム・抄録集. 2017 : 200
- 30) Hashimoto N, Arimoto T, Otaki Y, Tamura H, Nishiyama S, Takahashi H, Shishido T, Miyamoto T, Watanabe T, Kubota I: Clinical benefit of simultaneous pulmonary vein isolation and percutaneous transvenous mitral commissurotomy in patients with mitral stenosis and atrial fibrillation. 第21回日本心不全学会学術集会プログラム・抄録集. 2017 : 315
- 31) Kumagai Y, Arimoto T, Kutsuzawa D, Sugawara S, Kiribayashi N, Yamauchi S, Yamanaka T, Miyamoto T, Watanabe T, Kubota I : The usefulness of serial 18F-FDG PET/CT for assessing therapeutic response in cardiac sarcoidosis with ventricular tachycardia. 第21回日本心不全学会学術集会プログラム・抄録集. 2017 : 352
- 32) Watanabe K, Shishido T, Watanabe T, Otaki Y, Nishiyama S, Arimoto T, Yamauchi S, Yamanaka T, Miyamoto T, Konta T: Plasma xanthine oxidoreductase activity could predict adverse clinical outcomes in patients with heart failure with preserved ejection fraction. 第21回日本心不全学会学術集会プログラム・抄録集. 2017 : 383
- 33) Sugai T, Shishido T, Watanabe K, Toshima T, Takahashi T, Watanabe T, Kubota I : Advanced lung inflammation index(ALI) is a feasible prognostic marker in patients with heart failure. 第21回日本心不全学会学術集会プログラム・抄録集. 2017 : 419
- 34) Otaki Y, Watanabe T, Yokoyama M, Kinoshita D, Nishiyama S, Takahashi H, Arimoto T, Shishido T, Miyamoto T, Kubota I : Xanthine oxidoreductase plays a key role in cardio-hepatic vicious cycle in patients with heart failure. 第21回日本心不全学会学術集会プログラム・抄録集. 2017 : 430
- 35) Takahashi T, Shishido T, Watanabe K, Sugai T, Toshima T, Watanabe T, Kubota I : The impact of Pulse Pressure on Silent and Ongoing Myocardial Damage in the General population. 第21回日本心不全学会学術集会プログラム・抄録集. 2017 : 468
- 36) Machida H, Higurayama K, Minegishi Y, Yang S, Sato K, Nakano H, Kobayashi M, Sato M, Nemoto T, Nishiwaki M, Kimura T, Yamauchi K, Igarashi A, Tokairin Y, Inoue S, Kubota I, Shibata Y: Association of cystatin C-based estimated glomerular filtration rate (eGFR) with prognosis in patients with COPD exacerbation. ERS International Congress 2017 online programme. 2017 (web抄録)
- 37) Sato K, Furuyama K, Minegishi Y, Yang S, Machida H, Nakano H, Yamauchi K, Igarashi A, Tokairin Y, Inoue S, Kubota I, Shibata Y: Effect of iron deficiency on airway inflammation and pulmonary function in mice exposed to cigarette smoke. ERS International Congress 2017 online programme. 2017 (web抄録)
- 38) Takahashi T, Shishido T, Watanabe K, Sugai T, Toshima T, Nishiyama S, Takahashi H, Arimoto T, Miyamoto T, Watanabe T, Kubota I : Cardiac Nuclear High-Mobility Group Box 1 Attenuates Angiotensin II Induced Pathological Cardiac Hypertrophy by Inhibiting Dna Damage Response Pathway. Circulation. 2017 ; 136(1) : 17798
- 39) Sugai T, Watanabe T, Yokoyama M, Otaki Y, Nishiyama S, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyamoto T, Kubota I : Intramuscular Fatty Infiltration Can Predict Adverse Clinical Outcomes in Patients With Peripheral Artery Disease. Circulation. 2017 ; 136(1) : 14755
- 40) Toshima T, Watanabe T, Shishido T, Watanabe K, Sugai T, Takahashi T, Tamura H, Nishiyama S, Arimoto T, Takahashi H : Inhibition of MicroRNA-34a Attenuates Osteogenic Differentiation via Inhibiting Notch1 Signal in Aortic Valve Interstitial Cells. Circulation. 2017 ; 136(1) : 15010
- 41) Kumagai Y, Arimoto T, Kutsuzawa D, Takahashi H, Shishido T, Yamanaka T, Miyamoto T, Watanabe T, Kubota I : Estimation of Biatrial Volume Using Cardiac Magnetic Resonance Imaging Predicts Atrial

- Fibrillation Recurrence After Pulmonary Vein Isolation. *Circulation*. 2017 ; 136(1) : 20186
- 42) Watanabe K, Shishido T, Watanabe T, Otaki Y : Increased Plasma Xanthine Oxidoreductase Activity is Associated With Coronary Artery Spasm. *Circulation*. 2017 ; 136(1) : 15295
- 43) Narumi T, Watanabe T, Tamura H, Nishiyama S, Takahashi H, Arimoto T, Shishido T, Miyamoto T, Kubota I : The Impact of Impaired Pancreatic Beta Cell Function on Cardiovascular Prognosis in Heart Failure Patients Without Diabetes Mellitus. 2017 ; 136(1) : 11593
- 44) 豊島拓, 渡邊哲, 西山悟史, 和根崎真大, 後藤準, 田村晴俊, 有本貴範, 高橋大, 宍戸哲郎, 山内聡, 山中多聞, 宮本卓也, 柴田陽光, 久保田功 : 急性心筋梗塞患者における入院前 ADL が PCI 施行率と急性期予後に与える影響の検討. 第 165 回日本循環器学会東北地方会プログラム・抄録集. 2017
- 45) 有本貴範 : 山形大学医学部附属病院における急性期心臓リハビリテーションシステム. 日本心臓リハビリテーション学会 第 2 回東北支部地方会プログラム・抄録集. 2017 : 36
- 46) 荒川忍, 沓澤大輔, 大森允, 佐々木健, 石川雅樹, 村川美幸, 有本貴範, 渡邊哲, 高窪祐弥, 高木理彰 : 外来心臓リハビリテーションにおける身体運動機能・運動耐容能・QOL 変化の検討. 日本心臓リハビリテーション学会 第 2 回東北支部地方会プログラム・抄録集. 2017 : 57
- 47) 樺澤麻美, 近壮一郎, 荒海光良, 渡部紗由美, 亀井啓太, 佐藤紘子, 市川一誠, 今田恒夫 : 結核性胸膜炎の診断と治療に難渋した維持血液透析患者の一例. *日本透析医学会雑誌*. 2017 ; 50 Suppl. 1 : 628
- 48) 邸野浩義, 井上純人, 東海林佳兼, 五十嵐朗, 柴田陽光, 久保田功 : 肺扁平上皮癌の経過中にアガリクスによる薬剤性肺障害を発症した 1 例. *日本呼吸器学会誌*. 2017 ; 6(3) : 186-189
- 49) 近壮一郎, 井上純人, 五十嵐朗, 東海林佳兼, 柴田陽光, 久保田功 : 家族性地中海熱の経過中に悪性胸膜中飛腫を発症した 1 例. *日本呼吸器学会誌*. 2017 ; 6(3) : 195-199
- 50) 木下大資, 高橋大, 大瀧陽一郎, 渡邊哲, 渡辺昌文 : 当院における Viabahn を使用した SFA 病変の初期治療成績. 第 43 回日本心臓血管インターベンション治療学会東北地方会プログラム抄録集. 2018 : 79
- 51) 渡辺昌文 : 病院の実力〜心不全, 突然死の危険も〜. *読売新聞山形県版*. 2018
- 52) Takahashi T, Shishido T, Goto J, Watanabe K, Sugai T, Toshima T, Watanabe T, Takeishi Y*, Kubota I : Cardiac Nuclear high-mobility Group Box 1 Ameliorates Angiotensin II Induced Pathological Cardiac Remodeling through DNA Damage Response. 第 82 回日本循環器学会学術集会オンライン抄録. 2018
- 53) 土屋隼人, 渡邊哲, 田村晴俊, 橋本直土, 和根崎真大, 山浦玄斎, 西山悟史, 有本貴範, 高橋大, 宍戸哲郎, 山中多聞, 宮本卓也, 久保田功 : Left Atrial Stiffness Evaluated by Transthoracic Echocardiography can Predict Poor Prognosis in Patients with Heart Failure with Preserved Ejection Fraction. 第 82 回日本循環器学会学術集会オンライン抄録. 2018
- 54) Goto J, Wanezaki M, Watanabe T, Nishiyama S, Toshima T, Tamura H, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Yamauchi S, Yamanaka T, Miyamoto T, Konta T, Kubota I : Higher Proportion of Outdoor Onset in Acute Myocardial Infarction with Right Coronary Artery Culprit Lesion. 第 82 回日本循環器学会学術集会オンライン抄録. 2018
- 55) 池田隆徳, 木下利雄, 三輪陽介, 淀川顕司, 吉岡公一郎, 中村紘規, 渡邊英一*, 中川幹子, 中村健太郎, 柚須悟, 渡邊哲, 寒川睦子, 中原志朗, 水牧功一 : Risk Stratification for Cardiac Mortality Using Electrocardiographic Markers in Patients with Left Ventricular Dysfunction: The JANIES-LVD Study. 第 82 回日本循環器学会学術集会オンライン抄録. 2018
- 56) Otaki Y, Watanabe T, Takahashi H, Arimoto T, Shishido T, Miyamoto T, Kubota I : Xanthine Oxidoreductase Activity and Cardiohepatic Interaction in Patients with Heart Failure. 第 82 回日本循環器学会学術集会オンライン抄録. 2018
- 57) Otaki Y, Watanabe T, Takahashi H, Arimoto T, Shishido T, Miyamoto T, Kubota I : The Association of Iron Deficiency with Severity and Clinical Outcome in Peripheral Artery Disease Patients Following Endovascular Therapy. 第 82 回日本循環器学会学術集会オンライン抄録. 2018
- 58) Kurokawa T, Otaki Y, Watanabe T, Takahashi H, Arimoto T, Shishido T, Miyamoto T, Kubota I : Circulating Surfactant Protein-D is Associated with Clinical Outcome in Peripheral Artery Disease Patients Following Endovascular Therapy. 第 82 回日本循環器学会学術集会オンライン抄録. 2018
- 59) Kumagai Y, Arimoto T, Daisuke Kutsuzawa D, Takahashi H, Shishido T, Yamanaka T, Miyamoto T, Watanabe

- T, Kubota I: Distribution of Anti-Factor Xa Activity in Patients Undergoing Pulmonary Vein Isolation for Non-Valvular Atrial Fibrillation. 第82回日本循環器学会学術集会オンライン抄録. 2018
- 60) Watanabe K, Shishido T, Watanabe T, Ohtaki Y, Sugai T, Toshima T, Takahashi T, Yokoyama M, Kinoshita D, Tamura H, Nishiyama S, Takahashi H, Arimoto T, Yamauchi S, Yamanaka T, Miyamoto T, Kubota I: Elevated Plasma Xanthine Oxidoreductase Activity Deteriorates Coronary Artery Spasm. 第82回日本循環器学会学術集会オンライン抄録. 2018
- 61) Hashimoto N, Yamasaki H, Fukata M, Tsumagari Y, Okabe Y, Yamagami F, Hanaki Y, Watanabe H, Komatsu Y, Nakano E, Machino T, Sekiguchi Y, Nogami A, Aonuma K: Impact of QRS Notch in Lateral Leads for Predicting the Responder for Cardiac Resynchronization Therapy. 第82回日本循環器学会学術集会オンライン抄録. 2018
- 62) Sugai T, Watanabe T, Watanabe K, Toshima T, Takahashi T, Ohtaki Y, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyamoto T, Kubota I: Psoas Muscle Fat Deposition is a Useful Prognostic Marker for Peripheral Artery Disease. 第82回日本循環器学会学術集会オンライン抄録. 2018
- 63) Goto J, Nishiyama S, Watanabe T, Toshima T, Wanezaki M, Tamura H, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Yamauchi S, Yamanaka T, Miyamoto T, Kubota I: Unmet Risk Factors Associated with Prehospital Delay in Acute Myocardial Infarction -The Yamagata Ami Registry-. 第82回日本循環器学会学術集会オンライン抄録. 2018
- 64) 橋本直土, 渡邊哲, 西山悟史, 和根崎真大, 田村晴俊, 高橋大, 有本貴範, 宍戸哲郎, 山中多聞, 宮本卓也, 久保田功: Cardio-ankle Vascular Index (CAVI) is a Feasible Parameter for Predicting Cardioembolic Stroke in Patients with Atrial Fibrillation. 第82回日本循環器学会学術集会オンライン抄録. 2018

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Shibata Y: COPD, CV disease morbidity and mortality. Asian Pacific Society of Respiriology 2017, Sydney; 2017年11月

ii 一般演題

- 1) Nakano H, Shibata Y, Inoue S, Igarashi A, Tokairin Y, Yamauchi K, Kimura T, Nishiwaki M, Nemoto T, Sato M**, Sato K**, Yan S, Furuyama K, Minegishi Y, Kubota I: Serum Level of Lymphatic Vessel Endothelial Hyaluronan Receptor-1 (LYVE1) During Acute Lower Respiratory. American thoracic Society International Conference 2017, Washington; 2017年5月
- 2) Kon S, Konta T, Kamei K**, Ichikawa K, Kubota I: THE ASSOCIATION BETWEEN RENAL PARAMETERS AND URINARY MICRORNAS IN PATIENTS WITH IGA NEPHROPATHY. 54th ERA-EDTA Congress, Madrid; 2017年6月
- 3) Kamei K**, Kon S, Ichikawa K, Konta T, Kubota I, Fujimoto S**, Iseki K**, Moriyama T**, Yamagata K**, Tsuruya K**: THE ASSOCIATION BETWEEN SERUM URIC ACID AND MORARITY IN THE CKD POPURATION: A LONGITUDINAL SURVEY OF A NATIONWIDE COHORT IN JAPAN. 54th ERA-EDTA Congress, Madrid; 2017年6月
- 4) Sugai T, Takahashi H, Watanabe K, Toshima T, Takahashi T, Yokoyama M, Kinoshita D, Arimoto T, Shishido T, Miyamoto T, Watanabe T, Kubota I: Intramuscular fat deposition can predict adverse clinical outcomes in patients with peripheral artery disease. ESC CONGRESS 2017, Barcelona; 2017年8月
- 5) Toshima T, Watanabe T, Nishiyama S, Wanezaki M, Tamura H, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Yamanaka T, Miyamoto T, Konta T, Kubota I: Percutaneous coronary intervention ameliorates short-term mortality even in acute myocardial infarction patients with severe renal dysfunction. ESC CONGRESS 2017, Barcelona; 2017年8月
- 6) Takahashi T, Shishido T, Watanabe T, Watanabe K, Sugai T, Toshima T, Nishiyama S, Takahashi H, Arimoto T, Miyamoto T, Kubota I: Relationship between pulse pressure and silent and ongoing

- myocardial damage in the general population. ESC CONGRESS 2017, Barcelona ; 2017年8月
- 7) Hashimoto N, Tamura H, Watanabe T, Nishiyama S, Wanezaki M, Yamaura G, Iwayama T**, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Yamanaka T, Miyamoto T, Kubota I : Decreased left atrial appendage wall motion velocity by transthoracic echocardiography is a feasible marker for recurrence of atrial fibrillation after pulmonary vein isolation. ESC CONGRESS 2017, Barcelona ; 2017年8月
 - 8) Watanabe K, Watanabe T, Yamaura G, Wanezaki M, Kutsuzawa D, Iwayama T**, Tamura H, Nishiyama S, Takahashi H, Arimoto T, Shishido T, Yamauchi S, Miyamoto T, Kubota I: Myocardial damage markers can risk-stratify aortic aneurysm patients with coronary artery disease. ESC CONGRESS 2017, Barcelona ; 2017年8月
 - 9) Machida H, Huruyama K, Minegishi Y, Yang S, Sato K, Nakano H, Kobayashi M, Sato M**, Nemoto T, Nishiwaki M, Kimura T, Yamauchi K, Igarashi A, Tokairin Y, Inoue S, Kubota I, Shibata Y: Association of cystatin C-based estimated glomerular filtration rate (eGFR) with prognosis in patients with COPD exacerbation. ERS International Congress 2017, Milan ; 2017年9月
 - 10) Sato K, Furuyama K, Minegishi Y, Yang S, Machida H, Nakano H, Yamauchi K, Igarashi A, Tokairin Y, Inoue S, Kubota I, Shibata Y: Effect of iron deficiency on airway inflammation and pulmonary function in mice exposed to cigarette smoke. ERS International Congress 2017, Milan ; 2017年9月
 - 11) Takahashi T, Shishido T, Watanabe K, Sugai T, Toshima T, Nishiyama S, Takahashi H, Arimoto T, Miyamoto T, Watanabe T, Kubota I: Cardiac Nuclear High-Mobility Group Box 1 Attenuates Angiotensin II Induced Pathological Cardiac Hypertrophy by Inhibiting Dna Damage Response Pathway. American Heart Association 2017, Anaheim ; 2017年11月
 - 12) Sugai T, Watanabe T, Yokoyama M, Otaki Y, Nishiyama S, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyamoto T, Kubota I : Intramuscular Fatty Infiltration Can Predict Adverse Clinical Outcomes in Patients With Peripheral Artery Disease. American Heart Association 2017, Anaheim ; 2017年11月
 - 13) Toshima T, Watanabe T, Shishido T, Watanabe K, Sugai T, Takahashi T, Tamura H, Nishiyama S, Arimoto T, Takahashi H : Inhibition of MicroRNA-34a Attenuates Osteogenic Differentiation via Inhibiting Notch1 Signal in Aortic Valve Interstitial Cells. American Heart Association 2017, Anaheim ; 2017年11月
 - 14) Kumagai Y, Arimoto T, Kutsuzawa D, Takahashi H, Shishido T, Yamanaka T, Miyamoto T, Watanabe T, Kubota I : Estimation of Batrial Volume Using Cardiac Magnetic Resonance Imaging Predicts Atrial Fibrillation Recurrence After Pulmonary Vein Isolation. American Heart Association 2017, Anaheim ; 2017年11月
 - 15) Watanabe K, Shishido T, Watanabe T, Otaki Y : Increased Plasma Xanthine Oxidoreductase Activity is Associated With Coronary Artery Spasm. American Heart Association 2017, Anaheim ; 2017年11月
 - 16) Narumi T, Watanabe T, Tamura H, Nishiyama S, Takahashi H, Arimoto T, Shishido T, Miyamoto T, Kubota I : The Impact of Impaired Pancreatic Beta Cell Function on Cardiovascular Prognosis in Heart Failure Patients Without Diabetes Mellitus. American Heart Association 2017, Anaheim ; 2017年11月

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 柴田陽光 : COPD の診断をめぐって「診断基準と病期」. 第58回人間ドック学会学術大会, 埼玉 ; 2017年8月
- 2) Watanabe T, Narumi T, Kubota I : Impact of sarcopenia on the prognosis in heart failure. 第21回日本心不全学会学術集会, 秋田 ; 2017年10月

ii 一般演題

- 1) 木下大資 : 血中Decorin 増加障害は慢性心不全の予後不良因子である. 第114回日本内科学会総会・講演会, 東京 ; 2017年4月

- 2) 荒海光良：地域住民における慢性腎臓病と慢性閉塞性肺疾患の関連と生命予後への影響。第114回日本内科学会総会・講演会，東京；2017年4月
- 3) 峯岸幸博，井上純人，佐藤建人，佐藤正道**，根本貴子，木村友美，山内啓子，五十嵐朗，東海林佳兼，柴田陽光：肺炎患者における日常生活動作レベル低下の予測因子の検討。第57回日本呼吸器学会学術講演会，東京；2017年4月
- 4) 佐藤建人，古山広大，峯岸幸博，梁秀鼎，中野寛之，佐藤正道**，根本貴子，木村友美，山内啓子，五十嵐朗，東海林佳兼，井上純人，柴田陽光，久保田功：COPD増悪時の予後とシスタチンCとの関連。第57回日本呼吸器学会学術講演会，東京；2017年4月
- 5) 中野寛之，井上純人，五十嵐朗，東海林佳兼，山内啓子，木村友美，根本貴子，佐藤正道**，佐藤建人，梁秀鼎，古山広大，峯岸幸博，八木橋崇仁**，久保田功，柴田陽光：血清E-selectin濃度と炎症性肺疾患の予後との関連について。第57回日本呼吸器学会学術講演会，東京；2017年4月
- 6) 佐藤建人，古山広大，峯岸幸博，梁秀鼎，中野寛之，佐藤正道，根本貴子，木村友美，山内啓子，五十嵐朗，東海林佳兼，井上純人，柴田陽光，久保田功：非小細胞肺癌における病期と血清ヘプシジンとの関連。第57回日本呼吸器学会学術講演会，東京；2017年4月
- 7) 佐藤正道**，柴田陽光，井上純人，五十嵐朗，東海林佳兼，山内啓子，木村友美，根本貴子，佐藤建人，中野寛之，梁秀鼎，古山広大，峯岸幸博，久保田功：下気道感染症患者における血清LYVEI濃度の解析。第57回日本呼吸器学会学術講演会，東京；2017年4月
- 8) 風間知之**，西山悟史，吉田由美子**，渡邊哲，橋本直土，山浦玄斎，和根崎真大，田村晴俊，森兼啓太*，久保田功：深部静脈血栓症における下肢静脈超音波検査の有用性—CT・D-dimerとの比較検討。日本超音波医学会第90回学術集会，宇都宮；2017年5月
- 9) 今田恒夫，近壮一郎，荒海光良，渡部紗由美，樺澤麻美，亀井啓太**，佐藤紘子，市川一誠，久保田功：IgA腎症における腎指標・腎組織病変と尿中microRNAの関連。第60回日本腎臓学会学術総会，仙台；2017年5月
- 10) 鎌田芳則**，佐藤博**，土屋善慎**，田熊淑男**，功刀しのぶ**，清水章**，今田恒夫，吾妻安良太**：Clinical Features of Renal Sarcoidosis Evaluated by Renal Biopsy in Japan。第60回日本腎臓学会学術総会，仙台；2017年5月
- 11) 亀井啓太**，近壮一郎，市川一誠，今田恒夫，藤本昭一**，井関邦敏**，守山敏樹**，山縣邦弘**，鶴屋和彦**，成田一衛**，近藤正英**，笠原正登**，柴垣有吾**，旭浩一**，渡辺毅**：CKDをもつ地域住民における血清尿酸値と生命予後の関連。第60回日本腎臓学会学術総会，仙台；2017年5月
- 12) 市川一誠，小野寺悠*，高橋大，岩渕雅洋**，中根正樹*，川前金幸*：高尿素窒素血症と低カリウム血症を合併した偶発性低体温症に対してCHDFで治療した一例。日本集中治療医学会 第1回東北支部学術集会，弘前；2017年7月
- 13) 豊島拓，渡邊哲，西山悟史，和根崎真大，岩山忠輝**，田村晴俊，有本貴範，高橋大，宍戸哲郎，山内聡，山中多聞，宮本卓也，今田恒夫，久保田功：高度腎機能障害を有する急性心筋梗塞患者の急性期予後に関する検討。第37回心筋梗塞研究会，東京；2017年4月
- 14) 高橋大：経験と自施設データから考えるZilver PTXの使いどころ。第26回日本心血管インターベンション治療学会，京都；2017年7月
- 15) Yokoyama M, Watanabe T, Takahashi H, Toshima T, Otaki Y, Tamura H, Nishiyama S, Arimoto T, Shishido T, Yamauchi S, Yamanaka T, Miyamoto T, Kubota I: Platelet to lymphocyte ratio is a feasible predictor for poor outcome in patients with peripheral artery disease after endovascular therapy. 第49回日本動脈硬化学会総会・学術集会，広島；2017年7月
- 16) 豊島拓，西山悟史，渡邊哲，和根崎真大，岩山忠輝**，田村晴俊，有本貴範，高橋大，宍戸哲郎，山内聡，山中多聞，宮本卓也，今田恒夫，久保田功：急性心筋梗塞患者における冠動脈危険因子とメタボリックシンドロームの時代的変遷。第49回日本動脈硬化学会総会・学術集会，広島；2017年7月
- 17) 熊谷遊，有本貴範，岩山忠輝**，沓澤大輔，渡邊哲，久保田功：心房細動アブレーション術中の抗Xa活性の検討。カテーテルアブレーション関連大会2017，札幌；2017年7月
- 18) 沓澤大輔，有本貴範，橋本直土，岩山忠輝**，熊谷遊，渡邊哲，久保田功：同じ日に肺静脈隔離術と経皮経静脈的増帽弁交連切開術を施行した2例。カテーテルアブレーション関連大会2017，札幌；2017年7月

- 19) 沓澤大輔, 有本貴範, 渡邊哲, 久保田功, 大森允*, 佐々木健*, 荒川忍*, 佐々木幹*, 高木理彰*: 地域連携型心大血管リハビリテーション運営の取り組み. 第 23 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 岐阜; 2017 年 7 月
- 20) 渡部賢, 渡邊哲, 田村晴俊, 西山悟史, 高橋大, 有本貴範, 宍戸哲郎, 山内聡, 山中多聞, 宮本卓也, 久保田功, 貞弘光章*: 冠動脈疾患の合併は非有意狭窄病変でも大動脈瘤患者の予後不良因子となる. 第 65 回日本心臓病学会学術集会, 大阪; 2017 年 9 月
- 21) 市川一誠: IGR 陽性で肺結核・結核性腹膜炎が疑われ抗結核薬が著効した一例. 第 23 回日本腹膜透析医学会学術集会, 北九州; 2017 年 10 月
- 22) Hashimoto N, Arimoto T, Otaki Y, Tamura H, Nishiyama S, Takahashi H, Shishido T, Miyamoto T, Watanabe T, Kubota I: Clinical benefit of simultaneous pulmonary vein isolation and percutaneous transvenous mitral commissurotomy in patients with mitral stenosis and atrial fibrillation. 第 21 回日本心不全学会学術集会, 秋田; 2017 年 10 月
- 23) Kumagai Y, Arimoto T, Kutsuzawa D, Sugawara S**, Kiribayashi N**, Yamauchi S, Yamanaka T, Miyamoto T, Watanabe T, Kubota I: The usefulness of serial 18F-FDG PET/CT for assessing therapeutic response in cardiac sarcoidosis with ventricular tachycardia. 第 21 回日本心不全学会学術集会, 秋田; 2017 年 10 月
- 24) Watanabe K, Shishido T, Watanabe T, Otaki Y, Nishiyama S, Arimoto T, Yamauchi S, Yamanaka T, Miyamoto T, Konda T: Plasma xanthine oxidoreductase activity could predict adverse clinical outcomes in patients with heart failure with preserved ejection fraction. 第 21 回日本心不全学会学術集会, 秋田; 2017 年 10 月
- 25) Sugai T, Shishido T, Watanabe K, Toshima T, Takahashi T, Watanabe T, Kubota I: Advanced lung inflammation index (ALI) is a feasible prognostic marker in patients with heart failure. 第 21 回日本心不全学会学術集会, 秋田; 2017 年 10 月
- 26) Otaki Y, Watanabe T, Yokoyama M, Kinoshita D, Nishiyama S, Takahashi H, Arimoto T, Shishido T, Miyamoto T, Kubota I: Xanthine oxidoreductase plays a key role in cardio-hepatic vicious cycle in patients with heart failure. 第 21 回日本心不全学会学術集会, 秋田; 2017 年 10 月
- 27) Takahashi T, Shishido T, Watanabe K, Sugai T, Toshima T, Watanabe T, Kubota I: The impact of Pulse Pressure on Silent and Ongoing Myocardial Damage in the General population. 第 21 回日本心不全学会学術集会, 秋田; 2017 年 10 月
- 28) 高橋大: これからの iliac artery stenting. CCT2017 Flash Presentation, 神戸; 2017 年 10 月
- 29) 豊島拓, 西山悟史, 渡邊哲, 和根崎真大, 久保田功: 急性心筋梗塞患者における高血圧症を含む複数の冠危険因子保有率の時代的変遷に関する検討. 第 40 回日本高血圧学会総会, 松山市; 2017 年 10 月
- 30) Takahashi T, Shishido T, Goto J, Watanabe K, Sugai T, Toshima T, Watanabe T, Takeishi Y**, Kubota I: Cardiac Nuclear high-mobility Group Box 1 Ameliorates Angiotensin II Induced Pathological Cardiac Remodeling through DNA Damage Response. 第 82 回日本循環器学会学術集会, 大阪; 2018 年 3 月
- 31) 土屋隼人, 渡邊哲, 田村晴俊, 橋本直土, 和根崎真大, 山浦玄斎, 西山悟史, 有本貴範, 高橋大, 宍戸哲郎, 山中多聞, 宮本卓也, 久保田功: Left Atrial Stiffness Evaluated by Transthoracic Echocardiography can Predict Poor Prognosis in Patients with Heart Failure with Preserved Ejection Fraction. 第 82 回日本循環器学会学術集会, 大阪; 2018 年 3 月
- 32) Goto J, Wanezaki M, Watanabe T, Nishiyama S, Toshima T, Tamura H, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Yamauchi S, Yamanaka T, Miyamoto T, Konda T, Kubota I: Higher Proportion of Outdoor Onset in Acute Myocardial Infarction with Right Coronary Artery Culprit Lesion. 第 82 回日本循環器学会学術集会, 大阪; 2018 年 3 月
- 33) 池田隆徳**, 木下利雄**, 三輪陽介**, 淀川顕司**, 吉岡公一郎**, 中村紘規**, 渡邊英一**, 中川幹子**, 中村健太郎**, 柚須悟**, 渡邊哲, 寒川睦子**, 中原志朗**, 水牧功一**: Risk Stratification for Cardiac Mortality Using Electrocardiographic Markers in Patients with Left Ventricular Dysfunction: The JANIES-LVD Study. 第 82 回日本循環器学会学術集会, 大阪; 2018 年 3 月

- 34) Otaki Y, Watanabe T, Takahashi H, Arimoto T, Shishido T, Miyamoto T, Kubota I: Xanthine Oxidoreductase Activity and Cardiohepatic Interaction in Patients with Heart Failure. 第82回日本循環器学会学術集会, 大阪; 2018年3月
- 35) Otaki Y, Watanabe T, Takahashi H, Arimoto T, Shishido T, Miyamoto T, Kubota I: The Association of Iron Deficiency with Severity and Clinical Outcome in Peripheral Artery Disease Patients Following Endovascular Therapy. 第82回日本循環器学会学術集会, 大阪; 2018年3月
- 36) Kurokawa T*, Otaki Y, Watanabe T, Takahashi H, Arimoto T, Shishido T, Miyamoto T, Kubota I: Circulating Surfactant Protein-D is Associated with Clinical Outcome in Peripheral Artery Disease Patients Following Endovascular Therapy. 第82回日本循環器学会学術集会, 大阪; 2018年3月
- 37) Kumagai Y, Arimoto T, Daisuke Kutsuzawa D, Takahashi H, Shishido T, Yamanaka T, Miyamoto T, Watanabe T, Kubota I: Distribution of Anti-Factor Xa Activity in Patients Undergoing Pulmonary Vein Isolation for Non-Valvular Atrial Fibrillation. 第82回日本循環器学会学術集会, 大阪; 2018年3月
- 38) Watanabe K, Shishido T, Watanabe T, Ohtaki Y, Sugai T, Toshima T, Takahashi T, Yokoyama M, Kinoshita D, Tamura H, Nishiyama S, Takahashi H, Arimoto T, Yamauchi S, Yamanaka T, Miyamoto T, Kubota I: Elevated Plasma Xanthine Oxidoreductase Activity Deteriorates Coronary Artery Spasm. 第82回日本循環器学会学術集会, 大阪; 2018年3月
- 39) Hashimoto N, Yamasaki H**, Fukata M**, Tsumagari Y**, Okabe Y**, Yamagami F**, Hanaki Y**, Watanabe H**, Komatsu Y**, Nakano E**, Machino T**, Sekiguchi Y**, Nogami A**, Aonuma K**: Impact of QRS Notch in Lateral Leads for Predicting the Responder for Cardiac Resynchronization Therapy. 第82回日本循環器学会学術集会, 大阪; 2018年3月
- 40) Sugai T, Watanabe T, Watanabe K, Toshima T, Takahashi T, Ohtaki Y, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyamoto T, Kubota I: Psoas Muscle Fat Deposition is a Useful Prognostic Marker for Peripheral Artery Disease. 第82回日本循環器学会学術集会, 大阪; 2018年3月
- 41) Goto J, Nishiyama S, Watanabe T, Toshima T, Wanezaki M, Tamura H, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Yamauchi S, Yamanaka T, Miyamoto T, Kubota I: Unmet Risk Factors Associated with Prehospital Delay in Acute Myocardial Infarction -The Yamagata Ami Registry-. 第82回日本循環器学会学術集会, 大阪; 2018年3月
- 42) 橋本直土, 渡邊哲, 西山悟史, 和根崎真大, 田村晴俊, 高橋大, 有本貴範, 宍戸哲郎, 山中多聞, 宮本卓也, 久保田功: Cardio-ankle Vascular Index (CAVI) is a Feasible Parameter for Predicting Cardioembolic Stroke in Patients with Atrial Fibrillation. 第82回日本循環器学会学術集会, 大阪; 2018年3月

(3) 国内地方会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 有本貴範: 山形大学医学部附属病院における急性期心臓リハビリテーションシステム. 日本心臓リハビリテーション学会 第2回東北支部地方会, 仙台; 2017年12月

ii 一般演題

- 1) 須貝孝幸, 高橋大, 横山美雪, 大瀧陽一郎, 西山悟史, 有本貴範, 宍戸哲郎, 宮本卓也, 渡邊哲, 久保田功: 腸腰筋 CT 値の低下は末梢動脈疾患患者の予後を予測する. 第164回日本循環器学会東北地方会, 盛岡; 2017年6月
- 2) 大瀧陽一郎, 宮本卓也, 山浦玄斎, 和根崎真大, 香澤大輔, 田村晴俊, 西山悟史, 高橋大, 有本貴範, 宍戸哲郎, 山中多聞, 渡邊哲, 久保田功: 経皮的冠動脈形成術によるバルサルバ洞解離から1年後に上行大動脈解離を来した一例. 第164回日本循環器学会東北地方会, 盛岡; 2017年6月
- 3) 渡部賢, 渡邊哲, 田村晴俊, 西山悟史, 高橋大, 有本貴範, 宍戸哲郎, 山内聡, 山中多聞, 宮本卓也, 久保田功: 冠動脈疾患の合併が大動脈瘤患者の予後に与える影響の検討. 第164回日本循環器学会東北地方会, 盛岡; 2017年6月
- 4) 宮本卓也, 山中多聞, 水戸琢章, 熊谷遊, 横山美雪, 和根崎真大, 大瀧陽一郎, 田村晴俊, 西山悟史, 高

- 橋大, 有本貴範, 宍戸哲郎, 渡邊哲, 久保田功: 責任病変の同定が困難で2枝同時PCIを要した周術期心筋梗塞の1症例. 第164回日本循環器学会東北地方会, 盛岡; 2017年6月
- 5) 鈴木貴也, 亀井啓太, 近壮一朗, 荒海光良, 渡部紗由美, 樺澤麻美, 佐藤紘子, 市川一誠, 今田恒夫, 久保田功: SLEに伴う肺動脈性肺高血圧症の1例. 第211回日本内科学会東北地方会, 仙台; 2017年6月
 - 6) 齋藤悠司, 有本貴範, 渡邊哲, 久保田功, 禰津俊介, 本田晋太郎, 菊池彰洋, 桐林伸行, 近江晃樹, 菅原重生: 皮下植込み型ICDリードを胸骨右縁に植え込んだBrugada症候群の1例. 第211回日本内科学会東北地方会, 仙台; 2017年6月
 - 7) 花輪翁有, 井上純人, 五十嵐朗, 東海林佳兼, 柴田陽光, 今田恒夫, 久保田功: 好酸球性中耳炎, 副鼻腔炎を合併した気管支喘息に対し, オマリズマブが奏功した1例. 第211回日本内科学会東北地方会, 仙台; 2017年6月
 - 8) 古山広大, 五十嵐朗, 井上純人, 峯岸幸博, 梁秀鼎, 町田浩祥, 小林真紀, 中野寛之, 佐藤建人, 西脇道子, 木村友美, 山内啓子, 東海林佳兼, 柴田陽光, 中橋健太, 濱田顕, 鈴木潤, 加藤博久, 大泉弘幸, 久保田功: Nivolumabが奏功した肺多形癌の1例. 第56回日本肺癌学会東北支部会・第43回日本呼吸器内視鏡学会東北支部会, 山形; 2017年7月
 - 9) 小山響子, 井上純人, 五十嵐朗, 古山広大, 峯岸幸博, 梁秀鼎, 町田浩祥, 小林真紀, 佐藤建人, 中野寛之, 山本友香, 西脇道子, 木村友美, 山内啓子, 東海林佳兼, 柴田陽光, 今田恒夫: 気管気管支軟骨を病変の主座とした再発性多発軟骨炎の1例. 第105回日本呼吸器学会東北地方会 第135回日本結核病学会東北支部会, 盛岡; 2017年9月
 - 10) 渡部紗由美, 市川一誠, 大山みどり, 松木絵理, 近壮一朗, 荒海光良, 樺澤麻美, 鈴木奈都子, 今田恒夫: 膜性腎症の治療経過中に全身性エリテマトーデス・ループス腎炎の診断に至った一例. 第27回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会, 山形; 2017年11月
 - 11) 横山美雪, 宮本卓也, 山内聡, 熊谷遊, 山中多聞, 齋藤悠司, 後藤準, 土屋隼人, 木下大資, 山浦玄斎, 大瀧陽一郎, 和根崎真大, 沓澤大輔, 田村晴俊, 西山悟史, 有本貴範, 高橋大, 宍戸哲郎, 渡邊哲: 心肺蘇生から1週間後STEMI発症を契機に冠動脈自然解離の診断に至った若年女性の1例. 第165回日本循環器学会東北地方会, 仙台; 2017年12月
 - 12) 豊島拓, 渡邊哲, 西山悟史, 和根崎真大, 後藤準, 田村晴俊, 有本貴範, 高橋大, 宍戸哲郎, 山内聡, 山中多聞, 宮本卓也, 柴田陽光, 久保田功: 急性心筋梗塞患者における入院前ADLがPCI施行率と急性期予後に与える影響の検討. 第165回日本循環器学会東北地方会, 仙台; 2017年12月
 - 13) 齋藤悠司, 田村晴俊, 宮本卓也, 山中多聞, 横山美雪, 山内聡, 和根崎真大, 西山悟史, 高橋大, 有本貴範, 宍戸哲郎, 渡邊哲: 著名なSTJ石灰化を有する重度大動脈弁狭窄症に対し段階的な拡張でSapien3を留置した一例. 第165回日本循環器学会東北地方会, 仙台; 2017年12月
 - 14) 山浦玄斎, 渡邊哲, 山中多聞, 西山悟史, 高橋大, 有本貴範, 宍戸哲郎, 山内聡, 宮本卓也, 久保田功: 動脈硬化のためアプローチに苦慮し一期的に左鎖骨下動脈形成術とPCIを施行した症例. 第165回日本循環器学会東北地方会, 仙台; 2017年12月
 - 15) 黒川佑, 熊谷遊, 大瀧陽一郎, 高橋大, 有本貴範, 宍戸哲郎, 山内聡, 山中多聞, 宮本卓也, 渡邊哲, 久保田功: 急性肺塞栓症を合併したたこつぼ型心筋症の左室内血栓に対しリパーロキサバンが奏功した1例. 第165回日本循環器学会東北地方会, 仙台; 2017年12月
 - 16) 荒川忍, 沓澤大輔, 大森允, 佐々木健, 石川雅樹, 村川美幸, 有本貴範, 渡邊哲, 高窪祐弥, 高木理彰: 外来心臓リハビリテーションにおける身体運動機能・運動耐容能・QOL変化の検討. 日本心臓リハビリテーション学会 第2回東北支部地方会, 仙台; 2017年12月
 - 17) 大瀧陽一郎, 高橋大, 山中多聞, 木下大資, 田村晴俊, 西山悟史, 有本貴範, 宍戸哲郎, 山内聡, 宮本卓也, 渡邊哲: David術後人工血管狭窄による急性冠症候群に対して経皮的冠動脈形成術が奏功した1例. 第43回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会, 盛岡; 2018年1月
 - 18) 齋藤悠司, 田村晴俊, 和根崎真大, 宮本卓也, 山中多聞, 山内聡, 土屋隼人, 西山悟史, 高橋大, 有本貴範, 宍戸哲郎, 渡邊哲, 山下淳, 濱崎安純, 内田徹郎, 貞弘光章: 左冠動脈入口部に石灰化を有する大動脈弁狭窄症に対し冠動脈保護を行いSAPIEN3を留置した1例. 第43回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会, 盛岡; 2018年1月
 - 19) 山内聡, 宮本卓也, 横山美雪, 山中多聞, 齋藤悠司, 土屋隼人, 熊谷遊, 木下大資, 和根崎真大, 大瀧陽

- 一郎, 沓澤大輔, 田村晴俊, 西山悟史, 高橋大, 有本貴範, 宍戸哲郎, 渡邊哲: 冠動脈自然解離に対する PCI 後、慢性期に Positive remodeling をきたした 1 例. 第 43 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会, 盛岡; 2018 年 1 月
- 20) 木下大資, 高橋大, 大瀧陽一郎, 渡邊哲, 渡辺昌文: 当院における Viabahn を使用した SFA 病変の初期治療成績. 第 43 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会, 盛岡; 2018 年 1 月
- 21) 邨野千尋, 五十嵐朗, 山内啓子, 古山広大, 峯岸幸博, 梁秀鼎, 町田浩祥, 小林真紀, 佐藤建人, 中野寛之, 山本友香, 西脇道子, 木村友美, 東海林佳兼, 井上純人, 渡辺昌文: オシメルチニブが奏功した exon20 insertions EGFR 遺伝子変異陽性肺腺癌の 1 例. 第 106 回日本呼吸器学会東北地方会 第 136 回日本結核病学会東北地方会 第 12 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会東北地方会, 山形; 2018 年 3 月

(4) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 柴田陽光: COPD 治療の最前線—山形高島 STUDY から見えてくるもの—. 静岡県東部地区 COPD 学術講演会, 沼津; 2017 年 4 月
- 2) 柴田陽光: LAMA/LABA 時代の到来。最新の COPD 吸入療法とは?. COPD Specialist Summit in MITO, 水戸; 2017 年 5 月
- 3) 柴田陽光: LAMA/LABA 時代の到来。最新の COPD 吸入療法とは?—改訂 GOLD の問題点—. Yokohama Respiratory Conference, 横浜; 2017 年 5 月
- 4) 渡邊哲: 抗凝固療法～最新の知見～. 村山地区抗凝固療法セミナー, 山形; 2017 年 5 月
- 5) 市川一誠: 膠原病の概念と診断・治療の進歩. 山形膠原病ファーマシーセミナー2017, 山形; 2017 年 5 月
- 6) 田村晴俊: 大動脈弁狭窄症に対する新しいカテーテル治療「TAVI」と術後抗血栓療法の最新の知見. 第 207 回三郡市医師会合同学術講演会, 山形; 2017 年 5 月
- 7) 今田恒夫: CKD 患者の高カリウム血症管理について. 腎疾患検討会, 仙台; 2017 年 5 月
- 8) 今田恒夫: 慢性腎臓病 (CKD) を見つけたらどうする?—CKD シールについて—. ステップアップ研修会, 山形; 2017 年 5 月
- 9) 高橋大: 最近の末梢動脈疾患インターベンション治療の新たな進歩とその治療意義. 第 3 回長井ハートカンファレンス, 山形; 2017 年 6 月
- 10) 柴田陽光: LAMA/LABA 時代の到来。最新の COPD 吸入療法とは?—改訂 GOLD の問題点—. Meet The Expert in Hiroshima, 広島; 2017 年 6 月
- 11) 柴田陽光: LAMA/LABA 時代の到来。最新の COPD 吸入療法とは?—改訂 GOLD の問題点—. Meet The Respiratory Specialists—呼吸の今と未来を考える—, 栃木; 2017 年 6 月
- 12) 有本貴範: 心房細動アブレーション周術期におけるエドキサバンの抗 Xa 活性. 第 33 回山形不整脈研究会, 山形; 2017 年 6 月
- 13) 今田恒夫: 心血管リスクの観点から. トピロリック全国講演会 2017 大阪, 大阪; 2017 年 6 月
- 14) 沓澤大輔: 心房細動アブレーションの紹介と周術期における抗凝固療法. 第 5 回寒河江西村山地区メディカルカンファレンス, 山形; 2017 年 6 月
- 15) 柴田陽光: COPD 治療の考え方—GOLD2017 を踏まえて—. COPD Seminar in HIROSAKI, 弘前; 2017 年 6 月
- 16) 沓澤大輔: 心房細動の疾患・治療～抗凝固療法 DOAC の適正使用を踏まえて～. 平成 29 年度山形県薬剤師会・山形県病院薬剤師会合同研修会, 山形; 2017 年 6 月
- 17) 今田恒夫: 地域住民における慢性腎臓病の重要性～高島研究からの考察～. 腎臓 Expert Forum 2017, 名古屋; 2017 年 7 月
- 18) 今田恒夫: 山形県の CKD の現状と対策. 最上地域 CKD 講演会, 山形; 2017 年 7 月
- 19) 沓澤大輔: 心房細動アブレーションの紹介と周術期における抗凝固療法. 尾花沢大石田臨床懇話会, 山形; 2017 年 8 月
- 20) 今田恒夫: 高尿酸血症は心血管病のリスク因子となりうるか?～疫学研究が示す尿酸の臨床的意義～. 第 3 回痛風・高尿酸血症カレントセミナー, 千葉; 2017 年 8 月
- 21) 今田恒夫: 置賜地区の CKD の現状と対策. 置賜地区 CKD 講演会, 山形; 2017 年 8 月
- 22) 柴田陽光: COPD について. Meiji Seika ファルマ (株) 社内勉強会, 山形; 2017 年 9 月
- 23) 高橋大: 歩けることはうれしいこと～さらに進歩したカテーテルによる PAD 血管内治療. 第 4 回東北 CVT

連絡会, 山形; 2017年9月

- 24) 有本貴範: 抗 Xa 活性測定から見えてきた Xa 阻害剤の使い分け. 山形県臨床内科医会学術講演会, 山形; 2017年9月
- 25) 渡邊哲: 心電図の基本から不整脈の日常診療まで. 第3回みやぎ北東部地域・医療連携セミナー, 石巻; 2017年9月
- 26) 渡邊哲: XOR は新たな治療ターゲットなのか? 高尿酸血症と循環器疾患. 生活習慣病フォーラム in 福島, 福島; 2017年10月
- 27) 高橋大: さらに進歩した PAD 治療の現状と、インターベンション治療における経口抗凝固薬の可能性について. 新庄抗血栓療法研究会, 新庄; 2017年10月
- 28) 井上純人: 肺癌検診から診断、治療まで. 寒河江市西村山郡医師会産業医研修会, 山形; 2017年11月
- 29) 井上純人: 日常診療における咳、循環器疾患と COPD. Respiratory conference in Yamagata, 山形; 2017年12月
- 30) 有本貴範: 山形大学医学部附属病院における心臓リハビリテーションの取り組み. 石巻心不全学術講演会, 石巻; 2018年2月
- 31) 渡邊哲: ガイドライン改定と Cherry 研究報告. 脂質異常症フォーラム in 酒田, 酒田; 2018年3月
- 32) 井上純人: 日常診療における、咳、息切れ、COPD. 呼吸器疾患地域連携勉強会, 山形; 2018年3月
- 33) 香澤大輔: 心房細動の治療戦略～抗凝固薬の使い分けについて考える～. 心房細動ファーマシーセミナー in 朝日町, 山形; 2018年3月
- 34) 田村晴俊: 大動脈弁狭窄症に対する新しいカテーテル治療「TAVI」と術後抗血栓療法の最新の知見. Heart disease Expert Seminar 2018, 山形; 2018年3月
- 35) 香澤大輔: 心房細動アブレーションの紹介と周術期における抗凝固療法. 北村山の循環器医療連携を考える会, 山形; 2018年3月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 有本貴範: 合併症を防ぐために. Tohoku Ablation Forum 2017, 仙台; 2017年5月
- 2) 高橋大: EVT Ultimate SFA ②「とことん POBA とステントにこだわって、IVUS で仕上げる」. The 34th Live Demonstration in KOKURA, 北九州; 2017年5月
- 3) 井上純人: 抗 PD-1 抗体の使用について考える. 第2回山形県肺癌免疫療法研究会, 山形; 2017年5月
- 4) 今田恒夫: 生活習慣と尿検査腎・泌尿器検査研究会セミナー2017 in 山形, 山形; 2017年6月
- 5) 田村晴俊: PH 合併の ASD に対し treat and repaire を施行した1例. Cardiovascular therapies 2018, 東京; 2018年2月

iii 一般演題

- 1) 今田恒夫: 二次性高血圧の早期発見と早期治療について. 尿検査フォーラム 2016, 山形; 2017年4月
- 2) 山内聡: 心不全の病態と治療. 社内勉強会; 山形; 2017年4月
- 3) 今田恒夫: 地域住民健診からみた尿酸の臨床的意義～高島研究からの考察～. 秋田県トピロリック学術講演会, 秋田; 2017年5月
- 4) 木下大資: 二次的 PCI にて治療し得た消化管出血合併心筋梗塞の一例. 第45回 山形冠疾患治療検討会, 山形; 2017年5月
- 5) 香澤大輔: PCSK9 阻害薬の使用経験と今後の展望. 第16回山形心臓リハビリテーション研究会, 山形; 2017年5月
- 6) 今田恒夫: 高尿酸血症は心血管疾患のリスクか: 疫学研究からの回答. トピロリック全国講演会 2017 東京, 東京; 2017年5月
- 7) 渡邊哲: 抗血栓薬の功罪. みちのく WEB セミナー, 山形; 2017年5月
- 8) 大瀧陽一郎: 心不全の病態と治療. 大塚製薬社内勉強会, 山形; 2017年5月
- 9) 井上純人: 血管新生阻害剤の投与可否判断において悩まれた症例の提示. 肺癌画像診断 Expert Meeting, 山形; 2017年5月
- 10) 宮本卓也: 3剤併用療法が奏功した肺動脈性肺高血圧症例. 第8回山形肺高血圧症研究会, 山形; 2017年6月
- 11) 今田恒夫: 全国腎生検データベース (J-RBR) を用いた関節リウマチ関連腎障害の解析. Rheumatology

- Conference 2017, 東京;2017年6月
- 12) 渡部紗由美: SLE の経過中に微小変化型ネフローゼ症候群 (MCNS) を発症し、リツキシマブの投与で寛解維持できた一例. Rheumatology Conference 2017, 東京;2017年6月
 - 13) 高橋徹也: 肝線維化スコアリングシステムを用いた心肝連関の検討. 第2回山形心不全マネジメント研究会, 山形;2017年6月
 - 14) 井上純人: オシメルチニブ投与における EGFR 耐性遺伝子検索の実際. 第49回山形肺癌懇話会, 山形;2017年6月
 - 15) 梁秀鼎: 吸入治療における吸入デバイスと吸入手技の評価. COPD Meet The Expert in YAMAGATA, 山形;2017年6月
 - 16) 渡部拓也, 梁秀鼎, 古山広大, 峯岸幸博, 中野寛之, 佐藤建人, 佐藤正道, 根本貴子, 木村友美, 山内啓子, 東海林佳兼, 五十嵐朗, 井上純人, 柴田陽光, 久保田功: 化学療法が奏効した肺多形癌の1例. 第48回山形肺癌懇話会, 山形;2017年6月
 - 17) 山中多聞: PCI 後の抗血栓療法. 社内招聘勉強会, 山形;2017年6月
 - 18) 荒海光良: 糖尿病性腎症の管理と治療. 糖尿病ハイブリッド講演会 in 山形, 山形;2017年6月
 - 19) 有本貴範: アブレーションについて. エリキュース抗凝固療法セミナー in 山形, 山形;2017年6月
 - 20) 有本貴範: 心不全の病態と治療. 社内招聘勉強会, 山形;2017年7月
 - 21) 宮本卓也: 慢性心不全の診断と治療. 社内勉強会, 山形;2017年7月
 - 22) 柴田陽光: 日本人における COPD 併存症の現状. IGNITE Expert Forum Japan 2017, 東京;2017年7月
 - 23) 山中多聞: 虚血性心疾患に対する抗血小板療法の現状と課題. P-CAB Seminar, 山形;2017年7月
 - 24) 佐藤建人, 古山広大, 峯岸幸博, 梁秀鼎, 中野寛之, 佐藤正道, 根本貴子, 西脇道子, 木村友美, 山内啓子, 五十嵐朗, 東海林佳兼, 井上純人, 柴田陽光, 久保田功: 鉄欠乏状態における喫煙曝露の影響についての検討. 第91回閉塞性肺疾患研究会, 東京;2017年7月
 - 25) 高橋大: 外科内科でハイブリッド治療した患者さんはFHでした. 第23回山形心臓外科懇話会, 山形;2017年7月
 - 26) 近壮一朗, 渡部紗由美, 荒海光良, 亀井啓太, 大山みどり, 松木絵理, 安次富咲子, 樺澤麻美, 鈴木奈都子, 佐藤紘子, 市川一誠, 今田恒夫, 久保田功: DDAVP を使用し治療を行った水中毒の2例. 第28回東北腎フォーラム, 仙台;2017年7月
 - 27) 宮本卓也: 虚血性心疾患領域における現状と治療方針, 最新の話題・DOAC, ワルファリンの現状, 使い方. 第一三共株式会社 社員研修会, 山形;2017年8月
 - 28) 松木絵理: 手指皮膚硬化, 胸水・腹水, M蛋白血症を認め, 腎障害を呈した1例. 第16回東北臨床免疫研究会, 秋田;2017年8月
 - 29) 山中多聞: 虚血性心疾患に対する抗血小板療法の現状と課題. Ishinomaki Joint Meeting~循環器疾患と消化器疾患を考える会~, 石巻;2017年8月
 - 30) 熊谷遊, 有本貴範, 岩山忠輝, 杏澤大輔, 中村圭佑, 亀井祐哉, 桐林伸幸, 禰津俊介, 村形寿彦, 渡邊哲, 久保田功: 心臓MRI で測定した両心房最大容積は肺静脈隔離術後の心房細動再発を予測し得る. 第9回東北臨床不整脈研究会, 福島;2017年9月
 - 31) 井上純人: 細菌感染性肺炎の診断と治療. 日本製薬社外講師勉強会, 山形;2017年9月
 - 32) 渡部賢: HF pEF における血中キサンチン酸化還元酵素 (XOR) 活性の臨床的意義の検討. 第8回東北心不全研究会, 仙台;2017年9月
 - 33) 杏澤大輔: 心房細動アブレーションの紹介. トーアエイヨー 社内研修会, 山形;2017年9月
 - 34) 西山悟史: 心不全の病態と治療. 大塚製薬社内招聘勉強会, 山形;2017年9月
 - 35) 渡部賢, 渡邊哲, 大瀧陽一郎, 宍戸哲郎, 田村晴俊, 西山悟史, 高橋大, 有本貴範, 山内聡, 山中多聞, 宮本卓也, 久保田功: HF pEF における血中キサンチン酸化還元酵素 (XOR) 活性の臨床的意義の検討. 第8回東北心不全研究会, 仙台;2017年9月
 - 36) 田村晴俊: 大動脈弁狭窄症に対する新しいカテーテル治療「TAVI」と術後抗血栓療法の最新の知見. 循環器領域ファーマシーセミナー2017, 山形;2017年9月
 - 37) 五十嵐朗: 当院の COPD 患者における喘息合併の実態. YAMAGATA LUNG MEETING, 山形;2017年9月
 - 38) 山内啓子: 肺癌関連の話題. ファイザー社内勉強会, 山形;2017年10月

- 39) 渡邊哲：動脈硬化性疾患予防ガイドラインについて。山形脂質カンファレンス，山形；2017年10月
- 40) 佐藤建人：鉄欠乏病態における喫煙曝露の影響についての検討。第8回山形気道炎症研究会，山形；2017年10月
- 41) 有本貴範：抗Xa活性測定から見えてきたXa阻害剤の使い分け。釧路市医師会学術講演会，釧路；2017年10月
- 42) 齋藤悠司：当院のTAVI初期症例の検討。山形循環器呼吸器・麻酔・集中治療研究会2017，山形；2017年10月
- 43) 大瀧陽一郎：EPAが脂質プラークに与える影響～CHERRY studyより～。循環器疾患と脂肪酸研究会，山形；2017年10月
- 44) 木下大資：左心室血栓を有する肺血栓症例に対するDOACの使用法。新庄抗血栓療法研究会，新庄；2017年10月
- 45) 有本貴範：地域全体で協力する心房細動マネジメント。石巻循環器セミナー，石巻；2017年10月
- 46) 井上純人：最近の肺癌治療の話題。中外製薬 社内研修会，山形；2017年10月
- 47) 杏澤大輔：当院における心臓リハビリテーションの運営について。第10回酒田Circulation Meeting，酒田；2017年10月
- 48) 木村友美：Nivolumabによって間質性肺障害を発症した1例。がん免疫療法セミナー～診療科連携と副作用マネジメント～，山形；2017年11月
- 49) 大瀧陽一郎：脳梗塞におけるBNPとNT-proBNPの臨床意義の検討。ロシユ福島循環器セミナーin郡山，郡山；2017年11月
- 50) 井上純人：ニボルマブ投与後の後治療の症例報告について。第4回腫瘍免疫から考える肺癌治療東北研究会，仙台；2017年11月
- 51) 木下大資：最新の虚血性心疾患治療。Complex Vascular Intervention Conference 2017，山形；2017年11月
- 52) 山内聡，宮本卓也，齋藤悠司，土屋隼人，熊谷遊，横山美雪，木下大資，和根崎真大，大瀧陽一郎，杏澤大輔，田村晴俊，西山悟史，高橋大，有本貴範，宍戸哲郎，山中多聞，渡邊哲：冠動脈自然解離をきたした若年女性の一例。第46回山形冠疾患治療検討会，山形；2017年11月
- 53) 山中多聞：New tapered wire「Witch」。山形県CTO研究会，山形；2017年11月
- 54) 井上純人：呼吸器内科のキャリア。やまがた呼吸器塾，山形；2017年11月
- 55) 五十嵐朗：呼吸器内科の臨床。やまがた呼吸器塾，山形；2017年11月
- 56) 古山広大：呼吸機能、FeNO。やまがた呼吸器塾，山形；2017年11月
- 57) 佐藤建人：呼吸器内科の研究。やまがた呼吸器塾，山形；2017年11月
- 58) 中野寛之：人工呼吸器、吸入療法。やまがた呼吸器塾，山形；2017年11月
- 59) 町田浩祥：気管支内視鏡。やまがた呼吸器塾，山形；2017年11月
- 60) 山中多聞：虚血患者に対するCRT植込みテクニック。CRT for Interventional Cardiologist～虚血医だからこそできるCRT～，川崎；2017年11月
- 61) 井上純人：当科における肺癌治療方針について。大鵬薬品工業社内研修会，山形；2017年11月
- 62) 高橋大：循環器治療基礎知識・地域医療連携について～急性冠症候群などを発症後どのような経過をたどって近隣の医療機関に回っていくか～。サノフィ株式会社山形営業所社内研修会，山形；2017年11月
- 63) 杏澤大輔：心房細動の治療戦略。第1回症例から考える抗血栓療法勉強会，山形；2017年11月
- 64) 齋藤悠司：CPX直後に心肺停止となり救命できなかった症例のCPX所見の再検討。心リハフォーラム in Yamagata，山形；2017年11月
- 65) 田村晴俊，宮本卓也，山中多聞，山内聡，齋藤悠司，土屋隼人，橋本直土，西山悟史，渡邊哲：STJ石灰化あり二段階拡張でS3を留置した一例。ストラクチャークラブ・ジャパン ライブデモンストレーション2017，福岡；2017年11月
- 66) 田村晴俊：大動脈弁狭窄症に対する新しい低侵襲カテーテル治療「TAVI」。公立置賜総合病院講演会。山形；2017年11月
- 67) 有本貴範：トルバプタンを活かした高齢者の心不全管理。心リハフォーラム in Yamagata，山形；2017年11月

- 68) 宮本卓也：三剤併用療法が奏功した肺動脈性肺高血圧症例。庄内肺高血圧症講演会，鶴岡；2017年12月
- 69) 田村晴俊：大動脈弁狭窄症に対する新しい低侵襲カテーテル治療「TAVI」。トーアエイヨー株式会社 社内研修会，山形；2017年12月
- 70) 市川一誠：高血圧とCKD。第1回新・症例から考える高血圧勉強会 トレーニングセミナー，山形；2017年12月
- 71) 渡邊哲：最新治療における Imaging Modality。第11回 IB-IVUS・IBエコー研究会，東京；2018年1月
- 72) 渡邊哲：EPAの残余リスク改善効果。IB-IVUSを用いた検討～CHERRY研究～。第11回 IB-IVUS・IBエコー研究会，東京；2018年1月
- 73) 井上純人：COPDの病態の理解、吸入療法に対する理解。Meiji Seika ファルマ（株）社内研修会，山形；2018年1月
- 74) 井上純人：肺癌の診察と治療、最新の知見。アストラゼネカ（株）社員教育研修会，山形；2018年2月
- 75) 高橋大：心房細動治療の現状と課題。日本ベーリンガーインゲルハイム（株）社内研修会，山形；2018年2月
- 76) 渡辺昌文：心不全バンデミックを迎えて。東北中央病院院内研修会，山形；2018年2月
- 77) 大瀧陽一郎：イコサペント酸（EPA）が脂質プラークに与える影響および循環器疾患における尿細管障害とSGLT2阻害剤の関連性についての考察。日本ベーリンガーインゲルハイム（株）社内研修会，山形；2018年2月
- 78) 土屋隼人，田村晴俊，和根崎真大，山浦玄斎，西山悟史，渡邊哲，渡辺昌文：3D経食道心エコーが診断に有用であった心室頻拍を合併した大動脈一尖弁の一例。第20回山形心エコー図研究会，山形；2018年2月
- 79) 高橋大：地方大学病院でも出来たPADに対する地域内連携～最新のPADカテーテル治療の話題も含めて。末梢動脈疾患患者の足を護る，秋田；2018年3月
- 80) 田村晴俊：遠方からの高齢患者を集めるために行っていること。TREND2018，仙台；2018年3月
- 81) 田村晴俊：大動脈弁狭窄症に対する新しいカテーテル治療「TAVI」～病診連携から治療まで～。南陽市東置賜郡医師会学術講演会，山形；2018年3月
- 82) 高橋大：静脈血栓塞栓症の治療に関して。静脈血栓塞栓症を考える会，山形；2018年3月
- 83) 渡邊哲：抗血栓薬の功罪。抗血栓療法の治療継続を考える～タケキャブ錠発売3周年記念～，山形；2018年3月
- 84) 大山みどり：強皮症腎の1例。第2回新・症例から考える高血圧勉強会，山形；2018年3月
- 85) 西山悟史：動脈硬化指標と脳梗塞の関係。酒田動脈硬化セミナー／酒田救急講演会，酒田；2018年3月
- 86) 近社一朗：当科における難治性高安動脈炎に対するトシリズマブ治療の経験。第33回東北リウマチ診療研究会，山形；2018年3月
- 87) 田村晴俊：大動脈弁狭窄症に対する新しい低侵襲カテーテル治療「TAVI」。バイエル製薬社内勉強会，山形；2018年3月
- 88) 杏澤大輔：心房細動アブレーションの紹介と周術期における抗凝固療法。Heart disease Expert Seminar 2018，山形；2018年3月

(5) 座 長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 宮本卓也：北里スタイルOCTガイドPCI。第45回 山形冠疾患治療検討会，山形；2017年5月
- 2) 柴田陽光：長期生存を目指した肺癌治療～当院での経験を踏まえて～。第2回山形県肺癌免疫療法研究会，山形；2017年5月
- 3) 柴田陽光：興味深い画像所見の肺癌症例検討。肺癌画像診断Expert Meeting，山形；2017年5月
- 4) 今田恒夫：ステロイド性骨粗鬆症について。Premium connective tissue diseases Conference 2017，山形；2017年5月
- 5) 有本貴範：心房細動に対する経皮的左心耳縫縮術と抗凝固療法。Yamagata Atrial Fibrillation Premium Conference，山形；2017年6月
- 6) 宮本卓也：肺高血圧症の早期発見と治療方針。第8回山形肺高血圧症研究会，山形；2017年6月
- 7) 柴田陽光：COPDに向き合う～臨床医として～。COPD Meet The Expert in YAMAGATA，山形；2017年6月

- 8) 今田恒夫：リン管理の新しい意義と生命予後への効果. 高リン血症治療セミナー～ホスレノール発売8周年記念講演会～, 山形; 2017年6月
- 9) 渡邊哲：減らすためのエビデンス DOAC への期待. エリキュース抗凝固療法セミナー in 山形, 山形; 2017年6月
- 10) 宮本卓也：PCPS を用いた蘇生治療とその教育の現状について. 山形心不全懇話会, 山形; 2017年7月
- 11) 柴田陽光：ACO 診療の最前線. 第16回山形COPD研究会, 山形; 2017年7月
- 12) 今田恒夫：腎臓と骨ミネラル代謝. 第28回東北腎フォーラム, 仙台; 2017年7月
- 13) 西山悟史：今日の臨床負荷心エコー図. 第19回山形心エコー図研究会, 山形; 2017年8月
- 14) 柴田陽光：IPF に対する基礎的見地. IPF Academy in Yamagata, 山形; 2017年9月
- 15) 宮本卓也：ファブリー病における早期診断・早期治療の重要性～疑い例の臨床所見・検査・診断を中心に～. Meet the Specialist in 山形ファブリー病セミナー2017, 山形; 2017年9月
- 16) 渡邊哲：大規模観察研究から見える日本の循環器診療とバイオマーカー測定について. ロシユ循環器セミナー in 山形, 山形; 2017年9月
- 17) 柴田陽光：特発性肺線維症～抗線維化療法を基礎と臨床から考える～. 第28回山形胸部疾患研究会, 山形; 2017年10月
- 18) 渡邊哲：冠動脈プラーク退縮における脂質管理の重要性～PRECISE-IVUS トライアルからの知見～. 山形脂質カンファレンス, 山形; 2017年10月
- 19) 渡邊哲：リポクオリティ研究が解き明かすものー ω 3脂肪酸の代謝抗. 循環器疾患と脂肪酸研究会, 山形; 2017年10月
- 20) 柴田陽光：「胸水診断の現状と課題」 「Pleural Disease Update 2017」. Chest Conference in Yamagata, 山形; 2017年10月
- 21) 渡邊哲：心不全と神経体液性因子～高齢者心不全におけるトルバプタンへの期待～. 第10回山形PAD・心不全研究会, 山形; 2017年11月
- 22) 渡邊哲：心房細動の管理を通じて考える次世代のEBM. エリア MASTERCLASS in 山形, 山形; 2017年11月
- 23) 渡邊哲：循環器医からみた糖尿病治療～SGLT2 阻害薬への期待～. 第4回循環器医のための最新治療勉強会, 山形; 2017年11月
- 24) 有本貴範：Substrate Based Ablation-Leipzig's Approach-. Yamagata Atrial Fibrillation Premium Conference, 山形; 2017年12月
- 25) 有本貴範：当院における不整脈診療および研究について. Arrhythmia Specialist Semina, 山形; 2018年1月
- 26) 井上純人：NSCLC 治療 UP-TO-DATE～Stage III集学的治療の変遷. Astrazeneca Scientific Exchange Meeting in 山形, 山形; 2018年2月
- 27) 渡辺昌文：抗凝固療法の展望の最近の知見. YAMAGATA CV & STROKE SUMMIT, 山形; 2018年2月
- 28) 有本貴範：アブレーション治療進化と合併症. I Can 2018, 青森; 2018年2月
- 29) 井上純人：新規分子標的薬による重症喘息治療の最適化について～現状と将来～. Severe Asthma Symposium 2018 in 山形, 山形; 2018年3月
- 30) 有本貴範：当院における心筋シンチグラフィ～Prone 撮影の経験～. 第23回山形心臓核医学懇話会, 山形; 2018年3月
- 31) 渡邊哲：心筋シンチ～読影の基礎と最近の話題～. 第23回山形心臓核医学懇話会, 山形; 2018年3月
- 32) 渡邊哲：脂質異常症を克服する～SPPAR α への期待～. 脂質異常症フォーラム in 山形, 山形; 2018年3月
- 33) 井上純人：喘息治療における吸入指導と当医員の取り組み. 第4回 やまがた医療連携吸入指導勉強会, 山形; 2018年3月
- 34) 渡辺昌文：自己抗体からみた関節リウマチの病態・診断・治療. 第36回山形リウマチ研究会, 山形; 2018年3月
- 35) 渡辺昌文：「心房細動アブレーションの紹介と周術期における抗凝固療法」「大動脈弁狭窄症に対する新しいカテーテル治療「TAVI」と術後抗血栓療法の最新の知見」. Heart disease Expert Seminar 2018, 山形; 2018年3月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

柴田陽光: 1. 喘息治療の現状と残された課題 2. ICS/LABA 配合剤による喘息コントロールの向上 3. フルティフォームの実臨床における使用感. 喘息治療エリアミーティング 2017 in 山形, 山形; 2017年4月

iii 一般演題

- 1) 今田恒夫: 多発性嚢胞腎の診断と治療に関する情報提供. 第1回 ADPKD エキスパートミーティング, 山形; 2017年4月
- 2) 渡邊哲: PCI 後の抗血栓療法における消化管障害リスクマネジメント. 抗血栓療法マネジメントセミナー, 山形; 2017年4月
- 3) 山中多聞: 「二期的 PCI にて治療し得た消化管出血合併心筋梗塞の一例」「TAVI 後の PVL に対し経カテーテル的にプラグ留置を行った一例」「ステント脱落し治療に難渋した一症例」「大伏在静脈グラフトの新しい採取法 no touch 法について」. 第45回 山形冠疾患治療検討会, 山形; 2017年5月
- 4) 柴田陽光: 気管支喘息 Year in Review 2016. SEM in 東北, 仙台; 2017年5月
- 5) 今田恒夫: 教育講演 3 「Multi-Hit Pathogenetic Pathways in IgA Nephropathy」. 第60回日本腎臓学会学術総会, 仙台; 2017年5月
- 6) 今田恒夫: ネフローゼ症候群 3 「VAGF が繋ぐ Angiolymphoid Hyperplasia with Eosinophilia (ALHE) と膜性腎症」「当科開発 ELISA と Euroimmune 社 ELISA による当施設での特発性膜性腎症患者の抗 phospholipase A2 receptor 抗体の比較検討」「微小変化型ネフローゼ症候群と膜性腎症における尿細管マーカーの検討」「膜性腎症の寛解に及ぼす免疫抑制療法の影響～組織学的 stage の影響も含めて～」 「日本特発性膜性腎症における HLA と PLA2R1 遺伝子全領域の遺伝的解析」. 第60回日本腎臓学会学術総会, 仙台; 2017年5月
- 7) 市川一誠: 慢性腎不全 (臨床). 第60回日本腎臓学会学術総会, 仙台; 2017年5月
- 8) 宮本卓也: 静脈血栓症の最近の話題: がん治療の発展への対応. 山形静脈血栓症懇話会, 山形; 2017年5月
- 9) 西山悟史: DVT に対する下肢静脈エコーの実際～簡易・精査法における描出・評価のポイント～. 山形静脈血栓症懇話会, 山形; 2017年5月
- 10) 井上純人: 症例検討 I. Yamagata Respiratory Club Conference, 山形; 2017年6月
- 11) 五十嵐朗: 症例検討 II. Yamagata Respiratory Club Conference, 山形; 2017年6月
- 12) 渡邊哲: 虚血性心疾患 2 「甲状腺機能低下症の治療中断が影響した、虚血性心疾患に対し手術を施行した 1 例」「運動誘発性冠攣縮に伴う無症候心筋虚血の一例」「繰り返す冠攣縮に伴う心室細動に対して皮下植込型除細動器 (S-ICD) を施行した若年男性の一例」「急性冠症候群に対する緊急心臓カテーテル検査で発見された膜様部心室中隔瘤の一例」「アキレス腱のレントゲン撮影が家族性高コレステロール血症の診断に寄与した一例」. 第164回日本循環器学会東北地方会, 盛岡; 2017年6月
- 13) 今田恒夫: 「全身性エリテマトーデス合併肺高血圧症に対する肺血管拡張薬の upfront combination therapy の有用性」「成人発症スティル病の遺伝的要因の検討」. Rheumatology Conference 2017, 東京; 2017年6月
- 14) 有本貴範: 「完全房室ブロックで発症した急性心筋炎の 1 例」「好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 (EGPA) 発症早期に心不全を呈した 1 例」「皮下植込み型 ICD リードを胸骨右縁に植え込んだ Brugada 症候群の 1 例」「心室瘤を伴う心サルコイドーシスの心機能評価に心臓 MRI が有用であった 1 例」「β 刺激薬の使用によりカテコラミン心筋症を呈した 1 例」. 第211回日本内科学会東北地方会, 仙台; 2017年6月
- 15) 市川一誠: 不明熱で発症した高齢成人スチル病の 1 例. 第211回日本内科学会東北地方会, 仙台; 2017年6月
- 16) 有本貴範: 「青壮年期の ICD 患者が退院後の日常生活で困っていること、気をつけていること」「肝線維化スコアリングシステムを用いた心肝連関の検討」「当院における心不全に対する多角的介入について」. 第2回山形心不全マネジメント研究会, 山形; 2017年6月
- 17) 五十嵐朗: 吸入治療における吸入デバイスと吸入手技の評価. COPD Meet The Expert in YAMAGATA, 山形; 2017年6月
- 18) 井上純人: LAMA と LABA の使い分けに関して. COPD Meet The Expert in YAMAGATA, 山形; 2017年6月

- 19) 渡邊哲：心血管ハイリスク患者の脂質治療戦略～抗 PCSK 9 抗体の可能性～. Hyperlipidemia Forum 2017 in Yamagata, 山形；2017 年 6 月
- 20) 渡邊哲：「当院で経験したたこぼ型心筋症の特徴について」「たこぼ型心筋症に急性心筋梗塞を合併した 1 例」「心房細動に対する抗凝固療法中に肝動脈塞栓症を生じた 1 例」「急性心筋梗塞に対する冠動脈造影直後に多発脳梗塞を併発し、冠動脈から回収した組織より左房粘液腫の全身塞栓症と診断した 1 例」「健康妊婦の出産直前に発症した特発性冠動脈解離の 1 例」. 第 37 回心筋梗塞研究会, 東京；2017 年 7 月
- 21) 柴田陽光：呼吸疾患で入院した患者の急性期における血中アミノ酸分析. 山縣在宅呼吸療法研究会, 山形；2017 年 7 月
- 22) 柴田陽光：1. 客観的指標を用いた COPD 合併喘息の検討 2. Astma-COPD overlap syndrome 患者に発症した好酸球性肺炎の病態を呈する浸潤性接合菌症の 1 例 3. pMDI (ICS と ICS/LABA) 製剤のエアゾロル移動速度. 第 51 回東北アレルギー懇話会, 盛岡；2017 年 7 月
- 23) 渡邊哲：循環器領域における睡眠呼吸障害について～SERVE-HF 試験以降の ASV 治療の現状～. 循環器陽圧呼吸療法カンファレンス, 山形；2017 年 7 月
- 24) 久保田功：「心肺運動負荷試験でのウォームアップ時血圧は夜間血圧上昇のスクリーニングに有用である」「心肺運動負荷試験中の経皮的酸素飽和度の検討」「心疾患患者の運動時呼吸筋疲労を規定する因子の検討」「外来期における心臓外科術後患者の上部柔軟性と呼吸機能について」「運動習慣のない若年女性における運動中の 1 回拍出係数の動態の検討」「時系列パラメトリック近似法を用いた呼吸化学受容器反射機能の推定」「自発運動が心筋梗塞による心筋及び骨格筋炎症に及ぼす影響の検討」. 第 23 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 岐阜；2017 年 7 月
- 25) 高橋大：冠動脈プラーク管理における積極的脂質低下療法の意義. Yamagata Young Interventionist Seminar, 山形；2017 年 7 月
- 26) 山中多聞：「PCSK 9 阻害剤適応となるハイリスク症例」「PCSK9 阻害剤を投与を検討する症例」. Yamagata Young Interventionist Seminar, 山形；2017 年 7 月
- 27) 有本貴範：当院における抗凝固療法の実態と課題. YAMAGATA Arrhythmia Seminar, 山形；2017 年 7 月
- 28) 柴田陽光：Immune checkpoint inhibitors attainment and perspective. 第 56 回日本肺癌学会東北支部会・第 43 回日本呼吸器内視鏡学会東北支部会ランチョンセミナー, 山形；2017 年 7 月
- 29) 井上純人：「オシメルチニブ使用中に 2 回の肺障害をきたし、それぞれ異なる BAL 所見を呈した肺腺癌の 1 例」「気道異物を契機に器質化肺炎及び関節リウマチの診断に至った 1 例」「サプリメントが原因として考えられた薬剤性間質性肺炎の 1 例」「当院における気管支サーモプラスティ (Bronchial Thermoplasty : BT) の治療経験」「体外式膜型人工肺 (ECMO) 補助下に気管管状切除・再建を施行した高度気管浸潤甲状腺癌の 1 例」「ICG 静注法と Slip knot 法の併用で区域管同定を行った右 S6 区域切除術の 1 例」. 第 56 回日本肺癌学会東北支部会・第 43 回日本呼吸器内視鏡学会東北支部会ランチョンセミナー, 山形；2017 年 7 月
- 30) 市川一誠：「両側腎静脈血栓症を伴ったネフローゼ症候群の一例」「糸球体肥大を引き起こす因子に関する検討」「DDAVP を使用し治療を行った水中毒の 2 例」「腎生検後の圧迫により合併症は減るか?」「透析導入時の血清 Mg と生命予後及び心血管イベントの関係性」「重症筋無力症、抗リン脂質抗体症候群にクリオグロブリン陽性膜性増殖性糸球体腎炎を合併した一例」. 第 28 回東北腎フォーラム, 仙台；2017 年 7 月
- 31) 市川一誠：糖尿病合併症抑制を考慮した血糖降下薬の選択. 透析患者の糖尿病治療を考える, 山形；2017 年 9 月
- 32) 大瀧陽一郎：BNP, NT-proBNP と心臓カテーテル検査指標との関係. ロシユ循環器セミナー in 山形, 山形；2017 年 9 月
- 33) 渡邊哲：画像診断・その他「左室駆出率の保持されたうっ血性心不全急性期のアデノシン負荷タリウム心筋シンチ」「収縮障害心不全における QRS 幅と安静 Tc で測定された左室収縮非同期性 3D-mechanical dyssynchrony の予後評価」「非虚血性拡張型心筋症における、遅延造影と GLS との関連」「肥大型心筋症における心イベント予測：心臓 MRI を用いた研究」「Seattle Heart Failure Model の日本における外的妥当性の検証」「心臓シミュレータ UT-Heart によるテーラーメイド心臓モデルは心臓再同期療法の効果を予測する」. 第 21 回日本心不全学会学術集会, 秋田；2017 年 10 月
- 34) 宮本卓也：急性期管理「初期治療に対する hemoconcentration は、Cardiac type の急性心不全患者の予後

- 予測因子である」「急性非代償性心不全患者における膈外分泌機能の検討」「急性非代償不全性心不全患者における入院時の低二酸化炭素血症がもたらす臨床転機」「IABP による早期のサポートが急性心不全の院内予後に与える影響」「急性肺水腫における右室機能、左室機能の相互関係の検討」．第 21 回日本心不全学会学術集会，秋田；2017 年 10 月
- 35) 井上純人：鉄欠乏病態における喫煙曝露の影響についての検討．第 8 回山形気道炎症研究会，山形；2017 年 10 月
- 36) 柴田陽光：Nivolumab によって間質性肺障害を発症した 1 例．がん免疫療法セミナー～診療科連携と副作用マネジメント～，山形；2017 年 11 月
- 37) 市川一誠：「高齢女性に発症した頸椎偽痛風の 3 症例の検討」「乾癬症治療薬エトレチナート投与によって両側巨大股関節唇石灰化を生じた 1 例」「成人 Still 病に対し、Tofacitinib が著効した一例」「抗ミトコンドリア M2 抗体陽性を示した、右大腿筋に局限する筋炎の一例」．第 27 回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会，山形；2017 年 11 月
- 38) 宍戸哲郎：「トルバプタン早期投与が有用であった CKD 合併超高齢者急性心不全の 3 例」「ネフローゼ症候群を合併した慢性心不全の体液貯留に対しアセタゾラミドが奏功したと考えられた一例」「HF pEF 患者における簡便な予後予測リスクスコア-CHART-2 研究からの報告-」「高齢者心不全の臨床的特徴と予後規定因子および性差についての検討-CHART-2 研究からの報告-」「慢性心不全患者に対する外来点滴加療の意義」．第 165 回日本循環器学会東北地方会，仙台；2017 年 12 月
- 39) 宮本卓也：「ステント脱落をベイルアウトできた症例」「ワイヤーが偽腔に迷入し、IVUS ガイドが有用であった ACS の 1 例」「総大腿動脈穿刺からのワイヤー操作が原因と考えられた下腹壁動脈穿孔の 2 例」「石灰化を伴う屈曲病変へのステント留置後に IVUS スタックを生じた一例」「アンギオシール後の急性下肢動脈閉塞に対してバルーン治療を行うも再閉塞をきたし、外科手術を要した症例」．第 43 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会，盛岡；2018 年 1 月
- 40) 高橋大：「高度石灰化病変がある ASO 治療中に 4. 2Fr. カテーテル先端が漸裂した一例」「Terminal Aorta の内膜剥離病変により間欠性跛行を生じた症例」「浅大腿動脈へのステント留置後に膝窩動脈の末梢塞栓を合併し、生検鉗子による塞栓子回収に成功した一例」「足関節以下の動脈に局限した石灰化病変の対し EVT を施行した重症下肢虚血の一症例」「カバードステントを用いた腎動脈瘤の治療経験」．第 43 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会，盛岡；2018 年 1 月
- 41) 井上純人：「胸部異常陰影を契機として診断に至った IgG4 関連疾患に伴う中枢性尿崩症の 1 例」「低 Na 血症を合併した IgG4 関連肺腫瘍性病変の 1 例」「キアリ奇形 1 型に伴う脊髄空洞症による呼吸筋麻痺を呈した 1 例」「進行性の気管支の肥厚及び狭窄を認めた 1 例」．第 213 回日本内科学会東北地方会，仙台；2017 年 2 月
- 42) 西山悟史：「当院透析患者における AS の頻度・重症度・重症度の時間的推移・手術適応の頻度」「孤立性左鎖骨下動脈症の一例」「脳梗塞患者における大動脈弓部プラークの非造影 MRA と経食道心エコーの画像比較：3 症例の検討」「糸輪部膿瘍を伴った大動脈弁感染症心内膜炎に対するステントレス生体弁による弁置換術」「3D 経食道心エコーが診断に有用であった心室頻拍を合併した大動脈一尖弁の一例」．第 20 回山形心エコー図研究会，山形；2018 年 2 月
- 43) 渡辺昌文：循環器領域における PCI 後の抗血栓療法と消化管出血～心房細動に対する新たなアプローチを含めて．抗血栓療法と消化器疾患を考える会-タケキャブ発売 3 周年記念講演会-，山形；2018 年 3 月
- 44) 井上純人：やまがた医療連携吸入指導の取り組み．第 4 回やまがた医療連携吸入指導勉強会，山形；2018 年 3 月
- 45) 渡邊哲：表在・血管・基礎「足底神経線維腫の 1 例」「医用超音波による硬膜外麻酔施行補助のための複数送信ビーム角度のデータを用いた胸椎表面描出法に関する検討」「超音波顕微鏡による生体試料の音響特性のロバストな解析方法」「静脈血栓塞栓症リスク評価として Caprini スコアと Padua スコアの有用性」「当院における下肢静脈エコーに関する検討」「重複下大静脈による若年性深部静脈血栓症の 1 例」「頸部腫脹にて発症した椎骨動静脈瘻の 1 例」．日本超音波医学会第 55 回東北地方会学術集会，仙台；2018 年 3 月
- 46) 渡辺昌文：TAVI についての最新の話題．ハートチーム勉強会，山形；2018 年 3 月
- 47) 市川一誠：食事療法とリン管理．山形 CKD 学術講演会，山形；2018 年 3 月

- 48) 久保田功: Moving from the Comfort Zone -Classical to Translational Statistics-. How can We Connect Data to Statistical Analysis? Quality Management and Data Management in Current Clinical Researches. Statistics in Medicine: Reporting Results of Retrospective Studies. How Far can You Do Using Clinical Databases and Population Cohorts?. 第82回日本循環器学会学術集会, 大阪; 2018年3月
- 49) 久保田功: Data Management for Home Health Monitoring. Early Detection of Congestion in Home-based Heart Failure Management. Noninvasive Home Tele-Monitoring Using Respiratory Stability Index for Patients with Chronic Heart Failure, Current Status and Problems of Development of Patient Information Measurement Devices at Home Medical Care. Handling Personal Information Regarding Home Medical Care Patient. 第82回日本循環器学会学術集会, 大阪; 2018年3月
- 50) 渡辺昌文: A Novel Protein Senescence-associated Glycoprotein (SAGP) is Involved in the Mitochondrial Autophagy and Improves Atherosclerotic Disease. Endothelial Extracellular Signal-Regulated Kinase 2 Induced Hypertension and Endothelial Dysfunction and Insulin Resistance in Obese. High Salt and IL-17 Synergistically Worsen Aortic Dissection by Dysregulation of Extracellular Matrix. STAT3 in Smooth Muscle Cells Prevents Progression of Aortic Dissection by Reinforcing the Physical Strength of Aortic Walls. Endogenous Calcitonin Gene-related Peptide (CGRP) Suppresses Ischemic Brain Injuries and Progression of Cognitive Decline. p122RhoGAP/DLC-1 Overexpression Enhances Intracellular Calcium Concentration in Response to Acetylcholine in Isolated Vascular Smooth Muscle Cells. 第82回日本循環器学会学術集会, 大阪; 2018年3月
- 51) 渡邊哲: Treatment Patterns and LDL-C Goal Attainment Rates among Dyslipidemic Patients with High Cardiovascular Risk in Japan: A Retrospective Database Analysis. Comparison of the Effects of Linagliptin and Voglibose on Endothelial Function in Patients with Type2 Diabetes and Coronary Artery Disease. High Glycemic Variability (GV) is a Significant Predictor of Following Cardiovascular Events in Non-diabetic Acute Coronary Syndrome (ACS) Patients. Relationship between Mitral Annular Calcification and Aortic Plaque. Correlation of Arterial Stiffness with Coronary Artery Disease Complexity and Presence of Coronary Disease in Patients Undergoing Coronary Angiogram. Neural Cell Adhesion Molecule-1 may be a New Biomarker of Coronary Artery Disease. 第82回日本循環器学会学術集会, 大阪; 2018年3月
- 52) 西山悟史: Prognostic Impact of Cerebral Microbleeds in Patients with Coronary Artery Disease. What is the Role of Prehospital Oral Anticoagulation Therapy in Cases with Acute Cardioembolic Stroke Related to Atrial Fibrillation?. Cardio-ankle Vascular Index (CAVI) is a Feasible Parameter for Predicting Cardioembolic Stroke in Patients with Atrial Fibrillation. Clinical Profiles in Ischemic Stroke Patients with Cardiac Embolism -Comparison to Lacunar and Atherosclerotic Infarction-. Lessons from the Utilization of Oral Anticoagulant Therapy in Patients with Acute Cardiogenic Cerebral Embolism Related to Atrial Fibrillation. Crucial Role of Endothelial Nitric Oxide Synthase in the Therapeutic Effects of Low-intensity Pulsed Ultrasound for Dementia in Mice. Self-Expandable Valve Affects High Intensity Spots Detected by DW-MRI after Transcatheter Aortic Valve Replacement in Patients with Severe Aortic Stenosis. 第82回日本循環器学会学術集会, 大阪; 2018年3月

(6) その他

- 1) 市川一誠: パネリスト. 多発性嚢胞腎 (ADPKD) の治療を考える. 第1回ADPKDエキスパートミーティング, 山形; 2017年4月
- 2) 柴田陽光: コメンテーター. 第60回日本腎臓学会学術総会, 仙台; 2017年5月
- 3) 田村晴俊: コメンテーター. ビデオライブ「TAVI」. TREND2018, 仙台; 2018年3月

3. 学会等での受賞

- 1) 須貝孝幸: Young Investigator's Award 優秀賞 (研究発表部門) 腸腰筋 CT 値の低下は末梢動脈疾患患者

- の予後を予測する. 第164回日本循環器学会東北地方会, 盛岡; 2017年6月
- 2) 高橋徹也: BEST POSTER Relationship between pulse pressure and silent and ongoing myocardial damage in the general population. ESC CONGRESS 2017, Barcelona; 2017年8月
 - 3) 小山響子: 優秀演題賞 気管支軟骨を病変の主座とした再発性多発軟骨炎の1例. 第105回日本呼吸器学会東北地方会, 第135回日本結核病学会東北支部学会, 盛岡; 2017年9月
 - 4) 渡部紗由美: 優秀演題賞 膜性腎症の治療経過中に全身性エリテマトーデス・ループス腎炎の診断に至った一例. 第27回日本リュウマチ学会 北海道・東北支部学術集会, 山形; 2017年11月
 - 5) 渡邊哲: 山形大学医学会 最優秀教員賞. 2018年2月

内科学第二（消化器内科学）講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Asai Y^{**}, Yamada T^{**}, Tsukita S^{**}, Takahashi K^{**}, Maekawa M^{**}, Honma M^{**}, Ikeda M^{**}, Murakami K^{**}, Munakata Y^{**}, Shirai Y^{**}, Komada S^{**}, Sugisawa T^{**}, Chiba Y^{**}, Kondo Y^{**}, Kaneko K^{**}, Uno K^{**}, Sawada S^{**}, Imai J^{**}, Nakamura Y^{**}, Yamaguchi H^{**}, Tanaka K^{**}, Sasano H^{**}, Mano N^{**}, Ueno Y, Shimosegawa T^{**}, Katagiri H^{**}: Activation of the Hypoxia Inducible Factor 1 α Subunit Pathway in Steatotic Liver Contributes to Formation of Cholesterol Gallstones. *Gastroenterology*. 2017; 152(6): 1521-1535 B
- 2) Kawashima M^{**}, Hitomi Y^{**}, Aiba Y^{**}, Nishida N^{**}, Kojima K^{**}, Kawai Y^{**}, Nakamura H^{**}, Tanaka A^{**}, Zeniya M^{**}, Hashimoto E^{**}, Ohira H^{**}, Yamamoto K^{**}, Abe M^{**}, Nakao K^{**}, Yamagiwa S^{**}, Kaneko S^{**}, Honda M^{**}, Umemura T^{**}, Ichida T^{**}, Seike M^{**}, Sakisaka S^{**}, Harada M^{**}, Yokosuka O^{**}, Ueno Y, Senju M^{**}, Kanda T^{**}, Shibata H^{**}, Himoto T^{**}, Murata K^{**}, Miyake Y^{**}, Ebinuma H^{**}, Taniyai M^{**}, Joshita S^{**}, Nikami T^{**}, Ota H^{**}, Kouno H^{**}, Kouno H^{**}, Nakamuta M^{**}, Fukushima N^{**}, Kohjima M^{**}, Komatsu T^{**}, Komeda T^{**}, Ohara Y^{**}, Muro T^{**}, Yamashita T^{**}, Yoshizawa K^{**}, Nakamura Y^{**}, Shimada M^{**}, Hirashima N^{**}, Sugi K^{**}, Ario K^{**}, Takesaki E^{**}, Naganuma A^{**}, Mano H^{**}, Yamashita H^{**}, Matsushita K^{**}, Yamauchi K^{**}, Makita F^{**}, Nishimura H^{**}, Furuta K^{**}, Takahashi N^{**}, Kikuchi M^{**}, Masaki N^{**}, Tanaka T^{**}, Tamura S^{**}, Mori A^{**}, Yagi S^{**}, Shirabe K^{**}, Komori A^{**}, Migita K^{**}, Ito M^{**}, Nagaoka S^{**}, Abiru S^{**}, Yatsushashi H^{**}, Yasunami M^{**}, Shimoda S^{**}, Harada K^{**}, Egawa H^{**}, Maehara Y^{**}, Uemoto S^{**}, Kokudo N^{**}, Takikawa H^{**}, Ishibashi H^{**}, Chayama K^{**}, Mizokami M^{**}, Nagasaki M^{**}, Tokunaga K^{**}, Nakamura M^{**}: Genome-wide association studies identify PRKCB as a novel genetic susceptibility locus for primary biliary cholangitis in the Japanese population. *Hum Mol Genet*. 2017; 26(3): 650-659 B
- 3) Ito J, Ishii N^{*}, Akihara R^{*}, Lee J^{*}, Kurahashi T^{*}, Homma T^{*}, Kawasaki R^{*}, Fujii J^{*}: A high-fat diet temporarily renders Sod1-deficient mice resistant to an oxidative insult. *J Nutr Biochem*. 2017; 40: 44-52 E
- 4) Kitagawa M^{*}, Yamanaka Y, Ito J, Adachi T, Akiba J^{*}, Fukase K: A Case of Alcoholism with Complication of Hyperthyroidism. *Yamagata J Med*. 2017; 51(1): 29-31 F
- 5) Maji S^{**}, Yan IK^{**}, Parasramka M^{**}, Mohankumar S^{**}, Matsuda A, Patel T^{**}: In vitro toxicology studies of extracellular vesicles. *J Appl Toxicol*. 2017; 37(3): 310-318 E
- 6) Parasramka M^{**}, Yan IK^{**}, Wang X^{**}, Nguyen P^{**}, Matsuda A, Maji S^{**}, Foye C^{**}, Asmann Y^{**}, Patel T^{**}: BAP1 dependent expression of long non-coding RNA NEAT-1 contributes to sensitivity to gemcitabine in cholangiocarcinoma. *Mol Cancer*. 2017; 16(1): 22 E
- 7) 山敷宣代^{**}, 石上雅敏^{**}, 上田佳秀^{**}, 上野義之^{**}, 田中榮司^{**}, 上本伸二^{**}, 古川博之^{**}: 肝臓移植に関わる肝臓内科医の役割 肝移植実施施設および関連施設へのアンケート調査結果報告. *肝臓*. 2017; 58(2): 97-104 B

(2) 総説及び解説

- 1) Maji S^{**}, Matsuda A, Yan IK^{**}, Parasramka M^{**}, Patel T^{**}. Extracellular vesicles in liver diseases. *Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol*. 2017; 312(3): G194-G200
- 2) Mizuno K, Ueno Y: Autonomic Nervous System and the Liver. *Hepatol Res*. 2017; 47(2): 160-165
- 3) 有井滋樹, 上野義之, 市田隆文, 全陽: 【エキスパートオピニオン: 超高齢者の肝胆膵疾患診療】 超高齢化社会の肝胆膵疾患診療. *肝・胆・膵*. 2017; 74(3): 471-486
- 4) 奥本和夫, 上野義之: 【自己免疫性肝炎 up to date】 自己免疫性肝炎の診断と治療 自己免疫性肝炎の予後. *Modern Physician*. 2017; 37(3): 279-282

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Ueno Y: [Hepatocellular Carcinoma Symposium] Molecular Targeting Therapy. 2nd Eastern and Western Association Liver Tumors, Sendai (Japan); January 2017

ii 一般演題

- 1) Okumoto K, Nishina T, Mizuno K, Katsumi T, Haga H, Saito T, Ueno Y: Efficacy of the radiation therapy for the hepatocellular carcinoma with vascular invasion. 2nd Eastern and Western Association Liver Tumors, Sendai (Japan); January 2017
- 2) Fukase K, Yamanaka Y, Ito J, Adachi T: Evaluation of the Eradication Rate of *Helicobacter Pylori* Eradication at Yamagata Prefectural Kahoku Hospital. ENDO 2017 1st World Congress of GI Endoscopy, Hyderabad (India); February 2017
- 3) Okumoto K, Nishina T, Mizuno K, Katsumi T, Haga H, Saito T, Ueno Y: Radiation therapy for the hepatocellular carcinoma with vascular invasion. The 26th conference of Asian Pacific association for the study of the liver (APASL 2017), Shanghai (China); February 2017
- 4) Haga H, Saito T, Okumoto K, Katsumi T, Mizuno K, Nishina T, Ueno Y: Efficacy and magnitude of resistance-associated variants (RAVs) in Daclatasvir/Asunaprevir combination therapy. The 26th conference of Asian Pacific association for the study of the liver (APASL 2017), Shanghai (China); February 2017
- 5) Aso R, Suzuki Y, Tsuchida H, Watanabe T, Saito K, Shibuya R, Sugawara T, Hayasaka T, Yoshida N, Orii T, Aoki M: Efficacy and safety of daclatasvir and asunaprevir combination therapy in elderly chronic hepatitis C patients. The 26th conference of Asian Pacific association for the study of the liver (APASL 2017), Shanghai (China); February 2017
- 6) Nishina T, Mizuno K, Katsumi T, Haga H, Okumoto K, Saito T, Ueno Y: Assessment of hepatic steatosis in anorexia nervosa patients with fatty liver using elastography. The 26th conference of Asian Pacific association for the study of the liver (APASL 2017), Shanghai (China); February 2017
- 7) Nishina T, Katsumi T, Mizuno K, Sato S, Haga H, Okumoto K, Saito T, Shohei W^{**}, Dezawa M^{**}, Ueno Y: Allogeneic transplantation of MUSE cell ameliorates liver regenerations in swine model models of chronic liver injury. The 26th conference of Asian Pacific association for the study of the liver (APASL 2017), Shanghai (China); February 2017 B

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 吉澤和哉, 大泉晴史^{**}, 阿部靖彦, 佐々木悠, 武田弘明^{**}, 上野義之: 山形市における胃がん撲滅を目指す体制づくりについて. 日本総合健診医学会第45回大会, 浦安市; 2017年1月

ii 一般演題

- 1) 佐々木悠, 阿部靖彦, 吉澤和哉, 岩野大輔, 矢尾板孝夫, 八木周, 三浦友来, 作田和裕, 東海林正邦, 西瀬祥一, 上野義之: 実臨床におけるボノプラザンを用いた *Helicobacter pylori* 除菌治療の成績. 第13回日本消化管学会学術集会, 名古屋市; 2017年2月
- 2) 佐々木悠, 阿部靖彦, 岩野大輔, 矢尾板孝夫, 吉澤和哉, 八木周, 作田和裕, 東海林正邦, 西瀬祥一, 上野義之: 貧血の原因と考えられた微小な小腸リンパ管腫の一例. 第10回日本カプセル内視鏡学会学術集会, 名古屋市; 2017年2月

(3) 国内地方会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 芳賀弘明, 奥本和夫, 勝見智大, 齋藤貴史, 上野義之: 難治性肝細胞癌に対する放射線照射療法および粒子線照射療法の検討. 第202回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2017年2月
- 2) 佐々木悠, 阿部靖彦, 岩野大輔, 矢尾板孝夫, 上野義之: 当院における食道ESDの現状と工夫. 第158回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017年2月

- 3) 矢尾板孝夫, 牧野直彦, 上野義之, 前田由美, 推名千秋: 組織検査を施行した患者の追跡システム導入の取り組み. 第 158 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
- 4) 齋藤吉彦, 牧野直彦, 安藤嘉章, 柿崎泰明, 上野義之: 分枝型 IPMN における超音波内視鏡診断の有用性と限界に関する考察. 第 158 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
- 5) 古城直子, 柿崎泰明, 矢尾板孝夫, 牧野直彦, 上野義之: 治療内視鏡における医療安全の試み—サインアウト導入実践報告—. 第 158 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
- 6) 齋藤慶太, 早坂高志, 吉田尚美, 鈴木義広, 今泉和臣: 当院の IPMN 診断における内視鏡的役割. 第 158 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
- 7) 榎本愛実, 白幡名香雄, 伊藤美保, 佐藤裕人, 竹内章夫, 堺貴之, 渡辺舞, 西塚麻代, 川越圭, 藤嶋昌一郎, 鈴木克典, 武田弘明, 高橋邦之: Groove 膵炎を契機に発見された未破裂前上膵十二指腸動脈瘤の一例. 第 202 回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
- 8) 鈴木祐也, 鈴木克典, 西塚麻代, 藤嶋昌一郎, 白幡名香雄, 武田弘明: セログループとジェノタイプに乖離を認めた C 型慢性肝炎の 2 例. 第 202 回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
- 9) 渡部貴大, 勝見智大, 仁科武人, 水野恵, 芳賀弘明, 齋藤貴史, 上野義之: A 型急性肝炎を契機に新たに発症した原発性胆汁性胆管炎の 1 例. 第 202 回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
- 10) 野澤瞳, 赤松学, 佐藤英之, 大村清成, 齋藤孝治: 同時性膵転移を来した外科的に切除を行った大腸癌の 1 例. 第 158 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
- 11) 渡部貴大, 八木周, 佐々木悠, 阿部靖彦, 上野義之: 消化器症状で発生した十二指腸病変を伴う混合形質性急性白血病 (MPAL) の一例. 第 158 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月

ii 一般演題

- 1) 安藤嘉章, 牧野直彦, 柿崎泰明, 齋藤吉彦, 石澤哲也, 小林敏一, 池田千咲, 上野義之: 確定診断が困難であった非露出腫瘍型十二指腸乳頭部癌の一例. 第 158 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
- 2) 佐々木悠, 阿部靖彦, 岩野大輔, 矢尾板孝夫, 吉澤和哉, 八木周, 作田和裕, 東海林正邦, 西瀬祥一, 上野義之: 早期食道がん ESD 後の狭窄予防にトリアムシノロン局注, PGA シートおよびフィブリン糊の併用が有効であった一例. 第 158 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
- 3) 佐々木悠, 阿部靖彦, 岩野大輔, 矢尾板孝夫, 吉澤和哉, 八木周, 作田和裕, 東海林正邦, 西瀬祥一, 上野義之: 小腸の小リンパ管腫が貧血の原因と考えられた一例. 第 158 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
- 4) 佐々木悠, 矢尾板孝夫, 作田和裕, 岩野大輔, 吉澤和哉, 八木周, 東海林正邦, 西瀬祥一, 阿部靖彦, 上野義之: 長期寛解を得ていた大腸型クローン病に腹膜播種を伴う直腸癌を生じた一例. 第 202 回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
- 5) 佐藤英之, 大村清成, 野澤瞳, 梅原松樹, 角田道彦, 堀内素平, 赤松学, 高野潤, 武田忠, 渡辺晋一郎, 齋藤孝治: 急性膵炎を契機に診断された総胆管瘤の 1 例. 第 158 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
- 6) 柿崎泰明, 牧野直彦, 安藤嘉章, 松田暁子, 池田祐之, 齋藤吉彦, 石澤哲也, 小林敏一, 池田千咲, 上野義之: IgG4 関連疾患に併発した膵癌の 1 例. 第 202 回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
- 7) 吉澤和哉, 岩野大輔, 作田和裕, 阿部靖彦, 佐々木悠, 東海林正邦, 八木周, 矢尾板孝夫, 西瀬祥一, 木村理, 上野義之: 皮膚筋炎を契機に発見された中間期胃癌の一例. 第 202 回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
- 8) 石澤哲也, 牧野直彦, 安藤嘉章, 柿崎泰明, 齋藤吉彦, 小林敏一, 池田千咲, 上野義之: 膵頭十二指腸切除後の残膵に形成された主膵管内膵石をダブルバルーン内視鏡下で除去し得た 3 例. 第 158 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
- 9) 小林敏一, 牧野直彦, 安藤嘉章, 松田暁子, 池田祐之, 柿崎泰明, 石澤哲也, 齋藤吉彦, 池田千咲, 上野義之: EUS-elastography で非膵癌と診断した 3 例. 第 158 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
- 10) 東海林正邦, 吉澤和哉, 作田和裕, 八木周, 矢尾板孝夫, 岩野大輔, 佐々木悠, 阿部靖彦, 上野義之:

- アスピリン/ランソプラゾール配合錠による collagenous colitis の一例. 第 158 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
- 11) 仁科武人, 奥本和夫, 水野恵, 勝見智大, 芳賀弘明, 齋藤貴史, 上野義之: メトトレキサートにより発症した de novo B 型肝炎の 1 例. 第 202 回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
 - 12) 仁科武人, 水野恵, 勝見智大, 芳賀弘明, 奥本和夫, 齋藤貴史, 上野義之: 緊急内視鏡的胃静脈瘤硬化療法後、早期に再増悪した胃静脈瘤の 1 例. 第 158 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
 - 13) 池田千咲, 牧野直彦, 安藤嘉章, 柿崎泰明, 石澤哲也, 齋藤吉彦, 小林敏一, 上野義之: IgG4 軽度上昇を認めた膵癌の一例. 第 202 回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
 - 14) 池田千咲, 牧野直彦, 安藤嘉章, 柿崎泰明, 石澤哲也, 齋藤吉彦, 小林敏一, 上野義之: 癌との鑑別を要した胆嚢管壁肥厚を認めた胆嚢腺筋腫症の 1 例. 第 158 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
 - 15) 西塚麻代, 鈴木克典, 鈴木裕也, 榎本愛実, 佐藤裕人, 竹内章夫, 堺貴之, 渡辺舞, 伊藤美保, 川越圭, 藤嶋昌一郎, 白幡名香雄, 武田弘明: ダクラタスビル+アスナプレビル (DCV+ASV) 療法後に再燃した C 型慢性肝炎 3 例の薬剤耐性変異の出現状況およびソホスビル/レジバシル (SOF/LDV) 療法での治療効果. 第 202 回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
 - 16) 齋藤慶太, 早坂高志, 渡邊敏治, 齋藤宗一, 渋谷りか, 阿藤里佳, 菅原俊樹, 吉田尚美, 折居智彦, 青木政則, 鈴木義広: 多発性骨髄腫に伴う消化管アミロイドーシスの一例. 第 158 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
 - 17) 渡邊敏治, 吉田尚美, 土田秀元, 齋藤慶太, 渋谷りか, 阿藤里佳, 菅原俊樹, 早坂高志, 折居智彦, 青木政則, 鈴木義広: GEM+nab-PTX 併用療法が著効した膵癌の一例. 第 202 回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
 - 18) 堺貴之, 藤嶋昌一郎, 武田弘明, 川越圭, 白幡名香雄, 伊藤美保, 西塚麻代, 渡辺舞, 榎本愛実, 佐藤裕人, 竹内章夫, 奥山恵, 鈴木克典: 食道病変を呈した胸部大動脈瘤の 2 例. 第 158 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
 - 19) 竹内章夫, 白幡名香雄, 榎本愛実, 佐藤裕人, 堺貴之, 渡辺舞, 西塚麻代, 伊藤美保, 川越圭, 藤嶋昌一郎, 鈴木克典, 武田弘明, 高橋邦之: Segmental arterial mediolysis (SAM) が原因と考えられた後腹膜出血の一例. 第 202 回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
 - 20) 佐藤裕人, 白幡名香雄, 伊藤美保, 武田弘明, 高橋邦之: 膵頭十二指腸切除後の膵管チューブ逸脱に対し内視鏡的膵管ステント挿入で奏功した一例. 第 158 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
 - 21) 鈴木裕也, 白幡名香雄, 矢萩舜, 榎本愛実, 佐藤裕人, 竹内章夫, 堺貴之, 渡辺舞, 西塚麻代, 伊藤美保, 川越圭, 藤嶋昌一郎, 鈴木克典, 武田弘明, 高橋邦之: 7 年間の経過観察で IPMN 由来浸潤癌を発症した一例. 第 158 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
 - 22) 土田秀元, 渡邊敏治, 齋藤慶太, 早坂高志, 吉田尚美, 阿藤里佳, 菅原俊樹, 折居智彦, 青木政則, 鈴木義広, 名和晋輔, 本間清明, 今泉和臣: DAA を用いて完全著効が得られた von Willebrand 病合併、C 型慢性肝炎の 1 例. 第 202 回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
 - 23) 須田健生, 川上裕子, 土田秀元, 渡邊敏治, 齋藤慶太, 渋谷りか, 阿藤里佳, 菅原俊樹, 早坂高志, 吉田尚美, 折居智彦, 青木政則, 鈴木義広, 名和晋輔, 本間清明, 今泉和臣: 転移性肝癌との鑑別を要したアメーバ性肝膿瘍の一例. 第 202 回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2017 年 2 月
 - 24) 堀内英和, 宮澤弘哲, 秋葉昭多郎, 八戸茂美: 高 CK 血症を呈し壊死性ミオパチー関連自己抗体陽性を認めた一例. 日本内科学会東北支部主催第 210 回東北地方会, 仙台市; 2017 年 2 月
 - 25) 鈴木裕也, 鈴木克典, 渡邊真由美, 赤塚れい子, 伊藤千代子, 富樫ルミ, 大山葉子, 長沼裕子, 石田秀明: 肝内に多数の高エコー腫瘤を認めた自己免疫性肝炎の一例. 第 53 回日本超音波医学会東北地方会学術集会, 仙台市; 2017 年 3 月
 - 26) 久米井智, 鈴木克典, 渡邊真由美, 赤塚れい子, 伊藤千代子, 富樫ルミ, 大山葉子, 長沼裕子, 石田秀明: 正常肝に発生した原発性肝細胞癌: 腫瘍再発の 2 例. 第 53 回日本超音波医学会東北地方会学術集会, 仙台市; 2017 年 3 月

(4) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 大泉晴史: ABC分類併用胃がん・胃炎X線検診 ～胃がん死減少を目指して 山形市・山形市医師会の新たな取組み～. 上市市医師会学術講演会, 上市市; 2017年1月
- 2) 大泉晴史: 山形県の消化器がん検診の現状と山形市医師会の新たな取組み. 山形県医師会消化器検診研修会, 山形市; 2017年2月
- 3) 武田弘明: 急増する大腸癌 ―診療しながら思うこと―. 平成28年度長井医師会大腸がん検診読影研修会, 長井市; 2017年2月
- 4) 阿部靖彦: GERD治療のup to date. タケキャブ2周年記念講演会, 鶴岡市; 2017年2月
- 5) 吉澤和哉, 大泉晴史, 阿部靖彦, 佐々木悠, 武田弘明, 上野義之: 慢性胃炎を考慮した胃がんリスク層別化検査(ABC分類)併用の胃X線検診導入に向けて―山形市における取り組み―. 米沢市医師会胃がん検診従事者講習会, 米沢市; 2017年2月
- 6) 吉澤和哉, 大泉晴史, 阿部靖彦, 佐々木悠, 武田弘明, 上野義之: 山形市における胃がん検診について―今までとこれから―. メディカル・オンコロジー・カンファレンス(MOC), 山形市; 2017年2月
- 7) 吉澤和哉, 大泉晴史, 阿部靖彦, 佐々木悠, 武田弘明, 上野義之: 慢性胃炎を考慮した胃がんリスク層別化検査(ABC分類)併用の胃X線検診導入に向けて―山形市における取り組み―. 山形県放射線技師会 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会, 山形市; 2017年2月
- 8) 大泉晴史: ABC分類を併用した胃がん・胃炎検診 ～胃がん死減少を目指した山形市医師会の新たな取組み～. 第206回三郡市医師会合同学術講演会, 天童市; 2017年3月
- 9) 大泉晴史: 消化器領域における最新の診断治療. 山形MR研修会, 山形市; 2017年3月
- 10) 藤嶋昌一郎: 食道癌の内視鏡診断と治療. 第28回北庄内内視鏡研究会, 酒田市; 2017年3月
- 11) 藤嶋昌一郎: Barrett 食道、腺癌の診断と治療をどう行うか. 酸関連疾患を考える会, 山形市; 2017年3月
- 12) 野村栄樹: どうする? 慢性便秘症治療の実際 ～患者指導から薬剤選択まで～. アミティーザWeb講演会, 仙台市; 2017年3月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 野村栄樹: 消化管アミロイドーシスについて. 第35回大腸疾患病理と臨床研究会, 仙台市; 2017年1月
- 2) 大泉晴史, 後藤剛, 八鍬直: 事例から学ぶ認知症診療 ～日常診療の中で困ったケース等～. 山形認知症サポートセミナー, 山形市; 2017年3月
- 3) 佐々木悠: UCにおけるGMA治療の位置づけ. 山形IBD Expert Seminar, 山形市; 2017年3月
- 4) 佐々木悠: 潰瘍性大腸炎治療における薬剤選択～5-ASA製剤を中心に～. 潰瘍性大腸炎薬剤師セミナー, 山形市; 2017年3月

iii 一般演題

- 1) 奥本和夫, 仁科武人, 水野恵, 勝見智大, 芳賀弘明, 齋藤貴史, 上野義之: DAA治療前後における肝硬度の変化についての検討. 山形Liver Meeting, 山形市; 2017年1月
- 2) 伊藤美保, 白幡名香雄, 鈴木裕也, 佐藤裕人, 竹内章夫, 榎本愛実, 堺貴之, 渡辺舞, 西塚麻代, 川越圭, 藤嶋昌一郎, 鈴木克典, 武田弘明: 4年の経過観察を経て診断に至った早期膵癌(PanIN)の一例. 第55回山形県消化器病懇話会, 山形市; 2017年1月
- 3) 柿崎泰明, 牧野直彦, 安藤嘉章, 松田暁子, 齋藤吉彦, 石澤哲也, 小林敏一, 池田千咲, 上野義之: 嚢胞変性を伴う膵腫瘍の1例. 第51回東北膵臓研究会, 仙台市; 2017年2月
- 4) 大泉晴史: *H. pylori*除菌治療のこれまでと今. 酸関連疾患を考える会 ～タケキャブ錠発売2周年記念講演会～, 山形市; 2017年3月
- 5) 阿部靖彦: 当科における消化管疾患診療の現状. 第34回置賜医療連携懇話会, 米沢市; 2017年3月
- 6) 野村栄樹: 小腸多発憩室症の一例. 第36回大腸疾患病理と臨床研究会, 仙台市; 2017年3月
- 7) 野村栄樹: 潰瘍性大腸炎の症例. 第2回宮城IBD臨床カンファレンスセミナー, 仙台市; 2017年3月
- 8) 水野恵, 芳賀弘明, 上野義之: 肝内自律神経線維と非アルコール性脂肪性肝炎における肝線維化との関係. TREND 2017, 仙台市; 2017年3月

(5) 座 長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 上野義之: 医学論文執筆ノススメ. 第158回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017年2月
- 2) 大泉晴史: 最新の糖尿病治療. プライマリーケア医セミナー, 山形市; 2017年2月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Ueno Y: Concurrent session 08 Knowledge for the clinical management of inherited liver disease. The 26th conference of Asian Pacific association for the study of the liver (APASL 2017), Shanghai (China); February 2017
- 2) 牧野直彦: 第14回プレナリーセッション 目指せ! 消化器内視鏡専門医. 第158回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017年2月
- 3) 白幡名 香雄: 膵胆道腫瘍診断における内視鏡の役割. 第158回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017年2月
- 4) 阿部靖彦: 消化管腫瘍に対する内視鏡治療手技の現状と課題—安全で確実な治療のための手技の基本と工夫—. 第158回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017年2月
- 5) 阿部靖彦: 第11回専門医セミナー ミニレクチャー 食道アカラシアに対するPOEMの適応とその実際. 第202回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2017年2月
- 6) 阿部靖彦: 第11回専門医セミナー 症例検討 食道の機能性・炎症性疾患. 第202回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2017年2月
- 7) 佐々木悠: 山形 IBD Expert Seminar, 山形市; 2017年3月

iii 一般演題

- 1) 渡辺晋一郎: 大腸2. 第158回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017年2月
- 2) 大村清成: 胆道4. 第158回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017年2月
- 3) 野村栄樹: 大腸1. 第202回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2017年2月
- 4) 佐々木悠: 小腸. 第202回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2017年2月
- 5) 名木野匡: 小腸. 第158回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017年2月
- 6) 伊藤美保: 膵臓3. 第202回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2017年2月
- 7) 吉澤和哉: 胃2. 第158回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017年2月
- 8) 藤嶋昌一郎: 消化器. 第209回日本内科学会東北支部例会, 仙台市; 2017年2月
- 9) 野村栄樹: 一般演題. 第17回仙北地区消化管勉強会, 仙台市; 2017年3月

(6) その他

- 1) 大泉晴史: Closing Remarks. 山形県臨床医会, 山形市; 2017年2月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第202回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2017年2月
- 2) 第158回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017年2月

4. 学会等での受賞

- 1) Haga H: The 26th conference of Asian Pacific association for the study of the liver (APASL 2017) Presidential Poster of Distinction. February 2017
- 2) Nishina T: The 26th conference of Asian Pacific association for the study of the liver (APASL 2017) Presidential Poster of Distinction. February 2017
- 3) 鈴木裕也: 第202回日本消化器病学会東北支部例会 特別企画 目指せ! 消化器病専門医—初期研修医からの報告 優秀演題賞. 2017年2月
- 4) 渡部貴大: 第202回日本消化器病学会東北支部例会 特別企画 目指せ! 消化器病専門医—初期研修医からの報告 優秀演題賞. 2017年2月
- 5) 野澤瞳: 第158回日本消化器内視鏡学会東北支部例会 第14回プレナリーセッション 目指せ! 消化器内

視鏡専門医 優秀演題賞. 2017年2月

- 6) 渡部貴大: 第158回日本消化器内視鏡学会東北支部例会 第14回プレナリーセッション 目指せ! 消化器内視鏡専門医 優秀演題賞. 2017年2月

5. その他

- 1) 牧野直彦: 特別企画2 目指せ! 消化器病専門医 一後期研修医からの報告 審査員. 第202回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2017年2月
- 2) 藤嶋昌一郎: 第14回プレナリーセッション 目指せ! 消化器内視鏡専門医 審査員. 第158回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2017年2月
- 3) 勝見智大: 一般財団法人日本消化器病学会 若手研究者のための留学支援制度 採択. 2017年3月

内科学第二講座 消化器内科学分野

1. 論 文

(1) 原 著

- 1) Haga H, Yan IK**, Takahashi K**, Matsuda A, Patel T** : Extracellular Vesicles from Bone Marrow-Derived Mesenchymal Stem Cells Improve Survival from Lethal Hepatic Failure in Mice. *Stem Cells Transl Med.* 2017; 6(4): 1262-1272 E
- 2) Sasaki Y, Dehnad A**, Fish S**, Sato A**, Jiang J**, Tian J**, Schröder K**, Brandes R**, Török NJ** : NOX4 Regulates CCR2 and CCL2 mRNA Stability in Alcoholic Liver Disease. *Scientific Reports.* 2017; 7: 46144 E
- 3) Ito M, Makino N, Matsuda A, Ikeda Y, Kakizaki Y, Saito Y, Ueno Y, Kawata S** : High Glucose Accelerates Cell Proliferation and Increases the Secretion and mRNA Expression of Osteopontin in Human Pancreatic Duct Epithelial Cells. *Int J Mol Sci.* 2017; 18(4): E807
- 4) Nishise S, Takeda Y*, Abe Y, Sasaki Y, Nara H*, Asao H*, Ueno Y : Effect of Temperature on Granulocyte and Monocyte Adsorption to Cellulose Acetate Beads. *Ther Apher Dial.* 2017; 21(3): 248-254
- 5) Haga H, Yan IK**, Borrelli DA**, Matsuda A, Parasramka M**, Shukla N**, Lee DD**, Patel T** : Extracellular vesicles from bone marrow-derived mesenchymal stem cells protect against murine hepatic ischemia/reperfusion injury. *Liver Transpl.* 2017; 23(6): 791-803 E
- 6) Tomita K, Kohli R**, MacLaurin BL**, Hirsova P**, Guo Q**, Sanchez LHG**, Gelbard HA**, Blaxall BC**, Ibrahim SH** : Mixed-lineage kinase 3 pharmacological inhibition attenuates murine nonalcoholic steatohepatitis. *JCI Insight.* 2017; 2(15): e94488 E
- 7) Tomita K, Kabashima A**, Freeman BL**, Bronk SF**, Hirsova P**, Ibrahim SH** : Mixed Lineage Kinase 3 Mediates the Induction of CXCL10 by a STAT1-Dependent Mechanism During Hepatocyte Lipotoxicity. *J Cell Biochem.* 2017; 118(10): 3249-3259 E
- 8) Honda Y**, Watanabe T*, Shibata Y*, Otaki Y*, Kadowaki S*, Narumi T*, Takahashi T*, Kinoshita D*, Yokoyama M*, Nishiyama S*, Takahashi H*, Arimoto T*, Shishido T*, Inoue S*, Miyamoto T*, Konta T*, Kawasaki R*, Daimon M**, Kato T**, Ueno Y, Kayama T*, Kubota I* : Impact of restrictive lung disorder on cardiovascular mortality in a general population: The Yamagata (Takahata) study. *Int J Cardiol.* 2017; 241: 395-400
- 9) Nakamura S*, Narimatsu H**, Katayama K*, Sho R, Yoshioka T, Fukao A, Kayama T* : Effect of genomics-related literacy on non-communicable diseases. *J Hum Genet.* 2017; 62(9): 839-846
- 10) Genda T**, Ichida T**, Sakisaka S**, Tanaka E**, Mochida S**, Ueno Y, Inui A**, Egawa H**, Umeshita K**, Furukawa H**, Kawasaki S**, Inomata Y**, Assessment Committee of Indication for Transplantation: Survival in patients with Child-Pugh class C cirrhosis: Analysis of the liver transplant registry in Japan. *Hepatol Res.* 2017; 47(11): 1155-1164 B
- 11) Goto T*, Shimotai Y*, Matsuzaki Y*, Muraki Y**, Sho R, Sugawara K*, Hongo S* : Effect of the phosphorylation of the CM2 protein on influenza C virus replication. *J Virol.* 2017; 91(22): pii: e00773-17 B
- 12) Wu F**, Narimatsu H**, Li X**, Nakamura S*, Sho R, Zhao GM**, Nakata Y**, Xu WH** : Non-communicable diseases control in China and Japan. *Global Health.* 2017; 13(1): 91. doi: 10.1186/s12992-017-0315-8 D
- 13) Machida H*, Shibata Y*, Inoue S*, Igarashi A*, Tokairin Y*, Yamauchi K*, Kimura T*, Sato K*, Nakano H*, Nishiwaki M*, Kobayashi M*, Yang S*, Minegishi Y*, Furuyama K*, Yamamoto T*, Watanabe T*, Konta T*, Ueno Y, Kato T**, Kayama T*, Kubota I* : Prevalence of diabetes mellitus in individuals with airflow obstruction in a Japanese general population: The Yamagata-Takahata Study. *Respir Investig.* 2018; 56(1): 34-39
- 14) Honda Y**, Watanabe T*, Otaki Y*, Tamura H*, Nishiyama S*, Takahashi H*, Arimoto T*, Shishido T*, Miyamoto T*, Shibata Y*, Konta T*, Kawasaki R*, Daimon M**, Ueno Y, Kato T**, Kayama T*, Kubota I* : Gender

- differences in the impact of anemia on subclinical myocardial damage and cardiovascular mortality in the general population: The Yamagata (Takahata) study. *Int J Cardiol.* 2018; 252: 207-212
- 15) Suda G**, Furusyo N**, Toyoda H**, Kawakami Y**, Ikeda H**, Suzuki M**, Arataki K**, Mori N**, Tsuji K**, Katamura Y**, Takaguchi K**, Ishikawa T**, Tsuji K**, Shimada N**, Hiraoka A**, Yamsaki S**, Nakai M**, Sho T**, Morikawa K**, Ogawa K**, Kudo M**, Nagasaka A**, Furuya K**, Yamamoto Y**, Kato K**, Ueno Y, Iio E**, Tanaka Y**, Kurosaki M**, Kumada T**, Chayama K**, Sakamoto N**: Daclatasvir and asunaprevir in hemodialysis patients with hepatitis C virus infection: a nationwide retrospective study in Japan. *J Gastroenterol.* 2018; 53(1): 119-128 B
- 16) Togo R**, Ishihara K**, Mabe K**, Oizumi H, Ogawa T**, Kato M**, Sakamoto N**, Nakajima S**, Asaka M**, Haseyama M**: Preliminary study of automatic gastric cancer risk classification from photofluorography. *World J Gastrointest Oncol.* 2018; 10(2): 62-70 B
- 17) Sasaki Y, Abe Y, Takeda H**, Nishise S, Yaoita T, Yagi M, Sakuta K, Mizumoto N, Shoji M, Onozato Y, Kawata S**, Ueno Y: Impaired Secretion of Glucagon-Like Peptide 1 in Patients with Colorectal Adenoma after an Oral Glucose Load. *Digestion.* 2018; 97(4): 324-332
- 18) Nakamura K*, Uchida T*, Sho R, Hamasaki A*, Hayashi J*, Sadahiro M*: Risk factor analysis for the aortic enlargement in patients with chronic type B aortic dissection. *Jpn J Vasc Surg.* 2018; 27: 55-60
- 19) 吉澤和哉, 大泉晴史, 阿部靖彦, 佐々木悠, 武田弘明, 上野義之: 慢性胃炎を考慮した胃 X 線検診、内視鏡検診導入に向けた取り組み 内視鏡専門医に対するアンケートを通して. *日本消化器がん検診学会雑誌.* 2017; 55(5): 647-657
- 20) 佐藤俊浩: 山形県最上町ウェルネスプラザの四半世紀と未来. *全国自治体病院協議会雑誌.* 2018; 57(1): 28-30 F

(2) 総説及び解説

- 1) Abe Y, Sasaki Y, Yagi M, Yaoita T, Nishise S, Ueno Y: Diagnosis and treatment of eosinophilic esophagitis in clinical practice. *Clin J Gastroenterol.* 2017; 10(2): 87-102
- 2) Klingenberg M**, Matsuda A, Diederichs S**, Patel T**: Non-coding RNA in hepatocellular carcinoma: Mechanisms, biomarkers and therapeutic targets. *J Hepatol.* 2017; 67(3): 603-618
- 3) 深瀬和利: 高齢者・超高齢者消化管癌の内視鏡治療 (2) 胃癌 c. 内視鏡治療後の経過観察はいつまで施行するか?. *臨床消化器内科.* 2017; 32: 685-688
- 4) 勝見智大, 上野義之: 【自己免疫性肝・胆管疾患の update】自己免疫性肝・胆管疾患の病態 PBC の免疫制御と miR-139-5p. *肝・胆・膵.* 2017; 74(6): 891-897
- 5) 勝見智大, 上野義之: 【原発性胆汁性胆管炎: 病名変更後の動向】PBC 非典型例と類縁疾患. *消化器・肝臓内科.* 2017; 1(6): 651-657
- 6) 大泉晴史: 山形県の消化器がん検診の現況と山形市医師会の新たな取り組み. *山形県医師会学術雑誌.* 2017; 53: 15-28
- 7) 柿崎泰明, 牧野直彦, 上野義之: 【膵癌研究 Cutting Edge-From Carcinogenesis to Metastatic Colonization-】Stroma 膵前癌病変と周囲間質の線維化. *肝・胆・膵.* 2017; 75(4): 797-803
- 8) 上野義之, 竹原徹郎, 中島淳, 片桐秀樹: 【臓器間ネットワークからみた肝胆膵の恒常性とその破綻】「肝臓を全身から俯瞰する」観点への転換点. *肝・胆・膵.* 2017; 75(5): 1005-1021
- 9) 深瀬和利: 山形県立河北病院における「かほくイタリア野菜」の病院食の取り組み. *山形県医師会会報.* 2017; 795: 8-15

(3) 症例報告

- 1) Kitagawa M, Yamanaka Y, Adachi T, Ito J, Fukase K, Ohta I, Katagiri T: Diabetic Hemichorea-hemiballism after Prompt Improvement in Hyperglycemia. *Intern Med.* 2017; 56(22): 3073-3076
- 2) Kitagawa M, Yamanaka Y, Adachi T, Ito J, Fukase K, Ohta I, Katagiri T: Hyponatremia with loss of high signal intensity in the posterior pituitary lobe on T1-weighted magnetic resonance imaging. *Intern Med.* 2017; 56(23): 3205-3209
- 3) Kitagawa M, Yamanaka Y, Adachi T, Ito J, Fukase K: A case of alcoholism with complication of

hyperthyroidism. The Yamagata Journal of Medicine. 2017; 51: 29-31

- 4) Kitagawa M, Yamanaka Y, Adachi T, Ito J, Fukase K, Ohta I: A case of type 2 diabetes complicated with non-B type non-C hepatocellular carcinoma. The Yamagata Journal of Medicine. 2017; 51: 113-116
- 5) Kitagawa M, Yamanaka Y, Adachi T, Ito J, Fukase K, Ohta I: A case of pneumonia accompanied by high NT-pro BNP. The Yamagata Journal of Medicine. 2017; 51: 132-135
- 6) Kitagawa M, Yamanaka Y, Adachi T, Ito J, Fukase K, Ohta I: Pulmonary thromboembolism. The Yamagata Journal of Medicine. 2017; 51: 136-139
- 7) 柿崎泰明, 牧野直彦, 安藤嘉章, 松田暁子, 石澤哲也, 齋藤吉彦, 須藤文, 山川光徳, 木村理, 上野義之: 自己免疫性膵炎に併発したPanIN-3の1例. 日本消化器病学会雑誌. 2017; 114(6): 1023-1030
- 8) 野村栄樹, 菊地達也, 尾形洋平, 松本諒太郎, 矢野恒太, 齋藤瑛里, 鈴木範明, 長崎太, 川村昌司, 境吉孝: 分娩後の周産期に発症した重症偽膜性腸炎の1例. 仙台市立病院医誌. 2017; 37: 9-14

(4) 著 書

- 1) Matsuda A, Patel T^{**}: Milk-derived Extracellular Vesicles for Therapeutic Delivery of Small Interfering RNAs. Patel T (eds), Extracellular RNA. Methods Mol Biol 1740. New York(USA); Humana Press, 2018: 187-197 E
- 2) 大泉晴史, 門馬孝, 吉澤和哉, 武田弘明: 「内視鏡スクリーニング検査の教育、指導体制のこれから」-2) クリニック・医師会・地域の立場から-. 日本消化器内視鏡学会監修, 上部消化器内視鏡スクリーニング検査マニュアル. 東京都; 医学図書出版株式会社, 2017: 155-159
- 3) 深瀬和利: フォローアップ②胃. 藤城光弘, 山本頼正編集, ESD 手技ダイジェスト. 東京都; 日本メディカルセンター, 2017: 147-150
- 4) 野村栄樹, 佐々木悠: II 小腸・大腸 B 腫瘍性疾患 (2)非上皮性腫瘍 小腸・大腸びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫 (DLBCL). 下瀬川徹, 遠藤克哉, 消化器画像診断アトラス. 東京都; 中山書店, 2017: 300-302
- 5) 野村栄樹, 吉澤和哉: II 小腸・大腸 B 腫瘍性疾患 (2)非上皮性腫瘍 大腸 MALT リンパ腫. 下瀬川徹, 遠藤克哉, 消化器画像診断アトラス. 東京都; 中山書店, 2017: 303-305
- 6) 野村栄樹, 佐々木悠: II 小腸・大腸 B 腫瘍性疾患 (2)非上皮性腫瘍 その他の小腸・大腸悪性リンパ腫. 下瀬川徹, 遠藤克哉, 消化器画像診断アトラス. 東京都; 中山書店, 2017: 306-309
- 7) 野村栄樹: II 小腸・大腸 B 腫瘍性疾患 (3)ポリポーシス Cowden 病. 下瀬川徹, 遠藤克哉, 消化器画像診断アトラス. 東京都; 中山書店, 2017: 322-324

(5) その他

- 1) 深瀬和利: 巻頭言. 2016 年山形県消化器内視鏡技師研究会発表論文集. 2017; 30: 1

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Ueno Y: What We Know about the Host Genome and HCC in HCV Infection. Single topic conference 2017. Asian Pasific Associationb for the Study of the Liver, Nagasaki(Japan); April 2017
- 2) Ueno Y: New Generation Antiviral Drugs. Asian Pacific Digestive Week(APDW) 2017, Hong Kong(China); September 2017

ii 一般演題

- 1) Nishina T, Okumoto K, Haga H, Mizuno K, Kastumi T, Saito T, Ueno Y: Efficacy of Sorafenib for hepatocellular carcinoma and impact on prognosis. Single topic conference 2017, Asian Pasific Associationb for the Study of the Liver, Nagasaki(Japan); April 2017
- 2) Abe Y, Sasaki Y, Yagi M, Yaoita T, Sakuta K, Iwano D, Nishise S, Ohara S^{**}, Kato K^{**}, Ueno Y: Characteristics and long-term follow-up of asymptomatic patients with esophageal eosinophilia. -Is it a transient or persistent disease?-. American Gastroenterological Association(AGA), Digestive disease week 2017, Chicago(USA); May 2017
- 3) Sasaki Y, Sato H, Abe Y, Sakuta K, Iwano D, Yoshizawa K, Yaoita T, Yagi M, Shoji M, Nishise S, Ueno

- Y: Next-Generation Sequencing of Initial Early Gastric Cancer in Patients with Metachronous Recurrence after Curative Endoscopic Submucosal Dissection. American Gastroenterological Association(AGA), Chicago(USA); May 2017
- 4) Sasaki Y, Abe Y, Yoshizawa K, Iwano D, Yaoita T, Yagi M, Sakuta K, Shoji M, Nishise S, Ueno Y: Risk for Gastrointestinal Bleeding from Angioectasia in Patients Taking Direct Oral Anticoagulants. American Society for Gastrointestinal Endoscopy (ASGE), Digestive disease week 2017, Chicago(USA); May 2017
 - 5) Matsuda A, Maji S**, George J**, Yan I**, Patel T**: Hepatic delivery of therapeutic agents using biological nanoparticles. American Gastroenterological Association (AGA), Digestive disease week 2017, Chicago(USA); May 2017 E
 - 6) Matsuda A, Parasramka M**, Yan I**, Catherine F**, Patel T**: Therapeutic efficacy of anti-programmed cell death protein 1 antibody and effect of vitamin D supplementation in hepatocellular carcinoma associated with B-catenin activation and over expression of cMET. AASLD, Digestive disease week 2017, Chicago(USA); May 2017 E
 - 7) Sakuta K, Sasaki Y, Abe Y, Iwano D, Yoshizawa K, Yaoita T, Yagi M, Shoji M, Nishise S, Ueno Y: Differential Cancer-related Pathway Profiles of Initial Early Gastric Cancer in Patients with Metachronous Recurrence and Patients with Non-recurrence. American Gastroenterological Association (AGA), Digestive disease week 2017, Chicago(USA); May 2017
 - 8) Katsumi T, Nishina T, Mizuno K, Haga H, Okumoto K, Ueno Y: miR-139-5p express specifically in serum and tissue of PBC, and can be involved in clinical progression. International Digestive Disease Forum 2017, Hong Kong(China); June 2017
 - 9) Fukase K, Yamanaka Y, Ito J, Adachi T: Evaluation of the Eradication Rate of *Helicobacter Pylori* at Yamagata Prefectural Kahoku Hospital - Potassium-competitive Acid Blocker vs Lansoprazole -. Asian Pacific Digestive Week(APDW)2017, Hong Kong(China); September 2017
 - 10) Nomura E, Matsumoto R**, Hiratsuka T**, Ooyama H**, Ogata Y**, Yano K**, Suzuki N**, Nagasaki F**, Kawamura M**, Sasaki Y**, Kikuchi T**: Clinical characteristics of rice cake ileus: small bowel obstruction resulting from rice cake ingestion. Asian Pacific Digestive Week(APDW)2017, Hong Kong(China); September 2017
 - 11) Asahina Y**, Itoh Y**, Ueno Y, Matsuzaki Y**, Takikawa Y**, Yatsushashi H**, Genda T**, Ikeda F**, Matsuda T**, Huang KC**, Masetto B**, Osinusi AO**, Brainard DM**, McHutchison JG**, Kawada N**, Enomoto N**: Ledipasvir/Sofosbuvir in the Treatment of Japanese Patients with Chronic HCV Genotype 2 Infection. Annual Meeting for American Association for the Study of Liver Diseases(The Liver Meeting 2017), Washington DC(USA); October 2017 D
 - 12) Korenaga M**, Izumi N**, Yokosuka O**, Takehara T**, Sakamoto N**, Nishiguchi S**, Ikeda F**, Yanase M**, Toyoda H**, Genda T**, Umemura T**, Yatsushashi H**, Ide T**, Toda N**, Nirei K**, Ueno Y, Nishigaki Y**, Nakane K**, Kanto T**, Omata M**, Mizokami M**: Hepatocellular carcinoma development in Japanese patients with HCV genotype 1 infection who achieved sustained virologic response by ledipasvir/sofosbuvir and protease inhibitor with peginterferon plus ribavirin. Annual Meeting for American Association for the Study of Liver Diseases(The Liver Meeting 2017), Washington DC(USA); October 2017 B
 - 13) Tomita, Guo Q**, Hirsova P**, Ibrahim SH**: Nutrient Excess Diet during Conception and Lactation Enhances the Progression of Murine Non-Alcoholic Steatohepatitis. Annual Meeting for American Association for the Study of Liver Diseases(The Liver Meeting 2017), Washington DC(USA); October 2017 E
 - 14) Nishina T, Wakao S*, Haga H, Okumoto K, Katsumi T, Mizuno K, Saito T, Dezawa M*, Ueno Y: Allogeneic transplantation of MUSE cell ameliorates liver regenerations in large animal models of chronic liver injury. Annual Meeting for American Association for the Study of Liver Diseases(The Liver Meeting 2017), Washington DC(USA); October 2017 B

- 15) Yaai M**, Tanaka A**, Abe M**, Namisaki T**, Yoshiji H**, Takahashi A**, Ohira H**, Komori A**, Yamagiwa S**, Kikuchi K**, Yasunaka T**, Takaki A**, Ueno Y, Honda A**, Matsuzaki Y**, Takikawa H**, Tokyo Hepatitis Association, Japan PBC Study Group(JPBCSG): Pruritus, dryness, fatigue and health-related quality of life in Japanese patients with primary biliary cholangitis. Annual Meeting for American Association for the Study of Liver Diseases(The Liver Meeting 2017), Washington DC(USA); October 2017 B
- 16) Izumi N**, Takehara T**, Chayama K**, Yatsushashi H**, Takaguchi K**, Ide T**, Kurosaki M**, Ueno Y, Toyoda H**, Kakizaki S**, Tanaka Y**, Kawakami Y**, Enomoto H**, Ikeda F**, Huang KC**, De-Oertel S**, McNabb BL**, Camus G**, McNally J**, Brainard DM**, McHutchison JG**, Mochida S**, Mizokami M**: Efficacy and Safety of Sofosbuvir/Velpatasvir plus Ribavirin for 12 or 24 Weeks in Genotype 1 or 2 HCV-Infected Japanese Patients with Prior Treatment Failure to DAA-Based Regimens. Annual Meeting for American Association for the Study of Liver Diseases(The Liver Meeting 2017), Washington DC(USA); October 2017 D
- 17) Nguyen MH**, Yang HI**, Yeh ML**, Wong GL**, Peng CY**, Chen CH**, Trinh HN**, Cheung KS**, Su TH**, Kozuka R**, Ogawa E**, Li J**, Zhang JQ**, Wong C**, Wong C**, Prasad D**, Hoang J**, Lin CH**, Ueno Y, Gane EJ**, Xing HC**, Furusyo N**, Enomoto M**, Kao JH**, Yuen MF**, Yu ML**: REAL-B (Real-world Effectiveness from the Asia Pacific Rim Liver Consortium for HBV) -A Risk Score for the Prediction of Hepatocellular Carcinoma(HCC) in Chronic Hepatitis(CHB) Patients Treated with Oral Anti-HBV Therapy. Annual Meeting for American Association for the Study of Liver Diseases(The Liver Meeting 2017), Washington DC(USA); October 2017 D

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 芳賀弘明, 齋藤貴史, 上野義之: HBV 遺伝子型からみた核酸アナログ治療の発癌および長期予後 必ずしも Genotype B が予後が良好とはいえない!. 第 103 回日本消化器病学会総会, 東京都; 2017 年 4 月
- 2) 佐々木悠, 阿部靖彦, 上野義之: 肥満、メタボリックシンドロームからの大腸腫瘍へのインクレチンの関与. 第 103 回日本消化器病学会総会, 東京都; 2017 年 4 月
- 3) 勝見智大, 上野義之: 新規技術を用いた細胞内 microRNA 定量法による原発性胆汁性胆管炎の病態解析. 第 103 回日本消化器病学会総会, 東京都; 2017 年 4 月
- 4) 阿部靖彦, 佐々木悠, 大原秀一*: 酸関連疾患における内視鏡の意義 好酸球性食道炎における PPI 投与前後の内視鏡像の変化. 第 93 回日本消化器内視鏡学会総会, 大阪市; 2017 年 5 月
- 5) 阿部靖彦, 佐々木悠, 矢尾板孝夫, 八木周, 作田和裕, 岩野大輔, 吉澤和哉, 東海林正邦, 上野義之: EoE を解明する 当科および関連施設における好酸球性食道炎の診断・治療の現状. 第 71 回日本食道学会学術集会, 軽井沢市; 2017 年 6 月
- 6) 勝見智大, 仁科武人, 水野恵, 芳賀弘明, 奥本和夫, 齋藤貴史, 上野義之: 原発性胆汁性胆管炎モデルマウスにおける miR-139-5p 発現抑制による抗炎症制御機構の検討. 第 53 回日本肝臓学会総会, 広島市; 2017 年 6 月
- 7) 柿崎泰明, 牧野直彦, 安藤嘉章, 松田暁子, 池田祐之, 齋藤吉彦, 石澤哲也, 小林敏一, 池田千咲, 上野義之: 自己免疫性膵炎に対する診療の現状と長期予後 自己免疫性膵炎の寛解状態における膵癌併発についての検討. 第 48 回日本肝臓学会大会, 京都市; 2017 年 7 月
- 8) 高橋美香子: 胃瘦適応者とその家族をとりまく葛藤をスピリチュアルペインの観点から考える. 日本消化器関連学会メディカルスタッフプログラム, 福岡市; 2017 年 7 月
- 9) 川越圭, 藤嶋昌一郎, 武田弘明: 当院における非切除高齢者胃癌患者の現状. 第 59 回日本消化器病学会大会, 第 94 回日本消化器内視鏡学会総会(JDDW 2017), 福岡市; 2017 年 10 月
- 10) 矢尾板孝夫, 牧野直彦, 上野義之: 多職種で行う内視鏡下生検後の患者追跡システムの導入. 第 59 回日本消化器病学会大会, 第 94 回日本消化器内視鏡学会総会, 第 55 回日本消化器がん検診学会大会(JDDW 2017), 福岡市; 2017 年 10 月
- 11) 勝見智大, 上野義之: 成人慢性肝内胆汁うっ滞の病態と治療 NGS を用いた Metagenome 解析による原発性胆汁性胆管炎での外来抗原検索. 第 59 回日本消化器病学会大会, 第 94 回日本消化器内視鏡学会総会

(JDDW 2017), 福岡市; 2017年10月

- 12) 小林敏一, 牧野直彦, 上野義之: 脾腫瘍性病変に対する EUS elastography の鑑別能の検討. 第59回日本消化器病学会大会, 第94回日本消化器内視鏡学会総会(JDDW 2017), 福岡市; 2017年10月
- 13) 佐々木悠, 阿部靖彦, 小野里祐介, 矢尾板孝夫, 八木周, 作田和裕, 水本尚子, 東海林正邦, 西瀬祥一, 上野義之: DOAC (direct oral anticoagulants) 内服者における angioectasia からの消化管出血リスク. 第14回日本消化管学会総会, 東京都; 2018年2月
- 14) 佐々木悠, 武田弘明, 阿部靖彦, 西瀬祥一, 河田純男, 上野義之: インクレチンの分泌異常と大腸腺腫との関連性. 第14回日本消化管学会総会, 東京都; 2018年2月

ii 一般演題

- 1) 西瀬祥一, 阿部靖彦, 佐々木悠, 岩野大輔, 吉澤和哉, 八木周, 作田和裕, 上野義之: 顆粒球・単球吸着除去療法が可溶性接着分子濃度に与える影響. 第103回日本消化器病学会総会, 東京都; 2017年4月
- 2) 奥本和夫, 仁科武人, 水野恵, 勝見智大, 芳賀弘明, 齋藤貴史, 上野義之: 難治性肝性腹水に対するトルバプタンの効果と予後に対する検討. 第103回日本消化器病学会総会, 東京都; 2017年4月
- 3) 芳賀弘明, 齋藤貴史, 上野義之: RAV 測定を採用した肝炎地域ネットワークにおける C 型肝炎インターフェロンフリー治療の治療成績. 第103回日本消化器病学会総会, 東京都; 2017年4月
- 4) 佐々木悠, 阿部靖彦, 吉澤和哉, 作田和裕, 矢尾板孝夫, 八木周, 岩野大輔, 三浦友来, 東海林正邦, 西瀬祥一, 上野義之: 抗凝固薬、特に DOAC 内服者の angioectasia からの出血リスク. 第103回日本消化器病学会総会, 東京都; 2017年4月
- 5) 柿崎泰明, 牧野直彦, 安藤嘉章, 松田暁子, 池田祐之, 齋藤吉彦, 石澤哲也, 小林敏一, 上野義之: 混合型 IPMN の手術適応についての検討. 第103回日本消化器病学会総会, 東京都; 2017年4月
- 6) 八木周, 佐々木悠, 東海林正邦, 作田和裕, 三浦友来, 矢尾板孝夫, 吉澤和哉, 岩野大輔, 西瀬祥一, 阿部靖彦, 上野義之: 当院における高齢者での上部消化管 ESD の治療成績と予後の検討. 第103回日本消化器病学会総会, 東京都; 2017年4月
- 7) 秋山直, 三宅一昌**, 高木めぐみ**, 谷平哲哉**, 松村知憲**, 猪瀬悟史**, 諏訪達志**: 上部内視鏡スコープによる擦過創とピロリ感染症との関連について. 第93回日本消化器内視鏡学会総会, 大阪市; 2017年5月
- 8) 奥本和夫, 仁科武人, 水野恵, 勝見智大, 芳賀弘明, 齋藤貴史, 上野義之: 直接作用型抗ウイルス薬 (DAA) 治療後に破裂する食道静脈瘤の検討. 第93回日本消化器内視鏡学会総会, 大阪市; 2017年5月
- 9) 安藤嘉章, 牧野直彦, 柿崎泰明, 石澤哲也, 齋藤吉彦, 小林敏一, 池田千咲, 菅原心平, 上野義之: 診断および手術を施行し得た小脾癌症例の検討. 第93回日本消化器内視鏡学会総会, 大阪市; 2017年5月
- 10) 伊藤美保, 白幡名香雄, 菅原心平, 榎本愛実, 佐藤裕人, 竹内章夫, 堺貴之, 渡辺舞, 西塚麻代, 川越圭, 藤嶋昌一郎, 鈴木克典, 武田弘明, 高橋邦之**: 当院における急性胆管炎症例の細菌学的検討. 第93回日本消化器内視鏡学会総会, 大阪市; 2017年5月
- 11) 池田千咲, 牧野直彦, 安藤嘉章, 柿崎泰明, 石澤哲也, 齋藤吉彦, 小林敏一, 上野義之: ミニプタを用いた胆膵内視鏡検査の教育モデルについての検討. 第93回日本消化器内視鏡学会総会, 大阪市; 2017年5月
- 12) 鈴木裕也, 鈴木克典, 伊藤千代子**, 赤塚れい子**, 渡邊真由美**, 富樫ルミ**, 大山葉子**, 長沼裕子**, 石田秀明**: 肝内に多数の高エコー腫瘍を認めた3例—腫瘍除外診断における造影超音波法の有用性—. 第90回日本超音波医学会学術集会, 宇都宮市; 2017年5月
- 13) 古城直子, 齋藤昌子, 尾形美幸, 齋藤麻美, 枝松篤子, 山口美智子, 佐藤芳子, 推名千秋, 前田由美, 佐々木悠, 矢尾板孝夫, 牧野直彦: ブラッシング洗浄を含めた洗浄履歴管理システム導入の取り組み 検査治療環境の質の保障を考えて. 第78回日本消化器内視鏡技師学会, 東京都; 2017年5月
- 14) 尾形美幸, 齋藤昌子, 古城直子, 齋藤麻美, 枝松篤子, 山口美智子, 佐藤芳子, 推名千秋, 前田由美, 佐々木悠, 矢尾板孝夫, 牧野直彦: 経口上部消化管内視鏡被検者へのタッチ効果 不安尺度及び循環動態による評価. 第78回日本消化器内視鏡技師学会, 東京都; 2017年5月
- 15) 奥本和夫, 仁科武人, 水野恵, 勝見智大, 芳賀弘明, 齋藤貴史, 上野義之: C 型肝炎既往感染者の予後と死因についての検討. 第53回日本肝臓学会総会, 広島市; 2017年6月
- 16) 芳賀弘明, 奥本和夫, 仁科武人, 水野恵, 勝見智大, 齋藤貴史, 上野義之: 放射線照射療法および粒子

- 線照射療法による難治性肝細胞癌の治療効果の検討. 第53回日本肝臓学会総会, 広島市; 2017年6月
- 17) 水野恵, 芳賀弘明, 仁科武人, 勝見智大, 奥本和夫, 齋藤貴史, 上野義之: 炎症性肝疾患における肝内神経支配の変化. 第53回日本肝臓学会総会, 広島市; 2017年6月
 - 18) 仁科武人, 芳賀弘明, 水野恵, 勝見智大, 奥本和夫, 齋藤貴史, 上野義之: 神経性食思不振症患者の脂肪肝における超音波エラストグラフィを用いた肝脂肪化の経時的な評価. 第53回日本肝臓学会総会, 広島市; 2017年6月
 - 19) 鈴木裕也, 白幡名香雄, 伊藤美保, 盛直生**, 櫻井直樹**, 飯澤肇**, 高橋邦之**: EUSでの診断が困難であったPNETの2例. 第48回日本肝臓学会大会, 京都市; 2017年7月
 - 20) 櫻井直樹**, 盛直生**, 伊藤美保, 白幡名香雄, 飯澤肇**: 胆道再建術後の再建腸管に対して小腸内視鏡を施行した症例の検討. 第53回日本胆道学会学術集会, 山形市; 2017年9月
 - 21) 安藤嘉章, 牧野直彦, 柿崎泰明, 石澤哲也, 齋藤吉彦, 小林敏一, 池田千咲, 上野義之: 内視鏡的に診断し得た胆管腺腫の一例. 第53回日本胆道学会学術集会, 山形市; 2017年9月
 - 22) 芳賀弘明, 上野義之: 間葉系幹細胞由来 Extracellular Vesicles は肝虚血再灌流マウスモデルの肝障害を軽減させる. 日本細胞外小胞学会, 広島市; 2017年9月
 - 23) 石澤哲也, 牧野直彦, 安藤嘉章, 柿崎泰明, 齋藤吉彦, 小林敏一, 池田千咲, 上野義之: 自然排石した膵石による急性胆管炎の一例. 第53回日本胆道学会学術集会, 山形市; 2017年9月
 - 24) 奥本和夫, 仁科武人, 水野恵, 勝見智大, 芳賀弘明, 齋藤貴史, 上野義之: トルバブタンの効果に影響を与える因子と生存予後についての検討. 第21回日本肝臓学会大会(JDDW 2017), 福岡市; 2017年10月
 - 25) 奥本和夫, 仁科武人, 水野恵, 勝見智大, 芳賀弘明, 齋藤貴史, 上野義之: フィブロスキャンを用いたDAA治療前後における肝硬度と肝脂肪含有の変化の評価. 第21回日本肝臓学会大会(JDDW 2017), 福岡市; 2017年10月
 - 26) 安藤嘉章, 牧野直彦, 上野義之: 経過観察中の分枝型 IPMN における膵発癌についての検討. 第59回日本消化器病学会大会(JDDW 2017), 福岡市; 2017年10月
 - 27) 芳賀弘明, 奥本和夫, 上野義之: Whole Genome Sequencing (WGS) を用いた HCV 全ゲノム塩基解読による DAA 耐性との関連を可視化させる新規技術の開発. 第21回日本肝臓学会大会(JDDW 2017), 福岡市; 2017年10月
 - 28) 佐々木悠, 阿部靖彦, 作田和裕, 矢尾板孝夫, 八木周, 東海林正邦, 西瀬祥一, 上野義之: 内視鏡治療後の異時性多発胃癌発症例の次世代シーケンサーによる初期癌のゲノム解析. 第59回日本消化器病学会大会(JDDW 2017), 福岡市; 2017年10月
 - 29) 作田和裕, 佐々木悠, 阿部靖彦, 小野里祐介, 東海林正邦, 水本尚子, 八木周, 矢尾板孝夫, 西瀬祥一, 上野義之: 除菌後異時性多発例における初発時の早期胃癌の pathway 解析. 第59回日本消化器病学会大会(JDDW 2017), 福岡市; 2017年10月
 - 30) 鈴木裕也, 白幡名香雄, 榎本愛実, 佐藤裕人**, 竹内章夫**, 堺貴之, 渡辺舞**, 西塚麻代, 伊藤美保, 川越圭, 藤嶋昌一郎, 鈴木克典, 武田弘明, 櫻井直樹**, 飯澤肇**, 緒形真也**, 高橋邦之**: 当院で経験したPNETの9例についての検討. 第59回日本消化器病学会大会(JDDW 2017), 福岡市; 2017年10月
 - 31) 竹内章夫**, 白幡名香雄, 西塚麻代, 伊藤美保, 高橋邦之**, 鈴木裕也, 榎本愛実, 佐藤裕人**, 堺貴之, 渡辺舞**, 川越圭, 藤嶋昌一郎, 鈴木克典, 武田弘明: 当院における高齢者総胆管結石治療の検討. 第59回日本消化器病学会大会(JDDW 2017), 福岡市; 2017年10月
 - 32) 西瀬祥一, 阿部靖彦, 佐々木悠, 上野義之: 酢酸セルロースビーズが可溶性 vascular cell adhesion molecule-1 濃度に与える影響. 第38回日本アフェレシス学会学術大会, 浦安市; 2017年10月
 - 33) 富田恭子, Samar Ibrahim**, 上野義之: CXCL10 制御による食事負荷 NASH の軽減は炎症反応抑制機序に依存し脂肪毒性回避によらない. 第21回日本肝臓学会大会(JDDW 2017), 福岡市; 2017年10月
 - 34) 仁科武人, 芳賀弘明, 上野義之: 遺伝子改編を伴わない多能性幹細胞 MUSE 細胞を用いた肝再生・線維化改善についての大型動物を用いた前臨床的検討. 第21回日本肝臓学会大会(JDDW 2017), 福岡市; 2017年10月 B
 - 35) 邵力*, 張旭紅*, 大谷勝実**, 武田弘明**, 福井忠久*, 上野義之, 本郷誠治*: ヘリコバクター・ピロリ sabA 遺伝子の多様性と SabA タンパク質発現と胃十二指腸疾患との関連. 第90回日本生化学会大会 合同大会, 神戸市; 2017年12月

- 36) 大熊良和^{**}, 阿部修一^{**}, 菅井博文^{**}, 大石倫子^{**}, 白幡名香雄, 饗場智^{**}, 武田弘明: 当院における薬剤師のクリニカルパス活動について. 第18回日本クリニカルパス学会学術集会, 大阪市; 2017年12月
- 37) 東海林紀子^{**}, 小関大樹^{**}, 斉藤真実子^{**}, 土屋淳二^{**}, 三浦光一郎^{**}, 大石倫子^{**}, 岡崎慎一^{**}, 白幡名香雄, 饗場智^{**}, 武田弘明: 同じインシデントを出さないための取り組み・活動について. 第18回日本クリニカルパス学会学術集会, 大阪市; 2017年12月
- 38) 小野直美^{**}, 大石倫子^{**}, 田中美紅^{**}, 鏡聖良^{**}, 土屋淳二^{**}, 三浦光一郎^{**}, 白幡名香雄, 饗場智^{**}, 武田弘明: クリニカルパス推進委員会における診療情報管理士の役割について. 第18回日本クリニカルパス学会学術集会, 大阪市; 2017年12月
- 39) 松田香織, 深瀬和利, 安達徹, 高橋弘美, 押野洋子: バリエーション分析からのパス改定による効果の検討. 第18回日本クリニカルパス学会学術集会, 大阪市; 2017年12月
- 40) 西瀬祥一, 阿部靖彦, 佐々木悠, 上野義之: 酢酸セルロースビーズは可溶性 vascular cell adhesion molecule-1 濃度を低下させる. 第14回日本消化管学会総会学術集会, 東京都; 2018年2月

(3) 国内地方会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 上野義之: 原発性胆汁性胆管炎についてのアップデート. 第69回日本内科学会東北支部生涯教育講演会, 仙台市; 2017年6月
- 2) 渡部貴大, 勝見智大, 仁科武人, 水野恵, 芳賀弘明, 奥本和夫, 上野義之: A型急性肝不全を契機に新たに発症した原発性胆汁性胆管炎の1例. 第211回日本内科学会東北地方会, 仙台市; 2017年6月
- 3) 八木周, 佐々木悠, 矢尾板孝夫, 阿部靖彦, 上野義之: 当院における抗血栓薬内服患者に対するEMR・ESDの現状. 第203回日本消化器病学会東北支部例会, 盛岡市; 2017年6月
- 4) 野上健, 池田千咲, 牧野直彦, 安藤嘉章, 松田暁子, 池田祐之, 柿崎泰明, 齋藤吉彦, 石澤哲也, 小林敏一, 菅原心平, 上野義之: 下垂体機能低下を伴った自己免疫性膵炎の一例. 第203回日本消化器病学会東北支部例会, 盛岡市; 2017年6月
- 5) 後藤裕樹, 奥本和夫, 仁科武人, 水野恵, 勝見智大, 芳賀弘明, 上野義之: アルコール多飲により早期に発症したと考えられたアセトアミノフェン肝障害の1例. 第203回日本消化器病学会東北支部例会, 盛岡市; 2017年6月
- 6) 芳賀弘明, 奥本和夫, 勝見智大, 水野恵, 上野義之: B型慢性肝炎患者におけるHBV遺伝子型からみた肝発癌の検討. 第203回日本消化器病学会東北支部例会, 盛岡市; 2017年7月
- 7) 作田和裕, 佐々木悠, 阿部靖彦, 矢尾板孝夫, 上野義之: ヘリコバクター・ピロリ除菌後胃癌のパスウェイ解析 ～単発例と多発例との比較～. 第159回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 盛岡市; 2017年7月
- 8) 菅原心平, 牧野直彦, 安藤嘉章, 松田暁子, 池田祐之, 柿崎泰明, 齋藤吉彦, 石澤哲也, 小林敏一, 池田千咲, 上野義之: 総胆管結石治療における合併症予防のためのENBDの有用性の検討. 第203回日本消化器病学会東北支部例会, 盛岡市; 2017年7月
- 9) 牧野直彦: ERCPの基本手技(截石術, ステントを中心に). 第29回日本消化器内視鏡学会東北セミナー, 福島市; 2017年11月
- 10) 佐々木悠: 小腸内視鏡の基本(カプセル, バルーン). 第29回日本消化器内視鏡学会東北セミナー, 福島市; 2017年11月
- 11) 佐々木悠, 阿部靖彦, 矢尾板孝夫, 八木周, 上野義之: インクレチン分泌異常: 肥満, メタボリックシンドロームからの大腸腫瘍に関連する新しい病態. 第204回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2018年2月
- 12) 松田暁子, 牧野直彦, 上野義之: 肥満と消化器疾患—研究と治療の最前線—. 第204回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2018年2月
- 13) 八木周, 佐々木悠, 阿部靖彦, 矢尾板孝夫, 上野義之: 食道がん ESD 後の狭窄予防 ～トリアムシノロン局注併用PGAシート貼付法の有用性～. 第160回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2018年2月
- 14) 浅野愛実, 奥本和夫, 伊藤宏, 阿部吉弘: 自然退縮を認めた高齢発症 B型慢性肝炎肝細胞癌の一例. 第204回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2018年2月

- 15) 野上健, 奥本和夫, 仁科武人, 水野恵, 勝見智大, 芳賀弘明, 富田恭子, 上野義之: 肝機能障害を契機に受診し診断に至った Macleod 症候群の 1 例. 第 204 回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2018 年 2 月
- 16) 小山創志, 柿崎泰明, 牧野直彦, 安藤嘉章, 松田暁子, 齋藤吉彦, 石澤哲也, 小林敏一, 池田千咲, 菅原心平, 上野義之: 全身の発疹を初発症状とした IgG4 関連疾患の一例. 第 204 回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2018 年 2 月

ii 一般演題

- 1) 柿崎泰明, 牧野直彦, 安藤嘉章, 松田暁子, 池田祐之, 齋藤吉彦, 石澤哲也, 小林敏一, 池田千咲, 菅原心平, 上野義之: 感染性脾仮性嚢胞を合併した膵癌の 1 例. 第 203 回日本消化器病学会東北支部例会, 盛岡市; 2017 年 6 月
- 2) 齋藤惣太, 赤松学, 白幡名香雄, 鈴木裕也, 清治友久, 竹内章夫, 西塚麻代, 川越圭, 伊藤美保, 藤島昌一郎, 鈴木克典, 武田弘明: 潰瘍性大腸炎に 2 型自己免疫性膵炎の合併が疑われた一例. 第 203 回日本消化器病学会東北支部例会, 盛岡市; 2017 年 6 月
- 3) 竹内章夫, 伊藤美保, 白幡名香雄, 鈴木裕也, 清治友久, 西塚麻代, 赤松学, 川越圭, 藤嶋昌一郎, 鈴木克典, 武田弘明: 4 年の経過観察を経て診断に至った早期膵癌 (PanIN) の一例. 第 203 回日本消化器病学会東北支部例会, 盛岡市; 2017 年 6 月
- 4) 久米井智, 川越圭, 鈴木裕也, 清治友久, 竹内章夫, 西塚麻代, 赤松学, 伊藤美保, 藤嶋昌一郎, 白幡名香雄, 鈴木克典, 武田弘明, 佐藤敏彦, 阿部祐也: 術前診断困難であった回盲部腸管子宮内膜症の一例. 第 203 回日本消化器病学会東北支部例会, 盛岡市; 2017 年 7 月
- 5) 土田秀元, 早坂高志, 渡邊敏治, 岩野大輔, 阿蘇里香, 早坂高志, 菅原俊樹, 吉田尚美, 折居智彦, 青木政則, 鈴木義広: 胆管非拡張型膵胆管合流異常症に合併した、胆嚢原発と考えられた NEC の 1 例. 第 203 回日本消化器病学会東北支部例会, 盛岡市; 2017 年 7 月
- 6) 佐藤英之, 大村清成, 野澤瞳, 梅原松樹, 今孝志, 高野潤, 武田忠, 渡辺晋一郎, 齋藤孝治: アミオダロンが原因と考えられた急性胆嚢炎の 1 例. 第 159 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 盛岡市; 2017 年 6 月
- 7) 沼田亜希子, 藤嶋昌一郎, 清治友久, 鈴木裕也, 竹内章夫, 西塚麻代, 赤松学, 伊藤美保, 川越圭, 白幡名香雄, 鈴木克典, 武田弘明: 当科における Barrett 腺癌に対する ESD の工夫. 第 159 回消化器内視鏡東北支部例会, 盛岡市; 2017 年 6 月
- 8) 佐々木真, 赤松学, 白幡名香雄, 鈴木裕也, 清治友久, 竹内章夫, 西塚麻代, 川越圭, 伊藤美保, 藤島昌一郎, 鈴木克典, 武田弘明, 高橋邦之: EUS-FNA による膵癌の Needle Tract Seeding が疑われた一例. 第 159 回消化器内視鏡東北支部例会, 盛岡市; 2017 年 6 月
- 9) 鈴木裕也, 鈴木克典, 渡辺真由美, 齋藤美和, 岩浪香織, 富樫ルミ, 大山葉子, 長沼裕子, 石田秀明: 肝実質パターンに注目した Focal nodular hyperplasia (FNH) の拾い上げ. 第 54 回日本超音波医学会東北地方会学術集会, 福島市; 2017 年 9 月
- 10) 竹内章夫, 武田弘明, 鈴木裕也, 清治友久, 西塚麻代, 赤松学, 伊藤美保, 川越圭, 藤嶋昌一郎, 白幡名香雄, 鈴木克典: メサラジン製剤不耐を呈した潰瘍性大腸炎の 1 例. 第 204 回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2018 年 2 月
- 11) 鈴木裕也, 鈴木克典, 清治友久, 竹内章夫, 西塚麻代, 赤松学, 伊藤美保, 川越圭, 藤嶋昌一郎, 白幡名香雄, 武田弘明: ステロイド投与により急性増悪を来した C 型慢性肝炎の一例. 第 204 回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2018 年 2 月
- 12) 土田秀元, 早坂高志, 渡邊敏治, 渋谷りか, 岩野大輔, 阿蘇里香, 早坂高志, 菅原俊樹, 吉田尚美, 折居智彦, 青木政則, 鈴木義広: 診断に苦慮した膵黄色肉芽腫性炎症 C の 1 例. 第 204 回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2018 年 2 月
- 13) 伊藤美保, 白幡名香雄, 鈴木裕也, 清治友久, 竹内章夫, 西塚麻代, 赤松学, 川越圭, 藤嶋昌一郎, 鈴木克典, 武田弘明, 高橋邦之: 肺癌の経過中に発見された同時多発膵癌の一例. 第 160 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2018 年 2 月
- 14) 西塚麻代, 白幡名香雄, 鈴木裕也, 清治友久, 竹内章夫, 赤松学, 川越圭, 伊藤美保, 藤嶋昌一郎, 鈴木克典, 高橋邦之, 武田弘明: 十二指腸狭窄で発症した膵炎との鑑別に苦慮した Groove 膵癌の一例. 第

(4) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 大泉晴史: 機能的ディスペプシアの病態と治療戦略. 山形MR研修会, 山形市; 2017年4月
- 2) 大泉晴史: 潰瘍性大腸炎の病態と最新治療. 健康保険組合連合会研修会, 山形市; 2017年5月
- 3) 大泉晴史: IBSの診断と治療. 長井市西置賜医師会学術講演会, 長井市; 2017年5月
- 4) 鈴木克典: 慢性疾患を含む肝臓病の最新の話. 第4回Meet the Expert, 山形市; 2017年5月
- 5) 阿部靖彦: 安全な抗血栓療法のための消化管粘膜傷害マネジメント. みちのく web セミナー, 山形市; 2017年5月
- 6) 深瀬和利: *Helicobacter pylori* と除菌-胃癌との関連性-. GE NETWORK, 奈良市; 2017年6月
- 7) 阿部靖彦: *H. pylori* 除菌治療の現状と除菌後のマネジメント. 第20回県南消化器フォーラム, 仙台市; 2017年6月
- 8) 藤嶋昌一郎: 食道癌診断のチョットしたコツ. 第89回天童消化器症例検討会, 天童市; 2017年6月
- 9) 上野義之: 肝免疫と恒常性. 第30回肝臓フォーラム, 東京; 2017年7月
- 10) 鈴木克典: ウイルス性肝炎の治療. 肝がん撲滅運動市民公開講座, 村山市; 2017年7月
- 11) 藤嶋昌一郎: 上部内視鏡診断における最新の話. 山形臨床内科医会, 山形市; 2017年7月
- 12) 水野恵: NAFLD (非アルコール性脂肪性肝疾患) の治療戦略に関して. Meet the Expert ~処方箋から学ぶ 処方意図と服薬指導~, 山形市; 2017年8月
- 13) 鈴木克典: C型慢性肝炎のインターフェロンフリー療法-患者さんが得たものとは?- . プライマリケア医セミナー, 山形市; 2017年9月
- 14) 野村栄樹: 消化管アミロイドーシスの臨床. 第18回仙北地区消化管勉強会, 仙台市; 2017年9月
- 15) 野村栄樹: 下部消化管腫瘍性病変の拡大観察. 第17回米沢消化器画像懇話会, 米沢市; 2017年9月
- 16) 武田弘明: 消化器がん検診の実際と注意点-胃・大腸がんの死亡率低下を目指して-. 山形県産業保健セミナー, 山形市; 2017年10月
- 17) 深瀬和利: *Helicobacter pylori* の歴史と除菌-胃癌との関連性について-. 消化器疾患に関する研修会, 山形市; 2017年10月
- 18) 大泉晴史: 糖尿病と消化器疾患. 山形MR研修会, 山形市; 2017年11月
- 19) 鈴木克典: 当院におけるC型肝炎治療の現状と問題点. abbvie 肝炎フォーラム in 山形, 山形市; 2017年11月
- 20) 阿部靖彦: 抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン「直接経口抗凝固薬(DOAC)を含めた抗凝固薬に関する追補2017」について. 内視鏡医のための検査診断 update seminar (第3回), 山形市; 2017年11月
- 21) 藤嶋昌一郎: 胃潰瘍?胃癌?実際の症例で. 第90回天童消化器症例検討会, 天童市; 2017年11月
- 22) 高橋美香子: スピリチュアルペインの視点から胃瘻を考える ~胃瘻がつながぐものは?~. 第10回青森NST研究会, 青森市; 2017年11月
- 23) 大泉晴史: 山形県の消化器がん検診の現状と課題. 山形県医師会消化器検診研修会, 山形市; 2018年1月
- 24) 大泉晴史: 当院における除菌後胃癌の検討. 第53回山形県胃と腸勉強会, 山形市; 2018年1月
- 25) 鈴木克典: B型肝炎・C型肝炎の診断と治療. 第2回山形県肝炎医療コーディネーター認定講習会, 山形市; 2018年1月
- 26) 鈴木克典: 内科医向けのC型肝炎治療の実際. 会津医学会学術講演会, 会津若松市; 2018年1月
- 27) 阿部靖彦: 好酸球性食道炎の診断と治療. 第54回倉敷GERD研究会, 倉敷市; 2018年2月
- 28) 阿部靖彦: 安全な抗血栓療法実施のための消化管マネジメント. 抗血栓療法の治療継続を考える タケキャブ錠発売3周年記念講演会, 東根市; 2018年3月
- 29) 阿部靖彦: 抗血栓薬服用中の受診者への対応等について. 山形市医師会二次内視鏡精検精度管理委員会・第1回研修会, 山形市; 2018年3月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 野村栄樹: 大腸炎症性疾患(広義)の内視鏡診断. 平成29年度大腸がん精密検査登録研修会, 仙台市; 2017年4月

- 2) 鈴木克典：当院におけるサムスカ錠®長期投与の2例。山形肝臓エキスパートミーティング，山形市；2017年5月
- 3) 佐藤俊浩：消化器内科領域における漢方治療。第19回山形大学漢方実践講座，山形市；2017年7月
- 4) 松田暁子：Florida Mayo clinicでの留学経験。第28回山形県痔疾患懇話会，山形市；2017年12月

iii 一般演題

- 1) 奥本和夫，仁科武人，水野恵，勝見智大，芳賀弘明，齋藤貴史，上野義之：B型肝炎ウイルス再活性化とその対策。山形炎症性疾患研究会，山形市；2017年5月
- 2) 野村栄樹：大腸腸重積をきたした腸管囊胞性気腫症の一例。第37回大腸疾患病理と臨床研究会，仙台市；2017年5月
- 3) 佐々木悠，阿部靖彦，矢尾板孝夫，八木周，作田和裕，東海林正邦，西瀬祥一，上野義之：早期食道がん亜全周切除後の狭窄予防にトリウムシノロン局注、PGAシートおよびフィブリン糊の併用が有効であった一例。第1回ポリグリコール酸シートとフィブリン糊を併用した被覆法の有効性評価と手技標準化にむけた研究会，大阪府；2017年5月
- 4) 大泉晴史：EMR施行10年後に局所再発した早期胃がんの一例。第52回山形県胃と腸勉強会，山形市；2017年6月
- 5) 大泉晴史：山形市におけるABC分類併用胃がん胃炎X線検診。第56回日本消化器がん検診学会総会附置研究会，つくば市；2017年6月
- 6) 佐藤諒，赤松学，白幡名香雄，西塚麻代，伊藤美保，高橋邦之：NTS。第27回痔疾患懇話会，山形市；2017年6月
- 7) 野村栄樹：SMA症候群様の画像所見を呈した十二指腸腫瘍の一例。第38回大腸疾患病理と臨床研究会，仙台市；2017年7月
- 8) 仁科武人，奥本和夫，水野恵，勝見智大，芳賀弘明，齋藤貴史，上野義之：当科におけるソラフェニブの効果と予後の検討。第53回日本肝癌研究会，東京都；2017年7月
- 9) 深瀬和利：2016年度国際学会発表記-24th UEGW, Vienna: ピロリ菌除菌による二次胃癌予防臨床試験の長期経過 ENDO 2017 Hyderabad-。第3回寒河江市・西村山郡消化器勉強会，寒河江市；2017年8月
- 10) 奥本和夫，仁科武人，水野恵，勝見智大，芳賀弘明，富田恭子，上野義之：当科における肝細胞癌の治療戦略について。南東北ソラフェニブフォーラム，仙台市；2017年9月
- 11) 奥本和夫，仁科武人，水野恵，芳賀弘明，富田恭子，上野義之：肝硬変搔痒感に対するナルフラフィン塩酸塩の有効性の検討。第10回消化器疾患治療シンポジウム，山形市；2017年9月
- 12) 奥本和夫，仁科武人，水野恵，芳賀弘明，富田恭子，上野義之：C型肝炎感染者の予後と死因についての検討。第16回東北ウイルス肝炎治療研究会，盛岡市；2017年9月
- 13) 野村栄樹：大腸に粘膜下腫瘍様隆起の多発を認めた一例。第39回大腸疾患病理と臨床研究会，仙台市；2017年9月
- 14) 奥本和夫，仁科武人，水野恵，芳賀弘明，富田恭子，上野義之：肝性腹水におけるトルバプタンの有用性について-効果と予後への検討・考察を含めて-。第7回山形消化器・肝臓フォーラム，山形市；2017年10月
- 15) 作田和裕：当科におけるインフリキシマブバイオシミラーの使用経験。山形IBD Expert Seminar，山形市；2017年10月
- 16) 武田弘明，竹内章夫，藤嶋昌一郎，川越圭，伊藤美保，赤松学，西塚麻代，鈴木裕也，清治友久，白幡名香雄，鈴木克典：5-ASA製剤不耐を呈した潰瘍性大腸炎の1例。第22回山形県炎症性腸疾患(IBD)研究会，山形市；2017年11月
- 17) 野村栄樹：大腸に馬蹄形のびらんが多発した一例。第40回大腸疾患病理と臨床研究会，仙台市；2017年11月
- 18) 柏原俊彦：ANCA陽性若年IBDの経過報告10年間の追跡調査(H18-H27)。第22回山形県炎症性腸疾患(IBD)研究会，山形市；2017年11月
- 19) 作田和裕，佐々木悠，矢尾板孝夫，小野里祐介，東海林正邦，水本尚子，八木周，阿部靖彦，西瀬祥一，上野義之：縦走する発赤陥凹を呈した大腸腺腫内癌の一例。第30回早期大腸癌研究会，仙台市；2017年11月

- 20) 伊藤美保, 白幡名香雄, 鈴木裕也, 清治友久, 竹内章夫, 西塚麻代, 赤松学, 川越圭, 藤嶋昌一郎, 鈴木克典, 武田弘明, 高橋邦之: 肝門部悪性胆道狭窄に対する 6mm Covered metal stent を用いた side by side stenting の検討. 第 38 回山形県消化器治療内視鏡研究会, 山形市; 2017 年 12 月
- 21) 矢尾板孝夫, 小野里祐介, 東海林正邦, 水本尚子, 作田和裕, 八木周, 佐々木悠, 西瀬祥一, 阿部靖彦: 当院における S-0 clip の使用経験. 第 38 回山形県消化器治療内視鏡研究会, 山形市; 2017 年 12 月
- 22) 作田和裕, 佐々木悠, 阿部靖彦, 上野義之: 早期胃癌の異時性多発癌に関わる分子経路の探索. 第 3 回 G-PLUS, 東京都; 2017 年 12 月
- 23) 菅原心平, 池田千咲, 小林敏一, 石澤哲也, 齋藤吉彦, 柿崎泰明, 池田祐之, 松田暁子, 安藤嘉章, 牧野直彦: Roux-Y 再建腸管に対して SB-ERCP 下胆管メタリックステント留置術を施行した胆管癌の 1 例. 第 38 回山形県消化器治療内視鏡研究会, 山形市; 2017 年 12 月
- 24) 西塚麻代, 白幡名香雄, 鈴木裕也, 清司友久, 竹内章夫, 赤松学, 川越圭, 伊藤美保, 藤嶋昌一郎, 鈴木克典, 高橋邦之, 武田弘明: 総胆管結石の 1 例. 第 38 回山形県消化器治療内視鏡研究会, 山形市; 2017 年 12 月
- 25) 宮澤弘哲, 堀内英和, 秋葉昭多郎, 八戸茂美: 当院における胆道系治療の現状. 第 38 回山形県消化器治療内視鏡研究会, 山形市; 2017 年 12 月
- 26) 梅原松樹, 慎慶太, 野澤瞳, 今孝志, 佐藤英之, 高野潤, 大村清成, 武田忠, 渡辺晋一郎, 齋藤孝治: EVL 後に敗血症をきたした一例. 第 38 回山形県消化器治療内視鏡研究会, 山形市; 2017 年 12 月
- 27) 久米井智, 川越圭, 鈴木裕也, 清治友久, 竹内章夫, 西塚麻代, 赤松学, 伊藤美保, 藤嶋昌一郎, 白幡名香雄, 鈴木克典, 武田弘明: 食道癌術後難治性吻合部狭窄に対する当院の取り組み. 第 38 回山形県消化器治療内視鏡研究会, 山形市; 2017 年 12 月
- 28) 土田秀元, 吉田尚美, 鈴木義広: Spy Glass を用いて確定診断した粘液産生胆道腫瘍の症例. 第 38 回山形県消化器治療内視鏡研究会, 山形市; 2017 年 12 月
- 29) 西塚麻代, 白幡名香雄, 鈴木裕也, 清治友久, 竹内章夫, 赤松学, 川越圭, 伊藤美保, 藤嶋昌一郎, 鈴木克典, 武田弘明, 高橋邦之: 膵腫瘍の 1 例. 第 28 回山形県膵疾患懇話会, 山形市; 2017 年 12 月
- 30) 齋藤慶太, 中村秀平, 角田道彦, 南部知子, 古屋紀彦: 巨大膵腫瘍の 1 例. 第 28 回山形県膵疾患懇話会, 山形市; 2017 年 12 月
- 31) 土田秀元, 須田健生, 渡邊敏治, 早坂高志, 吉田尚美, 今泉和臣: 膵腫瘍の 1 例. 第 28 回山形県膵疾患懇話会, 2017 年 12 月
- 32) 野澤瞳, 大村清成, 佐藤英之: 若年男性の膵腫瘍の 1 例. 第 28 回山形県膵疾患懇話会, 山形市; 2017 年 12 月
- 33) 小山創志, 柿崎泰明, 牧野直彦, 安藤嘉章, 松田暁子, 池田祐之, 齋藤吉彦, 石澤哲也, 小林敏一, 池田千咲, 菅原心平: 全身の発疹を初発症状とした膵疾患の一例. 第 28 回山形県膵疾患懇話会, 山形市; 2017 年 12 月
- 34) 大泉晴史: 除菌治療 17 年後にみられた 3 型進行胃癌の一例. 第 52 回山形県胃と腸勉強会, 山形市; 2018 年 1 月
- 35) 野村栄樹: 回腸末端部に認めた隆起性病変. 第 41 回大腸疾患病理と臨床研究会, 仙台市; 2018 年 1 月
- 36) 奥本和夫, 仁科武人, 水野恵, 芳賀弘明, 富田恭子, 上野義之: 誘因なく発症した肝仮性動脈瘤出血による肝内血腫の 1 例. 第 24 回肝血流・機能イメージ研究会, 福岡市; 2018 年 2 月
- 37) 野上健, 奥本和夫, 仁科武人, 水野恵, 勝見智大, 芳賀弘明, 富田恭子, 上野義之: 血漿交換にて改善した急性肝不全昏睡型 (亜急性) の 1 例. 第 28 回東北アフェレーシス研究会, 仙台市; 2018 年 3 月

(5) 座 長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 牧野直彦: 特別講演 超音波内視鏡下胆道ドレナージ術の偶発症と対策—安全導入のために知っておくべきこと. 第 38 回山形県消化器治療内視鏡研究会, 山形市; 2017 年 12 月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 上野義之: パネルディスカッション 12. 自己免疫性肝疾患のパラダイムシフト. 第 103 回日本消化器病学会総会, 東京都; 2017 年 4 月

- 2) 白幡名香雄: 特別企画(後期研修医)「目指せ! 消化器病専門医—後期研修医からの報告」. 第 203 回日本消化器病学会東北支部例会, 盛岡市; 2017 年 6 月
- 3) 大泉晴史: 実臨床における潰瘍性大腸炎患者に対する治療戦略. IBS YAMAGATA NETWORK~Practice Seminar~, 山形市; 2017 年 7 月
- 4) 大泉晴史: C 型慢性肝炎のインターフェロンフリー療法—患者さんが得たものとは?—「高齢者糖尿病患者の治療のポイント」. プライマリーケア医セミナー, 山形市; 2017 年 9 月
- 5) 阿部靖彦: 食道運動機能障害の診断と治療. 第 29 回日本消化器内視鏡学会東北セミナー, 福島市; 2017 年 11 月
- 6) 伊藤美保: 教育講演 Florida Mayo Clinic での留学経験. 第 28 回山形県瘳疾患懇話会, 山形市; 2017 年 12 月
- 7) 牧野直彦: 肥満と消化器疾患—研究と治療の最前線—. 第 204 回日本消化器病学会東北支部例会, 第 160 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2018 年 2 月

iii 一般演題

- 1) Ueno Y: Oral presentation 23, Autoimmune and hepato-biliary diseases. Asian Pacific Digestive Week (APDW) 2017, Hong Kong (China); September 2017
- 2) 上野義之: HCV 臨床. 第 53 回日本肝臓学会総会, 広島市; 2017 年 6 月
- 3) 奥本和夫: 肝臓 4. 第 203 回日本消化器病学会東北支部例会, 盛岡市; 2017 年 6 月
- 4) 安藤嘉章: 脾臓 1. 第 203 回日本消化器病学会東北支部例会, 第 159 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 盛岡市; 2017 年 6 月
- 5) 野村栄樹: 大腸 1. 第 203 回日本消化器病学会東北支部例会, 第 159 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 盛岡市; 2017 年 6 月
- 6) 佐々木悠: 小腸 2. 第 203 回日本消化器病学会東北支部例会, 第 159 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 盛岡市; 2017 年 6 月
- 7) 佐藤俊浩: 一般演題. 新庄・最上の酸関連疾患を考える会, 新庄市; 2017 年 6 月
- 8) 武田弘明: 地域連携. 第 19 回日本医療マネジメント学会学術総会, 仙台市; 2017 年 7 月
- 9) 安藤嘉章: ポスター16 先天性胆道拡張症 1. 第 53 回日本胆道学会学術集会, 山形市; 2017 年 9 月
- 10) 柿崎泰明: ポスター18 総胆管結石. 第 53 回日本胆道学会学術集会, 山形市; 2017 年 9 月
- 11) 上野義之: デジタルポスターセッション. 第 21 回日本肝臓学会大会, 福岡市; 2017 年 10 月
- 12) 佐藤俊浩: 研究発表第 1 群. 第 61 回山形県国保地域医療学会, 山形市; 2017 年 11 月
- 13) 早坂高志: 一般演題. 第 28 回山形県瘳疾患懇話会, 山形市; 2017 年 12 月
- 14) 柿崎泰明: 一般演題 I. 第 38 回山形県消化器治療内視鏡研究会, 山形市; 2017 年 12 月
- 15) 佐々木悠: 消化器全般. 第 56 回山形県消化器病懇話会, 山形市; 2018 年 1 月
- 16) 牧野直彦: NST 活動 1. 第 33 回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 横浜市; 2018 年 2 月
- 17) 佐々木悠: 排泄ケアと栄養 2. 第 33 回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 横浜市; 2018 年 2 月
- 18) 奥本和夫: 消化器 1. 第 213 回日本内科学会東北地方会, 仙台市; 2018 年 2 月
- 19) 野村栄樹: 研修医セッション 小腸. 第 204 回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2018 年 2 月
- 20) 安藤嘉章: 脾臓 3. 第 204 回日本消化器病学会東北支部例会, 第 160 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2018 年 2 月
- 21) 佐々木悠: 小腸 1. 第 204 回日本消化器病学会東北支部例会, 第 160 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2018 年 2 月

(6) その他

- 1) 佐々木悠: Functional Dyspepsia の診療を考える ~病態理解に基づく治療提案~. 若手 FD 診断・治療カンファレンス, 山形市; 2017 年 4 月
- 2) 佐々木悠: 抗血栓薬使用者の消化管障害. 第 29 回米沢外科懇話会, 米沢市; 2017 年 4 月
- 3) 佐々木悠: 抗血栓薬服用者の消化管を守る ~消化管出血ゼロを目指して~. 置賜地区の消化器疾患を考える会, 米沢市; 2017 年 4 月
- 4) 佐々木悠: 早期消化器がんの内視鏡治療と薬物療法. 第 2 回山形県がん化学療法セミナー, 山形市; 2017

年6月

- 5) 佐々木悠: 当院での内視鏡治療におけるちょっとした工夫. 日本海内視鏡セミナー, 三川町; 2017年8月
- 6) 大泉晴史: Closing Remarks. 慢性便秘症学術講演会, 山形市; 2017年9月
- 7) 佐々木悠: 小腸診療の現状. 第6回長井地区消化器勉強会, 長井市; 2017年10月
- 8) 柏原俊彦: 小中学生のがん予防ー消化器がんを中心にー. 第54回天童東村山地区学校保健大会, 天童市; 2017年10月
- 9) 大泉晴史: Closing Remarks. 内視鏡医の為の検査・診断 Update Seminar, 山形市; 2017年11月
- 10) 奥本和夫: 特別企画「目指せ 消化器病専門医ー後期研修医からの報告」審査員. 第204回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台市; 2018年2月
- 11) 白幡名香雄: 第16回プレナリーセッション審査員. 第160回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台市; 2018年2月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 日本肝臓学会 肝がん撲滅運動 市民公開講座, 東根市; 2017年7月

4. 学会等での受賞

- 1) Sasaki Y: A poster of distinction. American Gastroenterological Association(AGA). May 2017
- 2) 渡部貴大: 日本内科学会第211回東北地方会 若手奨励賞. 2017年6月
- 3) 富田恭子: 第25回日本消化器関連学会週間(JDDW 2017) ポスター優秀演題賞. 2017年10月
- 4) Nishina T: Presidential Poster of Distinction. American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD) The liver meeting 2017. October 2017
- 5) 上野義之: 山形大学メディカルプロフェッショナル賞 業務分野. 2018年2月
- 6) 富樫整: 山形大学医学部功績賞 社会功績. 2018年2月
- 7) 柿崎泰明: 山形大学医学部教員教育賞 優秀教員. 2018年2月
- 8) 野上健: 第204回日本消化器病学会東北支部例会 特別企画 目指せ! 消化器病専門医ー初期研修医からの報告 優秀演題賞. 2018年2月
- 9) 小山創志: 第204回日本消化器病学会東北支部例会 特別企画 目指せ! 消化器病専門医ー初期研修医からの報告 優秀演題賞. 2018年2月

5. その他

- 1) 野村栄樹: 「便秘」. 仙台CAT-V 「家庭の医学」, 仙台市; 2017年5月

臨床腫瘍学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) 佐野町友美, 鈴木修平, 中村翔, 渡邊千尋, 熊西亮介, 中村元治, 鈴木尚樹, 渡邊要, 武田弘幸, 福井忠久, 吉岡孝志: がん患者を担当する医学生を取り巻く精神的負荷の現状—患者・医学生・医師の3つの視点での考察—. 山形医学. 2017. 2 ; 35(1) : 1-7

(2) 総説及び解説

- 1) 鈴木修平, 吉岡孝志, 岡田雅司*: JNK シグナル経路を標的としたがん幹細胞の治療戦略. 月刊 細胞 THE CELL. 2017. 3 ; 49(3) : 32-34

(3) 症例報告

- 1) Sho Nakamura, Tadahisa Fukui, Shuhei Suzuki, Hiroyuki Takeda, Kaname Watanabe, Takashi Yoshioka: Long-term survival after a favorable response to anti-EGFR antibody plus chemotherapy to treat bone marrow metastasis: a case report of KRAS-wildtype rectal cancer. Onco Targets and Therapy. 2017 Feb; 23(10): 1143-1147

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 中村元治, 鈴木修平, 熊西亮介, 鈴木尚樹, 渡邊要, 武田弘幸, 中村翔, 福井忠久, 吉岡孝志: ベバシズマブ長期投与中に上腸間膜動脈解離を発症した1例. 第210回日本内科学会東北支部, 仙台; 2017年2月

ii 一般演題

- 1) 榎本奈生**, 嶋倉淳子**, 木戸美樹**, 遠藤裕子**, 小林幸代**, 佐藤翔子**, 泉妻泉**, 中村翔, 成松宏人**, 井上里奈**: 高島町民の特性に合わせた保健指導の確立に向けた個別化予防介入の検証. 公衆衛生学会 講演, 山形市; 2017年3月 B
- 2) 志田敏宏*, 遠藤裕司*, 白石正*, 吉岡孝志, 鈴木薫**, 小林由佳**, 小野裕紀**, 井上忠夫**: 進行再発大腸癌に対するファーストライン治療 (mFOLFOX6Base) の臨床判断分析を用いた統合研究. ポスター 薬剤疫学. 日本薬学会 第137年会, 仙台; 2017年3月 B

(2) その他

- 1) 日野紗也加*, 小山佳奈*, 伊藤千絵*, 青木沙織*, 前田由美*, 鈴木修平: 患者のQOL向上を図るための疼痛マネジメントにおける看護師の役割. 平成28年度 院内看護研究発表会, 山形市; 2017年1月
- 2) 中村翔: 化学療法の治療方針にCTBが及ぼす影響. 蔵王協議会主催シンポジウム キャンサートリートメントボード導入から10年目を迎えて—山形県内での普及を目指して— 第1部 キャンサートリートメントボードの状況について, 山形市; 2017年2月
- 3) 中村翔: 血圧を下げるための生活習慣のはなし. 山形県東置賜郡高島町健康長寿課主催 平成28年度高血圧教室講演, 高島町; 2017年2月
- 4) 中村翔: 慢性腎臓病予防教室のまとめと蛋白尿について. 山形県東置賜郡高島町健康長寿課主催 平成28年度慢性腎臓病予防教室講演, 高島町; 2017年2月
- 5) 吉岡孝志: 3. 遺伝子腫瘍症候群の発症予防と治療. 平成28年度 山形大学医学部公開講座 大人と子供の気になる病気 遺伝子とワクチンの最新の話題 第1部 遺伝子と疾病に関する最近の話題, 山形市; 2017年3月
- 6) 中村翔: これからも血圧に気をつけ続けられるように. 山形県東置賜郡高島町健康長寿課主催 平成28年度高血圧教室講演, 高島町; 2017年3月

内科学第二講座 臨床腫瘍学分野

1. 論文

(1) 原著

- 1) Kenta Kuramoto*, Shuhei Suzuki, Hirotsugu Sakaki*, Hiroyuki Takeda, Tomomi Sanomachi, Shizuka Seino*, Yoshitaka Narita**, Takamasa Kayama*, Chifumi Kitanaka*, Masashi Okada*: Licochalcone A specifically induces cell death in glioma stem cells via mitochondrial dysfunction. *FEBS open bio.* 2017; 7(6): 835-844 B
- 2) Hiroyuki Takeda, Masashi Okada*, Kenta Kuramoto*, Shuhei Suzuki, Hirotsugu Sakaki*, Tomomi Sanomachi, Shizuka Seino*, Takashi Yoshioka, Hirofumi Hirano**, Kazunori Arita**, Chifumi Kitanaka*: Antitumor activity of gemcitabin against high-grade meninggioma in vitro and in vivo. *Oncotarget.* 2017 June; 8(53):90996-91008, DOI:10.18632/oncotarget.18827 B
- 3) Sho Nakamura, Hiroto Narimatsu**, Kayoko Katayama**, Ri Sho*, Takashi Yoshioka, Akira Fukao**, Takamasa Kayama*: Effect of genomics-related literacy on non-communicable diseases. *Journal of Human Genetics.* 2017 Sep; 62(9): 839-846 B
- 4) Masashi Okada*, Hiroyuki Takeda, Hirotsugu Sakaki*, Kenta Kuramoto*, Shuhei Suzuki, Tomomi Sanomachi, Keita Togashi*, Shizuka Seino, Chifumi Kitanaka*: Repositioning CEP-1347, a chemical agent originally developed for the treatment of Parkinson's disease, as an anti-cancer stem cell drug. *Oncotarget.* 2017; 8(55): 94872-94882
- 5) Tomomi Sanomachi, Shuhei Suzuki, Kenta Kuramoto*, Hiroyuki Takeda, Hirotsugu Sakaki*, Keita Togashi*, Shizuka Seino*, Takashi Yoshioka, Masashi Okada*, Chifumi Kitanaka*: Olanzapine, an Atypical Antipsychotic, Inhibits Survivin Expression and Sensitizes Cancer Cells to Chemotherapeutic Agents. *ANTICANCER RESEARCH.* 2017; 37(11): 6177-6188
- 6) Fei Wu**, Hiroto Narimatsu**, Xiaoqiang Lil**, Sho Nakamura, Ri Sho*, Genming Zhao**, Yoshinori Nakata**, WanghongXu: Non-communicable diseases control in China and Japan. *Globalization and Health.* 2017 Dec; 13: 91 B, D
- 7) Toshihiro Shida*, Yuji Endo*, Tadashi Shiraishi*, Takashi Yoshioka, Kaoru Suzuki**, Yuka Kobayashi**, Yuki Ono**, Toshinori Ito**, Tdiao Inoue**: Economic Evaluation of mFOLFOX6-based First-line Regimens for Unresectable Advanced or Recurrent Colorectal Cancer Using Clinical Decision Analysis. *薬学雑誌.* 2018; 138(1): 83-90 B

(2) 著書

- 1) 吉岡孝志:VI 転移臓器別の治療 5 がん性漿膜炎の治療. *がん転移学(下)*(日本臨牀 75 増刊号9). 東京; 日本臨牀社, 2017. 12 : 102-105

(3) その他

- 1) Sho Nakamura, Hirito Narimatsu**: Adaptation of Genetic Counseling According to an Individual's Literacy Regarding Genomics. *Journal of Clinical Oncology.* 2018; 36(5): 516-517 B

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Noritoshi Kobayashi**, Katsuhiro Omae**, Yosuke Horita**, Hideki Ueno**, Noumasa Mizuno**, Kazuhiro Uesugi**, Kentaro Sudo**, Masato Ozaka**, Hideyuki Hayashi**, Naohiro Okano**, Keiko Kamei**, Atsushi Yamaguchi**, Satoshi Kobayashi**, Shuhei Suzuki, Shin Ishihara**, Takashi Uchiyama**, Akiko Todaka**, Akira Fukutomi**: FOLFIRINOX as second-line chemotherapy for advanced pancreatic cancer: A subset analysis from the nation-wide multicenter observational

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 吉岡孝志：支持療法. 教育セッション2 支持療法. 第55回日本癌治療学会学術集会, 横浜; 2017年10月
- 2) 松本逸平*, 亀井敬子**, 大前勝弘**, 鈴木修平, 松岡英彦**, 水野伸匡**, 尾阪将人**, 上野秀樹**, 小林智**, 上杉和寛**, 細川貴史**, 逸見利幸**, 小林真里奈**, 戸高明子**, 福富晃*: 局所進行切除不能肺癌に対するFOLFIRINOX療法の治療成績と治療前予後因子の検討. ワークショップ11それぞれの癌: 難治性癌に対する治療戦略~肝・胆・膵~. 第55回日本癌治療学会学術集会, 横浜; 2017年10月

ii 一般演題

- 1) 中村元治, 鈴木修平, 熊西亮介, 鈴木尚樹, 渡邊要, 武田弘幸, 中村翔, 福井忠久, 吉岡孝志: 当科における腹膜・心膜中皮腫に対するシスプラチン+ペメトレキセド併用療法の検討. ポスターセッション 腫瘍2. 第114回日本内科学会講演会, 東京; 2017年4月
- 2) 青木聖子*, 鈴木修平, 渡邊要, 熊西亮介, 鈴木尚樹, 中村元治, 武田弘幸, 中村翔, 福井忠久, 吉岡孝志: 卒前の緩和ケア教育と現在の緩和ケアに対する医療者の認識. ポスター 卒前教育/卒後教育(学生). 第22回日本緩和医療学会学術大会, 横浜; 2017年6月
- 3) 鈴木修平, 青木聖子*, 熊西亮介, 鈴木尚樹, 中村元治, 渡邊要, 武田弘幸, 中村翔, 福井忠久, 吉岡孝志: 当科における急変症例の後方視的検討. ポスター 予後予測. 第22回日本緩和医療学会学術大会, 横浜; 2017年6月
- 4) 武田弘幸, 鈴木尚樹, 高橋鴻志, 渡邊要, 中村翔, 鈴木修平, 福井忠久, 吉岡孝志: 播種性血管内凝固症候群および骨髄腫腫症を合併した悪性黒色腫に対する免疫治療. ポスター 免疫療法1(悪性黒色腫). 第15回日本臨床腫瘍学会学術集会, 神戸; 2017年7月
- 5) 高橋鴻志, 鈴木修平, 藤田耕太郎, 渡邊要, 武田弘幸, 中村翔, 福井忠久, 吉岡孝志: 予後・治療効果予測における、腫瘍径・転移臓器数と治療反応性に関する検討. ポスター その他診断・画像診断. 第15回日本臨床腫瘍学会学術集会, 神戸; 2017年7月
- 6) 鈴木尚樹, 佐藤昂**, 河上英則**, 正岡俊明*: von Recklinghausen 病に合併した悪性末梢神経鞘腫の肺転移の1切除例. 一般演題 セッションII(研修医セッション). 第105回日本呼吸器学会東北地方会・第135回日本結核病学会東北支部学会, 岩手; 2017年9月
- 7) 岡田雅司*, 鈴木修平, 清野学*, 武田弘幸, 北中千史*: 新規JNK阻害薬であるAS602801はがん幹細胞を抑制する. ポスターセッションP11-6 がん幹細胞標的治療. 第76回日本癌学会学術総会, 横浜; 2017年9月
- 8) 中村翔, 阪口昌彦**, 片山佳代子**, 成松宏人**: 希少がんの死因分析. ポスターセッションP24-1 がん疫学(1). 第76回日本癌学会学術総会, 横浜; 2017年9月 B
- 9) 鈴木修平, 渡邊要, 武田弘幸, 中村翔, 福井忠久, 吉岡孝志: 人格障害と診断された配偶者を有する自閉症スペクトラムの膵がん患者へのFOLFIRINOX療法の1治療経験. 一般演題ポスター P1 精神症状. 第30回日本サイコロジー学会総会, 東京; 2017年10月
- 10) 神田悟, 鈴木修平, 佐野町友美, 邨野千尋, 熊西亮介, 鈴木尚樹, 中村元治, 渡邊要, 武田弘幸, 中村翔, 福井忠久, 吉岡孝志: 当科で経験したgemcitabineによる腎障害についての検討. デジタルポスター32「泌尿器科 その他1」. 第55回日本癌治療学会学術集会, 横浜; 2017年10月
- 11) 黄木千尋*, 浅野由美*, 渡邊要, 武田弘幸, 中村翔, 鈴木修平, 福井忠久, 阿部綾子*, 和田美恵*, 吉岡孝志: 当院外来化学療法室における免疫チェックポイント阻害剤の作成と有用性. 害薬一般口演 23「免疫チェックポイント阻害剤の効果と課題」. 第55回日本癌治療学会学術集会, 横浜; 2017年10月
- 12) 邨野千尋, 武田弘幸, 佐野町友美, 神田悟, 熊西亮介, 鈴木尚樹, 中村元治, 渡邊要, 中村翔, 鈴木修平, 福井忠久, 吉岡孝志: 性腺外胚細胞腫と鑑別診断に難渋した縦隔原発の淡明細胞肉腫の一例. デジタルポスター 146「肺 症例報告」. 第55回日本癌治療学会学術集会, 横浜; 2017年10月
- 13) 鈴木薫**, 志田敏宏*, 小野裕紀**, 小林由佳**, 白石正*, 吉岡孝志, 井上忠夫*: 進行再発大腸癌に

対する一次治療 (FOLFIRIbase) の臨床判断分析を用いた統合研究. デジタルポスター152 「大腸 支持療法 2」. 第 55 回日本癌治療学会学術集会, 横浜; 2017 年 10 月 B

- 14) 佐野町友美, 鈴木修平, 神田悟, 邨野千尋, 熊西亮介, 鈴木尚樹, 中村元治, 渡邊要, 武田弘幸, 中村翔, 福井忠久, 吉岡孝志: 当科において Capecitabine-based レジメンを施行した十二指腸癌の 3 例の後方視的検討. デジタルポスター 179 「胃 症例報告 2」. 第 55 回日本癌治療学会学術集会, 横浜; 2017 年 10 月
- 15) 今野伸弥*, 山下英俊*, 鈴木修平, 吉岡孝志: 脈絡膜悪性黒色腫の転移に対してニボルマブで治療した 3 例. 一般講演 22 腫瘍・病理. 第 71 回日本臨床眼科学会, 千代田区; 2017 年 10 月
- 16) 中村翔, 井上昌弘**, 田平章人**, 今枝奈穂美**, 後藤千穂**, 成松宏人**: 大規模 DTC 遺伝子検査を活用した肥満の遺伝×環境相互作用解析. 一般ポスター多因子遺伝 2 P-172. 日本人類遺伝学会 第 62 回大会, 神戸; 2017 年 11 月 B, C
- 17) 岡田雅司*, 鈴木修平, 倉元謙太*, 武田弘幸, 北中千史*: がん幹細胞における JNK 経路の機能解析. 8. 疾患生物学-1) がん(ポスター) 1P-0950. 2017 年度生命科学系学会合同年次大会, 神戸; 2017 年 12 月
- 18) 邵力*, 張旭紅*, 大谷勝実**, 武田弘明**, 福井忠久, 上野義之*, 本郷誠治*: ヘリコバクター・ピロリ sabA 遺伝子の多様性と SabA タンパク質発現と胃十二指腸疾患との関連. 第 90 回日本生化学会大会合同大会, 神戸; 2017 年 12 月 B
- 19) 邨野千尋, 五十嵐朗*, 山内啓子*, 古山広大*, 峯岸幸博*, 梁秀鼎*, 町田浩祥*, 小林真紀*, 佐藤健人*, 中野寛之*, 山本友香*, 西脇道子*, 木村友美*, 東海林佳兼*, 井上純人*, 渡辺昌文*: オンメルチニブが奏功した exon 20 insertions EGFR 遺伝子変異陽性肺腺癌の一例. 第 106 回日本呼吸器学会東北地方会・第 136 回日本結核病学会東北支部学会・第 12 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会東北支部会, 山形市; 2018 年 3 月

(3) 研究会

i 一般演題

- 1) 鈴木尚樹: von Recklinghausen 病に合併した悪性末梢神経鞘腫の肺転移の 1 切除例の考察. 第 12 回山形呼吸器外科研究会, 山形市; 2017 年 10 月

(4) 座長

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 吉岡孝志: 職種・専門によらず知っておくべきオンコロジー知識のアップデート. 第 14 回日本癌治療学会アップデート教育コース, 仙台; 2017 年 7 月
- 2) 吉岡孝志: 東北次世代がんプロ養成プラン研究進捗状況. 東北次世代がんプロ養成プラン 4 大学合同学生セミナー, 新潟; 2018 年 1 月

ii 一般演題

- 1) 吉岡孝志: デジタルポスター 169 胃 化学療法・放射線療法. 第 55 回日本癌治療学会学術集会, 横浜; 2017 年 10 月

(5) その他

- 1) 福井忠久: 新たながん治療 免疫チェックポイント阻害薬について 米沢市医師会, 米沢市; 2017 年 5 月
- 2) 福井忠久: これからのがん治療～Precision medicine とがん免疫治療～. 長井市西置賜郡医師会学術講演会, 長井市; 2017 年 7 月
- 3) 福井忠久: がん治療とオンコロジー・エマーゼンシー. 奥羽大学教育研修・講演会, 郡山市; 2017 年 9 月
- 4) 岡田雅司*, 武田弘幸, 榊宏倫*, 鈴木修平, 北中千史*: パーキンソン病薬として開発された CEP-1347 はがん幹細胞標的治療薬として働く. 実験動物セミナー 第 28 回研究成果発表会, 山形市; 2017 年 12 月
- 5) 中村翔, 渡邊要, 五十嵐絵美*: 高島町地域在宅医療推進協議会・山形県東置賜郡高島町主催 平成 29 年度 医療・介護連携推進事業「人生の終い方 part II ～緩和ケアの現場から～」. 高島町; 2018 年 2 月

3. 学会等での受賞

- 1) 鈴木尚樹：第105回日本呼吸器学会東北地方会優秀演題賞. 2017年9月
- 2) 鈴木修平：第34回2017年度井上研究奨励賞. 2018年2月
- 3) 鈴木修平：平成29年度山形大学医学会学術賞銀賞. 2018年2月
- 4) 邨野千尋：第106回日本呼吸器学会東北地方会優秀演題賞. 2018年3月

内科学第三（神経学分野）講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Kuriyama N**, Miyajima M**, Nakajima M**, Kurosawa M**, Fukushima W**, Watanabe Y**, Ozaki E**, Hirota Y**, Tamakoshi A**, Mori E**, Kato T, Tokuda T**, Urae A**, Arai H** : Nationwide hospital-based survey of idiopathic normal pressure hydrocephalus in Japan : Epidemiological and clinical characteristics. *Brain Behav.* 2017 ; 7(3) : e00635. doi : 10.1002/brb3.635 B, C
- 2) Namba H*, Narumi M*, Susa S, Ohe R*, Kato T, Yamakawa M*, Yamashita H* : Corneal vesicles accumulate collagen VI associated with tissue remodeling in apolipoprotein a-1 deficiency : a case report. *BMC Ophthalmol.* 2017 ; 17(1) : 11
- 3) Koyama S, Sato H, Wada M, Kawanami T, Emi M**, Kato T : Whole-exome sequencing and digital PCR identified a novel compound heterozygous mutation in the NPHP1 gene in a case of Joubert syndrome and related disorders. *BMC Med Genet.* 2017 ; 18(1) : 37 B

(2) 総説及び解説

- 1) 栗村正之, 水田克巳, 山川達志, 加藤丈夫 : ヒトパレコウイルス 3 型関連筋痛症/筋炎 : 新興感染症としての流行性筋痛症. *神経内科.* 2017 ; 86(3) : 307-314
- 2) 小山信吾, 加藤丈夫 : 脳髄黄色腫症の早期診断. *神経内科.* 2017 ; 86(1) : 102-109
- 3) 小山信吾, 加藤丈夫 : 脳髄黄色腫症の分子遺伝学. *神経内科.* 2017 ; 86(3) : 361-367

(3) 著書

- 1) 加藤丈夫 : リケッチア感染症 (ツツガムシ病, 日本紅斑熱). 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 (総編集), 今日の治療指針 私はこう治療している TODAY'S THERAPY 2017. 東京; 医学書院, 2017 : 182-183
- 2) 加藤丈夫, 川並 透** : 筋痙攣とミオグロビン尿症. 矢崎義雄 (総編集), 内科学 (第 11 版). 東京; 朝倉書店, 2017 年 3 月 : 2333-2335

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 加藤 肇, 佐藤裕康, 荒若繁樹, 加藤丈夫 : 新規クルクミン誘導体の ALS 治療薬としての可能性についての検討. 筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 新規治療法開発をめざした病態解明 2016 年度 AMED 成果報告会, 東京 ; 2017 年 1 月

ii 一般演題

- 1) 公平瑠奈, 高橋賛美, 佐藤秀則, 数井裕光**, 中島 円**, 宮嶋雅一**, 新井 一**, 栗山長門**, 加藤丈夫 : 全国疫学調査による AVIM (asymptomatic ventriculomegaly with features of iNPH on MRI) の危険因子および自然経過の探索. 第 18 回日本正常圧水頭症学会, 北九州市 ; 2017 年 2 月

(2) 国内地方会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 加藤丈夫 : 山形県の難病医療ネットワークー特に KINT システムについて. 第 99 回日本神経学会東北地方会ランチョンセミナー, 仙台市 ; 2017 年 3 月

ii 一般演題

- 1) 佐藤大祐, 公平瑠奈, 鈴木佑弥, 猪狩龍佑, 佐藤裕康, 小山信吾, 荒若繁樹, 加藤丈夫 : 人工呼吸器管理を要した抗 HMGR 抗体陽性壊死性ミオパチーの一例. 第 99 回日本神経学会東北地方会, 仙台市 ; 2017 年 3 月
- 2) 鈴木佑弥, 公平瑠奈, 佐藤大祐, 猪狩龍佑, 佐藤裕康, 小山信吾, 荒若繁樹, 加藤丈夫 : 高 CK 血症を契機に診断された McLeod 症候群の一例. 第 99 回日本神経学会東北地方会, 仙台市 ; 2017 年 3 月

(3) 研究会

i 一般演題

- 1) 佐藤裕康：山形パーキンソン病学術講演会，山形市；2017年2月

(4) 座長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 加藤丈夫：心房細動と認知症～超高齢社会における脳梗塞・認知症予防戦略～. Yamagata Premium Frail Conference 2017, 山形市；2017年1月
- 2) 加藤丈夫：パーキンソン病の最新リハビリテーション. ハッピーフェイスセミナーin山形～パーキンソン病の薬物療法と非薬物療法～, 山形市；2017年2月

ii 一般演題

- 1) 加藤丈夫:Session1 疫学、社会、基礎医学 (1. 全国疫学調査による AVIM (asymptomatic ventriculomegaly with features of iNPH on MRI) の危険因子および自然経過の探索 2. iNPH 治療における医療経済効果の検討: SINPHONI study と SINPHONI-2study の結果が米国にて得られた場合 3. Dynamic PET による頭蓋内の水のターンオーバーの解析 4. 正常圧水頭症ラットモデルの作成). 第 18 回日本正常圧水頭症学会, 北九州市；2017年2月

(5) その他

- 1) 加藤丈夫：災害時における難病患者への支援について. (山形県議会難病等対策推進議員連盟), 山形市；2017年2月
- 2) 加藤丈夫：内科疾患と認知症. 山形大学認知症講座, 山形市；2017年3月

高次脳機能障害学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Baba T**, Hosokai Y**, Nishio Y**, Kikuchi A**, Hirayama K**, Suzuki K, Hasegawa T**, Aoki M**, Takeda A**, Mori E**. Longitudinal study of cognitive and cerebral metabolic changes in Parkinson's disease. Journal of the Neurological Sciences. 2017; 372: 288-293

(2) 著書

- 1) 鈴木匡子: 日本神経学会編, 神経内科 専門医試験問題 解答と解説. 東京; 南江堂, 2017 F

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 鈴木匡子: 脳卒中後の高次脳機能障害. 第42回日本脳卒中学会学術集会, 大阪; 2017年3月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 鈴木匡子: 脳卒中後の情動障害、認知障害、てんかん. 第42回日本脳卒中学会学術集会, 大阪; 2017年3月

(2) その他

- 1) 伊関千書, 伊藤さゆり, 豊岡志保**, 鈴木匡子: 心肺蘇生後に多彩な視空間認知障害と軽度の健忘を行為した1例. 第28回東北神経心理懇話会, 仙台; 2017年2月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 山形大学認知症講座, 山形; 2017年1月-2017年3月
- 2) 高次脳機能セミナー特別企画シンポジウム, 山形; 2017年2月

1. 論文

(1) 原著

- 1) Arawaka S, Sato H, Sasaki A, Koyama S, Kato T: Mechanisms underlying extensive Ser129-phosphorylation in α -synuclein aggregates. *Acta Neuropathol Commun.* 2017 ; 5(1) : 48
- 2) Obara Y*, Imai T*, Sato H*, Takeda Y*, Kato T, Ishii K*: Midnolin is a novel regulator of parkin expression and is associated with Parkinson's Disease. *Sci Rep.* 2017 ; 7(1) : 5885
- 3) Honda Y**, Watanabe T*, Shibata Y*, Otaki Y*, Kadowaki S*, Narumi T*, Takahashi T*, Kinoshita D*, Yokoyama M*, Nishiyama S*, Takahashi H*, Arimoto T*, Shishido T*, Inoue S*, Miyamoto T*, Konta T*, Kawasaki R, Daimon M**, Kato T, Ueno Y, Kayama T, Kubota I : Impact of restrictive lung disorder on cardiovascular mortality in a general population : The Yamagata (Takahata) Study. *Int J Cardiol.* 2017 ; 241 : 395-400 B
- 4) Koyama S, Sato H*, Kobayashi R*, Kawakatsu S**, Kurimura M**, Wada M, Kawanami T, Kato T : Clinical and radiological diversity in genetically confirmed primary familial brain calcification. *Sci Rep.* 2017 ; 7(1) : 12046 B
- 5) Namba H*, Kawasaki R*, Sugano A*, Murakami T*, Nishitsuka K*, Kato T, Kayama T*, Yamashita H* : Age-Related Changes in Ocular Aberrations and the Yamagata Study (Funagata). *Cornea.* 2017 ; 36 suppl 1 : s34-s40
- 6) Abe K**, Aoki M**, Tsuji S**, Itoyama Y**, Sobue G**, Togo M**, Hamada C**, Sasaki H**, Yabe I**, Doi S**, Warita H**, Imai T**, Ito H**, Fukuchi M**, Osumi E**, Wada M, Nakano I**, Morita M**, Ogata K**, Maruki Y**, Ito K**, Kano O**, Yamazaki M**, Takahashi Y**, Ishiura H**, Ogino M**, Koike R**, Ishida C**, Uchiyama T**, Mizoguchi K**, Obi T**, Watanabe H**, Atsuta N**, Aiba I**, Taniguchi A**, Sawada H**, Hazama T**, Fujimura H**, Kusaka H**, Kunieda T**, Kikuchi H**, Matsuo H**, Ueyama H**, Uekawa K**, Tanaka M**, Akimoto M**, Ueda M**, Murakami A**, Sumii R**, Kudou T**, Nakamura K**, Morimoto K**, Yoneoka T**, Hirai M**, Sasaki K**, Terai H**, Natori T**, Matsui H**, Kotani K**, Yoshida K**, Iwasaki T**, Takahashi F**, Kondo K**, Yoshino H** : Safety and efficacy of edaravone in well defined patients with amyotrophic lateral sclerosis : a randomised, double-blind, placebo-controlled trial. *Lancet Neurol.* 2017;16(7) : 505-512 B
- 7) Machida H*, Shibata Y*, Inoue S*, Igarashi A*, Tokairin Y*, Yamauchi K*, Kimura T*, Sato K*, Nakano H*, Nishiwaki M*, Kobayashi M*, Yang S*, Minegishi Y*, Furuyama K*, Yamamoto T*, Watanabe T*, Konta T*, Ueno Y*, Kato T, Kayama T*, Kubota I* : Prevalence of diabetes mellitus in individuals with airflow obstruction in a Japanese general population : The Yamagata-Takahata Study. *Respir Investig.* 2018 ; 56(1) : 34-39
- 8) Namba H*, Kawasaki R*, Sugano A*, Nishi K*, Murakami T*, Nishitsuka K*, Kato T, Kayama T*, Yamashita H* : Cross-Sectional and Longitudinal Investigation of the Power Vector in Astigmatism : The Yamagata Study (Funagata). *Cornea.* 2018 ; 37(1) : 53-58
- 9) Honda Y**, Watanabe T*, Otaki Y*, Tamura H*, Nishiyama S*, Takahashi H*, Arimoto T*, Shishido T*, Miyamoto T*, Shibata Y*, Konta T*, Kawasaki R*, Daimon M**, Ueno Y*, Kato T, Kayama T*, Kubota I* : Gender differences in the impact of anemia on subclinical myocardial damage and cardiovascular mortality in the general population : The Yamagata (Takahata) study. *Int J Cardiol.* 2018 ; 252 : 207-212 B
- 10) Sekijima Y**, Koyama S, Yoshinaga T**, Koinuma M**, Inaba Y** : Nationwide survey on cerebrotendinous xanthomatosis in Japan. *J Hum Genet.* 2018 ; 63(3) : 271-280 B
- 11) Sato K*, Shibata Y*, Inoue S*, Igarashi A*, Tokairin Y*, Yamauchi K*, Kimura T*, Nemoto T*, Sato M*, Nakano H*, Machida H*, Nishiwaki M*, Kobayashi M*, Yang S*, Minegishi Y*, Furuyama K*, Yamamoto T*,

- Watanabe T*, Konta T*, Ueno Y, Kato T, Kayama T, Kubota I*: Impact of cigarette smoking on decline in forced expiratory volume in 1s relative to severity of airflow obstruction in a Japanese general population: The Yamagata-Takahata study. *Respir Investig.* 2018 Mar ;56(2) : 120-127 B
- 12) 伊関千書, 須藤雪乃*, 宮島美佳*, 伊藤さゆり*, 林思音*, 鈴木匡子: 病院内での道順探索一健常者および高次脳機能障害者における検討一. *山形医学.* 2017 ;35(2) :33-38
- 13) 鈴木朋子**, 斎藤拓朗**, 添田暢俊**, 金子明代**, 伊関千書, 佐橋佳郎**, 小宮ひろみ**, 鈴木雅雄**, 古田大河**, 三瀧忠道**: 術後腹壁-小腸瘻に対する随証治療を通じ最終的に乙字湯が有効であった1例. *日本東洋医学雑誌.* 2017 ;68(2) :127-133 B

(2) 総説及び解説

- 1) 高橋賛美, 加藤丈夫: (排尿障害をきたす疾患) 正常圧水頭症. *CRITICAL NEUROSCIENCE.* 2018 ;36 (1) :69-71
- 2) 伊関千書, 加藤丈夫: 特発性正常圧水頭症(iNPH)発症の背景. *日本医事新報.* 2017 ;4876 :28-34

(3) 著 書

- 1) 荒若繁樹**, 加藤丈夫: 孤発性 ALS の病因・病態はどこまでわかっていますか?. 鈴木則弘監修, 青木正志編集, *運動ニューロン疾患.* 東京;中外医学社, 2017 :14-20
- 2) 羽田幸里香, 加藤丈夫: 糖尿病性ニューロパチー. 水澤英洋, 山口修平, 園生雅弘, *神経疾患最新の治療 2018-2020.* 東京都;南江堂, 2018 :307-309
- 3) 鈴木佑弥, 加藤丈夫: II 臨床診断と治療 1. 一側動眼神経麻痺の識別診断は?. *神経内科 Clinical Questions & Pearls.* 東京;中外医学社, 2018 :44-51

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 一般演題

- 1) Suzuki K, Iseki C, Hoshi M**: Visual and Tactile Material Recognition in Elderly and Brain-damaged Subjects. *World Congress of Neurology 2017, Kyoto; September 2017 B*
- 2) Koyama S, Sato H, Kato T: COPY NUMBER VARIATIONS IN SPORADIC AMYOTROPHIC LATERAL SCLEROSIS. *World Congress of Neurology 2017, Kyoto; September 2017*
- 3) Takahashi Y, Iseki C, Igari R, Kimihira L, Kato H, Sato H, Koyama S, Kato T, Suzuki K: Death after long-standing cerebrovascular diseases and dementing disorders in the community-dwelling elderly, Japan. *World Congress of Neurology 2017, Kyoto; September 2017*
- 4) Kimihira L, Takahashi Y, Iseki C, Sato H, Suzuki K, Kazui H**, Kuriyama N**, Nakajima M**, Miyajima M**, Arai H**, Kato T: A Hospital-based Prospective Study on the Frequency of Developing iNPH among those with Asymptomatic Ventriculomegaly with Features of iNPH on MRI (AVIM). *World Congress of Neurology 2017, Kyoto; September 2017 B*
- 5) Iseki C, Takahashi Y, Hoshi M**, Kimihira L, Igari R, Sato H, Koyama S, Suzuki K, Kato T: A Longitudinal Cohort Study of Idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus(iNPH) in the Community-dwelling Elderly in Takahata, Japan. *World Congress of Neurology 2017, Kyoto; September 2017 B*
- 6) Iseki C, Takahashi Y, Kimihira L, Igari R, Sato H, Koyama S, Suzuki K, Kato T: A Longitudinal Observation of the Non-desh Inhabitants: from a Cohort Study of Idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus (iNPH) in the Community-dwelling Elderly in Takahata, Japan. *Hydrocephalus 2017, Kobe; September 2017*
- 7) Kimihira L, Takahashi Y, Iseki C, Sato H, Suzuki K, Kazui H**, Kuriyama N**, Nakajima M**, Miyajima M**, Arai H**, Kato T: A Hospital-based, Prospective Study on the Natural History of AVIM (Asymptomatic Ventriculomegaly with Features of iNPH on MRI). *Hydrocephalus 2017, Kobe; September 2017 B*
- 8) Korhonen V**, Helisalmi S**, Jokinen A**, Jokinen I**, Lehtola JM**, Kojoukhova M**, Koivisto AM**, Rauramaa T**, Sutela A**, Vanninen R**, Haapasalo AK**, Hiltunen M**, Rauramaa T**, Saito H**, Kato T,

Soininen H**, Jääskeläinen JE**, Remes AM**, Eide PK**, Leinonen V** : Copy number loss in the intron 2 of the *SFMBT1* gene is associated with idiopathic normal pressure hydrocephalus: a cross-sectional multinational study of 936 iNPH patients. *HYDROCEPHALUS* 2017, Kobe ; September, 2017 B

- 9) Kuriyama N**, Miyajima M**, Nakajima M**, Kurosawa M**, Fukushima W**, Watanabe Y**, Ozaki E**, Hirota Y**, Tamakoshi A**, Mori E**, Kato T, Tokuda T**, Urae A**, Arai H** : Epidemiology and clinical characteristics of iNPH in Japan. *HYDROCEPHALUS* 2017, Kobe ; September, 2017 B

(2) 国内の学会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 鈴木匡子：視空間認知障害と共に生きる－10年の経過－. 第41回日本高次脳機能障害学会学術総会, 大宮 ; 2017年12月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 加藤丈夫：特発性正常圧水頭症の前駆状態－AVIMの危険因子と予後. 第17回日本抗加齢医学会総会(シンポジウム), 東京 ; 2017年6月
- 2) 加藤丈夫：治療可能な認知症－意外に多い特発性正常圧水頭症. 第57回日本内科学会北海道地区生涯教育講演会, 札幌 ; 2017年7月
- 3) 鈴木匡子：脳損傷からみたヒトの視・空間認知機能のしくみ. 第22回認知神経科学学会学術集会, 東京 ; 2017年7月
- 4) 鈴木匡子：覚醒下手術における高次脳機能の評価－言語マッピングを中心に－. 第15回日本 awake surgery 学会, 東京 ; 2017年9月
- 5) 鈴木匡子：高次脳機能の診かた. 第1回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 大阪 ; 2017年10月

iii 一般演題

- 1) 大石如香*, 今村徹**, 下村辰雄**, 鈴木匡子：変性性認知症における視覚性誤認に関連する要因の検討. 第41回日本神経心理学会学術集会, 東京 ; 2017年10月 B
- 2) 伊藤さゆり*, 佐藤滋**, 齋藤尚宏**, 金原禎子**, 大沼歩**, 飛田宗重**, 伊関千書, 鈴木匡子：アルツハイマー型認知症における行為障害の検討. 第41回日本神経心理学会学術集会, 東京 ; 2017年10月 B
- 3) 小林良太*, 川勝忍**, 鈴木匡子, 大谷浩一* : 高齢発症の意味性認知症の臨床的特徴および原因疾患の検討. 第41回日本神経心理学会学術集会, 東京 ; 2017年10月
- 4) 栗田幸平*, 伊関千書, 鈴木匡子：家族内発症が疑われた発達性相貌失認の特徴. 第41回日本神経心理学会学術集会, 東京 ; 2017年10月
- 5) 伊関千書, 門間政亮**, 高橋賛美, 加藤丈夫, 鈴木匡子：地域在住高齢者における軽微な認知機能低下の生命予後に対する影響. 第36回日本認知症学会学術集会, 金沢 ; 2017年11月 B
- 6) 高橋賛美, 佐藤秀則*, 公平瑠奈, 伊関千書, 加藤 肇, 猪狩龍祐, 佐藤裕康, 小山信吾, 荒若繁樹, 川並 透, 鈴木匡子, 宮嶋雅一**, 鮫島直之**, 佐藤慎哉*, 亀田雅博**, 山田晋也**, 喜多大輔**, 貝嶋光信**, 伊達 勲**, 園田順彦*, 嘉山孝正*, 桑名信匡**, 新井 一**, 加藤丈夫：特発性正常圧水頭症のリスク遺伝子 *SFMBT1*. 第36回日本認知症学会学術集会, 金沢市 ; 2017年11月 B
- 7) 猪狩龍祐, 佐藤大祐, 鈴木佑弥, 近藤敏行, 公平瑠奈, 佐藤裕康, 伊関千書, 小山信吾, 武田祐介*, 小久保安昭*, 園田順彦* : IgG4 関連肥厚生硬膜炎による視神経障害の評価に視覚誘発電位が有用であった1例. 第47回日本臨床神経生理学学会学術大会, 横浜市 ; 2017年11月
- 8) 伊藤さゆり*, 豊岡志保**, 佐藤咲子**, 鈴木匡子：後天性聾者の失語症における言語モダリティによる差異. 第41回日本高次脳機能障害学会学術総会, さいたま市 ; 2017年12月 B
- 9) 伊関千書, 豊岡志保**, 鈴木匡子：視覚性対象認知における形態・色・質感・視覚性注意の関与. 第41回日本高次脳機能障害学会学術総会, さいたま市 ; 2017年12月 B

(3) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 武士明弘, 佐藤大祐, 鈴木佑弥, 公平瑠奈, 小山信吾, 石澤賢一, 鈴木匡子, 鹿戸将史：MSDE法により診断し得た左後下小脳動脈基部の動脈解離による小脳脳幹梗塞の1例. 第212回日本内科学会東北地方会, 盛岡市 ; 2017年9月

- 2) 近藤敏行, 佐藤大祐, 鈴木佑弥, 公平瑠奈, 猪狩龍佑, 佐藤裕康, 伊関千書, 小山信吾, 鈴木匡子: 反復する運動失調と呼吸不全を呈し、血液浄化療法が奏効した傍腫瘍性神経症候群と考えられた1例. 第100回日本神経学会東北地方会, 盛岡市; 2017年9月
- 3) 伊関千書, 佐藤大祐, 近藤敏行, 鈴木佑弥, 公平瑠奈, 猪狩龍佑, 佐藤裕康, 小山信吾, 鈴木匡子, 伊藤さゆり*, 川並透**, 片桐忠**: 特発性正常圧水頭症との鑑別を要した、視空間認知障害が前景にたつ大脳皮質基底核症候群の1例. 第100回日本神経学会東北地方会, 盛岡; 2017年9月 B
- 4) 川上暢子, 伊関千書, 近藤敏行, 公平瑠奈, 佐藤大祐, 鈴木佑弥, 猪狩龍佑, 佐藤裕康, 小山信吾, 鈴木匡子, 石澤賢一: 視空間認知障害を初発症状とする変性性認知症の識別—2 症例での対比から—(動画). 第101回日本神経学会東北地方会, 仙台市; 2018年3月
- 5) 公平瑠奈, 鈴木佑弥, 小山信吾, 佐藤大祐, 近藤敏行, 猪狩龍佑, 伊関千書, 佐藤裕康, 石澤賢一: 神経核内封入体病の1例. 第101回日本神経学会東北地方会, 仙台市; 2018年3月

(4) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 鈴木匡子: 認知症における視・空間認知障害. 第31回老年期認知症研究会, 東京; 2017年7月
- 2) 加藤丈夫: 山形県における災害時における在宅難病患者移送システムの構築—特に“KINT (キント) システム”について. JPA 北海道・東北ブロック大会, 山形市; 2017年9月
- 3) 鈴木匡子: 脳腫瘍における高次脳機能障害とその評価. 脳腫瘍セミナー in Sendai 2017, 仙台; 2017年9月
- 4) 鈴木匡子: 神経診察としての高次脳機能の診かた. 日本神経学会第10回専門医育成教育セミナー, 船橋; 2017年12月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 鈴木匡子: 注意障害. 東北大学高次脳機能障害学主催第5回夏の学校, 蔵王町; 2017年8月
- 2) 鈴木匡子: 大脳半球の左右差—半球離断症状—. 東北大学高次脳機能障害学主催第5回夏の学校, 蔵王町; 2017年8月
- 3) 鈴木匡子: 高次脳機能診察. 日本神経学会第10回専門医育成教育セミナー, 船橋; 2017年12月

(5) 座 長

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Ville Leinonen, Takeo Kato: Keynote Lectures—Epidemiology & Diagnosis. HYDROCEPHALUS2017, Kobe; September, 2017
- 2) 鈴木匡子, 藤井正純**: 話す・見る・行動する脳へのアプローチ. 第15回日本 awake surgery 学会, 東京; 2017年9月

ii 一般演題

- 1) 加藤丈夫: Session1 基礎医学・疫学・社会 (1. 覚醒・自由行動下における脳脊髄液持続回収マウスモデルの確立と髄液代謝動態の解析 2. 脈絡叢組織に対するレクチン染色を用いた形態学的検討 3. 特発性正常圧水頭症 (iNPH) 治療にて mRS (modified Rankin Scale) 改善が見られなかった群の背景解析—全国疫学調査の結果より— 4. 地域医療に携わる病院における正常圧水頭症の啓蒙活動 5. シヤント手術と医療経済効果に関する文献レビュー (shunt 手術における antibiotic-impregnated catheter の使用について)). 第19回日本正常圧水頭症学会, 京都; 2018年2月
- 2) 小山信吾: 神経変性疾患 1 (24. PSEN1 に c.367G>A 変異を認めた遺伝性アルツハイマー病の1家系 25. 言語症状と記憶障害で発症したレビー小体型認知症の一例 26. 呂律の回りにくさを初発・主要症状とした大脳皮質基底核変性症の1例(動画) 27. 視空間認知障害を初発症状とする変性性認知症の識別—2 症例での対比から—(動画)). 第101回日本神経学会東北地方会, 仙台市; 2018年3月

(6) その他

- 1) 鈴木匡子: 認知症総論. 山形大学認知症講座, 山形; 2017年5月
- 2) 伊関千書: 対応に困る高次脳機能障害の症状. 第1回山形県高次脳機能障がい研修会, 山形; 2017年7月
- 3) 伊関千書: 内科的疾患による認知症とその治療. 山形大学認知症講座, 山形; 2017年11月
- 4) 伊関千書: 物忘れが気になり始めたら. 在宅医療・介護認知症市民フォーラム, 高島町; 2017年11月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 山形大学認知症講座, 山形; 2017年4月-2018年3月

内科学第三（内分泌代謝学分野）講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Namba H*, Narumi M**, Susa S, Ohe R*, Kato T, Yamakawa M*, Yamashita H*: Corneal vesicles accumulate collagen VI associated with tissue remodeling in apolipoprotein a-1 deficiency:a case report. BMC Ophthalmol. 2017; 17(1): 11

2. 学会報告及び座長

(1) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 諏佐真治：脳腱黄色腫症からみた脂質代謝異常の考察. 第63回置賜脂質動脈硬化懇話会, 米沢市; 2017年1月
- 2) 諏佐真治：糖尿病治療の変遷. Meet The Expert 2017, 山形市; 2017年2月
- 3) 諏佐真治：新庄・最上糖尿病フォーラム, 新庄市; 2017年3月

ii 一般演題

- 1) 諏佐真治：肥満症例に対する糖尿病治療の考え方. Diabetic complication network in Yamagata, 山形市; 2017年2月
- 2) 羽田幸里香：将来、GHDになると予測されるアクロメガリー術後患者の内分泌学的検査の検討. 第31回東北成長障害・成長因子研究会, 仙台市; 2017年3月

(2) 座長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 大泉俊英：もっと患者に寄りそう原発性アルドステロン症治療を考える. 第30回東北副腎研究会, 仙台市; 2017年1月

ii 一般演題

- 1) 大泉俊英：①副腎腫瘍診断のピットフォール：増大する右側後腹膜副脾を有した高アルドステロン血症の一例. ②アンドロゲン産生副腎腫瘍の若年女性症例. ③当科における原発性アルドステロン症に対する副腎静脈サンプリングについて. 第30回東北副腎研究会, 仙台市; 2017年1月
- 2) 諏佐真治：Weekly DPP4 阻害薬の安全な投与方法とその効果について. Diabetes Forum in 山形 2017, 山形市; 2017年2月
- 3) 大泉俊英：肥満症例に対する糖尿病治療の考え方. Diabetic complication network in Yamagata, 山形市; 2017年2月
- 4) 亀田亘：⑤体外受精後、長期入院管理を要したが、妊娠35週での出産に成功した胚細胞術後汎下垂体機能低下症の一例. ⑥将来、GHDになると予測されるアクロメガリー術後患者の内分泌学的検査の検討. ⑦家族性 Kallmann 症候群と考えられる30才代の女性例について—成長ホルモン欠乏症を伴っているにもかかわらず、低身長を呈さない例—. 第31回東北成長障害・成長因子研究会, 仙台市; 2017年3月

(3) その他

- 1) 羽田幸里香：糖尿病および脂質異常症の治療について. 社内勉強会（興和創薬株）, 山形市; 2017年2月
- 2) 羽田幸里香：糖尿病疾患に関して、疫学、基本的病態、治療法. 糖尿病疾患に関する研修会（キッセイ薬品株）, 山形市; 2017年3月
- 3) 渡邊健太郎：働き盛り世代の生活習慣病予防について～糖尿病予防・重症化予防を中心に～. 平成28年度事業所向け糖尿病予防研修会, 新庄市; 2017年3月
- 4) 渡邊健太郎：高齢糖尿病患者の治療. 糖尿病研修会, 酒田市; 2017年3月

内科学第三講座 糖尿病・内分泌代謝学分野

1. 論文

(1) 総説及び解説

- 1) 諏佐真治：歳とともに糖尿病と生きるコツ：中庸の徳たるや、其れ至れるかな。平成 29 年度 山形県医師会学術雑誌。2018：54：13 - 20

(2) 著書

- 1) 羽田幸里香, 加藤丈夫：糖尿病性ニューロパチー。水澤英洋, 山口修平, 園生雅弘, 神経疾患最新の治療 2018-2020。東京都；南江堂, 2018：307-309
- 2) 渡邊健太郎：高齢者の糖尿病薬・インスリン治療。弘世貴久, 増刊レジデントノート 糖尿病薬・インスリン治療 知りたい、基本と使い分け。東京都；羊土社, 2017：135-143
- 3) 渡邊健太郎：頭痛。大庭建三, すぐに使える高齢者総合診療ノート第 2 版。東京都；日本医事新報社, 2017：150-156

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 亀田 亘：下垂体機能低下症：成長ホルモン補充実際と留意点。第 28 回日本間脳下垂体腫瘍学会, 浜松市；2018 年 2 月

ii 一般演題

- 1) 渡邊健太郎, 公平瑠奈, 石井康大, 羽田幸里香, 多田杏子, 高瀬 薫, 亀田 亘, 諏佐真治, 大泉俊英, 加藤丈夫：大動脈弓石灰化および心膜外脂肪と心血管病発症予測因子との関連性の検討。第 114 回日本内科学会総会・講演会, 東京；2017 年 4 月
- 2) 羽田幸里香, 渡邊健太郎, 石井康大, 多田杏子, 高瀬 薫, 亀田 亘, 諏佐真治, 大泉俊英, 加藤丈夫：降圧薬内服有無と塩分摂取量の関連性—推定 1 日塩分摂取量を用いた検討—。第 114 回日本内科学会総会・講演会, 東京；2017 年 4 月
- 3) 諏佐真治, 小山信吾, 佐藤秀則*, 羽田幸里香, 多田杏子, 高瀬 薫, 亀田 亘, 渡邊健太郎, 大泉俊英, 加藤丈夫：同一遺伝子変異を有し、遅発性の神経所見を特徴とした脳腱黄色腫症の 3 例。第 114 回日本内科学会総会・講演会, 東京；2017 年 4 月
- 4) 石井康大, 亀田 亘, 羽田幸里香, 多田杏子, 高瀬 薫, 渡邊健太郎, 諏佐真治, 大泉俊英, 五十嵐朗*, 伊藤美以子*, 石澤賢一, 加藤丈夫：尿崩症症状から汎下垂体機能低下症に至った肺癌の下垂体転移の 2 例。第 90 回日本内分泌学会学術総会, 京都市；2017 年 4 月
- 5) 亀田 亘, 石井康大, 羽田幸里香, 高瀬 薫, 多田杏子, 渡邊健太郎, 諏佐真治, 大泉俊英, 伊藤美以子*, 園田順彦*, 石澤賢一, 加藤丈夫：アクロメガリーの診断における TRH 負荷、LHRH 負荷、CRH 負荷での奇異性反応と糖負荷試験との比較—長期観察での考察—。第 90 回日本内分泌学会学術総会, 京都市；2017 年 4 月
- 6) 羽田幸里香, 亀田 亘, 石井康大, 高瀬 薫, 多田杏子, 渡邊健太郎, 諏佐真治, 大泉俊英, 石澤賢一, 加藤丈夫, 伊藤美以子*, 園田順彦*：手術治療を受けたアクロメガリーが将来に GHD となる可能性を示唆する内分泌学検査についての検討。第 90 回日本内分泌学会学術総会, 京都市；2017 年 4 月
- 7) 渡邊健太郎, 石井康大, 公平瑠奈, 羽田幸里香, 多田杏子, 高瀬 薫, 亀田 亘, 諏佐真治, 大泉俊英, 加藤丈夫：糖尿病患者の胸部 X 線写真で得られる大動脈弓石灰化の有無と心血管病発症危険度の関連性の検討。第 60 回日本糖尿病学会年次学術集会, 名古屋市；2017 年 5 月
- 8) 多田杏子, 渡邊健太郎, 石井康大, 羽田幸里香, 三枝太郎*, 高瀬 薫, 亀田 亘, 諏佐真治, 大泉俊英, 鈴木達也**, 安武正弘**, 大庭建三**, 加藤丈夫：非糖尿病群の臨床的特徴—HbA1c を用いた検討—。第 60 回日本糖尿病学会年次学術集会, 名古屋市；2017 年 5 月 B

- 9) 羽田幸里香, 渡邊健太郎, 石井康大, 多田杏子, 高瀬 薫, 亀田 亘, 諏佐真治, 大泉俊英, 加藤丈夫: 糖尿病(DM)患者における降圧薬内服有無と塩分摂取量の関連性—推定1日塩分摂取量を用いた検討—. 第60回日本糖尿病学会年次学術集会, 名古屋市; 2017年5月
- 10) 亀田 亘, 渡邊健太郎, 小林麗子*, 卯月久子**, 八幡芳和**, 石澤賢一, 加藤丈夫: GDMのインスリン治療導入の目安は「食後1時間血糖 \geq 140mg/dlの頻度が20%以上」. 第60回日本糖尿病学会年次学術集会, 名古屋市; 2017年5月 B
- 11) 石井康大, 亀田 亘, 羽田幸里香, 高瀬 薫, 多田杏子, 渡邊健太郎, 諏佐真治, 大泉俊英, 石澤賢一, 加藤丈夫: 先端巨大症術前後における耐糖能障害の検討. 第60回日本糖尿病学会学術集会, 名古屋市; 2017年5月
- 12) 石井康大, 渡邊健太郎, 羽田幸里香, 鈴木佑弥, 三枝太郎**, 鈴木達也**, 安武正弘**, 大庭建三**, 加藤丈夫: 高齢者非糖尿病群の臨床的特徴—HbA1cを用いた検討—. 第59回日本老年医学会学術集会, 名古屋市; 2017年6月 B
- 13) 羽田幸里香, 渡邊健太郎, 公平瑠奈, 石井康大, 高瀬 薫, 多田杏子, 亀田 亘, 諏佐真治, 大泉俊英, 加藤丈夫: 高齢者の動脈硬化指標の臨床的特徴. 第59回日本老年医学会学術集会, 名古屋市; 2017年6月
- 14) 渡邊健太郎, 石井康大, 鈴木佑弥, 羽田幸里香, 多田杏子, 高瀬 薫, 亀田 亘, 諏佐真治, 大泉俊英, 加藤丈夫: 高齢者の大動脈弓石灰化および心膜外脂肪と心血管病発症予測因子との関連性—胸部単純X線写真を用いた検討—. 第59回日本老年医学会学術集会, 名古屋市; 2017年6月
- 15) 石井康大: 僧帽弁閉鎖不全症、心不全、類もやもや病が合併し、抗甲状腺薬抵抗性Basedow病の1例. 第60回日本甲状腺学会学術集会, 別府市; 2017年10月
- 16) 石井康大, 亀田 亘, 羽田幸里香, 多田杏子, 高瀬 薫, 海野 航, 渡邊健太郎, 諏佐真治, 佐藤秀則*, 鈴木匡子, 石澤賢一: 先端巨大症患者におけるエクソーム解析による遺伝子変異の検討. 第27回臨床内分泌代謝Update, 神戸市; 2017年11月
- 17) 亀田 亘, 石井康大, 羽田幸里香, 海野 航, 高瀬 薫, 多田杏子, 渡邊健太郎, 諏佐真治, 鈴木匡子, 石澤賢一: GHの奇異性反応を呈したPseudoPRLomaの17年間の経過. 第27回臨床内分泌代謝Update, 神戸市; 2017年11月
- 18) 羽田幸里香, 亀田 亘, 石井康大, 海野 航, 高瀬 薫, 多田杏子, 渡邊健太郎, 諏佐真治, 鈴木匡子, 石澤賢一, 清野 学*, 永瀬 智*: 子宮癌末期に副腎不全による低血糖が遷延した一例. 第27回臨床内分泌代謝Update, 神戸市; 2017年11月

(2) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 羽田幸里香, 高瀬 薫, 石井康大, 海野 航, 多田杏子, 渡邊健太郎, 亀田 亘, 諏佐真治, 石澤賢一, 鈴木郁子: 原発性副腎不全症を来した両側副腎腫瘍の1例. 第212回日本内科学会東北地方会, 盛岡市; 2017年9月
- 2) 羽田幸里香, 亀田 亘, 石井康大, 海野 航, 高瀬 薫, 多田杏子, 渡邊健太郎, 諏佐真治, 鈴木匡子, 石澤賢一, 渡邊憲和, 西 美智, 永瀬 智, 内藤 整, 土谷順彦, 櫻井 耕, 大谷浩一: 妊娠高血圧症候群と転換性解離性障害の治療中にクッシング症候群合併妊娠と判明し治療された一例. 第35回日本内分泌学会東北地方会, 秋田市; 2017年10月
- 3) 高瀬 薫, 石井康大, 羽田幸里香, 海野 航, 多田杏子, 渡邊健太郎, 亀田 亘, 諏佐真治, 石澤賢一: 睡眠時無呼吸症候群と心不全の治療にSGLT2阻害薬が有用であった高度肥満症の一例. 第55回日本糖尿病学会東北地方会, 仙台市; 2017年11月
- 4) 多田杏子, 諏佐真治, 亀田 亘, 渡邊健太郎, 海野 航, 高瀬 薫, 石井康大, 羽田幸里香, 斎藤公人: SGLT2阻害薬による急性腎障害を呈した2例. 第55回日本糖尿病学会東北地方会, 仙台市; 2017年11月

(3) 研究会

i 一般演題

- 1) 渡邊健太郎: 高齢者の糖尿病治療戦略. 第3回いわて糖・循環研究研究会, 盛岡市; 2017年4月
- 2) 羽田幸里香, 高瀬 薫, 石井康大, 海野 航, 多田杏子, 渡邊健太郎, 亀田 亘, 諏佐真治, 石澤賢一: SGLT2阻害薬が有用であった高度肥満症の一例. 第37回山形内分泌代謝研究会, 山形市; 2017年10月
- 3) 羽田幸里香, 亀田 亘, 石井康大, 海野 航, 高瀬 薫, 高窪野恵, 多田杏子, 諏佐真治, 渡邊憲和, 内

藤 整, 櫻井 耕, 石澤賢一: 妊娠高血圧症候群治療中にクッシング症候群合併妊娠と判明した一例. 第 31 回東北副腎研究会, 仙台市; 2018 年 1 月

(4) 座 長

i 一般演題

- 1) 亀田 亘: 間脳・下垂体 17 免疫チェックポイント阻害薬関連下垂体炎 (3). 第 27 回臨床内分泌代謝 Update, 神戸市; 2017 年 11 月
- 2) 亀田 亘: 下垂体機能低下症 3 (1. MRI 拡散強調画像にて下垂体膿瘍と診断加療した一例 2. 内視鏡下経蝶形骨洞下垂体腺腫摘出後の下垂体前葉機能回復 3. 術前診断と手術アプローチの選択に苦慮した小児鞍部・鞍上部膿瘍の一例 4. 下垂体膿瘍に合併した成人成長ホルモン分泌不全症に対するホルモン補充療法により肝機能の改善を認めた非アルコール性脂肪肝炎の一例 5. 下垂体機能低下症、尿崩症を呈した MTX 関連リンパ増殖性疾患の 1 例). 28 回日本間脳下垂体腫瘍学会, 浜松市; 2018 年 2 月
- 3) 亀田 亘: セッション V (19. 腎組織における炭水化物応答配列結合蛋白 (ChREBP) 関連遺伝子の探索. 20. big IGF2 による低血糖が疑われる末期胃がんの一例. 21. 糖尿病性下腿皮膚潰瘍、糖尿病網膜症を呈しながら、入院治療により耐糖能が正常型までに改善した 1 例. 22. 糖尿病性舞蹈病の検討.) 第 34 回日本内分泌学会東北地方会, 仙台市; 2017 年 4 月
- 4) 亀田 亘: セッション II (5. 妊娠に合併した褐色細胞腫の一例 6. 増大する左後腹膜膿瘍の 1 例 7. 妊娠高血圧症候群と転換性解離性障害の治療中にクッシング症候群合併妊娠と判明し治療された一例 8. 右副腎クッシング症候群摘除 6 年後に再発したクッシング症候群の 1 例). 第 35 回日本内分泌学会東北地方会, 秋田市; 2017 年 10 月
- 5) 高窪野恵: 統計調査 (3) (118. 東日本大震災の福島県民健康度に及ぼした影響 119. 東日本大震災により原発事故から避難した糖尿病患者の実態調査 120. 当科外来における CGM を用いた高齢者糖尿病患者の低血糖の評価 121. 「熊本宣言」の前後での低血糖昏睡で当院に救急搬送された患者の比較検討). 第 55 回日本糖尿病学会東北地方会, 仙台市; 2017 年 11 月
- 6) 諏佐真治: 空飛びウマチ医? 糖尿病を診る! ~CDE と共に作る地域糖尿病療養デザインとは?~. 第 40 回山形県糖尿病教育スタッフ会講演会, 山形市; 2017 年 7 月
- 7) 諏佐真治: 糖尿病を持つ高齢者の管理の実際. 第 14 回山形県医師会学術大会 日生涯教育協力講座セミナー「超高齢社会における高齢者のトータルケア ~高齢者の健康寿命延伸に向けて~」, 山形市; 2018 年 2 月

(5) その他

- 1) 渡邊健太郎: 糖尿病予防・糖尿病検診について. 平成 29 年度糖尿病予防検診 (事前健康教室), 舟形町; 2017 年 5 月
- 2) 海野 航: 糖尿病予防・糖尿病検診について. 平成 29 年度糖尿病予防検診 (事前健康教室), 舟形町; 2017 年 5 月
- 3) 多田杏子: 糖尿病予防・糖尿病検診について. 平成 29 年度糖尿病予防検診 (事前健康教室), 舟形町; 2017 年 5 月
- 4) 諏佐真治: 世界糖尿病デー in やまがた 2017 「糖尿病 市民公開講座」, 山形市; 2017 年 9 月

血液・細胞治療内科学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Ishizawa K, Fukuhara N**, Nakaseko C**, Chiba S**, Ogura M**, Okamoto A**, Sunaga Y**, Tobinai K** : Safety, efficacy and pharmacokinetics of humanized anti-CD52 monoclonal antibody alemtuzumab in Japanese patients with relapsed or refractory B-cell chronic lymphocytic leukemia. *Jpn J Clin Oncol.* 2017 ; 47(1) : 54-60 B
- 2) Katsushima H**, Fukuhara N**, Ichikawa S**, Ota Y**, Takeuchi K**, Ishizawa K, Sasano H**, Harigae H**, Ichinohasama R** : Non-biased and complete case registration of lymphoid leukemia and lymphoma for five years: a first representative index of Japan from an epidemiologically stable Miyagi Prefecture. *Leuk Lymphoma.* 2017 ; 58(1) : 80-88 B

(2) 総説及び解説

- 1) 石澤賢一 : 悪性リンパ腫—診断と治療の進歩—. *日本内科学会雑誌.* 2017 : 106(3) : 540-545

(3) 著書

- 1) 石澤賢一 : Burkitt リンパ腫. 小澤敬也, 中尾眞二, 松村 到編集, 血液疾患最新の治療 2017-2019. 東京 ; 南江堂, 2017 : 180-183

2. 学会報告及び座長

(1) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 市川 聡, 福原規子, 八田俊介, 氷室眞仁, 那須健太郎, 小野浩弥, 渡邊真威, 猪倉恭子, 小林匡洋, 大西 康, 石澤賢一, 一迫 玲, 張替秀郎 : 脳病変を伴った皮膚原発 CD8 陽性劇症型表皮向性細胞障害性 T 細胞リンパ腫に対して臍帯血移植を施行した 1 例. 第 123 回日本血液学会東北地方会, 仙台市 ; 2017 年 2 月
- 2) 相沢桂子, 猪倉恭子, 伊藤 巧, 塩野洋介, 鈴木郁子, 加藤裕一, 菅沢邦江, 齊藤宗一, 石澤賢一 : 初診時より BCR/ABL および CBF β /MYH11 の両者を認めた慢性骨髄性白血病. 第 123 回日本血液学会東北地方会, 仙台市 ; 2017 年 2 月

(2) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 石澤賢一 : マントル細胞リンパ腫治療の進歩—何が変わったのか?—. イムブルビカ®発売記念講演会 in 東北, 仙台市 ; 2017 年 1 月

ii 一般演題

- 1) 塩野洋介 : Yamagata Lymphoma Seminar 2017, 山形市 ; 2017 年 1 月
- 2) 鈴木郁子 : CLL におけるイムブルビカの使用経験. イムブルビカ®発売記念講演会 in 東北, 仙台市 ; 2017 年 1 月
- 3) 伊藤 巧 : 血液型不一致の造血幹細胞移植の 1 例. 第 3 回血液内科勉強会, 山形市 ; 2017 年 2 月

(3) 座長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 石澤賢一 : 多発性骨髄腫治療 最新の知見. Yamagata Myeloma Forum, 山形市 ; 2017 年 2 月

ii 一般演題

- 1) 石澤賢一 : Yamagata Lymphoma Seminar 2017, 山形市 ; 2017 年 1 月

(4) その他

- 1) 伊藤 巧 : 社内勉強会 (セルジーン株), 山形市 ; 2017 年 1 月
- 2) 猪倉恭子 : 社内勉強会 (セルジーン株), 山形市 ; 2017 年 1 月

- 3) 伊藤 巧：オンコロジー全般について&若手医師の日常業務について。営業所内研修会（日本新薬株），山形市；2017年2月
- 4) 石澤賢一：医学教育会（武田薬品工業株），山形市；2017年2月
- 5) 加藤裕一：社内講演会（バクスアルタ株），山形市；2017年2月
- 6) 石澤賢一：社内勉強会（大塚製薬株），山形市；2017年3月
- 7) 石澤賢一：血液領域における診断と治療。MR研修会（エーザイ株），山形市；2017年3月
- 8) 加藤裕一：多発性骨髄腫の治療について。社内研修会（小野薬品工業株），山形市；2017年3月

内科学第三講座 血液・細胞治療内科学分野

1. 論文

(1) 原著

- 1) Suzuki K**, Handa H**, Chou T**, Isizawa K, Takubo T**, Kase Y** : Phase I study of ixazomib alone or combined with lenalidomide-dexamethasone in Japanese patients with relapsed/refractory multiple myeloma. *Int J Hematol.* 2017 ; 105(4) : 445-452 E
- 2) Ogura M**, Ishizawa K, Maruyama D**, Uike N**, Ando K**, Izutsu K**, Terui Y**, Imaizumi Y**, Tsukasaki K**, Suzuki K**, Izumi T**, Usuki K**, Kinoshita T**, Taniwaki M**, Uoshima N**, Suzumiya J**, Kurosawa M**, Nagai H**, Uchida T**, Fukuhara N**, Choi I**, Ohmachi K**, Yamamoto G**, Tobinai K** ; Japanese Bendamustine Lymphoma Study Group : Bendamustine plus rituximab for previously untreated patients with indolent B-cell non-Hodgkin lymphoma or mantle cell lymphoma: a multicenter Phase II clinical trial in Japan. *Int J Hematol.* 2017 ; 105(4) : 470-477 E
- 3) Yokoyama H**, Takahashi N**, Katsuoka Y**, Inomata M**, Ito T**, Meguro K**, Kameoka Y**, Tsumanuma R**, Murai K**, Noji H**, Ishizawa K, Ito S**, Onishi Y**, Harigae H** ; Tohoku Hematology Forum : Evaluation of the safety and efficacy of recombinant soluble thrombomodulin for patients with disseminated intravascular coagulation associated with acute leukemia: multicenter prospective study by the Tohoku Hematology Forum. *Int J Hematol.* 2017 ; 105(5) : 606-613 B
- 4) Inokura K, Fujiwara T**, Saito K**, Iino T**, Hatta S**, Okitsu Y**, Fukuhara N**, Onishi Y**, Ishizawa K, Shimoda K**, Harigae H** : Impact of TET2 deficiency on iron metabolism in erythroblasts. *Exp Hematol.* 2017 ; 49 : 56-67 B
- 5) Tajima K**, Takahashi N**, Ishizawa K, Murai K**, Akagi T**, Noji H**, Sasaki O**, Wano M**, Itoh J**, Kato Y, Shichishima T**, Harigae H**, Ishida Y** ; Tohoku Hematology Forum : Clinicopathological characteristics of malignant lymphoma in patients with hepatitis C virus infection in the Tohoku district in Eastern Japan. *Leuk Lymphoma.* 2017 ; 58(6) : 1509-1511 B
- 6) Ishii K**, Onishi Y**, Miyamura N**, Fukuhara N**, Ishizawa K, Nakanishi M**, Ohnaka S**, miyasaka T**, Kanno E**, Kawakami K**, Harigae H**, Kaku M** : Development and evaluation of a quantitative assay detecting cytomegalovirus transcripts for preemptive therapy in allogeneic hematopoietic stem cell transplant recipients. *J Med Virol.* 2017 ; 89(7) : 1265-1273 E
- 7) Maruyama D**, Tobinai K**, Ogura M**, Uchida T**, Hatake K**, Taniwaki M**, Ando K**, Tsukasaki K**, Ishida T**, Kobayashi N**, Ishizawa K, Tatsumi Y**, Kato K**, Kiguchi T**, Ikezoe T**, Laille E**, Ro T**, Tamakoshi H**, Sakurai S**, Ohtsu T** : Romidepsin in Japanese patients with relapsed or refractory peripheral T-cell lymphoma: a phase I/II and pharmacokinetics study. *Int J Hematol.* 2017 ; 106(5) : 655-665 B, C
- 8) 安藤 潔**, 張 高明**, 鈴木憲史**, 品川篤司**, 内田俊樹**, 谷脇雅史**, 平田大二**, 石澤賢一, 末永孝生**, 岡本真一郎**, 大塚真紀**, 松本守生**, 飯田真介**, 松村 到**, 池田宇次**, 竹迫直樹**, 大柿友美**, 緑川修一**, Vanessa Houck**, Annette ERVIN - HAYNES**, 照井康仁** : 日本人の未治療多発性骨髄腫患者に対する lenalidomide + 低用量 dexamethasone 療法 - MM-025 試験の最新成績 - . *臨床血液.* 2017 ; 58(11) : 2219-2226 B, C
- 9) Nosaka K**, Iwanaga M**, Imaizumi Y**, Ishitsuka K**, Ishizawa K, Ishida Y**, Amano M**, Ishida T**, Uike N**, Utsunomiya A**, Ohshima K**, Kawai K**, Tanaka J**, Tokura Y**, Toinai K**, Watanabe T**, Uchimaru K**, Tsukasaki K** : Epidemiological and clinical features of adult T-cell leukemia-lymphoma in Japan, 2010-2011: A nationwide survey. *Cancer Sci.* 2017 ; 108(12) : 2478-2486 B
- 10) Harada Y**, Nagata Y**, Kihara R**, Ishikawa Y**, Asou N**, Ohtake S**, Miyawaki S**, Sakura T**, Ozawa Y**, Usui N**, Kanamori H**, Ito Y**, Imai K**, Suehiro Y**, Kobayashi S**, Kitamura K**, Sakaida E**, Onizuka M**, Takeshita A**, Ishida F**, Suzushima H**, Ishizawa K, Naoe T**, Matsumura I**, Miyazaki

- Y**, Ogawa S**, Kiyoi H** ; Japan Adult Leukemia Study Group JALSG : Prognostic analysis according to the 2017 ELN risk stratification by genetics in adult acute myeloid leukemia patients treated in the Japan Adult Leukemia Study Group (JALSG) AML201 study. *Leuk Res.* 2018 ; 66 : 20-27 B
- 11) Katsushima H**, Fukuhara N**, Konosu-Fukaya S**, Himuro M**, Kitawaki Y**, Ichikawa S**, Ishizawa K, Sasano H**, Harigae H**, Ichinohasama R** : Does double-hit follicular lymphoma with translocations of MYC and BCL2 change the definition of transformation?. *Leuk Lymphoma.* 2018 ; 59(3) : 758-762 E
- 12) Ohe R*, Aung NY*, Shiono Y, Utsunomiya A*, Kabasawa T*, Tamazawa N*, Tamura Y*, Kato T*, Yamada A, Hasegawa S, Aizawa K, Inokura K, Ito S, Toubai T, Kato Y, Tsunoda T**, Onami K*, Suzuki T*, Ishizawa K, Yamakawa M* : Detection of Minimal Bone Marrow involvement of Blastic Plasmacytoid Dendritic Cell Neoplastic Cells - CD303 immunostaining as a diagnostic tool. *J Clin Exp Hematop.* 2018 ; 58(1):1-9. doi: 10.3960/jslrt.17030 B
- 13) Sun Y**, Iyer M**, McEachin R**, Zhao M**, Wu Y.M**, Cao X**, Oravecz-Wilson K**, Zajac C**, Mathewson N**, Wu S.J**, Rossi C**, Toubai T, Qin Z.S**, Chinnaiyan A.M**, Reddy P** : Genome-Wide STAT3 Binding Analysis after Histone Deacetylase Inhibition Reveals Novel Target Genes in Dendritic Cells. *J Innate Immune.* 2017 ; 9 : 126-144 E
- 14) Wu S.J**, Niknafs Y.S**, Kim S.H**, Oravecz-Wilson K**, Zajac C**, Toubai T, Sun Y**, Prasad J**, Peltier D**, Fujiwara H**, Hedig I**, Mathewson N.D**, Khoriaty R**, Ginsburg D**, Reddy P** : A Critical Analysis of the Role of SNARE Protein SEC22B in Antigen Cross-Presentation. *Cell Rep.* 2017 ; 19 : 2645-2656 E
- 15) Nieves E.C**, Toubai T (equally contributed first authorship), Peltier D.C**, Oravecz-Wilson K**, Liu C**, Tamaki H**, Sun Y**, Reddy P** : STAT3 Expression in Host Myeloid Cells Controls GVHD Severity. *Biol Blood Marrow Transplant.* 2017 ; 23 : 1622-1630 E
- 16) Toubai T, Rossi C**, Oravecz-Wilson K**, Zajac C**, Liu C**, Fujiwara H**, Wu J**, Sun Y**, Brabbs S**, Tamaki H**, Magenau J**, Zheng P**, Liu Y**, Reddy P** : Siglec-G represses DAMP mediated effects on T cells. *JCI Insight.* 2017 ; 2:e92293. doi: 10.1172/jci.insight.92293 E
- 17) Toubai T, Rossi C**, Oravecz-Wilson K**, Liu C**, Zajac C**, Wu J**, Sun Y**, Fujiwara H**, Tamaki H**, Peltier D**, Riwe M**, Henig I**, Brabbs S**, Duckett C**, Wang S**, Reddy P** : IAPs protect host target tissues from graft-versus-host disease in mice. *Blood Advances.* 2017 ; 1:1517-1532 E

(2) 総説及び解説

- 1) 伊藤 巧, 石澤賢一 : CLL/SLL 診療の現在の到達点と今後の課題. *血液内科.* 2017 ; 74(4) : 494-499
- 2) 猪倉恭子, 石澤賢一 : ADC 1) Brentuximab vedotin-悪性リンパ腫治療における現在の役割と今後の展望-腫瘍内科. 2017 ; 19(6) : 646-652
- 3) 石澤賢一 : 未治療高腫瘍量低悪性度 B 細胞リンパ腫に対する obinutuzumab 併用科学療法と rituximab 併用科学療法の第Ⅲ相比較試験 (GALLIUM 試験). *血液内科.* 2017 ; 75(1) : 1-7
- 4) 石澤賢一 : 質疑応答 (プロからプロへ) 濾胞性リンパ腫 (FL) に対するリツキシマブ単独療法の早期治療介入ならびに維持療法の意義. *週刊日本医事新報.* 2017 ; 4873 : 59-60
- 5) 石澤賢一 : 高尿酸血症-基礎・臨床の最新知見-Ⅲ. 高尿酸血症の臨床 高尿酸血症の治療 薬物療法 尿酸分解酵素薬. *日本臨牀.* 2017 ; 75(12) : 1869-1873
- 6) 石澤賢一 : 悪性リンパ腫に対する化学療法の進歩. *BIO Clinica.* 2018 ; 33(2) : 17-21

(3) 著 書

- 1) 石澤賢一 : プレンツキシマブベドチン. 南 博信編集, 抗悪性腫瘍薬コンサルタントブック-薬理学的特性に基づく治療(改訂第2版). 東京; 南江堂, 2017 : 151-153

(4) その他

- 1) 石澤賢一 : 血液がん治療のサポーターブケア～腫瘍崩壊症候群への対応～. *血液学NAVI.* 2017 ; 3 : 12-13
- 2) 石澤賢一 : 造血器腫瘍治療の進歩-多発性骨髄腫・悪性リンパ腫-. 米沢市医師会だより「好生」. 2018 ; 67 : 24-25

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 一般演題

- 1) Tomomi Toubai, Corinne Rossi**, Katherine Oravec-Wilson**, Chen Liu**, Cynthia Zajac**, Julia Wu**, Yaping Sun**, Hideaki Fujiwara**, Hiroya Tamaki**, Daniel Peltier**, Mary Riwes**, Israel Henig**, Stuart Brabbs**, Pavan Reddy** : INHIBITORS OF APOPTOSIS PROTEINS (IAPS) MODULATE GASTROINTESTINAL GVHD IN MURINE EXPERIMENTAL BMT MODELS. European Hematology Association, MADRID ; 2017年6月 E
- 2) Sun Y**, Saunders T**, Oravec-Wilson K**, Bridges S**, McEachin R**, Wu J**, Kim S**, Zajac C**, Toubai T, Fujiwara H**, Henig I**, Peltier D**, Reddy P** : Metabolic reprogramming of dendritic cells is controlled by the Mir-142. 59th Annual Meeting of American Society of Hematology (ASH), Atlanta, GA, USA ; 2017年12月 B, D
- 3) Shin Hasegawa, Tohru Fujiwara**, Yoko Okitsu**, Hiroki Kato**, Yuki Sato**, Noriko Fukuhara**, Yasushi Onishi**, Kenichi Ishizawa, Ritsuko Shimizu**, Masayuki Yamamoto**, Hideo Harigae** : Role of GATA2 in the Maintenance of the Bone Marrow Microenvironment. 59th ASH Annual Meeting & Exposition, Atlanta ; 2017年12月 B

(2) 国内の学会

i 一般演題

- 1) Kiyoshi Ando**, Kenichi Ishizawa, Kensuke Usuki**, Yasunori Ueda**, Toru Kiguchi**, Naokuni Uike**, Yasushi Onishi**, Yoshiaki Ogawa**, Iiseung Choi**, Hiroatsu Iida** : Phase I clinical study of oral rigosertib in Japanese patients with myelodysplastic syndromes. 第79回日本血液学会学術集会, 東京 ; 2017年10月 B
- 2) Takanori Teshima**, Fumihiko Hayakawa**, Kenichi Ishizawa, Shinichiro Okamoto**, Itaru Matsumura**, Yoshinobu Maeda**, Koji Kato**, Takashi Shimamoto**, Yasuhiro Koh**, Arun Balakumaran**, Akihiro Tomita** : MK-3475 in relapsed/refractory classical Hodgkin lymphoma: Japanese subgroup result of phase 2 study. 第79回日本血液学会学術集会, 東京 ; 2017年10月 B, C
- 3) Masafumi Taniwaki**, Dai Maruyama**, Kensei Tobinai**, Michinori Ogura**, Kiyohiko Hatake**, Toshiki Uchida**, Kiyoshi Ando**, Kunihiro Tsukasaki**, Takashi Ishida**, Naoki Kobayashi**, Kenichi Ishizawa, Yoichi Tatsumi**, Koji Kato**, Toru Kiguchi**, Takayuki Ikezoe**, Eric Laille**, Tokihiro Ro**, Hiromi Tamakoshi**, Sanae Sakurai**, Tomoko Ohtsu** : TCL-001: A phase I/II Japanese study of romidepsin in relapsed/refractory peripheral T-cell lymphoma. 第79回日本血液学会学術集会, 東京 ; 2017年10月 B, C
- 4) Yuichi Kato, Ryo Yanagiya, Akane Yamada, Keiko Aizawa, Shin Hasegawa, Kyoko Inokura, Satoshi Ito, Yosuke Shiono, Tomomi Tobai, Kenichi Ishizawa : Can plasma presepsin be a marker of engraftment?. 第79回日本血液学会学術集会, 東京 ; 2017年10月
- 5) Tomomi Tobai, Corinne Rossi**, Katherine Oravec-Wilson**, Cynthia Zajac**, Liu Chen**, Hideaki Fujiwara**, Julia Wu**, Hiroya Tamaki**, Jhon Magenau**, Pravan Reddy** : Siglec-G-CD24 pathway regulates DAMP mediated donor T cell activation. 第79回日本血液学会学術集会, 東京 ; 2017年10月 B, D
- 6) Shin Hasegawa, Tohru Fujiwara**, Yoko Okitsu**, Hiroki Kato**, Yuki Sato**, Noriko Fukuhara**, Yasushi Onishi**, Ritsuko Shimizu**, Masayuki Yamamoto**, Hideo Harigae** : Role of GATA2 in the maintenance of the bone marrow microenvironment. 第79回日本血液学会学術集会, 東京 ; 2017年10月 E
- 7) Kyoko Inokura, Akane Yamada, Keiko Aizawa, Shin Hasegawa, Yosuke Shiono, Satoshi Ito, Tomomi Tobai, Yuichi Kato, Kenichi Ishizawa : Paraspinal extramedullary hematopoiesis in a case of hereditary spherocytosis. 第79回日本血液学会学術集会, 東京 ; 2017年10月
- 8) Ryo Yanagiya, Yosuke Shiono, Akane Yamada, Keiko Aizawa, Shin Hasegawa, Kyoko Inokura, Satoshi Ito, Ikuko Suzuki, Tomomi Tobai, Yuichi Kato, Kenichi Ishizawa : Chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy (CIDP) after bone marrow transplantation. 第79回日本血液学会学術集会, 東京 ; 2017年10月

- 9) 猪倉恭子, 山田 茜, 相澤桂子, 長谷川慎, 塩野洋介, 伊藤 巧, 東梅友美, 加藤裕一, 鈴木郁子**, 山本雅一**, 鈴木匡子, 石澤賢一: Neurolymphomatosis で再発したびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫に自家移植を施行し完全寛解を維持している 2 例. 第 40 回日本造血細胞移植学会総会, 札幌市; 2018 年 2 月 B
- 10) 加藤裕一, 山田 茜, 相澤桂子, 長谷川慎, 猪倉恭子, 伊藤 巧, 塩野洋介, 東梅友美, 石澤賢一: 生着マーカーとしての presepsin の意義. 第 40 回日本造血細胞移植学会総会, 札幌市; 2018 年 2 月
- 11) 長谷川慎, 塩野洋介, 山田 茜, 相澤桂子, 猪倉恭子, 伊藤 巧, 東梅友美, 加藤裕一, 石澤賢一: 造血幹細胞移植後長期生存例を含む芽球球形質細胞様樹状細胞腫瘍 6 例の後方視的検討. 第 40 回日本造血細胞移植学会総会, 札幌市; 2018 年 2 月
- 12) Tomomi Toubai, Corinne Rossi**, Katherine Oravec-Wilson**, Cynthia Zajac**, Liu Chen**, Hiroya Tamaki**, Kenichi Ishizawa, Pavan Reddy**: Inhibitors of apoptosis proteins (IAPs) are required for protecting gastrointestinal GVHD. 第 40 回日本造血細胞移植学会総会, 札幌市; 2018 年 2 月 B, D
- 13) 中瀬浩一**, 木村文彦**, 飯田美奈子**, 東梅友美, 三田村真**, 福田隆浩**, 小澤幸泰**, 森 毅彦**, 金森平和**, 矢部晋正**, 橋井佳子**, 公益財団法人骨髓バンク**, 熱田由子**, 一戸辰夫**: 海外ドナーからの造血細胞移植症例のコーディネートの特徴について. 第 40 回日本造血細胞移植学会総会, 札幌市; 2018 年 2 月 B

(3) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 阿部尚美, 伊藤 巧, 長谷川慎, 相澤桂子, 猪倉恭子, 塩野洋介, 東梅友美, 加藤裕一, 鈴木匡子, 石澤賢一: 早期診断が困難であったクリプトコッカス髄膜炎. 第 212 回日本内科学会東北地方会, 盛岡市; 2017 年 9 月
- 2) 柳谷 稜, 塩野洋介, 相澤桂子, 長谷川慎, 猪倉恭子, 伊藤 巧, 東梅友美, 加藤裕一, 鈴木匡子, 石澤賢一: 血球減少及び芽球様細胞の出現より血液疾患を疑われた骨髓癌腫症. 第 212 回日本内科学会東北地方会, 盛岡市; 2017 年 9 月
- 3) 山本雅一, 鈴木郁子, 猪倉恭子, 石澤賢一: 難治性進行期ホジキンリンパ腫の 1 例. 第 124 回日本血液学会東北地方会, 盛岡市; 2017 年 9 月
- 4) 長谷川慎, 山田 茜, 相澤桂子, 猪倉恭子, 伊藤 巧, 塩野洋介, 東梅友美, 加藤裕一, 斎藤 陽, 木村 淳, 石澤賢一: 非典型的な表面抗原を呈した急性前骨髓球形白血病 (APL M3v) の一例. 第 124 回日本血液学会東北地方会, 盛岡市; 2017 年 9 月
- 5) 柳谷 稜, 長谷川慎, 佐藤大祐, 相澤桂子, 猪倉恭子, 伊藤 巧, 塩野洋介, 東梅友美, 加藤裕一, 石澤賢一: 血球コントロールにより改善を認める舞蹈病を合併した真性多血症の一例. 第 125 回日本血液学会東北地方会, 仙台市; 2018 年 2 月
- 6) 高島 育, 東梅友美, 山田 茜, 長谷川慎, 相澤桂子, 猪倉恭子, 塩野洋介, 伊藤 巧, 石澤賢一: 最近の当科における造血幹細胞移植成績. 第 125 回日本血液学会東北地方会, 仙台市; 2018 年 2 月

(4) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 石澤賢一: TLS 診療ガイドラインと高尿酸血症の対策—薬剤師に期待する役割—. 第 56 回山形県病院薬剤師研修会, 山形市; 2017 年 5 月
- 2) 東梅友美: Inhibiting DAMPs signaling DAMPs GVHD. 第 199 回広島大学原医研セミナー, 広島市; 2017 年 7 月
- 3) 東梅友美: がん免疫療法メカニズムと今後の展望. 公立置賜総合病院化学療法に関する講演会, 川西町; 2018 年 2 月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 石澤賢一: 再発・難治性 Hodgkin リンパ腫の治療最前線. 第 57 回日本リンパ網内系学会総会モーニングセミナー4, 東京; 2017 年 6 月

(5) 座 長

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 石澤賢一：末梢性T細胞リンパ腫（PTCL）の初回治療と再発・抵抗性患者に対する治療方針. 第57回日本リンパ網内系学会総会（ランチョンセミナー③），東京；2017年6月
- 2) 石澤賢一：ホジキンリンパ腫の病態と治療の戦略（Treatment strategy for patients with Hodgkin lymphoma）. 第79回日本血液学会学術集会，東京；2017年10月
- 3) 石澤賢一：BTKとB-Cell malignancyの病態との相関性～基礎の観点からの分子標的薬の有用性～. 第79回日本血液学会学術集会，東京；2017年10月

ii 一般演題

- 1) 東梅友美：BCL2、BCL6、MYC 遺伝子転座を認めた治療抵抗性(triple hit follicular lymphoma). 第124回日本血液学会東北地方会，盛岡市；2017年9月
- 2) 加藤裕一：輸血検査（1. 不規則抗体 30年間定点観測 2. 輸血歴のないMN型患児から検出された自己血球と反応しない抗M 3. 全自動輸血検査装置Erytraによる不規則抗体スクリーニング検査法の評価 4. B3型の血清学的バリエーションに対応するB3遺伝子の解析）. 第111回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会，盛岡市；2017年9月
- 3) 東梅友美：1. FLT3-ITD 変異を伴ったB細胞性急性リンパ性白血病 2. 化学療法にて完全寛解が得られた早期T前駆細胞性リンパ芽球性白血病の一例. 第125回日本血液学会東北地方会，仙台市；2018年2月
- 4) 石澤賢一：プログラムI（症例1. ハプトグロビン低値のMDSとして発症し、その後PNHと診断した1症例 症例2. Coombs 試験陽性、PNH血球陽性骨髄不全症の1例）. 第8回東北PNH研究会，仙台市；2017年6月
- 5) 石澤賢一：平成29年度山形県病薬山形ブロック・山形市薬剤師会合同研修会，山形市；2017年7月

(6) その他

- 1) 石澤賢一：平成29年度第1回臨床研究講習会（東北大学），仙台市；2017年5月
- 2) 伊藤 巧：血液の癌の治療について. 山形済生病院がん診療学習会，山形市；2017年8月
- 3) 石澤賢一：米沢市医師会講演会「好生会」，米沢市；2017年9月

3. 学会等での受賞

- 1) 高島 育(学生)，東梅友美，山田 茜，長谷川慎，相澤桂子，猪倉恭子，塩野洋介，伊藤 巧，石澤賢一：最優秀演題賞. 最近の当科における造血幹細胞移植成績. 第125回日本血液学会東北地方会，仙台市；2018年2月

精神医学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Suzuki A, Matsumoto Y, Shirata T, Goto K*, Enokido M, Otani K : C3435T polymorphism of the MDR1 gene is not associated with blood levels of hypothalamus-pituitary-adrenal axis hormones in healthy male subjects. Genet Mol Res. 2017; 16: 1-5 pages doi:10.4238/gmr16019447

2. 学会報告及び座長

(1) 研究会

i 一般演題

- 1) 小林良太, 川勝忍, 林 博史, 森岡大智, 櫻井 耕, 大谷浩一: 意味性認知症で発症したFTLD-MND (SD-MND) の1剖検例. 第28回山形認知症研究会, 山形市; 2017年3月

(2) その他

- 1) 大谷浩一: 親の養育態度とうつ病脆弱性. 平成28年度最上地域自殺対策推進会議における研修会, 新庄市; 2017年1月
- 2) 小林良太: 精神科からみたレビー小体型認知症(DLB). 山形大学認知症講座, 山形市; 2017年1月
<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kenkofukushi/090002/ninntisyousesaku/ninchisyokouza.html>
- 3) 小林良太: 前頭側頭葉変性症 (FTLD). 山形大学認知症講座, 山形市; 2017年1月
- 4) 簡野宗明: ひきこもりについて～精神科医の視点から～. 最上保健所ひきこもりに関する研修会, 新庄市; 2017年2月
- 5) 簡野宗明: 発達障がい児への対応について. 平成28年度精神科学学校医研修会, 山形市; 2017年2月
- 6) 小林良太: 認知症の地域診療におけるかかりつけ医の役割～早期診断と早期治療のポイント～. 南陽東置賜郡医師会学術研究会, 南陽市; 2017年2月
- 7) 吉川陽子: 育てにくい子どもの対応方法を学ぶ～CARE(ケア)プログラムを利用したワークショップ～. 平成28年度児童虐待防止セミナー, 日光市; 2017年2月
- 8) 簡野宗明: 自閉スペクトラム症における精神症状の理解と対応. 平成28年度第3回生涯教育研修会, 盛岡市; 2017年3月
- 9) 小林良太: 認知症 正しい理解と予防. 認知症予防教室, 大石田町; 2017年3月
- 10) 小林良太: 認知症医療における薬剤師に期待される役割. 第4回薬剤師のための認知症研修会, 山形市; 2017年3月
- 11) 小林良太: 認知症の地域診療におけるかかりつけ薬剤師の役割. 上山市薬剤師会学術講演会, 上山市; 2017年3月
- 12) 小林良太: 前頭側頭葉変性症 (FTLD) の画像診断～臨床・画像・病理の対応を考える～. 東北 MRT, 仙台市; 2017年3月
- 13) 石井玄樹: 精神科救急医療に関して. 山形市医師会研修会, 山形市; 2017年3月
- 14) 吉川陽子: CARE (Child-Adult Relationship Enhancement) について. 愛真こども園及びよつばこども園職員研修, 白鷹町; 2017年3月

精神医学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Takahashi N, Suzuki A, Matsumoto Y, Shirata T, Otani K: Perceived parental affectionless control is associated with high neuroticism. *Neuropsychiatr Dis Treat.* 2017; 13: 1111-1114
- 2) Suzuki A, Matsumoto Y, Enokido M, Shirata T, Goto K*, Otani K: Relationship between interpersonal sensitivity and leukocyte telomere length. *BMC Med Genet.* 2017; 18: 112
- 3) Otani K, Suzuki A, Matsumoto Y, Shirata T: Relationship of negative and positive core beliefs about the self with dysfunctional attitudes in three aspects of life. *Neuropsychiatr Dis Treat.* 2017; 13: 2585-2588
- 4) Kobayashi R, Matsumoto Y, Hayashi H, Suzuki A, Otani K: Neuroleptic malignant syndrome following quetiapine treatment in a patient with dementia with Lewy bodies. *Asian J Psychiatr.* 2017; 30: 173-174
- 5) Otani K, Suzuki A, Matsumoto Y, Shirata T: Marked differences in core beliefs about self and others, between sociotropy and autonomy: personality vulnerabilities in the cognitive model of depression. *Neuropsychiatr Dis Treat.* 2018; 14: 863-866

(2) 総説及び解説

- 1) 小林良太, 林 博史, 川勝 忍*: HIV 感染による認知症/軽度認知障害. 別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズ. 2017; 39 (精神医学症候群 (第2版) III—物質関連障害および嗜癖性障害群からてんかんまで): 190-194
- 2) 川勝 忍*, 小林良太, 林 博史: ピック病から前頭側頭葉変性症への歴史的変遷と臨床病理診断. *老年精神医学雑誌.* 2017; 28(8): 907-917
- 3) Otani K: Depression vulnerability from the perspective of attachment theory: review of the literature and presentation of data from Yamagata University. *臨床精神病理.* 2017; 38(3): 255-260

(3) その他

- 1) 吉田夕佳: 私が心理臨床の仕事をする理由 総合病院 心理臨床の広場. 2017; 10(1): 40

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i 一般演題

- 1) 小林良太, 川勝 忍*, 林 博史, 大谷浩一: 意味性認知症で発症した FTD-MND (SD-MND) の 1 剖検例. 第 58 回日本神経病理学会, 東京; 2017 年 6 月
- 2) 林 博史, 川勝 忍*, 小林良太, 大谷浩一: 若年性アルツハイマーが疑われたが PiB-PET が陰性だった症例. 第 32 回日本老年精神医学会, 名古屋; 2017 年 6 月
- 3) 小林良太, 川勝 忍*, 林 博史, 大谷浩一: 老年期精神疾患における SPECT-CT-eZIS 解析による大脳後方領域血流低下の過大評価という問題点; 自施設正常データベース作成による改善の試み. 第 32 回日本老年精神医学会, 名古屋; 2017 年 6 月
- 4) 川勝 忍*, 小林良太, 林 博史: 相貌認知障害と右優位側頭葉萎縮を呈し TDP-43 タイプ A に DLB 及び AD 病理を合併した 1 剖検例. 第 41 回日本神経心理学会, 東京; 2017 年 10 月
- 5) 小林良太, 川勝 忍*, 林 博史, 大谷浩一: 高齢発症の意味性認知症の臨床的特徴および原因疾患の検討. 第 41 回日本神経心理学会, 東京; 2017 年 10 月
- 6) 小林良太, 川勝 忍*, 林 博史, 大谷浩一: レム睡眠行動障害の PiB-PET 所見について. 第 22 回日本神経精神医学会, 東京; 2017 年 10 月
- 7) 川勝 忍*, 小林良太, 林 博史: bvFTD-TDP 例と bvFTD-Pick 病例の臨床画像病理学的比較検討. 第 22 回

日本神経精神医学会, 東京; 2017年10月

- 8) 小林良太, 川勝 忍*, 林 博史, 大谷浩一: レム睡眠行動障害のDAT スキャン, MIBG 心筋シンチグラフィ, PiB-PET 所見について. 第36回日本認知症学会, 石川; 2017年11月
- 9) 松本祥彦, 小林良太, 林 博史, 鈴木昭仁, 大谷浩一: クエチアピンを投与したところ神経遮断薬悪性症候群を呈したレビー小体型認知症の1例. 第27回日本臨床精神神経薬理学会, 松江市; 2017年11月
- 10) 川勝 忍*, 小林良太, 林 博史: 右側頭葉の限局性脳萎縮と相貌認知障害—アミロイド PET 陽性例と陰性例との比較. 第41回日本高次脳機能障害学会, 埼玉; 2017年12月

(2) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 阿部美緒, 鈴木昭仁, 高橋幸利*, 林 博史, 大谷浩一: 髄液 NMDA 受容体複合体抗体が陰性で、GluN2B、GluN1 抗体が陽性であった脳炎の1例. 第71回東北精神神経学会総会, 盛岡市; 2017年10月
- 2) 小林良太, 林 博史, 川勝 忍*, 大谷浩一: 若年性アルツハイマー病が疑われたがアミロイド PET が陰性であった症例—発達障害との鑑別について—. 第71回東北精神神経学会総会, 盛岡市; 2017年10月

(3) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 長澤浩樹: 認知機能障害と脳に対する影響. 第6回置賜精神科セミナー, 長井市; 2017年8月
- 2) 小林良太: レビー小体型認知症における画像診断の有用性. 第4回郡山認知症イメージングセミナー, 郡山市; 2017年11月
- 3) 櫻井 耕, 石井玄樹, 鈴木昭仁, 林博史, 羽田幸里香*, 大谷浩一: 多彩な精神症状を呈し、鑑別に苦慮した妊娠合併クッシング症候群の1例. 第20回山形精神神経医学研究会, 山形市; 2018年1月

(4) その他

- 1) 林 博史: 症状 認知症と鑑別すべき精神疾患. 山形大学認知症講座, 山形市; 2017年7月
- 2) 石井玄樹: 統合失調症について. 平成29年度精神障がい者地域生活支援研修会, 新庄市; 2017年7月
- 3) 大谷浩一: 愛着理論からみたうつ病の脆弱性. 札幌うつ病研究会, 札幌市; 2017年8月
- 4) 林 博史: 症状・治療 行動/心理症状(BPSD)、薬物療法、非薬物療法. 山形大学認知症講座, 山形市; 2017年8月
- 5) 大谷浩一: うつ病認知モデルの愛着理論による補強. 弘前精神科学研究所精神医学セミナー, 弘前市; 2017年9月
- 6) 林 博史: アルツハイマー型認知症の症状と治療. テレビカウンセリング シリーズ「精神医学のひろがり」, ダイバーシティメディア; 2017年9月
- 7) 小林良太: 当院のNDBを使用したCIScoreの検討. 山形県脳血流SPECT講演会—eZIS追加機能(Cingulate Island Sign)—, 山形市; 2017年9月
- 8) 小林良太: アルツハイマー型認知症. 山形大学認知症講座, 山形市; 2017年9月
- 9) 小林良太: レビー小体型認知症(DLB). 山形大学認知症講座, 山形市; 2017年9月
- 10) 林 博史: レビー小体型認知症の症状と治療. テレビカウンセリング シリーズ「精神医学のひろがり」, ダイバーシティメディア; 2017年10月
- 11) 小林良太: 認知症の予防、早期・継続的対応について. 認知症について考える市民セミナー, 山形市; 2017年10月
- 12) 大谷浩一: うつ病の愛着モデル. 置賜地区うつ病セミナー, 南陽市; 2017年11月
- 13) 小林良太: Frontal variant AD (前頭型AD) と鑑別が必要な疾患. NAS 北海道東北エリアシンポジウム, 札幌市; 2017年11月
- 14) 小林良太: 「この人本当に認知症？」～病気?年のせい?性格?～. 山形市高齢者セミナー, 山形市; 2017年11月
- 15) 白田稔則: 気持ちのつらさとその対応. 第1回疼痛緩和医療部研修会, 山形市; 2017年11月
- 16) 大谷浩一: うつ病の愛着モデル 脆弱性の形成機序を中心に. 宮崎県精神科医会懇話会, 宮崎市; 2017年12月
- 17) 小林良太: コミュニケーション技術のワークショップ がん性疼痛についてのワークショップ. 第77回宮城県緩和ケア研修会, 名取市; 2017年12月

- 18) 小林良太:アルツハイマー型認知症と鑑別が必要な疾患. 平成 29 年度介護保険制度主治医研修会, 長井市; 2018 年 1 月
- 19) 石井玄樹:自殺を防ごう～もっと知りたい「うつ病の話」～. 心の健康づくり講演会, 真室川町; 2018 年 2 月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第 19 回東北児童青年精神医学会, 山形市; 2017 年 6 月

小児科学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Hasegawa K^{**}, Numakura C, Tanaka H^{**}, Furujo M^{**}, Kubo T^{**}, Higuchi Y^{**}, Yamashita M^{**}, Tsukahara H^{**}: Three cases of Japanese acromicric/geleophysic dysplasia with FBNI mutations: a comparison of clinical and radiological features. J Pediatr Endocrinol Metab. 2017; 30(1): 117-121 B

(2) 症例報告

- 1) 佐藤誠, 安孫子雅之, 小田切徹州, 松木惇, 三井哲夫: 緑膿菌市中肺炎に敗血症性ショックを合併しVA ECMOで救命したFontan術後の1例. 日本小児循環器学会誌. 2017; 33(1): 50-57

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i 一般演題

- 1) 鈴木康太, 安孫子雅之, 佐藤誠, 小田切徹州, 三井哲夫: T高カリウム血症により突然のペースメーキング不全をきたし心肺蘇生を要した多脾症の1例. 第19回成人先天性心疾患学会総会・学術集会, 津; 2017年1月

(2) 研究会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 荻野大助: 小児生化学データの見方・考え方 ～小児に特徴的なものを中心に～. 平成28年度日本臨床衛生検査技師会北日本支部生物化学分析部門研修会, 山形; 2017年2月

ii 一般演題

- 1) 安孫子貴洋, 横山淳一, 中村和幸: 過呼吸に伴う意識減損や強直間代性けいれんを週単位で認める難治性てんかんの8歳男児例. 第2回山形小児てんかんカンファレンス, 山形市; 2017年3月
- 2) 佐藤裕子, 目黒亨, 石垣隆介, 川崎直未, 安孫子優, 川崎基, 高橋 憲幸, 小野田正志, 簡野美弥子, 三井哲夫: 小児科におけるALCL治療について. Yamagata Lymphoma Seminar, 山形市; 2017年1月
- 3) 鈴木康太, 安孫子雅之, 佐藤誠, 小田切徹州, 三井哲夫: 臨床像が異なるEbstein奇形の3症例. 山形心エコー図研究会, 山形市; 2017年2月
- 4) 大通尚, 沼倉周彦, 三井哲夫: 下垂体前葉機能低下症を認めた単発性正中上顎中切歯症候群 solitary median maxillary central incisor syndrome (SMMCI)の一例. 第31回 東北成長障害・成長因子研究会, 仙台; 2017年3月
- 5) 森福治, 沼倉周彦, 高木優樹, 小林信也, 笹真一, 仁木敬夫, 本間友美, 佐藤武志, 長谷川奉延, 三井哲夫: HNF1A 遺伝子とABCC8 遺伝子に塩基置換を認めた遺伝性糖尿病の1例. 第16回東北小児糖尿病研究会, 仙台; 2017年3月

小児科学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Kobayashi R**, Tanaka F**, Nakazawa A**, Ueyama JI**, Sunami S**, Mitsui T, Koga Y**, Mori T**, Osumi T**, Fukano R**, Ohki K**, Sekimizu M**, Fujita N**, Kamei M**, Mori T**; Lymphoma Committee and Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group: Pediatric follicular lymphoma in Japan. *Int J Hematol.* 2017 Jun; 105(6): 849-853 B
- 2) Tsuji-Hosokawa A**, Takasawa K**, Nomura R**, Miyakawa Y**, Numakura C, Hijikata A**, Shirai T**, Ogawa Y**, Kashimada K**, Morio T**: Molecular mechanisms of insulin resistance in 2 cases of primary insulin receptor defect-associated diseases. *Pediatr Diabetes.* 2017; 18(8): 917-924 B
- 3) Fukano R**, Sunami S**, Sekimizu M**, Takimoto T**, Mori T**, Mitsui T, Mori T**, Saito AM**, Watanabe T**, Ohshima K**, Fujimoto J**, Nakazawa A**, Kiyokawa N**, Kobayashi R**, Horibe K**, Tsurusawa M**: Clinical Features and Prognosis According to Immunophenotypic Subtypes Including the Early T-Cell Precursor Subtype of T-Lymphoblastic Lymphoma in the Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group ALB-NHL03 Study. *J Pediatr Hematol Oncol.* 2018 Jan; 40(1): e34-e37 B
- 4) Sakamoto K**, Imamura T**, Kihira K**, Suzuki K**, Ishida H**, Morita H**, Kanno M, Mori T**, Hiramatsu H**, Matsubara K**, Terui K**, Takahashi Y**, Suenobu S**, Hasegawa D**, Kosaka Y**, Kato K**, Moriya-Saito A**, Sato A**, Kawasaki H**, Yumura-Yagi K**, Hara J**, Hori H**, Horibe K**: Low incidence of osteonecrosis in childhood acute lymphoblastic leukemia treated with ALL-97 and ALL-02 study of Japan Association of Childhood Leukemia Study Group. *J Clin oncol.* 2018; 36(9): 900-907 B
- 5) Shiina Y**, Inai K**, Takahashi T, Shinomiya Y**, Ishizaki U**, Fukushima K**, Nagao M**: Vortex flow in the Right Atrium Surrogates Supraventricular Arrhythmia and Thrombus After Atriopulmonary Connection-Type Fontan Operation: Vortex Flow Analysis Using Conventional Cine Magnetic Resonance Imaging. *Pediatric Cardiology.* 2018; 39: 375-383 E
- 6) Kanno M, Onoda T, Meguro T, Sato H, Mitsui T: Eltrombopag with i.v. immunoglobulin for safe splenectomy in refractory immune thrombocytopenia. *Pediatrics International.* 2018; 60(2): 191-192

(2) 総説及び解説

- 1) 三井哲夫: 小児リンパ腫診療の進歩. *臨床血液.* 2017; 58(10): 2168-2177
- 2) 三井哲夫: 【日常生活にひそむ小児血液・腫瘍性疾患】 部位別にみた腫瘍性疾患 頸部腫瘍. *小児科診療.* 2017; 80(10): 1229-1233

(3) 症例報告

- 1) 松内祥子, 大通尚, 阿部暁子, 金沢千佳子, 前田勝子, 清水行敏: 肺炎マイコプラズマ感染症診断における銀増幅イムノクロマト迅速診断システムの評価. *小児科臨床.* 2017; 70: 1723-1727

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 三井哲夫: 教育講演 1-14 小児リンパ腫診療の進歩. 第79回日本血液学会学術集会, 東京; 2017年10月
- 2) 三井哲夫: 教育講演 2 小児リンパ腫治療の現況. 小児血液・がんセミナー in 東北, 仙台; 2018年3月

ii 一般演題

- 1) 三井哲夫, 藤田直人**, 古賀友紀**, 深野玲司**, 大隅朋生**, 森麻希子**, 岩崎史記**, 加藤剛二**, 康勝好**, 沖本由理**, 矢部普正**, 井上雅美**, 橋井佳子**, 佐藤篤**, 熱田由子**, 鈴宮淳司**, 小林良二**: 小児リンパ芽球性リンパ腫の同種移植例生存におけるGVHDの好影響-TRUMP データによる解析. 第79回

日本血液学会学術集会, 東京; 2017年10月 B

- 2) Tatsunori Takahashi, Kei Inai**, Hiroki Mori**, In-Sam Park**: Serum Carbohydrate Antigen-125 Level Predicts Future Cardiovascular Events in Patients with Fontan Circulation. 7th world congress of pediatric cardiology and cardiac surgery, Barcelona; July 2017 E
- 3) Reiji Fukano**, Naoto Fujita**, Tetsuya Mori**, Ryoji Kobayashi**, Tetsuo Mitsui, Koji Kato**, Ritsuro Suzuki**, Junji Suzumiya**, Takahiro Fukuda**, Motohiro Shindo**, Nobuo Maseki**, Tatsu Shimoyama**, Keiko Okada**, Masami Inoue**, Jiro Inagaki**, Yoshiko Hashii**, Atsushi Sato**, Ken Tabuchi**: Efficacy of reduced-intensity conditioning for relapsed or refractory anaplastic large cell lymphoma. 第40回日本造血細胞移植学会総会, 札幌; 2018年2月 B

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 橋本多恵子: ゲノム情報を臨床へ 遺伝性腎疾患へのアプローチ「各種遺伝子解析手法とその特徴」. 第52回小児腎臓病学会学術集会, 東京; 2017年6月

ii 一般演題

- 1) 橋本多恵子, 張田豊**, 三浦健一郎**, 秋岡祐子**, 久野正貴**, 堀江弘**, 荻野大助, 田宮元**, 山口裕**, 三井哲夫, 早坂清, 服部元史**: 孤発性ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群として発症した *LAMB2* 変異例. 第52回小児腎臓病学会学術集会, 東京; 2017年6月 B
- 2) 森福治, 荻野大助, 橋本多恵子, 三井哲夫: ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群で発症し初回腎生検は微小変化群で, 寛解後の再生検で巣状分節性糸球体硬化症と診断された1女子例. 第52回日本小児腎臓病学会学術集会, 東京; 2017年6月
- 3) Takahiro Abiko, Kazuyuki Nakamura, Jyun-ichi Yokoyama, Akiko Abe**, Emi Shirahata**, Takashi Shiihara**, Tomomi Honma**, Aiko Ito**, Mitsuhiro Kato**, Tetsuo Mitsui: Risk Assessment for Liver Dysfunction with High-Dose Vitamin B6 Treatment in Patients with West Syndrome. 第59回日本小児神経学会学術集会, 大阪市; 2017年6月 B
- 4) 高橋辰徳, 椎名由美**, 谷口宏太**, 稲井慶**: Atrio-pulmonary connection 型 Fontan 術後右心房容量はカテーテルシネ画像でお過小評価する. 第53回日本小児循環器学会, 浜松; 2017年7月 E
- 5) 安孫子優, 佐々木綾子, 鈴木康太, 三井哲夫: 自宅で出生し, 重症新生児仮死に壊死性腸炎を併発も究明しえた低出生体重児の一例. 第53回日本周産期・新生児医学会総会, 東京; 2017年7月
- 6) 森福治, 沼倉周彦, 笹真一**, 仁木敬夫**, 本間友美**, 三井哲夫: *HNFI1A* 遺伝子と *ABCC8* 遺伝子に塩基置換を認めた遺伝性糖尿病の1例. 第51回日本内分泌学会学術集会, 大阪; 2017年9月 B
- 7) 佐々木綾子, 下風朋章**, 三井哲夫, 早坂清: 日本における先天性中枢性低換気症候群の発達予後について. 第62回日本新生児育成学会総会, さいたま市; 2017年10月
- 8) 沼倉周彦, 林思音*, 坂本修**, 早坂清: 小児期早期に視神経萎縮をきたしたメチルマロニル CoA ムターゼ欠損症の一例. 第59回日本先天代謝異常学会, 川崎市; 2017年10月
- 9) 川崎基, 川崎直未, 上村雄太, 藤井隆, 石垣隆介, 安孫子優, 佐藤裕子, 目黒亨, 簡野美弥子, 森福治, 荻野大助, 三井哲夫: 同種造血幹細胞移植後に二次性ネフローゼ症候群を発症した家族性血球貪食症候群の男児例. 第59回日本小児血液がん学会, 愛媛; 2017年11月
- 10) 藤井隆, 石垣隆介, 川崎基, 佐藤裕子, 奥山志野, 目黒亨, 簡野美弥子, 三井哲夫, 堀龍一郎*, 森兼啓太*, 亀井克彦**: 寛解導入療法中に肺接合菌症で死亡したB前駆細胞性急性リンパ性白血病の女児例. 第59回日本小児血液がん学会, 愛媛; 2017年11月
- 11) 林思音*, 沼倉周彦, 枝松瞳, 伊藤はる奈*, 武田祐介*, 三井哲夫, 山下英俊*: 幼児期に視神経萎縮を発症したメチルマロン酸血症の一例. 第43回日本小児眼科学会, 名古屋; 2018年3月

(3) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 荻野大助, 橋本多恵子, 三井哲夫: リツキシマブを投与した難治性ステロイド依存性ネフローゼ症候群の1女児例. 第105回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2017年5月
- 2) 松内祥子, 鈴木康太, 安孫子雅之, 小田切徹州, 三井哲夫: 血液濾過透析併用血漿交換療法を導入したIVIG 不応性重症川崎病の乳児例. 105回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2017年5月

- 3) 森福治, 沼倉周彦, 笹真一, 仁木敬夫, 本間友美, 三井哲夫: *H19-DMR* の高メチル化を認めた Beckwith-Wiedemann 症候群の 1 例. 第 105 回日本小児科学会山形地方会, 山形市; 2017 年 5 月
- 4) 安孫子貴洋, 中村和幸, 横山淳一, 鈴木恵美子, 三井哲夫, 高橋幸利: 流涎・意識減損・嘔気症状に対してレベチラセタムが奏功した自己免疫性辺縁系脳炎の一例. 第 11 回日本てんかん学会東北地方会, 仙台市; 2017 年 7 月
- 5) 安孫子貴洋, 中村和幸, 横山淳一, 阿部暁子, 清水行敏, 加藤光広, 松本直通, 三井哲夫: 二相性脳症を発症した *SCN1A* 変異を有する Dravet 症候群の一例. 第 106 回日本小児科学会山形地方会, 山形市; 2017 年 8 月
- 6) 佐藤裕子, 目黒亨, 石垣隆介, 藤井隆, 川崎直未, 川崎基, 簡野美弥子, 三井哲夫: 異なる経過をたどった精巣卵黄嚢腫瘍の二例. 第 106 回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2017 年 8 月
- 7) 松内祥子, 鈴木康太, 安孫子雅之, 小田切徹州, 三井哲夫, 五味聖吾, 貞弘光章: 右心系感染性心内膜炎から敗血症性肺塞栓症を発症した心室中隔欠損症の 1 小児例. 第 69 回北日本小児科学会, 札幌; 2017 年 9 月
- 8) 安孫子貴洋, 中村和幸, 横山淳一, 奥山志野, 石川明雄, 五十嵐丈人, 黒川克朗, 宇留野勝久, 三井哲夫: MELAS の卒中様発作に合併した Lingual myoclonus. 第 23 回日本小児神経学会東北地方会, 盛岡市; 2017 年 10 月
- 9) 江口誠, 橋本多恵子, 荻野大助, 三井哲夫: リツキシマブ投与 4 か月後に無顆粒球症を発症したネフローゼ症候群の一例. 第 107 回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2017 年 12 月
- 10) 松内祥子, 青木倉揚, 須藤陽介, 斎藤恵美, 赤羽和博: 当院で低体温療法を実施した重症新生児仮死 9 例の検討. 第 107 回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2017 年 12 月
- 11) 森福治, 松木惇, 安孫子優, 安孫子貴洋, 奥山志野, 横山淳一, 中村和幸, 篠崎敏行, 土田哲生, 本間信夫, 佐々木綾子, 三井哲夫: 新生児けいれんを契機に診断された右脈絡裂嚢胞の 1 例. 第 107 回日本小児科学会山形地方会, 山形市; 2017 年 12 月

(4) 研究会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 安孫子雅之: ファロー四徴症の一生 - エコー診断から成人期の問題点まで -. 第 19 回山形心エコー図研究会, 山形; 2017 年 8 月

ii 一般演題

- 1) 川崎基, 川崎直未, 石垣隆介, 安孫子優, 佐藤裕子, 目黒亨, 簡野美弥子, 阿部尚弘, 中村潤, 貞弘光章, 三井哲夫: 肝合併症の診断に苦慮した家族性血球貪食症候群の男児例. 第 70 回東北小児白血病研究会, 仙台; 2017 年 4 月
- 2) 安孫子優, 松木惇, 佐々木綾子, 三井哲夫, 堤誠司, 伊藤美以子, 小幡美由紀: 先天性頭蓋骨陥没の一例. 第 34 回山形県周産期・新生児医療研究会, 山形市; 2017 年 6 月
- 3) 目黒亨, 佐藤裕子, 石垣隆介, 簡野美弥子, 川崎基, 藤井隆, 安孫子優, 川崎直未, 奥山志野, 三井哲夫: 過去 5 年間の抗がん剤使用患児 71 例におけるカテーテル感染症の検討 - 長期留置型中心静脈カテーテル使用例の解析 -. 第 31 回山形造血管疾患研究会, 山形; 2017 年 7 月
- 4) 安孫子貴洋, 横山淳一, 中村和幸: ディスカッション (2) ~ 仮想症例 2 例提示. 第 2 回東北小児てんかんワークショップ, 仙台市; 2017 年 7 月
- 5) 安孫子貴洋, 中村和幸, 横山淳一, 奥山志野, 三井哲夫: 当科を受診した神経症・心身症の小児 30 例の臨床的特徴. 第 52 回山形県小児保健会研修会, 山形市; 2017 年 9 月
- 6) 高橋辰徳, 小田切徹州, 安孫子雅之, 鈴木康太, 藤井隆, 松木惇, 三井哲夫, 椎名由美, 長尾充展: 2 心室 Fontan における流出路形態と心室間 dyssynchrony の比較 ~ 心臓 MRI feature tracking を用いて ~. 第 52 回東北小児心臓病研究会, 仙台; 2017 年 11 月
- 7) 藤井隆, 鈴木康太, 高橋辰徳, 安孫子雅之, 小田切徹州, 五味聖吾, 貞弘光章, 三井哲夫: 孤立性左鎖骨下動脈症の一例. 第 20 回山形心エコー図研究会, 山形市; 2018 年 2 月
- 8) 江口誠, 橋本多恵子, 荻野大助, 三井哲夫: 抗 CD20 モノクローナル抗体 7 回目投与後に無顆粒球症を発症したステロイド依存性ネフローゼ症候群の一例. 第 28 回東北小児腎臓病研究会, 山形; 2018 年 2 月
- 9) 高橋辰徳, 椎名由美, 長尾充展, 稲井慶: Feature tracking 法を用いた 2 心室 Fontan における左右心室

の circumferential strain の検討. 第 2 回日本小児心臓MR 研究会学術集会, 東京; 2018 年 3 月

- 10) 簡野美弥子, 川崎基, 川崎直未, 上村雄太, 目黒亨, 佐藤裕子, 石垣隆介, 小田切徹州, 安孫子雅之, 鈴木康太, 藤井隆, 三井哲夫, 阿部尚弘, 加藤博久, 中村潤, 大泉弘幸, 貞弘光章, 豊口裕樹, 渡會文果, 根本建二: 胸水を契機に発見された右胸腔内血管系腫瘍の新生児例. 第 40 回東北小児がん研究会, 仙台; 2018 年 3 月

(5) 座 長

i 一般演題

- 1) 佐々木綾子: 特別講演. 第 106 回日本小児科学会山形地方会, 山形市; 2017 年 8 月
- 2) 三井哲夫: リンパ腫 2. 第 59 回日本小児血液がん学会学術集会, 愛媛; 2017 年 11 月
- 3) 荻野大助: 一般演題 7)~9). 第 107 回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2017 年 12 月

(6) そ の 他

- 1) 安孫子貴洋: 現場における救急処置法. 平成 29 年度公益財団法人日本体育協会 公認空手道上級指導者養成講習会, 山形市; 2017 年 10 月

外科学第一（消化器・乳腺甲状腺・一般外科学）講座

1. 論 文

(1) 総説及び解説

- 1) 木村 理, 幕内雅敏*: 膵 IPMN の歴史と将来の展望. *Pharma Medica*. 2017 ; 35(1) : 9-12
- 2) 蜂谷 修, 木村 理: 腹腔鏡下胃切除術におけるシリコンディスクと細径鉗子を用いた肝圧排法. *手術*. 2017; 71(2) : 171-175

(2) 著 書

- 1) 木村 理: 膵臓がん患者の栄養療法. (1)膵臓がんとは. 東口高志編著, やさしいがん患者の代謝と栄養管理～病態の変化にそった実践法～. 大阪; 医薬ジャーナル社, 2017年1月: 92
- 2) 木村 理: 膵臓がん患者の栄養療法. (2)膵臓という臓器からみた栄養障害. 東口高志編著, やさしいがん患者の代謝と栄養管理～病態の変化にそった実践法～. 大阪; 医薬ジャーナル社, 2017年1月: 93
- 3) 木村 理: 膵臓がん患者の栄養療法. (3)ガイドラインからみた周術期の栄養管理. 東口高志編著, やさしいがん患者の代謝と栄養管理～病態の変化にそった実践法～. 大阪; 医薬ジャーナル社, 2017年1月: 93
- 4) 木村 理: 膵臓がん患者の栄養療法. (4)下痢, 消化不良の対策. 東口高志編著, やさしいがん患者の代謝と栄養管理～病態の変化にそった実践法～. 大阪; 医薬ジャーナル社, 2017年1月: 94
- 5) 木村 理: 膵臓がん患者の栄養療法. (5)黄疸に対する対応と栄養管理. 東口高志編著, やさしいがん患者の代謝と栄養管理～病態の変化にそった実践法～. 大阪; 医薬ジャーナル社, 2017年1月: 94
- 6) 木村 理: 膵臓がん患者の栄養療法. (6)内分泌障害の対策. 東口高志編著, やさしいがん患者の代謝と栄養管理～病態の変化にそった実践法～. 大阪; 医薬ジャーナル社, 2017年1月: 95
- 7) 木村 理: 膵臓がん患者の栄養療法. (7)膵頭十二指腸切除術と栄養. 東口高志編著, やさしいがん患者の代謝と栄養管理～病態の変化にそった実践法～. 大阪; 医薬ジャーナル社, 2017年1月: 97
- 8) 木村 理: 解剖 肝臓 1. 原発性肝癌取扱い規約における肝区域. 日本静脈経腸栄養学会編集, 一般社団法人日本静脈経腸栄養学会 静脈経腸栄養テキストブック. 東京; 株式会社南江堂, 2017年3月: 11-12
- 9) 木村 理: 解剖 肝臓 2. 門脈の分岐形態. 一般社団法人日本静脈経腸栄養学会 静脈経腸栄養テキストブック. 東京; 株式会社南江堂, 2017年3月: 12-14
- 10) 木村 理: 解剖 肝臓 3. 肝静脈. 日本静脈経腸栄養学会編集, 一般社団法人日本静脈経腸栄養学会 静脈経腸栄養テキストブック. 東京; 株式会社南江堂, 2017年3月: 14-15
- 11) 木村 理: 解剖 胆道, 膵臓 1. 胆道の解剖. 日本静脈経腸栄養学会編集, 一般社団法人日本静脈経腸栄養学会 静脈経腸栄養テキストブック. 東京; 株式会社南江堂, 2017年3月: 16-19
- 12) 木村 理: 解剖 胆道, 膵臓 1. 膵の解剖. 日本静脈経腸栄養学会編集, 一般社団法人日本静脈経腸栄養学会 静脈経腸栄養テキストブック. 東京; 株式会社南江堂, 2017年3月: 19-22
- 13) 木村 理: 外科周術期の栄養療法 1. 肝・胆・膵切除後における栄養の2つの視点. 日本静脈経腸栄養学会編集, 一般社団法人日本静脈経腸栄養学会 静脈経腸栄養テキストブック. 東京; 株式会社南江堂, 2017年3月: 425
- 14) 木村 理: 外科周術期の栄養療法 2. 臓器特異性とその手術による欠損から生じる代謝障害. 日本静脈経腸栄養学会編集, 一般社団法人日本静脈経腸栄養学会 静脈経腸栄養テキストブック. 東京; 株式会社南江堂, 2017年3月: 425
- 15) 木村 理: 外科周術期の栄養療法 3. ガイドラインからみた周術期の栄養管理. 日本静脈経腸栄養学会編集, 一般社団法人日本静脈経腸栄養学会 静脈経腸栄養テキストブック. 東京; 株式会社南江堂, 2017年3月: 426
- 16) 木村 理: 外科周術期の栄養療法 4. 胆・膵癌と黄疸・下痢. 日本静脈経腸栄養学会編集, 一般社団法人日本静脈経腸栄養学会 静脈経腸栄養テキストブック. 東京; 株式会社南江堂, 2017年3月: 426
- 17) 木村 理: 外科周術期の栄養療法 5. 術前の減黄処置と栄養. 日本静脈経腸栄養学会編集, 一般社団法人日本静脈経腸栄養学会 静脈経腸栄養テキストブック. 東京; 株式会社南江堂, 2017年3月: 426-427
- 18) 木村 理: 外科周術期の栄養療法 6. 胆道の手術と栄養. 日本静脈経腸栄養学会編集, 一般社団法人日本静

脈経腸栄養学会 静脈経腸栄養テキストブック. 東京;株式会社南江堂, 2017年3月:428

19) 木村 理:外科周術期の栄養療法 7. 膵頭十二指腸切除術と栄養. 日本静脈経腸栄養学会編集, 一般社団法人日本静脈経腸栄養学会 静脈経腸栄養テキストブック. 東京;株式会社南江堂, 2017年3月:428-429

20) 木村 理:外科周術期の栄養療法 8. 膵体尾切除術と栄養. 日本静脈経腸栄養学会編集, 一般社団法人日本静脈経腸栄養学会 静脈経腸栄養テキストブック. 東京;株式会社南江堂, 2017年3月:430-431

(3) その他

1) 木村 理:第49回日本成人病(生活習慣病)学会の思い出. 日本成人病(生活習慣病)学会 第50回記念誌. 2017年2月:68

2) 鈴木明彦, 木村 理:第14回日本乳癌学会東北地方会印象記. NEWS LETTER 日本乳癌学会会報. 2017;22(2):17

3) 矢野充泰:若手外科医の声 我が手よ, 心をも癒せよ. 日本外科学会雑誌. 2017;118:8-9

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 特別講演・招待講演・会長講演

1) Wataru Kimura:Diagnosis & Therapy for Pancreatic Diseases. XXIV. Leipziger Gastroenterologisches Seminar, Leipzig Germany ;2017年3月

(2) 国内の学会

i 一般演題

1) 丘 龍祥*, 柏倉美幸*, 松田友美*, 増田修三*, 高須直樹**, 白石 正*, 木村 理:粘度可変型栄養剤の特性に関する比較検討~注入時間及び人工胃液を用いた固形化率について~. 第32回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 岡山;2017年2月

2) 水谷雅臣**, 小澤孝一郎**, 野津新太郎, 高木慎也**, 小野寺雄二**, 横山森良**, 間瀬健次**, 森谷敏幸**, 竹下明子**, 東 敬之**, 薄場 修**:閉塞性大腸癌に対するステント留置による周術期管理. 第32回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 岡山;2017年2月

3) 渡邊利広, 平井一郎, 高須直樹**, 木村 理:術前inflammation-based prognostic scoresはPD術後の合併症予測因子はなり得るか. 第32回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 岡山;2017年2月

4) 平井一郎, 渡邊利広, 手塚康二, 高須直樹**, 木村 理:壊疽性胆嚢炎術後の特発性血小板減少性紫斑病(ITP)による延髄出血に対する経腸栄養の有用性. 第32回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 岡山;2017年2月

5) 丘 龍祥*, 柏倉美幸*, 高須直樹**, 松田友美*, 増田修三*, 林 勝次*, 樋島 学*, 浅井泰詞, 中村直人*, 林 宏行*, 杉浦伸一*, 松原 肇*, 東海林 徹*, 白石 正*, 木村 理:在宅医療の視点から病院型栄養管理システムのFIM(Functional Independence Measure)導入の試み. 第32回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 岡山;2017年2月

6) 長谷川繁生**, 鈴木明彦, 岡田沙希**, 野間祥子**, 坂野千津**, 中川千秋**, 池田智美**, 留守克之**:意識障害を伴った、がん悪液質患者に意識回復後、人工肛門造設を行い、在宅移行予定の1例. 第32回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 岡山;2017年2月

7) 蜂谷 修, 高須直樹**, 佐藤多未笑, 山岸岳人**, 外田 慎, 木村 理:Double tract reconstruction following laparoscopic proximal gastrectomy. 第89回日本胃癌学会総会, 広島;2017年3月

8) 高須直樹**, 外田 慎, 佐藤多未笑, 山岸岳人**, 蜂谷 修, 木村 理:術前補助化学療法が著効した食道胃接合部癌の1例(A case of advanced esophagogastric junction cancer responding to neoadjuvant chemotherapy). 第89回日本胃癌学会総会, 広島;2017年3月

9) 野村 尚**, 福島紀雅**, 石山廣志朗**, 佐藤将人**, 山賀亮介, 瀬尾亮太**, 飯澤 肇**:Prognostic factors of elderly gastric cancer patients. 第89回日本胃癌学会総会, 広島;2017年3月

10) 安次富裕哉, 高屋 快**, 高橋宏和**, 村山最二郎**, 陳 正浩**:高齢者(80歳以上)に対する消化器外科緊急手術症例の検討. 第53回腹部救急医学会総会, 横浜;2017年3月

11) 岡崎慎史, 大西啓祐**, 浜田和也**, 堀江悠太**, 相磯 崇**, 二瓶義博**, 小野 桂**, 五十嵐幸夫**, 守本和弘**, 片桐 茂*:有鉤義歯誤飲に対する外科的治療の検討. 第53回腹部救急医学会総会, 横浜;2017年3月

(3) 国内地方会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 鈴木明彦：教育セミナー(診断部門)．第14回日本乳癌学会東北地方会，仙台；2017年3月

ii 一般演題

- 1) 河野道久^{*}，菅原秀一郎，高橋良輔，渡邊利広，手塚康二，平井一郎，木村 理：胆嚢炎の周術期にITPを合併した1例．日本消化器病学会 第202回東北支部例会，仙台；2017年2月
- 2) 高須直樹^{*}，外田 慎，佐藤多未笑，山岸岳人^{*}，蜂谷 修，木村 理：術前補助化学療法が著効した食道胃接合部癌の1例．日本消化器病学会 第202回東北支部例会，仙台；2017年2月
- 3) 佐藤多未笑，蜂谷 修，高須直樹^{*}，野川亮介^{*}，高橋良輔，山岸岳人^{*}，福元 剛^{*}，矢野充泰，木村 理：AdachiV1型総肝動脈破格を伴う胃癌に対し腹腔鏡補助下幽門側胃切除術を施行した1例．日本消化器病学会 第202回東北支部例会，仙台；2017年2月
- 4) 野川亮介^{*}，福元 剛^{*}，安次富裕哉，高橋良輔，佐藤多未笑，山岸岳人^{*}，矢野充泰，高須直樹^{*}，蜂谷 修，平井一郎，木村 理：肝転移の急激な増大を来した直腸腺扁平上皮癌の一例．日本消化器病学会 第202回東北支部例会，仙台；2017年2月
- 5) 外田 慎，河野道久^{*}，岡崎慎史，菅原秀一郎，渡邊利広，手塚康二，平井一郎，木村 理：多発脾腫瘍の2例．第51回東北臓腑研究会，仙台；2017年2月
- 6) 柴田健一，鈴木明彦，木村 理：妊孕性温存を考慮した乳癌症例の検討．第14回日本乳癌学会東北地方会，仙台；2017年3月

(4) 研究会

i 一般演題

- 1) 外田 慎，河野道久^{*}，岡崎慎史，菅原秀一郎，渡邊利広，手塚康二，平井一郎，木村 理：膵頭部巨大嚢胞性病変に対して十二指腸温存膵頭腫瘍切除術を施行した1例．第66回日本消化器画像診断研究会，東京；2017年2月

(5) 座 長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) Wataru Kimura：Pankreas. XXIV. Leipziger Gastroenterologisches Seminar, Leipzig Germany；2017年3月
- 2) 木村 理：特別講演 「改訂ガイドラインからみた膵癌治療の新展開」．第18回癌フォーラム in 山形，山形；2017年3月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 木村 理：「目指せ！消化器専門医－初期研修医からの報告」．日本消化器病学会 第202回東北支部例会，仙台；2017年2月
- 2) 木村 理：「がん治療における支持療法としての栄養療法」．第32回日本静脈経腸栄養学会学術集会，岡山；2017年2月

iii 一般演題

- 1) 平井一郎，牧野直彦^{*}：主題 消化器全般．第55回山形県消化器病懇話会，山形；2017年1月
- 2) 木村 理：“Meet the Legends” 膵P-3．第66回日本消化器画像診断研究会，東京；2017年2月
- 3) 平井一郎：一般演題(口演41)肝胆膵疾患1．第32回日本静脈経腸栄養学会学術集会，岡山；2017年2月
- 4) 平井一郎：膵4．第66回日本消化器画像診断研究会，東京；2017年2月

外科学第一講座（消化器外科学分野・乳腺甲状腺外科学分野・ 一般外科学分野）

1. 論 文

(1) 原 著

- 1) Matsuda Y^{**}, Furukawa T^{**}, Yachida S^{**}, Nishimura M^{**}, Seki A^{**}, Nonaka K^{**}, Aida J^{**}, Takubo K^{**}, Ishiwata T^{**}, Kimura W, Arai T^{**}, Mino-Kenudson M^{**}: The Prevalence and Clinicopathological Characteristics of High-Grade Pancreatic Intraepithelial Neoplasia. *Pancreas*. 2017; 46(5): 658-664
- 2) Yu S^{**}, Takasu N, Watanabe T, Fukumoto T^{**}, Okazaki S, Tezuka K, Sugawara S, Hirai I, Kimura W: Validation of the 2012 Fukuoka Consensus Guideline for Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm of the Pancreas From a Single Institution Experience. *Pancreas*. 2017;46(7):936-942
- 3) 安次富裕哉, 高屋 快^{*}, 高橋宏和^{*}, 橋爪英二^{**}, 菅原 浩^{*}: 切除後4年で直腸転移をきたした早期胃癌の1例. *臨床外科学会雑誌*. 2017; 78(7): 1536-1541
- 4) 菅原秀一郎, 渡邊利広, 手塚康二, 平井一郎, 木村 理: 75歳以上高齢者の膵頭十二指腸切除術における手術成績と栄養指標の変動. *日本臨床外科学会雑誌*. 2018; 79(2): 267-272
- 5) 菅原秀一郎, 渡邊利広, 手塚康二, 平井一郎, 木村 理: 膵頭十二指腸切除術後の栄養指標の変動と経口栄養剤投与が与える影響. *山形医学*. 2018; 36(1): 1-7
- 6) 手塚康二, 平井一郎, 菅原秀一郎, 渡邊利広, 高橋良輔, 矢野充泰, 木村 理: 脾温存膵体尾部切除術後長期経過例の血液検査所見の変化. *山形医学*. 2018; 36(1): 8-14
- 7) 平井一郎, 木村 理, 渡邊利広, 手塚康二, 菅原秀一郎, 岡崎慎史, 高橋良輔, 安次富裕哉: 中部胆管癌の臨床病理学的検討—特に胆管切除術の意義について—. *山形医学*. 2018; 36(1): 15-21
- 8) 野津新太郎, 安次富裕哉, 菅原秀一郎, 渡邊利広, 蜂谷 修, 平井一郎, 木村 理: 急性胆嚢炎に対する早期腹腔鏡下胆嚢摘出術の有用性の検討. *山形医学*. 2018; 36(1): 22-28
- 9) 渡邊利広, 安次富裕哉, 平井一郎, 木村 理: 十二指腸乳頭部癌の臨床病理組織学的予後規定因子の検索と至適術式の検討. *山形医学*. 2018; 36(1): 29-35
- 10) 安次富裕哉, 渡邊利広, 佐藤多未笑, 菅原秀一郎, 平井一郎, 木村 理: 腹腔鏡下胆嚢摘出術困難症例に関する検討. *山形医学*. 2018; 36(1): 43-47
- 11) 矢野充泰, 平井一郎, 蜂谷 修, 渡邊利広, 手塚康二, 菅原秀一郎, 木村 理: 消化器疾患および腹腔内膿瘍に対する高気圧酸素療法(HBO)の有用性—特に感染性疾患に対する効果と栄養改善効果について—. *山形医学*. 2018; 36(1): 48-56

(2) 総説及び解説

- 1) 木村 理: 2016 IAP International Consensus Meetingの概要—コンセンサスは得られたか?—. *肝胆膵*. 2017; 74(4): 619-623
- 2) 佐藤多未笑, 渡邊利広, 菅原秀一郎, 平井一郎, 木村 理: ラバコレ Update 最近のコンセプトと手技(第10回) Difficult gallbladder 胆嚢摘出困難例の画像診断. *臨床外科*. 2017; 72(5): 618-623
- 3) 平井一郎, 蜂谷 修, 菅原秀一郎, 手塚康二, 渡邊利広, 三春摩弥^{*}, 吉岡 淳^{*}, 木村 理: 消化器領域における高気圧酸素療法. *臨床麻酔*. 2017; 41(7): 1005-1010
- 4) 木村 理: 膵体尾部切除術±脾臓摘出術. *臨床外科 増刊号*. 2017; 72(11): 269-275
- 5) 渡邊利広, 平井一郎, 木村 理: 胆道癌の予後不良因子とは—手術適応のborderlineはどこか?— 十二指腸乳頭部癌. *臨床外科*. 2017; 72(13): 1428-1430
- 6) 木村 理: 第53回日本胆道学会学術集会記録 会長講演「肝胆膵を貫く胆道」を考える. *胆道*. 2018; 32(1): 33-43
- 7) 蜂谷 修: 胃癌 腹腔鏡手術. *日本外科学会雑誌*. 2017; 118(3): 348-350
- 8) 蜂谷 修: 経口摂取困難な腹膜播種胃癌に対するFOLFOX及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法. *ライフライン 21 がんの先進医療*. 2017; 26: 30-33

(3) 症例報告

- 1) 柿崎泰明*, 牧野直彦*, 安藤嘉章*, 松田暁子*, 石澤哲也*, 齋藤吉彦*, 須藤 文*, 山川光徳*, 木村 理, 上野義之*: 自己免疫性膵炎に併発したPININ-3の1例. 日本消化器病学会雑誌. 2017; 114(6): 1023-1030
- 2) 佐藤多未笑, 蜂谷 修, 渡邊利広, 木村 理: Adachi VI型総肝動脈破格を伴う胃癌に対し腹腔鏡下幽門側胃切除術を施行した1例. 手術. 2018; 71(13): 1793-1798
- 3) 平井一郎, 高橋良輔, 渡邊利広, 手塚康二, 菅原秀一郎, 外田 慎, 河野通久**, 木村 理: 壊疽性胆嚢炎と特発性血小板減少性紫斑病を合併した1例 - 延髄出血後の経腸栄養の有用性も含めて -. 山形医学. 2018; 36(1): 57-62
- 4) 平井一郎, 手塚康二, 渡邊利広, 菅原秀一郎, 岡崎慎史, 高橋良輔, 安次富裕哉, 木村 理: 直腸カルチノイド局所切除後10年の肝転移に対し集学的治療を行った1例. 山形医学. 2018; 36(1): 63-69
- 5) 鈴木武文, 佐藤多未笑, 蜂谷 修, 田中喬之, 中野 亮, 山賀亮介, 高橋良輔, 外田 慎, 岡崎慎史, 矢野充泰, 木村 理: 腹腔鏡下幽門側胃切除術を施行したA型胃炎に伴う多発性胃カルチノイドの1例. 山形医学. 2018; 36(1): 70-76

(4) 著 書

- 1) 木村 理: 膵臓病の外科学. 東京: 南江堂, 2017年9月

(5) その他

- 1) 木村 理: 平成28年 第24回日本外科学会生涯教育セミナー(東北地区)「胃癌」によせて. 日本外科学会雑誌. 2017; 118(3): 338
- 2) 木村 理: 肝胆膵外科. 2018年版国民のための名医ランキング. 桜の花出版株式会社, 2017: 159
- 3) 鈴木明彦, 木村 理: 第14回日本乳癌学会東北地方会印象記. NEWS LETTER 日本乳癌学会会報. 2017; 22(2): 17
- 4) 木村 理: 閉会の辞. NETの新しい診断と治療Update. 2016年12月講演会記録集. 2017年5月
- 5) 木村 理: 東京都老人総合研究所と私. 東京都健康長寿医療センター 病理解剖1万体制視(補訂版). 2018: 145-148
- 6) 平井一郎: 会員のための企画「プロフェッショナルとしての外科医とは何か」によせて. 日本外科学会雑誌. 2017; 118(3): 312

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 木村 理: Recent Therapeutic Strategies for Pancreatic Duct Adenocarcinoma(PDAC). 第3回中国膵臓学会, 南京; 2017年9月

ii 一般演題

- 1) Hirai I, Kimura W, Watanabe T, Tezuka K, Sugawara S, Fukumoto T**, Toda M, Kono M**:
Clinicopathological study for duodenal GIST. 6th A-PHPBA 29th JSHBPS. 第6回アジア太平洋肝胆膵外科学会・第29回日本肝胆膵外科学会学術集会, Yokohama JAPAN; 2017年6月
- 2) Tezuka K, Kimura W, Hirai I, Watanabe T, Sugawara S, Toda M, Kono M**:
A Surgical case of chronic pancreatitis with SPINK1p.N34S mutation. 6th A-PHPBA 29th JSHBPS. 第6回アジア太平洋肝胆膵外科学会・第29回日本肝胆膵外科学会学術集会, Yokohama JAPAN; 2017年6月

(2) 国内の学会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 木村 理: 「肝胆膵をつらぬく胆道」を考える. 第53回日本胆道学会学術集会, 山形; 2017年9月
- 2) 木村 理: あらためて腸を考える. 第33回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 横浜; 2018年2月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 木村 理: シンポジウム 15 (教育企画) 高齢者外科手術の限界「腹部外科における手術限界—適応の決め方・手術リスクの評価・術前術後管理—」. 第30回日本老年医学会総会, 第59回日本老年医学会学術集会, 名古屋; 2017年6月

- 2) 木村 理: 要望演題 3 「NST をうまく活用するために Part1」. 日本外科代謝栄養学会第 54 回学術集会, 新潟; 2017 年 7 月
- 3) 木村 理: シンポジウム 6 (English) 膵切除後膵液瘻の予防と対策. 第 72 回日本消化器外科学会総会, 金沢; 2017 年 7 月
- 4) 木村 理: 要望演題 10 「上腸間膜動脈関連疾患」. 第 54 回日本腹部救急医学会総会, 東京; 2018 年 3 月
- 5) 木村 理: ワークショップ 17: 膵疾患における腹腔鏡下手術は有用か?. JDDW 2017 第 59 回日本消化器病学会大会, 福岡; 2017 年 10 月

iii 一般演題

- 1) 菅原秀一郎, 渡邊利広, 高橋良輔, 手塚康二, 平井一郎, 木村 理: ハイリスク症例に対する膵頭十二指腸切除術の検討. 第 117 回日本外科学会定期学術集会, 横浜; 2017 年 4 月
- 2) 高橋良輔, 渡邊利広, 菅原秀一郎, 手塚康二, 平井一郎, 木村 理: 膵頭十二指腸切除術後の合併症予測としての Drain Lipase 測定の意義. 第 117 回日本外科学会定期学術集会, 横浜; 2017 年 4 月
- 3) 蜂谷 修, 高須直樹*, 山岸岳人**, 佐藤多未笑, 外田 慎, 福元 剛**, 矢野充泰, 平井一郎, 木村 理: 術後再発食道癌に対する外科切除術の意義. 第 117 回日本外科学会定期学術集会, 横浜; 2017 年 4 月
- 4) 手塚康二, 平井一郎, 渡邊利広, 菅原秀一郎, 外田 慎, 河野通久**, 木村 理: 膵神経内分泌腫瘍に対する縮小手術. 第 29 回日本内分泌外科学会総会, 神戸; 2017 年 5 月
- 5) 神尾幸則, 福田 俊**, 岡 大嗣**, 野村 聡**, 川島吉之**, 吉井貴子**, 有馬美和子**, 齊藤吉弘**, 田中洋一**, 坂本裕彦**: 食道癌根治的放射線療法後のサルベージ手術におけるリンパ節郭清の検討. 第 71 回日本食道学会学術集会, 軽井沢; 2017 年 6 月
- 6) 高須直樹*, 蜂谷 修, 佐藤多未笑, 山岸岳人**, 高橋良輔, 野川亮介**, 木村 理: 80 歳以上の食道癌治療症例の検討. 第 71 回日本食道学会学術集会, 軽井沢; 2017 年 6 月
- 7) 手塚康二, 平井一郎, 菅原秀一郎, 渡邊利広, 外田 慎, 河野通久**, 木村 理: 膵神経内分泌腫瘍の治療成績と膵臓温存の意義. 第 48 回日本膵臓学会大会, 京都; 2017 年 7 月
- 8) 渡邊利広, 外田 慎, 菅原秀一郎, 手塚康二, 河野通久**, 平井一郎, 木村 理: IPMN 国際ガイドライン 2012 の有用性. 第 48 回日本膵臓学会大会, 京都; 2017 年 7 月
- 9) 安次富裕哉, 河野通久**, 岡崎慎史, 菅原秀一郎, 渡邊利広, 手塚康二, 平井一郎, 木村 理: 多発膵腫瘍の 2 例. 第 48 回日本膵臓学会大会, 京都; 2017 年 7 月
- 10) 高橋良輔, 渡邊利広, 菅原秀一郎, 手塚康二, 平井一郎, 木村 理: 膵体尾部切除術後膵瘻予測因子の検討. 第 48 回日本膵臓学会大会, 京都; 2017 年 7 月
- 11) 高橋良輔, 渡邊利広, 菅原秀一郎, 手塚康二, 平井一郎, 木村 理: IPMN2012 ガイドラインの検討. 第 48 回日本膵臓学会大会, 京都; 2017 年 7 月
- 12) 野川亮介**, 高橋良輔, 渡邊利広, 菅原秀一郎, 手塚康二, 平井一郎, 木村 理: Stage4 膵癌で 9 年 6 か月生存した 1 例. 第 48 回日本膵臓学会大会, 京都; 2017 年 7 月
- 13) 渡邊利広, 河野通久**, 高橋良輔, 外田 慎, 菅原秀一郎, 手塚康二, 平井一郎, 木村 理: 通常型膵癌術後の残膵癌の検討. 第 72 回日本消化器外科学会総会, 金沢; 2017 年 7 月
- 14) 高橋良輔, 渡邊利広, 菅原秀一郎, 手塚康二, 平井一郎, 木村 理: 当院における膵頭部十二指腸切除後のドレーン管理. 第 72 回日本消化器外科学会総会, 金沢; 2017 年 7 月
- 15) 神尾幸則, 福田 俊**, 岡 大嗣**, 野村 聡**, 江原一尚**, 山田達也**, 川島吉之**, 田中洋一**, 坂本裕彦**: 食道癌根治的放射線療法後のサルベージ手術症例の検討. 第 72 回日本消化器外科学会総会, 金沢; 2017 年 7 月
- 16) 野村 尚**, 多田圭佑**, 山賀亮介, 平田雄大**, 石山廣志朗**, 福島紀雅**, 飯澤 肇**: 腫瘍径 4cm 以上の食道胃接合部腺癌の臨床病理学的検討および治療成績. 第 72 回日本消化器外科学会総会, 金沢; 2017 年 7 月
- 17) 鈴木明彦, 柴田健一, 木村 理: 悪性胸水のある進行再発乳癌に対する First line パクリタキセル+ベバシズマブ療法. 第 25 回日本乳癌学会学術総会, 福岡; 2017 年 7 月
- 18) 安次富裕哉, 手塚康二, 野津新太郎, 菅原秀一郎, 渡邊利広, 平井一郎, 木村 理: 膵頭十二指腸切除術後の繰り返す肝膿瘍に対し漢方治療が有効と考えられた一例. 第 53 回日本胆道学会学術集会, 山形; 2017 年 9 月

- 19) 野津新太郎, 河野通久*, 高橋良輔, 外田 慎, 菅原秀一郎, 手塚康二, 矢野充泰, 平井一郎, 木村 理: 潰瘍性大腸炎に直腸癌を合併した若年性下部胆管癌の一例. 第 53 回日本胆道学会学術集会, 山形; 2017 年 9 月
- 20) 手塚康二, 平井一郎, 野津新太郎, 安次富裕哉, 渡邊利広, 木村 理: 胆嚢癌における CA19-9 陽性例の検討. 第 53 回日本胆道学会学術集会, 山形; 2017 年 9 月
- 21) 平井一郎, 木村 理, 渡邊利広, 手塚康二, 菅原秀一郎, 外田 慎: 異時性多発胆道癌について 一胆管空腸吻合後の膵頭十二指腸切除の再建の工夫も含めて一. 第 53 回日本胆道学会学術集会, 山形; 2017 年 9 月
- 22) 手塚康二, 平井一郎, 渡邊利広, 菅原秀一郎, 外田 慎, 高橋良輔, 河野通久*, 奈良崎正俊*, 木村 理: 肝胆膵疾患におけるルイス式血液方検査. 第 15 回日本消化器外科学会大会 (第 25 回日本消化器関連学会週間; JDDW 2017), 神戸; 2017 年 10 月
- 23) 安次富裕哉, 高屋 快*, 落合智徳**, 高橋宏和**, 村山最二郎**, 陳 正浩**, 菅原 浩**: 当院における閉塞性大腸癌手術症例の検討. 第 25 回日本消化器関連学会週間 (JDDW2017), 福岡; 2017 年 10 月
- 24) 平井一郎, 木村 理, 手塚康二, 渡邊利広, 菅原秀一郎, 外田 慎: 胆管空腸吻合後の膵頭十二指腸切除の再建の工夫 一異時性多発胆道癌の考察も含めて一. 第 25 回日本消化器関連学会週間 (JDDW2017), 福岡; 2017 年 10 月
- 25) 三春摩弥*, 田中隆昭*, 斎藤大樹*, 石山智之*, 吉岡 淳*, 平井一郎, 土谷順彦*: 電子カルテ導入による高気圧酸素治療患者誤認防止と業務効率向上の有用性について. 第 52 回日本高気圧環境・潜水医学会, 沖縄; 2017 年 11 月
- 26) 野津新太郎, 安次富裕哉, 高橋良輔, 菅原秀一郎, 渡邊利広, 手塚康二, 平井一郎, 木村 理: 膵 mixed adenoneuroendocrine carcinoma を疑い膵全摘術を施行した一例. 第 22 回日本外科病理学会, 宇都宮; 2017 年 11 月
- 27) 鈴木武文, 佐藤多未笑, 蜂谷 修, 山賀亮介, 高橋良輔, 外田 慎, 岡崎慎史, 矢野充泰, 木村 理: A 型胃炎に伴う多発胃カルチノイドの 1 例. 第 22 回日本外科病理学会, 宇都宮; 2017 年 11 月
- 28) 矢野充泰, 山賀亮介, 高橋良輔, 鈴木武文, 外田 慎, 岡崎慎史, 佐藤多未笑, 蜂谷 修, 木村 理: 一過性意識消失を伴う電解質喪失症候群を呈した巨大絨毛腫瘍に対し腹腔鏡補助下直腸切断術を施行した 1 例. 第 72 回大腸肛門病学会, 福岡; 2017 年 11 月
- 29) 岡崎慎史, 矢野充泰, 山賀亮介, 高橋良輔, 鈴木武文, 外田 慎, 佐藤多未笑, 蜂谷 修, 木村 理: 若年成人に発症したガ原発性後膜奇形種の 1 例. 第 79 回日本臨床医外科学会総会, 東京; 2017 年 11 月
- 30) 安次富裕哉, 木村 理, 平井一郎, 渡邊利広, 手塚康二, 野津新太郎: 胆嚢摘出術困難症例に関する検討. 第 79 回日本臨床医外科学会総会, 東京; 2017 年 11 月
- 31) 矢野充泰, 岡崎慎史, 高橋良輔, 山賀亮介, 外田 慎, 佐藤多未笑, 蜂谷 修, 木村 理: 精神疾患を有する患者の直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術 3 例の経験. 第 30 回日本内視鏡外科学会総会, 京都; 2017 年 12 月
- 32) 蜂谷 修, 佐藤多未笑, 外田 慎, 山賀亮介, 高橋良輔, 岡崎慎史, 矢野充泰, 木村 理: cStage1 胃癌に対する腹腔鏡下 (補助下) 幽門側胃切除術の短期・長期成績. 第 30 回日本内視鏡外科学会総会, 京都; 2017 年 12 月
- 33) 外田 慎, 蜂谷 修, 佐藤多未笑, 神尾幸則: 噴門側胃切除術の上部進行胃癌に対しての適応の検討. 第 90 回日本胃癌学会総会, 横浜; 2018 年 3 月
- 34) 赤羽根綾香, 高橋良輔, 野津新太郎, 安次富裕哉, 菅原秀一郎, 渡邊利広, 手塚康二, 平井一郎, 木村 理: 術前に MECKEL 憩室によるイレウスと診断し, 腹腔鏡補助下小腸部分切除を施行した 1 例. 第 54 回日本腹部救急医学会総会, 東京; 2018 年 3 月
- 35) 鈴木武文, 蜂谷 修, 田中喬之, 中野 亮, 高橋良輔, 外田 慎, 佐藤多未笑, 岡崎慎史, 矢野充泰, 神尾幸則, 木村 理: 経腹胸管結紮術にて治療し得た外傷性胸管損傷の 1 例. 第 54 回日本腹部救急医学会総会, 東京; 2018 年 3 月
- 36) 岡崎慎史, 中野 亮, 野津新太郎, 安次富裕哉, 山賀亮介, 高橋良輔, 鈴木武文, 外田 慎, 佐藤多未笑, 菅原秀一郎, 矢野充泰, 神尾幸則, 蜂谷 修, 木村 理: 80 歳以上の高齢者緊急手術における現状と課題. 第 54 回日本腹部救急医学会総会, 東京; 2018 年 3 月

(3) 国内地方会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 木村 理: 平成 29 年度 第 25 回日本外科学会生涯教育セミナー (東北地区), 岩手; 2017 年 9 月

ii 一般演題

- 1) 野津新太郎, 河野通久*, 高橋良輔, 外田 慎, 佐藤多未笑, 菅原秀一郎, 渡邊利広, 手塚康二, 矢野充泰, 柴田健一, 平井一郎, 木村 理: 術後下部胆管癌を認めた直腸癌合併潰瘍性大腸炎の一例. 第 5 回日本臨床外科学会山形県支部会 (第 35 回山形外科談話会), 山形; 2017 年 6 月
- 2) 野津新太郎, 河野通久*, 高橋良輔, 外田 慎, 菅原秀一郎, 手塚康二, 矢野充泰, 渡邊利広, 平井一郎, 木村 理: 潰瘍性大腸炎に直腸癌を合併した若年者遠位胆管癌の一例. 第 174 回東北外科集談会/第 100 回日本胸部外科学会東北地方会/第 32 回日本血管外科学会東北地方会/第 89 回日本小児外科学会東北地方会, 盛岡; 2017 年 9 月
- 3) 小坂 徹, 矢野充泰, 中野 亮, 鈴木武文, 外田 慎, 岡崎慎史, 佐藤多未笑, 木村 理: 直腸癌手術における IMA 分枝形態の検討. 第 174 回東北外科集談会/第 100 回日本胸部外科学会東北地方会/第 32 回日本血管外科学会東北地方会/第 89 回日本小児外科学会東北地方会, 盛岡; 2017 年 9 月
- 4) 野津新太郎, 安次富裕哉, 高橋良輔, 菅原秀一郎, 渡邊利広, 手塚康二, 平井一郎, 木村 理: 膵 mixed adenoneuroendocrine carcinoma を疑い膵全摘術を施行した一例. 第 204 回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台; 2018 年 2 月
- 5) 安次富裕哉, 渡邊利広, 野津新太郎, 高橋良輔, 菅原秀一郎, 手塚康二, 平井一郎, 木村 理: 十二指腸 GIST の術前診断で切除術を行った腹腔内 Solitary tumor の 1 例. 第 204 回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台; 2018 年 2 月
- 6) 鈴木明彦, 柴田健一, 菊地憲明*, 矢野亜希子*, 赤羽根綾香, 木村 理: 当科におけるティッシュ・エキスパンダー乳房再建手術の現況. 第 15 回日本乳癌学会東北地方会, 仙台; 2018 年 3 月
- 7) 赤羽根綾香, 鈴木明彦, 中野 亮, 柴田健一, 木村 理: 有毒性骨転移再発乳癌に対するストロンチウム-89 の検討. 第 15 回日本乳癌学会東北地方会, 仙台; 2018 年 3 月

(4) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 木村 理: 第 8 回 Tokyo HPB Surgical Club, 東京; 2017 年 11 月
- 2) 木村 理: 胆膵疾患について. 平成 29 年度 (第 56 回) 山形県消化器病懇話会, 山形; 2018 年 1 月
- 3) 木村 理: 外科手術と膵臓. 第 52 回東北膵臓研究会, 仙台; 2018 年 2 月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 蜂谷 修: 胃癌ガイドラインの最近の話題. 平成 29 年度第 1 回 山形県がん化学療法セミナー, 山形; 2017 年 4 月
- 2) 蜂谷 修: 胃癌に対する個別化治療. 山形消化器・一般外科研究会, 山形; 2017 年 5 月

iii 一般演題

- 1) 矢野充泰, 野川亮介*, 高橋良輔, 佐藤多未笑, 福元 剛*, 山岸岳人*, 高須直樹*, 蜂谷 修, 木村 理: 術前生検が術式決定に有用であった二次性乳房外 Paget 病の 1 例. 第 28 回内視鏡外科フォーラム東北 in 山形, 山形; 2017 年 4 月
- 2) 佐藤多未笑, 蜂谷 修, 高須直樹, 矢野充泰, 高橋良輔, 木村 理: AdachiVI 型総肝動脈破格を伴う胃癌に対し腹腔鏡下幽門側胃切除術を施行した 1 例. 第 28 回内視鏡外科フォーラム東北 in 山形, 山形; 2017 年 4 月
- 3) 野津新太郎, 赤羽根綾香, 安次富裕哉, 高橋良輔, 佐藤多未笑, 渡邊利広, 手塚康二, 蜂谷 修, 平井一郎, 木村 理: 当科における急性胆嚢炎に対する緊急手術の検討. 第 21 回山形内視鏡外科研究会学術集会, 山形; 2017 年 8 月
- 4) 鈴木武文, 佐藤多未笑, 蜂谷 修, 山賀亮介, 高橋良輔, 外田 慎, 中野 亮, 田中喬之, 岡崎慎史, 矢野充泰, 木村 理: A 型胃炎に伴う多発カルチノイドに対し腹腔鏡下幽門側胃切除術に施行した 1 例. 第 21 回山形内視鏡外科研究会学術集会, 山形; 2017 年 8 月
- 5) 手塚康二, 平井一郎, 渡邊利広, 菅原秀一郎, 安次富裕哉, 野津新太郎, 木村 理: 膵臓癌の術前における術後早期再発予測因子の検討. 第 44 回日本膵切研究会, 横浜; 2017 年 8 月

- 6) 手塚康二, 平井一郎, 菅原秀一郎, 田中喬之, 野津新太郎, 安次富裕哉, 高橋良輔, 渡邊利広, 木村理: 結節性硬化症に合併した膵神経内分泌腫瘍の1例. 第5回日本神経内分泌腫瘍研究会学術集会, 仙台; 2017年9月
- 7) 安次富裕哉, 木村理, 平井一郎, 渡邊利広, 手塚康二, 菅原秀一郎, 野津新太郎, 田中喬之: 十二指腸GISTの術前診断で切除術を行った腹腔内Solitary fibrous tumorの1例. 第67回消化器画像診断研究会, 札幌; 2017年9月
- 8) 鈴木武文, 佐藤多未笑, 蜂谷修, 山賀亮介, 高橋良輔, 外田慎, 岡崎慎史, 矢野充泰, 木村理: 腹腔鏡下幽門側胃切除術を施行したA型胃炎に伴う多発カルチノイドの1例. 第26回消化器疾患病態治療研究会, 横浜; 2017年9月
- 9) 柴田健一, 鈴木明彦, 中野亮, 木村理: フルベストラントの使用時期と有効性の検討. 第41回山形県乳腺疾患研究会学術集会, 山形; 2017年9月
- 10) 外田慎, 蜂谷修, 佐藤多未笑, 野津新太郎, 中野亮, 山賀亮介, 安次富裕哉, 高橋良輔, 鈴木武文, 木村理: 上部進行胃癌に対しての噴門側胃切除術の適応についての検討. 第47回胃外科術後障害研究会, 横浜; 2017年11月
- 11) 佐藤多未笑, 蜂谷修, 外田慎, 鈴木武文, 高橋良輔, 山賀亮介, 中野亮, 野津新太郎, 木村理: 腹腔鏡下胃切除術におけるシリコンディスクと細径鉗子を用いた肝圧排法. 第47回胃外科術後障害研究会, 横浜; 2017年11月
- 12) 野津新太郎, 安次富裕哉, 高橋良輔, 菅原秀一郎, 渡邊利広, 手塚康二, 平井一郎, 木村理: 膵mixed adenoneuroendocrine carcinomaを疑い膵全摘術を施行した一例. 平成29年度(第56回)山形県消化器病懇話会, 山形; 2018年1月
- 13) 安次富裕哉, 野津新太郎, 高橋良輔, 渡邊利広, 手塚康二, 平井一郎, 木村理: 左腎癌局所再発が主膵管内進展を来して膵炎を繰り返した1例. 第52回東北膵臓研究会, 仙台; 2018年2月

(5) 座 長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) Kimura W: HBPI: Recent topics in surgical treatment for biliary and pancreatic cancer. International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists Advanced Post-Graduate Course in Yokohama 2017. IASGO-CME in Yokohama 2017, 横浜; 2017年6月
- 2) Kimura W: Post Graduate Course 3/Pancreas. 6th A-PHPBA 29th JSHBPS. 第6回アジア太平洋肝胆膵外科学会・第29回日本肝胆膵外科学会学術集会, Yokohama JAPAN; June 2017
- 3) 木村理: セッション6 肝胆膵領域. 第30回日本小切開・鏡視外科学会, 東京; 2017年6月
- 4) 渡邊利広: SessionIV. 第5回日本臨床外科学会山形県支部例会(第35回山形外科談話会), 山形; 2017年6月
- 5) Hirai I: Oral session 26. Biliary 1. 第6回アジア太平洋肝胆膵学会(6th A-PHPBA), 第29回日本肝胆膵外科学会(29th JSHBPS), 横浜; 2017年6月
- 6) 平井一郎: 特別講演II 膵癌に対する外科治療戦略. 膵癌集学的治療セミナー, 山形; 2017年7月
- 7) 木村理: 葛西森夫記念講演「栄養は命と若さの源」. 第33回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 横浜; 2018年2月
- 8) 木村理: 特別講演 膵癌治療の進展開～膵臓外科医としての挑戦. 第19回癌フォーラム in 山形, 山形; 2018年3月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 木村理: 考える外科学(6) 神経内分泌腫瘍(NET)の生物学的多様性を考える. 第117回日本外科学会定期学術集会, 横浜; 2017年4月
- 2) 平井一郎: ポスターセッション 膵臓・嚢胞性腫瘍. 第117回日本外科学会定期学術集会, 横浜; 2017年4月
- 3) 木村理: シンポジウム3 膵・消化管神経内分泌腫瘍の診断と治療. 第29回日本内分泌外科学会総会, 神戸; 2017年5月
- 4) 木村理: シンポジウム1. 肝胆膵外科領域における高難度低侵襲治療. 第24回外科フォーラム, 東京; 2017年7月

- 5) 木村 理: 膝縮小手術の適応と最新の手術手技 腹腔鏡下膝切除における navigation と simulation. 第 44 回日本膝切研究会, 横浜; 2017 年 8 月
- 6) 平井一郎: 呼吸器内視鏡におけるリスクマネージメント. 第 174 回東北外科集談会/第 100 回日本胸部外科学会東北地方会/第 32 回日本血管外科学会東北地方会/第 89 回日本小児外科学会東北地方会併設, 盛岡; 2017 年 9 月
- 7) 平井一郎: 呼吸器内視鏡におけるリスクマネージメント. 第 25 回日本外科学会生涯教育セミナー (東北地区), 岩手; 2017 年 9 月
- 8) 木村 理: ブレックファーストセミナー19 周術期管理における漢方やサルコペニアの意義一朝から元気が出る“深い話”. JDDW2017 第 15 回日本消化器外科学会大会, 福岡; 2017 年 10 月
- 9) 蜂谷 修: ポスター14 [症例]. 第 47 回胃外科・術後障害研究会, 横浜; 2017 年 11 月
- 10) 木村 理, 海野倫明: パネルディスカッション 20. 合併症ゼロを目指した手術 (胆膵). 第 79 回日本臨床医外科学会総会, 東京; 2017 年 11 月
- 11) 蜂谷 修: 胃と腸に関する症例提示. 第 53 回山形県胃と腸勉強会, 山形; 2018 年 1 月
- 12) 蜂谷 修: 特別企画 目指せ! 消化器病専門医-初期研修医からの報告. 日本消化器病学会東北支部 第 204 回例会, 仙台; 2018 年 2 月
- 13) 木村 理, 中村和彦: ワークショップ8 消化管神経内分泌腫瘍の最新の知見. 第 14 回日本消化管学会総会学術集会, 東京; 2018 年 2 月
- 14) 蜂谷 修: 特別講演II 胸部食道がんに対する内視鏡下外科手術の最前線. 第 23 回山形県頭頸部・食道・胃疾患研究会, 山形; 2018 年 2 月
- 15) 木村 理: 鼎談. 第 33 回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 横浜; 2018 年 2 月
- 16) 木村 理: ランチョンセミナー19 管理栄養士が病棟で活躍するための How to〜がん研有明病院の場合〜. 第 33 回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 横浜; 2018 年 2 月

iii 一般演題

- 1) 木村 理: 主題II-3 肝胆膵. 第 71 回手術手技研究会, 名古屋; 2017 年 5 月
- 2) 平井一郎: 一般演題 膵2. 第 203 回日本消化器病学会 東北支部例会, 岩手; 2017 年 6 月
- 3) 木村 理: プレナリーセッション胆・膵1. 第 103 回日本消化器病学会総会, 東京; 2017 年 7 月
- 4) 矢野充泰: 一般演題 示説 大腸・悪性疾患2. 第 79 回日本臨床外科学会総会, 東京; 2017 年 11 月
- 5) 渡邊利広: 一般演題 示説 膵疾患6. 第 79 回日本臨床外科学会総会, 東京; 2017 年 11 月
- 6) 木村 理: 膵臓 (膵嚢胞性腫瘍3). JDDW 2017 第 59 回日本消化器病学会大会, 福岡; 2017 年 11 月
- 7) 手塚康二: GIST・NET. 第 79 回日本臨床医外科学会総会, 東京; 2017 年 11 月
- 8) 渡邊利広: 膵臓6. 第 79 回日本臨床医外科学会総会, 東京; 2017 年 11 月
- 9) 平井一郎: 膵臓14. 第 79 回日本臨床医外科学会総会, 東京; 2017 年 11 月
- 10) 平井一郎: 膵2. 第 204 回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台; 2018 年 2 月
- 11) 渡邊利広: 主題 消化器全般. 平成 29 年度 (第 56 回) 山形県消化器病懇話会, 山形; 2018 年 1 月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第 53 回日本胆道学会, 山形; 2017 年 9 月
- 2) 第 33 回日本静脈経腸栄養学会, 横浜; 2018 年 2 月

外科学第二（循環器・呼吸器・小児外科学）講座

1. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) Hiroyuki Oizumi : The Impact of Medical Equipment on Minimally Invasive Lung Surgery. 2017 Annual Meeting of the Taiwan Surgical Association, Taipei, Taiwan; March 2017
- 2) Hiroyuki Oizumi : Developments in Thoracoscopic Anatomic Lung Segmentectomy. 2017 Annual Meeting & 50th. Anniversary of Taiwan Surgical Association, Taipei, Taiwan; March 2017

ii 一般演題

- 1) Kimihiro Kobayashi, Tetsuro Uchida, Yoshinori Kuroda, Eiichi Ohba, Atsushi Yamashita, Jun Hayashi, Ai Takahashi, Daisuke Watanabe, Shingo Nakai, Mitsuaki Sadahiro : Tricuspid Valve Infective Endocarditis Associated with Ventricular Septal Defect. The 25th Annual meeting of asian society for cardiovascular and thoracic surgery, Seoul, Korea; March 2017
- 2) Atsushi Yamashita, Tetsuro Uchida, Azumi Hamasaki, Yoshinori Kuroda, Eiichi Ohba, Daisuke Watanabe, Ai Takahashi, Shingo Nakai, Kimihiro Kobayashi, Mitsuaki Sadahiro: Intraoperative Conversion from EVAR to Open Repair in Patients with Abdominal Aortic Aneurysm. The 25th Annual meeting of asian society for cardiovascular and thoracic surgery, Seoul, Korea; March 2017
- 3) Eiichi Ohba, Tetsuro Uchida, Azumi Hamasaki, Yoshinori Kuroda, Atsushi Yamashita, Daisuke Watanabe, Ai Takahashi, Shingo Nakai, Kimihiro Kobayashi, Mitsuaki Sadahiro: Early Results of Endovascular Treatment for Type B Aortic Dissection. The 25th Annual meeting of asian society for cardiovascular and thoracic surgery, Seoul, Korea; March 2017
- 4) Daisuke Watanabe, Tetsuro Uchida, Azumi Hamasaki, Yoshinori Kuroda, Eiichi Ohba, Atsushi Yamashita, Ai Takahashi, Shingo Nakai, Kimihiro Kobayashi, Mitsuaki Sadahiro: Vacuum-Assisted Wound Closure Therapy for Secondary Abdominal Wall Closure in Patients after Ruptured Abdominal Aortic Aneurysm Repair. The 25th Annual meeting of asian society for cardiovascular and thoracic surgery, Seoul, Korea; March 2017
- 5) Yoshinori Kuroda, Tetsuro Uchida, Azumi Hamasaki, Atsushi Yamashita, Ken Nakamura, Jun Hayashi, Daisuke Watanabe, Shingo Nakai, Kimihiro Kobayashi, Seigo Gomi, Mitsuaki Sadahiro: In-Vivo Evaluation of Ischemia-Reperfusion Injury of Skeletal Muscle with Carbamoyl-PROXYL-Enhanced MRI. The 25th Annual meeting of asian society for cardiovascular and thoracic surgery, Seoul, Korea; March 2017
- 6) Tetsuro Uchida, Azumi Hamasaki, Yoshinori Kuroda, Eiichi Ohba, Atsushi Yamashita, Jun Hayashi, Daisuke Watanabe, Kimihiro Kobayashi, Mitsuaki Sadahiro: Surgical Treatment for Various Types of Thoracic Aortic Disease Using J Graft Open Stent Graft: Early Results and Technical Pitfalls. The 25th Annual meeting of asian society for cardiovascular and thoracic surgery, Seoul, Korea; March 2017
- 7) Ai Takahashi, Tetsuro Uchida, Yoshinori Kuroda, Ohba Eiichi, Atsushi Yamashita, Jun Hayashi, Daisuke Watanabe, Shingo Nakai, Kimihiro Kobayashi, Mitsuaki Sadahiro: Popliteal Artery Pseudo-Aneurysm Associated with Osteochondroma. The 25th Annual meeting of asian society for cardiovascular and thoracic surgery, Seoul, Korea; March 2017

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 五味聖吾, 平松祐司*, 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 山下 淳, 林 潤, 中村 健, 渡邊大介, 中井信吾, 小林龍宏, 貞弘光章 : (ビデオ) 右房壁フラップを利用した Scimitar vein の division & rerouting. 第47回日本心臓血管外科学会総会, 東京 ; 2017年3月 B

ii 一般演題

- 1) 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 山下 淳, 中村 健, 林 潤, 渡邊大介, 中井信吾, 小林龍宏, 五味 聖吾, 貞弘光章: 低侵襲大動脈弁置換術における imageoverlay projection 手術支援. 第 47 回日本心臓血管外科学会総会, 東京; 2017 年 2 月
- 2) 黒田吉則, 内田徹郎, 富樫 整*, 中井信吾, 小林龍宏, 浜崎安純, 山下 淳, 林 潤, 中村 健, 渡邊大介, 五味聖吾, 貞弘光章: MRI を用いたラット骨格筋虚血再灌流モデルにおける redox 反応の検討. 第 47 回日本心臓血管外科学会総会, 東京; 2017 年 2 月
- 3) 渡邊大介, 内田徹郎, 五味聖吾, 浜崎安純, 黒田吉則, 山下 淳, 中村 健, 林 潤, 中井信吾, 小林龍宏, 貞弘光章: 心臓重傷 26 症例に対する外科治療経験. 第 47 回日本心臓血管外科学会総会, 東京; 2017 年 2 月
- 4) 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 山下 淳, 中村 健, 林 潤, 渡邊大介, 中井信吾, 小林龍宏, 五味 聖吾, 貞弘光章: 胸部大動脈ステントグラフト内挿術後 open surgery の検討. 第 47 回日本心臓血管外科学会総会, 東京; 2017 年 2 月
- 5) 浜崎安純, 内田徹郎, 黒田吉則, 山下 淳, 中村 健, 林 潤, 渡邊大介, 中井信吾, 小林龍宏, 五味聖吾, 貞弘光章: 胸骨閉鎖用チタンプレートシステム Sternalock Blu の中期成績. 第 47 回日本心臓血管外科学会総会, 東京; 2017 年 2 月
- 6) 中井信吾, 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 大場栄一, 山下 淳, 林 潤, 高橋 愛, 渡邊大介, 五味 聖吾, 貞弘光章: 80 歳以上の超高齢者に対する EVAR 治療成績. 第 47 回日本心臓血管外科学会総会, 東京; 2017 年 2 月
- 7) 内田徹郎, 中村 健, 浜崎安純, 黒田吉則, 山下 淳, 林 潤, 渡邊大介, 中井信吾, 小林龍宏, 五味 聖吾, 貞弘光章: 急性 B 型解離保存治療における早期リハビリテーションのリスク&ベネフィット. 第 44 回日本集中治療医学会学術集会, 札幌; 2017 年 3 月

(3) 国内地方会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 大泉弘幸: 画像支援による胸腔鏡下手術の発展. 第 73 回沖縄県外科医会, 沖縄; 2017 年 2 月

(4) 研究会

i 一般演題

- 1) 内田徹郎: 解離性大動脈瘤に対する Hybrid 治療. 東北大動脈解離ステントグラフトカンファレンス, 仙台; 2017 年 2 月
- 2) 阿部尚弘, 大泉弘幸, 加藤博久, 鈴木 潤, 濱田 顕, 渡會 光, 貞弘光章: 同時多発肺癌の一切除例. 第 33 回東北肺癌研究談話会, 仙台; 2017 年 2 月
- 3) 渡邊大介, 浜崎安純, 内田徹郎, 貞弘光章: 急速に増大した左房内腫瘤に対する外科的治療の経験. 第 18 回山形心エコー図研究会, 山形; 2017 年 2 月

(5) 座 長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 貞弘光章: 特別演題 弘前大学大学院医学系研究科 胸部心臓血管外科 教授 福田幾夫先生「VTE の診断から治療まで医療安全の面から」. 第 6 回山形県循環器疾患セミナー, 山形; 2017 年 2 月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 大泉弘幸: 基調講演 免疫療法チームの結成と副作用マネージメントの実際. オブジーボ肺がん効能追加 1 周年記念講演会, 山形; 2017 年 1 月
- 2) 貞弘光章: 会長要望演題 3. 第 47 回日本心臓血管外科学会総会, 東京; 2017 年 2 月

iii 一般演題

- 1) 中村 潤: 第一部. 第 39 回東北小児がん研究会, 仙台; 2017 年 3 月
- 2) 大泉弘幸: 症例報告. 肺癌免疫療法セミナー, 山形; 2017 年 3 月
- 3) 大泉弘幸: 非小細胞肺癌に対する免疫療法の進歩. 肺癌免疫療法セミナー, 山形; 2017 年 3 月

外科学第二講座（心臓血管外科学分野・呼吸器外科学分野・小児外科学分野）

1. 論 文

(1) 原 著

- 1) Hamasaki A, Uchida T, Kuroda Y, Yamashita A, Hayashi J, Oba E, Sadahiro M: A Simple Shunt Tube Management Technique during Beating-Heart Coronary Artery Bypass Grafting. 日本冠疾患学会雑誌. 2017; 23(4): 238-240
- 2) Oizumi Hiroyuki, Hirohisa Kato, Makoto Endoh, Jun Suzuki, Hikaru Watarai, Akira Hamada, Katsuyuki Suzuki, Kenta Nakahashi, Mitsuaki Sadahiro: Swine model for training surgeons in minimally invasive anatomic lung segmentectomy. Journal of Visualized Surgery. 2017; 3: 72
- 3) Hamasaki A, Uchida T, Sadahiro M: Simple and safe removal cation of the HEARTSTRING device. Eur J Cardiothorac Surg. 2017; 53(1): 282-283
- 4) Endoh M, Oizumi H, Kato H, Suzuki J, Watarai H, Masaoka T, Sadahiro M: Posterior approach to thoracoscopic pulmonary segmentectomy of the dorsal basal segment: A single-institute retrospective review. J Thorac Cardiovasc Surg. 2017; 154(4): 1432-1439
- 5) Uchida T, Hamasaki A, Kuroda Y, Yamashita A, Hayashi J, Sadahiro M: Open aortic arch surgery following thoracic endovascular aortic repair with debranching. Italian Journal of Vascular and Endovascular Surgery. 2017; 24(2): 41-46
- 6) Uchida T, Hamasaki A, Sadahiro M: A modified surgical approach for giant left coronary arterial aneurysm. Journal of Cardiac Surgery. 2017; 32(8): 489-491
- 7) Uchida T, Hamasaki A, Kuroda Y, Ohba E, Yamashita A, Sadahiro M: Novel surgical technique for coronary fistulas with proximal origin. Ann Thorac Surg. 2017; 104(3): e261-e263
- 8) Uchida T, Hamasaki A, Yamashita A, Nakamura K**, Hayashi J, Sadahiro M: Tracheal Compression Caused by a Hematoma After Redo Aortic Root Replacement. Ann Thorac Surg. 2017; 104(4): e319-e320
- 9) Kato H, Oizumi H, Suzuki J, Hamada A, Watarai H, Sadahiro M: Thoracoscopic anatomical lung segmentectomy using 3D computed tomography simulation without tumour markings for non-palpable and non-visualized small lung nodules. Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2017; 25(3): 434-441
- 10) Kato H, Oizumi H, Suzuki J, Hamada A, Watarai H, Nakahashi K, Sadahiro M: Thoracoscopic wedge resection and segmentectomy for small-sized pulmonary nodules. Journal of Visualized Surgery. 2017; 3: 66
- 11) Kato H, Oizumi H, Suzuki J, Hamada A, Watarai H, Nakahashi K, Sadahiro M: Video-assisted thoracoscopic subsegmentectomy for small-sized pulmonary nodules. Journal of Visualized Surgery. 2017; 3: 105
- 12) Kato H, Oizumi H, Jun S, Akira H, Hikaru W, Sadahiro M: Thoracoscopic anatomic lung segmentectomy using three-dimensional computed tomography simulation without tumour markings for non-palpable and non-visualized small-sized lung nodules. Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2017; 25(3): 434-441
- 13) Uchida T, Hamasaki A, Kuroda Y, Yamashita A, Hayashi J, Sadahiro M: Surgical repair of a celiac artery aneurysm using a sutureless proximal anastomosis device. J Vasc Surg Cases Innov Tech. 2017; 3(4): 221-224
- 14) 林 潤, 五味聖吾, 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 山下 淳, 中村 健**, 渡邊大介, 中井信吾, 小林龍宏, 貞弘光章: 大動脈基部置換術7年後に弓部大動脈瘤を生じた Loews-Dietz 症候群の1例. Japanese Journal of Cardiovascular Surgery. 2017; 46(4): 157-160
- 15) 黒田吉則: U-40 Surgical Skill Sharing—今更聞けない心臓血管外科基本手技—: 心臓血管外科基本手技 2. 大腿動脈剥離. Japanese Journal of Cardiovascular Surgery. 2017; 46(5): U1-U3
- 16) Kato H, Oizumi H, Suzuki J, Hamada A, Watarai H, Nakahashi K, Sadahiro M: What is the most appropriate procedure for intraoperative localization of small pulmonary nodules?. J Thorac Dis. 2018; 10(2):

- 17) 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 山下 淳, 林 潤, 貞弘光章: 下肢動脈 distal bypass の工夫 —冠動脈バイパス手技の応用— Distal Bypass in Patients with Critical Limb Ischemia using Coronary Artery Bypass Technique. 山形大学紀要 (医学). 2017 ; 35(2) : 115-118
- 18) 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 水本雅弘, 山下 淳, 林 潤, 廣岡秀人, 石澤 愛, 赤羽根健太郎, 貞弘光章: 大動脈基部置換術の現状と治療成績—手術手技の工夫と自己弁温存手術後の基部 geometry 解析—. 胸部外科. 2018; 71(1): 12-18
- 19) 石澤 愛, 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 水本雅弘, 山下 淳, 林 潤, 廣岡秀人, 赤羽根健太郎, 貞弘光章: 閉塞性動脈硬化症以外の膝窩動脈病変に対する外科治療経験. 日本血管外科学会雑誌. 2018; 27(1): 1-6
- 20) 中村 健*, 内田徹郎, 邵 力*, 浜崎安純, 林 潤, 貞弘光章: 慢性B型解離における大動脈血管径増大に関わる因子. 日本血管外科学会雑誌. 2018; 27(1): 55-60

(2) 症例報告

- 1) Hamasaki A, Uchida T, Sadahiro M: Spontaneous rupture of a caseous calcification of the mitral annulus in a hemodialysis patient. Journal of Cardiac Surgery. 2017; 32(2): 85-87
- 2) Uchida T, Hamasaki A, Sadahiro M: Intraoperative fluorescence-guided imaging for coronary artery fistula. Eur J Cardio-thorac Surg. 2017; 53(1): 290-290
- 3) Kato H, Oizumi H, Suzuki J, Hamada A, Watarai H, Nakahashi K, Sadahiro M: Port-access thoracoscopic bisubsegmentectomy of right upper lobe posterior and anterior segments. Journal of Thoracic Disease. 2017; 9(9): 3293-3295
- 4) Hamada A, Oizumi H, Kato H, Suzuki J, Watarai H, Suzuki K, Sasage T, Sadahiro M: Thoracoscopic left S4a subsegmentectomy. Journal of Thoracic Disease. 2017; 9(9): 3299-3301
- 5) Ai Takahashi, Tetsuro Uchida, Azumi Hamasaki, Yoshinori Kuroda, Ohba Eiichi, Atsushi Yamashita, Jun Hayashi, Daisuke Watanabe, Shingo Nakai, Seigo Gomi, Mitsuaki Sadahiro: Popliteal Artery Pseudoaneurysm Associated with Osteochondroma. Annals of Vascular Diseases. 2017; 10(3): 257-260
- 6) Uchida T, Hamasaki A, Ohba E, Yamashita A, Hayashi J, Sadahiro M: Life-threatening subdural hematoma after aortic valve replacement in a patient with Heyde syndrome: a case report. Journal of Cardiothoracic Surgery. 2017; 12(1): 65
- 7) Uchida T, Hamasaki A, Kuroda Y, Yamashita A, Hayashi J, Sadahiro M: Takotsubo Cardiomyopathy after Hybrid Repair of Thoracic and Thoracoabdominal Aortic Aneurysm. Journal of Vascular and Endovascular Surgery. 2017; 2(2): 11
- 8) Kuroda Y, Uchida T, Hayashi J, Sadahiro M: An intra-aortic floating metastatic malignancy of unknown primary origin. Eur J Cardio-thorac Surg. 2018; 53(2): 477-478
- 9) 菊山 薫, 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 山下 淳, 林 潤, 中村 健*, 中井信吾, 渡邊大介, 小林龍宏, 貞弘光章: (学生論文) 感染性左上腕動脈瘤を合併した僧帽弁位感染性心内膜炎の外科治療. 胸部外科. 2017; 70(5): 348-351
- 10) 玉井夢果*, 小山響子*, 八木橋崇仁*, 高窪祐弥*, 伊藤重治*, 長沼 靖, 大木弘治*, 梁 秀蘭, 佐々木明子*, 佐々木 幹*, 鈴木 潤, 遠藤 誠, 大泉弘幸, 高木理彰*: (学生論文) 関節リウマチ治療中に肺癌による RS 3 PE 症候群様症状を呈した腫瘍随伴症候群の 1 例. 東北整形災害外科学会雑誌. 2017; 60(1): 167-172
- 11) 中橋健太, 大泉弘幸, 加藤博久, 鈴木 潤, 濱田 颯, 渡會 光: 肺癌術後経過観察中に癌胎児性抗原 (CEA) が季節変動した 1 例. 肺癌. 2018; 58(1): 46-49
- 12) 井上 尚*, 大泉弘幸, 加藤博久, 鈴木 潤, 渡會 光, 貞弘光章: 肺ムコール症に対し右肺 S²+S⁶+S⁸ 複合区域切除術を施行した 1 例. 日本呼吸器外科学会誌. 2017; 31(7): 104(938)-109(943) B
- 13) 船田敏子*, 内田徹郎, 浜崎安純, 山下 淳, 林 潤, 高橋 愛, 貞弘光章: 血管外科処置後の鼠径部創治癒不全に対する縫工筋充填の経験. 日本心臓血管外科学会雑誌. 2017; 46(6): 330-333 B
- 14) 林 潤, 貞弘光章: 討論 2. 胸部外科. 2017; 70(13): 1060-1062
- 15) 渡邊大介, 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 大場栄一, 山下 淳, 林 潤, 高橋 愛, 中井信吾, 貞弘光

章:腹部大動脈瘤破裂術後の閉腹困難例に対する腹部 VAC 療法の経験. 日本心臓血管外科学会雑誌. 2018; 47(1): 36-39

(3) 著 書

- 1) 貞弘光章: V. 動脈・静脈疾患(四肢体幹). 大動脈瘤 胸部大動脈瘤 胸部大動脈瘤の外来管理と予後. 日本臨牀増刊号 動脈・静脈の疾患(上). 東京; 日本臨牀社, 2017: 323-326
- 2) 貞弘光章: 心臓弁の外科解剖—Surgical Anatomy of Heart Valves—. 福田幾夫, 東 信良, 標準血管外科学V. 東京; Medical Tribune, 2017:123-126

(4) その他

- 1) Jun Suzuki, Hiroyuki Oizumi, Hirohisa Kato, Makoto Endoh, Akira Hamada, Hikaru Watarai, Kenta Nakahashi, Mitsuaki Sadahiro: Our novel procedure for thoracoscopic anatomical segmentectomy. Video-Assisted Thoracic Surgery. 2017; 2(27)
- 2) 貞弘光章: 病院の実力～山形編 116 血管外科治療. 読売新聞. 2017年10月2日 23面
- 3) 貞弘光章: (1枚のシエーマ)ホモ型家族性高コレステロール血症の胸腹部大動脈瘤. 胸部外科. 2018; 71(1): 48

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) Hiroyuki Oizumi: Technical skills on Intersegmental plane. Zhongshan Forum on Lung Cancer, Shanghai, China; May 2017
- 2) Hiroyuki Oizumi: Creation of Inflation-deflation Lines using Slip Knot Technique and Dissection along Intersegmental Vein. East Asia Segmentectomy Expert Workshop 2017, Shanghai, China; May 2017
- 3) Hiroyuki Oizumi: Surgical technique on port access thoracoscopic anatomical segmentectomy, subsegmentectomy. 2017 North VATS Forum, Taipei, Taiwan; June 2017
- 4) Hiroyuki Oizumi: Thoracoscopic Anatomical Lung Segmentectomy Achieved by 3DCT Simulation—Importance of thin section axial images—. 2017 North VATS Forum, Taipei, Taiwan; June 2017
- 5) Hiroyuki Oizumi: Port-access thoracoscopic anatomical lung segmentectomy under multidetector computed tomography simulation. 1st. GTCAB Summit, Shanghai, China; December 2017

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Hiroyuki Oizumi: Sleeve Segmentectomy. 1st International Conference about Sublobar resections for lung cancer, Paris, France; January 2018
- 2) Hiroyuki Oizumi: Determination of Intersegmental Plane _using Slip Knot Method. 1st International Conference about Sublobar resections for lung cancer, Paris, France; January 2018

iii 一般演題

- 1) Uchida T, Hamasaki A, Kuroda Y, Oba E, Yamashita A, Hayashi J, Takahashi A, Watanabe D, Nakai S, Kobayashi K, Gomi S, Sadahiro M: Surgical Treatment for Various Types of Thoracic Aortic Disease using J Graft Open Stent Graft: Early Results and Technical Pitfalls. The 25th Annual Meeting of The Asian Society for Cardiovascular and Thoracic Surgery, Seoul, Korea; March 2017
- 2) Yoshinori Kuroda, Tetsuro Uchida, Mitsuaki Sadahiro: Surgical results of emergency thoracic endovascular aortic repair in patients with acute aortic syndrome. The 10th Korea-Japan joint meeting for vascular surgery, Busan, Korea; April 2017
- 3) Tetsuro Uchida, Yoshinori Kuroda, Mitsuaki Sadahiro: Open aortic arch surgery following thoracic endovascular aortic repair with debranching. The 10th Korea-Japan joint meeting for vascular surgery, Busan, Korea; April 2017
- 4) Oizumi H, Kato H, Suzuki J, Watarai H, Hamada A, Nakahashi K, Sadahiro M: Thoracoscopic Anatomical Lung Segmentectomy based on Dissection along the Intersegmental Veins—Left Lateral Basal (S9) Segmentectomy—. 97th. Congress of American Association for Thoracic Surgery, Boston, USA; May 2017

- 5) Kato H, Oizumi H, Suzuki J, Hamada A, Watarai H, Nakahashi K, Sadahiro M: The Impact of an Energy Sealing Device in Thoracoscopic Anatomic Segmentectomy for Small-sized Pulmonary Nodules. 97th. Congress of American Association for Thoracic Surgery, Boston, USA; May 2017
- 6) Oizumi H : Port access thoracoscopic anatomical segmentectomy, subsegmentectomy. East Asia Segmentectomy Expert Workshop 2017, Shanghai, China; May 2017
- 7) Hirohisa Kato, Hiroyuki Oizumi, Motoyasu Sagawa**, Hiroyuki Suzuki**, Akira Sakurada**, Masayuki Chida**, Hidetaka Uramoto**, Satoshi Shiono**, Jiro Abe**, Tohru Hasumi**, Yoshihiro Nakamura**, Nobuyuki Sato**, Jotaro Shibuya**, Hiroyuki Deguchi**, Hiroyuki Oura**, Yuji Matsumura**, Muneo Minowa**, Shinichiro Ota**, Yoshinori Okada** : Limited Resection for Small-sized Non-small Cell Lung Cancer with Ground Glass Opacities: A Japan North-East Thoracic Surgical Study Group (JNETS) Phase II Study. 25th European Conference on General Thoracic Surgery, Innsbruck, Austria; May 2017 B
- 8) Hamada A, Oizumi H, Kato H, Suzuki J, Watarai H, Nakahashi K, Sadahiro M : Learning Curve For Video-Assisted Thoracic Surgery Segmentectomy. 25th European Conference on General Thoracic Surgery, Innsbruck, Austria; May 2017
- 9) Yoshinori Kuroda, Tetsuro Uchida, Hitoshi Togashi, Kazuyuki Haga, Ai Takahashi, Kimihiro Kobayashi, Mitsuaki Sadahiro : In-vivo evaluation of ischemia-reperfusion injury of skeletal muscle, using 3-carbamoyl-PROXYL-enhanced MRI. The 2017 Vascular Annual Meeting, San Diego, CA, U.S.A; June 2017
- 10) Mitsuaki Sadahiro : Surgical Treatment for Aortic Disease using frozen elephant trunk : Early Results and Technical Pitfalls. 11th China Southern Endovascular Congress, Hangzhou, China; July 2017
- 11) Uchida T: Bailout technique of TEVAR. Deployment at the unexpected position. TEVAR Experts Exchange Program, Las Vegas, Nevada, USA; September 2017
- 12) Jun Suzuki, Hiroyuki Oizumi, Hirohisa Kato, Akira Hamada, Kenta Nakahashi, Mitsuaki Sadahiro : A retrospective study on the prognosis of Hilar and Peripheral Lymph node zone of in patients with Pathologic T1N1M0 and T2N1M0 disease in Non-small Cell Carcinoma of the Lung. IASLC 18TH WORLD CONFERENCE ON LUNG CANCER, Yokohama, Japan; October 2017
- 13) Atsushi Yamashita, Tetsuro Uchida, Azumi Hamasaki, Yoshinori Kuroda, Masahiro Mizumoto, Jun Hayashi, Shuto Hirooka, Ai Takahashi, Kentaro Akabane, Seigo Gomi, Mitsuaki Sadahiro : Resection of renal cell carcinoma complicated with inferior vena cava tumor thrombus. 18th Congress of Asian Society for Vascular Surgery and the 12th Asian Venous Forum, Kuala Lumpur, Malaysia; October 2017
- 14) Masahiro Mizumoto, Tetsuro Uchida, Seigo Gomi, Azumi Hamasaki, Yoshinori Kuroda, Atsushi Yamashita, Jun Hayashi, Shuto Hirooka, Ai Takahashi, Kentaro Akabane, Mitsuaki Sadahiro : Role of plasma levels of d-dimer and fibrin degradation products as predictors of endoleaks following endovascular abdominal aortic aneurysm repair. 18th Congress of Asian Society for Vascular Surgery and the 12th Asian Venous Forum, Kuala Lumpur, Malaysia; October 2017
- 15) Jun Hayashi, Tetsuro Uchida, Azumi Hamasaki, Yoshinori Kuroda, Masahiro Mizumoto, Atsushi Yamashita, Shuto Hirooka, Ai Takahashi, Kentaro Akabane, Seigo Gomi, Mitsuaki Sadahiro : Outcome of open stent-graft for thoracic aortic aneurysm repair: Comparison of handmade and commercial-made open stent graft. 18th Congress of Asian Society for Vascular Surgery and the 12th Asian Venous Forum, Kuala Lumpur, Malaysia; October 2017
- 16) Shuto Hirooka, Tetsuro Uchida, Azumi Hamasaki, Seigo Gomi, Yoshinori Kuroda, Masahiro Mizumoto, Atsushi Yamashita, Jun Hayashi, Ai Takahashi, Kentaro Akabane, Mitsuaki Sadahiro : Two elderly patients with atypical coarctation treated with axillo-bilateral femoral artery bypass. 18th Congress of Asian Society for Vascular Surgery and the 12th Asian Venous Forum, Kuala Lumpur, Malaysia; October 2017
- 17) Tetsuro Uchida : Role of Surgical Heart Valve Intervention in Advanced Heart Failure Patients. Asia Pacific Advanced Heart Failure Forum, Hong Kong, China; December 2017
- 18) Uchida T, Hamasaki A, Kuroda Y, Mizumoto M, Yamashita A, Hayashi J, Hirooka S, Ishizawa A, Akabane K, Sadahiro M: Effectiveness of Simultaneous Cardiac Resynchronization Therapy in Surgical

(2) 国内の学会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 大泉弘幸：呼吸器内視鏡におけるリスクマネージメント 胸腔鏡手術. 日本外科学会 第25回生涯教育セミナー, 盛岡;2017年9月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 中村 健*, 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 山下 淳, 林 潤, 渡邊大介, 中井信吾, 小林龍宏, 五味聖吾, 貞弘光章：(シンポジウム)慢性B型大動脈解離に対する保存を第一とした治療の長期成績—瘤径拡大に関わる因子の検討—. 第45回日本血管外科学会総会, 広島;2017年4月
- 2) 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 大場栄一, 山下 淳, 林 潤, 高橋 愛, 渡邊大介, 中井信吾, 小林龍宏, 五味聖吾, 貞弘光章：(基調講演 ビデオシンポジウム)Open stent graft の pitfall . 第45回日本血管外科学会学術総会, 広島;2017年4月
- 3) 林 潤, 内田徹郎, 五味聖吾, 浜崎安純, 大場栄一, 山下 淳, 渡邊大介, 中井信吾, 小林龍宏, 貞弘光章：(ビデオシンポジウム)腸骨大腿動脈領域の閉塞性病変に対する一期的ハイブリッド治療. 第45回日本血管外科学会学術総会, 広島;2017年4月
- 4) 林 潤, 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 山下 淳, 渡邊大介, 中井信吾, 小林龍宏, 五味聖吾, 貞弘光章：(ビデオ)Hybrid Therapy for Ilio-femoral Occlusive Disease. 第45回日本血管外科学会学術総会, 広島;2017年4月
- 5) 鈴木 潤, 大泉弘幸, 加藤博久, 濱田 颯, 渡會 光, 中橋健太, 貞弘光章：(ビデオ)非結核性抗酸菌症に対する胸腔鏡下右上葉切除+S6区域切除. 第34回日本呼吸器外科学会総会, 福岡;2017年5月
- 6) Oizumi H, Kato H, Suzuki J, Hamada A, Nakahashi K, Sadahiro M：(国際シンポジウム)Advance in Port-access Thoracoscopic Anatomic Lung Segmentectomy. 第30回日本内視鏡外科学会総会, 京都;2017年12月
- 7) 大泉弘幸, 加藤博久, 鈴木 潤, 濱田 颯, 中橋健太, 貞弘光章：(国際シンポジウム)完全胸腔鏡下肺区域切除の発展. 第30回日本内視鏡外科学会総会, 京都;2017年12月
- 8) 濱田 颯, 大泉弘幸, 加藤博久, 鈴木 潤, 中橋健太：(ワークショップ)当院における細径器具を用いた胸腔鏡手術. 第30回日本内視鏡外科学会総会, 京都;2017年12月
- 9) 浜崎安純, 内田徹郎, 黒田吉則, 水本雅弘, 山下 淳, 林 潤, 廣岡秀人, 石澤 愛, 赤羽根健太郎, 五味聖吾, 貞弘光章：(外科シンポジウム)冠動脈バイパスと大動脈弁置換 同時手術例の検討. 第31回日本冠疾患学会学術集会, 大阪;2017年12月
- 10) 内田徹郎：(ランチョンセミナー)私がOn-X弁を使う理由—On-X弁による大動脈弁置換術後の若年女性における妊娠出産—. 第48回日本心臓血管外科学会学術総会, 津;2018年2月
- 11) 内田徹郎, 黒田吉則, 浜崎安純, 水本雅弘, 山下 淳, 林 潤, 廣岡秀人, 石澤 愛, 赤羽根健太郎, 貞弘光章：(ビデオシンポジウム)胸部大動脈再手術における手技簡略化と低侵襲化の工夫. 第48回日本心臓血管外科学会学術総会, 津;2018年2月
- 12) 山下 淳, 内田 徹郎, 浜崎 安純, 黒田 吉則, 水本 雅弘, 林 潤, 廣岡 秀人, 石澤 愛, 赤羽根 健太郎, 五味 聖吾, 貞弘 光章：(ビデオ)EVAR 関連合併症に対する術中・術後介入症例の検討. 第48回日本心臓血管外科学会学術総会, 津;2018年2月
- 13) 内田徹郎, 中村 健*, 浜崎安純, 黒田吉則, 水本雅弘, 山下 淳, 林 潤, 廣岡秀人, 石澤 愛, 赤羽根健太郎, 貞弘光章：(会長要望演題)急性B型解離保存治療における早期リハビリテーション. 第48回日本心臓血管外科学会学術総会, 津;2018年2月
- 14) 中村 健*, 内田徹郎, 赤羽根健太郎, 石澤 愛, 廣岡秀人, 林 潤, 山下 淳, 水本雅弘, 黒田吉則, 五味聖吾, 浜崎安純, 貞弘光章：(会長要望演題)後期高齢者に対するB型大動脈解離の治療戦略. 第48回日本心臓血管外科学会学術総会, 津;2018年2月

iii 一般演題

- 1) 中井信吾, 内田徹郎, 五味聖吾, 浜崎安純, 黒田吉則, 山下 淳, 林 潤, 大場栄一, 高橋 愛, 渡邊大介, 小林龍宏, 貞弘光章：破裂性胸部大動脈瘤に対する外科治療成績の検討. 第45回日本血管外科学会総

- 会, 広島;2017年4月
- 2) 浜崎安純, 内田徹郎, 黒田吉則, 山下 淳, 大場栄一, 中村 健*, 林 潤, 渡邊大介, 高橋 愛, 中井信吾, 小林龍宏, 五味聖吾, 貞弘光章: 孤立性腸骨動脈瘤の治療成績. 第45回日本血管外科学会総会, 広島;2017年4月
 - 3) 黒田吉則, 内田徹郎, 浜崎安純, 山下 淳, 中村 健*, 林 潤, 高橋 愛, 渡邊大介, 中井信吾, 小林龍宏, 五味聖吾, 貞弘光章: malperfusion を伴ったA型解離の治療と手術成績. 第45回日本血管外科学会総会, 広島;2017年4月
 - 4) 高橋 愛, 内田徹郎, 五味聖吾, 浜崎安純, 黒田吉則, 大場栄一, 山下 淳, 林 潤, 渡邊大介, 中井信吾, 小林龍宏, 貞弘光章: 閉塞性動脈硬化症以外の膝窩動脈病変に対する外科治療経験. 第45回日本血管外科学会総会, 広島;2017年4月
 - 5) 渡邊大介, 内田徹郎, 五味聖吾, 浜崎安純, 黒田吉則, 大場栄一, 山下 淳, 林 潤, 高橋 愛, 中井信吾, 小林龍宏, 貞弘光章: 急性A型解離 central repair 後の続発性血管病変に対して外科的介入を要した症例の検討. 第45回日本血管外科学会総会, 広島;2017年4月
 - 6) 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 大場栄一, 山下 淳, 林 潤, 高橋 愛, 渡邊大介, 中井信吾, 小林龍宏, 五味聖吾, 貞弘光章: 大動脈基部再建手術の工夫—標準化を目指した自己弁温存手術とBentall手術における出血対策—. 第45回日本血管外科学会総会, 広島;2017年4月
 - 7) 山下 淳, 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 大場栄一, 林 潤, 渡邊大介, 高橋 愛, 中井信吾, 小林龍宏, 五味聖吾, 貞弘光章: EVAR におけるアクセス不良症例の検討. 第45回日本血管外科学会総会, 広島; 2017年4月
 - 8) 加藤博久, 大泉弘幸, 鈴木 潤, 濱田 颯, 渡會 光, 貞弘光章: 非定型抗酸菌症に対する外科治療の適応と術式. 第117回日本外科学会総会, 横浜;2017年4月
 - 9) 中村 潤, 阿部尚弘, 貞弘光章: 食道閉鎖症を伴う18トリソミー児の治療経験. 第54回日本小児外科学会総会, 仙台;2017年5月
 - 10) 中橋健太, 大泉弘幸, 加藤博久, 鈴木 潤, 濱田 颯, 渡會 光, 貞弘光章: 肺切除後、肺静脈断端に血栓を形成した6例の臨床的検討. 第34回日本呼吸器外科学会総会, 福岡;2017年5月
 - 11) 加藤博久, 大泉弘幸, 鈴木 潤, 濱田 颯, 渡會 光, 中橋健太, 貞弘光章: 局在同定不能小型肺結節に対するアプローチの検討. 第34回日本呼吸器外科学会総会, 福岡;2017年5月
 - 12) 大泉弘幸, 加藤博久, 鈴木 潤, 渡會 光, 濱田 颯, 中橋健太, 貞弘光章: 肺区域切除術後第二癌に対する完遂肺葉切除術. 第34回日本呼吸器外科学会総会, 福岡;2017年5月
 - 13) 濱田 颯, 大泉弘幸, 加藤博久, 鈴木 潤, 渡會 光, 中橋健太, 貞弘光章: 肺切除患者における予定外再入院に胸腔鏡下手術が影響を与えるか. 第34回日本呼吸器外科学会総会, 福岡;2017年5月
 - 14) 鈴木 潤, 大泉弘幸, 加藤博久, 渡會 光, 濱田 颯, 中橋健太, 貞弘光章: 非結核性抗酸菌症に対する胸腔鏡下右上葉切除+S6区域切除術. 第34回日本呼吸器外科学会総会, 福岡;2017年5月
 - 15) 浜崎安純, 内田徹郎, 黒田吉則, 山下 淳, 林 潤, 高橋 愛, 渡邊大介, 中井信吾, 五味聖吾, 貞弘光章: きわめて簡便なシャントチューブ管理法—わか法—. 第22回日本冠動脈外科学会学術大会, 豊中; 2017年7月
 - 16) 鈴木 潤, 大泉弘幸, 加藤博久, 濱田 颯, 渡會 光, 中橋健太, 貞弘光章: 心・大血管への癒着浸潤を術前に予測できるか?【胸郭内悪性腫瘍の血管浸潤評価における4DCTの有用性の検討】. 第70回日本胸部外科学会総会, 札幌;2017年9月
 - 17) 阿部尚弘, 大泉弘幸, 中橋 健太, 濱田 颯, 鈴木 潤, 加藤博久, 中村 潤, 貞弘光章: 当科における小児肺手術の現状—小児に対する完全胸腔鏡下肺区域切除の導入—. 第70回日本胸部外科学会総会, 札幌; 2017年9月
 - 18) 加藤博久, 大泉弘幸, 鈴木 潤, 濱田 颯, 中橋 健太, 貞弘光章: 完全胸腔鏡下左S1+2c亜区域切除術—含気虚脱線から求める亜区域間静脈—. 第70回日本胸部外科学会総会, 札幌;2017年9月
 - 19) 加藤博久, 大泉弘幸, 鈴木 潤, 濱田 颯, 中橋健太, 貞弘光章: 小型肺結節に対する部分切除と区域切除の術式選択基準—腫瘍径と局在からみた術式選択—. 第70回日本胸部外科学会総会, 札幌;2017年9月
 - 20) 鈴木 潤, 大泉弘幸, 加藤博久, 濱田 颯, 渡會 光, 中橋健太, 貞弘光章: 血管浸潤を術前に予測できるか?—胸郭内悪性腫瘍の血管浸潤評価における4DCTの有用性の検討—Is It Possible to Predict Invasion or

- Adhesion to Heart and Great vessels by evaluating 4DCT image ?. 第70回日本胸部外科学会総会, 札幌;2017年9月
- 21) 濱田 颯, 大泉弘幸, 加藤博久, 鈴木 潤, 渡會 光, 中橋健太, 金内直樹, 塩野知志, 貞弘光章: 臨床病期IA期80歳代高齢者肺癌における縮小手術と肺葉切除の予後の検討. 第70回日本胸部外科学会総会, 札幌; 2017年9月
 - 22) 水本雅弘, 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 山下 淳, 林 潤, 廣岡秀人, 石澤 愛, 赤羽根健太郎, 五味聖吾, 貞弘光章: 大動脈弁狭窄症に合併した左室流出路狭窄～有鉤なSeptal myectomyを目指して～. 第70回日本胸部外科学会総会, 札幌;2017年9月
 - 23) 大場栄一, 五味聖吾, 渡邊大介, 石澤 愛, 廣岡秀人, 林 潤, 水本雅弘, 山下 淳, 黒田吉則, 浜崎安純, 内田徹郎, 貞弘光章: 手術介入した18トリソミー11症例の予後. 第70回日本胸部外科学会総会, 札幌; 2017年9月
 - 24) 林 潤, 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 水本雅弘, 山下 淳, 廣岡秀人, 石澤 愛, 赤羽根健太郎, 五味聖吾, 貞弘光章: 心臓血管外科領域におけるsoft cadaverを用いたoff the job trainingの有用性. 第70回日本胸部外科学会総会, 札幌;2017年9月
 - 25) 黒田吉則, 内田徹郎, 浜崎安純, 水本雅弘, 山下 淳, 林 潤, 廣岡秀人, 高橋 愛, 渡邊大介, 赤羽根健太郎, 五味聖吾, 貞弘光章: malperfusionを伴う急性A型解離の治療戦略と早期手術成績. 第70回日本胸部外科学会総会, 札幌;2017年9月
 - 26) 中村 健*, 内田徹郎, 高橋 愛, 中井信吾, 渡邊大介, 林 潤, 山下 淳, 黒田吉則, 浜崎安純, 五味聖吾, 貞弘光章: 高齢者の慢性解離性大動脈瘤に対する包括的治療戦略—積極的な外科的介入は必要か? 80歳以上高齢者最長10年の遠隔的治療成績から— . 第70回日本胸部外科学会総会, 札幌;2017年9月
 - 27) 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 水本雅弘, 山下 淳, 林 潤, 貞弘光章: 胸部大動脈疾患治療のオープンスタントグラフト法における企業製デバイス導入のインパクト. 第70回日本胸部外科学会総会, 札幌;2017年9月
 - 28) 大泉弘幸, 加藤博久, 鈴木 潤, 濱田 颯, 中橋健太, 貞弘光章: 肺切除術時、肺静脈内血栓子発生状況の検討. 第70回日本胸部外科学会総会, 札幌;2017年9月
 - 29) 浜崎安純, 内田徹郎, 黒田吉則, 水本雅弘, 山下 淳, 林 潤, 廣岡秀人, 高橋 愛, 渡邊大介, 赤羽根健太郎, 五味聖吾, 貞弘光章: 性状不良冠動脈に対する冠動脈バイパスの早期遠隔期成績. 第70回日本胸部外科学会総会, 札幌;2017年9月
 - 30) 中村 健*, 内野英明**, 小林龍宏**, 金 哲樹**, 島貫隆夫**, 貞弘光章: 地域中核施設における虚血性心筋症に対する外科治療戦略およびその治療成績. 第70回日本胸部外科学会総会, 札幌;2017年9月 B
 - 31) 鈴木 潤, 大泉弘幸, 加藤博久, 濱田 颯, 中橋健太, 渡會 光, 捧 貴幸, 貞弘光章: 左下葉原発舌区浸潤肺癌に対するExtended Sleeve Lobectomy TypeC. 第58回日本肺癌学会総会, 横浜;2017年10月
 - 32) 風間理郎**, 福澤太一**, 佐藤智行**, 和田 基**, 佐々木英之**, 田中 拡**, 工藤博典**, 中村恵美**, 二科オリエ**, 遠藤悠紀**, 橋本昌俊**, 中村 潤, 林 富**, 仁尾正記**: Non-Syndromic Wilms腫瘍治療後のeGFRの長期的経過についての検討. 第59回日本小児血液・がん学会学術集会, 愛媛;2017年11月 B
 - 33) 加藤博久, 大泉弘幸, 鈴木 潤, 濱田 颯, 中橋健太: 胸腔鏡下肺亜区域間切離における亜区域間同定法の検討. 第30回日本内視鏡外科学会総会, 京都;2017年12月
 - 34) 中橋健太, 大泉弘幸, 金内直樹, 加藤博久, 鈴木 潤, 濱田 颯: 宗教的輸血拒否患者に対して胸腔鏡下肺切除術を施行した4例. 第30回日本内視鏡外科学会総会, 京都;2017年12月
 - 35) 鈴木 潤, 大泉弘幸, 加藤博久, 濱田 颯, 渡會 光, 中橋健太: 当院における内視鏡手術の包括的クオリティコントロールシステムの構築. 第30回日本内視鏡外科学会総会, 京都;2017年12月
 - 36) 阿部尚弘, 大泉弘幸, 加藤博久, 鈴木 潤, 濱田 颯, 渡會 光, 中橋健太: 同時多発肺癌に対する一期的完全胸腔鏡下区域切除術の経験. 第30回日本内視鏡外科学会総会, 京都;2017年12月
 - 37) 浜崎安純, 内田徹郎, 黒田吉則, 水本雅弘, 山下 淳, 林 潤, 廣岡秀人, 石澤 愛, 赤羽根健太郎, 五味聖吾, 貞弘光章: 簡便で有用なシャントチューブ管理法—わか法—. 第31回日本冠疾患学会学術集会, 大阪;2017年12月
 - 38) 石澤 愛, 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 水本雅弘, 山下 淳, 林 潤, 廣岡秀人, 赤羽根健太郎, 五味聖吾, 貞弘光章: Connective tissue disorder症例に対する手術経験. 第48回日本心臓血管外科学

会学術総会, 津;2018年2月

- 39) 林 潤, 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 水本雅弘, 山下 淳, 廣岡秀人, 石澤 愛, 赤羽根健太郎, 五味聖吾, 貞弘光章: 術前の呼吸器合併症予防プロトコールは心臓手術において有効か?. 第48回日本心臓血管外科学会学術総会, 津;2018年2月
- 40) 水本雅弘, 内田徹郎, 五味聖吾, 浜崎安純, 黒田吉則, 山下 淳, 林 潤, 廣岡秀人, 石澤 愛, 赤羽根健太郎, 貞弘光章: TEVARにおけるD-dimer, FDP測定の有用性～瘤拡大, エンドリークマーカー～. 第48回日本心臓血管外科学会学術総会, 津;2018年2月
- 41) 水本雅弘, 内田徹郎, 五味聖吾, 浜崎安純, 黒田吉則, 山下 淳, 林 潤, 廣岡秀人, 石澤 愛, 赤羽根健太郎, 貞弘光章: 大動脈弁狭窄症に合併した左室流出路狭窄～有効なSeptal myectomy指標～. 第48回日本心臓血管外科学会学術総会, 津;2018年2月
- 42) 浜崎安純, 内田徹郎, 黒田吉則, 水本雅弘, 山下 淳, 林 潤, 廣岡秀人, 石澤 愛, 赤羽根健太郎, 五味聖吾, 貞弘光章: 経カテーテル的大動脈弁置換術時代の冠動脈バイパスを同時施行した大動脈弁狭窄の検討. 第48回日本心臓血管外科学会学術総会, 津;2018年2月
- 43) 中村 健**, 内野英明**, 小林龍宏**, 金 哲樹**, 島貫隆夫**, 貞弘光章: 低心機能の虚血性心疾患に対する術後管理の工夫とその成績. 第48回日本心臓血管外科学会学術総会, 津;2018年2月 B

(3) 国内地方会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 大泉弘幸: 呼吸器内視鏡におけるリスクマネージメント. 第174回東北外科集談会, 岩手;2017年9月

ii 一般演題

- 1) 阿部尚弘, 中村 潤, 貞弘光章: 出生前に臍帯嚢胞を認めた尿管管開存症の1例. 第88回日本小児外科学会東北地方会, 仙台;2017年6月
- 2) 中橋健太, 大泉弘幸, 加藤博久, 鈴木 潤, 濱田 颯, 貞弘光章: 左上葉切除以外の静脈切除断端に血栓を形成した2例. 第99回日本胸部外科学会東北地方会, 仙台;2017年6月
- 3) 内山粹葉*, 大泉弘幸, 加藤博久, 鈴木 潤, 濱田 颯, 中橋健太, 貞弘光章: (学生発表)集学的治療を行い完全切除しえたN2肺癌の1例. 第99回日本胸部外科学会東北地方会, 仙台;2017年6月
- 4) 廣岡秀人, 五味聖吾, 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 水本雅弘, 山下 淳, 林 潤, 渡邊大介, 高橋 愛, 赤羽根健太郎, 貞弘光章: 先天性僧帽弁狭窄症の1手術例. 第99回日本胸部外科学会東北地方会, 仙台;2017年6月
- 5) 赤羽根健太郎, 五味聖吾, 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 水本雅弘, 山下 淳, 林 潤, 廣岡秀人, 高橋 愛, 渡邊大介, 貞弘光章: 気管腕頭動脈瘤による出血性ショックに対して、腕頭動脈切除術を施行し、救命し得た1例. 第99回日本胸部外科学会東北地方会, 仙台;2017年6月
- 6) 森 香穂子*, 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 水本雅弘, 山下 淳, 林 潤, 高橋 愛, 渡邊大介, 廣岡秀人, 赤羽根健太郎, 五味聖吾, 貞弘光章: (学生発表)Stanford A型大動脈瘤に対する急性期TEVARの経験. 第31回日本血管外科学会東北地方会, 仙台;2017年6月
- 7) 捧 貴幸, 石山智敏, 神宮 彰, 松本秀一, 菊池二郎, 高須直樹, 山谷英之, 太田英樹: 限局性すりガラス状影を示した大腸癌転移の1例. 第5回日本臨床外科学会 山形県支部会, 山形;2017年6月
- 8) 中橋健太, 大泉弘幸, 加藤博久, 鈴木 潤, 濱田 颯, 渡邊大介, 下川友侑, 貞弘光章: 肺癌術後経過観察中にCEAが季節変動した1例. 第56回日本肺癌学会東北支部会・第43回日本呼吸器内視鏡学会東北支部会, 山形;2017年7月
- 9) 廣岡秀人, 五味聖吾, 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 水本雅弘, 山下 淳, 林 潤, 石澤 愛, 赤羽根健太郎, 貞弘光章: 心室中隔欠損症に合併した右心系感染性心内膜炎により敗血症性肺塞栓症をきたした1小児例. 第100回日本胸部外科学会東北地方会, 盛岡;2017年9月
- 10) 赤羽根健太郎, 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 水本雅弘, 山下 淳, 林 潤, 廣岡秀人, 石澤 愛, 五味聖吾, 貞弘光章: コクサッキーウイルス性心外膜炎による大量の心嚢液貯留を合併した重症大動脈弁狭窄症の1例. 第100回日本胸部外科学会東北地方会, 盛岡;2017年9月
- 11) 水本雅弘, 内田徹郎, 五味聖吾, 浜崎安純, 黒田吉則, 山下 淳, 林 潤, 廣岡秀人, 石澤 愛, 赤羽根健太郎, 貞弘光章: 腹部大動脈人工血管により真腔確保したB型急性大動脈瘤に対する緊急TEVARの1例. 第32回日本血管外科学会東北地方会, 盛岡;2017年9月

- 12) 林 潤, 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 水本雅弘, 山下 淳, 廣岡秀人, 石澤 愛, 赤羽根健太郎, 五味聖吾, 貞弘光章: Debranch TEVAR 中の意図しないプラグ留置を気管支鏡用カテーテルでレスキューした1例. 第32回日本血管外科学会東北地方会, 盛岡;2017年9月
- 13) 阿部尚弘, 中村 潤, 貞弘光章: 保存的治療を行った外傷性脾損傷Ⅲbの一例. 第89回日本小児外科学会東北地方会, 盛岡;2017年9月
- 14) 中橋健太, 大泉弘幸, 加藤博久, 鈴木 潤, 濱田 颯, 貞弘光章: 難治性肺癰に対し、局所麻酔下胸腔鏡下肺癰閉鎖術が有用であった1例. 第100回日本胸部外科学会東北地方会, 盛岡;2017年9月

(4) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 大泉弘幸: 手術合併症の予防とリカバリーショットー安全な胸腔鏡手術を行うためにー. 第3回桜山胸腔鏡手術手技研究会, 名古屋;2017年4月
- 2) 内田徹郎: 大動脈弁狭窄症に対する外科治療の現況. 第207回三郡市医師会合同学術講演会, 天童;2017年5月
- 3) 大泉弘幸: 安全セミナー2. 第12回呼吸器外科胸腔鏡教育セミナー, 川崎;2017年7月
- 4) 大泉弘幸: 呼吸器外科手術におけるMDCT活用の現状. 第23回東北胸部放射線研究会, 山形;2017年7月
- 5) Hiroyuki Oizumi: Thoracoscopic anatomic lung segmentectomy. Lecture in the Second Affiliated Hospital Zhejiang University School of Medicine, Hangzhou, China; September 2017
- 6) 貞弘光章: 心臓血管外科のチャレンジとモチベーション. 第4回東部地区循環器懇話会, 石巻;2017年9月
- 7) 貞弘光章: 心臓血管外科へのモチベーションとインセンティブ. 第29回北海道MMC研究会, 札幌;2017年9月
- 8) 貞弘光章: 外科医療へのモチベーションとインセンティブ. 第16回宮崎消化器癌治療研究会, 宮崎;2017年12月
- 9) Sadahiro M: Innovation in Surgery; Clinical application of Image-Overlay Assist to Cardiovascular Surgery. Asia Pacific Advanced Heart Failure Form, Hong Kong, China; December 2017
- 10) 大泉弘幸: 3D画像を活用した肺縮小手術計画および実際. 富士フィルムメディカルセミナー, 仙台;2017年12月

ii 一般演題

- 1) 濱田 颯, 大泉弘幸, 加藤博久, 鈴木 潤, 渡會 光, 中橋健太, 貞弘光章: Precision Cautery Excision 法変法を用いた胸腔鏡下肺部分切除の一例. 第28回内視鏡外科フォーラム東北, 山形;2017年4月
- 2) 深見朋世*, 大泉弘幸, 加藤博久, 鈴木 潤, 濱田 颯, 阿部尚弘, 中橋健太, 貞弘光章: (学生発表) 肺癌との鑑別を要した nodular lymphoid hyperplasia に対して胸腔鏡下複合亜区域切除を施行した一例. 第28回内視鏡外科フォーラム東北, 山形;2017年4月
- 3) 鈴木 潤, 大泉弘幸, 加藤博久, 濱田 颯, 阿部尚弘, 欠畑誠治*, 牧野直彦*, 蜂谷 修*, 木村 理*: 内視鏡手術における包括的クオリティコントロールシステムの構築. 第28回内視鏡外科フォーラム東北, 山形;2017年4月
- 4) 阿部尚弘, 大泉弘幸, 加藤博久, 鈴木 潤, 濱田 颯, 渡會 光, 貞弘光章: 胸腔鏡下複合区域切除を施行した同時多発肺癌の一例. 第28回内視鏡外科フォーラム東北, 山形;2017年4月
- 5) 鈴木 潤, 大泉弘幸, 加藤博久, 濱田 颯, 渡會 光, 貞弘光章: 術後管理に難渋した術中両側迷走神経切断の1例. 第27回三地区合同肺癌・呼吸器疾患研究会, 鶴岡;2017年4月
- 6) 浜崎安純, 内田徹郎, 黒田吉則, 水本雅弘, 山下 淳, 林 潤, 廣岡秀人, 高橋 愛, 渡邊大介, 赤羽根健太郎, 貞弘光章: 循環器科医に知っておいいていただきたいno touch SVG. 第45回山形冠疾患治療検討会, 山形;2017年5月
- 7) 加藤博久, 大泉弘幸, 鈴木 潤, 濱田 颯, 中橋健太, 貞弘光章: 非結核性抗酸菌症に対する手術例の検討. 第19回東北抗酸菌研究会, 仙台;2017年6月
- 8) 下川友侑, 濱田 颯, 大泉弘幸, 加藤博久, 鈴木 潤, 渡邊大介, 中橋健太, 貞弘光章: 術前の擦過細胞診で肺腺癌と診断された炎症性病変の一切除例. 第49回山形肺癌懇話会, 山形;2017年6月
- 9) 内田徹郎: 地域大学病院におけるMICS-AVRの標準化. 第5回東北心臓血管外科セミナー, 仙台;2017年

6月

- 10) 濱田 颯：呼吸器外科手術におけるスピオルトの有用性。COPD Meet The Expert in YAMAGATA, 山形;2017年6月
- 11) 高橋 愛：閉塞性動脈硬化症以外の膝窩動脈病変に対する外科治療経験。第9回山形PAD・心不全研究会, 山形;2017年6月
- 12) 加藤博久, 大泉弘幸, 鈴木 潤, 濱田 颯, 中橋健太, 貞弘光章：胸腔鏡下肺区域・亜区域切除術—肺門側区域間処理について—。第12回東北呼吸器外科手術手技研究会, 仙台;2017年7月
- 13) 濱田 颯, 大泉弘幸, 加藤博久, 鈴木 潤, 中橋健太, 貞弘光章：気管支内に突出した肺過誤腫に対して胸腔鏡下左S10a亜区域切除気管支形成を施行した一例。第21回山形内視鏡外科研究会学術集会, 山形;2017年8月
- 14) 石澤 愛, 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 水本雅弘, 山下 淳, 林 潤, 廣岡秀人, 赤羽根健太郎, 五味聖吾, 貞弘光章：心臓血管外科領域におけるcadaverを用いたoff the job trainingの有用性。第23回山形心臓外科懇話会, 山形;2017年7月
- 15) 廣岡秀人, 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 水本雅弘, 山下 淳, 林 潤, 石澤 愛, 赤羽根健太郎, 五味聖吾, 貞弘光章：先天性僧帽弁狭窄症の1手術例。第23回山形心臓外科懇話会, 山形;2017年7月
- 16) 大場栄一, 内田徹郎, 山下 淳, 五味聖吾, 浜崎安純, 黒田吉則, 水本雅弘, 林 潤, 高橋 愛, 貞弘光章：Endurant IIs-EVARにおいて同側ゲートへの対側脚展開となった1例。第21回大動脈ステントグラフト研究会, 奈良;2017年7月
- 17) 鈴木 潤, 大泉弘幸, 加藤博久, 渡會 光, 濱田 颯, 捧 貴幸, 貞弘光章：胸骨及び無名静脈浸潤を伴った重症筋無力症合併浸潤性胸腺腫の一切除例の考察。第12回山形呼吸器外科研究会, 山形;2017年10月
- 18) 内田徹郎：弁輪部膿瘍を伴った大動脈弁位感染性心内膜炎に対するステントレス生体弁を用いた弁置換術。第27回東北心臓血管外科手術手技研究会, 仙台;2017年10月
- 19) 赤羽根健太郎, 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 水本雅弘, 山下 淳, 林 潤, 廣岡秀人, 石澤 愛, 五味聖吾, 貞弘光章：Kommerell憩室と大動脈弁狭窄症に対する一期的ハイブリット手術。第28回山形血管疾患研究会, 山形;2017年11月
- 20) 鈴木 潤, 大泉弘幸, 加藤博久, 濱田 颯, 中橋健太, 捧 貴幸, 貞弘光章：ステントグラフト内挿術後に左上葉切除術を行った大動脈浸潤肺癌の一例。第5回山形胸腔鏡手術手技懇話会, 山形;2017年11月
- 21) 浜崎安純, 内田徹郎, 貞弘光章：虚血性心疾患に対する左室形成の近況。第46回山形冠疾患治療検討会, 山形;2017年11月
- 26) 加藤博久, 大泉弘幸, 鈴木 潤, 濱田 颯, 中橋健太, 捧 貴幸, 貞弘光章：局在同定不能病変に対する胸腔鏡下肺区域切除術。第17回呼吸器胸腔鏡手術研究会例会, 京都;2017年12月
- 27) 内田徹郎：弁膜治療～私が経験した難渋症例～。Cardiovascular Surgery Conference, 仙台;2018年1月
- 28) 捧 貴幸, 大泉弘幸, 加藤博久, 鈴木 潤, 濱田 颯, 中橋健太, 貞弘光章：進行肺癌に対しCRT後, サルベージ区域切除術を施行した1例。第34回東北肺癌研究談話会, 仙台;2018年2月
- 29) 赤羽根健太郎, 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 水本雅弘, 山下 淳, 廣岡秀人, 石澤 愛, 五味聖吾, 貞弘光章：僧帽弁置換術後、非閉塞性腸管虚血を発症し、救命し得た透析患者の1例。第25回山形周術期病態研究会, 山形;2018年2月
- 30) 黒田吉則, 内田徹郎, 浜崎安純, 水本雅弘, 山下 淳, 廣岡秀人, 石澤 愛, 赤羽根健太郎, 五味聖吾, 貞弘光章：妊娠中に発症した急性A型大動脈解離の1例。第25回山形周術期病態研究会, 山形;2018年2月
- 31) 藤井 隆*, 鈴木康太*, 高橋辰徳*, 安孫子雅之*, 小田切徹州*, 三井哲夫*, 五味聖吾, 貞弘光章：孤立性左鎖骨下動脈症の一例。第20回山形心エコー図研究会, 山形;2018年2月
- 32) 石澤 愛, 内田徹郎, 浜崎安純, 黒田吉則, 水本雅弘, 山下 淳, 廣岡秀人, 赤羽根健太郎, 五味聖吾, 貞弘光章：弁輪部膿瘍を伴った大動脈弁位感染性心内膜炎に対するステントレス生体弁による弁置換術。第20回山形心エコー図研究会, 山形;2018年2月
- 33) 内田徹郎：大動脈解離に対する追加治療～Distal SINE～。東北解離の会, 仙台;2018年3月
- 34) 簡野美弥子*, 川崎 基*, 川崎直末*, 上村雄太*, 目黒 亨*, 佐藤裕子*, 石垣隆介*, 小田切徹州*, 安孫

子雅之*, 鈴木康太*, 藤井 隆*, 三井哲夫*, 阿部尚弘, 加藤博久, 中村 潤, 大泉弘幸, 貞弘光章, 豊口裕樹*, 渡會文果*, 根本建二*: 胸水を契機に発見された右胸腔内血管系腫瘍の新生児例. 第40回東北小児がん研究会, 仙台;2018年3月

(5) 座 長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 内田徹郎:特別講演 慶応義塾大学医学部 放射線診断科 井上政則先生『心臓血管外科専門医への道』血管内治療における被曝およびガイドワイヤー操作の基礎. 第25回日本血管外科学会教育セミナー, 広島;2017年4月
- 2) 貞弘光章:特別講演 旭川医科大学 外科学講座 血管外科学分野 教授 東 信良先生「重症下肢虚血に対する治療戦略」. 第9回山形PAD・心不全研究会, 山形;2017年6月
- 3) 貞弘光章:特別講演 京都府立医科大学大学院医学研究科 心臓血管外科学 教授 夜久 均先生「僧帽弁形成術:Early Surgery時代におけるピットフォール」. 第23回山形心臓外科懇話会, 山形;2017年7月
- 4) 内田徹郎:基調講演 山形大学医学部附属病院 第一内科 助教 高橋 大先生「外科内科でハイブリット治療した患者さんはFHでした」. 第23回山形心臓外科懇話会, 山形;2017年7月
- 5) 貞弘光章:東海大学医学部専門診療学系 漢方医学 講師 中田佳延先生「抹消循環障害と冷えと漢方治療」. 第20回山形大学漢方実践講座, 山形;2017年9月
- 6) 貞弘光章:特別講演 東京医科大学 心臓血管外科 主任教授 荻野 均先生「時代と共に変わる?心臓血管外科手術」. 山形循環器呼吸器・麻酔・集中治療研究会2017, 山形;2017年10月
- 7) 大泉弘幸:特別講演I 国立がん研究センター 免疫トランスレーショナルリサーチ分野 富樫庸介先生「EGFR 遺伝子変異の基礎」. CHEST CONFERENCE In YAMAGATA, 山形;2017年10月
- 8) 貞弘光章:特別講演 関西医科大学附属病院 血管外科 診療教授 善甫宣哉先生「B型大動脈解離の治療:TEVARによるパラダイムチェンジ」. 第28回山形血管疾患研究会, 山形;2017年11月
- 9) 内田徹郎:基調講演 山形済生病院 心臓血管外科 廣岡茂樹先生「下肢静脈瘤治療の現在」. 第28回山形血管疾患研究会, 山形;2017年11月
- 10) 大泉弘幸:特別講演 虎の門病院 河野 匡先生「胸腔鏡手術のリスクマネジメント」. 第5回山形胸腔鏡手術手技懇話会, 山形;2017年11月
- 11) 大泉弘幸:試行錯誤の術式開発・社会の役に立っているのか?. 第5回山形胸腔鏡手術手技懇話会, 山形;2017年11月
- 12) (総合司会)貞弘光章:招待講演 地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 理事長 八木原俊克先生「心臓血管外科医の心構え」. 第2回山形県心臓血管外科 Specialist Seminar, 山形;2017年12月
- 13) 内田徹郎:招待講演 地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 理事長 八木原俊克先生「心臓血管外科医の心構え」. 第2回山形県心臓血管外科 Specialist Seminar, 山形;2017年12月
- 14) 内田徹郎:特別講演1 みどり病院 弁膜症センター 岡田行功先生「僧帽弁/三尖弁の治療戦略～診断、適応、手術手技～」. Cardiovascular Surgery Conference, 仙台;2018年1月
- 15) 貞弘光章:特別講演 東京女子医科大学 心臓血管外科学講座 教授・講座主任 新浪博士先生「心臓血管外科領域における凝固異常～播種性血管内凝固症候群を中心に～」. 第25回山形周術期病態研究会, 山形;2018年2月
- 16) 中村 潤:特別講演 慶応義塾大学医学部 外科学(小児) 教授 黒田達夫先生「肺細胞腫瘍治療の問題点と国際共同臨床試験」. 第40回東北小児がん研究会, 仙台;2018年3月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 貞弘光章:ビデオシンポジウム5. 第45回日本血管外科学会総会, 広島;2017年4月
- 2) 貞弘光章:会長要望演題. 第70回日本胸部外科学会総会, 札幌;2017年9月
- 3) 大泉弘幸:Surgical Technique Session (Lung 2) 区域切除. 第70回日本胸部外科学会総会, 札幌;2017年9月
- 4) 大泉弘幸:ビデオ 胸腔鏡手術. 第58回日本肺癌学会総会, 横浜;2017年10月
- 5) 大泉弘幸:パネルディスカッション23 難治性気胸に対する治療戦略. 第79回日本臨床外科学会総会, 東京;2017年11月
- 6) 貞弘光章:卒後教育セミナー. 第48回日本心臓血管外科学会学術総会, 津;2018年2月

- 7) 貞弘光章：会長要望演題 13. 第 48 回日本心臓血管外科学会学術総会，津；2018 年 2 月
- 8) 内田徹郎：会長要望演題 14. 第 48 回日本心臓血管外科学会学術総会，津；2018 年 2 月

iii 一般演題

- 1) Sadahiro M: Oral presentation I. The 10th Korea-Japan joint meeting for vascular surgery, Busan, Korea; April 2017
- 2) Sadahiro M: Concurrent Session I. Asia Pacific Advanced Heart Failure Form, Hong Kong, China; December 2017
- 3) 中村 潤：ポスターセッション 47 腫瘍⑧. 第 54 回日本小児外科学会総会，仙台；2017 年 5 月
- 4) 大泉弘幸：画像支援と手術. 第 34 回日本呼吸器外科学会総会，福岡；2017 年 5 月
- 5) 中村 潤：小児外科 1. 第 88 回日本小児外科学会東北地方会，仙台；2017 年 6 月
- 6) 大泉弘幸：肺野末梢病変の診断. 第 40 回日本呼吸器内視鏡学会総会，長崎；2017 年 6 月
- 7) 貞弘光章：一般演題 4. 第 37 回日本静脈学会総会，徳島；2017 年 6 月
- 8) 貞弘光章：一般演題口演 11. 第 22 回日本冠動脈外科学会学術大会，豊中；2017 年 7 月
- 9) 大泉弘幸：企業共催セミナー. 第 56 回日本肺癌学会東北支部会・第 43 回日本呼吸器内視鏡学会東北支部会，山形；2017 年 7 月
- 10) 加藤博久：一般演題. 第 21 回山形内視鏡外科研究会，山形；2017 年 8 月
- 11) 浜崎安純：血管 1. 第 32 回日本血管外科学会東北地方会，岩手；2017 年 9 月
- 12) 大泉弘幸：呼吸器 16 縮小手術. 第 70 回日本胸部外科学会総会，札幌；2017 年 9 月
- 13) 貞弘光章：Concurrent Session I. Asia Pacific Advanced Heart Failure Form, Hong Kong, China; December 2017
- 14) 濱田 顕：一般演題 Session1. 第 27 回三地区合同肺癌・呼吸器疾患研究会，鶴岡；2017 年 4 月
- 15) 鈴木 潤：一般演題. 第 49 回山形肺癌懇話会，山形；2017 年 6 月
- 16) 貞弘光章：一般演題. 第 5 回東北心臓血管外科セミナー，仙台；2017 年 6 月
- 17) 水本雅弘：一般講演. 第 9 回山形 PAD・心不全研究会，山形；2017 年 6 月
- 18) 鈴木 潤：一般演題. 第 12 回山形呼吸器外科研究会，山形；2017 年 10 月
- 19) 内田徹郎：一般演題. 第 28 回山形血管疾患研究会，山形；2017 年 11 月
- 20) 貞弘光章：心臓 1. 第 32 回心臓血管外科ウィンターセミナー学術集会，岩手；2018 年 1 月
- 21) 水本雅弘：Session II. 第 25 回山形周術期病態研究会，山形；2018 年 2 月
- 22) 浜崎安純：大血管. 第 48 回日本心臓血管外科学会学術総会，津；2018 年 2 月
- 23) 山下 淳：ポスターセッション 58. 第 48 回日本心臓血管外科学会学術総会，津；2018 年 2 月
- 24) 中村 潤：一般演題 (2). 第 29 回東北肝胆膵消化管研究会，仙台；2018 年 3 月

3. 学会，講演会，シンポジウム，ワークショップ等の開催

- 1) 大泉弘幸：(当番世話人) 第 28 回内視鏡外科フォーラム東北 in 山形，山形；2017 年 4 月
- 2) 大泉弘幸：(会長) 第 56 回日本肺癌学会東北支部会・第 43 回日本呼吸器内視鏡学会東北支部会，山形；2017 年 7 月

脳神経外科学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) 小久保安昭, 近藤礼**, 佐藤慎哉, 園田順彦, 久保田功*, 加藤丈夫*, 嘉山孝正: 山形県の基幹病院における急性期虚血性脳卒中患者の頸動脈病変の特徴～頸動脈エコーと3DCT angiographyからの検討～. 脳卒中. 2017; 39(2): 113-118

(2) 症例報告

- 1) Mano Y**, Kanamori M**, Kumabe T**, Saito R**, Watanabe M**, Sonoda Y, Tominaga T**: Extremely Late Recurrence 21 Years after Total Removal of Immature Teratoma: A Case Report and Literature Review. Neurol Med Chir (Tokyo). 2017; 57(1): 51-56
- 2) 矢尾板亮, 伊藤美以子, 松田憲一郎, 小久保安昭, 佐藤慎哉, 園田順彦: 妊娠後期にmass effectで発症したリンパ球性下垂体前葉炎の1例. Neurological Surgery. 2017; 45(2): 161-165
- 3) 板垣寛, 小久保安昭, 山田裕樹, 佐藤慎哉, 園田順彦: くも膜下出血にて発症した両側椎骨動脈解離の2例. 脳卒中の外科. 2017; 45: 141-147

(3) 著書

- 1) 小久保安昭, 園田順彦: 前交通運動脈瘤: Interhemispheric approachによるクリッピング. 木内博之編集, プライム脳神経外科1 脳動脈瘤. 東京; 三輪書店, 2017: 160-164

(4) その他

- 1) 園田順彦: 山形の地に着任して. 良陵同窓会会誌. 2017; 15: 25-28

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 板垣寛, 小久保安昭, 笹生香菜子, 佐藤慎治, 山田裕樹, 園田順彦: MRI ASL(Arterial Spin Labeling)による脳循環評価の有用性. 第40回日本脳神経CI学会総会, 鹿児島; 2017年3月
- 2) 松田憲一郎, 櫻田香, 小久保安昭, 佐藤慎哉, 園田順彦: 5-ALAと術中MRIを用いた悪性神経膠腫手術における摘出率の検討. 第17回日本術中画像情報学会, 鹿児島; 2017年3月

ii 一般演題

- 1) 水戸部祐太, 齋藤佑規**, 菊地善彰**, 竹村直**, 園田順彦: 脳梗塞に起因したParoxysmal Sympathetic HyperactivityにITBが有用であった1症例. 第56回日本定位・機能脳神経外科学会, 大阪; 2017年1月
- 2) 伊藤美以子, 松田憲一郎, 佐藤慎哉, 園田順彦: 当科における内視鏡導入後のラトケ嚢胞の治療経験. 第27回日本間脳下垂体腫瘍学会, 東京; 2017年2月
- 3) 佐藤慎治, 近藤礼**, 山木哲**, 毛利渉**, 齋藤元太**, 齋藤伸二郎**, 園田順彦: 左椎骨動脈起始部および鎖骨下動脈近位部狭窄の一例. 第35回日本脳神経血管内治療学会, 仙台; 2017年2月
- 4) 山木哲**, 近藤礼**, 毛利渉**, 齋藤元太**, 齋藤伸二郎**, 園田順彦, 嘉山孝正: 直視下頸動脈直接穿刺における吸収性局所止血剤Flosealの有用性. 第35回日本脳神経血管内治療学会, 仙台; 2017年2月
- 5) 小久保安昭, 笹生香菜子, 板垣寛, 佐藤慎治, 山田裕樹, 佐藤慎哉, 園田順彦: RNF213変異陽性のもやもや病及び頭蓋内主幹動脈狭窄症例の特徴. 第42回日本脳卒中学会学術集会, 大阪; 2017年3月
- 6) 毛利渉**, 近藤礼**, 山木哲**, 齋藤伸二郎**, 園田順彦: 視床出血に対する内視鏡的経脳室アプローチ. 第42回日本脳卒中学会学術総会, 大阪; 2017年3月
- 7) 山田裕樹, 小久保安昭, 笹生香菜子, 板垣寛, 佐藤慎治, 園田順彦: QSPECT-DTARGによる脳循環評価の留意点-¹⁵O-PETによる検証-. 第42回日本脳卒中学会学術集会, 大阪; 2017年3月
- 8) 板垣寛, 小久保安昭, 笹生香菜子, 佐藤慎治, 山田裕樹, 園田順彦: 虚血性脳血管障害における

multi-post labeling delay MRI ASL-CBF の pitfall と有用性～150-PET による検証～. 第 42 回日本脳卒中学会学術集会, 大阪; 2017 年 3 月

- 9) 笹生香菜子, 小久保安昭, 板垣寛, 佐藤慎治, 山田裕樹, 園田順彦: 虚血性脳血管障害患者における頭部拳上時の脳組織酸素飽和度への影響 - INVOS を用いた検討 -. 第 42 回日本脳卒中学会学術集会, 大阪; 2017 年 3 月
- 10) 小久保安昭, 笹生香菜子, 板垣寛, 佐藤慎治, 山田裕樹, 園田順彦: 頸動脈内膜剥離術(CEA)後の(内膜中膜複合体) IMC の再生過程. 第 46 回日本脳卒中の外科学会学術集会, 大阪; 2017 年 3 月
- 11) 齋藤佑規*, 水戸部祐太, 菊地善彰*, 竹村直**, 園田順彦: 脳卒中後重度痙性片麻痺に対して ITB 療法により歩行状態の改善が得られた 2 症例の経験. 第 42 回日本脳卒中学会学術総会, 大阪; 2017 年 3 月
- 12) 佐藤慎治, 笹生香菜子, 小久保安昭, 板垣寛, 山田裕樹, 園田順彦: Hybrid 手術室での造影剤抹消静脈投与による Dyna CT が術後シャント消失の確認に有用であった頸髄 dAVF の一例. 第 46 回日本脳卒中の外科学会学術集会, 大阪; 2017 年 3 月
- 13) 山木哲**, 近藤礼**, 毛利渉**, 齋藤元太**, 齋藤伸二郎**, 園田順彦: 急性期抗血小板薬 2 剤併用療法における進行性脳卒中の頻度と急性期転帰. 第 42 回日本脳卒中学会学術総会, 大阪; 2017 年 3 月
- 14) 水戸部祐太, 齋藤佑規**, 菊地善彰**, 竹村直**, 園田順彦: 脳梗塞に起因した Paroxysmal Sympathetic Hyperactivity に ITB が有効であった 1 症例. 第 42 回日本脳卒中学会学術総会, 大阪; 2017 年 3 月

(2) 国内地方会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 近藤礼, 佐藤慎治, 園田順彦: 山形県における脳神経血管内治療の現状. 第 35 回日本脳神経血管内治療学会東北地方会, 仙台; 2017 年 2 月

ii 一般演題

- 1) 佐藤慎治, 近藤礼, 山木哲, 毛利渉, 齋藤元太, 齋藤伸二郎, 園田順彦: 左椎骨動脈起始部および鎖骨下動脈近位部狭窄の一例. 第 35 回日本脳神経血管内治療学会東北地方会, 仙台; 2017 年 2 月
- 2) 山木哲, 近藤礼, 毛利渉, 齋藤元太, 齋藤伸二郎, 園田順彦, 嘉山孝正: 直視下頸動脈直接穿刺における吸収性局所止血剤 Floseal の有用性. 第 35 回日本脳神経血管内治療学会東北地方会, 仙台; 2017 年 2 月

(3) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 園田順彦: グリオーマの再発形式と局所治療. Malignant Glioma Expert Meeting, 福岡; 2017 年 3 月
- 2) 佐藤慎哉: 転移性脳腫瘍に関する大規模治験 (JCOG study). 第 67 回弘前癌治療懇話会, 弘前; 2017 年 2 月

ii 一般演題

- 1) 毛利渉, 近藤礼, 山木哲, 齋藤元太, 齋藤伸二郎, 嘉山孝正, 園田順彦: 鋳型上 IVH を伴った重症 SAH に対するハイブリット治療. 第 84 回山形脳神経外科懇話会, 山形; 2017 年 1 月
- 2) 笹生香菜子, 小久保安昭, 板垣寛, 佐藤慎治, 山田裕樹, 佐藤慎哉, 嘉山孝正, 園田順彦: クリッピング困難な M1 脳動脈瘤に対する flow alteration treatment に Hybrid OR が有用であった 1 手術例. 第 84 回山形脳神経外科懇話会, 山形; 2017 年 1 月
- 3) 山田裕樹, 板垣寛, 小久保安昭, 佐藤慎哉, 嘉山孝正, 園田順彦: iNPH 手術症例における脳循環代謝と術後機能改善—¹⁵O-PET を用いた検討—. 第 28 回山形認知症研究会, 山形; 2017 年 3 月

(4) 座 長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 園田順彦: 頸部頸動脈血行再建術とニューロサイエンス. 第 84 回山形脳神経外科懇話会, 山形; 2017 年 1 月
- 2) 小久保安昭: がんと血栓症—重要性を増す Onco-cardiology と静脈血栓塞栓症治療—. Thrombosis Expert Seminer in Yamagata, 山形; 2017 年 2 月
- 3) 小久保安昭: 実例から学ぶ心房細動マネージメント. Thrombosis Expert Seminer in Yamagata, 山形; 2017 年 2 月

ii 一般演題

- 1) 近藤礼: 頸動脈病変 CEA(1). 第 42 回日本脳卒中の外科学会学術総会, 大阪; 2017 年 3 月

2) 小久保安昭：頸動脈病変 CEA(2)．第42回日本脳卒中学会学術総会，大阪；2017年3月

(5) その他

1) 松田憲一朗：医薬品の適正使用に関わる医学薬学的知識向上について．大塚製薬社内勉強会，山形；2017年1月

3. 学会，講演会，シンポジウム，ワークショップ等の開催

1) 第84回山形脳神経外科懇話会，山形；2017年1月

2) 第28回山形認知症研究会，山形；2017年3月

3) 第50回東北脳腫瘍研究会，仙台；2017年3月

脳神経外科学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Ogita S**, Endo T**, Sugiyama S**, Saito R**, Inoue T**, Sumiyoshi A**, Nonaka H**, Kawashima R**, Sonoda Y, Tominaga T** : Convection-enhanced delivery of a hydrophilic nitrosourea ameliorates deficits and suppresses tumor growth in experimental spinal cord glioma models. *Acta Neurochir (Wien)*. 2017 May; 159: 939-946 B
- 2) Funiu H, Matsuda K, Sakurada K, Kokubo K, Sato S, Sonoda Y, Kayama T: A novel method for evaluating the visual field using magnetoencephalography : A simple objective method using the P100m latency and magnetic moment. *山形大学紀要*. 2017; 35(2): 39-48
- 3) Hanihara M**, Sato S**, Shibahara I**, Saito R**, Kanamori M**, Sonoda Y, Kinouchi H**, Tominaga T**, Kumabe T** : Intraoperative Visualization of Subependymal Arteries at the Atrium Supplying the Descending Motor Pathway. *World Neurosurg*. 2017 May; 101: 296-303 B
- 4) Saito R**, Kumabe T**, Kanamori M**, Sonoda Y, Tominaga T** : Distant recurrences limit the survival of patients with thalamic high-grade gliomas after successful resection. *Neurosurg Rev*. 2017 Jul; 40: 469-477
- 5) Sonoda Y, Shibahara I**, Matsuda K, Saito R**, Kawataki T**, Oda M**, Sato Y**, Sadahiro H*, Nomura S**, Sasajima T**, Beppu T**, Kanamori M**, Sakurada K**, Kumabe T**, Tominaga T**, Kinouchi H**, Shimizu H**, Ogasawara K**, Suzuki M** : Opening the ventricle during surgery diminishes survival among patients with newly diagnosed glioblastoma treated with carmustine wafers: a multi-center retrospective study. *J Neurooncol*. 2017 Aug; 134: 83-88 B
- 6) Ito M, Kuge A, Matsuda K, Sato S, Kayama T, Sonoda Y : The Likelihood of Remnant Nonfunctioning Pituitary Adenomas Shrinking Is Associated with the Lesion's Blood Supply Pattern. *World Neurosurg*. 2017 Nov; 107: 137-141
- 7) Nakata S**, Nobusawa S**, Hirose T**, Ito S**, Inoshita N**, Ichi S**, Amatya VJ**, Takeshima Y**, Sugiyama K**, Sonoda Y, Haga H**, Hirato J**, Nakazato Y**, Yokoo H** : Sellar Atypical Teratoid/Rhabdoid Tumor (AT/RT): A Clinicopathologically and Genetically Distinct Variant of AT/RT. *Am J Surg Pathol*. 2017 Jul; 41: 932-940
- 8) Shibahara I**, Sonoda Y, Suzuki H**, Mayama A**, Kanamori M**, Saito R**, Suzuki Y**, Mashiyama S**, Uenohara H**, Watanabe M**, Kumabe T**, Tominaga T** : Glioblastoma in neurofibromatosis 1 patients without IDH1, BRAF V600E, and TERT promoter mutations. *Brain Tumor Pathol*. 2018 Jan; 35(1): 10-18
- 9) Haryu S**, Saito R**, Jia W**, Shoji T**, Mano Y**, Sato A**, Kanamori M**, Sonoda Y, Sampetean O**, Saya H**, Tominaga T** : Convection-enhanced delivery of sulfasalazine prolongs survival in a glioma stem cell brain tumor model. *J Neurooncol*. 2018 Jan; 136(1): 23-31
- 10) Kanoto M*, Kirii K*, Hiraka T*, Toyoguchi Y*, Sugai Y*, Matsuda K, Sakurada K, Sonoda Y, Hatazawa J**, Hosoya T** : Correlation between hypoxic area in primary brain tumors and WHO grade: differentiation from malignancy using 18F-fluoromisonidazole positron emission tomography. *Acta Radiol*. 2018 Feb; 59(2): 229-235
- 11) 板垣寛, 小久保安昭, 笹生香菜子, 佐藤慎治, 山田裕樹, 佐藤慎哉, 園田順彦: ¹⁵O-PET との比較からみた MRI ASL (arterial spin labeling) における multiphase PLD (post labeling delay) の重要性. *脳循環代謝*. 2017; 28: 273-279

(2) 総説及び解説

- 1) 園田順彦: 膠芽腫の局所治療と再発パターンの解析. *Neuro-Oncologyの進歩*. 2017; 24: 1-6
- 2) 園田順彦: 【悪性脳腫瘍】改訂 WHO 中枢神経系腫瘍分類第4版の要点. *脳神経外科ジャーナル*. 2017; 26: 644-649

(3) 症例報告

- 1) 佐藤慎治, 小久保安昭, 川並香菜子, 板垣寛, 山田裕樹, 佐藤慎哉, 園田順彦: Hybrid 手術室における造影剤末梢静脈投与 Cone beam CT が術中 Shunt 消失判定に有用であった頸髄硬膜動静脈瘻の1例. 脳神経外科速報. 2017; 27(11): 1193-1198
- 2) 矢尾板亮, 松田憲一郎, 山木哲, 園田順彦: 術後尿閉を呈した第四脳室腫瘍の1手術例. 脳神経外科速報. 2017; 27(11): 1199-1203
- 3) 笹生香菜子, 小久保安昭, 板垣寛, 佐藤慎治, 山田裕樹, 佐藤慎哉, 園田順彦: 血行再建術で消失した立位誘発脳虚血発作が near-infrared spectroscopy による脳組織酸素飽和度の変化で証明されたモヤモヤ病の1例. 脳卒中. 2018; 40(2): 91-95

(4) 著書

- 1) 園田順彦, 杉田保雄*: 多形黄色星細胞腫 退形成性多形黄色星細胞腫. 日本脳腫瘍病理学会編集, 若林俊彦, 洪井壮一郎, 廣瀬隆則, 小森隆司 編集委員, 脳腫瘍臨床病理カラーアトラス 第4版. 東京; 医学書院, 2017: 52-54
- 2) 園田順彦, 荒木亜寿香*, 廣瀬隆則*: 血管芽腫. 日本脳腫瘍病理学会編集, 若林俊彦, 洪井壮一郎, 廣瀬隆則, 小森隆司 編集委員, 脳腫瘍臨床病理カラーアトラス 第4版. 東京; 医学書院, 2017: 137-138

(5) その他

- 1) 園田順彦: 織田信長と人間五十年. 脳神経外科. 2017; 45(5): 381-382
- 2) 園田順彦: 研究室訪問 最先端技術を駆使して脳腫瘍の治療に挑む. 山形大学2017 大学案内. 2017: 39
- 3) 園田順彦: 病院の実力～山形編110 脳腫瘍 小児専門機関で治療を. 読売新聞. 2017. 4. 2; 50722: 27
- 4) 羽田幸里香, 亀田亘, 石井康大, 高瀬薫, 多田杏子, 渡邊健太郎, 諏佐真治, 大泉俊英, 石澤賢一, 加藤丈夫, 伊藤美以子, 園田順彦: 手術治療を受けたアクロメガリーが将来にGHDとなる可能性を示唆する内分沁学検査についての検討. 日本内沁学会雑誌. 2017; 93(1): 315
- 5) 亀田亘, 石井康大, 羽田幸里香, 高瀬薫, 多田杏子, 渡邊健太郎, 諏佐真治, 大泉俊英, 伊藤美以子, 園田順彦, 石澤賢一, 加藤丈夫: アクロメガリーの診断におけるTRH 負荷、LHRH 負荷、CRH 負荷での奇異性反応と糖負荷試験との比較 一長期観察での考察一. 日本内沁学会誌. 2017; 93(1): 275
- 6) 松田憲一郎, 櫻田香, 小久保安昭, 佐藤慎哉, 山川光徳, 園田順彦: WHO2016 改訂分類に基づくOA、AOAの再検討. Brain Tumor Pathology. 2017; 34 Suppl: 118

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 一般演題

- 1) Sonoda Y, Shibahara I**, Matsuda K, Saito R**, Kawataki T**, Oda M**, Sato Y**, Sadahiro H**, Nomura S**, Sasajima T**, Beppu T**, Kanamori M**, Sakurada K, Kumabe T**, Tominaga T**, Kinouchi H**, Shimizu H**, Ogasawara K**, Suzuki S**: Opening the ventricle during surgery is associated with survival among patients with newly diagnosed glioblastoma treated with carmustine wafers: a multi-center retrospective study. 5th Quadrennial Meeting of the World Federation of Neuro-Oncology Societies, Zurich, Switzerland; May, 2017 B
- 2) Mitobe Y, Matsuda K, Sakurada K, Sonoda Y: Feasibility and survival benefit of hypofractionated radiotherapy with concurrent temozolomide and bevacizumab in elderly patients with glioblastoma. 5th Quadrennial Meeting of the World Federation of Neuro-Oncology Societies, Zurich, Switzerland; May, 2017
- 3) Mastuda K, Sakurada K, Kayama T, Sonoda Y: Usefulness of spinal MRI as screening examination for patients with intracranial glioma. ASNO2017, Osaka; October, 2017
- 4) Matsuda K, Mitobe Y, Sakurada K, Kayama T, Sonoda Y: Usefulness of spinal MRI as screening examination for patients with intracranial glioma. Society for Neuro-Oncology 2017, San Francisco CA, USA; November, 2017
- 5) Sonoda Y, Kumabe T**, Tominaga T**, Kinouchi H**, Shimizu H**, Ogasawara K**, Suzuki M**: Opening the

ventricle during surgery diminishes survival among patients with newly diagnosed glioblastoma treated with carmustine wafers: a multi-center retrospective study. Joint Neurosurgical Convention 2018, Oahu, Hawaii; February, 2018

- 6) Sato S, Kokubo Y, Kawanami K, Itagakil H, Yamada Y, Matsumoto Y**, Sonoda Y: A case report:Hybrid OR is a useful for CS dAVF requiring sinus packing via SMCV by trans-Sylvian approach. Joint Neurosurgical Convention 2018, Oahu, Hawaii; February, 2018

(2) 国内の学会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 園田順彦:脳神経外科におけるこれからの役割. 第37回日本脳神経外科コンgres総会, 横浜;2017年5月
- 2) 園田順彦:悪性神経膠腫の遠隔再発に関する研究 臨床研究から分子生物学的研究まで. 第18回日本分子脳神経外科学会, 甲府;2017年8月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 園田順彦:顕微鏡手術者の立場から. 日本脳神経外科学会 第76回学術総会, 名古屋;2017年10月
- 2) 園田順彦:主幹動脈に浸潤した膠芽腫の手術成績. 第22回日本脳腫瘍の外科学会, 鹿児島;2017年9月
- 3) 山木哲**, 近藤礼**, 毛利涉**, 齋藤元太**, 齋藤伸二郎**, 嘉山孝正, 園田順彦:高齢者慢性硬膜下血腫の問題点. 第30回日本老年脳神経外科学会, 東京;2017年4月
- 4) 園田順彦:術前MRI画像分類の再発形式と予後予測に対する有用性. 第41回日本脳神経CI学会総会, 新潟;2018年3月
- 5) 板垣寛:ASLによる脳循環スクリーニングへの挑戦. 第41回日本脳神経CI学会総会, 新潟;2018年3月

iii 一般演題

- 1) 松田憲一朗, 櫻田香, 小久保安昭, 佐藤慎哉, 園田順彦:75歳以上の高齢者膠芽腫に対する短期照射放射線化学療法法の検討. 第30回日本老年脳神経外科学会, 東京;2017年4月
- 2) 松田憲一朗, 櫻田香, 小久保安昭, 佐藤慎哉, 山川光徳, 園田順彦:WHO2016年改訂分類に基づくOA, AOAの再検討. 第35回日本脳腫瘍病理学会, 栃木;2017年5月
- 3) 伊藤美以子, 佐藤慎哉, 園田順彦:脊髄髄膜瘤に合併した割髄症の1例. 第45回日本小児神経外科学会, 神戸;2017年6月
- 4) 小久保安昭, 笹生香菜子, 板垣寛, 佐藤慎治, 山田裕樹, 佐藤慎哉, 嘉山孝正, 園田順彦:RNF213からみたもやもや病及び頭蓋内主幹動脈狭窄症例の臨床像. 第18回日本分子脳神経外科学会, 甲府;2017年8月
- 5) 伊藤美以子, 久下淳史**, 松田憲一朗, 佐藤慎哉, 嘉山孝正, 園田順彦:鞍上部伸展を伴う非機能性下垂体腺腫の血流動態. 第22回日本脳腫瘍の外科学会, 鹿児島;2017年9月
- 6) 松田憲一朗, 櫻田香, 嘉山孝正, 園田順彦:5-ALAと術中MRIを用いた悪性神経膠腫手術における摘出率の検討. 第22回日本脳腫瘍の外科学会, 鹿児島;2017年9月
- 7) 近藤礼**, 嶋村則人**, 國分康平**, 木村 尚人**, 板橋亮**, 佐藤直樹**, 伊藤靖**, 松本康史**:東北7県における血栓回収療法の現状と課題. 日本脳神経外科学会 第76回学術総会, 名古屋;2017年10月 B
- 8) 小久保安昭, 川並香菜子, 板垣寛, 佐藤慎治, 山田裕樹, 佐藤慎哉, 嘉山孝正, 園田順彦:もやもや病患者及び頭蓋内主幹動脈狭窄症例におけるRNF213変異の実態. 日本脳神経外科学会 第76回学術総会, 名古屋;2017年10月
- 9) 毛利涉**, 近藤礼**, 山木哲**, 齋藤伸二郎**, 園田順彦:視床出血に対する内視鏡下経脳室血腫除去法. 日本脳神経外科学会 第76回学術総会, 名古屋;2017年10月
- 10) 松田憲一朗, 櫻田香, 嘉山孝正, 園田順彦:5-ALAと術中MRIを用いた悪性神経膠腫手術における摘出率の検討. 日本脳神経外科学会 第76回学術総会, 名古屋;2017年10月
- 11) 山田裕樹, 小久保安昭, 川並香菜子, 佐藤慎治, 佐藤慎哉, 園田順彦:CEA術中モニタリングにおけるNIRSの再検証. 日本脳神経外科学会 第76回学術総会, 名古屋;2017年10月
- 12) 伊藤美以子, 久下淳史**, 松田憲一朗, 佐藤慎哉, 嘉山孝正, 園田順彦:鞍上部伸展を伴う非機能性下垂体腺腫の血流動態. 日本脳神経外科学会 第76回学術総会, 名古屋;2017年10月
- 13) 齋藤佑規**, 竹村直**, 園田順彦:47年前の頭部外傷を契機に発症したと考えられたcutaneous meningioma

- の1例. 日本脳神経外科学会 第76回学術総会, 名古屋; 2017年10月
- 14) 山木哲**, 近藤礼**, 矢尾板亮, 菊地善彰, 齊藤元太**, 齋藤伸二郎**, 嘉山孝正, 園田順彦: 高齢者慢性硬膜下血腫の問題点. 日本脳神経外科学会 第76回学術総会, 名古屋; 2017年10月
 - 15) 佐藤慎治, 小久保安昭, 川並香菜子, 板垣寛, 山田裕樹, 園田順彦: 脊髄硬膜静脈瘻の術中治療効果判定～Hybrid手術室 cone-beam CT 3例の使用経験～. 日本脳神経外科学会 第76回学術総会, 名古屋; 2017年10月
 - 16) 板垣寛, 小久保安昭, 川並香菜子, 佐藤慎治, 山田裕樹, 佐藤慎哉, 園田順彦: MRI ASL(Arterial Spin Labeling)による脳循環動態の評価～¹⁵O-PETによる検証～. 日本脳神経外科学会 第76回学術総会, 名古屋; 2017年10月
 - 17) 水戸部祐太, 松田憲一朗, 櫻田香, 嘉山孝正, 園田順彦: 頭蓋内神経膠腫における治療前、脊髄MRI スクリーニングの有用性. 日本脳神経外科学会 第76回学術総会, 名古屋; 2017年10月
 - 18) 工藤陽平*: 慢性硬膜下血腫に対する骨髄穿刺血腫吸引術を施行した22症例27病変の成績. 日本脳神経外科学会 第76回学術総会, 名古屋; 2017年10月
 - 19) 伊藤美以子, 矢尾板亮, 佐藤慎哉, 園田順彦: 診断に苦慮した下垂体病変の1例. 第24回日本神経内視鏡学会, 横浜; 2017年11月
 - 20) 板垣寛, 小久保安昭, 川並香菜子, 佐藤慎治, 山田裕樹, 佐藤慎治, 園田順彦: 虚血側におけるMRI ASL hyperperfusion～慢性期モヤモヤ病の4症例～. 第60回日本脳循環代謝学会, 大阪; 2017年11月
 - 21) 小久保安昭, 板垣寛, 山田裕樹, 近藤礼**, 佐藤慎哉, 園田順彦: ^{99m}Tc-ECD dynamic SPECT 脳循環代謝スクリーニングにおける留意点. 第60回日本脳循環代謝学会, 大阪; 2017年11月
 - 22) 佐藤慎治, 小久保安昭, 川並香菜子, 板垣寛, 山田裕樹, 園田順彦: 脊髄硬膜動静脈瘻の術中治療効果判定. 第33回日本脳神経血管内治療学会, 東京; 2017年11月
 - 23) 工藤陽平*: 経過観察中に自然血栓化した未破裂内頸動脈瘤の1例. 第33回日本脳神経血管内治療学会, 東京; 2017年11月
 - 24) 青木ゆい**, 酒井久美子**, 梁瀬文子**, 齋藤佑規**, 竹村直**: 左延髄内側梗塞により一過性に球麻痺症状を呈した偽性球麻痺症. 第1回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 大阪; 2017年10月
 - 25) 江川廉**, 齋藤佑規**, 竹村直**: くも膜下出血術後の小脳性認知情動症候群によりリハビリに難渋した症例ー環境変化が好循環をもたらした例ー. 第1回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 大阪; 2017年10月
 - 26) 伊藤美以子, 久下淳史**, 松田憲一朗, 佐藤慎哉, 嘉山孝正, 園田順彦: 鞍上部伸展を伴う非機能下垂体腺腫の血流動態. 第28回日本間脳下垂体腫瘍学会, 浜松; 2018年2月
 - 27) 小久保安昭, 佐藤慎治, 川並香菜子, 板垣寛, 山田裕樹, 園田順彦: 脳神経外科手術における hybrid operating room(OR)の有用性. 第43回日本脳卒中学会学術集会, 福岡; 2018年3月
 - 28) 山田裕樹, 小久保安昭, 川並香菜子, 佐藤慎治, 佐藤慎哉, 園田順彦: CEA 術中モニタリングにおけるNIRSの再検証～頭皮血流の影響と灌流領域の問題～. 第43回日本脳卒中学会学術集会, 福岡; 2018年3月
 - 29) 佐藤慎治, 小久保安昭, 川並香菜子, 板垣寛, 山田裕樹, 園田順彦: 脊髄硬膜動静脈瘻の術中治療効果判定法～Hybrid手術室 cone-beam CT 3例の使用経験～. 第43回日本脳卒中学会学術集会, 福岡; 2018年3月
 - 30) 佐藤慎治, 小久保安昭, 川並香菜子, 板垣寛, 山田裕樹, 松本康史**, 園田順彦: Transsylvian approachによるsinus packingを要するCS dAVFにhybrid手術室が有用であった一例. 第43回日本脳卒中学会学術集会, 福岡; 2018年3月
 - 31) 板垣寛, 小久保安昭, 川並香菜子, 佐藤慎治, 山田裕樹, 佐藤慎哉, 園田順彦: 虚血性脳血管障害症例におけるscreeningとしてのASLの有用性. 第43回日本脳卒中学会学術集会, 福岡; 2018年3月
 - 32) 山木哲**, 近藤礼**, 菊地善彰, 齊藤元太**, 齋藤伸二郎**, 園田順彦: 進行性脳卒中への取り組み: 急性期抗血小板薬2剤併用療法およびヘパリン静注療法. 第43回日本脳卒中学会学術集会, 福岡; 2018年3月
 - 33) 川並香菜子, 小久保安昭, 板垣寛, 佐藤慎治, 山田裕樹, 園田順彦: 虚血性におけるMRI ASL hyperintensity pattern～慢性期モヤモヤ病の4症例. 第43回日本脳卒中学会学術集会, 福岡; 2018年3月

- 34) 川並香菜子, 小久保安昭, 板垣寛, 佐藤慎治, 山田裕樹, 園田順彦: クリッピング困難な中大脳動脈瘤に対する flow alteration treatment にハイブリッド OR が有用であった 1 手術例. 第 43 回日本脳卒中学会学術集会, 福岡; 2018 年 3 月
- 35) 山木哲**, 近藤礼**, 水戸部祐太, 齊藤元太**, 齋藤伸二郎**, 園田順彦: 両側椎骨動脈解離と考えられたくも膜下出血の一例. 第 37 回日本脳神経血管内治療学会東北地方会, 新潟; 2018 年 3 月

(3) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 佐藤慎治, 小久保安昭, 川並香菜子, 板垣寛, 山田裕樹, 園田順彦: 脊髄硬膜動静脈瘻の術中治療効果判定. 第 36 回日本脳神経血管内治療学会東北地方会, 盛岡; 2017 年 9 月
- 2) 舟生勇人, 赤坂雅弘: 頭痛と片麻痺を繰り返す頸部内頸動脈攣縮の一例. 第 54 回 (一社) 日本脳神経外科学会東北支部会, 盛岡; 2017 年 9 月
- 3) 菊地善彰, 近藤礼, 山木哲, 齊藤元太, 齋藤伸二郎, 園田順彦: 塞栓症と鑑別を要した虚血発症中大脳動脈解離の一例. 第 54 回 (一社) 日本脳神経外科学会東北支部会, 盛岡; 2017 年 9 月
- 4) 佐藤慎治, 小久保安昭, 川並香菜子, 板垣寛, 山田裕樹, 園田順彦: 脊髄硬膜静脈瘻の術中治療効果判定 ~Hybrid 手術 cone-beam CT 3 例の使用経験~. 第 54 回 (一社) 日本脳神経外科学会東北支部会, 盛岡; 2017 年 9 月
- 5) 川並香菜子, 小久保安昭, 板垣寛, 佐藤慎治, 山田裕樹, 園田順彦: クリッピングが困難な M1 脳動脈瘤に対する flow alteration treatment にハイブリッド OR が有用であった 1 手術例. 第 54 回 (一社) 日本脳神経外科学会東北支部会, 盛岡; 2017 年 9 月
- 6) 水戸部祐太, 矢尾板亮, 板垣寛, 松田憲一朗, 園田順彦: Occipital sinus に直接流入する後頭蓋窩静脈を伴った退形成性上衣腫の 1 手術例. 第 54 回 (一社) 日本脳神経外科学会東北支部会, 盛岡; 2017 年 9 月
- 7) 加藤直樹, 蘇慶展: 慢性硬膜下血腫の保存的治療と外科的治療における医療費の比較検討. 第 54 回 (一社) 日本脳神経外科学会東北支部会, 盛岡; 2017 年 9 月

(4) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 園田順彦: 悪性神経膠腫の治療ー最近の話題ー. 第 21 回北海道脳腫瘍懇話会, 北海道; 2017 年 4 月
- 2) 園田順彦: Glioblastoma の局所治療の可能性と限界. 第 22 回脳腫瘍レビュー, 東京; 2017 年 5 月
- 3) 園田順彦: 脳腫瘍手術の基本的考え方. 2017 年 北のまほろば脳神経外科研究会, 青森; 2017 年 6 月
- 4) 園田順彦: 神経膠腫手術の基本的な考え方. 第 8 回京都脳腫瘍セミナー, 京都; 2017 年 6 月
- 5) 園田順彦: 膠芽腫の病態ー臨床医が行う研究ー. 第 32 回奈良ネットワーク研究会, 奈良; 2017 年 9 月
- 6) 園田順彦: 脳神経外科の治療戦略とモニタリング. 第 86 回山形脳神経外科懇話会, 山形; 2017 年 10 月
- 7) 園田順彦: 分子生物学的知見に基づいた悪性神経膠腫の治療. 第 9 回山梨脳腫瘍研究会, 山梨; 2017 年 10 月
- 8) 園田順彦: 悪性神経膠腫の治療ー最近の話題ー. 神戸脳腫瘍カンファレンス, 神戸; 2017 年 10 月
- 9) 園田順彦: Glioblastoma の局所治療の可能性. 第 4 回関西脳神経外科臨床研究会, 大阪; 2017 年 10 月
- 10) 園田順彦: 悪性神経膠腫の集学的治療ー最近の話題ー. Neuro-Oncology WEST, 大阪; 2017 年 10 月
- 11) 園田順彦: 悪性神経膠腫の局所治療の可能性. 脳神経外科 Expert Meeting, 長崎; 2017 年 10 月
- 12) 園田順彦: 悪性神経膠腫の治療ー最新の知見ー. 第 13 回南東北神経科学セミナー, 郡山; 2017 年 12 月
- 13) 小久保安昭: 脳梗塞発症予防における DOAC への期待ー山形県の脳卒中現状分析からー. 山形県臨床内科医学会学術講演会, 山形; 2017 年 9 月
- 14) 小久保安昭: 山形県の脳卒中の現状ー山形県対脳卒中治療研究会登録データからの分析ー. 第 3 回米沢・東置賜地区脳卒中合同カンファレンス, 山形; 2017 年 9 月
- 15) 小久保安昭: 虚血性脳血管障害における ^{99m}Tc -ECD・ ^{123}I -IMP SPECT 及び MRI ASL の有用性ー ^{15}O -PET による検証ー. 第 64 回群馬県核医学研究会, 群馬; 2017 年 10 月
- 16) 小久保安昭: 脳梗塞治療成績向上における DOAC への期待ー山形県の脳卒中現状分析からー. 青森脳卒中治療セミナー, 青森; 2017 年 11 月
- 17) 小久保安昭: 虚血性脳血管障害における ^{99m}Tc -ECD・ ^{123}I -IMP SPECT 及び MRI ASL の有用性ー ^{15}O -PET による

検証～. 第25回21世紀脳核医学カンファレンス, 大阪; 2017年11月

- 18) 小久保安昭: 脳梗塞発症予防におけるDOACへの期待～山形県の脳卒中現状分析から～. 第6回登米市医師会学術講演会, 宮城県; 2017年11月
- 19) 小久保安昭: これからの脳卒中医療に必要なこと～山形県の脳卒中の現状からの分析～. 山形県脳卒中・心筋梗塞発症登録評価研究活用事業研修会, 山形; 2018年2月
- 20) 小久保安昭: 高齢化社会における脳梗塞の現状から考えるDOACの意義～最新の山形県脳卒中データから～. YAMAGATA CV&STROKE SUMMIT, 山形; 2018年2月
- 21) 小久保安昭: 高齢化社会における脳梗塞の現状から考えるDOACの意義～最新の山形県脳卒中データから～. STOP 脳卒中病診連携フォーラムーリアルワールドエビデンスに基づく抗凝固療法ー, 山形; 2018年3月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 齋藤伸二郎: 抗凝固剤の最近の使い方と中和剤への期待. 山形地区NetworkMeeting, 山形; 2017年4月
- 2) 小久保安昭: 山形県における脳卒中の現状と課題. Yamagata Stroke Premium Seminar for Neurosurgeons, 山形; 2017年9月
- 3) 小久保安昭: 外科的疾患による認知症とその治療. 山形県認知症研究会, 山形; 2017年11月
- 4) 小久保安昭: 最先端医療機器を用いた脳神経外科手術. 山形大学医学部発の未来医療展開会議 in 鶴岡, 鶴岡; 2017年11月
- 5) 小久保安昭: 脳梗塞治療成績向上にDOCAが果たすべき役割を考える. Stroke and Epilepsy Expert Suminar, 山形; 2018年2月
- 6) 小久保安昭: 患者のトリアージの考え方、連絡の仕方、連携のあり方など. 脳神経領域の救急患者対応に関する勉強会, 山形; 2018年2月

iii 一般演題

- 1) 松田憲一朗, 水戸部祐太, 櫻田香, 嘉山孝正, 園田順彦: 頭蓋内発生膠芽腫における術前脊髄MRI スクリーニングの有用性. 第85回山形脳神経外科懇話会, 山形; 2017年6月
- 2) 山木哲, 近藤礼, 菊地善彰, 齊藤元太, 齋藤伸二郎, 園田順彦: 両側椎骨動脈解離と思われたくも膜下出血の1例. 第86回山形脳神経外科懇話会, 山形; 2017年10月
- 3) 小久保安昭, 山田裕樹, 川並香菜子, 板垣寛, 佐藤慎治, 佐藤慎哉, 嘉山孝正, 園田順彦: CEA 術中モニタリングにおけるNIRSの再検証～頭皮血流の影響と灌流領域の問題～. 第9回東北頸動脈研究会, 仙台; 2017年7月
- 4) 遠藤広和, 佐藤和彦, 丸谷宏: 救急隊が現場で始動する急性期脳卒中連携パス. 第38回山形県対脳卒中治療研究会, 山形; 2017年7月
- 5) 山田裕樹, 小久保安昭, 板垣寛, 佐藤慎治, 佐藤慎哉, 嘉山孝正, 園田順彦: CEA 術中モニタリングにおけるNIRSの再検証. 第38回山形県対脳卒中治療研究会, 山形; 2017年7月
- 6) 板垣寛, 小久保安昭, 川並香菜子, 佐藤慎治, 山田裕樹, 佐藤慎哉, 園田順彦: 虚血側におけるMRI ASL hyperperfusion～慢性期モヤモヤ病の4症例～. 第27回東北脳SPECT研究会, 盛岡; 2017年9月
- 7) 小久保安昭, 川並香菜子, 板垣寛, 佐藤慎治, 山田裕樹, 佐藤慎哉, 嘉山孝正, 園田順彦: 脳循環スクリーニングにおける^{99m}Tc-ECD dynamic SPECTの意義. 第24回東北脳循環カンファレンス, 仙台; 2017年11月
- 8) 大場誠, 岡田明男, 小久保安昭, 園田順彦: ^{99m}Tc-ECD 脳血流 SPECT における頭部固定具の検討. 第24回東北脳循環カンファレンス, 仙台; 2017年11月
- 9) 板垣寛, 小久保安昭, 川並香菜子, 佐藤慎治, 山田裕樹, 佐藤慎治, 園田順彦: 術後過灌流評価におけるMRI ASLの有用性. 第24回東北脳循環カンファレンス, 仙台; 2017年11月
- 10) 佐藤慎治, 小久保安昭, 川並香菜子, 板垣寛, 山田裕樹, 松本康史, 園田順彦: transsylvian approach によるsinus packingを要するCS dAVFにHybrid手術室が有用であった一例. 第40回東北脳血管障害研究会, 仙台; 2017年12月
- 11) 山木哲, 近藤礼, 菊地善彰, 齊藤元太, 齋藤伸二郎, 園田順彦: 前大脳動脈解離による脳梗塞例の臨床的特徴. 第40回東北脳血管障害研究会, 仙台; 2017年12月
- 12) 佐藤慎治, 小久保安昭, 川並香菜子, 板垣寛, 山田裕樹, 園田順彦: 脊髄硬膜動静脈婁直達手術におけるHybrid手術室の有用性. 第87回山形脳神経外科懇話会, 山形; 2018年1月

- 13) 水戸部祐太, 近藤礼, 山木哲, 齋藤元太, 齋藤伸二郎, 園田順彦: 椎骨動脈解離症例におけるBPAS映像の工夫. 第87回山形脳神経外科懇話会, 山形; 2018年1月

(5) 座 長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 園田順彦: 脳科学に基づいたグリオーマ治療. 第85回山形脳神経外科懇話会, 山形; 2017年6月
- 2) 園田順彦: 傍鞍部脳腫瘍に対する治療戦略. 山形脳腫瘍研究会, 山形; 2017年7月
- 3) 園田順彦: てんかんの外科適応における最近の話題と取り組み. 山形てんかん学術講演会, 山形; 2017年7月
- 4) 園田順彦: 脳卒中二次予防におけるLarge and Small Real World Data. Yamagata Stroke Premium Seminar for Neurosurgeons, 山形; 2017年9月
- 5) 園田順彦: てんかん治療の最新の話題について. 第79回山形神経放射線懇話会, 山形; 2017年11月
- 6) 小久保安昭: 抗凝固薬の最近の使い方と中和剤への期待. 山形地区Network Meeting, 山形; 2017年4月
- 7) 小久保安昭: DOACと従来抗凝固療法との違い. エリキュース AREA MASTER CLASS in 山形; 2017年11月
- 8) 近藤礼: 山形県における脳卒中の現状と課題. Yamagata Stroke Premium Seminar for Neurosurgeons, 山形; 2017年9月
- 9) 蘇慶展: 最新のてんかん診断について~Expert opinion 2016を踏まえて~. てんかん学術講演会, 新庄; 2017年10月
- 10) 園田順彦: 一般演題8.9.10.11. 第40回東北脳血管障害研究会, 仙台; 2017年12月
- 11) 蘇慶展: 第86回山形脳神経外科懇話会, 山形; 2017年10月
- 12) 赤坂雅弘: 一般演題1.2.3. 第38回山形県対脳卒中治療研究会, 山形; 2017年7月
- 13) 園田順彦: 研究のすすめ. 第87回山形脳神経外科懇話会, 山形; 2018年1月
- 14) 園田順彦: 心房細動と脳梗塞. 脳卒中再発予防を考える会, 山形; 2018年2月
- 15) 園田順彦: 高齢者てんかん、脳卒中後てんかん治療戦略を考える. Stroke and Epilepsy Expert Suminar, 山形; 2018年2月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 園田順彦: 神経膠腫の切除 どこまで可能か. 第22回日本脳腫瘍の外科学会, 鹿児島; 2017年9月
- 2) 園田順彦: シンポジウム3 小児脳腫瘍. 第35回日本脳腫瘍学会, 高松; 2017年11月
- 3) Yukihiro Sonoda: Malignant Tumor. Joint Neurosurgical Convention 2018, Oahu, Hawaii; February, 2018
- 4) 園田順彦: 症例発表. 脳卒中・脳腫瘍 Seizure Summit, 仙台; 2018年2月
- 5) 園田順彦: 口演1 悪性脳腫瘍. 第41回日本脳神経CI学会総会, 新潟; 2018年3月
- 6) 齋藤伸二郎: 脳梗塞治療成績向上にDOCAが果たすべき役割を考える. Stroke and Epilepsy Expert Suminar, 山形; 2018年2月

iii 一般演題

- 1) 園田順彦: Mutant IDH1 co-operates with ATRX loss to drive the alternative lengthening of telomere (ALT) phenotype in glioma. ASNO2017, 大阪; 2017年10月
- 2) 園田順彦: 脳腫瘍. 第26回脳神経手術と機器学会, 甲府; 2017年4月
- 3) 園田順彦: 小児脳腫瘍. 第35回日本脳腫瘍病理学会, 栃木; 2017年5月
- 4) 園田順彦: 一般演題1 光線力学診断の臨床的検証と発展. 第13回日本脳神経外科光線力学学会, 東京; 2017年7月
- 5) 園田順彦: グリオーマ: バイオマーカー2. 日本脳神経外科学会 第76回学術総会, 名古屋; 2017年10月
- 6) 園田順彦: 下垂体3. 第24回日本神経内視鏡学会, 横浜; 2017年11月
- 7) 佐藤慎哉: 脳深部腫瘍に対する手術戦略. 第22回日本脳腫瘍の外科学会, 鹿児島; 2017年9月
- 8) 佐藤慎哉: 脳出血: 一般. 日本脳神経外科学会 第76回学術総会, 名古屋; 2017年10月
- 9) 小久保安昭: SAH6. 日本脳神経外科学会 第76回学術総会, 名古屋; 2017年10月
- 10) 小久保安昭: 脳血管障害3. 第54回(一社)日本脳神経外科学会東北支部会, 盛岡; 2017年9月
- 11) 赤坂雅弘: 水頭症. 第54回(一社)日本脳神経外科学会東北支部会, 盛岡; 2017年9月
- 12) 近藤礼: 一般演題1.2. 第87回山形脳神経外科懇話会, 山形; 2018年1月

- 13) 近藤礼：頸動脈狭窄症 4. 第 43 回日本脳卒中学会学術集会, 福岡 ; 2018 年 3 月
- 14) 佐藤慎哉：くも膜下出血 2 外科治療. 第 43 回日本脳卒中学会学術集会, 福岡 ; 2018 年 3 月
- 15) 小久保安昭：もやもや病・病態 1. 第 43 回日本脳卒中学会学術集会, 福岡 ; 2018 年 3 月
- 16) 小久保安昭：脳内出血 4 血腫拡大予想. 第 43 回日本脳卒中学会学術集会, 福岡 ; 2018 年 3 月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第 85 回山形脳神経外科懇話会, 山形 ; 2017 年 4 月
- 2) 第 18 回山形ニューロサイエンス・医工学研究会, 山形 ; 2017 年 6 月
- 3) 第 38 回山形県対脳卒中治療研究会, 山形 ; 2017 年 7 月
- 4) 山形脳腫瘍研究会, 山形 ; 2017 年 7 月
- 5) 山形てんかん学術講演会, 山形 ; 2017 年 7 月
- 6) Yamagata Stroke Premium Seminar for Neurosurgeons, 山形 ; 2017 年 9 月
- 7) 第 86 回山形脳神経外科懇話会, 山形 ; 2017 年 10 月
- 8) 第 79 回山形神経放射線懇話会, 山形 ; 2017 年 11 月
- 9) 第 39 回山形県対脳卒中治療研究会, 山形 ; 2017 年 12 月
- 10) 第 87 回山形脳神経外科懇話会, 山形 ; 2018 年 1 月
- 11) 第 51 回東北脳腫瘍研究会, 仙台 ; 2018 年 3 月

整形外科学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Iwazaki K**, Takana T**, Hozumi Y**, Okada M**, Tsuchiya R**, Iseki K**, Topham MK**, Kawamae K**, Takagi M, Goto K*: DGK ζ downregulation enhances osteoclast differentiation and bone resorption activity under inflammatory conditions. J Cellular physiol. 2017; 232(3): 617-624 B
- 2) Kadoma C**, Takahara M**, Maruyama M, Satake H, Takagi M: Ultrasonographic assessment of the Flexor pollicis longus tendon after plate fixation. Orthopaedics. 2017; 40(1): e104-e108
- 3) Kaneko MK**, Nakamura T**, Honma R, Ogasawara S**, Fujii Y**, Abe S**, Takagi M, Harada H**, Suzuki H**, Nishioka Y**, Kato Y**: Development and characterization of anti-glycopeptide monoclonal antibodies against human podoplanin, using glycan-deficient cell lines generated by CRISPR/Cas9 and TALEN. Cancer Medicine. 2017; 6(2):382-396 B
- 4) Maruyama M, Satake H, Takahara M**, Harada M**, Uno T**, Mura N**, Takagi M: Treatment for ulnar neuritis around the elbow in adolescent baseball players: Factors associated with poor outcome. Am J Sports Med. 2017; 45(4): 803-809
- 5) Yamakawa J, Hashimoto J, Takao M**, Takagi M: The bone regeneration using bone marrow stromal cells with moderate concentration platelet-rich plasma in femoral segmental defect of rats. Open Orthop J. 2017; 11: 1-11
- 6) 伊藤重治, 佐々木幹, 高窪祐弥, 高木理彰: 大腿骨転子下不顕性骨折を契機に診断された Fanconi 症候群に伴うくる病の1例. 東日本整災会誌. 2017; 29(1): 93-98
- 7) 宇野智洋**, 原田幹生**, 丸山真博, 村成幸**, 高木理彰, 高原政利**: 高校野球選手における投球数と投球時痛との関係. 整スポ会誌. 2017; 37(1): 89-93
- 8) 鈴木智人, 橋本淳一, 山川淳一, 嶋村之秀, 赤羽武, 高木理彰: 脊椎固定術における手術部位感染の予防法 -ジベカシン筋肉注射とバンコマイシン粉末 創内散布の比較検討-. 東日本整災会誌. 2017; 29(1): 56-59
- 9) 原田幹生**, 高原政利**, 丸山真博, 高木理彰: ジュニアテニス選手のパフォーマンスに関与する因子についての検討 -体の痛みや身体所見との関係-. 日臨スポーツ医会誌. 2017; 25(1): 24-29
- 10) 和根崎禎大**, 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 豊島定美**, 高木理彰: 副甲状腺亢進症後の大腿骨頸部骨折に人工股関節全置換術を施工した1例. 東日本整災会誌. 2017; 29(1): 32-36

(2) 総説及び解説

- 1) 鈴木朱美, 石垣大介**, 高木理彰: 腓骨筋腱脱臼の診断と治療. 関節外科. 2017; 36(1): 72-81
- 2) 高木理彰, 村川美幸, 高窪祐弥: 関節リウマチ患者のリハビリテーション. 医学と薬学. 2017; 74(1): 29-39

2. 学会発表及び座長

(1) 国際学会

i 一般演題

- 1) Honma R, Maruyama M, Oki H, Xing Liu, Fuji Y**, Ogasawara S**, Kaneko MK**, Kato Y**, Takagi M: Establishment of a novel monoclonal antibody Pmab-32 against rabbit podoplanin for regenerated cartilage and inflammatory synovitis. Orthopaedic Research Society 2017 Annual Meeting, San Diego; March 2017
- 2) Maruyama M, Satake H, Honma R, Naganuma Y, Takakubo Y, Takagi M: A comparative study of platelet-rich fibrin (PRF) and platelet-rich plasma (PRP) on the large osteochondral plug in rabbit model. Orthopaedic Research Society 2017 Annual Meeting, San Diego; March 2017

- 3) Naganuma Y, Satake H, Honma R, Maruyama M, Hanaka N**, Shibuya J, Takakubo Y, Takagi M: The influence of hemodialysis and amyloid deposits on the severity of carpal tunnel syndrome. Orthopaedic Research Society 2017 Annual Meeting, San Diego; March 2017
- 4) Suzuki T, Liu Yang, Oki H, Takakubo Y, Takagi M: Immunohistochemical analysis of different inflammatory synovial conditions using novel panel of established anti-human podoplanin antibodies. Orthopaedic Research Society 2017 Annual Meeting, San Diego; March 2017
- 5) Takakubo Y, Oki H, Naganuma Y, Sasaki K, Takagi M: High-Molecular-Weight adiponectin is correlated with disease activity in the patients with rheumatoid arthritis. Orthopaedic Research Society 2017 Annual Meeting, San Diego; March 2017
- 6) Takakubo Y, Takagi M: The role of innate sensors in aseptic and septic loosening of total joint arthroplasty. Orthopaedic surgery meeting at UCSF, San Francisco; January 2017
- 7) Takakubo Y, Takagi M: The role of innate sensors in aseptic and septic loosening of total joint arthroplasty. Ground round of Orthopaedic surgery at Utah University, Utah; February 2017
- 8) Takakubo Y, Takagi M: The role of innate sensors in aseptic and septic loosening of total joint arthroplasty. Evening conference in UCSF Afternoon meeting in Stanford University, California; February 2017
- 9) Yamamoto T, Narita A, Suzuki A, Toyoshima S**, Asano T**, Nakajima T**, Toyono S**, Wanezaki Y**: Steroid injection in total knee arthroplasty -study with different procedure. Orthopaedic Research Society 2017 Annual Meeting, San Diego; March 2017

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 石井政次**, 川路博之**, 門馬亮介**, 伊藤重治, 高窪祐弥, 佐々木幹, 高木理彰: (シンポジウム)VTEガイドラインの位置づけ. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月

ii 一般演題

- 1) 石垣大介**, 花香直美**, 佐竹寛史, 長沼靖, 高木理彰: Hand20による肘部管症候群の評価. 第29回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2017年2月
- 2) 伊藤重治, 佐々木幹, 高窪祐弥, 門馬亮介**, 川路博之**, 石井政次**: 変形性股関節症に対する collarless polished tapered (CPT) システムを使用した人工股関節全置換術の中期成績. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月
- 3) 宇野智洋**, 渡邊忠良**, 丸山真博, 原田幹生**, 鶴田大作**, 高原政利, 高木理彰: 骨端線閉鎖前のまれな小児肘関節脱臼の3例. 第29回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2017年2月
- 4) 大石隆太**, 福島重宣**, 山本尚生, 鈴木朱美, 菅原裕史**, 成田淳, 高木理彰: Bicruciate retaining (BCR) 型 TKA における術後成績の検討. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月
- 5) 岡田宗一郎, 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生, 高木理彰: 人工膝関節置換術後の仮性動脈瘤に対し観血的止血術を行った1例. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月
- 6) 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 石井政次**, 川路博之**, 門馬亮介**, 高木理彰: 当科における人工股関節術後の感染率の推移. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月
- 7) 佐竹寛史, 長沼靖, 澁谷純一郎, 丸山真博, 高木理彰, 石垣大介**: 上腕骨外側上顆炎の診断における Thomsen テストとは?. 第29回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2017年2月
- 8) 澁谷純一郎, 佐竹寛史, 長沼靖, 丸山真博, 高木理彰: 上腕骨小頭離断性骨軟骨炎に対する骨軟骨柱移植術施行後に膝蓋大腿関節障害をきたし再手術を要した1例. 第29回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2017年2月
- 9) 高窪祐弥, 伊藤重治, 大木弘治, 梁秀蘭, 門馬亮介**, 川路博之**, 佐々木幹, 石井政次**, 高木理彰: 初回 THA において KT プレートと圧詰法骨移植により寛骨臼再建を行ったリウマチ股の中期成績. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月
- 10) 永井淳, 鈴木朱美, 成田淳, 山本尚生, 北純**, 高木理彰: 距骨壊死に対し人工距骨置換術を行った2例. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月 B
- 11) 中島拓**, 浅野多聞, 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生, 高木理彰: 両十字靭帯温存型 TKA と従来型 TKA との

- 前後制動性の検討. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月
- 12) 長沼靖, 佐竹寛史, 丸山真博, 澁谷純一郎, 高木理彰: 人工肘関節に挟まれて尺骨神経の部分断裂を生じた1例. 第29回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2017年2月
 - 13) 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生, 浅野多聞**, 高木理彰: 透析患者に対する人工膝関節全置換術の治療成績. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月
 - 14) 花香直美**, 石垣大介**, 長沼靖, 丸山真博, 佐竹寛史, 高木理彰: 橈骨粗面骨棘による出血が原因と考えられた橈骨神経浅枝障害の1例. 第29回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2017年2月
 - 15) 原田幹生**, 高原政利**, 近藤幹朗**, 丸山真博, 宇野智洋**, 高木理彰: 上腕骨外側上顆炎に対する鏡視下手術の術後成績. 第29回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2017年2月
 - 16) 福島重宣**, 菅原裕史**, 鈴木朱美, 山本尚生, 成田淳, 高木理彰: Bicruciate retaining (BCR) TKAの短期成績と課題. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月
 - 17) 丸山真博, 佐竹寛史, 長沼靖, 澁谷純一郎, 高木理彰: 家兎膝骨軟骨欠損部に対する多血小板血漿と多血小板フィブリンを併用した自家骨軟骨柱移植術の効果. 第29回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2017年2月
 - 18) 宮地隆浩**, 松木宏史**, 林雅弘**, 高木理彰: 人工膝関節再置換術後に生じた大腿四頭筋腱断裂に対し修復術を行った1例. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月
 - 19) 山本尚生, 成田淳, 鈴木朱美, 岡田宗一郎, 高窪祐弥, 高木理彰: 当院における生物学的製剤使用の有無による人工膝関節置換術の検討. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月

(3) 研究会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 佐竹寛史, 長沼靖, 澁谷純一郎, 丸山真博, 本間龍介, 高木理彰, 的場浩介**: (パネルディスカッション) 絞扼輪症候群の診断と治療. 第31回東日本手外科研究会, 札幌; 2017年2月 B
- 2) 原田幹生**, 高原政利**, 村成幸**, 丸山真博, 宇野智洋, 佐竹寛史, 高木理彰: (パネルディスカッション) 私の選択 スポーツと私. 第31回東日本手外科研究会, 札幌; 2017年2月

ii 一般演題

- 1) 尾鷲和也**, 岩崎聖**, 尾山かおり**, 針生光博**, 佐々木淳也**, 平山朋幸**, 岡田宗一郎, 岡本純一**, 奥田正太**: 上殿皮神経障害に対する神経切除術の成績. 第27回東北脊椎外科研究会, 仙台; 2017年1月
- 2) 佐竹寛史, 小鹿雅隆**, 長沼靖, 澁谷純一郎, 丸山真博, 本間龍介, 高木理彰: 初診時手根管症候群と診断した上腕動脈血栓症の1例. 第31回東日本手外科研究会, 札幌; 2017年2月
- 3) 澁谷純一郎, 浅野多聞**, 阿部義幸**: アキレス腱付着部踵骨裂離骨折に対する軟鋼線締結法. 第27回東北脊椎外科研究会, 仙台; 2017年1月
- 4) 鈴木智人, 橋本淳一, 山川淳一, 嶋村之秀, 赤羽武, 高木理彰: Rapid turnover protein/C-reactive protein比を用いた脊椎術後手術部位感染の検討. 第27回東北脊椎外科研究会, 仙台; 2017年1月
- 5) 千葉克司**, 内海秀明**, 伊藤友一**, 橋本淳一, 嶋村之秀: 経皮的内視鏡腰椎椎間板摘出術 (PELD) 後に再手術を必要とした症例の検討. 第27回東北脊椎外科研究会, 仙台; 2017年1月
- 6) 花香直美**, 石垣大介**, 長沼靖, 丸山真博, 佐竹寛史, 高木理彰: 掌側転移型橈骨遠位骨端線離間に対する掌側からの intrafocal pinning 法. 第31回東日本手外科研究会, 札幌; 2017年2月

(4) 座 長

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 高木理彰: ランチョンセミナー10. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月

ii 一般演題

- 1) 高木理彰: 一般口演32 THA 術中支援2. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月
- 2) 成田淳: ポスター50 TKA ナビゲーション2. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月

(5) その他

- 1) 高窪祐弥: (特別講演) 最新関節リウマチ治療と山形地区リウマチ病診連携一やらんなネットの現状. みちのく Web セミナー, 山形; 2017年3月

3. その他

- 1) 高窪祐弥: 日本股関節研修振興財団 第1回トラベリングフェロー

追 録

1. 論 文

(1)原 著

- 1) 高窪祐弥, 太田大地, 奥田正太*, 大木弘治, 長沼靖, 高木理彰: 当科のリウマチ性疾患における非定型大腿骨骨折症例の検討. 関節の外科. 2016; 43(3-4): 101-106

整形外科学講座

1. 論 文

(1) 原 著

- 1) Harada M**, Takahara M**, Maruyama M, Kondo M**, Uno T**, Takagi M, Mura N**: Outcome of conservative treatment for Little League shoulder in young baseball players: factors related to incomplete return to baseball and recurrence of pain. *J Shoulder Elbow Surg.* 2018; 27(1): 1-9 B
- 2) Maruyama M, Satake H, Suzuki T, Honma R, Naganuma Y, Takakubo Y, Takagi M: Comparison of the effects osteochondral autograft transplantation with platelet-rich plasma or platelet-rich fibrin on osteochondral defects in a rabbit model. *The American journal of sports medicine.* 2017; 45(14): 3280-3288
- 3) Maruyama M, Takahara M**, Satake H: Diagnosis and treatment of osteochondritis dissecans of the humeral capitellum. *J Orthop Sci.* 2018; 23(2): 213-219
- 4) Suzuki T, Takakubo Y, Oki H, Liu X, Honma R, Naganuma Y, Goodman SB**, Kaneko MK**, Kato Y**, Takagi M: Immunohistochemical analysis of inflammatory rheumatoid synovial tissues using anti-human podoplanin monoclonal antibody panel. *Monoclon Antib Immunodiagn Immunother.* 2018; 37(1): 12-19 D
- 5) Takakubo Y, Ohta D**, Ishi M**, Ito J, Oki H**, Naganuma Y, Uno T**, Sasaki A**, Akabane T, Dairaku K**, Goto S**, Goto Y**, Kanauchi Y**, Koabayashi S**, Nakajima T**, Masuda K**, Matsuda M**, Mura N**, Takeuchi K**, Tsuchida H**, Onuma Y**, Shibuya J, Seino M**, Yamaguchi O**, Hiragami K**, Urayama Y**, Furukawa T**, Okuda S**, Ogura K**, Naganuma T**, Sasaki K, Konta T**, Takagi M: The Incidence of atypical femoral fractures in Patients with rheumatic disease. Yamagata prefectural committee of atypical femoral fractures (YamaCAFe) study. *Tohoku J Exp Med.* 2017; 242: 327-334
- 6) Takakubo Y, Oki H, Naganuma Y, Sasaki K, Sasaki A, Tamaki Y**, Suran Y, Konta T**, Takagi M: Distribution of podoplanin in synovial tissues in rheumatoid arthritis patients using biologic or conventional disease-modifying anti-rheumatic drugs. *Curr Rheumatol Rev.* 2017; 13(1): 72-78
- 7) Takano M**, Hashimoto J, Tsuchida H**, Takagi M: The bone regeneration using bone marrow-derived mesenchymal stem cell with recombinant human bone morphogenetic protein-2 in allogeneic repair model of femoral segmental defect of rats. *Yamagata Med J.* 2017; 35(2): 90-100
- 8) Yamada S**, Honma R, Kaneko MK**, Nakamura T**, Yanaka M**, Saidoh N**, Konnai S**, Kato Y**: Characterization of anti-bovine podoplanin monoclonal antibody Pmab-44. *Monoclon Antib Immunodiagn Immunother.* 2017; 36(3): 129-134 B
- 9) 五十嵐貴宏**, 浅野多聞**, 中島拓**, 高木理彰: 恒久性蓋骨脱臼を伴う変形性膝関節症に対して人工膝関節全置換術を施行した1例. *JOSKAS.* 2017; 42(3): 681-685
- 10) 伊藤重治, 佐々木幹, 高窪祐弥, 嶋村之秀, 鈴木智人, 高木理彰: ハイブリット手術室を使用した寛骨臼骨折に対する観血的骨接合術の経験. *東北整災誌.* 2017; 60(1): 123-126
- 11) 伊藤重治, 高窪祐弥, 佐々木幹, 門馬亮介**, 川路博之**, 石井政次**, 高木理彰: 人工股関節全置換術後静脈血栓塞栓症の検索における造影CTと静脈エコーの比較検討. *Hip Joint.* 2017; 43(1): 608-611
- 12) 伊藤重治, 佐々木幹, 高窪祐弥, 門馬亮介**, 川路博之**, 石井政次**, 高木理彰: 変形性股関節症に対するCollarless Polished Tapered (CPT) ステムを使用した人工股関節全置換術の中期成績. *日本人工関節学会誌.* 2017; 47: 689-590
- 13) 伊東貴史**, 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 大木弘治, 高木理彰: Collarless polished double taper stem 固定における高粘度骨セメントと中粘度骨セメントの比較. *Hip Joint.* 2017; 43(2): 1006-1008
- 14) 大石隆太**, 高窪祐弥, 伊藤重治, 長沼靖, 梁秀蘭, 結城一声, 鈴木朱美, 佐々木明子**, 佐々木幹, 鶴田大作**, 村成幸**, 大類広**: トシリズマブ使用下での関節リウマチ手術の検討. *東北整災誌.* 2017; 60(1): 63-67

- 15) 大石隆太**, 福島重宣**, 菅原裕史**, 山本尚生**, 鈴木朱美, 成田淳, 高木理彰: Bicruciate retaining (BCR) 型 TKA における術後成績の検討. 日本人工関節学会誌. 2017; 47: 49-50
- 16) 岡田宗一郎, 針生光博**, 尾山かおり**: 化膿性関節炎に対する関節鏡視下滑膜切除術の治療成績の検討. JOSKAS. 2017; 42(2): 354-355
- 17) 岡田宗一郎**, 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生**, 高木理彰: 人工膝関節置換術後の仮性動脈瘤に対し観血的止血術を行った1例. 日本人工関節学会誌. 2017; 47: 91-92
- 18) 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 大木弘治, 伊東貴史**, 石井政次**, 川路博之**, 門馬亮介**, 高木理彰: 当科における人工股関節再置換術の短・中期成績. Hip Joint. 2017; 43(2): 928-931
- 19) 佐々木幹, 石井政次**, 井田英雄**, 高窪祐弥, 伊藤重治, 門馬亮介**, 小林真司**, 大木弘治**, 高木理彰: 山形県における発育性股関節形成不全(脱臼)の検診と診断遅延例について. 日小整会誌. 2017; 26(1): 68-71
- 20) 佐竹寛史, 長沼靖, 鈴木朱美, 高窪祐弥, 高木理彰: 重なり趾変形の特徴. 東日本整災会誌. 2017; 29: 437-441
- 21) 澁谷純一郎, 佐竹寛史, 長沼靖, 高木理彰, 石垣大介**: 小児上腕骨顆上骨折に伴う神経麻痺. 骨折. 2017; 39(4): 948-951
- 22) 鈴木朱美, 成田淳, 山本尚生**, 高木理彰: 膝関節周囲骨切り手術における3Dプリンターモデルの有用性. JOSKAS. 2017; 42(2): 348-349
- 23) 鈴木朱美, 福島重宣**, 村成幸**, 太田大地**, 高木理彰: Osgood-Schlatter 病の遺残障害に対し鏡視下骨片摘出術を行った2例. 整スポ会誌. 2017; 37(3): 262-266
- 24) 鈴木朱美, 成田淳, 山本尚生**, 浅野多聞**, 福島重宣**, 高木理彰: 解剖学的二十束前十字靭帯再建術における大腿骨骨孔作製法の比較検討. 山形医学. 2017; 35(2): 61-68
- 25) 鈴木智人, 橋本淳一, 山川淳一, 嶋村之秀, 高木理彰: 成人脊柱変形の病態と治療 Pedicle subtraction osteotomy の手術成績. 東北整災誌. 2017; 60(1): 15-21
- 26) 鈴木智人, 橋本淳一, 山川淳一, 嶋村之秀, 高木理彰: 脊椎・脊髄手術における肥満症例の検討. 東北整災誌. 2017; 60(1): 22-25
- 27) 鈴木智人, 橋本淳一, 山川淳一, 嶋村之秀, 赤羽武, 高木理彰: 高齢者の併存疾患・合併症に対する対策 高齢者脊椎変性疾患における術後合併症発生の危険因子 周術期栄養状態評価の重要性. 別冊整形外科. 2017; 72: 152-155
- 28) 大楽勝之**, 大石隆太**, 高原大一郎**, 篠村友紀**, 渡邊忠良**, 長谷川浩士**, 松木宏史**, 林雅弘**, 佐々木幹, 高木理彰: 10歳以上の年長児に発症したペルテス病の2症例. 東北整災誌. 2017; 60(1): 119-122
- 29) 高窪祐弥, 伊藤重治, 佐々木幹, 門馬亮介**, 川路博之**, 大楽勝之**, 小林真司**, 石井政次**, 高木理彰: 過去12年間の股関節関節温存骨切り術の手術件数の推移 - 当院と関連病院の傾向と特徴 -. Hip Joint. 2017; 43(1): 612-615
- 30) 高窪祐弥, 伊藤重治, 大木弘治, 梁秀蘭, 長沼靖, 門馬亮介**, 川路博之**, 佐々木明子**, 佐々木幹, 石井政次**, 高木理彰: 初回THAにおいてKYプレートと圧詰法骨移植により寛骨臼再建を行ったリウマチ股の中期成績. 日本人工関節学会誌. 2017; 47: 721-722
- 31) 玉井夢果*, 小山響子*, 八木橋崇仁*, 高窪祐弥, 伊藤重治, 長沼靖, 大木弘治, 梁秀蘭, 佐々木明子**, 佐々木幹, 鈴木潤*, 遠藤誠*, 大泉弘幸*, 高木理彰: 関節リウマチ治療中に肺癌によるRS3PE症候群様症状を呈した腫瘍随伴症候群の1例. 東北整災誌. 2017; 60(1): 167-172 (学生発表)
- 32) 鶴田大作**, 鈴木朱美, 結城一声, 丸山真博, 高木理彰: 疼痛の強弱に着目した肩腱板断裂手術症例の臨床像に関する検討. 肩関節. 2017; 41(2): 494-496
- 33) 豊野修二**, 石垣大介**, 佐竹寛史, 高木理彰: 受傷後8週以上経過した舟状骨骨折に対する経皮的内固定. 骨折. 2017; 39(4): 925-928
- 34) 永井惇**, 鈴木朱美, 成田淳, 山本尚生**, 北純**, 高木理彰: 特発性距骨壊死に対し人工距骨置換術を行った2例. 日本人工関節学会誌. 2017; 47: 473-474
- 35) 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生**, 高木理彰: 透析患者に対する人工膝関節全置換術の生命予後. JOSKAS. 2017; 42(2): 208-209 F

- 36) 針生光博^{**}, 尾山かおり^{**}, 岡田宗一郎: Modified gap technique 法における術中大腿骨骨切り回旋角度の検討 -術前計測 posterior condylar angle との関連-. JOSKAS. 2017; 42(2): 280-281
- 37) 原田幹生^{**}, 高原政利^{**}, 丸山真博, 高木理彰: ジュニアテニス選手における腰痛発症の危険因子についての検討. 整スポ会誌. 2017; 37(2): 190-195
- 38) 福島重宣^{**}, 菅原裕史^{**}, 山本尚生^{**}, 鈴木朱美, 成田淳, 高木理彰: Bicruciate retaining (BCR) TKA の短期成績と課題. 日本人工関節学会誌. 2017; 47: 399-400
- 39) 宮地隆浩^{**}, 松木宏史^{**}, 林雅弘^{**}, 高木理彰: 人工膝関節再置換術後に生じた大腿四頭筋腱断裂に対し修復術を行った1例. 日本人工関節学会誌. 2017; 47: 79-80
- 40) 村田宙^{*}, 佐々木幹, 高木理彰: THA 術後における腰背部運動機能と自覚的脚長差の関連性の検討. Hip Joint. 2017; 43(2): S174-S177
- 41) 門馬亮介^{**}, 川路博之^{**}, 石井政次^{**}, 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 高木理彰: 反復性人工股関節脱臼に対してコンストレインドライナーのセメント固定を行った2例. 東北整災誌. 2017; 60(1): 127-130
- 42) 門馬亮介^{**}, 石井政次^{**}, 川路博之^{**}, 高窪祐弥, 伊藤重治, 佐々木幹, 高木理彰: 当院における人工股関節のインプラント周囲骨折の発生状況. 日本人工関節学会誌. 2017; 47: 457-458
- 43) 結城一声, 村成幸^{**}, 鶴田大作^{**}, 鈴木朱美, 高木理彰: コンタクト・コリジョンスポーツ選手に対する鏡視下 Bankart 修復術 (footprint fixation 法) の治療成績. 東日本整災会誌. 2017; 29(2): 131-136
- 44) 結城一声, 村成幸^{**}, 高木理彰: 肩甲関節窩前縁骨折に対しノットレス DAFF 法を用いた鏡視下骨接合術の治療経験. JOSKAS. 2017; 42(3): 475-479

(2) 総説及び解説

- 1) Takagi M, Takakubo Y, Pajarinen J^{**}, Naganuma Y, Oki H, Maruyama M, Goodman SB^{**}: Danger of frustrated sensors: Role of Toll-like receptors and NOD-like receptors in aseptic and septic inflammations around total hip replacements. J Orthop Translat. 2017; 10: 68-85 D
- 2) 佐竹寛史, 高原政利^{**}: 野球肘の診断と治療. 整形外科. 2017; 68(6): 563-572
- 3) 佐竹寛史: 肘側副靭帯複合体損傷の画像診断 -MRI 検査-. MB Orthop. 2018; 31(2): 17-25
- 4) 高窪祐弥, 佐々木幹, 高木理彰: 変形性関節症(股関節)の手術療法 -骨切り術から人工股関節置換術まで-. Pharma Medica. 2017; 35(6): 49-57
- 5) 高窪祐弥, 佐々木幹, 高木理彰: 変形性股関節症のリハビリテーションに必須の評価法と活用法. Jpn J Rehabil Med. 2017; 54(11): 849-853

(3) 症例報告

- 1) Sugawara M, Kobayashi E^{**}, Asano N^{**}, Yoshida A^{**}, Kawai A^{**}: Malignant peripheral nerve sheath tumor of the femur: A rare diagnosis supported by complete immunohistochemical loss of H3K27me3. Int J Surg Pathol. 2017; 25(7): 629-634 B

(4) 著書

- 1) 丸山真博, 高原政利^{**}: 肘離断性骨軟骨炎に対する膝骨軟骨柱移植術. 岩崎倫政編, OSNexus スポーツ復帰のための手術 肩・肘. 東京: メジカルビュー社, 2017; 130-137

(5) その他

- 1) 高木理彰: リウマチ・膠原病診療ゴールデンハンドブック (書評). 整形外科. 2017; 68(4): 341
- 2) 高木理彰: 避難生活で起こりやすい廃用症候群を防ぐために -災害リハビリテーションとは-. Medical Note. 2018

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 一般演題

- 1) Maruyama M, Nabeshima A^{**}, Pan CC^{**}, Bruyas A^{**}, Behn A^{**}, Pajarinen J^{**}, Lin T^{**}, Takagi M, Goodman SB^{**}, Yang YP^{**}: The combination effect of functionally-graded scaffold and bone marrow-derived mononuclear cells on treatment of early stage steroid-induced osteonecrosis of the femoral head in rabbits. ORS annual meeting 2017, New Orleans; March 2018 D

- 2) Sugawara M, Kobayashi E**, Yoshida A**, Asano N**, Endo M**, Tanzawa Y**, Nakatani F**, Takagi M, Chuman H**, Kawai K**: Malignant peripheral nerve sheath tumor of femur: A rare diagnosis supported by a complete immunohistochemical loss of H3K27me3. The 19th International Society of Limb Salvage General Meeting, Kanazawa; May 2017 B
- 3) Sugawara M, Tsuchiya T**, Takakubo Y, Sasaki K, Takagi M: Postoperative complications and functional outcome of the patients underwent external hemipelvectomy as a surgery for malignant bone and soft tissue tumors. 2018 ORS annual meeting, New Orleans; March 2018
- 4) Suzuki T, Takakubo Y, Oki H, Liu X, Honma R, Goodman SB**, Takagi M: Immunohistochemical analysis of inflammatory rheumatoid synovial tissues using anti-human monoclonal podoplanin antibody panel. Orthopaedic Research Society 2018 Annual meeting, New Orleans; March 2018 D
- 5) Takakubo Y, Sasaki K, Oki H, Naganuma Y, Narita A, Hirayama T**, Tamaki Y**, Takagi M: Is increasing the trend of primary total hip arthroplasties for the patients with osteoarthritis, but decreasing the rate of female in super-aging area of Japan in last twelve years?. EULAR, Madrid; June 2017
- 6) Takakubo Y, Sasaki K, Ito J, Oki H, Honma R, Kawaji H**, Ishii M**, Takagi M: Trend of total hip arthroplasties in the super-aging area in Northern Japan. ISTA in Seoul, Seoul; September 2017
- 7) Takakubo Y, Oki H, Sasaki K, Naganuma Y, Takagi M: High-molecular-weight adiponectin is correlated with disease activity in the patients with rheumatoid arthritis. ORS 2018, New Orleans; Mar 2018

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Takagi M, Kasai Y**, Itoi E**, Iwamoto Y**, Yamagata T**, Saiki K, Yonezawa T**: (Symposium) International medical support in the disaster experience from Nepal big earthquake 2015. The 90th Annual Meeting of the Japanese Orthopaedic Association, Sendai; May 2017 B
- 2) Takakubo Y, Sasaki K, Narita Atsushi, Narita Aya, Kanauti Y, Yamakawa J, Sugawara M, Kobayashi S**, Hanaka N**, Takagi M: (Session) Postoperative rehabilitation of atypical femoral fractures in patients with rheumatic diseases. The 54th Annual meeting of the Japanese Association of Rehabilitation Medicine, Okayama; June 2017
- 3) 石井政次**, 川路博之**, 門馬亮介**, 伊藤重治, 高窪祐弥, 佐々木幹, 高木理彰: (パネルディスカッション) 人工股関節再置換術 (大腿側) IBG 法の成績と基本手技. 第44回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017年10月
- 4) 川路博之**, 石井政次**, 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 門馬亮介**, 高木理彰: 当科での人工股関節置換術後の静脈血栓塞栓症に対する薬物的予防. 第44回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017年10月
- 5) 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 石井政次**, 川路博之**, 門馬亮介**, 高木理彰: (シンポジウム) 変形性股関節症の保存療法. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月
- 6) 佐竹寛史, 金内ゆみ子**, 柏英雄**, 石垣大介**, 高木理彰: (シンポジウム) 当科で経験した先天性橈尺骨癒合症. 第60回日本手外科学会学術集会, 名古屋; 2017年4月
- 7) 高木理彰: (イブニングセミナー) 人工関節によるリウマチ性股関節障害の機能障害. 第46回日本リウマチの外科学会, 仙台; 2017年8月
- 8) 高窪祐弥, 大木弘治, 長沼靖, 高木理彰: (シンポジウム) 当科における生物学的製剤使用下の整形外科手術の現状. 第46回日本リウマチの外科学会, 仙台; 2017年8月
- 9) 高窪祐弥: (新評議員講演) リウマチ整形外科医としてのこれまでとこれから. 第46回日本リウマチの外科学会, 仙台; 2017年8月
- 10) 高原政利**, 原田幹生**, 丸山真博, 佐竹寛史, 宇野智洋**, 高木理彰: (シンポジウム) 少年野球肘の診断と治療. 第43回日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会, 宮崎; 2017年9月
- 11) 丸山真博, 荒木大輔**, 長尾雅史**: (パネルディスカッション) JOSSM-USA travelling fellow 報告記. 第43回日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会, 宮崎; 2017年9月 B
- 12) 村成幸**, 結城一声, 原田幹生**, 丸山真博, 鶴田大作**: (パネルディスカッション) コンタクト・コリ

ジョンスポーツ選手に対する鏡視下 Bankart 修復術の成績とスポーツ復帰率. 第 90 回日本整形外科学会
学術総会, 仙台; 2017 年 5 月

ii 一般演題

- 1) Takakubo Y, Oki H, Yang S, Sasaki A, Naganuma Y, Nagai J**, Orui H**, Suzuki T, Kato Y**, Takagi M: Expression of podoplanin in synovial tissue of rheumatoid arthritis. The 61th Annual General Assembly and Scientific Meeting of the Japan College of Rheumatology, Fukuoka; April 2017
- 2) Takakubo Y, Ota D**, Oki H, Naganuma Y, Ito J, Ito T**, Narita A, Sasaki K, Takagi M: Trend of atypical femoral fractures in rheumatic patients in the highly super aging area of North Japan. The 61th Annual General Assembly and Scientific Meeting of the Japan College of Rheumatology, Fukuoka; April 2017
- 3) Takakubo Y, Naganuma Y, Nagai J**, Oki H, Yang S, Sasaki A, Ito J, Sasaki K, Takagi M: Trend of orthopaedic surgeries for the patients with rheumatoid arthritis who are received biologic agents in our institute. The 90th Annual Meeting of the Japanese Orthopaedic Association, Sendai; May 2017
- 4) Takakubo Y, Ohta D**, Okuda S**, Ito J, Oki H, Naganuma Y, Sasaki K, Ishii M**, Takagi M: The incidence of atypical femoral fractures in patients with rheumatic disease in our prefectural area of north Japan in the super-aging society: YamaCAFe study. The 90th Annual Meeting of the Japanese Orthopaedic Association, Sendai; May 2017
- 5) 赤羽武, 橋本淳一, 山川淳一, 鈴木智人, 嶋村之秀, 高木理彰: 外傷性頸髄損傷に併発する後咽頭血腫の危険因子に関する検討. 第 90 回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017 年 5 月
- 6) 赤羽武, 橋本淳一, 山川淳一, 鈴木智人, 嶋村之秀, 高木理彰: 透析症例における脊椎手術の周術期栄養評価と合併症の検討. 第 66 回東日本整形災害外科学会, 東京; 2017 年 9 月
- 7) 浅野多聞**, 中島拓, 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生**, 澁谷純一郎, 結城北斗**, 高木理彰: 前十字靭帯・後十字靭帯温存型 TKA の短期成績と成績不良因子の検討. 第 90 回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017 年 5 月
- 8) 浅野多聞**, 中島拓, 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生**, 高木理彰: 両十字温存型十字 TKA の前後制動性と術後疼痛の関連. 第 9 回日本関節鏡・膝・スポーツ日本整形外科学会, 札幌; 2017 年 6 月
- 9) 麻生正, 福島重宣**, 菅原裕史**, 山本尚生**, 成田淳, 高木理彰: ACL・PCL 温存型 TKA 術後の前方不安性の評価. 第 9 回日本関節鏡・膝・スポーツ日本整形外科学会, 札幌; 2017 年 6 月
- 10) 五十嵐貴宏**, 高窪祐弥, 浅野多聞**, 高原政利**, 林雅弘**, 高木理彰: 大腿骨近位部骨折術後の歩行能力に対する認知症の影響. 第 90 回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017 年 5 月
- 11) 五十嵐貴宏**, 小関和彦**, 鈴木朱美, 成田淳, 高木理彰: 膝蓋骨裂離骨折の治療経験. 第 9 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 札幌; 2017 年 6 月
- 12) 五十嵐貴宏**, 原田幹生**, 高木理彰: テニス選手における上肢疲労骨折. 第 9 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 札幌; 2017 年 6 月
- 13) 五十嵐貴宏**, 高窪祐弥, 結城北斗**, 丸山真博, 高原政利**, 高木理彰: V リーグ・バレーボール選手における足関節捻挫の現状 - アンケート調査の結果から -. 第 43 回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 宮崎; 2017 年 9 月
- 14) 石垣大介**, 花香直美**, 加藤義洋**, 佐竹寛史, 高木理彰: X線透視下手術における手外科医の手指被曝 (第 2 報) - パルス透視による直接被曝線量低減効果 -. 第 60 回日本手外科学会学術集会, 名古屋; 2017 年 4 月
- 15) 伊藤重治, 佐々木幹, 高窪祐弥, 大木弘治, 今野祐生, 金谷篤, 門馬亮介**, 川路博之**, 石井政次**, 高木理彰: リウマチ性疾患に対する Collarless Polished Tapered (CPT) スタムの短/中期成績. 第 44 回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017 年 10 月
- 16) 伊東貴史**, 高窪祐弥, 佐々木明子**, 長沼靖, 梁秀蘭, 大木弘治, 佐々木幹, 高木理彰: 当科紹介時のスクリーニング検査で悪性腫瘍を認めた関節リウマチ患者の検討. 第 61 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡; 2017 年 4 月
- 17) 伊東貴史**, 土屋登嗣**, 菅原正登, 高木理彰: 悪性骨・軟部腫瘍患者の終末期にて癌性胸水による呼吸

- 不全出現後の死期の検討. 第50回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会, 東京; 2017年7月
- 18) 岩崎聖*, 橋本淳一, 長谷川浩士**, 千葉克司**, 杉田誠**, 笹木勇人**, 古川孝志**, 鈴木智人, 嶋村之秀, 赤羽武: 85歳以上の高齢者脊椎手術の周術期合併症. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月
 - 19) 岩崎聖*, 尾鷲和也**, 橋本淳一, 山川淳一, 鈴木智人, 嶋村之秀, 赤羽武, 林雅弘**, 長谷川浩士**, 伊藤友一**, 千葉克司**, 内海秀明**, 武井寛**, 杉田誠**, 古川孝志**, 笹木勇人**: 85歳以上の超高齢者の脊椎手術—多施設共同研究—. 第46回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 札幌; 2017年4月
 - 20) 内海秀明**, 千葉克司**, 伊藤友一**, 橋本淳一, 高木理彰: 精神医学的問題が腰椎手術成績と与える影響—BS-POPによる術前評価と治療成績との関係—. 第46回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 札幌; 2017年4月
 - 21) 内海秀明**, 千葉克司**, 橋本淳一, 高木理彰: 当科における内視鏡視下腰椎間板摘出術と経皮的内視鏡下腰椎間板摘出術の短期成績. 第66回東日本整形災害外科学会, 東京; 2017年9月
 - 22) 宇野智洋**, 原田幹生**, 丸山真博, 村成幸**, 高原政利**, 鶴田大作**, 高木理彰: 高校野球選手のクールダウンと痛みやパフォーマンスとの関係. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月
 - 23) 宇野智洋**, 丸山真博, 原田幹生**, 村成幸**, 高原政利**, 佐竹寛史, 高木理彰: 高校野球選手における下肢の柔軟性と体の痛みおよびパフォーマンスとの関係. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月
 - 24) 宇野智洋**, 丸山真博, 原田幹生**, 村成幸**, 高原政利**, 佐竹寛史, 高木理彰: 山形県全県下の高校野球選手を対象にしたクールダウン時のストレッチの試み. 第43回日本整形外科学スポーツ医学会学術集会, 宮崎; 2017年9月
 - 25) 宇野智洋**, 村成幸**, 結城一声, 遠藤誠一**, 高木理彰: 鏡視下腱板修復術直後の塩酸ロピバカイン肩峰下腔単回注入の効果. 第44回日本肩関節学会, 東京; 2017年10月
 - 26) 浦山樹*, 丸山真博, 原田幹生**, 宇野智洋**, 村成幸**, 佐竹寛史, 高原政利**, 高橋俊章**, 高木理彰: 高校野球選手における腰痛は非投球側股関節の柔軟性低下と関連する. 第43回日本整形外科学スポーツ医学会学術集会, 宮崎; 2017年9月
 - 27) 浦山樹*, 神先秀人**, 高橋俊章**, 高木理彰: 女性高齢者の立ち上がり動作における仙骨傾斜角が膝関節へ与える影響—全額面における検討—. 第52回日本理学療法学術大会, 千葉; 2017年5月
 - 28) 遠藤誠一**, 村成幸**, 結城一声, 丸山真博, 高木理彰: 橈骨遠位端骨折に合併する肩痛—手術を要する腱板断裂について—. 第44回日本肩関節学会, 東京; 2017年10月
 - 29) 大石隆太**, 原田幹生**, 村成幸**, 丸山真博, 宇野智洋**, 佐竹寛史, 高木理彰, 高原政利**: 小中学野球選手における僧帽筋下部線維筋力についての検討—肩肘痛や投球パフォーマンスとの関連性—. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月
 - 30) 大石隆太**, 福島重宣**, 菅原裕史**, 山本尚生**, 鈴木朱美, 成田淳, 高木理彰: 拘縮膝に対する中間広筋 snip の効果. 第9回日本関節鏡・膝・スポーツ日本整形外科学会, 札幌; 2017年6月
 - 31) 大石隆太**, 高窪祐弥, 門馬亮介**, 伊藤重治, 佐々木幹, 川路博之**, 石井政次**, 高木理彰: 当院における施設内ボーンバンクの使用状況. 第66回東日本整形災害外科学会, 東京; 2017年9月
 - 32) 大石隆太**, 原田幹生**, 丸山真博, 宇野智洋**, 佐竹寛史, 高原政利**, 高木理彰, 村成幸**: 少年野球選手の野球肘発症に関連する上肢身体的要因. 第44回日本肩関節学会, 東京; 2017年10月
 - 33) 大類広**, 高木理彰: 寝返り不能の重症心身障害児(者)の骨折と骨粗鬆症. 第54回日本リハビリテーション医学会学術集会, 岡山; 2017年6月
 - 34) 大木弘治, 高窪祐弥, 鈴木智人, 長沼靖, 梁秀蘭, 佐々木明子**, 佐々木幹, 大類広**, 高木理彰: 新規抗ポドプラニン抗体 LpMab-3 のエピトープ解析. 第61回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡; 2017年4月
 - 35) 大木弘治, 菅原正登, 高窪祐弥, 土屋登嗣**, 高木理彰: 新規抗ポドプラニン抗体 LpMab-7 による抗腫瘍効果の検討. 第50回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会, 東京; 2017年7月
 - 36) 大木弘治, 高窪祐弥, 本間龍介**, 丸山真博, 鈴木智人, 劉興, 加藤幸成**, 高木理彰: 新規抗ポドプラニン抗体 LpMab-3 のエピトープ解析. 第32回日本整形外科学会基礎学術集会, 宜野湾; 2017年10月
 - 37) 大木弘治, 高窪祐弥, 金谷篤, 小形拓也, 伊藤重治, 佐々木幹, 門馬亮介**, 川路博之**, 石井政次**, 小

- 林真司^{**}, 高木理彰: 当科における抗 TNF 製剤投与中の関節リウマチ患者における人工股関節手術の検討. 第 44 回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017 年 10 月
- 38) 大木弘治, 伊藤重治, 高窪祐弥, 佐々木幹, 小林真司^{**}, 小形拓也, 金谷篤, 今野祐生, 寒河江拓盛, 高木理彰: リウマチ性疾患と精神疾患を合併した股関節障害患者に対する THA の術後合併症の検討. 第 44 回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017 年 10 月
- 39) 太田大地^{**}, 高窪祐弥, 奥田正太^{**}, 伊藤重治, 佐々木幹, 高木理彰: 非定型大腿骨骨折における転子下骨折と骨幹部骨折の比較検討. 第 90 回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017 年 5 月
- 40) 小形拓也, 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 大木弘治, 平山朋幸^{**}, 高木理彰: 小児期の近位大腿骨骨髓炎の既往のある患者に対して人工股関節全置換術を施行した 1 例. 第 66 回東日本整形災害外科学会, 東京; 2017 年 9 月
- 41) 小形拓也, 高窪祐弥, 大木弘治, 長沼靖, 佐々木明子^{**}, 梁秀蘭, 大類広^{**}, 高木理彰: 当科の関節リウマチ(RA)患者に対する JAK 阻害剤(tofacitinib)使用例の短期成績. 第 45 回日本関節病学会, 東京; 2017 年 11 月
- 42) 岡本純一^{**}, 豊島定美^{**}, 豊野修二^{**}, 高木理彰: PS-TKA 術後屈曲角に影響を与える因子の検討. 第 48 回日本人工関節学会, 東京; 2018 年 2 月
- 43) 奥田正太^{**}, 佐竹寛史, 長沼靖, 本間龍介^{**}, 高木理彰: 四肢末梢手術における予防的抗菌薬投与方法. 第 60 回日本手外科学会学術集会, 名古屋; 2017 年 4 月
- 44) 奥田正太^{**}, 佐竹寛史, 澁谷純一郎, 根本信太郎^{**}, 渡邊忠良^{**}, 石垣大介^{**}, 高木理彰: 成人上腕骨遠位端骨折 AO/OTA type A 手術症例における治療成績の検討. 第 43 回日本骨折治療学会, 郡山; 2017 年 7 月
- 45) 金内ゆみ子^{**}, 高木理彰, 佐々木幹, 成田淳, 高窪祐弥, 山川淳一, 菅原正登, 成田亜矢, 小林真司^{**}: 地域包括ケア病棟から在宅復帰が可能であった胸髄損傷の 1 例. 第 54 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 岡山; 2017 年 6 月
- 46) 金内ゆみ子^{**}, 高木理彰, 佐々木幹, 高窪祐弥, 成田淳, 成田亜矢, 小林真司^{**}: 下腿切断術後、大腿骨外顆骨折靭血的手術を施行した 1 例. 第 1 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 大阪; 2017 年 10 月
- 47) 金谷篤, 橋本淳一, 高窪祐弥, 山川淳一, 鈴木智人, 嶋村之秀, 赤羽武, 高木理彰: 胸椎高位に発生した肥厚性硬膜炎の 1 例. 第 66 回東日本整形災害外科学会, 東京; 2017 年 9 月
- 48) 川路博之^{**}, 石井政次^{**}, 門馬亮介^{**}, 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 大木弘治, 高木理彰: 当院における人工股関節置換術の経年推移. 第 48 回日本人工関節学会, 東京; 2018 年 2 月
- 49) 今野祐生, 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 大木弘治, 寒河江拓盛, 高木理彰: CT ガイド下穿刺にて治療し得た股関節内発生ガングリオンの一例. 第 44 回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017 年 10 月
- 50) 寒河江拓盛, 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 大木弘治, 今野祐生, 高木理彰: 変形性股関節症に対する外来リハビリテーションの効果. 第 44 回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017 年 10 月
- 51) 佐々木明子^{**}, 高窪祐弥, 梁秀蘭, 長沼靖, 大木弘治, 大類広^{**}, 高木理彰: 肝臓に多発したメトトレキサート関連リンパ増殖症の 1 例. 第 61 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡; 2017 年 4 月
- 52) 佐々木明子^{**}, 高窪祐弥, 梁秀蘭, 長沼靖, 大木弘治, 大類広^{**}, 吉岡信弥^{**}, 高木理彰: 当科関連施設における生物学的製剤の減量状況. 第 61 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡; 2017 年 4 月
- 53) 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 大木弘治, 小形拓也, 金谷篤, 寒河江拓盛, 高木理彰: 進行期・末期変形性股関節症に対する保存療法の成績. 第 44 回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017 年 10 月
- 54) 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 大木弘治, 石井政次^{**}, 川路博之^{**}, 門馬亮介^{**}, 高木理彰: 人工股関節置換術における taper polished stem の回旋安定性の評価. 第 48 回日本人工関節学会, 東京; 2018 年 2 月
- 55) 佐々木健^{*}, 荒川忍^{*}, 大森充^{*}, 村川美幸^{*}, 横山美雪^{*}, 杏澤大輔^{*}, 有本貴範^{*}, 渡邊哲^{*}, 久保田功^{*}, 高窪祐弥, 高木理彰: 病院連携による回復期心臓リハビリテーションの効果. 第 1 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 大阪; 2017 年 10 月
- 56) 佐竹寛史, 丸山真博, 長沼靖, 澁谷純一郎, 鶴田大作^{**}, 伊東貴史^{**}, 鈴木朱美, 高木理彰: オーバーヘッドスローに障害をきたした胸郭出口症候群に対する関節鏡補助下第 1 肋骨切除術. 第 43 回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 宮崎; 2017 年 9 月

- 57) 佐竹寛史, 長沼靖, 澁谷純一郎, 丸山真博, 高木理彰: 強剛母指の特徴と治療. 第28回日本小児整形外科学会, 東京; 2017年12月
- 58) 佐竹寛史, 長沼靖, 澁谷純一郎, 高木理彰, 石垣大介*: 上腕骨外側上顆炎に対する上腕骨外側上顆除神経術. 第30回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2018年2月
- 59) 澁谷純一郎, 佐竹寛史, 奥田正太*, 根本信太郎*, 長沼靖, 渡邊忠良*, 佐々木淳也*, 石垣大介*, 高木理彰: 成人上腕骨遠位端骨折に伴う術後合併症. 第43回日本骨折治療学会, 郡山; 2017年7月 B
- 60) 澁谷純一郎, 佐竹寛史, 長沼靖, 石垣大介*, 花香直美*, 渡邊忠良*, 原田幹生*, 宇野智洋*, 高原政利*, 高木理彰: 75歳以上の上腕骨遠位端骨折に対する治療成績. 第30回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2018年2月
- 61) 嶋村之秀, 橋本淳一, 山川淳一, 鈴木智人, 赤羽武, 高木理彰: 後期高齢者の化膿性脊椎炎の検討. 第46回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 札幌; 2017年4月
- 62) 嶋村之秀, 橋本淳一, 山川淳一, 鈴木智人, 赤羽武, 高木理彰: シリンジ法 (Syringe technique) を用いた頸椎椎弓根スクリューの刺入精度の検討. 第66回東日本整形災害外科学会, 東京; 2017年9月
- 63) 菅原正登, 小林英介*, 遠藤誠*, 丹澤義一*, 中谷文彦*, 中馬広一*, 高木理彰, 川井症: 軟部肉腫の治療成績における病期分類別の比較検討. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月 B
- 64) 菅原正登, 山川淳一, 高窪祐弥, 佐々木幹, 高木理彰: 骨盤半裁を施行した7例における機能予後の検討. 第54回日本リハビリテーション医学会学術集会, 岡山; 2017年6月
- 65) 菅原正登, 土屋登嗣*, 高木理彰: 当科で骨盤半裁を施行した7例の臨床予後の検討. 第50回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会, 東京; 2017年7月
- 66) 菅原正登, 高窪祐弥, 太田大地*, 伊藤重治, 土屋登嗣*, 永井淳*, 伊東貴史*, 岡田宗一郎*, 石川朗*, 佐々木幹, 高木理彰: 非定型大腿骨骨折を受傷した転移性骨腫瘍患者における大腿骨彎曲変形の検討ー山形県における非定型大腿骨骨折実態調査からー. 第50回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会, 東京; 2017年7月
- 67) 菅原正登, 土屋登嗣*, 高木理彰: 骨梗塞部に発生した大腿骨遠位続発性骨肉腫の1例. 第1回日本サルコーマ治療研究学会学術集会, 東京; 2018年2月
- 68) 鈴木朱美, 成田淳, 山本尚生*, 浅野多聞*, 高木理彰: 自家培養軟骨移植術の短期成績. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月
- 69) 鈴木朱美, 成田淳, 山本尚生*, 浅野多聞*, 福島重宣*, 高木理彰: 解剖学的二重束前十字靭帯再建術のMRI画像による移植腱の再構築過程の検討ー異なる大腿骨骨孔作製法による比較ー. 第9回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 札幌; 2017年6月
- 70) 鈴木朱美, 成田淳, 佐竹寛史, 丸山真博, 高木理彰: 膝前十字靭帯不全による大腿骨内顆軟骨損傷に対し前十字靭帯再建術・高位脛骨骨切り術・自家骨培養軟骨移植術を同時に行った2例. 第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 宮崎; 2017年9月
- 71) 鈴木朱美, 山口奈美*, 斎田良知*, 成田淳, 高木理彰: なでしこジャパン: 団体女子に帯同している女性Drの立場から. 第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 宮崎; 2017年9月 B
- 72) 鈴木朱美, 高窪祐弥, 佐竹寛史, 長沼靖, 石垣大介*, 高木理彰: 鏡視下距骨下関節固定手術を行った3例. 第42回日本足の外科学会・学術集会, 名古屋; 2017年11月
- 73) 鈴木智人, 大木弘治, 高窪祐弥, 佐々木明子*, 梁秀蘭, 高木理彰: 抗ポドプラニン抗体を音痴板滑膜組織におけるポドプラニン発現の検討. 第61回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡; 2017年4月
- 74) 鈴木智人, 橋本淳一, 山川淳一, 嶋村之秀, 赤羽武, 高木理彰: 脊椎脊髄手術におけるTリンパ球サブセットと周術期感染症合併症との関連. 第46回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 札幌; 2017年4月
- 75) 杉田誠*, 武井寛*, 石井淳二*, 土田浩之*, 平上健*, 高木理彰: 骨粗鬆症性椎体骨折における厳密な入院保存療法の治療成績. 第66回東日本整形災害外科学会, 東京; 2017年9月
- 76) 大楽勝之*, 田中賢*, 高木理彰, 佐々木幹: 骨盤輪損傷・寛骨臼骨折合併損傷の一例. 第44回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017年10月
- 77) 高窪祐弥, 佐々木幹, 成田淳, 山川淳一, 成田亜矢, 花香直美*, 菅原正登, 金内ゆみ子*, 小林真司*, 高木理彰: 当科のリウマチ性疾患における非定型大腿骨骨折症例の術後リハビリテーションの検討. 第54回日本リハビリテーション学会, 岡山; 2017年6月

- 78) 高窪祐弥, 大木弘治, 長沼靖, 梁秀蘭, 佐々木明子**, 佐々木幹, 大類広**, 高木理彰: マイクロパー
ティクル刺激による形質細胞様樹状細胞の Toll 様受容体発現の検討. 第 3 回日本骨免疫学会, 石垣;
2017 年 6 月
- 79) 高窪祐弥: 抗 IL-6 受容体抗体製剤使用 RA 滑膜組織における toll-like receptor の発現. 第 4 回日本リ
ウマチ学会ベーシックリサーチ, 東京; 2017 年 10 月
- 80) 高窪祐弥, 長沼靖, 大木弘治, 梁秀蘭, 佐々木明子**, 丸山真博, 鈴木智人, 根本信仁, 伊藤重治, 佐々
木幹, 高木理彰: CTLA4-Ig 製剤使用 RA 患者の滑膜組織における制御性免疫担当細胞と Toll 様受容体の
検討. 第 32 回日本整形外科学会基礎学術集会, 宜野湾; 2017 年 10 月
- 81) 高窪祐弥, 伊藤重治, 宮地隆浩, 佐々木幹, 大木弘治, 門馬亮介**, 川路博之**, 小林真司**, 麻生正, 石
井政次**, 高木理彰: 当科のリウマチ性疾患における非定型大腿骨骨折症例の検討. 第 44 回日本股関節
学会学術集会, 東京; 2017 年 10 月
- 82) 高窪祐弥, 佐々木幹, 伊藤重治, 門馬亮介**, 川路博之**, 大木弘治, 小林真司**, 今野祐生, 寒河江拓
盛, 石井政次**, 高木理彰: 過去 12 年間の小児股関節骨切り術件数の推移 — 当院と関連病院の傾向と特
徴 —. 第 44 回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017 年 10 月
- 83) 高窪祐弥: 生物学的製剤時代の関節リウマチ(RA)患者における手術内容の変遷. 第 45 回日本関節病学会,
東京; 2017 年 10 月
- 84) 高窪祐弥, 長沼靖, 鈴木朱美, 佐竹寛史, 石垣大介**, 高木理彰: 関節リウマチ患者に対する逆行性髄内
釘を用いた足関節固定術の検討. 第 42 回足の外科学会・学術集会, 名古屋; 2017 年 11 月
- 85) 高窪祐弥, 梁秀蘭, 大木弘治, 長沼靖, 佐々木明子**, 小形拓也, 大類広**, 門馬亮介**, 佐々木幹, 川路
博之**, 石井政次**, 高木理彰: 生物学的製剤時代の関節リウマチ(RA)患者における手術内容の変遷. 第
45 回日本関節病学会, 東京; 2017 年 11 月
- 86) 高窪祐弥, 伊藤重治, 大木弘治, 門馬亮介, 川路博之**, 佐々木幹, 小林真司**, 石井政次**, 高木理彰:
KT プレートと塊状同種骨移植により寛骨臼再建を行った人工股関節再置換術の中期成績. 第 48 回日本人工
関節学会, 東京; 2018 年 2 月
- 87) 高原政利**, 原田幹生**, 丸山真博, 宇野智洋**, 佐々木淳也**, 佐竹寛史, 高木理彰: 野球肘の超音波診
断. 第 30 回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2018 年 2 月
- 88) 武井寛**, 杉田誠**, 嶋村之秀, 内海秀明**, 笹木勇人**: 成人脊柱変形に対する OLIF 併用二期的矯正固定
術の成績. 第 46 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 札幌; 2017 年 4 月
- 89) 武井寛**, 杉田誠**, 嶋村之秀, 笹木勇人**, 高木理彰: カーボン PEEK ケージとチタンケージによる CBT-
PILF の成績. 第 66 回東日本整形災害外科学会, 東京; 2017 年 9 月
- 90) 竹内隆二**, 福島重宣**, 成田淳, 鈴木朱美, 高木理彰: 半月板縫合の疼痛対策 内転筋管ブロック (ACB)
の効果. 第 43 回日本整形外科学スポーツ医学会学術集会, 宮崎; 2017 年 9 月
- 91) 千葉克司**, 伊藤友一**, 橋本淳一, 内海秀明**, 嶋村之秀: 経皮的内視鏡下腰椎椎間板摘出術 (PELD) の
アプローチにかかる時間で見たラーニングカーブ. 第 20 回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会, 札幌;
2017 年 7 月
- 92) 土屋登嗣**, 菅原正登, 石川朗**, 高木理彰: 当院におけるアクリジンオレンジ治療の短期成績. 第 50 回
日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会, 東京; 2017 年 7 月
- 93) 鶴田大作**, 鈴木朱美, 結城一声, 江藤淳**, 丸山真博, 村成幸**, 佐竹寛史, 高木理彰: 一次修復困難な
腱板大・広範囲断裂の手術成績. 第 90 回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017 年 5 月
- 94) 豊野修二**, 豊島定美**, 岡本純一**, 高木理彰: TKA における術中トラキネサム酸関節内投与の有効性.
第 48 回日本人工関節学会, 東京; 2018 年 2 月
- 95) 永井惇**, 土屋登嗣**, 赤羽武, 菅原正登, 高窪祐弥, 高木理彰: 軟部腫瘍が疑われ dual energy CT にて
診断できた痛風結節の 3 例. 第 50 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会, 東京; 2017 年 7 月
- 96) 永井惇**, 原田幹生**, 丸山真博, 宇野智洋**, 村成幸**, 佐竹寛史, 高原政利**, 高木理彰: 成長期野球
選手における腰痛と下肢柔軟性との関係. 第 43 回日本整形外科学スポーツ医学会学術集会, 宮崎; 2017 年
9 月
- 97) 中島拓, 浅野多聞**, 澁谷純一郎, 結城北斗**, 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生**, 高木理彰: 両十字靭帯温
存型 TKA の前後制動性の検討 — 従来型 TKA との比較 —. 第 90 回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017

年5月

- 98) 中島拓, 浅野多聞*, 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生**, 高木理彰: 両十字靭帯温存型 TKA の前後制動性と可動域の関係. 第9回日本関節鏡・膝・スポーツ日本整形外科学会, 札幌; 2017年6月
- 99) 長沼靖, 高窪祐弥, 大木弘治, 高木理彰: 関節鏡視下に人工肘関節内遊離体摘出を行った一例. 第46回日本リウマチの外科学会, 仙台; 2017年8月
- 100) 長沼靖, 鈴木朱美, 高窪祐弥, 佐竹寛史, 石垣大介**, 高木理彰: 関節リウマチによる距舟関節障害に対して鏡視下滑膜切除を行った1例. 第42回日本足の外科学会・学術集会, 名古屋; 2017年11月
- 101) 長沼靖, 佐竹寛史, 澁谷純一郎, 花香直美**, 石垣大介**, 高木理彰: 靭帯修復術を行った骨折を伴わない外傷性肘関節脱臼の治療成績. 第30回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2018年2月
- 102) 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生**, 浅野多聞**, 高木理彰: 透析患者に対する人工膝関節全置換術の治療成績と生命予後. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月
- 103) 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生**, 高木理彰: 人工膝関節単顆置換術後感染の2例. 第9回日本関節鏡・膝・スポーツ日本整形外科学会, 札幌; 2017年6月
- 104) 成田亜矢, 高野満夫**, 井田英雄**, 菅原正登, 山川淳一, 成田淳, 高窪祐弥, 佐々木幹, 高木理彰, 金内ゆみ子**, 小林真司**: 療育施設長期入所児の社会復帰に向けた取り組み. 第54回日本リハビリテーション医学会学術集会, 岡山; 2017年6月
- 105) 成田亜矢, 菅原正登, 金内ゆみ子**, 高窪祐弥, 佐々木幹, 村川美幸*, 高木理彰, 石川雅樹: 当院におけるリハビリテーション対象疾患の動向. 第1回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 大阪; 2017年10月
- 106) 仁藤敏哉*, 澁谷純一郎, 長沼靖, 佐竹寛史, 石垣大介**, 高原政利**, 高木理彰: (若手優秀演題アワードセッション) 上腕骨遠位端骨折 AO-OTA 分類 C 型に対する治療の成績. 第66回東日本整形災害外科学会, 東京; 2017年9月
- 107) 根本信太郎**, 佐竹寛史, 澁谷純一郎, 奥田正太**, 長沼靖, 渡邊忠良**, 佐々木淳也**, 石垣大介**, 高原政利**, 高木理彰: 成人上腕骨遠位端骨折における疫学的検討. 第43回日本骨折治療学会, 郡山; 2017年7月
- 108) 根本信仁, 佐々木幹, 朝比奈一三**, 高木理彰: 小児大腿骨骨幹部骨折の3症例. 第66回東日本整形災害外科学会, 東京; 2017年9月
- 109) 花香直美**, 石垣大介**, 加藤義洋**, 佐竹寛史, 高木理彰: 短母指外転筋複合筋活動電位導出不能の手根管症候群の術後成績 - 第2虫洋筋複合筋活動電位の値による比較 -. 第60回日本手外科学会学術集会, 名古屋; 2017年4月
- 110) 花香直美**, 石垣大介**, 澁谷純一郎, 長沼靖, 佐竹寛史, 高木理彰: 掌側転位型頭骨遠位骨端線離開に対する掌側からの intrafocal pinning 法. 第43回日本骨折治療学会, 郡山; 2017年7月
- 111) 原田幹生**, 高原政利**, 丸山真博, 高木理彰: ジュニアテニス選手における腰痛発症の危険因子についての検討. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月
- 112) 原田幹生**, 高原政利**, 丸山真博, 宇野智洋**, 近藤幹朗**, 村成幸**, 高木理彰: 上腕骨小頭離断性骨軟骨炎に対する関節鏡視下病巣・遊離体切除術の手術適応の限界についての検討. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月
- 113) 原田幹生**, 高原政利**, 丸山真博, 宇野智洋**, 高木理彰: ジュニアテニス選手の体幹安定性評価法についての検討. 第43回日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会, 宮崎; 2017年9月
- 114) 原田幹生**, 村成幸**, 丸山真博, 宇野智洋**, 佐竹寛史, 大石隆太**, 高原政利**, 高木理彰: 中学野球選手における肩関節内インピンジメントについての検討. 第44回日本肩関節学会, 東京; 2017年10月
- 115) 原田幹生**, 高原政利**, 近藤幹朗**, 丸山真博, 宇野智洋**, 太田大地**, 高木理彰: 肘関節内骨折に対する関節鏡補助手術の治療経験. 第30回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2018年2月
- 116) 針生光博**, 尾山かおり**, 和根崎禎大**, 永井惇**, 岩崎聖**, 平山朋幸**, 佐藤大祐**, 佐々木淳也**, 尾鷲和也**, 高木理彰: PS 型 TKA における術中ギャップ評価法の検討. curved gap gauge とセンサーの比較. 第48回日本人工関節学会, 東京; 2018年2月
- 117) 福島重宣**, 菅原裕史**, 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生**, 高木理彰: Bi-cruciate retaining (BCR) TKA の短期成績と課題. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月

- 118) 福島重宣^{**}, 菅原裕史^{**}, 山本尚生^{**}, 鈴木朱美, 成田淳, 高木理彰: TKAの術後疼痛対策に内転筋管ブロック(FBN)と同様な効果がある. 第9回日本関節鏡・膝・スポーツ日本整形外科学会, 札幌; 2017年6月
- 119) 福島重宣^{**}, 菅原裕史^{**}, 山本尚生^{**}, 鈴木朱美, 成田淳, 高木理彰: BCR(Bi Cruciate Retaining)TKA術後の問題点. 第9回日本関節鏡・膝・スポーツ日本整形外科学会, 札幌; 2017年6月
- 120) 福島重宣^{**}, 菅原裕史^{**}, 山本尚生^{**}, 成田淳, 鈴木朱美, 高木理彰: ACL・PCL温存型(BCR)TKAの手術適応. 第66回東日本整形災害外科学会, 東京; 2017年9月
- 121) 福島重宣^{**}, 菅原裕史^{**}, 山本尚生^{**}, 中島拓, 鈴木朱美, 成田淳, 高木理彰: BCR TKA2年以上の臨床成績. 第48回日本人工関節学会, 東京; 2018年2月
- 122) 福島重宣^{**}, 菅原裕史^{**}, 山本尚生^{**}, 中島拓, 鈴木朱美, 成田淳, 高木理彰: Vanguard ID (Individualized Desihn)TKAの短期成績. 第48回日本人工関節学会, 東京; 2018年2月
- 123) 本間龍介^{**}, 高窪祐弥, 大木弘治, 鈴木智人, 佐々木明子^{**}, 長沼靖, 梁秀蘭, 高木理彰: リポポリサッカライド誘発性家兎関節炎モデルにおけるポドプラニンの発現に関する検討. 第61回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡; 2017年4月
- 124) 本間龍介^{**}, 高窪祐弥, 大木弘治, 丸山真博, 鈴木智人, 根本信仁, 劉興, 加藤幸成^{**}, 高木理彰: ウサギポドプラニンに対する特異的モノクローナル抗体の樹立とリポポリサッカライド誘発性関節炎モデルにおける応用. 第32回日本整形外科学会基礎学術集会, 宜野湾; 2017年10月 B
- 125) 丸山真博, 佐竹寛史, 鈴木智人, 本間龍介^{**}, 劉興, 長沼靖, 澁谷純一郎, 高窪祐弥, 高木理彰: 家兎膝骨軟骨欠損モデルにおける多血小板血漿および多血小板フィブリンを併用した自家骨軟骨柱移植術の効果. 第32回日本整形外科学会基礎学術集会, 宜野湾; 2017年10月
- 126) 宮地隆浩, 高窪祐弥, 大木弘治, 伊藤重治, 麻生正, 小形拓也, 金谷篤, 今野祐生, 寒河江拓盛, 佐々木幹, 高木理彰: 非定型大腿骨骨折術後の骨癒合不全に対し腸骨自己骨移植とロッキングプレート固定を施行した1例. 第44回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017年10月
- 127) 村川美幸^{*}, 佐々木健^{*}, 石川雅樹^{*}, 高窪祐弥, 高木理彰: 早期リハビリテーション介入の取り組み. 第1回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 大阪; 2017年10月
- 128) 村田宙^{*}, 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 高木理彰: THA後患者の立位骨盤傾斜と体幹側屈可動域の関連性について. 第44回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017年10月
- 129) 村成幸^{**}, 結城一声, 原田幹生^{**}, 丸山真博, 宇野智洋: コンタクト・コリジョンスポーツ選手に対する鏡視下Bankart修復術TAFF法VSノットレスDAFF法. 第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 宮崎; 2017年9月
- 130) 村成幸^{**}, 伊藤重治, 結城一声, 佐々木幹, 高木理彰: 上腕骨人工骨頭再置換術に同種骨 impaction bone graft を行い15年経過した1例. 第48回日本人工関節学会, 東京; 2018年2月
- 131) 門馬亮介^{**}, 石井政次^{**}, 川路博之^{**}, 高窪祐弥, 伊藤重治, 佐々木幹, 高木理彰: 当科における taper polish 型システムを用いた人工股関節全置換術後のインプラント周囲骨折の機種毎の発生頻度. 第44回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017年10月
- 132) 門馬亮介^{**}, 石井政次^{**}, 川路博之^{**}, 大木弘治, 伊藤重治, 高窪祐弥, 佐々木幹, 高木理彰: 人工股関節全置換術後急性期におけるアセトアミノフェン点滴剤の有用性. 第48回日本人工関節学会, 東京; 2018年2月
- 133) 山川淳一, 橋本淳一, 鈴木智人, 嶋村之秀, 赤羽武, 高木理彰: 非骨傷性頸髄損傷の機能回復—MR Iにおける靭帯損傷の有無は予後に影響するか—. 第46回日本脊椎病学会学術集会, 札幌; 2017年4月
- 134) 山本尚生^{**}, 成田淳, 鈴木朱美, 豊島定美^{**}, 浅野多聞, 中島拓, 豊野修二^{**}, 和根崎禎大^{**}, 高木理彰: 人工膝関節全置換術の術後疼痛対策におけるステロイド製剤の種類および投与方法についての検討. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月
- 135) 山本尚生^{**}, 成田淳, 鈴木朱美, 豊島定美^{**}, 豊野修二^{**}, 高木理彰: 人工膝関節全置換術の術中ステロイド注射による屈曲角度への影響—投与方法の違いによる検討—. 第9回日本関節鏡・膝・スポーツ日本整形外科学会, 札幌; 2017年6月
- 136) 山本尚生^{**}, 福島重宣^{**}, 菅原裕史^{**}, 成田淳, 鈴木朱美, 中島拓, 高木理彰: 人工膝関節全置換術に対する術後疼痛対策として的大腿神経ブロックと内転筋管ブロックの比較検討. 第66回東日本整形災害外科

学会, 東京; 2017年9月

- 137) 山本尚生*, 福島重宣*, 菅原裕史*, 成田淳, 鈴木朱美, 中島拓, 高木理彰: 術後疼痛対策として両側同時人工膝関節全置換術における大腿神経ブロックと内転筋管ブロックの比較検討. 第48回日本人工関節学会, 東京; 2018年2月
- 138) 梁秀蘭, 高窪祐弥, 佐々木明子*, 長沼靖, 成田淳, 大木弘治, 高木理彰: 関節リウマチ滑膜表層におけるHO-1発現と多層化の関係. 第32回日本整形外科学会基礎学術集会, 宜野湾; 2017年10月
- 139) 結城一声, 村成幸*, 鶴田大作*, 鈴木朱美, 丸山真博, 原田幹生*, 高木理彰: 腱板大~広範囲断裂に対する鏡視下腱板修復術後2年間の筋力回復. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月
- 140) 結城一声, 村成幸*, 鈴木朱美, 鶴田大作*, 高木理彰: 肩甲下筋腱単独断裂に対するNet-like DAFF法による鏡視下腱板修復術の治療成績. 第9回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 札幌; 2017年6月
- 141) 結城一声, 村成幸*, 宇野智洋*, 鶴田大作*, 鈴木朱美, 佐竹寛史, 高木理彰: 80歳以上に対する鏡視下腱板修復術の治療成績. 第66回東日本整形災害外科学会, 東京; 2017年9月
- 142) 結城一声, 村成幸*, 遠藤誠一*, 宇野智洋*, 鶴田大作*, 佐竹寛史, 鈴木朱美, 高木理彰: 鏡視下腱板修復術後1年における筋力回復例と回復不良例の検討. 第44回日本肩関節学会, 東京; 2017年10月
- 143) 結城北斗*, 高原政利*, 原田幹生*, 丸山真博, 宇野智洋*, 村成幸*, 佐竹寛史, 高木理彰: 高校野球選手のバッティング動作時の手~手関節痛とバットの握り方およびグリップエンドの形状の関係. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月
- 144) 和根崎禎大*, 針生光博*, 尾山かおり*, 高木理彰: 糖尿病合併患者の人工膝関節置換術におけるステロイド添加関節近傍注射の血糖値への影響. 第48回日本人工関節学会, 東京; 2018年2月

(3) 国内地方会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 田中賢*, 根本信仁, 岡本純一*, 江藤淳*, 石川朗*, 朝比奈一三*, 高木理彰: 山形県立中央病院における小児下肢骨折・骨端線損傷治療の動向. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月
- 2) 根本信仁, 成田淳, 佐々木幹, 朝比奈一三*, 高木理彰: 垣根を超えた外傷診療・教育 ~科を超えた取り込み・チーム医療を目指して~ 山形からの報告. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月

ii 一般演題

- 1) 赤羽武, 橋本淳一, 山川淳一, 鈴木智人, 嶋村之秀, 高木理彰: 胸椎椎間板ヘルニアの発生要因と手術成績の検討. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月
- 2) 麻生正, 伊藤重治, 高窪祐弥, 佐々木幹, 高木理彰: 診断に難渋し経過観察中に完全を来し外科的治療を要した非定型大腿骨骨折の一例. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月
- 3) 荒川忍*, 沓澤大輔*, 大森允*, 佐々木健*, 石川雅樹*, 村川美幸*, 有本貴範*, 渡邊哲*, 高窪祐弥, 高木理彰: 外来心臓リハビリテーションにおける身体運動機能・運動耐容能・QOL変化の検討. 日本心臓リハビリテーション学会 第2回東北支部地方会, 仙台; 2017年12月
- 4) 五十嵐貴宏*, 鈴木朱美, 成田淳, 高原政利*, 高木理彰: 膝蓋骨裂離骨折の治療経験. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月
- 5) 石川朗*, 土屋登嗣*, 菅原正登: 7歳で発症した左大腿骨遠位骨腫瘍症例の術後21年の経過と歩行機能. 第43回日本リハビリテーション医学会東北地方会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会, 仙台; 2018年3月
- 6) 伊東貴史*, 結城一声, 鈴木朱美, 鶴田大作*, 高木理彰: 2枚のプレートで内固定した鎖骨骨幹部骨折の1例. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月
- 7) 宇野智洋, 鶴田大作*, 篠村友紀*, 江藤淳*, 鈴木朱美, 結城一声, 村成幸*, 林雅弘*, 高木理彰: 肩甲骨関節窩骨折に対し、スーチャーアンカーを併用した鏡視下骨接合術を行った3例. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月
- 8) 大石隆太*, 石垣大介*, 花香直美*, 高木理彰: 爪下に発生した表皮嚢腫の治療経験. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月
- 9) 大木弘治, 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 高木理彰: 変形性股関節症におけるTHA術前患者と経過観察例の比較 -JOAスコアとJHEQの観点から-. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月
- 10) 大木弘治, 伊藤重治, 高窪祐弥, 佐々木幹, 小林真司*, 高木理彰: 精神疾患を合併したリウマチ性股関

節障害患者に対する初回 THA の術後合併症の検討. 第 27 回日本リウマチ学会 北海道・東北支部学術集会, 山形; 2017 年 11 月

- 11) 大森允*, 香澤大輔*, 高窪祐弥, 村川美幸*, 石川雅樹, 佐々木健*, 荒川忍*, 高木理彰: 循環器疾患患者に対する二重積を用いた至適運動強度の推定 一定量負荷の運動療法中の生体反応を観察して. 第 35 回東北理学療法学術大会, 盛岡; 2017 年 11 月
- 12) 岡田宗一郎**, 高窪祐弥, 長沼靖, 伊藤重治, 佐々木幹, 菅原正登, 土屋登嗣**, 高木理彰: 巨大な痛風結節に対し外科的切除を行った 1 例. 第 114 回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017 年 6 月
- 13) 佐々木健*, 大森允*, 荒川忍*, 石川雅樹*, 村川美幸*, 香澤大輔, 有本貴範, 高窪祐弥, 高木理彰: 地域連携による外来心臓リハビリテーションの効果. 第 23 回山形心臓外科懇話会, 山形; 2017 年 7 月
- 14) 佐竹寛史, 丸山真博, 長沼靖, 澁谷純一郎, 鶴田大作**, 伊東貴史**, 高木理彰: 血流障害による胸郭出口症候群に対して関節鏡補助下第 1 肋骨切除術を施行した 1 例. 第 114 回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017 年 6 月
- 15) 柴橋広智*, 村川美幸*, 佐々木健*, 菊池瑞恵*, 辺見大剛*, 長沼靖, 高木理彰: 積極的な腱滑走訓練により伸展不全が改善した伸筋腱断裂の一例 ~ZONE VI における複数指伸筋腱断裂~. 第 25 回山形県作業療法学会, 酒田; 2017 年 5 月
- 16) 嶋村之秀, 橋本淳一, 山川淳一, 鈴木智人, 赤羽武, 伊藤友一**, 千葉克司**, 内海秀明**, 高木理彰: 胸腰椎経皮的椎弓根スクリューの刺入精度の検討. 第 114 回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017 年 6 月
- 17) 鈴木智人, 橋本淳一, 山川淳一, 嶋村之秀, 赤羽武, 高木理彰: 脊椎変性疾患における術後合併症発生の危険因子 一周術期栄養状態の動的評価-. 第 114 回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017 年 6 月
- 18) 大楽勝之**, 太田大地**, 宇野智洋, 長谷川浩士**, 渡邊忠良**, 鶴田大作**, 松木宏史**, 林雅弘**, 高木理彰: 長期血液透析患者に発症した股関節アミロイドーシス 1 例. 第 114 回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017 年 6 月
- 19) 高窪祐弥, 長沼靖, 大木弘治, 梁秀蘭, 結城北斗, 大類広**, 佐々木幹, 高木理彰: ジャックー関節症の病理学的検討. 第 27 回日本リウマチ学会 北海道・東北支部学術集会, 山形; 2017 年 11 月
- 20) 土屋登嗣**, 菅原正登, 高木理彰: 遠隔転移の初発病変が多発性骨転移であった粘液型脂肪肉腫の 3 例. 第 114 回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017 年 6 月
- 21) 鶴田大作**, 大石隆太**, 宇野智洋, 太田大地**, 伊東貴史**, 鈴木朱美, 結城一声, 高木理彰: 関節鏡補助下に人工靭帯を用いた再建術を行った肩鎖関節脱臼の 3 例. 第 114 回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017 年 6 月
- 22) 永井惇**, 鈴木朱美, 成田淳, 山本尚生**, 高木理彰: 膀胱癌全摘出後に発生した下腿コンパートメント症候群の 1 例. 第 114 回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017 年 6 月
- 23) 辺見大剛*, 村川美幸*, 佐々木健*, 菊池瑞恵*, 柴橋広智*, 浦山樹*, 菅原正登, 高木理彰: 上腕二頭筋を切除した症例の前腕回内外運動 一悪性軟部腫瘍患者における筋電図学的検討-. 第 25 回山形県作業療法学会, 山形; 2017 年 5 月
- 24) 山本尚生**, 鈴木朱美, 成田淳, 岡田宗一郎**, 高木理彰: 膝前十字靭帯より発生したガングリオンの 1 例. 第 114 回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017 年 6 月
- 25) 梁秀蘭, 佐々木明子**, 高窪祐弥, 大木弘治, 長沼靖, 大類広**, 吉岡信弥**, 高木理彰: 整形外科単科病院リウマチ外来における高齢関節リウマチ患者の生物学的製剤使用状況. 第 27 回日本リウマチ学会 北海道・東北支部学術集会, 山形; 2017 年 11 月

(4) 研究会

i 一般演題

- 1) 伊藤重治: どこがベスト? ネイル・ラグスクリューの設置位置. Hip fracture symposium 2017, 東京; 2017 年 6 月
- 2) 石垣大介**, 花香直美**, 佐竹寛史, 長沼靖, 澁谷純一郎, 高木理彰: 手根管症候群の再手術例に対し、橈骨動脈穿枝脂肪弁で神経被覆を行った 2 例. 第 32 回東日本手外科研究会, 東京; 2018 年 2 月
- 3) 佐竹寛史, 長沼靖, 澁谷純一郎, 高木理彰, 石垣大介**: くびれが確認された特発性後骨間神経麻痺に対する神経剥離術. 第 32 回東日本手外科研究会, 東京; 2018 年 2 月
- 4) 澁谷純一郎, 佐竹寛史, 長沼靖, 高木理彰, 石垣大介**: 正中神経の繊維脂肪性過誤腫による手根管症候

- 群の1例. 第32回東日本手外科研究会, 東京; 2018年2月
- 5) 菅原正登, 土屋登嗣*, 石川朗**, 高木理彰: 大腿骨遠位骨腫瘍の1例. 第24回東北地区骨軟部腫瘍研究会, 秋田; 2017年10月
 - 6) 菅原正登, 丹澤義一**, 高木理彰: 大腿骨骨腫瘍の1例. 第11回金沢骨軟部腫瘍セミナー, 金沢; 2017年12月
 - 7) 菅原正登, 土屋登嗣*, 高木理彰: 当院でアクリジンオレンジ治療を行った症例の検討. 第9回アクリジンオレンジ治療研究会, 京都; 2018年2月
 - 8) 鈴木智人, 橋本淳一, 山川淳一, 嶋村之秀, 赤羽武, 高木理彰: 高齢者脊椎変性疾患術後合併症と術前腎機能との関連. 第28回東北脊椎外科研究会, 仙台; 2018年1月
 - 9) 高窪祐弥: リウマチ診断におけるピットホール. 第82回山形整形外科研究会, 山形; 2017年6月
 - 10) 高窪祐弥, 梁秀蘭, 長沼靖, 佐々木明子**, 高木理彰: やらんなネットによる循環型病診連携中に、白血球減少症と肝機能酵素異常をきたした2例. やらんなネット懇話会, 山形; 2017年8月
 - 11) 高窪祐弥, 大木弘治, 長沼靖, 佐々木明子**, 梁秀蘭, 大類広**, 高木理彰: 当科におけるトファシチニブの適応症例について. 第34回山形リウマチ研究会, 山形; 2017年11月 B
 - 12) 長沼靖, 佐竹寛史, 澁谷純一郎, 花香直美**, 石垣大介**, 高木理彰: 正中神経断裂に対して神経再生誘導チューブを用いて治療した1例. 第32回東日本手外科研究会, 東京; 2018年2月
 - 13) 花香直美**, 石垣大介**, 本間龍介**, 加藤義洋**, 佐竹寛史, 高木理彰: 橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート術後長期経過後に判明した屈筋腱皮下断裂. 第32回東日本手外科研究会, 東京; 2018年2月
 - 14) 結城一声, 鈴木朱美, 鶴田大作**, 村成幸**, 高木理彰: 肩甲骨関節窩骨折と上腕二頭筋断裂を合併した1例. 第28回東北肩関節研究会, 仙台; 2017年7月

(5) 座 長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 高木理彰: 特別講演. 第27回日本リウマチ学会 北海道・東北支部学術集会, 山形; 2017年11月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 高木理彰, 宍戸孝明: シンポジウム2 人工股関節長期耐用性における課題と展望. 第44回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017年10月
- 2) 高木理彰: ランチョンセミナー21. 第44回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017年10月
- 3) 高木理彰: モーニングセミナー3. 第1回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 大阪; 2017年10月
- 4) 高木理彰: ランチョンセミナー10. 第48回日本人工関節学会, 東京; 2018年2月
- 5) 安永裕司**, 高木理彰: シンポジウム8 変形性股関節症の保存療法. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月

iii 一般演題

- 1) 小林秀雄*, 佐々木幹: 一般演題 小児2. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月
- 2) 佐々木幹: 一般演題ポスター 外傷: 大腿骨近位部骨折2. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月
- 3) 佐々木幹: 一般演題1 キアリ骨盤骨切り術・棚形成・他. 第44回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017年10月
- 4) 高木理彰, 関矢一郎: 一般演題講演39 軟骨: 培養・病態. 第32回日本整形外科学会基礎学術集会, 宜野湾; 2017年10月
- 5) 橋本淳一: 一般口演20 化膿性脊椎炎2. 第46回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 札幌; 2017年4月
- 6) 橋本淳一: 一般演題ポスター 脊椎: 腰部脊柱管狭窄症2. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月

(6) その他

- 1) 高窪祐弥: (教育講演) リウマチ性疾患の画像診断. RA財団教育研修講演, 盛岡; 2017年9月
- 2) 平野れな*, 入江克宗*, 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生**, 高窪祐弥, 佐竹寛史, 高木理彰: (学生セッション) 本学医学生における膝前十字靭帯損傷と性格・心理学的特性. 第114回東北整形災害外科学会, 新

瀧; 2017年6月

- 3) 丸山真博: JOSSM - USA Travering fellow 報告. 第43回日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会, 宮崎; 2017年9月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 高木理彰: 日本股関節学会 第3回教育研修セミナー (開催責任者), 東京; 2017年10月
- 2) 高木理彰: 第27回日本リウマチ学会 北海道・東北支部学術集会 (主催), 山形; 2017年11月

4. 学会等での受賞

- 1) 金谷篤: Case Report Award 優秀演題. 2017年9月
- 2) Maruyama M: 2018 ORS/OREF Travel Award in Orthopaedic Research Translation. ORS annual meeting 2017, New Orleans; March 2018

5. その他

- 1) 丸山真博: 日本整形外科学会 Travelling fellow-USA 2017. 2017年7月8日-27日

皮膚科学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Okamura K, Hayashi M, Abe Y, Araki Y, Hozumi Y, Suzuki T: Microsatellite polymorphism located immediately upstream of the phosphatidylinositol glycan, class K gene (PIGK) affects its expression, which correlates with tyrosinase activity in human melanocytes. *J Dermatol Sci.* 2017; 85: 131-134
- 2) Okamura K, Saitoh H**, Saitoh S**, Suzuki T: Case of a neutrophilic dermatosis involving lung abscess after influenza vaccination. *J Dermatol.* 2017; 44: 11-12 B
- 3) Okamura K, Konno T, Onami K, Nikaido M, Okazaki N, Abe Y, Hayashi M, Yaguchi Y, Sato H*, Konta T*, Suzuki T: A case of primarily facial pyoderma gangrenosum associated with Takayasu arteritis. *JAAD case reports.* 2017; 3: 124-126
- 4) Ozaki S**, Funasaka Y**, Otsuka Y**, Oyama S**, Ito M**, Osada SI**, Ueno T**, Okamura K, Hozumi Y, Suzuki T, Kawana S**, Saeki H**: Melanotic Malignant Melanoma in Oculocutaneous Albinism Type 4. *Acta Derm Venereol.* 2017; 97(2): 287-288 B
- 5) Gan EY**, Eleftheriadou V**, Esmat S**, Hamzavi I**, Passeron T**, Bohm M**, Anbar T**, Goh BK**, Lan CE**, Lui H**, Ramam M**, Raboobe N**, Katayama I**, Suzuki T, Parsad D**, Seth V**, Lim HW**, van Geel N**, Mulekar S**, Harris J**, Wittal R**, Benzekri L**, Gauthier Y**, Kumarasinghe P**, Thng ST**, Silva de Castro CC**, Abdallah M**, Vrijman C**, Bekkenk M**, Seneschal J**, Pandya AG**, Ezzedine K**, Picardo M**, Taieb A**, VGICC: Repigmentation in vitiligo: position paper of the Vitiligo Global Issues Consensus Conference. *Pigment Cell Melanoma Res.* 2017; 30(1): 28-40 D
- 6) 深井和吉**, 大磯直毅**, 川口雅一, 佐藤美保**, 堀田喜裕**, 種村篤**, 金田真理**, 川上民裕**, 西村栄美**, 林思音**, 山下英俊*, 錦織千佳子**, 佐野栄紀**, 片山一朗**, 鈴木民夫: 眼皮膚白皮症診断ガイドライン作成委員会: 眼皮膚白皮症診療ガイドライン補遺. *日本皮膚科学会雑誌.* 2017; 127(2): 133-135 B

(2) 著書

- 1) Kawaguchi M, Suzuki T: Melanogenesis and New Signaling Regulators for the Treatment of Melasma. *Evangeline B. Handog, Maria Juliet Enriquez-Macarayo, Melasma and Vitiligo in Brown Skin, India: Springer,* 2017: 85-92 F

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i 一般演題

- 1) 荒木勇太, 岡村賢, 朝野寛視**, 石本裕士**, 坂本憲穂**, 迎寛**, 穂積豊, 鈴木民夫: 新規遺伝子変異を認めた Hermansky-Pudlak 症候群 1 型(HPS1)の 1 例. 第 80 回日本皮膚科学会東京支部学術大会, 横浜; 2017 年 2 月 B

(2) 研究会

i 一般演題

- 1) 大浪宏介, 中野祥子, 荒木由梨, 紺野隆之, 鈴木民夫: CK 上昇に伴い転移巣の増大を認めた胃癌合併皮膚筋炎の一例. 第 40 回皮膚脈管・膠原病研究会, 福島; 2017 年 1 月
- 2) 齊藤亨, 村田老大, 林昌浩, 川口雅一, 鈴木民夫, 須藤一**: 嚙下障害を認めた皮膚筋炎の 1 例. 第 40 回皮膚脈管・膠原病研究会, 福島; 2017 年 1 月 B

3. その他

- 1) 矢口順子: アトピー性皮膚炎について. 山形市民公開講座, 山形; 2017 年 2 月

皮膚科学講座

1. 論 文

(1) 原 著

- 1) Kawaguchi M, Suzuki T: Dermoscopy is useful for the diagnosis of milia-like idiopathic calcinosis cutis. *Australas J Dermatol.* 2018; 59(1): 63-64
- 2) Kawaguchi M, Murata I, Suzuki T: Dermoscopic features of mucoepidermoid carcinoma of the lip. *J Dermatol.* 2017; 44(10): 260-261
- 3) Hayashi M, Yaguchi Y, Okamura K, Goto E*, Onodera Y*, Sugiura A*, Suzuki H*, Nakane M*, Kawamae K*, Suzuki T: A case of extensive burn without sepsis showing high level of plasma presepsin (sCD14-ST). *Burns open.* 2017; 1(1): 33-36
- 4) Okamura K, Abe Y, Araki Y, Wakamatsu K**, Seishima M**, Umetsu T**, Kato A**, Kawaguchi M, Hayashi M, Hozumi Y, Suzuki T: Characterization of melanosomes and melanin in Japanese patients with Hermansky-Pudlak syndrome types 1, 4, 6, and 9. *Pigment Cell Melanoma Res.* 2018; 31(2): 267-276 B
- 5) Okamura K, Konno T, Onami K, Nikaido M, Okazaki N, Abe Y, Hayashi M, Yaguchi Y, Sato H*, Konta T*, Suzuki T: A case of primarily facial pyoderma gangrenosum associated with Takayasu arteritis. *JAAD Case Rep.* 2017; 3(2): 124-126
- 6) Omura R**, Fukai K**, Sugawara K**, Tsuruta D**, Okamura K, Hozumi Y, Suzuki T: Ultrastructural study of dyschromatosis symmetrica hereditaria with widespread pigmentary eruption. *J Dermatol.* 2017; 44(7): 150-151 B
- 7) Sato K**, Watanabe O**, Ohmiya S**, Chiba F**, Suzuki A**, Okamoto M**, Younghuang J**, Hata A**, Nonaka H**, Kitaoka S**, Nagai Y**, Kawamura K**, Hayashi M, Kumaki S**, Suzuki T, Kawakami K**, Nishimura H**: Efficient isolation of human metapneumovirus using MNT-1, a human malignant melanoma cell line with early and distinct cytopathic effects. *Microbiol Immunol.* 2017; 61: 497-506 B
- 8) Matsuura K**, Ujii H**, Hayashi M, Muramatu K**, Yoshizawa J, Ito T**, Iwata H**, Suzuki T, Shimizu H**: Linear IgA Disease in a Pregnant Woman with Autoantibodies to the Non-collagenous 16A Domain of Type XVII Collagen. *Acta Derm Venereol.* 2017; 97: 404-405 B
- 9) 尹浩信**, 立花隆夫**, 井上雄二**, 金子栄**, 加納宏行**, 新谷洋一**, 辻田淳**, 長谷川稔**, 藤田英樹**, 茂木精一郎**, レパヴァー・アンドレ**, 磯貝善藏**, 入澤亮吉**, 大塚正樹**, 門野岳史**, 古賀文二**, 廣崎邦紀**, 藤原浩**, 安部正敏**, 池上隆太**, 爲政大幾**, 加藤裕史**, 櫻井英一**, 谷崎英昭**, 中西健史**, 松尾光馬**, 山崎修**, 浅井純**, 浅野善英**, 石井貴之**, 岩田洋平**, 川上民裕**, 小寺雅也**, 藤本学**, 伊藤孝明**, 久木野竜一**, 皿山泰子**, 谷岡未樹**, 前川武雄**, 八代浩**, 天野正宏**, 尾本陽一**, 川口雅一, 境恵祐**, 土井直孝**, 橋本彰**, 林昌浩, 間所直樹**, 吉野雄一郎**, 幸野健**: 創傷・熱傷ガイドライン策定委員会、日本皮膚科学会ガイドライン 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン 1: 創傷一般ガイドライン. *日本皮膚科学会雑誌.* 2017; 127(8): 1659-1687 B
- 10) 尹浩信**, 立花隆夫**, 井上雄二**, 金子栄**, 加納宏行**, 新谷洋一**, 辻田淳**, 長谷川稔**, 藤田英樹**, 茂木精一郎**, レパヴァー・アンドレ**, 磯貝善藏**, 入澤亮吉**, 大塚正樹**, 門野岳史**, 古賀文二**, 廣崎邦紀**, 藤原浩**, 安部正敏**, 池上隆太**, 爲政大幾**, 加藤裕史**, 櫻井英一**, 谷崎英昭**, 中西健史**, 松尾光馬**, 山崎修**, 浅井純**, 浅野善英**, 石井貴之**, 岩田洋平**, 川上民裕**, 小寺雅也**, 藤本学**, 伊藤孝明**, 久木野竜一**, 皿山泰子**, 谷岡未樹**, 前川武雄**, 八代浩**, 天野正宏**, 尾本陽一**, 川口雅一, 境恵祐**, 土井直孝**, 橋本彰**, 林昌浩, 間所直樹**, 吉野雄一郎**, 幸野健**: 創傷・熱傷ガイドライン策定委員会、日本皮膚科学会ガイドライン 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン 2: 褥瘡診療ガイドライン. *日本皮膚科学会雑誌.* 2017; 127(8): 1689-1744 B
- 11) 尹浩信**, 立花隆夫**, 井上雄二**, 金子栄**, 加納宏行**, 新谷洋一**, 辻田淳**, 長谷川稔**, 藤田英樹**, 茂木精一郎**, レパヴァー・アンドレ**, 磯貝善藏**, 入澤亮吉**, 大塚正樹**, 門野岳史**, 古賀文二**, 廣崎邦紀**, 藤原浩**, 安部正敏**, 池上隆太**, 爲政大幾**, 加藤裕史**, 櫻井英一**, 谷崎英昭**, 中西健史**, 松尾光馬**, 山

- 崎修^{**}, 浅井純^{**}, 浅野善英^{**}, 石井貴之^{**}, 岩田洋平^{**}, 川上民裕^{**}, 小寺雅也^{**}, 藤本学^{**}, 伊藤孝明^{**}, 久木野竜一^{**}, 皿山泰子^{**}, 谷岡未樹^{**}, 前川武雄^{**}, 八代浩^{**}, 天野正宏^{**}, 尾本陽一^{**}, 川口雅一, 境恵祐^{**}, 土井直孝^{**}, 橋本彰^{**}, 林昌浩, 間所直樹^{**}, 吉野雄一郎^{**}, 幸野健^{**}: 創傷・熱傷ガイドライン策定委員会、日本皮膚科学会ガイドライン 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン 2:褥瘡診療ガイドライン. 日本皮膚科学会雑誌. 2017; 127(9): 1933-1988 B
- 12) 尹浩信^{**}, 立花隆夫^{**}, 井上雄二^{**}, 金子栄^{**}, 加納宏行^{**}, 新谷洋一^{**}, 辻田淳^{**}, 長谷川稔^{**}, 藤田英樹^{**}, 茂木精一郎^{**}, レパヴー・アンドレ^{**}, 磯貝善藏^{**}, 入澤亮吉^{**}, 大塚正樹^{**}, 門野岳史^{**}, 古賀文二^{**}, 廣崎邦紀^{**}, 藤原浩^{**}, 安部正敏^{**}, 池上隆太^{**}, 爲政大幾^{**}, 加藤裕史^{**}, 櫻井英一^{**}, 谷崎英昭^{**}, 中西健史^{**}, 松尾光馬^{**}, 山崎修^{**}, 浅井純^{**}, 浅野善英^{**}, 石井貴之^{**}, 岩田洋平^{**}, 川上民裕^{**}, 小寺雅也^{**}, 藤本学^{**}, 伊藤孝明^{**}, 久木野竜一^{**}, 皿山泰子^{**}, 谷岡未樹^{**}, 前川武雄^{**}, 八代浩^{**}, 天野正宏^{**}, 尾本陽一^{**}, 川口雅一, 境恵祐^{**}, 土井直孝^{**}, 橋本彰^{**}, 林昌浩, 間所直樹^{**}, 吉野雄一郎^{**}, 幸野健^{**}: 創傷・熱傷ガイドライン策定委員会、日本皮膚科学会ガイドライン 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン 3:糖尿病性潰瘍・壊疽ガイドライン. 日本皮膚科学会雑誌. 2017; 127(9): 1989-2031 B
- 13) 尹浩信^{**}, 立花隆夫^{**}, 井上雄二^{**}, 金子栄^{**}, 加納宏行^{**}, 新谷洋一^{**}, 辻田淳^{**}, 長谷川稔^{**}, 藤田英樹^{**}, 茂木精一郎^{**}, レパヴー・アンドレ^{**}, 磯貝善藏^{**}, 入澤亮吉^{**}, 大塚正樹^{**}, 門野岳史^{**}, 古賀文二^{**}, 廣崎邦紀^{**}, 藤原浩^{**}, 安部正敏^{**}, 池上隆太^{**}, 爲政大幾^{**}, 加藤裕史^{**}, 櫻井英一^{**}, 谷崎英昭^{**}, 中西健史^{**}, 松尾光馬^{**}, 山崎修^{**}, 浅井純^{**}, 浅野善英^{**}, 石井貴之^{**}, 岩田洋平^{**}, 川上民裕^{**}, 小寺雅也^{**}, 藤本学^{**}, 伊藤孝明^{**}, 久木野竜一^{**}, 皿山泰子^{**}, 谷岡未樹^{**}, 前川武雄^{**}, 八代浩^{**}, 天野正宏^{**}, 尾本陽一^{**}, 川口雅一, 境恵祐^{**}, 土井直孝^{**}, 橋本彰^{**}, 林昌浩, 間所直樹^{**}, 吉野雄一郎^{**}, 幸野健^{**}: 創傷・熱傷ガイドライン策定委員会、日本皮膚科学会ガイドライン 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン 4:膠原病・血管炎にともなう皮膚潰瘍診療ガイドライン. 日本皮膚科学会雑誌. 2017; 127(9): 2033-2075 B
- 14) 尹浩信^{**}, 立花隆夫^{**}, 井上雄二^{**}, 金子栄^{**}, 加納宏行^{**}, 新谷洋一^{**}, 辻田淳^{**}, 長谷川稔^{**}, 藤田英樹^{**}, 茂木精一郎^{**}, レパヴー・アンドレ^{**}, 磯貝善藏^{**}, 入澤亮吉^{**}, 大塚正樹^{**}, 門野岳史^{**}, 古賀文二^{**}, 廣崎邦紀^{**}, 藤原浩^{**}, 安部正敏^{**}, 池上隆太^{**}, 爲政大幾^{**}, 加藤裕史^{**}, 櫻井英一^{**}, 谷崎英昭^{**}, 中西健史^{**}, 松尾光馬^{**}, 山崎修^{**}, 浅井純^{**}, 浅野善英^{**}, 石井貴之^{**}, 岩田洋平^{**}, 川上民裕^{**}, 小寺雅也^{**}, 藤本学^{**}, 伊藤孝明^{**}, 久木野竜一^{**}, 皿山泰子^{**}, 谷岡未樹^{**}, 前川武雄^{**}, 八代浩^{**}, 天野正宏^{**}, 尾本陽一^{**}, 川口雅一, 境恵祐^{**}, 土井直孝^{**}, 橋本彰^{**}, 林昌浩, 間所直樹^{**}, 吉野雄一郎^{**}, 幸野健^{**}: 創傷・熱傷ガイドライン策定委員会、日本皮膚科学会ガイドライン 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン 5:下腿潰瘍・下肢静脈瘤診療ガイドライン. 日本皮膚科学会雑誌. 2017; 127(10): 2239-2259 B
- 15) 尹浩信^{**}, 立花隆夫^{**}, 井上雄二^{**}, 金子栄^{**}, 加納宏行^{**}, 新谷洋一^{**}, 辻田淳^{**}, 長谷川稔^{**}, 藤田英樹^{**}, 茂木精一郎^{**}, レパヴー・アンドレ^{**}, 磯貝善藏^{**}, 入澤亮吉^{**}, 大塚正樹^{**}, 門野岳史^{**}, 古賀文二^{**}, 廣崎邦紀^{**}, 藤原浩^{**}, 安部正敏^{**}, 池上隆太^{**}, 爲政大幾^{**}, 加藤裕史^{**}, 櫻井英一^{**}, 谷崎英昭^{**}, 中西健史^{**}, 松尾光馬^{**}, 山崎修^{**}, 浅井純^{**}, 浅野善英^{**}, 石井貴之^{**}, 岩田洋平^{**}, 川上民裕^{**}, 小寺雅也^{**}, 藤本学^{**}, 伊藤孝明^{**}, 久木野竜一^{**}, 皿山泰子^{**}, 谷岡未樹^{**}, 前川武雄^{**}, 八代浩^{**}, 天野正宏^{**}, 尾本陽一^{**}, 川口雅一, 境恵祐^{**}, 土井直孝^{**}, 橋本彰^{**}, 林昌浩, 間所直樹^{**}, 吉野雄一郎^{**}, 幸野健^{**}: 創傷・熱傷ガイドライン策定委員会、日本皮膚科学会ガイドライン 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン 6:熱傷診療ガイドライン. 日本皮膚科学会雑誌. 2017; 127(10): 2261-2292 B
- 16) 矢口順子, 角田孝彦^{**}, 森山達哉^{**}, 鈴木民夫: フキノトウアレルギー11 例の検討. 皮膚病診療. 2017; 39(10): 1040-1043 B
- 17) 岡村賢, 鈴木民夫: 押さえておきたい新しい指定難病 眼皮膚白皮症(疾病番号164). Derma. 2017; 257: 57-62
- 18) 岡村賢, 鈴木民夫: 疾患別・知っておきたい 皮膚科の検査とその評価法 先天性色素脱失症. 皮膚科の臨床. 2017; 59: 916-921
- 19) 佐藤文子, 角田孝彦^{**}: 蕁麻疹, アトピー性皮膚炎, アレルギーなど 蕁麻疹が治らない!. Medicina. 2017; 54(9): 1449-1453 E

(2) 著 書

- 1) 鈴木民夫: 尋常性白斑. 福井次矢, 高木誠, 小室一成総編集, 今日の治療指針2017私はこう治療している. 東京: 医学書院, 2017: 1226 F

- 2) 鈴木民夫: 母斑細胞母斑. 渡辺晋一, 古川福実編集, 皮膚疾患最新の治療 2017-2018. 東京; 南江堂, 2017: 241-242 F
- 3) 鈴木民夫: 尋常性白斑. 猿田享男, 北村惣一郎監修, 1336 専門家による私の治療 2017-18 年度版. 東京; 日本医事新報社, 2017: 1023-1025 F

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 一般演題

- 1) Okamura K, Hayashi M, Hozumi Y, Suzuki T: A novel variant in the regulatory region of the SLC45A2 is possibly associated with mild OCA4. The 76th Annual Meeting of the Society for Investigative Dermatology, Portland; April 2017
- 2) Hayashi M, Okamura K, Konno T, Onami K, Nikaido M, Araki Y, Hozumi Y, Suzuki T: FOXD1 is overexpressed in melanoma but not in melanocytic nevi, and associated with melanoma cells proliferation. The 47th European Society of Dermatological Research, Salzburg; September 2017
- 3) Suzuki T, Okamura K, Hayashi M, Hozumi Y: A novel variant in the regulatory region of the SLC45A2 is associated with oculocutaneous albinism type4 (OCA4) in Japanese. The 23rd International Pigment Cell Conference, Denver; August 2017
- 4) Hayashi M, Okamura K, Abe Y, Suzuki T: Application of melanin index and L*a*b* color space for the evaluation of vitiligo and chemical leukoderma. The 23rd International Pigment Cell and melanoma research conference, Denver; August 2017
- 5) Abe Y, Hozumi Y, Okamura K, Suzuki T: Analysis of repigmentation in vitiligo using the mouse model with Rhododendrol-induced leukoderma (RIL). The 23rd International Pigment Cell and melanoma research conference, Denver; August 2017
- 6) Okamura K, Araki Y, Abe Y, Wakamatsu K**, Tamiya G**, Seishima M**, Umetsu T**, Kato A**, Kawaguchi M, Hayashi M, Hozumi Y, Suzuki T: Melanin analysis for hair samples from Japanese patients with Hermansky-Pudlak Syndrome type 1, 4, 6, and 9. The 23rd International Pigment Cell and melanoma research conference, Denver; August 2017 B
- 7) Henmi A, Okamura K, Tazawa R**, Izumi S**, Tohyama J**, Shimomura Y**, Hozumi Y, Suzuki T: Waardenburg Syndrome Type IIe in a Japanese Patient Caused by a Novel Non-frameshift Duplication Mutation in the SOX10 Gene. The 23rd International Pigment Cell Conference, Denver; August 2017 B

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 鈴木民夫: シンポジウム 3 白斑の治療 白斑の治療について: 白斑モデルマウスでの結果を含めて. 第 33 回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会, 神戸; 2017 年 4 月
- 2) 鈴木民夫, 阿部優子, 穂積豊: 教育講演 31 白斑の病態と治療 up to date ロドデノール誘発性脱色素斑の解析: 白斑の動物モデル. 第 116 回日本皮膚科学会総会, 仙台; 2017 年 6 月
- 3) 川口雅一: 教育講演 色素増加症の鑑別診断. 第 116 回日本皮膚科学会総会, 仙台; 2017 年 6 月
- 4) 阿部優子: 教育講演(日常診療で遭遇する色素異常症の鑑別診断とそのポイント): 色素脱失症の鑑別診断. 第 116 回日本皮膚科学会総会, 仙台; 2017 年 6 月

ii 一般演題

- 1) 紺野隆之, 鈴木民夫: 踵に紫斑や血痂を伴った持久性隆起性紅斑の 1 例. 第 33 回日本臨床皮膚科医会・臨床学術大会, 神戸; 2017 年 4 月
- 2) 荒木勇太, 安次富咲子*, 中山隆弘**, 小山雄太**, 鈴木民夫: 結節性紅斑と鑑別を要した Bazin 硬結性紅斑の 1 例. 第 33 回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会, 神戸; 2017 年 4 月 B
- 3) 村田孝大, 荒木勇太, 荒木由梨, 紺野恵理子, 鈴木民夫: 下眼瞼に生じた intravascular pyogenic granuloma の一例. 第 116 回日本皮膚科学会総会, 仙台; 2017 年 6 月
- 4) 岡村賢, 林昌弘, 穂積豊, 鈴木民夫: SLC45A2 の転写調節領域における 4 塩基欠失多型は眼皮膚白皮症 4 型の

- 軽症例と関連する. 第116回日本皮膚科学会総会, 仙台; 2017年6月
- 5) 二階堂まり子, 大浪宏介, 紺野隆之, 石井康大*, 亀田亘*, 羽田幸里香*, 加藤丈夫*, 鈴木民夫: 副腎皮質ステロイド外用薬により薬剤性副腎不全を示した乾癬性紅皮症の1例. 第116回日本皮膚科学会総会, 仙台; 2017年6月
 - 6) 佐藤文子, 角田孝彦**, 大浪千尋, 矢口順子: 蜂窩織炎入院患者の血清亜鉛値(第2報). 第116回日本皮膚科学会総会, 仙台; 2017年6月 E
 - 7) 小林悠衣**, 深井和吉**, 國本浩之**, 中嶋弘一**, 梅香路綾乃**, 鈴木民夫, 鶴田大輔**: 眼皮膚白皮症1型ナンセンス変異の薬剤によるリードスルー治療の基礎実験. 第116回日本皮膚科学会総会, 仙台; 2017年6月 B
 - 8) 矢口順子, 角田孝彦**, 佐藤文子, 小関伸**, 鈴木民夫: チョコレートによるアレルギーの1例. アレルギー学会学術大会, 東京; 2017年6月 B
 - 9) 齊藤亨, 村田老太, 林昌浩, 川口雅一, 鈴木民夫, 加藤裕一*: 成人Still病と鑑別を要したびまん性大細胞性B細胞性リンパ腫(DLBCL)の1例. 第33回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会, 秋田; 2017年6月
 - 10) 紺野隆之, 島貫美和, 鈴木民夫: 膝癌を合併した尋常性乾癬の1例. 第32回日本乾癬学会, 品川; 2017年9月
 - 11) 紺野隆之, 鈴木民夫: 水疱性類天疱瘡に合併した汗孔角化症の1例. 第81回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 郡山; 2017年9月
 - 12) 村田老太, 齊藤亨, 林昌浩, 川口雅一, 鈴木民夫: TS-1併用放射線療法が有用であった高齢者有棘細胞癌の1例. 第81回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 郡山; 2017年9月
 - 13) 島貫美和, 松本秀一**: 痔瘻癌の一例. 第81回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 郡山; 2017年9月 E
 - 14) 佐藤文子, 角田孝彦**, 矢口順子, 音山和宣**: 抗TIF-1抗体が陽性を示した成人皮膚筋炎の4例. 第81回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 郡山; 2017年9月 E
 - 15) 小林由貴子*, 稲村佳子*, 齋藤史枝*, 佐原佑佳*, 鈴木愛史*, 中川智子*, 和田沙智子*, 小野久美子*, 齊藤律子*, 片岡ひとみ*, 鈴木民夫: 小児のライン確保時の下腿シーネ固定による褥瘡予防の取り組み. 第19回日本褥瘡学会学術集会, 盛岡; 2017年9月
 - 16) 堺則康**, 西脇薫**, 川上洋**, 前田龍郎**, 原田和俊**, 坪井良治**, 岡村賢, 荒木勇太, 中野祥子, 鈴木民夫: 小児期に診断したHermansky-Pudlak症候群1型の2例と遺伝カウンセリング. 日本カウンセリング学会第50回記念大会, 東京; 2017年9月 B
 - 17) 大場浩史**, 鈴木民夫, 武田和久**, 柴原茂樹**, 高橋和広**: メラノーマにおける(プロ)レニン受容体の発現意義. 第76回日本癌学会学術総会, 横浜; 2017年9月 B
 - 18) 紺野隆之, 鈴木民夫: ステロイド長期間服用中に生じたNodular cystic fat necrosisの1例. 第69回日本皮膚科学会西部支部学術大会, 熊本; 2017年10月
 - 19) 鈴木民夫, 岡村賢, 林昌弘, 穂積豊: SLC45A2遺伝子の転写調節部位のバリエーションが日本人眼皮膚白皮症4型発症に関連している. 日本人類遺伝学会第62回大会, 神戸; 2017年11月
 - 20) Hayashi M, Cavalli G**, Jin Y**, Yorgov D, Santorico S A**, Hagman J**, Ferrara T M**, Suzuki T, Dinarello C A**, Spritz R A**: The risk of autoimmune vitiligo is associated with the increased expression of HLA-A, HLA-DR and HLA-DQ by transcriptional regulators in MHC region. The 31st Annual Meeting of the Keratinocyte study group, Nagoya; November 2017 D
 - 21) Abe Y, Hozumi Y, Okamura K, Suzuki T: Analysis of repigmentation in the mouse model of Rhododendrol-induced leukoderma (RIL). 第42回日本研究皮膚科学会, 高知; 2017年12月

(3) 国内の地方会

i 一般演題

- 1) 村田老太, 齊藤亨, 川口雅一, 鈴木民夫, 小関伸**: 皮膚平滑筋肉腫の一例. 日本皮膚科学会山形地方会総会第377回例会, 山形; 2017年4月 B
- 2) 二階堂まり子, 鈴木民夫, 塩野洋介*, 高窪祐弥*: メソトレキセート(MTX)関連リンパ増殖性疾患の一例. 日本皮膚科学会山形地方会第377回例会, 山形; 2017年4月
- 3) 岡村賢, 鈴木民夫: Painful piezogenic pedal papulesの1例. 日本皮膚科学会山形地方会第377回例会, 山形; 2017年4月
- 4) 熊谷恒良: 梅毒の5例. 日本皮膚科学会山形地方会第377回例会, 山形; 2017年4月 E

- 5) 佐藤文子, 角田孝彦*: ダーモスコピーでBCCが疑われたnevusの1例. 日本皮膚科学会山形地方会総会 第377回例会, 山形; 2017年4月 E
- 6) 島貴美和: 長期間無症状で経過した外傷性異物の一例. 日本皮膚科学会山形地方会 第377回例会, 山形; 2017年4月 E
- 7) 角田孝彦*, 佐藤文子, 平川秀紀* 東直行*: プロプレスによる薬疹の2例. 日本皮膚科学会山形地方会総会第377回例会, 山形; 2017年4月 E
- 8) 伊藤義彦*, 岡崎尚子: 上口唇に発症し, 0.1%タクロリムス軟膏が有効であった形質細胞性口唇炎. 日本皮膚科学会山形地方会総会 第377回例会, 山形; 2017年4月 B
- 9) 林昌浩, 氏家英之**, 岩田浩明**, 鈴木民夫: 抗ラミニン γ 1類天疱瘡の一例. 日本皮膚科学会東北6県合同地方会第378回例会, 仙台; 2017年5月 B
- 10) 齊藤亨, 大浪千尋, 村田老大, 阿部優子, 川口雅一, 鈴木民夫, 樺澤崇允*, 加藤智也*: Aneurysmal fibrous histiocytoma (AFH)の1例. 日本皮膚科学会東北六県合同地方会 学術大会 第378回例会, 仙台; 2017年5月
- 11) 佐藤文子, 角田孝彦**, 矢口順子: 苔癬型組織反応を呈した表皮嚢腫の1例. 日本皮膚科学会 東北六県合同地方会学術大会第378回例会, 仙台; 2017年5月 E
- 12) 角田孝彦**, 矢口順子, 佐藤文子, 生野麻美子*: めがねフレームの染料による接触皮膚炎の1例. 日本皮膚科学会 東北六県合同地方会学術大会第378回例会, 仙台; 2017年5月 B
- 13) 紺野隆之, 大浪宏介, 二階堂まり子, 鈴木民夫: Infundibulocystic basal cell carcinomaの1例. 第379回日本皮膚科学会福島・宮城・山形3県合同地方会, 福島; 2017年8月
- 14) 逸見愛美, 岡村賢, 泉修司**, 田澤立之**, 遠山潤**, 下村裕**, 穂積豊, 鈴木民夫: SOX10に非フレームシフト重複変異を認めたWaardenburg症候群II型(Ws2E)の1例. 日本皮膚科学会 福島・山形・宮城3県合同地方会学術大会 第379回例会, 福島; 2017年8月 B
- 15) 永谷圭, 鈴木民夫, 川口雅一, 斎藤亨, 牧野直彦, 安藤嘉章, 柿崎泰明, 菅原心平, 池田千咲, 大江倫太郎*: 痒疹様皮疹を呈したIgG4関連疾患の1例. 日本皮膚科学会 福島・山形・宮城3県合同地方会学術大会 第379回例会, 福島; 2017年8月
- 16) 角田孝彦**, 佐藤文子, 矢口順子, 青山浩明**, 大原香子*: 鼻唇溝から採皮して全層植皮したBCCの2例. 日本皮膚科学会 福島・山形・宮城3県合同地方会学術大会 第379回例会, 福島; 2017年8月 B
- 17) 村田老大, 永谷圭, 斎藤亨, 二階堂まり子, 林昌浩, 川口雅一, 鈴木民夫: パクリタキセルと放射線療法が奏功した頭部血管肉腫の2例. 日本皮膚科学会 福島・山形・宮城3県合同地方会学術大会 第379回例会, 福島; 2017年8月
- 18) 矢口順子, 林昌浩, 岡村賢, 鈴木民夫: Coccygeal padの1例. 日本皮膚科学会山形地方会第380回例会, 山形; 2017年12月
- 19) 田中智見, 荒木勇太, 大浪宏介, 紺野隆之, 鈴木民夫, 豊口裕樹*: 栄養血管の塞栓術後に腫瘍切除術を行った神経線維腫症I型(NF-1)の一例. 日本皮膚科学会山形地方会第380回例会, 山形; 2017年12月
- 20) 荒木勇太, 大浪宏介, 紺野隆之, 鈴木民夫: 足趾に生じたverrucous carcinomaの一例. 日本皮膚科学会山形地方会第380回例会, 山形; 2017年12月
- 21) 荒木由梨, 鈴木民夫: 葡行性迂回状紅斑との鑑別を要した体部白癬の1例. 日本皮膚科学会山形地方会第380回例会, 山形; 2017年12月
- 22) 熊谷恒良: ホタルイカ生食後の生じたCreeping Diseaseの1例. 日本皮膚科学会山形地方会第380回例会, 山形; 2017年12月 E
- 23) 佐藤文子, 角田孝彦*: プリックテストで陰性で皮内テストで陽性を認めたロクロニウム臭化物によるアナフィラキシーの1例. 日本皮膚科学会山形地方会第380回例会, 山形; 2017年12月 E
- 24) 佐藤文子, 角田孝彦*: ピロ亜硫酸ナトリウムによるアレルギーの2例. 日本皮膚科学会山形地方会第380回例会, 山形; 2017年12月 E
- 25) 角田孝彦**, 佐藤文子, 阿部祐紀*: コクサッキーウイルスA6による高齢者の手足口病. 日本皮膚科学会山形地方会第380回例会, 山形; 2017年12月 E
- 26) 角田孝彦**, 佐藤文子: 機能低下型バセドウ病による眼瞼浮腫. 日本皮膚科学会山形地方会第380回例会, 山形; 2017年12月 E
- 27) 林昌浩, 鈴木民夫, 中野創**, 澤村大輔*: Darie病の1例. 第466回日本皮膚科学会大阪地方会, 大阪; 2018

年3月 B

(4)研究会

i 一般演題

- 1) 大浪宏介, 二階堂まり子, 紺野隆之, 鈴木民夫, 五十嵐朗**, 角田孝彦**: 片側性ヘリオトロープ疹で発症し、診断に苦慮した抗 MDA5 抗体陽性皮膚筋炎の一例. 第 47 回皮膚アレルギー接触皮膚炎学会総会学術大会 第 41 回皮膚脈管膠原病研究会, 鹿児島; 2017 年 12 月 B

(5)座長

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 鈴木民夫: 教育講演3 日常診療で遭遇する色素異常症の鑑別診断とそのポイント. 第 116 回日本皮膚科学会総会, 仙台; 2017 年 6 月
- 2) 鈴木民夫: シンポジウム3 自分で掴み取る臨床皮膚科学. 第 81 回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 郡山; 2017 年 9 月

ii 一般演題

- 1) Suzuki T: Albinism: Research and the Crisis in Africa. The 23rd International Pigment Cell Conference, Denver; August 2017
- 2) 川口雅一: スイーツセミナー. 山形地方会第 377 回例会, 山形; 2017 年 4 月
- 3) 川口雅一: セッション 1. 日本皮膚科学会東北 6 県合同地方会学術大会第 278 回例会, 仙台; 2017 年 5 月
- 4) 鈴木民夫: メラノーマ (3). 第 33 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会, 秋田; 2017 年 6 月
- 5) 川口雅一: 一般演題(研究 6). 第 33 回日本皮膚悪性腫瘍学会, 秋田; 2017 年 7 月
- 6) 林昌浩: 一般演題 11 「肉芽腫症」. 第 81 回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 郡山; 2017 年 9 月
- 7) 林昌浩: Concurrent session 2. 第 1 回日本白斑学会, 大阪; 2018 年 3 月

(6)その他

- 1) 佐藤文子, 角田孝彦**: ピロリ除菌による薬疹後に発症した成人 Still 病の 1 例〜マイコプラズマ PA 陽性例〜. 第 563 回山形皮膚科勉強会, 山形; 2017 年 2 月 E
- 2) 鈴木民夫: 皮膚色に関わる最近の話題: 美白遺伝子など. 多摩皮膚科専門医会, 東京; 2017 年 3 月
- 3) 林昌浩, 岡村賢, 穂積豊, 鈴木民夫: 悪性黒色腫の臨床病理学的パラメーターに相関する新規バイオマーカーの検索およびその機能解析. 第 116 回日本皮膚科学会総会 資生堂基礎研究費 平成 28 年度受領者研究発表, 仙台; 2017 年 6 月
- 4) 鈴木民夫: 皮膚色に関わる最近の話題: 美白遺伝子や日焼けしたマウスなど. 第 18 回旭川皮膚科懇話会, 旭川; 2017 年 7 月
- 5) 林昌浩, 矢口順子, 岡村賢, 逸見愛美, 二階堂まり子, 荒木由梨, 鈴木民夫: 関節リウマチ患者に生じた下腿の皮疹. 乾癬フォーラム in 山形, 山形; 2017 年 7 月
- 6) 佐藤文子: Post-zoster eosinophilic dermatosis を疑った 1 例. 第 556 回山形皮膚科勉強会, 山形; 2017 年 7 月 E
- 7) 佐藤文子: 下腿に繰り返し生じる紫斑の 1 例. 第 556 回山形皮膚科勉強会, 山形; 2017 年 7 月 E
- 8) 佐藤文子: ARB による両上眼瞼の血管浮腫の 1 例. 第 556 回山形皮膚科勉強会, 山形; 2017 年 7 月 E
- 9) 村田老太: 今年のメラノーマ 2017. 第 561 回山形皮膚科勉強会, 山形; 2017 年 12 月
- 10) 村田老太: 胸腺腫関連 GVH 様疾患の一例. 第 561 回山形皮膚科勉強会, 山形; 2017 年 12 月
- 11) 熊谷恒良: BCG の副反応の 4 例. 第 561 回山形皮膚科勉強会, 山形; 2017 年 12 月 E
- 12) 熊谷恒良: Sweet 病を伴った急性骨髄性白血病の 1 例. 第 561 回山形皮膚科勉強会, 山形; 2017 年 12 月 E
- 13) 熊谷恒良: 好酸球性血管炎性肉芽腫症(旧チャージ・ストラウス症候群)の 1 例. 第 561 回山形皮膚科勉強会, 山形; 2017 年 12 月 E
- 14) 熊谷恒良: 伝染性単核症の 1 例. 第 561 回山形皮膚科勉強会, 山形; 2017 年 12 月 E
- 15) 熊谷恒良: 劇症型溶連菌感染症を繰り返す 1 例. 第 561 回山形皮膚科勉強会, 山形; 2017 年 12 月 E
- 16) 熊谷恒良: 皮下膿瘍を生じた神経鞘腫だった神経線維腫症の 1 例. 第 561 回山形皮膚科勉強会, 山形; 2017 年 12 月 E

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 日本皮膚科学会山形地方会総会 第377回例会, 山形; 2017年4月
- 2) 日本皮膚科学会東北六県合同地方会学術大会第378回例会, 仙台; 2017年5月
- 3) 山形皮膚医学研究会, 山形; 2017年6月
- 4) 山形皮膚医学研究会, 山形; 2017年11月
- 5) 日本皮膚科学会山形地方会総会 第380回例会, 山形; 2017年12月

4. 学会等での受賞

- 1) Okamura K: A novel variant in the regulatory region of the SLC45A2 is possibly associated with mild OCA4. The 76th Annual Meeting of the Society for Investigative Dermatology: SID/JSID young fellow colligiality award, Portland; April 2017
- 2) Ami Hemmi: Waardenburg Syndrome Type II E in a Japanese Patient Caused by a Novel Non-frameshift Duplication Mutation in the SOX10 Gene. The 23rd International Pigment Cell Conference: JSPCR travel award, Denver; August 2017
- 3) 鈴木民夫: 清寺眞記念賞. 2017年9月

腎泌尿器外科学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Numakura K**, Tsuchiya N, Kagaya H**, Takahashi M**, Tsuruta H**, Inoue T**, Narita S**, Huang M**, Satoh S**, Nioka T**, Miura M**, Habuchi T** : Clinical effects of single nucleotide polymorphisms on drug-related genes in Japanese metastatic renal cell carcinoma patients treated with sunitinib. *Anticancer Drugs*. 2017 ; 28(1) : 97-103 E
- 2) Ito R**, Narita S**, Huang M**, Nara T**, Numakura K**, Takayama K**, Tsuruta H**, Maeno A**, Saito M**, Inoue T**, Tsuchiya N, Satoh S**, Habuchi T** : The impact of obesity and adiponectin signaling in patients with renal cell carcinoma : A potential mechanism for the "obesity paradox". *PLoS One*. 2017 ; 12(2) : e0171615 E
- 3) Ichianagi O, Fukuhara H, Naito S, Nishida H, Sakurai T, Kurokawa M**, Ito H, Kakizaki H**, Muto A**, Adachi Y**, Kato T, Nagaoka A**, Tsuchiya N : Rise in ambient temperature predisposes aging, male Japanese patients to renal colic episodes due to upper urolithiasis. *Scand J Urol*. 2017; 51(2) : 152-158
- 4) 福原宏樹, 柿崎弘**, 金子尚嗣**, 山辺拓也, 中山尚子**, 堀江繁光**, 土谷順彦 : 経尿道的膀胱腫瘍切除術における周術期抗血栓薬継続の安全性に関する検討. *日本泌尿器科学会雑誌*. 2017 ; 108(1) : 17-23 E

(2) 症例報告

- 1) 小林瑞貴, 齋藤満, 秋濱晋, 熊澤光明, 五十嵐龍馬, 山本竜平, 高山孝一郎, 鶴田大, 井上高光, 成田伸太郎, 土谷順彦, 佐藤滋, 羽淵友則 : 巨大腎血管筋脂肪腫自然破裂を契機に発見された結節性硬化症の1例. *泌尿器科紀要*. 2017 ; 63(3) : 111-114

(3) その他

- 1) 土谷順彦 : 序文「見えないものを見る」. *泌尿器外科*. 2017 ; 30(3) : 248

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 一般演題

- 1) Kato T, Takeda Y*, Kurota Y, Nara H*, Araki A*, Asao H*, Tsuchiya N : Pattern of glycosylphosphatidylinositol-anchored 80 kD protein (GPI-80) expression in peripheral blood as a marker for myeloid-derived suppressor cells (MDSCs) in metastatic renal cell cancer (mRCC) patients. *ASCOGU 2017, Orlando ; February 2017*
- 2) Tomita Y**, Naito S, Sassa N**, Takahashi A**, Kondo T**, Koie T**, Obara W**, Kobayashi Y**, Teishima J**, Takahashi M**, Matsuyama H**, Ueda T**, Yamaguchi K**, Kishida T**, Shiroki R**, Saika T**, Nobuo S**, Oya M**, Kanayama H** : Sunitinib versus sorafenib as first-line therapy followed by sorafenib and sunitinib for patients with metastatic renal cell carcinoma (RCC) with clear cell histology : A multicenter randomized trial, CROSS-J-RCC. *Genitourinary Cancers Symposium, Florida ; February 2017 B*
- 3) Fujita S, Naito S, Ichianagi O, Kanno H, Yamagishi A, Yagi M, Kurota Y, Sakurai T, Nishida H, Shibasaki T**, Kawazoe H, Kato T, Nagaoka A**, Tsuchiya N : Quick SOFA score might be inadequate as an initial sepsis screening system in UTI patients. *32nd Annual EAU Congress, London ; March 2017*

(2) 国内の学会

i 一般演題

- 1) 西田隼人, 山岸敦史, 黒川真行**, 末永信太, 堀江繁光**, 菅野秀典, 黒田悠太, 八木真由, 櫻井俊彦, 内藤整, 柴崎智宏**, 川添久, 一柳統, 加藤智幸, 長岡明**, 土谷順彦 : 透析導入前に紹介となるも先行的腎移植に至らなかった症例の検討. *第50回日本臨床腎移植学会, 神戸 ; 2017年2月*

- 2) 山岸敦史, 西田隼人, 黒川真行^{**}, 末永信太, 堀江繁光^{**}, 八木真由, 菅野秀典, 黒田悠太, 櫻井俊彦, 内藤整, 柴崎智宏^{**}, 川添久, 一柳統, 加藤智幸, 長岡明^{**}, 土谷順彦: 看護学生における腎臓移植医療の認知度に関する調査. 第50回日本臨床腎移植学会, 神戸; 2017年2月
- 3) 福原宏樹, 柿崎弘^{**}, 金子尚嗣^{**}, 山辺拓也, 舟生勇人^{*}, 赤坂雅弘^{**}, 黒川真行^{**}, 山岸敦史, 西田隼人, 土谷順彦: 当院初の心停止後腎提供の経験. 第50回日本臨床腎移植学会, 神戸; 2017年2月
- 4) 伊藤裕美, 一柳統, 内藤整, 菅野秀典, 黒田悠太, 山岸敦史, ビリームウラジミル^{**}, 富田善彦^{**}, 加藤智幸, 長岡明^{**}, 土谷順彦: 腎細胞癌において GSK-3/4EBP1 経路は mTORC1 阻害剤耐性の要因である. 第26回泌尿器科分子・細胞研究会, 大分; 2017年3月
- 5) 菅野秀典, 伊藤裕美, 末永信太, 堀江繁光^{**}, 黒田悠太, 八木真由, 山岸敦史, 櫻井俊彦, 内藤整, 西田隼人, 川添久, 柴崎智宏^{**}, 一柳統, 加藤智幸, 長岡明^{**}, 土谷順彦: 淡明腎細胞癌における ERK5 阻害の影響. 第26回泌尿器科分子・細胞研究会, 大分; 2017年3月

(3) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 土谷順彦: 特別講演「ロボット支援泌尿器科骨盤内手術における最近の話題」. 第16回山形骨盤外科研究会, 山形; 2017年1月
- 2) 土谷順彦: 腎細胞癌薬物療法における PK/PD/PGx. 第3回Hokkaido Urological Research & Disease Seminar, 札幌; 2017年2月
- 3) 土谷順彦: 薬物動態・薬力学からみた腎細胞癌の分子標的治療. 第102回Tokyo Expert Urology Seminar (TEUS), 東京; 2017年2月
- 4) 西田隼人: 何故、山形県での臓器提供が必要か. 臓器移植勉強会, 酒田; 2017年3月

ii 一般演題

- 1) 八木真由: 患者意向に基づく男性下部尿路症状の治療経験 EFFICACY AND SAFETY OF NAFTOPIDIL AND ADDITIONAL EFFECT OF IMIDAFENACIN FOR NOCTURIA IN THE PATIENT WITH BENIGN PROSTATE HYPERPLASIA (NAIT STUDY)の結果から～. 第12回山形臨床泌尿器科懇話会, 山形; 2017年1月
- 2) 末永信太, 山岸敦史, 黒川真行, 堀江繁光, 黒田悠太, 菅野秀典, 八木真由, 櫻井俊彦, 内藤整, 西田隼人, 柴崎智宏, 川添久, 一柳統, 加藤智幸, 長岡明, 土谷順彦: 膀胱全摘、新膀胱造設術後に新膀胱腔塵をきたした1例. 第15回山形骨盤外科研究会, 山形; 2017年1月

(4) 座 長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 土谷順彦: 特別講演. 第12回山形臨床泌尿器科懇話会, 山形; 2017年1月
- 2) 土谷順彦: 特別講演. Bone Health Seminar for Urology～増加する泌尿器癌と泌尿器癌骨転移を考える～, 山形; 2017年2月
- 3) 土谷順彦: 特別講演. オプジーボ RCC 承認記念講演会, 山形; 2017年3月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 土谷順彦: WEB 講演. ジェブタナ WEB カンファレンス, 東京; 2017年3月
- 2) 加藤智幸: ディスカッション「抗PD-1抗体の使用について考える」. オプジーボ RCC 承認記念講演会, 山形; 2017年3月

(5) その他

- 1) 土谷順彦: 前立腺癌薬物療法 Update～前立腺癌診療ガイドライン 2016～. WEB シンポジウム, 山形; 2017年1月
- 2) 土谷順彦: 前立腺癌薬物療法 Update～ガイドライン改定のポイント～. Prostate Cancer Forum in FUKUOKA, 山形; 2017年1月
- 3) 土谷順彦: 前立腺がん薬物治療のキホン. 新潟ナースセミナー, 新潟; 2017年2月
- 4) 土谷順彦: ドクターアドバイスできょうも元気「知って安心～前立腺がん」. 山形放送ラジオ; 2月27日～3月3日放送

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第12回山形臨床泌尿器科懇話会, 山形; 2017年1月

4. 学会等での受賞

- 1) Fujita S: The selection of the Best poster in the session “Infectious challenges of urology” .
32nd Annual EAU congress, London; March 2017

腎泌尿器外科学講座

1. 論 文

(1) 原 著

- 1) Takayama K**, Inoue T**, Narita S**, Maita S**, Huang M**, Numakura K**, Tsuruta H**, Saito M**, Maeno A**, Satoh S**, Tsuchiya N, Habuchi T** : Inhibition of the RANK/RANKL signaling with osteoprotegerin prevents castration-induced acceleration of bone metastasis in castration-insensitive prostate cancer. *Cancer Letters*. 2017 ; 397 : 103-110 E
- 2) Takahashi M**, Inoue T**, Huang M**, Numakura K**, Tsuruta H**, Saito M**, Maeno A**, Nakamura E**, Narita S**, Tsuchiya N, Habuchi T** : Inverse relationship between insulin receptor expression and progression in renal cell carcinoma. *Oncol Reports*. 2017 ; 37(5) : 2929-2941 E
- 3) Nishida H, Yamagishi A, Yagi M, Kanno H, Kurota Y, Sakurai T, Naito S, Shibasaki T**, Kawazoe H, Ichiyangi O, Kato T, Nagaoka A**, Tomita Y**, Tsuchiya N : Renoprotective Procedures with a Cold Ischemia Time of <60 min Minimize the Deterioration of Kidney Function in Open Nephron-Sparing Surgery for Renal Cell Carcinoma. *Urologia Internationalis*. 2017 ; 99(3) : 283-289
- 4) Narita T**, Hatakeyama S**, Yoneyama T**, Narita S**, Yamashita S**, Mitsuzuka K**, Sakurai T**, Kawamura S**, Tochigi T**, Takahashi I**, Nakaji S**, Tobisawa Y**, Yamamoto H**, Koie T**, Tsuchiya N, Habuchi T**, Arai Y**, Ohyama C** : Clinical implications of serum N-glycan profiling as a diagnostic and prognostic biomarker in germ-cell tumors. *Cancer Medicine*. 2017 ; 6(4) : 739-748 E
- 5) Narita S**, Kumazawa T**, Tsuchiya N, Mingguo H**, Saito M**, Inoue T**, Tsuruta H**, Numakura K**, Maeno A**, Nanjo H**, Satoh S**, Habuchi T** : Host-related Risk Factors for Adherent Perinephric Fat in Healthy Individuals Undergoing Laparoscopic Living-donor Nephrectomy. *Surgical Laparoscopy Endoscopy & Percutaneous Techniques*. 2017 ; 27(4) : e69-e73 E
- 6) Matsumoto T**, Hatakeyama S**, Ookubo T**, Mitsuzuka K**, Narita S**, Inoue T**, Yamashita S**, Narita T**, Koie T**, Kawamura S**, Tochigi T**, Tsuchiya N, Habuchi T**, Arai Y**, Ohyama C** : Cost-effectiveness comparison between neoadjuvant chemohormonal therapy and extended pelvic lymph node dissection in high-risk prostate cancer patients treated with radical prostatectomy : a multi-institutional analysis. *Medical Oncology*. 2017 ; 34(12) : 190 E
- 7) Inoue T**, Saito M**, Narita S**, Numakura K**, Tsuruta H**, Maeno A**, Tsuchiya N, Satoh S**, Habuchi T** : Evaluation of Persistent Lymphatic Fluid Leakage Using a Strategy of Placing a Drain After Kidney Transplantation : A Statistical Analysis to Assess Its Origin. *Transplantation Proceedings*. 2017 ; 49(8) : 1786-1790 E
- 8) Naito S, Makhov P**, Astsaturov I**, Golovine K**, Tulin A**, Kutikov A**, Uzzo RG**, Kolenko VM** : LDL cholesterol counteract the antitumour effect of tyrosine kinase inhibitors against renal cell carcinoma. *Br J Cancer*. 2017 ; 116(9) : 1203-1207
- 9) Fukuhara H, Ichiyangi O, Kakizaki H**, Tsuchiya N : Prognostic utility of seasonal changes for diagnosis of ureteral stones. *Urolithiasis*. 2017 ; 45(2) : 233-234 E
- 10) Fukuhara H, Ichiyangi O, Midorikawa S**, Kakizaki H**, Kaneko H**, Tsuchiya N : Internal validation of a scoring system to evaluate the probability of ureteral stones : The CHOKAI score. *Am J Emerg Med*. 2017 ; 35(12) : 1859-1866 E
- 11) Igarashi R**, Inoue T**, Fujiyama N**, Tsuchiya N, Numakura K**, Kagaya H**, Saito M**, Narita S**, Satoh S**, Niioka T**, Miura M**, Habuchi T** : Contribution of UGT1A1 genetic polymorphisms related to axitinib pharmacokinetics to safety and efficacy in patients with renal cell carcinoma. *Med Oncol*. 2018 ; 35 : 51 E
- 12) 成田伸太郎**, 土谷順彦, 羽瀨友則** : 前立腺癌バイオマーカーのパラダイムシフト 遺伝子多型を用いた進行前立腺癌の予後・治療反応予測. *泌尿器外科*. 2017 ; 30(臨増) : 675-677 B

- 13) 西田隼人, 山岸敦史, 菅野秀典, 黒田悠太, 八木真由, 櫻井俊彦, 内藤整, 柴崎智宏**, 川添久, 一柳統, 加藤智幸, 長岡明**, 土谷順彦: 透析導入前に紹介となるも先行的腎移植に至らなかった症例の検討. 日本臨床腎移植学会雑誌. 2017 ; 5 : 191-195
- 14) 村上敬憲*, 難波広幸*, 富田善彦**, 土谷順彦, 大黒浩**, 山下英俊*: 2週間で急激な視力低下をきたし両眼光覚に至った癌関連網膜症. あたらしい眼科. 2017 ; 34(8) : 1201-1204

(2) 総説及び解説

- 1) Makhov P, Naito S, Kolenko VM : Testing PARP inhibitors using a murine xenograft model. Methods Mol Biol. 2017 ; 1608 : 313-320
- 2) 土谷順彦: ナースに、ドクターに、勉強会で教えてくなる泌尿器診療 Current Knowledge スライドがWEBで見られる! (第8回) がんに対する免疫制御ポイント阻害薬. 泌尿器 Care & Cure Uro-Lo. 2017 ; 22(2) : 237-242
- 3) 土谷順彦: 総説 腎細胞癌における分子標的薬の薬物動態学、薬力学、ゲノム薬理学. 臨床泌尿器科. 2017 ; 71(5) : 291-297
- 4) 加藤智幸: 【まるごと泌尿器がんの化学療法・分子標的療法・免疫療法】腎がん 有転移腎がんに対するケアとチーム医療. 泌尿器 Care & Cure Uro-Lo. 2017 ; 22(5) : 576-580
- 5) 加藤智幸: 腎癌に対する薬物療法 最新エビデンスを実臨床に活かす 非淡明細胞癌に対する薬物療法 ―ベストプラクティスは何か―. 臨床泌尿器科. 2018 ; 72(1) : 58-62
- 6) 菅野秀典, 土谷順彦: 専門医のための泌尿器科基本手術 開腹膀胱全摘除術: 男性患者の場合. 臨床泌尿器科. 2017 ; 71(9) : 720-724

(3) 症例報告

- 1) Fukuhara H, Kakizaki H, Kaneko H, Yamanobe T, Ushijima M, Kuboki Y, Tsuchiya N: Successful Treatment with Paclitaxel, Carboplatin, and Gemcitabine as Second-line Chemotherapy for Recurrent Urothelial Carcinoma of the Bladder with Glandular Differentiation After Radical Cystectomy : A Case Report. Urology Case Reports. 2017 ; 15 : 11-13
- 2) 山岸敦史, 滝口規子, 菅藤哲, 笹川五十次, 白石晃司, 土谷順彦: 精索ブロックと精索静脈瘤手術が有効であった鼠径ヘルニア術後の慢性疼痛. 臨床泌尿器科. 2017 ; 71(12) : 1019-1023
- 3) 成澤貴史, 新野弘樹, 高井諭, 槻木真明: エンドトキシン吸着療法とリコンビナントトロンボモジュリン併用療法を施行し救命し得た Severe Urosepsis の1例. 泌尿器外科. 2017 ; 30(7) : 1177-1180
- 4) 小澤迪喜, 窪木祐弥, 末永信太, 石井達矢, 鈴木仁, 土谷順彦: 腹腔内に及ぶ後腹膜腔内巨大血腫に対し保存的に加療し得た前立腺生検後出血の1例. 日本泌尿器科学会雑誌. 2017 ; 108(2) : 114-117
- 5) 小澤迪喜, 石井達矢, 末永信太, 鈴木仁, 土谷順彦: 経カテーテル動脈塞栓術を施行した特発性腎破裂の一例. 日本泌尿器科学会雑誌. 2017 ; 108(3) : 158-161
- 6) 小澤迪喜, 末永信太, 石井達矢, 鈴木仁, 土谷順彦, 大竹浩也: TURBT で診断された膀胱原発悪性リンパ腫の1例. 日本泌尿器科学会雑誌. 2018 ; 109(1) : 45-49
- 7) 高井諭, 小澤迪喜, 成澤貴史, 槻木真明, 土谷順彦: 左腎尿管摘除術に生じた乳び漏の1例. 泌尿器外科. 2018 ; 31(1) : 93-96
- 8) 窪木祐弥, 山岸敦史, 黒川真行, 菊田雅斗, 高井諭, 高井優季, 牛島正毅, 黒田悠太, 八木真由, 櫻井俊彦, 西田隼人, 柴崎智宏, 川添久, 一柳統, 加藤智幸, 長岡明, 土谷順彦, 紺野義浩: 精巣腫瘍化学療法中に脳静脈洞血栓症を発症した2例. 日本泌尿器科学会雑誌. 2017 ; 108(4) : 225-228
- 9) 黒川真行, 内藤整, 一柳統, 樺澤崇允, 黒田悠太, 櫻井俊彦, 西田隼人, 川添久, 加藤智幸, 長岡明, 山川光徳, 土谷順彦: エベロリムス関連間質性肺疾患の自然軽快を認めた転移性腎癌の1剖検例. 泌尿器科紀要. 2017 ; 63(9) : 377-380

(4) 著書

- 1) 土谷順彦: 膀胱癌 膀胱癌の治療 化学療法 転移性膀胱癌に対する化学療法 その他の多剤併用化学療法. 新腎・泌尿器癌(下)―基礎・臨床研究の進歩―. 東京; 日本臨牀社, 2017 : 289-293
- 2) 土谷順彦: 水腎症. 福井次矢, 高木誠, 小室一成総編集, 今日の治療指針 2018年版. 東京; 医学書院, 2018 : 1157-1158
- 3) 土谷順彦: ホルモン療法の副作用とその対策は?. 鈴木啓悦編集, Q&A でスッキリわかる前立腺癌. 東京;

日本臨牀社, 2017 : 289-293

- 4) 加藤智幸, 内藤整, 土谷順彦 : 腎癌 臨床応用を目指した基礎研究 バイオマーカーの開発 転移性腎癌のバイオマーカー. 新腎・泌尿器癌(上)ー基礎・臨床研究の進歩ー. 東京 ; 日本臨牀社, 2017 : 75 : 119-124
- 5) 内藤整, 加藤智幸, 土谷順彦 : 腎癌 腎癌の予後因子 転移性腎癌の予後因子. 新腎・泌尿器癌(上)ー基礎・臨床研究の進歩ー. 東京 ; 日本臨牀社, 2017 : 90-95
- 6) 加藤智幸 : 4. 全身治療. 日本泌尿器科学会編, 腎癌診療ガイドライン 2017 年版. 大阪 ; メディカルレビュー社, 2017 : 85-92
- 7) 内藤整 : 2. 診断. 日本泌尿器科学会編, 腎癌診療ガイドライン 2017 年版. 大阪 ; メディカルレビュー社, 2017 : 18-36
- 8) 内藤整 : III. 腎癌治療 up to date 1. 分子標的薬の新たな展開. 1) ソラフェニブ. 富田善彦, 金山博臣, 植村天受, 篠原信雄編集, Year Book of RCC 2017. 大阪 ; メディカルレビュー社, 2017 : 71-80

(5) その他

- 1) 土谷順彦 : To diagnose, or not to diagnose : that is the question. 山形県医師会雑誌. 2017 ; 793 : 8-11
- 2) 土谷順彦 : 前立腺癌 (基礎) Overview. Highlights of EAU. リッチヒルメディカル, 2017 : 9
- 3) 土谷順彦, 北村寛, 藤井靖久 : ラジオ NIKKEI 医学特別番組 <明日の治療指針> 腎細胞がんに対するがん免疫療法 最近の話題. 2017 ; 10 : 2-19
- 4) 鈴木和浩, 鈴木啓悦, 小坂威雄, 土谷順彦, 三宅秀明 : 去勢抵抗性前立腺癌 (CRPC) の逐次療法を再考する. Prostate Journal 座談会. Prostate Journal. 2017 ; 4(2) : 209-217
- 5) 富田善彦, 神波大己, 藤井靖久, 加藤智幸, 大庭康司郎, 木村剛, 高橋俊二, 山名一寿 : 座談会『腎癌診療ガイドライン 2017 年版』全身治療を考える. 泌尿器外科. 埼玉 ; 医学図書出版株式会社, 2018 ; 31 (1) : 47-54

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) Tsuchiya N : JUA Clinical Practice Guideline for Prostate Cancer 2016 ~Revised Points in Medical Treatments~. EAUOG 2017, Seoul ; April 2017

ii 一般演題

- 1) Naito S, Ichiyangi O, Ito H, Kanno H, Kato T, Kurota Y, Yamagishi A, Yagi M, Sakurai T, Nishida H, Kawazoe H, Shibasaki T**, Nagaoka A**, Tsuchiya N : The potential of p4EBP1 expression as predictive biomarker of mRCC. AACR annual meeting 2017, Washington D.C. ; April 2017
- 2) Kanno H, Naito S, Ito H, Ichiyangi O, Kurota Y, Yagi M, Yamagishi A, Sakurai T, Nishida H, Shibasaki T**, Kawazoe H, Kato T, Nagaoka A**, Tsuchiya N : The Effects of ERK5 Inhibition in Clear Cell Renal Cell Carcinoma. AACR annual meeting 2017, Washington, D.C. ; April 2017
- 3) Ito H, Naito S, Ichiyangi O, Kanno H, Kurota Y, Yamagishi A, Bilim VN**, Tomita Y**, Kato T, Nagaoka A**, Tsuchiya N : Acquisition of chemoresistance to mTORC1 inhibition due to activation of the GSK-3 β /4EBP1 pathway might predict poor prognosis of mRCC patients. AACR annual meeting 2017, Washington D.C. ; April 2017
- 4) Igarashi R**, Tsuchiya N, Inoue T**, Fujiyama N**, Numakura K**, Tsuruta H**, Kagaya H**, Maeno A**, Saito M**, Narita S**, Nioka T**, Miura M**, Sato S**, Habuchi T** : Contribution of genetic polymorphism related to axitinib pharmacokinetics to the clinical safety and efficacy in patients with advanced renal cell carcinoma. American Urological Association 2017 Annual Meeting, Boston ; May 2017 E
- 5) Inokuchi J**, Kuroiwa K**, Kakehi Y**, Sugimoto M**, Tanikawa T**, Fujimoto H**, Gotoh M**, Masumori N**, Ogawa O**, Eto M**, Ohyama C**, Yamaguchi A**, Matsuyama H**, Ichikawa T**, Asano T**, Takenaka A**, Fujimoto K**, Yamaguchi R**, Habuchi T**, Hashine K**, Arai Y**, Tsuchiya N, Nishiyama H**, Shinohara N**, Niwakawa M**, Egawa S**, Ozono S**, Kamba T**, Ishizuka O**, Nishimura K**, Tochigi T**, Sugimura

- Y**, Mizusawa J**, Miyamoto K**, Naito S** : Distribution of lymph node metastasis in upper urinary tract urothelial cancer, sub-analysis of JCOG1110A study. American Urological Association 2017 Annual Meeting, Boston ; May 2017 B
- 6) Narita T**, Hatakeyama S**, Yoneyama T**, Narita S**, Yamashita S**, Mitsuzuka K**, Sakurai T, Kawamura S**, Tochigi T**, Takahashi I**, Nakaji S**, Tobisawa Y**, Yamamoto H**, Koie T**, Tsuchiya N, Habuchi T**, Arai Y**, Ohyama C** : Clinical implication of serum N-glycan profiling as a diagnostic and prognostic biomarker in germ-cell tumors. American Urological Association 2017 Annual Meeting, Boston ; May 2017 B
- 7) Inokuchi J**, Kuroiwa K**, Nishiyama H**, Kojima T, Kakehi Y**, Sugimoto M**, Tanikawa T**, Fujimoto H**, Gotoh M**, Masumori N**, Ogawa O**, Eto M**, Ohyama C**, Yamaguchi A**, Matsuyama H**, Ichikawa T**, Asano T**, Takenaka A**, Fujimoto K**, Nakawaga T**, Habuchi T**, Hashine K**, Arai Y**, Tsuchiya N, Shinohara N**, Niwakawa M**, Egawa S**, Miyake H**, Kamba T**, Ishizuka O**, Nishimura K**, Tochigi T**, Sugimura Y**, Mizusawa J**, Miyamoto K**, Naito S** : Regional distribution of lymph node metastasis in upper urinary tract urothelial cancer, sub-analysis of large multi-institutional JCOG study (1110A). 33rd Annual EAU Congress, Copenhagen ; March 2018 B
- 8) Naito S, Kato T, Ichiyangi O, Narisawa T, Ito S, Suenaga S, Fukuhara H, Yamagishi A, Yagi M, Kurota Y, Sakurai T, Nishida H, Kawazoe H, Abe A, Yamanobe T, Tsuchiya N : The effect of fourth-line systemic therapy in metastatic renal cell carcinoma. 33rd Annual EAU Congress, Copenhagen ; March 2018

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 加藤智幸 : Update 企画 18 シンポジウム 転移性腎細胞癌の新たな治療戦略. 転移臓器別に最適な治療戦略を考える. 第 105 回日本泌尿器科学会総会, 鹿児島 ; 2017 年 4 月
- 2) 土谷順彦 : がんの新しい手術療法 (ロボット手術). 第 14 回日本癌治療学会アップデート教育コース, 仙台 ; 2017 年 7 月
- 3) 八木真由, 一柳統, 阿部明彦, 長岡明**, 土谷順彦 : 排尿機能と G8 スクリーニング. 第 24 回日本排尿機能学会, 東京 ; 2017 年 9 月

ii 一般演題

- 1) 加藤智幸, 武田裕司*, 伊藤裕美, 黒田悠太, 山岸敦史, 櫻井俊彦, 内藤整, 奈良英利*, 荒木明美*, 浅尾裕信*, 土谷順彦 : 腎細胞癌患者における MDSC マーカーとしての末梢血中 GPI-80 発現. 第 105 回日本泌尿器科学会総会, 鹿児島 ; 2017 年 4 月
- 2) 一柳統, 内藤整, 伊藤裕美, 菅野秀典, 末永信太, 黒川真行**, 八木真由, 黒田悠太, 櫻井俊彦, 西田隼人, 川添久, 加藤智幸, 土谷順彦 : 非転移性淡明細胞型腎細胞癌における p4EBP1 と eIF4E 発現が術後再発に与える影響に関する免疫組織学的検討. 第 105 回日本泌尿器科学会総会, 鹿児島 ; 2017 年 4 月
- 3) 内藤整, 一柳統, 伊藤裕美, 菅野秀典, 八木真由, 櫻井俊彦, 西田隼人, 加藤智幸, 長岡明**, 土谷順彦 : 腎癌全身治療のライン数と無増悪生存期間の検討. 第 105 回日本泌尿器科学会総会, 鹿児島 ; 2017 年 4 月
- 4) 菅野秀典, 伊藤裕美, 黒田悠太, 八木真由, 山岸敦史, 櫻井俊彦, 内藤整, 西田隼人, 川添久, 柴崎智宏**, 一柳統, 加藤智幸, 長岡明**, 土谷順彦 : 免疫染色による転移性腎癌の predictive biomarker の探索. 第 105 回日本泌尿器科学会総会, 鹿児島 ; 2017 年 4 月
- 5) 福原宏樹, 一柳統, 柿崎弘**, 金子尚嗣**, 山辺拓也, 牛島正毅**, 窪木祐弥**, 土谷順彦 : 尿管結石診断における季節変動の影響. 第 105 回日本泌尿器科学会総会, 鹿児島 ; 2017 年 4 月
- 6) 末永信太, 川添久, 山岸敦史, 黒田悠太, 菅野秀典, 櫻井俊彦, 西田隼人, 内藤整, 柴崎智宏**, 一柳統, 加藤智幸, 長岡明**, 土谷順彦 : 当院での腎盂・尿管癌の診断における逆行性尿路造影、尿管鏡の有用性についての検討. 第 105 回日本泌尿器科学会総会, 鹿児島 ; 2017 年 4 月
- 7) 石井達矢**, 菊田雅斗, 高井優季**, 鈴木仁** : 山形市立病院済生館における f TUL の治療成績の検討. 第 105 回日本泌尿器科学会総会, 鹿児島 ; 2017 年 4 月
- 8) 川村裕子**, 小玉寛健**, 一柳統, 土谷順彦 : みやぎ県南中核病院における高齢者に対する TUL の検討. 第 105 回日本泌尿器科学会総会, 鹿児島 ; 2017 年 4 月

- 9) 小澤迪喜^{**}, 一柳統, 黒本暁人^{**}, 諸角謙人^{**}, 佐藤真彦^{**}, 沼畑健司^{**}, 長浦主税^{**}, 山辺拓也, 石井達矢^{**}, 鈴木仁^{**}, 長岡明^{**}, 土谷順彦: 山形県における気腫性腎盂腎炎の臨床的検討. 第105回日本泌尿器学会総会, 鹿児島; 2017年4月
- 10) 小澤迪喜^{**}, 黒本暁人^{**}, 諸角謙人^{**}, 佐藤真彦^{**}, 沼畑健司^{**}, 堀江繁光^{**}, 高井諭^{**}, 橋本透^{**}, 柿崎弘^{**}, 土谷順彦: 山形県における後腹膜軟部肉腫の臨床的検討. 第105回日本泌尿器学会総会, 鹿児島; 2017年4月
- 11) 高井優季^{**}, 櫻井俊彦, 末永信太, 高井諭^{**}, 福原宏樹, 小澤迪喜^{**}, 鈴木仁^{**}, 槻木真明^{**}, 柿崎弘^{**}, 沼畑健司^{**}, 土谷順彦: 山形県におけるエンザルタミドの治療成績. 第105回日本泌尿器科学会総会, 鹿児島; 2017年4月
- 12) 堀江繁光^{**}, 櫻井俊彦, 黒川真行^{**}, 末永信太, 菅野秀典, 黒田悠太, 八木真由, 山岸敦史, 内藤整, 西田隼人, 柴崎智宏^{**}, 川添久, 一柳統, 加藤智幸, 長岡明^{**}, 小澤迪喜^{**}, 福原宏樹, 槻木真明^{**}, 土谷順彦: 山形大学および関連施設におけるカバジタキセルの初期使用経験. 第105回日本泌尿器科学会総会, 鹿児島; 2017年4月
- 13) 黒川真行^{**}, 内藤整, 一柳統, 山岸敦史, 八木真由, 黒田悠太, 櫻井俊彦, 西田隼人, 川添久, 加藤智幸, 長岡明^{**}, 土谷順彦: 腎細胞癌分子標的薬投与患者におけるCRP, NLRを含めた予後予測因子の検討. 第105回日本泌尿器科学会総会, 鹿児島; 2017年4月
- 14) 藤田英^{**}, 内藤整, 一柳統, 堀江繁光^{**}, 菅野秀典, 山岸敦史, 櫻井俊彦, 西田隼人, 柴崎智宏^{**}, 川添久, 加藤智幸, 長岡明^{**}, 土谷順彦: Sepsis-3に基づいたurosepsisの臨床的検討. 第105回日本泌尿器科学会総会, 鹿児島; 2017年4月
- 15) 西田隼人, 山岸敦史, 牛島正毅^{**}, 黒田悠太, 櫻井俊彦, 内藤整, 柴崎智宏^{**}, 川添久, 一柳統, 加藤智幸, 土谷順彦: 膀胱鏡による腹腔内観察下腹膜透析用カテーテル留置術の有用性. 第62回日本透析医学会学術集会・総会, 横浜; 2017年6月
- 16) 加藤智幸, 武田裕司^{*}, 伊藤裕美, 黒田悠太, 八木真由, 櫻井俊彦, 内藤整, 川添久, 一柳統, 土谷順彦, 浅尾裕信^{*}: 転移性腎癌患者末梢血におけるMDSC誘導の指標としてのGP-80発現パターンは新たなMDSC指標探索の基準となる. 第76回日本癌学会学術総会, 横浜; 2017年9月
- 17) Naito S, Ito H, Ichianagi O, Kanno H, Narisawa T, Yagi M, Kurota Y, Kawazoe H, Kato T, Tsuchiya N: Gene expression in rapamycin resistant RCC cell line. 第76回日本癌学会学術総会, 横浜; 2017年9月
- 18) Kanno H, Naito S, Ito H, Ichianagi O, Narisawa T, Yagi M, Sakurai T, Kawazoe H, Yamanobe T, Nagaoka A^{**}, Kato T, Tsuchiya N: The Effect of ERK5 Inhibition in Clear Cell Renal Cell Carcinoma. 第76回日本癌学会学術総会, 横浜; 2017年9月
- 19) 成澤貴史, 櫻井俊彦, 内藤整, 伊藤裕美, 菅野秀典, 一柳統, 加藤智幸, 土谷順彦: 腎細胞癌におけるFGFR4の意義についての検討. 第76回日本癌学会学術総会, 横浜; 2017年9月
- 20) 一柳統, 内藤整, 八木真由, 阿部明彦, 長岡明^{**}, 石郷岡学^{**}, 槻木真明^{**}, 川添久, 加藤智幸, 土谷順彦: 尿道電気刺激知覚閾値と尿流量測定結果の関係について. 第24回日本排尿機能学会, 東京; 2017年9月
- 21) 西田隼人, 山岸敦史, 福原宏樹, 櫻井俊彦, 内藤整, 川添久, 山辺拓也, 阿部明彦, 一柳統, 加藤智幸, 土谷順彦: 免疫クロマト法アデノウイルス迅速検査キットによるアデノウイルス膀胱炎早期診断の試み. 第53回日本移植学会総会, 旭川; 2017年9月
- 22) 山岸敦史, 西田隼人, 福原宏樹, 成澤貴史, 八木真由, 菅野秀典, 櫻井俊彦, 内藤整, 阿部明彦, 川添久, 山辺拓也, 一柳統, 加藤智幸, 土谷順彦: タクロリムス血中濃度と移植腎病理所見との関連性についての検討. 第53回日本移植学会総会, 旭川; 2017年9月
- 23) 福原宏樹, 西田隼人, 山岸敦史, 今田恒夫^{*}, 市川一誠^{*}, 土谷順彦: 生体腎移植後に生物学的製剤を中止するも寛解維持が得られた関節リウマチの1例. 第53回日本移植学会総会, 旭川; 2017年9月
- 24) 成澤貴史, 伊藤英, 菊田雅人, 櫻井俊彦, 内藤整, 山辺拓也, 一柳統, 加藤智幸, 土谷順彦: 腎癌の脳転移症例についての検討. 第82回日本泌尿器科学会東部総会, 東京; 2017年9月
- 25) 伊藤英, 内藤整, 福原宏樹, 成澤貴史, 菅野秀典, 八木真由, 櫻井俊彦, 西田隼人, 川添久, 阿部明彦, 一柳統, 加藤智幸, 土谷順彦: 山形大学における腎細胞癌に対するNivolumabの初期使用経験. 第82回日本泌尿器科学会東部総会, 東京; 2017年9月

- 26) 加藤智幸, 武田裕司*, 伊藤裕美, 黒田悠太, 奈良英利*, 櫻井俊彦, 西田隼人, 内藤整, 川添久, 荒木明美*, 一柳統, 浅尾裕信*, 土谷順彦: 転移性腎細胞癌患者における末梢血中 GPI-80 発現は予後因子となる. 第 55 回日本癌治療学会学術集会, 横浜; 2017 年 10 月
- 27) 山辺拓也, 菊田雅斗, 成澤貴史, 八木真由, 菅野秀典, 山岸敦史, 櫻井俊彦, 内藤整, 西田隼人, 川添久, 阿部明彦, 一柳統, 加藤智幸, 土谷順彦: 腎癌分子標的薬 4 次治療以上行った症例の PFS と OS. 第 55 回日本癌治療学会学術集会, 横浜; 2017 年 10 月
- 28) 高井優季*, 櫻井俊彦, 伊藤英, 末永信太, 福原宏樹, 堀江繁光**, 高井諭**, 小澤迪喜**, 黒川真行**, 沼畑健司**, 鈴木仁**, 槻木真明**, 柿崎弘**, 土谷順彦: 山形県におけるエンザルタミド投与症例の臨床的検討. 第 55 回日本癌治療学会学術集会, 横浜; 2017 年 10 月
- 29) 成澤貴史, 内藤整, 加藤智幸, 伊藤英, 福原宏樹, 櫻井俊彦, 川添久, 山辺拓也, 一柳統, 土谷順彦: 腎癌脳転移の予後についての検討. 日本泌尿器腫瘍学会第 3 回学術集会, 東京; 2017 年 10 月
- 30) 伊藤英, 山辺拓也, 福原宏樹, 八木真由, 西田隼人, 川添久, 阿部明彦, 一柳統, 加藤智幸, 土谷順彦: 山形大学における精巣腫瘍に対する後腹膜リンパ節郭清に関する検討. 日本泌尿器腫瘍学会第 3 回学術集会, 東京; 2017 年 10 月
- 31) 加藤智幸, 八木真由, 櫻井俊彦, 西田隼人, 内藤整, 川添久, 阿部明彦, 山辺拓也, 一柳統, 土谷順彦: 山形大学における高リスク群に対するロボット支援下前立腺摘除術の治療成績. 第 31 回日本泌尿器内視鏡学会総会, 徳島; 2017 年 11 月
- 32) 川添久, 川口寛介*, 櫻井俊彦, 西田隼人, 内藤整, 山辺拓也, 一柳統, 加藤智幸, 佐藤和佳子*, 土谷順彦: ロボット支援前立腺摘除術における術後 QOL の検討. 第 31 回日本泌尿器内視鏡学会総会, 徳島; 2017 年 11 月
- 33) 櫻井俊彦, 成澤貴史, 八木真由, 西田隼人, 内藤整, 川添久, 阿部明彦, 山辺拓也, 一柳統, 加藤智幸, 土谷順彦: 山形大学における Thiel 法で固定した献体を用いた単孔式腹腔鏡下副腎摘除術のトレーニング経験. 第 31 回日本泌尿器内視鏡学会総会, 徳島; 2017 年 11 月
- 34) 福原宏樹, 加藤智幸, 一柳統, 阿部明彦, 山辺拓也, 川添久, 西田隼人, 内藤整, 櫻井俊彦, 土谷順彦: ロボット支援下腎部分切除術と腹腔鏡下腎部分切除術の治療成績の比較検討. 第 31 回日本泌尿器内視鏡外科学会総会, 徳島; 2017 年 11 月
- 35) 川添久, 川口寛介*, 伊藤英, 福原宏樹, 櫻井俊彦, 西田隼人, 内藤整, 加藤智幸, 佐藤和佳子*, 土谷順彦: 前立腺全摘除術における術後 QOL に関する検討—術後 1 年間の推移—. 第 30 回日本内視鏡外科学会総会, 京都; 2017 年 12 月
- 36) 内藤整, 福原宏樹, 菊田雅斗, 伊藤英, 成澤貴史, 山岸敦史, 八木真由, 黒田悠太, 櫻井俊彦, 西田隼人, 川添久, 阿部明彦, 山辺拓也, 一柳統, 加藤智幸, 土谷順彦: 山形大学における RAPN の初期経験. 第 30 回日本内視鏡外科学会総会, 京都; 2017 年 12 月
- 37) 櫻井俊彦, 伊藤英, 福原宏樹, 西田隼人, 内藤整, 川添久, 加藤智幸, 土谷順彦: 山形大学における Thiel 法で固定した献体を用いた腹腔鏡手術トレーニングの経験. 第 30 回日本内視鏡外科学会総会, 京都; 2017 年 12 月
- 38) 西田隼人, 山岸敦史, 福原宏樹, 櫻井俊彦, 内藤整, 川添久, 阿部明彦, 山辺拓也, 一柳統, 加藤智幸, 城謙輔**, 土谷順彦: 定期血中 BK ウイルス測定を行わない BK ウイルス腎症対策の効果. 第 51 回日本臨床腎移植学会, 神戸; 2018 年 2 月
- 39) 山岸敦史, 西田隼人, 福原宏樹, 八木真由, 菅野秀典, 櫻井俊彦, 内藤整, 阿部明彦, 川添久, 山辺拓也, 一柳統, 加藤智幸, 土谷順彦, 城謙輔**: 移植腎における DPP-4 発現とその意義. 第 51 回日本臨床腎移植学会, 神戸; 2018 年 2 月
- 40) 福原宏樹, 西田隼人, 山岸敦史, 伊藤英, 八木真由, 阿部明彦, 川添久, 一柳統, 加藤智幸, 土谷順彦: 献腎移植加療中に晩期サイトメガロウイルス性肺炎を発症した 1 例. 第 51 回日本臨床腎移植学会, 神戸; 2018 年 2 月

(3) 国内地方会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 加藤智幸: シンポジウム 山形大学泌尿器科の歴史と展望. 第 255 回日本泌尿器科学会東北地方会, 弘前; 2017 年 4 月

- 2) 加藤智幸：教育講演 転移性腎細胞癌の治療戦略一時代の狭間で最適治療を考察する一。第 101 回日本泌尿器科学会四国地方会，松山；2017 年 7 月
- 3) 土谷順彦：CRPC 治療パラダイムシフトにおける Enzalutamide の有用性。第 67 回日本泌尿器科学会中部総会イブニングセミナー1，大阪；2017 年 11 月

ii 一般演題

- 1) 福原宏樹，窪木祐弥，牛島正毅，山辺拓也，金子尚嗣，柿崎弘：尿路結石を契機とした閉塞性腎盂腎炎に対する抗生剤治療により胆嚢炎がマスクされ経過中胆嚢破裂に至った 1 例。第 255 回日本泌尿器科学会東北地方会，弘前；2017 年 4 月
- 2) 黒川真行，堀江繁光，山岸敦史，八木真由，黒田悠太，菅野秀典，櫻井俊彦，西田隼人，内藤整，柴崎智宏，川添久，一柳統，加藤智幸，長岡明，土谷順彦：膀胱癌多発転移に対し RFA と GC 療法を用いて長期生存を得た一例。第 255 回日本泌尿器科学会東北地方会，弘前；2017 年 4 月
- 3) 伊藤英，山岸敦史，黒川真行，堀江繁光，八木真由，黒田悠太，菅野秀典，櫻井俊彦，西田隼人，内藤整，柴崎智宏，川添久，一柳統，加藤智幸，長岡明，土谷順彦：慢性疼痛の原因として出血性腎嚢胞が疑われ腎部分切除術を施行した von Willebrand 病の一例。第 255 回日本泌尿器科学会東北地方会，弘前；2017 年 4 月
- 4) 菅野秀典，内藤整，伊藤裕美，一柳統，小原祐太郎，成澤貴史，加藤智幸，長岡明，石井邦明，土谷順彦：ERK5 は腎細胞癌に対する薬物治療のターゲットになりうる。第 68 回日本薬理学会北部会，山形；2017 年 9 月
- 5) 伊藤英，川添久，菊田雅斗，福原宏樹，成澤貴史，菅野秀典，八木真由，山岸敦史，櫻井俊彦，内藤整，西田隼人，阿部明彦，山辺拓也，一柳統，加藤智幸，土谷順彦：Trabectedin により治療効果が得られた脱分化型脂肪肉腫の一例。第 256 回日本泌尿器科学会東北地方会，秋田；2017 年 10 月
- 6) 堀江繁光，黒田悠太，柴崎智宏，鈴木仁，大竹浩也：CEA 高値を示した精巣腫瘍の 1 例。第 256 回日本泌尿器科学会東北地方会，秋田；2017 年 10 月

(4) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 土谷順彦：去勢抵抗性前立腺がんの治療を考える～最近の知見と経験から～。第 149 回東北泌尿器科談話会，第 10 回前立腺がんセミナー，仙台；2017 年 6 月
- 2) 加藤智幸：腎細胞癌薬物治療の現状とチーム医療。釧路地区腎癌学術講演会，釧路；2017 年 7 月
- 3) 土谷順彦：前立腺癌に対する薬物療法の現状と課題。第 7 回千葉 21 世紀泌尿器科セミナー，千葉；2017 年 9 月
- 4) 土谷順彦：腎細胞癌に対する薬物療法～改訂ガイドラインと薬物動態・薬力学からみた使用上のコツ～。第 10 回千葉 Urology Forum，千葉；2017 年 10 月
- 5) 加藤智幸：特別講演 ガイドラインから考える腎癌薬物療法の現状と未来。八戸地区腎癌講演会，八戸；2017 年 11 月
- 6) 土谷順彦：CRPC 治療パラダイムシフトにおける Enzalutamide の有用性。第 46 回福井泌尿器科フォーラム，福井；2018 年 1 月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 川添久：山形大学医学部附属病院での前立腺癌連携パス導入について。第 2 回山形県前立腺癌研究会 2017，山形；2017 年 5 月
- 2) 藤田英：山形大学泌尿器科における Whole body MRI (DWIBS) の取り組み。第 2 回山形県前立腺癌研究会 2017，山形；2017 年 5 月
- 3) 八木真由：シンポジウム 前立腺全摘除術における ERAS 導入の経験。第 28 回新潟泌尿器科手術手技研究会，新潟；2017 年 6 月
- 4) 加藤智幸：プラクティスから考える今後の mRCC 逐次治療。Pfizer Oncology Symposium RCC 2017，東京；2017 年 9 月
- 5) 加藤智幸：腎癌診療ガイドライン 2017 年版（全身治療）解説。Novartis RCC Seminar，東京；2017 年 10 月
- 6) 加藤智幸：腎癌診療ガイドライン（全身治療）についての解説。Tohoku RCC Seminar，仙台；2017 年 12 月

月

- 7) 西田隼人：それでも腎不全になってしまったら～透析療法と腎移植について～. イオンシネマ健康フェスティバル, 天童; 2017年12月
- 8) 川添久：前立腺がんダヴィンチ手術の現状. 前立腺癌の total care を考える会, 山形; 2018年2月

iii 一般演題

- 1) 一柳統, 伊藤裕美, 内藤整, 菅野秀典, 櫻井俊彦, 加藤智幸, 土谷順彦：非転移性淡明細胞型腎細胞癌における eIF4E 発現と臨床的予後に関する検討. みちのく泌尿器科セミナー, 仙台; 2017年4月
- 2) 柴崎智宏, 黒田悠太, 川添久, 八木真由, 櫻井俊彦, 内藤整, 西田隼人, 一柳統, 加藤智幸, 長岡明, 土谷順彦：山形大学におけるロボット支援前立腺全摘除術 (RARP) の臨床的検討. 第28回内視鏡外科フォーラム東北 in 山形, 山形; 2017年4月
- 3) 西田隼人, 山岸敦史, 福原宏樹, 櫻井俊彦, 内藤整, 川添久, 一柳統, 加藤智幸, 土谷順彦：アデノウイルス迅速検査キットによりアデノウイルス膀胱炎を早期に診断した4例. 第33回腎移植・血管外科研究会, 小田原; 2017年7月
- 4) 西田隼人, 山岸敦史, 福原宏樹, 伊藤英, 菊田雅斗, 成澤貴史, 菅野秀典, 八木真由, 櫻井俊彦, 内藤整, 川添久, 山辺拓也, 阿部明彦, 一柳統, 加藤智幸, 土谷順彦：右腎提供に対し性腺静脈を用いた移植腎静脈延長術を施行した生体腎移植の2例. 北東北腎移植勉強会, 弘前; 2017年7月
- 5) 櫻井俊彦, 成澤貴史, 八木真由, 西田隼人, 内藤整, 川添久, 阿部明彦, 山辺拓也, 一柳統, 加藤智幸, 土谷順彦：山形大学における Thiel 法で固定した献体を用いた単孔式腹腔鏡下副腎摘除術のトレーニング経験. 第6回 Reduced Port Surgery Forum 2017, 大分; 2017年8月
- 6) 福原宏樹, 加藤智幸, 一柳統, 阿部明彦, 山辺拓也, 川添久, 西田隼人, 内藤整, 櫻井俊彦, 土谷順彦：当院におけるロボット支援腹腔鏡腎部分切除術の治療成績の検討. 第21回山形内視鏡外科研究会学術集会, 山形; 2017年8月
- 7) 西田隼人, 伊藤英, 菊田雅斗, 福原宏樹, 成澤貴史, 菅野秀典, 八木真由, 山岸敦史, 櫻井俊彦, 内藤整, 川添久, 阿部明彦, 山辺拓也, 一柳統, 加藤智幸, 市川一誠, 今田恒夫, 土谷順彦：膀胱鏡を用いた腹腔内観察下腹膜透析用カテーテル留置術の検討. 第44回東北腎不全研究会, 新潟; 2017年9月
- 8) 西田隼人, 山岸敦史, 福原宏樹, 櫻井俊彦, 内藤整, 川添久, 阿部明彦, 山辺拓也, 一柳統, 加藤智幸, 土谷順彦：山形大学における BK ウイルス腎症対策の臨床的効果. 第20回東北移植研究会, 仙台; 2017年10月
- 9) 櫻井俊彦, 伊藤英, 菊田雅斗, 福原宏樹, 成澤貴史, 八木真由, 西田隼人, 内藤整, 川添久, 阿部明彦, 山辺拓也, 一柳統, 加藤智幸, 土谷順彦：異所性褐色細胞腫に対して腹腔鏡下摘除術を施行した一例. 第37回山形内分泌代謝研究会, 山形; 2017年10月
- 10) 西田隼人, 山岸敦史, 福原宏樹, 黒田悠太, 八木真由, 櫻井俊彦, 内藤整, 川添久, 阿部明彦, 山辺拓也, 一柳統, 加藤智幸, 土谷順彦：山形での先行的腎移植を推進するために必要な方策は. 第48回山形腎不全研究会, 山形; 2017年11月
- 11) 山岸敦史, 西田隼人, 福原宏樹, 伊藤英, 菊田雅斗, 成澤貴史, 菅野秀典, 八木真由, 櫻井俊彦, 内藤整, 阿部明彦, 川添久, 山辺拓也, 一柳統, 加藤智幸, 土谷順彦：当科における血液型不適合腎移植の成績. 第48回山形腎不全研究会, 山形; 2017年11月
- 12) 石井達矢, 和泉卓司, 加藤智幸, 土谷順彦：当院における TUL 術後尿管狭窄に対する尿管拡張術の経験. 第109回山形泌尿器科研究会, 山形; 2017年11月
- 13) 阿部明彦, 伊藤英, 末永信太, 福原宏樹, 成澤貴史, 山岸敦史, 八木真由, 黒田悠太, 櫻井俊彦, 西田隼人, 内藤整, 川添久, 山辺拓也, 一柳統, 加藤智幸, 土谷順彦：骨盤臓器脱・尿失禁に対する外科的治療. 第109回山形泌尿器科研究会, 山形; 2017年11月
- 14) 阿部明彦, 伊藤英, 末永信太, 福原宏樹, 成澤貴史, 山岸敦史, 八木真由, 黒田悠太, 櫻井俊彦, 西田隼人, 内藤整, 川添久, 山辺拓也, 一柳統, 加藤智幸, 土谷順彦：当院における骨盤臓器脱・尿失禁に対する外科的治療. 山形骨盤外科研究会, 山形; 2018年1月

(5) 座 長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 土谷順彦：特別講演. 第2回山形県前立腺癌研究会, 山形; 2017年5月

- 2) 土谷順彦：特別講演. 山形前立腺癌学術講演会, 山形; 2017年5月
- 3) 土谷順彦：特別講演. 山形RCC Conference, 山形; 2017年6月
- 4) 土谷順彦：特別講演. 第108回山形泌尿器科研究会, 山形; 2017年6月
- 5) 土谷順彦：特別講演. 山形ゾーフイゴセミナー, 山形; 2017年6月
- 6) 西田隼人：急性期病院が移植医療にできることー患者の意思を尊重するためにー. 臓器移植トップセミナー, 山形; 2017年10月
- 7) 土谷順彦：特別講演. 山形腎細胞癌学術講演会, 山形; 2017年11月
- 8) 土谷順彦：特別講演. 第109回山形泌尿器科研究会, 山形; 2017年11月
- 9) 土谷順彦：特別講演. 第21回山形大学漢方実践講座, 山形; 2017年12月
- 10) 土谷順彦：特別講演. RCC Conference in Tohoku～使用経験の共有とオブジーボの可能性について～, 仙台; 2017年12月
- 11) 土谷順彦：特別講演. Tohoku RCC Seminar～腎癌治療の基礎、臨床と今後の課題～, 仙台; 2017年12月
- 12) 土谷順彦：特別講演. 第13回山形臨床泌尿器科懇話会, 山形; 2018年1月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 土谷順彦：基調講演. Michinoku 泌尿器科セミナー, 仙台; 2017年4月
- 2) Nishida H: Early complications after kidney transplantation: current screening, diagnosis and treatment. ASPN/JSN Continuing Medical Education (CME) Course 2017, Sendai; May 2017
- 3) 加藤智幸：基調講演. 山形ゾーフイゴセミナー, 山形; 2017年6月
- 4) 内藤整, 納屋幸男：一般口演 23. 泌尿器腫瘍全般・膀胱腫瘍. 第82日本泌尿器科学会東部総会, 東京; 2017年9月
- 5) 西田隼人：教育セミナー4 移植後再発性腎炎のマネジメント. 第44回東北腎不全研究会, 新潟; 2017年9月
- 6) 加藤智幸：ディスカッション「オブジーボの最大治療効果を考える」. RCC Conference in Tohoku, 仙台; 2017年12月

iii 一般演題

- 1) 加藤智幸：一般演題 B-1. 第255回日本泌尿器科学会東北地方会, 弘前; 2017年4月
- 2) 加藤智幸：一般演題ポスター 腎腫瘍/基礎・マーカー. 第105回日本泌尿器科学会総会, 鹿児島; 2017年4月
- 3) 加藤智幸：一般演題. 第2回山形県前立腺癌研究会, 山形; 2017年5月
- 4) 加藤智幸：一般演題. 第108回山形泌尿器科研究会, 上山; 2017年6月
- 5) 土谷順彦：Innovation4 尿管管&ドナー腎. 6th Reduced Port Surgery Forum 2017 in Oita, 大分; 2017年8月
- 6) 加藤智幸：一般口演 3 腎腫瘍/手術・症例. 第82回日本泌尿器科学会東部総会, 東京; 2017年9月
- 7) 加藤智幸：デジタルポスター26 腎臓 手術. 第55回日本癌治療学会学術総会, 横浜; 2017年10月
- 8) 加藤智幸：一般演題 B-2. 第256回日本泌尿器科学会東北地方会, 秋田; 2017年10月
- 9) 土谷順彦：総会賞ビデオ1. 第31回日本泌尿器内視鏡学会総会, 徳島; 2017年11月
- 10) 加藤智幸：一般演題 講演 27 RARP⑦. 第31回日本泌尿器内視鏡学会総会, 徳島; 2017年11月
- 11) 加藤智幸：一般演題. 第109回山形泌尿器科研究会, 山形; 2017年11月
- 12) 阿部明彦：ブラッドアクセス. 第48回山形腎不全研究会, 山形; 2017年11月
- 13) 加藤智幸：一般演題. 第13回山形臨床泌尿器科懇話会, 山形; 2018年1月
- 14) 土谷順彦：Session 1 講演 II. 第12回Prostate Cancer Forum, 仙台; 2018年2月
- 15) 西田隼人：一般演題 チーム医療・移植プログラム. 第51回日本臨床腎移植学会, 神戸; 2018年2月

(6) その他

- 1) Naito S, Tsuchiya N: Comprehensive treatment with metastasectomy and systemic therapy for mRCC. ファイザー研究会, 東京; 2017年4月
- 2) 土谷順彦：薬物動態・薬力学からみた腎細胞癌の分子標的治療. 東京 RCC 薬物療法講演会 2017, 東京; 2017年5月
- 3) 土谷順彦：CRPC の治療戦略. 前立腺癌薬物療法 WEB シンポジウム, 東京; 2017年5月

- 4) 土谷順彦：薬物動態・薬力学からみた腎細胞癌の分子標的治療. 富山県腎細胞がん学術講演会, 富山; 2017年6月
- 5) 土谷順彦：前立腺癌に対する薬物療法の現状と課題. 前立腺癌フォーラム, 高知; 2017年6月
- 6) 土谷順彦：医師になるということ. 平成29年度医進塾, 山形; 2017年6月
- 7) 内藤整, 土谷順彦：Metastasectomy in mRCC- retrospective study and case presentation. ノバルティス研究会, 山形; 2017年6月
- 8) 土谷順彦：泌尿器内視鏡からロボット手術へ. 山形大学医学部オープンキャンパス, 山形; 2017年7月
- 9) 加藤智幸：最新のガイドラインを読み解く！～主に薬物療法の観点から～. 座談会, 東京; 2017年7月
- 10) 加藤智幸：『腎癌診療ガイドライン2017年版』全身治療を考える. 座談会, 東京; 2017年9月
- 11) 土谷順彦：腎細胞癌に対する薬物療法～改訂ガイドラインと薬物動態・薬力学からみた使用上のコツ～. Pfizer RCC Symposium in MITO, 水戸; 2017年10月
- 12) 土谷順彦：腎細胞癌に対する薬物療法～改訂ガイドラインと薬物動態・薬力学からみた使用上のコツ～. RCC Professional Lecture 2017, 福岡; 2017年10月
- 13) 土谷順彦：ケースで考える！実臨床における転移性腎細胞癌の集学的アプローチとは？腎細胞癌の集学的治療におけるMixed responseを含めた治療方針. Pfizer Oncology Internet Symposium RCC 2017, 東京; 2017年11月
- 14) 土谷順彦：最新の排尿障害治療と排尿リハビリテーション・ケア～夜間頻尿のアップデート～. 平成29年度山形大学医学部公開講座, 山形; 2017年11月
- 15) 土谷順彦：知って安心！ロボット支援手術の全て. 山形大学医学部発の未来医療展開会議 in 鶴岡, 鶴岡; 2017年11月
- 16) 土谷順彦：ロボット支援手術. 山形県社会保険診療報酬請求書審査委員会学術講演会, 山形; 2017年11月
- 17) 八木真由：尿失禁のアップデート. 平成29年度山形大学医学部公開講座, 山形; 2017年11月
- 18) 内藤整, 加藤智幸, 土谷順彦：ニボルマブの使用タイミングについて. ブリストルマイヤーズ・小野薬品研究会, 仙台; 2017年12月
- 19) 土谷順彦：腎細胞癌治療における効果判定と薬物動態. Pfizer Oncology Symposium 2018 in Kyoto, 京都; 2018年2月
- 20) 土谷順彦：HSPCの治療戦略. Prostate Cancer Premium Symposium, 東京; 2018年3月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第108回山形泌尿器科研究会, 山形; 2017年6月
- 2) 第2回山形県前立腺癌研究会, 山形; 2017年7月
- 3) 第109回山形泌尿器科研究会, 山形; 2017年11月
- 4) 第48回山形腎不全研究会, 山形; 2017年11月

4. 学会等での受賞

- 1) 伊藤裕美：平成29年度山形大学医学会学術奨励賞. 2018年2月

5. その他

- 1) 土谷順彦, 北村寛, 藤井靖久：明日の治療指針～腎細胞がんに対するがん免疫療法～. ラジオNIKKEI, 東京; 2017年7月

眼科学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Namba H, Narumi M*, Susa S*, Ohe R*, Kato T*, Yamakawa M*, Yamashita H: Corneal vesicles accumulate collagen VI associated with tissue remodeling in apolipoprotein a-I deficiency: a case report. BMC Ophthalmol. 2017; 17(1): 11
- 2) 伊藤はる奈, 西川典子**, 林思音, 吉田晃敏**, 山下英俊: 正常眼軸眼の固定内斜視に対し横山法を施行した1例. 眼科臨床紀要. 2017; 10(3): 240-242

(2) 総説及び解説

- 1) 武田祐介, 山下英俊: 血糖値が上がる理由とその影響 高血糖イラスト図解 高血糖が眼に与える影響. 糖尿病ケア. 2017; 12(2): 22-25

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Nishitsuka K: Construction of the Follow-up Survey System for Vitreoretinal Diseases APAO LEADERSHIP DEVELOPMENT PROGRAM 2016-2017, GRADUATION CLASS. The 32th APAO CONGRESS, Singapore; March 2017

(2) 国内の学会

i 一般演題

- 1) 難波広幸, 菅野彰, 西勝弘, 村上敬憲, 西塚弘一, 山下英俊: 年齢上昇による角膜内皮細胞の変化と、高次収差との関連: 舟形町研究. 第41回日本角膜学会総会, 福岡; 2017年2月

(3) 国内地方会

i 特別講演

- 1) 山下英俊: 専門医研修と新しい専門医制度. 第97回北海道医学大会総会, 札幌市; 2017年9月

(4) 研究会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 西塚弘一: 糖尿病診療における糖尿病網膜症管理の新展開. 第5回静岡県西部糖尿病眼合併症フォーラム, 浜松; 2017年2月
- 2) 難波広幸: 角膜感染と上皮障害. 第125回山形眼科研究会, 山形市; 2017年2月
- 3) 阿部さち: 山形大学眼科における糖尿病黄斑浮腫治療. 第126回山形眼科研究会, 山形; 2017年3月

ii 一般演題

- 1) 菅野智華子: ムコスタ点眼薬UD2%の有用性. 山形眼科セミナー, 山形市; 2017年1月
- 2) 宇都宮寛, 難波広幸, 山下英俊: 山形大学における穿孔性眼外傷の検討. 第125回山形眼科研究会, 山形市; 2017年2月
- 3) 武田祐介, 山下英俊: 網膜中心静脈閉塞症の重症例. 第125回山形眼科研究会, 山形市; 2017年2月
- 4) 今野伸弥, 高村浩, 山下英俊: 山形大学における悪性眼瞼腫瘍の治療成績. 第125回山形眼科研究会, 山形市; 2017年2月
- 5) 難波広幸, 山下英俊: デルモイドの1症例. 第126回山形眼科研究会, 山形市; 2017年3月
- 6) 西塚弘一, 西勝弘, 難波広幸, 金子優, 山下英俊: 硝子体手術中のOCTによる黄斑円孔の観察. 第126回山形眼科研究会, 山形市; 2017年3月

(5) その他

- 1) 金子優: ぶどう膜炎の診療—診断から治療まで—. エーザイ社内勉強会, 山形市; 2017年1月
- 2) 菅野彰: 点眼治療と手術治療. 大塚製薬社内勉強会, 山形; 2017年2月
- 3) 西塚弘一: 眼科内視鏡手術. 先端内視鏡センター第8回セミナー, 山形市; 2017年2月

眼科学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Hatanaka Y**, Tajima M**, Kawasaki R*, Saito K, Ogohara K**, Muramatsu C**, Sunayama W**, Fujita H**: Retinal biometrics based on Iterative Closest Point algorithm. Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc. 2017; 2017(7): 373-376 B
- 2) Namba H, Kawasaki R*, Sugano A, Murakami T, Nishitsuka K, Kato T**, Kayama T*, Yamashita H: Age-related changes in ocular aberrations and the Yamagata Study (Funagata). Cornea. 2017; 36: S34-S40
- 3) Tanaka S**, Kawasaki R*, Tanaka-Mizuno S**, Iimuro S**, Matsunaga S**, Moriya T**, Ishibashi S**, Katayama S**, Ohashi Y**, Akanuma Y**, Sone H**, Yamashita H for the Japan Diabetes Complications Study: Severe Hypoglycemia is a Major Predictor of Incident Diabetic Retinopathy in Japanese Patients with Type 2 Diabetes. Diabetes Metab. 2017; 43(5): 424-429 B
- 4) Nishitsuka K, Nishi K, Namba H, Kaneko Y, Yamashita H: Intraoperative Optical Coherence Tomography Imaging of the Peripheral Vitreous and Retina. Retina. 2018; 38(3): e20-e22
- 5) Namba H, Kawasaki R*, Sugano A, Nishi K, Murakami T, Nishitsuka K, Kato T**, Kayama T*, Yamashita H: Cross-sectional and Longitudinal Investigation of Power Vector in Astigmatism: The Yamagata Study (Funagata). Cornea. 2018; 37(1): 53-58
- 6) 伊関千書*, 須藤雪乃*, 宮島美佳*, 伊藤さゆり*, 林思音, 鈴木匡子*: 病院内での道順探索—健常者および高次機能障害における検討—. 山形大学紀要. 2017; 35(2): 33-38
- 7) 林思音, 枝松瞳, 沼倉周彦*, 川崎良*, 三井哲夫*, 山下英俊: 小児屈折スクリーニングにおける Spot Vision Screener の有用性. 眼科臨床紀要. 2017; 10(5): 399-404
- 8) 林思音, 枝松瞳, 伊藤はる奈, 山下英俊: 上斜筋移動術により内転および回旋偏位が改善した両眼動眼神経麻痺の1例. 臨床眼科. 2017; 71(9): 1383-1388
- 9) 村上敬憲, 難波広幸, 富田善彦**, 土谷順彦*, 大黒浩**, 山下英俊: 2週間で急激な視力低下をきたし両眼光覚に至った癌関連網膜症. あたらしい眼科. 2017; 34(8): 1201-1204
- 10) 赤羽梢, 西塚弘一, 桐井枝里子, 武田祐介, 山田裕樹*, 小久保安昭*, 嘉山孝正*, 山下英俊: 左視力低下を主訴に眼科初診で発見されたテルソン症候群の1例. 臨床眼科. 2018; 72(2): 253-257

(2) 総説及び解説

- 1) 松下知弘: Dr. 探偵! 疾患スクープ 黄斑円孔. 眼科ケア. 2017; 19(9): 1, 68-71
- 2) 西塚弘一: 術中 OCT を用いた周辺部網膜硝子体の観察. 眼科グラフィック. 2017; 6(6): 550-554
- 3) 西塚弘一: 硝子体手術における手術顕微鏡一体型 OCT (術中 OCT) の有用性. 臨床眼科. 2017; 71(13): 1818-1824
- 4) 林思音: 最新機器レポート「スポットビジョンスクリーナー」 User's Comments. 神経眼科. 2017; 34(3): 374-381
- 5) 武田祐介, 山下英俊: 超早産児の予後向上のための戦略【2】未熟児網膜症の管理 リスク因子と予防戦略. 周産期医学. 2017; 47(8): 1012-1017
- 6) 武田祐介, 山下英俊: 糖尿病患者の体のフシギ Q&A 40. 糖尿病ケア. 2017; 14(10): 31-33
- 7) 高村浩: 眼瞼の母斑と脂漏性角化症の臨床病理. OCULISTA. 2017; 57: 15-20

(3) 著書

- 1) 林思音: 強度近視性内斜視(固定内斜視). 佐藤美保編, 斜視治療のストラテジー. 東京都: 三輪書店, 2017: 27-30
- 2) 林思音: 動眼神経麻痺. 佐藤美保編, 斜視治療のストラテジー. 東京都: 三輪書店, 2017: 158-161
- 3) 阿部さち, 山下英俊: 眼底出血. 猿田亨男, 北村惣一郎監修, 1336 専門家による私の治療 2017-2018 年度版. 東京: 日本医事新報社, 2017: 1297-1299

(4) その他

- 1) 高村浩, 高比良雅之**: 第34回日本眼腫瘍学会 学会印象記 一般講演(8)眼窩II. 日本眼腫瘍学会誌. 2017; 6: 21-22
- 2) 林思音: 斜視弱視学会印象記 (ポスター). 日本弱視斜視学会会報. 2017; 53(1): 49-51
- 3) 菅野彰, 近間泰一郎**, 橋本尚子**, 原岳**: 熱血討論! 緑内障道場 診断・治療の一手ご指南(第19回) トラベクレクトミー術後のデレンに対する治療. 臨床眼科. 2017; 71(8): 1150-1155
- 4) 菅野彰, 谷戸正樹**, 濱中輝彦**: 熱血討論! 緑内障道場 診断・治療の一手ご指南(第20回) バルベルト緑内障インプラント手術2年後に眼圧上昇をきたした症例. 臨床眼科. 2017; 71(9): 1310-1317
- 5) 菅野彰, 大島安正**, 東出朋巳**: 熱血討論! 緑内障道場 診断・治療の一手ご指南(第21回) アセタグラミドを長期内服している症例. 臨床眼科. 2017; 71(10): 1488-1494
- 6) 菅野彰, 丸山勝彦**, 溝上志朗**: 熱血討論! 緑内障道場 診断・治療の一手ご指南(第22回) 線維柱帯切除術後に生じた低眼圧黄斑症の症例. 臨床眼科. 2017; 71(11): 1691-1698
- 7) 難波広幸: 写真セミナー404 術中OCTを用いた角膜内皮移植. あたらしい眼科. 2018; 35(1): 95-96
- 8) 難波広幸: 写真セミナー405 角膜穿孔に対する羊膜移植. あたらしい眼科. 2018; 35(2): 213-214
- 9) 林思音: 日本小児眼科学会印象記 (学術展示). 日本小児眼科学会会報. 2017; 28: 38-39
- 10) 菅野彰: 緑内障ロングチューブシャント手術 [難治性緑内障に対する緑内障手術]. 日本医事新報. 2018; 4892: 55

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) Nishitsuka K: Intraoperative OCT for vitrectomy. ZEISS Film Festival on Retina China Congress, the annual meeting of retina committee of Chinese Ophthalmological Society, Qingdao(China); March 2018

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Nishitsuka K, Kawasaki R*, Sakamoto T**, Hirakata A**, Yamamoto S**, Baba T**, Koto T**, Yamakiri K**, Ohji M**, Yamashita H, Ogura Y**: Intermediate analysis of rhegmatogenous retinal detachment in JRVS registry system. The 56th Annual Meeting of Japanese Retina and Vitreous Society (Distinguished Papers Symposium), Tokyo; December 2017 B
- 2) Nishitsuka K: Intraoperative Optical Coherence Tomography. The 2nd Taiwan-Japan Vitreoretinal Joint Meeting, Tokyo; December 2017

iii 一般演題

- 1) Nishitsuka K, Nishi K, Kaneko Y, Namba H, Yamashita H: Manipulation of preretinal proliferative membranes using intraoperative optical coherence tomography. The Annual Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology, Baltimore; May 2017
- 2) Kaneko Y, Murakami T, Nishitsuka K, Yamashita H: Evaluation of the safety and long-term efficacy of infliximab treatment for uveitis in Behçet's disease at Yamagata University. 118th Annual Meeting of the Korean Ophthalmological Society, Seoul; November 2017
- 3) Nishitsuka K, Kawasaki R*, Hirakata A**, Yamamoto S**, Yamashita H, Ogura Y**: Strategy for the treatment of uncomplicated retinal detachment: Japan Retina Vitreous Society (JRVS) Registry system. The 11th Congress of Asia-Pacific Vitreo-retina Society, Kuala Lumpur; December 2017 B

(2) 国内の学会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 山下英俊: 糖尿病網膜症の現状と最新の治療. 第58回日本視能矯正学会, 仙台市; 2017年10月
- 2) 山下英俊: 新専門医制度について: 卒前教育から専門医教育における位置付け. 第65回職業・災害医学会学術大会, 北九州市; 2017年11月
- 3) 山下英俊: 第20回盛賞受賞講演「糖尿病網膜症・黄斑症の病態と治療戦略」. 第56回日本網膜硝子体学

会, 東京; 2017 年 12 月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 金子優: 専門医制度第 65 回講習会 テーマ 1. 『プライマリ・ケア・シリーズ (61)』ぶどう膜炎の診療と治療「薬物治療の進歩」. 第 121 回日本眼科学会, 東京; 2017 年 4 月
- 2) 山下英俊, 嘉山孝正*, 新井一**, 吉村博邦**: 卒前から専門医までの医学教育. シンポジウム 10 「医学教育の各ステージにおける目標達成度の評価について」. 第 49 回日本医学教育学会大会, 札幌市; 2017 年 8 月
- 3) 菅野彰: 眼底検査の 101. 緑内障学会, 広島; 2017 年 9 月
- 4) 阿部さち, 山下英俊: ステロイド点眼法を利用した糖尿病黄斑浮腫の包括的治療プロトコールの展望. 第 71 回日本臨床眼科学会, 東京; 2017 年 10 月
- 5) 西塚弘一: インストラクションコース 網膜復位術の基本と極意—バックリング手術の基本手順—. 第 71 回日本臨床眼科学会, 東京; 2017 年 10 月
- 6) 林思音: インストラクションコース 診察室からはじめよう 斜視の検査法 外眼の評価、眼球運動の評価. 第 71 回日本臨床眼科学会, 東京; 2017 年 10 月
- 7) 西塚弘一: ランチョンセミナー 白熱! 硝子体倶楽部 広汎な滲出性網膜剥離を伴った PDR. 第 56 回日本網膜硝子体学会総会, 東京; 2017 年 12 月
- 8) 西塚弘一: ランチョンセミナー 硝子体手術—その侵襲を考える— 私の治療戦略 硝子体手術. 第 56 回日本網膜硝子体学会総会, 東京; 2017 年 12 月

iii 一般演題

- 1) 西塚弘一, 西勝弘, 武田祐介, 阿部さち, 難波広幸, 桐井枝里子, 村上敬憲, 松下高幸, 金子優, 山下英俊: 術中 OCT による周辺部網膜硝子体の局所解剖と網膜剥離の病態. 第 121 回日本眼科学会総会, 東京; 2017 年 4 月
- 2) 阿部さち, 後藤早紀子, 西勝弘, 松下高幸, 西塚弘一, 山本禎子**, 山下英俊: 糖尿病黄斑浮腫に対するジフルプレドナート点眼治療の長期結果. 第 121 回日本眼科学会総会, 東京; 2017 年 4 月
- 3) 西勝弘, 西塚弘一, 後藤早紀子, 阿部さち, 武田祐介, 山本禎子**, 山下英俊: 増殖糖尿病網膜症の硝子体手術後 4 年での視力予後とその関連因子の検討. 第 121 回日本眼科学会総会, 東京; 2017 年 4 月
- 4) 松下高幸, 菅野彰, 西塚弘一, 山下英俊: バルベルト緑内障インプラント手術の術後早期成績. 第 121 回日本眼科学会総会, 東京都; 2017 年 4 月
- 5) 村上敬憲, 難波広幸, 菅野彰, 西塚弘一, 加藤丈夫**, 嘉山孝正*, 山下英俊: 脈絡膜厚とその関連因子の検討: 山形県コホート研究(舟形町研究). 第 121 回日本眼科学会, 東京; 2017 年 4 月
- 6) 川崎良*, 北野滋彦**, 佐藤幸裕**, 山下英俊, 西村理明**, 田嶋尚子** for the JDCP study Diabetic Retinopathy working group: JDCP study ベースライン調査における糖尿病網膜症有病に関連する因子. 第 60 回日本糖尿病学会年次学術集会, 名古屋; 2017 年 5 月
- 7) 林思音, 下内昭**, 山下英俊: フィリピン・ネグロス島における弱視スクリーニングの検討. 第 73 回日本弱視斜視学会, 金沢; 2017 年 6 月
- 8) 金子優, 村上敬憲, 西塚弘一, 平田勲**, 山下英俊: 後部強膜炎に続発した Uveal effusion syndrome の治療経験. 第 51 回眼炎症学会, 大阪; 2017 年 7 月
- 9) 金子優, 村上敬憲, 西塚弘一, 鈴木俊紀*, 大江倫太郎, 山川光徳*, 山下英俊: 硝子体生検における液化化検体細胞診 (LBC 法) の有用性. 第 71 回日本臨床眼科学会, 東京; 2017 年 10 月
- 10) 今野伸弥, 山下英俊, 鈴木修平*, 吉岡孝志*: 脈絡膜悪性黒色腫の転移に対してニボルマブで治療した 3 例. 第 71 回日本臨床眼科学会, 東京; 2017 年 10 月
- 11) 林思音, 西塚弘一, 枝松瞳, 伊藤はる奈, 日下俊次**, 山下英俊: 弱視治療により視力が向上した小児特発性黄斑上膜の 2 例. 第 71 回日本臨床眼科学会, 東京; 2017 年 10 月
- 12) 難波広幸, 菅野彰, 西勝弘, 村上敬憲, 西塚弘一, 加藤丈夫**, 石澤賢一*, 嘉山孝正*, 山下英俊: 日本人での円錐角膜、潜在性円錐角膜の有病率とその特徴: 山形県コホート研究. 第 71 回日本臨床眼科学会総会, 東京; 2017 年 10 月
- 13) 菅野彰, 松下高幸, 西塚弘一, 山下英俊: 初回緑内障手術としての血管新生緑内障に対するバルベルト緑内障インプラント手術成績. 第 71 回臨床眼科学会, 東京; 2017 年 10 月

- 14) 沼倉周彦*, 林思音, 坂本修**, 早坂清** : 小児期早期に視神経萎縮をきたしたメチルマロン CoA ムターゼ欠損症の一例. 第 59 回日本先天代謝異常学会, 川崎市; 2017 年 10 月
- 15) 高宮美智子, 佐藤憲夫**, 佐野隆一** : 連携パス患者の視力予後因子. 第 23 回日本糖尿病眼学会, 東京; 2017 年 10 月
- 16) 松下高幸, 金子優, 西塚弘一, 八木真由*, 土谷順彦*, 板垣寛*, 園田順彦*, 山下英俊: 腎盂腎炎を原発とした眼内炎、脳膿瘍を併発した一例. 第 56 回網膜硝子体学会, 東京; 2017 年 12 月
- 17) 難波広幸, 菅野彰, 西勝弘, 村上敬憲, 西塚弘一, 加藤丈夫**, 石澤賢一*, 嘉山孝正*, 山下英俊: 乱視ベクトル解析と 10 年間の経時変化: 山形県コホート研究 (舟形町研究). 第 42 回日本角膜学会総会, 広島; 2018 年 2 月
- 18) 林思音, 沼倉周彦*, 枝松瞳, 伊藤はる奈, 武田祐介, 三井哲夫*, 山下英俊: 幼児期に視神経萎縮を発症したメチルマロン酸血症の一例. 第 43 回日本小児眼科学会, 名古屋; 2018 年 3 月

(3) 国内地方会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 山下英俊: 専門医研修と新しい専門医制度. 第 97 回北海道医学大会総会, 札幌市; 2017 年 9 月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 林思音: あたらしい弱視スクリーニング. 岡山県眼科医会生涯教育講座, 岡山市; 2017 年 7 月

iii 一般演題

- 1) 菅野彰, 松下高幸, 金子優: サイトメガロウイルスぶどう膜炎による続発緑内障の 1 例. 北日本勉強会, 札幌; 2017 年 10 月

(4) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 山下英俊: 視力予後向上のための糖尿病網膜症診療. 第 10 回 Tsurumi Ophthalmic Seminar, 名古屋市; 2017 年 5 月
- 2) 山下英俊: 糖尿病網膜症治療戦略と眼底観察. 第 6 回なんかい眼科フォーラム, 堺市; 2017 年 7 月
- 3) 金子優: ぶどう膜炎の診断と治療. 山形炎症性疾患研究会, 山形市; 2017 年 5 月
- 4) 金子優: 全身疾患と眼～ぶどう膜炎を中心に糖尿病と緑内障を含めて～. 南陽市東置賜郡医師会 燦燦会 学術講演会, 南陽市; 2017 年 10 月
- 5) 金子優: ぶどう膜炎の診断と治療～診療科間連携を含めて～. 山形炎症性疾患研究会, 山形市; 2018 年 2 月
- 6) 山下英俊: 糖尿病網膜症の最新の治療. 第 14 回東北マルチプルリスクファクター研究会, 仙台市; 2018 年 3 月
- 7) 山下英俊: 糖尿病網膜症の疫学的考察. 新・眼科診療アップデートセミナー 2018 in Kyoto, 京都; 2018 年 3 月
- 8) 林思音: 斜視に関連する眼圧変化. 第 3 回 External Surgery Group, 横浜; 2018 年 3 月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 西塚弘一: “Posterior Segment Surgery” 山形大学眼科における RESCAN700 の使用経験. ZEISS RESCAN 700 focus meeting, 東京; 2017 年 4 月
- 2) 西塚弘一: 滲出性網膜剥離を合併した増殖糖尿病網膜症の 1 例. 第 7 回仙台網膜道場, 仙台; 2017 年 4 月
- 3) 林思音: 小児眼科の診察. 第 127 回山形眼科研究会, 山形; 2017 年 5 月
- 4) 武田祐介: 網膜静脈閉塞症の診察. 第 128 回山形眼科研究会, 山形市; 2017 年 7 月
- 5) 金子優: ぶどう膜炎の薬物療法の進歩. 第 129 回山形眼科研究会, 山形市; 2017 年 9 月
- 6) 菅野彰: 緑内障眼底検査と緑内障 OCT 検査. 第 130 回山形眼科研究会, 山形市; 2017 年 11 月
- 7) 今野伸弥: 山形大での眼腫瘍. 第 131 回山形眼科研究会, 山形市; 2018 年 2 月
- 8) 西塚弘一: 最近の山形大学眼科における硝子体手術. 第 132 回山形眼科研究会, 山形市; 2018 年 3 月

iii 一般演題

- 1) 佐藤浩章: 飛蚊症に対し Vitreolysis を施行した 2 例. 第 127 回山形眼科研究会, 山形市; 2017 年 5 月
- 2) 金子優, 村上敬憲, 山下英俊: 急速進行性糸球体腎炎を合併した ANCA 陽性強膜炎の 1 例. 第 127 回山形

- 眼科研究会, 山形市; 2017年5月
- 3) 阿部さち, 山下英俊:山形大学眼科における網膜動脈閉塞症の臨床所見の検討. 第127回山形眼科研究会, 山形市; 2017年5月
 - 4) 高宮美智子, 佐藤憲夫:水晶体落下症例. 第56回置賜眼科医会研究会, 米沢市; 2017年6月
 - 5) 松下高幸, 山下英俊:眼内炎の治療中に脳膿瘍を発症した1例. 第128回山形眼科研究会, 山形市; 2017年7月
 - 6) 菅野彰, 村上敬憲, 山下英俊:アイケア手持眼圧計とGoldmann 圧平式眼圧計の比較. 第128回山形眼科研究会, 山形市; 2017年7月
 - 7) 村上敬憲, 難波広幸, 菅野彰, 西塚弘一, 加藤丈夫*, 嘉山孝正*, 山下英俊:脈絡膜厚と関連因子の検討:山形県コホート研究(舟形町研究). 第128回山形眼科研究会, 山形市; 2017年7月
 - 8) 西塚弘一:黄斑円孔手術にて駆逐性出血を起こした1例. 第19回硝子体手術勉強会, 盛岡市; 2017年8月
 - 9) 西塚弘一:硝子体手術における強膜トロカール創口を利用した眼内レンズ縫着術. 第17回東北屈折矯正研究会, 盛岡市; 2017年9月
 - 10) 佐藤浩章:新しい緑内障手術用デバイス“iStent”の使用経験. 第129回山形眼科研究会, 山形市; 2017年9月
 - 11) 今野伸弥, 山下英俊:眼窩筋円錐内に生じたIgG4関連眼疾患の症例. 第129回山形眼科研究会, 山形市; 2017年9月
 - 12) 難波広幸, 菅野彰, 西勝弘, 村上敬憲, 西塚弘, 加藤丈夫*, 嘉山孝正*, 山下英俊:涙液メニスカスとドライアイ様症状、眼高次収差の関連:山形県コホート研究(舟形町研究). 第129回山形眼科研究会, 山形市; 2017年9月
 - 13) 松下高幸, 金子優, 西塚弘一, 八木真由*, 土谷順彦*, 板垣寛*, 園田順彦*, 山下英俊:腎盂腎炎を原発とした転移性眼内炎に脳膿瘍を併発した一例. 第130回山形眼科研究会, 山形市; 2017年10月
 - 14) 高宮美智子, 佐藤憲夫*, 有村美和子*:最近経験した糖尿病2症例. 第58回山形県眼科医会置賜支部会置賜眼科研究会, 米沢市; 2017年10月
 - 15) 西塚弘一, 西勝弘, 難波広幸, 金子優, 山下英俊:増殖糖尿病網膜症手術時の増殖膜処理における術中OCTの有用性の検討. 第130回山形眼科研究会, 山形市; 2017年11月
 - 16) 林思音, 西塚弘一, 枝松瞳, 伊藤はる奈, 日下俊次*, 山下英俊:術前治療により視力が向上した小児特発性黄斑上膜の2例. 第130回山形眼科研究会, 山形市; 2017年11月
 - 17) 西勝弘, 山下英俊:外傷性視神経症の一例. 第131回山形眼科研究会, 山形市; 2018年2月
 - 18) 武田祐介, 林思音, 山下英俊:pre-plus disease から自然軽快したROPの1例. 第131回山形眼科研究会, 山形市; 2018年2月
 - 19) 金子優, 村上敬憲, 西塚弘一, 鈴木俊紀*, 大江倫太郎*, 山川光徳*, 山下英俊:硝子体生検における液化化検体細胞診(LBC法)の有用性の検討. 第131回山形眼科研究会, 山形市; 2018年2月
 - 20) 富樫敬太, 今野伸弥, 岡田雅司*, 北中千史*, 山下英俊:網膜芽細胞腫の遺伝子異常—最近の知見—. 第132回山形眼科研究会, 山形市; 2018年2月
 - 21) 村上敬憲, 金子優, 山下英俊:悪性リンパ腫による仮面症候群の一例. 第132回山形眼科研究会, 山形市; 2018年2月
 - 22) 阿部さち, 山下英俊:糖尿病黄斑浮腫に対するジフルプレドナート点眼治療の長期予後. 第132回山形眼科研究会, 山形市; 2018年2月

(5) その他

- 1) 菅野彰:いままでの緑内障、これからの緑内障. 目の健康講座, 山形市; 2017年5月
- 2) 菅野智華子:ドライアイの診断と治療. 参天製薬社内勉強会, 山形市; 2017年6月
- 3) 松下知弘:ミケルナ®配合点眼液の使用経験. 大塚製薬社内勉強会, 函館市; 2017年6月
- 4) 松下知弘:これからの緑内障治療戦略. 興和創薬緑内障座談会, 秋田市; 2017年7月
- 5) 西塚弘一:興和社内勉強会, 山形市; 2017年10月
- 6) 金子優:硝子体生検における液化化検体細胞診の有用性. 第1回東北硝子体手術スキルアップ座談会, 仙台市; 2017年11月

- 7) 難波広幸：眼の健康教室. 鶴岡東高等学校講義, 鶴岡市; 2017年11月
- 8) 金子優：興和創薬株式会社社内勉強会, 山形市; 2017年12月
- 9) 菅野彰：緑内障の薬物治療・点眼指導. 山形眼科ファーマシーセミナー, 山形市; 2018年3月
- 10) 菅野彰：緑内障の薬物治療・点眼指導. 宮城眼科ファーマシーセミナー, 仙台市; 2018年3月

3. 学会等での受賞

- 1) 山下英俊：日本網膜硝子体学会第20回盛賞. 2017年12月
- 2) 西塚弘一：優秀演題シンポジウム. 第56回日本網膜硝子体学会総会, 東京; 2017年12月
- 3) 難波広幸：第42回日本角膜学会総会北野賞. 2018年2月

耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Furukawa T, Abe Y, Ito T, Kubota T, Kakehata S: Benefits of High-Dose Steroid + Hespander + Mannitol Administration in the Treatment of Bell's Palsy. Otol Neurotol. 2017; 38: 272-277
- 2) 岡崎慎一, 那須隆, 岡崎雅**, 小池修治**, 欠畑誠治: 頭頸部癌治療後の上部消化管内視鏡検査に関する検討. 日気食会報. 2017; 68(1): 9-13 B
- 3) 松井祐興**, 那須隆, 岡崎慎一, 野田大介, 岡崎雅**, 千田邦明, 小池修治**, 欠畑誠治: 初診時に脳神経症状を呈した上咽頭癌症例の検討. 口咽科. 2017; 30(1): 111-116
- 4) 松井祐興**, 野田大介: 咽頭から頸部皮下まで刺入した歯ブラシによる深達性穿通性損傷の小児例. 口咽科. 2017; 30(1): 143-147
- 5) 松井祐興, 小池修治**, 那須隆, 石田晃弘**, 欠畑誠治: 頬脂肪体を用いて再建を行った口腔癌の2症例. 頭頸部外科. 2017; 27(1): 37-43

(2) 総説及び解説

- 1) 鈴木祐輔, 阿部靖弘: 【花粉症研究の進歩】 手術療法に関する研究. アレルギー・免疫. 2017; 24(3): 334-340

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 一般演題

- 1) Kazuya Kurakami, Yusuke Watanabe**, Seiji Kakehata: Retrospective examination of the prevalence of laryngeal microwebs in a large patient group. World Phonocon 2017, New Delhi (India); February 2017 B

(2) 国内の学会

i 一般演題

- 1) 小池修治**, 古瀬秀和**, 齊藤史明**, 野内雄介**: Staircase flapにて再建した下口唇癌の一例. 第27回日本頭頸部外科学会, 東京; 2017年2月 E
- 2) 那須隆, 松井祐興**, 八鍬修一, 岡崎慎一, 野田大介, 倉上和也, 中島小百合, 欠畑誠治: 高齢者口腔癌の治療と摂食嚥下障害・嚥下性肺炎の発症リスクの検討. 第40回日本嚥下医学会, 東京; 2017年2月
- 3) 長瀬輝頭**: 山形県立新庄病院の災害対策. 第22回日本集団災害医学会総会・学術集会, 名古屋市; 2017年2月 E
- 4) 岡崎慎一, 那須隆, 野田大介, 倉上和也, 八鍬修一, 中島小百合, 金子昌行, 欠畑誠治, 小池修治**, 長瀬輝頭**: 当科におけるイピリムマブを用いた悪性黒色腫症例の治療経験. 第27回日本頭頸部外科学会, 東京; 2017年2月
- 5) 野田大介, 那須隆, 岡崎慎一, 倉上和也, 八鍬修一, 中島小百合, 金子昌行, 小池修治**, 石田晃弘**, 岡崎雅**, 千田邦明**, 欠畑誠治: 頭頸部原発腺様嚢胞癌症例の検討. 第27回日本頭頸部外科学会総会, 東京; 2017年2月
- 6) 千田邦明**, 別府武**, 得丸貴夫**, 山田雅人**, 杉山智宣**, 小出暢章**, 河邊浩明**: 下咽頭癌における重複癌症例の検討—特に食道癌重複例を中心に—. 第27回日本頭頸部外科学会, 東京; 2017年1月 E
- 7) 松井祐興**, 鈴木豊**, 岡崎雅**, 荒木直人**: 術後経過観察中に頭蓋内膿瘍形成を認めた副鼻腔アスペルギルス症例の2例. 第27回日本頭頸部外科学会, 東京; 2017年2月 E
- 8) 松井祐興**, 鈴木豊**, 岡崎雅**, 荒木直人**: 嚥下障害を主訴に受診した食道カンジダ症の2例. 第40回日本嚥下医学会, 東京; 2017年2月 E
- 9) 八鍬修一, 那須隆, 岡崎慎一, 野田大介, 松井祐興**, 倉上和也, 欠畑誠治: 当科嚥下外来における外科

手術後患者の検討. 第40回日本嚥下医学会, 東京都; 2017年2月

- 10) 金子昌行, 那須隆, 岡崎慎一, 野田大介, 八鍬修一, 中島小百合, 欠畑誠治: イピリムマブ投与後に下垂体機能低下をきたした鼻腔悪性黒色腫の1例. 第27回日本頭頸部外科学会, 東京; 2017年2月
- 11) 荒木直人**, 鈴木豊**, 野田大介, 岡崎雅**, 松井祐興**, 中島小百合: 下咽頭を原発とする紡錘細胞癌の1症例. 第27回日本頭頸部外科学会学術講演会, 東京; 2017年2月 E

(3) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 鈴木豊**, 岡崎雅**, 松井祐興**, 荒木直人**: ウェブアンケートシステムを利用した質問票の管理. 第152回日耳鼻山形県地方部会, 山形; 2017年3月 E
- 2) 窪田俊憲, 原田次郎**, 布施健生**, 欠畑誠治: ムンプス難聴の発症実態調査. 第152回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2017年3月 B
- 3) 倉上和也, 那須隆, 欠畑誠治: 新規開設した喉頭音声外来における音声治療の取り組み. 第152回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2017年3月
- 4) 新川智佳子, 伊藤吏, 八月朔日泰和**, 千葉真人, 後藤薫, 欠畑誠治: 蝸牛における γ 型ジアシルグリセロールキナーゼの局在と音響障害による影響. 第152回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形市; 2017年3月
- 5) 千葉真人, 伊藤吏: 時間依存性に前庭障害を調節しうるゲンタマイシン鼓室内投与法の新規開発(モルモットによる内耳前庭基礎研究から). 第152回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2017年3月
- 6) 成澤健**, 和氣貴祥**, 櫻井真一**, 八鍬修一: 嗄声の精査により発見された小児喉頭血管腫の1例. 第152回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2017年3月 E
- 7) 川合唯**, 長瀬輝頭**, 後藤崇成**: 喉頭に再発した濾胞性リンパ腫の一例. 第152回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会学術講演会, 山形; 2017年3月 E

(4) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 鈴木祐輔: アレルギー性鼻炎の治療薬. 第63回山形県薬学大会, 山形市; 2017年3月

ii 一般演題

- 1) 川合唯**, 長瀬輝頭**, 後藤崇成**: 最近目立つ患者像. 山形めまい塾, 山形; 2017年2月 E
- 2) 渡邊千尋, 大和田聡子, 欠畑誠治: 上半規管裂隙症候群と上鼓室天盖骨欠損の合併症例. 山形めまい塾, 山形市; 2017年2月
- 3) 齊藤彰子**, 二井一則**, 石田晃弘**, 齋藤雄太郎**: 特異な眼振所見を有する急性発症のめまいの一例. 山形めまい塾, 山形市; 2017年2月 E

(5) 座長

i 一般演題

- 1) 欠畑誠治: 手術支援機器2. 日本頭頸部外科学会, 東京; 2017年2月
- 2) 欠畑誠治: 特別講演. 第88回山形県耳鼻咽喉科疾患研究会, 山形; 2017年3月

(6) その他

- 1) 那須隆: 重症誤嚥への対応 ―QOL改善につながる誤嚥防止手術―. 寒河江市西村山郡医師会 介護保険主治医研修会, 山形; 2017年2月
- 2) 鈴木祐輔: 花粉治療の最前線 ―舌下免疫療法と手術療法―. 市民公開講座, 山形市; 2017年2月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 山形めまい塾, 山形市; 2017年2月
- 2) 第88回耳鼻咽喉科疾患研究会, 山形市; 2017年3月
- 3) 第152回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形市; 2017年3月
- 4) 市民公開講座, 山形市; 2017年2月

耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座

1. 論 文

(1) 原 著

- 1) Kanazawa T**, Kurakami K, Kashima K**, Konomi U**, Komazawa D**, Nakamura K**, Matsushima K**, Akagi Y**, Misawa K**, Nishino H**, Watanake Y**: Injection of basic fibroblast growth factor for unilateral vocal cord paralysis. *Acta Otolaryngol.* 2017; 137 (9): 962-967 B
- 2) 大和田聡子, 高橋一広*, 山谷日鶴*, 成味恵*: 閉経後のめまい発症についての検討. *日女性医学誌.* 2017; 24(2): 148-153
- 3) 岡崎慎一**, 那須隆**, 野田大介, 倉上和也, 八鍬修一, 中島小百合, 金子昌行**, 小池修治**, 長瀬輝頭**, 欠畑誠治: 当科における頭頸部粘膜悪性黒色腫の再発・転移症例に対するイピリムマブを用いた治療経験. *頭頸部外科.* 2017; 27(3): 307-311 B
- 4) 岡崎雅**, 倉上和也, 杉山元康, 後藤崇成**, 松井祐興, 岡崎慎一**, 那須隆**, 欠畑誠治: 集学的治療を行った下咽頭原発 spindle cell carcinoma 例. *耳鼻臨床.* 2017; 110(10): 681-685
- 5) 千田邦明, 小池修治**, 那須隆**, 岡崎慎一**, 岡崎雅**, 松井祐興, 欠畑誠治: 山形大学における喉頭癌治療の臨床検討. *耳鼻咽喉科展望.* 2017; 60(補1): 26-27
- 6) 古川孝俊, 阿部靖弘, 後藤崇成**, 杉山元康, 欠畑誠治: Bell 麻痺発症時期と前駆症状・気象要因に関する検討. *Facial N Res Jpn.* 2017; 37: 104-107 B
- 7) 松井祐興, 鈴木豊**, 岡崎雅**, 荒木直人: 嚥下障害が主訴であった食道カンジダ症例. *嚥下医学.* 2018; 7(1): 91-97 E
- 8) 松井祐興, 鈴木豊**, 岡崎雅**, 新川智佳子**: 頸部リンパ節と胸椎生検から診断した Rosai-Dorfman 症例. *耳鼻臨床.* 2018; 111(2): 133-138 E
- 9) 松井祐興, 鈴木豊**, 岡崎雅**, 荒木直人: 診断に苦慮した浸潤性後部副鼻腔アスペルギルス症例. *頭頸部外科.* 2017; 27 (3): 345-349 E
- 10) 荒木直人, 鈴木豊**, 野田大介, 岡崎雅**, 松井祐興, 中島小百合: 下咽頭を原発とする紡錘細胞癌の1症例. *頭頸部外科.* 2017; 27(2): 199-203 E

(2) 総説及び解説

- 1) 欠畑誠治: 手術に必要な画像診断—耳編 内視鏡下耳科手術. *JOHNS.* 2017; 33(6): 710-716
- 2) 欠畑誠治: 局所投与治療の理論と実践 突発性難聴に対するステロイド鼓室内注入. *日本耳鼻咽喉科学会会報.* 2017; 120(6): 873-876
- 3) 欠畑誠治: 中耳内視鏡手術の適応. *日本耳鼻咽喉科学会会報.* 2017; 120(10): 1264-1265
- 4) 欠畑誠治: 内視鏡下耳科手術(TEES)の現況と展望. *耳鼻咽喉科臨床.* 2017; 110(10): 639-647
- 5) 欠畑誠治: 内視鏡下耳科手術の現況と新たな展望. *Otology Japan.* 2017; 27(4): 326
- 6) 太田伸男**, 倉上和也: IgG4 関連疾患—その最新の知見について—. *耳鼻咽喉科展望.* 2017; 60(6): 269-275 B
- 7) 那須隆**: 【外来から帰してはいけない患者】 症状からみた対応と病院に送るタイミング 頸部外傷. *JOHNS.* 2017; 33: 639-641
- 8) 伊藤吏: 【臨床力UP! 耳鼻咽喉科検査マニュアル】 聴覚検査 聴性定常反応検査. *耳鼻咽喉科・頭頸部外科.* 2017; 89(5): 68-73
- 9) 伊藤吏: 【中耳・内耳疾患を見逃さない!】 中耳真珠腫. *ENTONI.* 2017; 208: 1-7
- 10) 阿部靖弘: 【研修医のための当直マニュアル】 知っておきたい救急時の処置・手技 鼻出血. *JOHNS.* 2017; 33: 329-331
- 11) 窪田俊憲: 中耳・内耳疾患を見逃さない 乳幼児の中等度難聴を見逃さない. *ENTONI.* 2017; 208: 67-72
- 12) 古川孝俊, 伊藤吏: 顔面神経麻痺の初期治療を行う前に. *耳喉頭頸.* 2018; 90: 10-11
- 13) 千田邦明, 別府武**: 診断に苦慮した耳鼻咽喉科疾患—私が経験した症例を中心に— 上咽頭癌. *ENTONI.* 2017年4月増刊号: 139-144

(3) 著 書

- 1) 伊藤吏：耳鼻咽喉科疾患 乳様突起炎（乳突洞炎）．猿田享男，北村惣一郎監修，私の治療 2017-18 年度版．東京；医事新報社，2017：1339-1340 F
- 2) 伊藤吏，欠畑誠治：耳科領域における内視鏡下手術．森田明夫，伊達勲，菊田健一郎編集委員，Minimally Invasive Neurosurgery: Up date（新 NS NOW 12）．東京；メジカルビュー社，2017：174-180

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) Seiji Kakehata: New trends in cholesteatoma surgery. National Congress Italian Society Of Otorhinolaryngology Head And Neck Surgery, Sorrento Italy; May 2017
- 2) Seiji Kakehata: Endoscopic ear surgery. National Congress Italian Society Of Otorhinolaryngology Head And Neck Surgery, Sorrento Italy; May 2017
- 3) Seiji Kakehata: Principles of powered EES. Swiss Endoscopic Ear Surgery Course Hands on endoscopic ear and lateral skull base surgery, Zurich; September 2017
- 4) Seiji Kakehata: TEES cholesteatoma dissection & reconstruction. Toronto International Endoscopic Ear Surgery Workshop, Toronto; November 2017
- 5) Seiji Kakehata: The Status of Endoscopic Ear Surgery in Asia-Pacific. Pan-Asia endoscopic ear surgery forum, Hong Kong; December 2017
- 6) Seiji Kakehata: External Ear Anatomy and Size Limit. Pan-Asia endoscopic ear surgery forum, Hong Kong; December 2017
- 7) Seiji Kakehata: Live Surgery3. Pan-Asia endoscopic ear surgery forum, Hong Kong; December 2017
- 8) Seiji Kakehata: Introduction of endoscopic ear surgery. The 2018 Endoscopic Ear Surgery Symposium Hands on Course, Korea; February 2018
- 9) Seiji Kakehata: Role of powered instruments in endoscopic ear surgery. The 2018 Endoscopic Ear Surgery Symposium Hands on Course, Korea ; February 2018

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Seiji Kakehata: Instruments and tools. 2nd world congress on endoscopic ear surgery, Bologna, Italy; April 2017
- 2) Seiji Kakehata: Chronic otitis media. 100 Years Otorhinolaryngology, Zurich; August 2017
- 3) Ito T: Pediatric Endoscopic Ear Surgery. Swiss Endoscopic Ear Surgery Course 2017, Bern, Switzerland; September 2017
- 4) Ito T: Symposium, Minimal Invasive, Feasibility and Safety of Transcanal Endoscopic Ear Surgery: TEES. 100 years Otorhinolaryngology, Zurich, Switzerland; September 2017
- 5) Ito T: Symposium, Otolaryngology: Endoscopic Surgery, Feasibility of Transcanal Endoscopic Ear Surgery for Pediatric Patients with a Narrow External Auditory Canal. The 14th Taiwan-Japan Conference on Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Kaohsiung, Taiwan; December 2017
- 6) Toshinori Kubota: Congenital Cholesteatoma Removal Using Transcanal Endoscopic Ear Surgery (TEES). The 2018 Endoscopic Ear Surgery Symposium Hands on Course, Seoul; February 2018
- 7) Toshinori Kubota: Optimal Imaging Tools for Identification of Cholesteatomas. The 2018 Endoscopic Ear Surgery Symposium Hands on Course, Seoul; February 2018

iii 一般演題

- 1) Ito T, Kubota T, Furukawa T, Futai K**, Kakehata S: Transcanal Endoscopic Ear Surgery for Cholesteatoma in Pediatric Patients with a Narrow External Auditory Canal. The 2nd World Congress on Endoscopic Ear Surgery, Bologna, Italy; April 2017
- 2) Abe Y, Furukawa T, Goto T**, Sugiyama M, Inamura H**, Kakehata S: A modified Yanagihara grading system for evaluating severe facial paralysis by non-specialist. 13th international facial nerve

symposium, Los Angeles ; August 2017 C

- 3) Toshinori Kubota, Tsukasa Ito, Tomoo Watanabe, Kazunori Futai**, Takatoshi Furukawa, Akiko Saito**, Seiji Kakehata: The difference in the minimum circumference of the osseous external auditory canal between pediatric and adult patients with cholesteatomas treated with TEES. 2nd WORLD CONGRESS on ENDOSCOPIC EAR SURGERY, Bologna; April 2017
- 4) Furukawa T, Watanabe T, Ito T, Kubota T, Futai K**, Saito A**, Kakehata S: Feasibility and Advantages of Myringoplasty using Transcanal Endoscopic Ear Surgery. 2nd world congress on endoscopic ear surgery, Italy ; April 2017
- 5) Furukawa T, Abe Y, Ito T, Kubota T, Goto T**, Sugiyama M, Kakehata S: Benefits of High-Dose Steroid Administration in the Treatment of Bell's Palsy. 13th international facial nerve symposium, Los Angeles ; August 2017
- 6) Furukawa T, Ito T, Kubota T, Futai K**, Kakehata S: Myringoplasty using Transcanal Endoscopic Ear Surgery (TEES). Pan-Asia Endoscopic Ear Surgery Forum, Hong Kong ; October 2017
- 7) Takanari Goto**, Takatoshi Furukawa, Yasuhiro Abe, Tsukasa Ito, Toshinori Kubota, Motoyasu Sugiyama, Seiji Kakehata : Examination of Treatment Options for Facial Palsy Caused by Zoster Sine Herpete. 13th International Facial Nerve Symposium, Los Angeles; August 2017
- 8) Hirooki Matsui, Tsukasa Ito, Toshinori Kubota, Takatoshi Furukawa, Kazunori Futai**, Chikako Shinkawa**, Seiji Kakehata: Let's get started Transcanal Endoscopic Ear Surgery with careful preparation. 14th Taiwan-Japan Conference on Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Kaohsiung (Taiwan); December 2017
- 9) Kurakami K, Nasu T**, Okazaki S**, Noda D, Chida K, Yakuwa S, Kaneko M**, Kamata K**, Kakehata S: Two cases of ectopic thyroid tissue in the lateral neck. 2nd congress of Asia-pacific society of thyroid surgery, Naha(Japan); November 2017 B
- 10) Chikako Shinkawa**, Tsukasa Ito, Makoto Chiba, Yasukazu Hozumi**, Kaoru Goto*, Seiji Kakehata: The Expression and Localization of DGK ζ in Normal and Noise Exposed Guinea Pig Cochlea. 54th Workshop on Inner EAR Biology, Hannover, German; September 2017
- 11) Chiba M, Ito T: Selective removal of type I hair cell in vestibular end organs using a novel transtympanic gentamicin administration in guinea pigs. Inner ear biology 2018, Hannover; September 2017
- 12) Akiko Saito**, Tsukasa Ito, Tomoo Watanabe, Toshinori Kubota, Takatoshi Furukawa, Seiji Kakehata: The efficacy of transcanal endoscopic ear surgery for congenital middle ear anomalies. 2nd World Congress on Endoscopic ear surgery, Bologna; April 2017

(2) 国内の学会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 欠畑誠治: 内視鏡による“新たな解剖の発見”. 第28回日本頭頸部外科学会, 栃木; 2018年1月
- 2) 欠畑誠治: ランチョンセミナー 内視鏡下耳科手術の現況と新たな展望. 第27回日本耳科学会総会・学術講演会, 横浜; 2017年11月
- 3) 伊藤吏: ランチョンセミナー 新しいASSR・ABRがもたらす革新. 第62回日本聴覚医学会, 福岡市; 2017年10月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 伊藤吏, 窪田俊憲, 古川孝俊, 二井一則**, 新川智佳子**, 欠畑誠治: テーマセッション 先天性真珠腫に対する内視鏡下耳科手術の遺残性再発に関する検討. 第27回日本耳科学会総会・学術講演会, 横浜市; 2017年11月

iii 一般演題

- 1) 長瀬輝頭**, 後藤崇成**, 杉山元康: 外切開で低侵襲に摘出できたステノン管内唾石症の1例. 第79回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会, 下関市; 2017年7月 E
- 2) 松田光美**, 長瀬輝頭**, 高山弘子**: 山形県立新庄病院における事業継続計画(BCP)の策定. 第56回全国自治体病院学会, 千葉市; 2017年10月 E

- 3) 那須隆**, 倉上和也, 欠畑誠治: 喉頭結核の2例. 第29回日本喉頭科学会, 盛岡; 2017年4月
- 4) 那須隆**, 石田晃弘**, 小池修治**, 野田大介, 欠畑誠治: 選択的動注化学放射線療法施行後に手術を必要とする上顎洞扁平上皮癌症例の検討. 第118回日本耳鼻咽喉科学会, 広島; 2017年5月
- 5) 那須隆**, 野田大介, 欠畑誠治: 重度脳卒中後遺症をもつ下咽頭癌症例の治療とその経過. 第41回日本頭頸部癌学会, 京都; 2017年6月
- 6) 那須隆**, 齋藤彰子**, 二井一則**, 浅野敬史, 天野真太郎**, 塩水紀香**: 入院を要した上気道急性炎症疾患の臨床統計. 第69回日本気管食道科学会, 大阪; 2017年11月
- 7) 伊藤吏, 窪田俊憲, 古川孝俊, 欠畑誠治: 先天性真珠腫に対する内視鏡下耳科手術の治療成績. 第118回日本耳鼻咽喉科学会, 広島市; 2017年5月
- 8) 伊藤吏, 千葉寛之*, 窪田俊憲, 新川智佳子**, 米澤裕美*, 阿部靖弘, 欠畑誠治: 乳幼児の他覚的聴力検査におけるCE-Chirp音を用いたABRとASSRの関連について. 第62回日本聴覚医学会, 福岡市; 2017年10月
- 9) 岡崎慎一**, 野田大介, 倉上和也, 八鍬修一, 千葉真人, 中島小百合, 金子昌行**, 那須隆**, 欠畑誠治: 舌癌再建術後に十二指腸潰瘍狭窄を来した1例. 第79回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会, 下関; 2017年7月
- 10) 岡崎慎一**, 小池修治**, 齊藤史明**, 吉田祥徳**, 野内雄介: Laryngotracheal Flapによる再建を行った重度合併症を有する下咽頭癌の1例. 第28回日本頭頸部外科学会, 宇都宮; 2018年1月 E
- 11) 二井一則**, 石田晃弘**, 齊藤彰子**, 那須隆**: 当院における内視鏡下顎下腺唾石摘出術について. 第79回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会, 下関市; 2017年7月 E
- 12) 二井一則**, 齊藤彰子**: 摘出に難渋した外耳道異物の1症例. 第27回日本耳科学会総会・学術講演会, 横浜市; 2017年11月 E
- 13) 阿部靖弘, 鈴木祐輔, 倉上和也, 古川孝俊, 欠畑誠治: 当科における眼窩下壁骨折手術症例の検討 - Endoscopic Modified Medial Maxillectomy (EMM) アプローチの有用性について. 第118回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会, 広島; 2017年5月
- 14) 阿部靖弘, 古川孝俊, 後藤崇成**, 杉山元康, 稲村博雄**, 欠畑誠治: 柳原40点法の最悪時麻痺スコアの検討 - 完全麻痺判定の変更(8→10点以下)に向けて. 第40回日本顔面神経学会, 大宮; 2017年5月 C
- 15) 阿部靖弘, 鈴木祐輔, 倉上和也, 川合唯, 渡邊千尋, 太田伸男**, 欠畑誠治: 当科における若年性血管線維腫の4症例. 第56回日本鼻科学会, 甲府市; 2017年9月 B
- 16) 野田大介, 千田邦明, 倉上和也, 八鍬修一, 野内雄介, 荒木直人, 欠畑誠治, 岡崎雅**, 岡崎慎一**, 那須隆**, 小池修治**: 下咽頭癌術後長期経過後に移植空腸に穿孔を生じた2症例. 第28回日本頭頸部外科学会総会, 宇都宮; 2018年1月
- 17) 野田大介, 倉上和也, 荒木直人, 那須隆**, 岡崎慎一**, 小池修治**, 欠畑誠治: 下咽頭癌症例の検討. 第69回日本気管食道学会, 大阪; 2017年11月
- 18) 野田大介: 当院における131放射性ヨード治療の現況. 第50回甲状腺外科学会, 福島; 2017年10月
- 19) 野田大介, 那須隆**, 岡崎慎一**, 千田邦明, 八鍬修一, 欠畑誠治: 頭頸部癌肺転移手術症例の検討. 第41回日本頭頸部癌学会, 京都; 2017年6月
- 20) 野田大介, 千田邦明, 倉上和也, 八鍬修一, 千葉真人, 中島小百合, 川合唯, 鎌田恭平, 小池修治**, 那須隆**, 岡崎慎一**, 石田晃弘**, 岡崎雅**, 金子昌行**, 欠畑誠治: 大唾液腺癌症例の検討. 第118回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会, 広島; 2017年5月
- 21) 齊藤史明**, 小池修治**, 古瀬秀和**, 岡崎慎一**, 川合唯, 野内雄介: 二期的に甲状腺全摘をおこなった甲状腺髄様癌症例. 第118回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会, 広島; 2017年5月 B
- 22) 岡崎雅**, 松井祐興, 鈴木豊**: シスプラチンを用いた化学放射線療法における聴力レベル変化の検討. 第41回日本頭頸部癌学会, 京都; 2017年6月 E
- 23) 岡崎雅**, 松井祐興, 新川智佳子**, 鎌田恭平, 鈴木豊**: 再発頭頸部扁平上皮癌の検討. 第28回日本頭頸部外科学会, 宇都宮; 2018年1月 E
- 24) 岡崎雅**: 喉頭Spindle cell carcinomaの治療経験. 第30回日本喉頭科学会, 高知; 2018年3月 E
- 25) 窪田俊憲, 伊藤吏, 千葉寛之*, 米澤裕美*, 欠畑誠治: 生後4ヵ月におけるASSR検査の信頼性. 日本音声言語医学会, 宮城; 2017年10月

- 26) 窪田俊憲, 伊藤吏, 新川智佳子**, 千葉寛之*, 米澤裕美*, 阿部靖弘, 欠畑誠治: 新生児聴覚スクリーニング後の精密聴力検査としての初回 ASSR の信頼性. 日本聴覚医学会, 福岡; 2017 年 10 月
- 27) 窪田俊憲, 伊藤吏, 古川孝俊, 二井一則**, 新川智佳子**, 欠畑誠治: 当科における TEES を用いた鼓膜大穿孔に対する鼓膜形成術の工夫. 第 27 回日本耳科学会総会・学術講演会, 横浜; 2017 年 11 月
- 28) 鈴木祐輔, 湯田厚司**, 倉上和也, 渡邊千尋, 太田伸男**, 欠畑誠治: スギ花粉舌下免疫療法の睡眠および労働生産性への効果. 第 35 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 旭川市; 2017 年 4 月 C
- 29) 鈴木祐輔, 阿部靖弘, 倉上和也, 欠畑誠治: 当科における選択的後鼻神経切断術の治療成績. 第 66 回日本アレルギー学会, 東京都; 2017 年 6 月
- 30) 鈴木祐輔, 高橋裕一, 倉上和也, 渡邊千尋, 川合唯, 太田伸男**, 欠畑誠治: 複数のポールンロボ(自動花粉モニター)によるスギ花粉飛散のシミュレーション. 第 48 回日本職業・環境アレルギー学会, 福井市; 2017 年 6 月 B
- 31) 鈴木祐輔, 阿部靖弘, 倉上和也, 川合唯, 渡邊千尋, 太田伸男**, 欠畑誠治: 当科における選択的後鼻神経切断術の治療成績. 第 56 回日本鼻科学会, 甲府市; 2017 年 9 月 B
- 32) 鈴木祐輔, 高橋裕一, 倉上和也, 川合唯, 渡邊千尋, 太田伸男**, 欠畑誠治: 鼻ポリープ組織中における D-アミノ酸の発現様式. 第 36 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 下関市; 2018 年 2 月 B
- 33) 古川孝俊, 阿部靖弘, 後藤崇成**, 杉山元康, 欠畑誠治: Bell 麻痺発症時期と前駆症状・気象要因に関する検討. 第 40 回日本顔面神経学会, 大宮; 2017 年 5 月
- 34) 古川孝俊, 伊藤吏, 二井一則**, 阿部靖弘, 窪田俊憲, 鈴木祐輔, 新川智佳子, 浅野敬史, 欠畑誠治: 耳科手術に対する VITOM® 3D system の使用経験. 第 27 回日本耳科学会総会・学術講演会, 横浜; 2017 年 11 月
- 35) 古川孝俊, 伊藤吏, 阿部靖弘, 窪田俊憲, 鈴木祐輔, 松井祐興, 八鍬修一, 欠畑誠治: 内視鏡下耳科手術で摘出した先天性鼓膜真珠腫例. 第 28 回日本頭頸部外科学会, 宇都宮; 2018 年 1 月
- 36) 千田邦明, 別府武**, 得丸貴夫**, 山田雅人**, 杉山智宣**, 小出暢章**, 河邊浩明**: 下咽頭癌・食道癌重複症例の検討. 第 41 回頭頸部癌学会, 京都; 2017 年 6 月 E
- 37) 千田邦明, 野田大介, 倉上和也, 寺田小百合, 鎌田恭平, 小池修治**, 那須隆**, 欠畑誠治: 耳下腺癌症例の検討. 第 30 回口腔咽頭科学会, 金沢; 2017 年 9 月
- 38) 千田邦明, 野田大介, 倉上和也, 八鍬修一, 那須隆**, 欠畑誠治: ニボルマブ投与および複数回手術を行い長期生存している悪性黒色腫の 2 症例. 第 28 回日本頭頸部外科学会, 宇都宮; 2018 年 1 月
- 39) 松井祐興, 鈴木豊**, 岡崎雅**, 荒木直人: 口腔咽頭頸部食道異物の症例検討. 第 118 回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会, 広島; 2017 年 5 月
- 40) 松井祐興, 鈴木豊**, 岡崎雅**, 荒木直人: 頸部リンパ節腫脹を認め脊椎骨生検で診断がついた Rosai-Dorfman 病の一例. 第 79 回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会, 下関; 2017 年 7 月
- 41) 松井祐興, 鈴木豊**, 岡崎雅**, 新川智佳子**: 縦隔気管孔造設を行った頸部気管腺様嚢胞癌の 1 例. 第 28 回日本頭頸部外科学会, 宇都宮; 2018 年 1 月 E
- 42) 八鍬修一, 那須隆**, 岡崎慎一**, 野田大介, 欠畑誠治: 未成年者の頬粘膜に発生した悪性末梢神経鞘腫瘍の 1 例. 第 41 回日本頭頸部癌学会, 京都府; 2017 年 6 月
- 43) 八鍬修一, 寺田小百合, 野田大介, 千田邦明, 倉上和也, 野内雄介, 欠畑誠治: 当科における耳下腺良性腫瘍術後の顔面神経麻痺についての検討. 第 28 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会, 栃木県; 2018 年 1 月
- 44) 八鍬修一, 野田大介, 松井祐興, 倉上和也, 那須隆**, 欠畑誠治: 口腔癌治療における摂食嚥下障害・嚥下性肺炎の発症リスクの検討. 第 41 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 宮城県; 2018 年 2 月
- 45) 倉上和也, 許斐氏元**, 鹿島和孝**, 駒澤大吾**, 渡邊雄介**, 欠畑誠治: 東京ボイスセンターにおける声帯嚢胞手術症例の検討. 第 29 回日本喉頭科学会, 盛岡; 2017 年 4 月 B
- 46) 倉上和也, 鈴木祐輔, 吉田祥徳**, 太田伸男**, 渡邊千尋, 欠畑誠治: 山形県における舌下免疫療法の現状～2016 年～. 第 35 回耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 旭川; 2017 年 4 月 B
- 47) 倉上和也, 那須隆**, 岡崎慎一**, 野田大介, 後藤崇成**, 川合唯, 金子昌行**, 欠畑誠治: 側頸部に認められた異所性甲状腺の 3 症例. 第 118 回日本耳鼻咽喉科学会, 広島; 2017 年 5 月 B
- 48) 倉上和也, 欠畑誠治: 当科における音声診療の取り組み. 第 79 回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会,

下関；2017年7月

- 49) 倉上和也, 鈴木祐輔, 阿部靖弘, 川合唯, 渡邊千尋, 太田伸男**, 欠畑誠治：山形県全診療科における舌下免疫療法に関する検討。第56回日本鼻科学会, 甲府；2017年9月 B
- 50) 倉上和也, 許斐氏元**, 荒木直人, 駒澤大吾**, 金澤丈治**, 欠畑誠治, 渡邊雄介**：音声外科手術前後 Voice Handicap Index の改善度に関する検討。第62回日本音声言語医学会, 仙台；2017年10月 B
- 51) 倉上和也, 野田大介, 那須隆**, 欠畑誠治：当科における甲状腺癌手術症例の検討。第69回日本気管食道科学会, 大阪；2017年11月 B
- 52) 倉上和也, 鈴木祐輔, 川合唯, 渡邊千尋, 太田伸男**, 欠畑誠治：山形県における舌下免疫療法の現状～2017年～。第36回耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 下関；2018年2月 B
- 53) 倉上和也, 許斐氏元**, 荒木直人, 駒澤大吾**, 金澤丈治**, 欠畑誠治, 渡邊雄介**：音声外科術後 Voice Handicap Index の改善不良症例に関する検討。第30回日本喉頭科学会, 高知；2018年3月 B
- 54) 新川智佳子**, 窪田俊憲, 伊藤吏, 古川孝俊, 金子昌行**, 阿部靖弘, 鈴木祐輔, 欠畑誠治：長いコルメラを用いて耳小骨連鎖再建を経外耳道的内視鏡下耳科手術(TEES)にて施行した浅在化鼓膜の一例。第79回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会, 下関市；2017年7月
- 55) 新川智佳子**, 伊藤吏, 千葉真人, 窪田俊憲, 二井一則**, 欠畑誠治：蝸牛におけると型ジアセルグリセロールキナーゼの局在と機能。第27回日本耳科学会総会・学術講演会, 横浜；2017年11月
- 56) 千葉真人, 岡崎慎一**：耳下腺深葉に発生した嚢胞腺癌の1例。第79回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会, 下関；2017年7月
- 57) 千葉真人, 伊藤吏：暴露時間依存性に前庭障害を調節しうるゲンタマイシン鼓室内投与法の新規開発。日本めまい平衡学会, 軽井沢；2017年11月
- 58) 寺田小百合, 野田大介, 千田邦明, 倉上和也, 千葉真人, 鎌田恭平, 欠畑誠治：当科における耳下腺良性腫瘍の検討。日本口腔・咽頭科学会, 石川県金沢市；2017年9月
- 59) 川合唯, 鈴木祐輔, 阿部靖弘, 倉上和也, 渡邊千尋, 太田伸男**, 樺澤崇允*, 欠畑誠治：当科における好酸球性副鼻腔炎の検討。第56回日本鼻科学会総会・学術講演会, 山梨；2017年9月
- 60) 川合唯, 鈴木祐輔, 倉上和也, 渡邊千尋, 太田伸男**, 欠畑誠治：好酸球性副鼻腔炎に対する術前ステロイドの使用についての検討。第36回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 山口；2018年2月
- 61) 野内雄介, 小池修治**, 古瀬秀和**, 齊藤史明**：転移性舌癌の一症例。第41回日本頭頸部癌学会, 京都；2017年6月 E
- 62) 渡邊千尋, 鈴木祐輔, 倉上和也, 古川孝俊, 欠畑誠治：当科で経験したNCA関連血管炎性中耳炎の検討。第35回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 旭川市；2017年4月
- 63) 渡邊千尋, 大和田聡子, 伊藤吏, 村上信五**, 欠畑誠治：上半規管裂隙症候群の術後に輻輳痙攣が改善した一症例。第76回日本めまい平衡医学会総会・学術講演会, 長野；2017年11月
- 64) 金子昌行**, 別府武**, 得丸貴夫**, 山田雅人**, 杉山智宣**, 小出暢章**, 谷美有紀**：当科における拡大切除皮弁再建例の検討。第28回日本頭頸部外科学会, 宇都宮；2018年1月 E
- 65) 齊藤彰子**, 那須隆**, 二井一則**, 清水行敏**, 前田勝子**, 阿部暁子**, 大通尚**：当院における小児深頸部膿瘍症例の検討。第69回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会, 大阪市；2017年11月 E
- 66) 荒木直人, 許斐氏元**, 駒澤大吾**, 渡邊雄介**：当センターにおける片側声帯麻痺に対する披裂軟骨内転術の合併症の検討について。第69回日本気管食道科学会学術講演会, 大阪；2017年11月 E
- 67) 荒木直人, 許斐氏元**, 駒澤大吾**, 鹿島和孝**, 倉上和也, 松島康二**, 中村一博**, 欠畑誠治, 渡邊雄介**：片側声帯麻痺に対する披裂軟骨内転術後のVHI変化の検討。第30回日本喉頭科学会学術講演会, 高知；2018年3月
- 68) 浅野敬史, 小池修治**, 古瀬秀和**, 齊藤史明**, 野内雄介：乳癌甲状腺転移の1例。第41回日本頭頸部癌学会, 京都；2017年6月 E
- 69) 浅野敬史, 伊藤吏, 窪田俊憲, 古川孝俊, 二井一則**, 新川智佳子**, 欠畑誠治：当科における経外耳道的内視鏡下アプミ骨手術の工夫と術後成績, 第27回日本耳科学会総会・学術講演会, 横浜；2017年11月
- 70) 鎌田恭平, 野田大介, 千田邦明, 倉上和也, 千葉真人, 寺田小百合, 川合唯, 渡邊千尋, 欠畑誠治：上咽頭明細胞癌の1例。第30回日本口腔・咽頭科学会, 金沢；2017年9月
- 71) 鎌田恭平, 岡崎雅**, 新川智佳子**, 松井祐興, 鈴木豊**：口腔底類表皮嚢胞の1例。第28回日本頭頸部

(3) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 長瀬輝頭**, 吉田祥徳**, 後藤崇成**: 当科で最近経験した気管切開を要した急性喉頭蓋炎の2症例. 第154回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会例会, 山形市; 2017年9月 E
- 2) 長瀬輝頭**, 齊藤彰子**, 後藤崇成**: 当院で経験した遺伝性血管性浮腫喉頭発作の一例. 第156回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会例会, 山形市; 2018年3月 E
- 3) 岡崎慎一**, 小池修治**, 齊藤史明**, 吉田祥徳**, 野内雄介: Laryngotracheal Flapによる再建を行った重度合併症を有する下咽頭癌の1例. 第155回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会学術講演会, 山形; 2017年12月 E
- 4) 野田大介, 千田邦明, 倉上和也, 八鍬修一, 川合唯, 野内雄介, 欠畑誠治: 頭頸部癌最近の話題. 第156回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2018年3月
- 5) 岡崎雅**, 松井祐興, 新川智佳子**, 鎌田恭平, 鈴木豊**: 再発・転移頭頸部扁平上皮癌の検討. 第155回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2017年12月 E
- 6) 松井祐興, 鈴木豊**, 岡崎雅**, 新川智佳子**: 縦隔気管孔造設を行った頸部気管腺様嚢胞癌の1例. 第28回日本頭頸部外科学会, 宇都宮; 2018年1月 E
- 7) 八鍬修一, 伊藤吏, 阿部靖弘, 窪田俊憲, 古川孝俊, 鈴木祐輔, 千葉寛之*, 米澤裕美*, 欠畑誠治: 当科における人工内耳手術の現状. 第153回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会学術講演会, 山形市; 2017年9月
- 8) 新川智佳子**, 伊藤吏, 千葉真人, 欠畑誠治: 蝸牛における α 型ジアシルグリセロールキナーゼの局在と音響障害による細胞内局在の変化. 第65回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会, 秋田市; 2017年7月
- 9) 新川智佳子**, 松井祐興, 岡崎雅**, 鈴木豊**: 耳科手術における外科的侵襲の検討. 第154回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会学術講演会, 山形市; 2017年8月 E
- 10) 千葉真人, 野田大介: 再発・転移頭頸部扁平上皮癌におけるセツキシマブ・パクリタキセル併用療法の検討. 第65回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会, 秋田; 2017年7月
- 11) 千葉真人, 野田大介: Suture techniqueを用いた咽頭形成術によるOSA治療例. 日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会第154回例会・学術講演会, 山形; 2017年9月
- 12) 成澤健, 和氣貴祥**, 櫻井真一**, 八鍬修一: 嗚声の精査により発見された小児の喉頭血管腫の1例. 第65回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会, 秋田; 2017年7月
- 13) 川合唯, 鈴木祐輔, 阿部靖弘, 倉上和也, 伊藤吏, 窪田俊憲, 古川孝俊, 八鍬修一, 浅野敬史, 渡邊千尋, 太田伸男**, 欠畑誠治: 当科における好酸球性副鼻腔炎の検討. 第65回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会, 秋田; 2017年7月 B
- 14) 野内雄介, 小池修治**, 岡崎慎一**, 齊藤史明**: 当科における甲状腺手術症例の検討. 第65回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会, 秋田; 2017年7月 E
- 15) 野内雄介, 小池修治**, 岡崎慎一**, 齊藤史明**: 小児シェーグレン症候群の2例. 第154回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2017年9月 E
- 16) 金子昌行**, 別府武**, 得丸貴夫**, 山田雅人**, 杉山智宣**, 小出暢章**, 谷美有紀**, 岡村武志**: 当科における皮弁再建の検討. 第127回日本耳鼻咽喉科学会埼玉県地方部会学術講演会, 浦和; 2017年10月 E
- 17) 齊藤彰子**, 長瀬輝頭**, 後藤崇成**, 那須隆**, 二井一則**: 2施設での小児深頸部膿瘍症例の検討. 第155回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形市; 2017年12月 B
- 18) 荒木直人, 野田大介, 千田邦明, 八鍬修一, 倉上和也, 野内雄介, 欠畑誠治: 東京ボイスセンターでの研修報告. 第155回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会学術講演会, 山形; 2017年12月
- 19) 浅野敬史, 伊藤吏, 窪田俊憲, 古川孝俊, 阿部靖弘, 鈴木祐輔, 八鍬修一, 欠畑誠治: アプミ骨手術における経外耳道的内視鏡下耳科手術 (TEES) の有用性についての検討. 第65回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会, 秋田; 2017年7月
- 20) 浅野敬史, 那須隆**, 二井一則**: 当院における突発性難聴の治療成績. 第155回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2017年12月 E

- 21) 鎌田恭平, 野田大介, 千田邦明, 倉上和也, 千葉真人, 寺田小百合, 川合唯, 渡邊千尋, 欠畑誠治: 当科におけるレンパチニブの使用経験. 第 65 回 日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会, 秋田; 2017 年 7 月
- 22) 鎌田恭平, 野田大介, 千田邦明, 倉上和也, 千葉真人, 寺田小百合, 川合唯, 渡邊千尋, 欠畑誠治: 上咽頭明細胞癌の治療経験. 第 154 回 日本耳鼻咽喉科学会 山形県地方部会, 山形; 2017 年 9 月
- 23) 鎌田恭平, 岡崎雅*, 新川智佳子**, 鈴木豊*: 陽子線により治療した輪状軟骨原発軟骨肉腫の 1 例. 第 156 回日本耳鼻咽喉科学会 山形県地方部会, 山形; 2018 年 3 月 E
- 24) 吉田祥徳*, 長瀬輝頭**, 後藤崇成*: 頭頸部癌治療困難症例における当科での取り組み. 第 65 回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会, 秋田市; 2017 年 7 月 E
- 25) 吉田祥徳*, 小池修治**, 岡崎慎一**, 齊藤史明**, 長瀬輝頭*: HPV 関連中咽頭癌の一例. 第 156 回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形市; 2018 年 3 月 E
- 26) 佐藤海**, 和氣貴祥**, 成澤健, 櫻井真一**: 非反回下喉頭神経の 1 例. 第 155 回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形市; 2017 年 12 月 E
- 27) 土屋太志*, 古川孝俊, 伊藤吏, 阿部靖弘, 窪田俊憲, 鈴木祐輔, 松井祐興, 川合唯, 杉山元康, 欠畑誠治: ウイルス性顔面麻痺重症例に対する新たな治療の試み. 第 155 回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形; 2017 年 12 月

(4) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 欠畑誠治: TEES の現状と展望～Cutting Edge Advance in TEES～. 和歌山耳鼻咽喉科臨床懇話会, 和歌山; 2017 年 9 月
- 2) 欠畑誠治: 耳科手術のパラダイムシフトーTEES 適応と限界ー. 第 15 回新潟内耳疾患研究会, 新潟; 2017 年 7 月
- 3) 鈴木祐輔: 舌下免疫療法の現状と課題. 県央地区舌下免疫療法セミナー, 燕三条市; 2017 年 5 月
- 4) 鈴木祐輔: アレルギー性鼻炎の治療 ～鼻閉症状の改善を目指して～. Expert Discussion in SENDAI, 仙台市; 2018 年 2 月

ii 一般演題

- 1) 野田大介, 千田邦明, 倉上和也, 八鍬修一, 川合唯, 野内雄介, 欠畑誠治: 下咽頭癌における食道胃癌重複症例の検討. 第 23 回山形県頭頸部・食道・胃疾患研究会, 山形; 2018 年 2 月
- 2) 窪田俊憲, 伊藤吏, 古川孝俊, 千葉寛之*, 米澤裕美*, 欠畑誠治: 当科における突発性難聴に対するステロイド鼓室内投与. 第 3 回耳鳴・難聴研究会, 東京; 2017 年 7 月
- 3) 窪田俊憲, 伊藤吏, 古川孝俊, 二井一則**, 新川智佳子**, 欠畑誠治: 当科における TEES を用いた鼓膜大穿孔に対する鼓膜形成術の工夫. 第 3 回東北耳科研究会, 盛岡; 2017 年 9 月
- 4) 千田邦明, 野田大介, 倉上和也, 千葉真人, 寺田小百合, 川合唯, 浅野敬史, 欠畑誠治: 山形大学における口腔癌の治療成績 口腔底癌の切除範囲と構音・嚥下障害の関係. 第 23 回北日本頭頸部癌治療研究会, 仙台; 2017 年 10 月
- 5) 渡邊千尋, 大和田聡子, 欠畑誠治: 上半規管裂隙症候群の術後に輻輳痙攣が改善した一症例 (第二報). めまい塾, 山形市; 2018 年 2 月
- 6) 金子昌行**, 別府武**, 得丸貴夫**, 山田雅人**, 杉山智宣**, 小出暢章**, 谷美有紀**, 岡村武志**: 当科における感染対策 現状とその工夫. Sonic Symposium in Omiya, 大宮; 2017 年 7 月 E
- 7) 齊藤彰子**, 長瀬輝頭**, 後藤崇成**, 大和田聡子: 一側性後半規管低形成の一症例. 山形めまい塾, 山形市; 2018 年 2 月 B
- 8) 荒木直人, 倉上和也, 那須隆**: 免疫抑制条件下に発症した喉頭乳頭腫の 1 例. 第 4 回北日本喉頭音声研究会, 秋田; 2017 年 11 月 B

(5) 座 長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 欠畑誠治: 特別講演. 第 19 回山形めまい研究会, 山形; 2017 年 6 月
- 2) 欠畑誠治: 特別講演. 第 89 回山形県耳鼻咽喉科疾患研究会, 山形; 2017 年 7 月
- 3) 欠畑誠治: 特別講演. 第 4 回慶応山形耳鼻咽喉科研究会学術講演会, 山形; 2017 年 8 月

- 4) 欠畑誠治：特別講演. 第11回山形県GERD研究会, 山形; 2017年9月
- 5) 欠畑誠治：特別講演. 第90回山形耳鼻咽喉科疾患研究会, 山形; 2017年9月
- 6) 欠畑誠治：特別講演. 第91回山形耳鼻咽喉科疾患研究会, 山形; 2017年10月
- 7) 欠畑誠治：特別講演. 第92回山形耳鼻咽喉科疾患研究会, 山形; 2017年12月
- 8) 欠畑誠治：特別講演. 第93回山形耳鼻咽喉科疾患研究会, 山形; 2018年3月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 欠畑誠治：Tomoo Watanabe Session. 2nd World Congress on Endoscopic Ear Surgery, Italy; 2017年4月

iii 一般演題

- 1) 欠畑誠治：内視鏡耳手術. 第118回日本耳鼻咽喉科学会, 広島; 2017年5月
- 2) 欠畑誠治：評価法I. 第40回日本顔面神経学会, 埼玉; 2017年5月
- 3) 欠畑誠治：手術支援. 第79回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会, 下関; 2017年7月
- 4) 欠畑誠治：聴覚障害1. 第62回音声言語医学会, 仙台; 2017年10月
- 5) 欠畑誠治：内視鏡下耳科手術. 第27回日本耳科学会総会・学術講演会, 横浜; 2017年11月
- 6) 欠畑誠治：市民公開講座 アレルギー、正しく知ればこわくないー予防と最新の治療ー, 山形; 2018年3月
- 7) 欠畑誠治：一般演題. 第23回山形県頭頸部・食道・胃疾患研究会, 山形; 2018年2月
- 8) 伊藤吏：ポスターセッション, 中耳・外耳. 第12回小児耳鼻咽喉科学会, 宇都宮市; 2017年6月
- 9) 伊藤吏：一般演題, 内視鏡下耳科手術. 第27回日本耳科学会総会・学術講演会, 横浜; 2017年11月
- 10) 伊藤吏：一般演題, 耳科・神経耳科. 第65回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学会, 秋田市; 2017年7月

(6) その他

- 1) 長瀬輝顕*：当院における麻薬製剤の使用状況の推移について. 第9回 新庄・最上地区緩和ケア学術講演会, 新庄市; 2018年3月 E
- 2) 長瀬輝顕*：リハビリで対応しきれない誤嚥を繰り返す方への対応～手術治療を含めて～. 平成29年度山形県在宅推進事業研修会 一般社団法人山形県言語聴覚士主催研修会, 新庄市; 2018年3月 E
- 3) 櫻井真一*：アレルギー性鼻炎の最近の話題と治療. 公立置賜南陽病院市民公開講座, 南陽市; 2017年7月 E
- 4) 那須隆**：めまい ～あなたのめまいはどれですか～. 第72回済生館市民健康講座, 山形; 2017年7月 E
- 5) 那須隆**：耳鼻咽喉科・頭頸部外科の救急疾患とその対応. 平成29年度 山形市医師会救急医療研修会, 山形; 2017年11月 E
- 6) Ito T: Transcanal Endoscopic Ear Surgery: TEES for Cholesteatoma in Pediatric Patients with a Narrow External Auditory Canal. The 6th EES Hands-on Seminar in Yamagata 2017, Yamagata; June 2017
- 7) 伊藤吏：小児難聴をめぐって～人工内耳と会話と音楽～. 山形きこえのフェア, 山形市; 2017年7月
- 8) 鈴木祐輔：花粉症ー予防と最新の治療ー. 市民公開講座 アレルギー、正しく知ればこわくないー予防と最新の治療ー, 山形市; 2018年3月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第89回山形県耳鼻咽喉科疾患研究会, 山形市; 2017年7月
- 2) 第154回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形市; 2017年9月
- 3) 第90回山形県耳鼻咽喉科疾患研究会, 山形市; 2017年9月
- 4) 第91回山形県耳鼻咽喉科疾患研究会, 山形市; 2017年10月
- 5) 第155回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形市; 2017年12月
- 6) 第92回山形県耳鼻咽喉科疾患研究会, 山形市; 2017年12月
- 7) 第156回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会, 山形市; 2018年3月

- 8) 第93回山形県耳鼻咽喉科疾患研究会, 山形市; 2018年3月
- 9) 第19回山形めまい研究会, 山形市; 2017年6月
- 10) 第6回EES Hands-on Seminar in Yamagata, 山形市; 2017年6月
- 11) めまい塾, 山形市; 2018年2月
- 12) 市民公開講座, 山形市; 2018年3月

4. 学会等での受賞

- 1) Akiko Saito, Tsukasa Ito, Tomoo Watanabe, Toshinori Kubota, Takatoshi Furukawa, Seiji Kakehata:
The efficacy of transcanal endoscopic ear surgery for congenital middle ear anomalies. 2nd World
Congress on Endoscopic ear surgery, YOUNG DOCTORS COMPETITION AWARD, Bologna; April 2017

画像医学講座

1. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 鹿戸将史: Systematic Reviewによるナタリズマブ関連進行性多巣性白質脳症の画像所見. 第36回日本画像医学会, 東京; 2017年2月
- 2) 鹿戸将史: 脳血管・脳腫瘍へのMSDEの応用/中耳真珠腫へのTSE-DWIの応用. 第46回日本神経放射線学会, 東京; 2017年2月

ii 一般演題

- 1) 鹿戸将史, 菅井康大**, 桐井一邦, 平賀利匡, 豊口裕樹, 菅井幸雄**, 細矢貴亮**: 脳腫瘍におけるFDG/Methionine index PET imageによる高糖代謝域と悪性度の評価. 第75回日本神経放射線学会, 東京; 2017年2月
- 2) 平賀利匡, 鹿戸将史, 菅井康大**, 桐井一邦, 細矢貴亮**: 両側内頸動脈狭窄症に対して片側内頸動脈内膜剥離術施行後, 対側内頸動脈狭窄が進行した1例. 第75回日本神経放射線学会, 東京; 2017年2月

(2) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 豊口裕樹: どわおはは!○○との国境に、万里の長城を建ててやる!. 第16回山形デジタル画像セミナー, 山形市; 2017年3月

2. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第31回山形県放射線科医の会, 山形市; 2017年2月

放射線医学講座 放射線診断学分野

1. 論文

(1) 原著

- 1) Kanoto M, Kirii K, Hiraka T, Toyoguchi Y, Sugai Y**, Matsuda K*, Sakurada K*, Sonoda Y*, Hatazawa J**, Hosoya T** : Correlation between Hypoxic Area in Primary Brain Tumors and WHO Grade: Differentiation from Malignancy Using 18F-fluoromisonidazole Positron Emission Tomography. Acta Radiol. 2017; 59(2): 229-235
- 2) Sakurai K**, Kanoto M, Nakagawa M**, Shimohira M**, Tokumaru A**, Kameyama M**, Shimoji K**, Morimoto S**, Matsukawa N**, Nishio M**, Shibamoto Y** : Dinosaur tail sign: A useful spinal MRI finding indicative of cerebrospinal fluid leakage. Headache. 2017; 57(6): 917-925 B

(2) 総説及び解説

- 1) 鹿戸将史: 脳腫瘍画像診断の要点. (Key points of image diagnosis in brain tumors.) Neuro・Imaging Conference 筑後・佐賀症例集. 2017; 21: 10-15
- 2) 鹿戸将史: 薬剤関連進行性多巣性白質脳症 (PML) —ナタリズマブ関連 PML を中心に—. 臨床画像. 2017; 33(12): 1400-1405
- 3) 豊口裕樹, 影山咲子, 伊東一志, 細矢 貴亮: 消化管・腹腔腔・腸間膜疾患 ～これはもう、思わず飛び付く画像診断～. 臨床画像. 2017; 33(7): 790-800

(3) 著書

- 1) 影山咲子**, 鹿戸将史: 腺性下垂体紡錘形細胞オンコサイトーマ (Spindle cell oncocytopoma of the adenohypophysis). 三木幸雄, 佐藤典子編集, 下垂体の画像診断. 東京; メディカルビュー社, 2017: 147-150
- 2) 鹿戸将史: T2 強調画像・FLAIR 画像で高信号を呈する白質の対称性びまん性病変の鑑別. 青木茂樹, 大場洋編著, 頭部の鑑別診断のポイント. 東京; 秀潤社, 2018: 76-80

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 一般演題

- 1) Toshitada Hiraka, Masafumi Kanoto, Yuuki Toyoguti, Yoshihiro Konno, Yasuhiro Sugai**, Takaaki Hosoya** : Detectability and anatomical location identification of cholesteatoma with thin-slice non-echo planar imaging diffusion-weighted image (nEPID) using fused nEPID and CT (nEPID-CT). The ISMRM 25th Annual Meeting & Exhibition, ハワイ; 2017 年 4 月

(2) 国内の学会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 鹿戸将史: 脳血管・脳腫瘍への MSDE の応用. Philips Radiology Summer Seminar 2017, 大阪; 2017 年 7 月

ii 一般演題

- 1) 鹿戸将史, 平賀利匡, 豊口裕樹, 渡會文果, 桐井一邦, 根本建二: iMSDE combined AntiDrive-3D-TSE Black-Blood imaging による分枝脳動脈解離における微小壁内血腫の描出. 日本磁気共鳴医学会, 宇都宮; 2017 年 9 月
- 2) 平賀利匡, 鹿戸将史, 豊口裕樹, 齊藤晋太郎, 小林篤紀, 紺野義浩, 渡會文果, 桐井一邦, 根本建二, 細矢貴亮*: 帽状腱膜の肥厚, 造影増強を認めた側頭動脈炎の 1 例. 第 53 回日本医学放射線学会秋季大会, 愛媛; 2017 年 9 月
- 3) 菅井康大**, 鹿戸将史, 桐井一邦, 根本建二: 神経膠腫における 18F-Fluoromisonidazole PET と予後の検討. 日本核医学会, 横浜; 2017 年 10 月

(3) 国内地方会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 鹿戸将史：基調講演（診断）．第6回北日本臨床研修医・医学生のための放射線セミナー，山形；2017年6月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 豊口裕樹：研修医セミナー ～「恥じらい」と「読影道」～．第6回北日本臨床研修医・医学生のための放射線セミナー，山形；2017年6月

iii 一般演題

- 1) 平賀利匡，鹿戸将史，渡会文果，桐井一邦，豊口裕樹，新野一穂，高梨悠，東野大樹，根本建二：巨細胞性動脈炎の2例．第136回日本医学放射線学会北日本地方会，山形；2017年6月
- 2) 平賀利匡，鹿戸将史，齊藤晋太郎，豊口裕樹，根本建二：脊髄神経膠腫における頭蓋内脳実質内進展症例の検討．第137回日本医学放射線学会北日本地方会，宮城；2017年10月
- 3) 齊藤晋太郎，鹿戸将史，平賀利匡，小林篤紀，木村雅俊，小笠原理希，矢野菜津子，根本建二：Primary Glioblastoma の初期像2例における画像所見の検討．第137回日本医学放射線学会北日本地方会，山形；2017年6月

(4) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 鹿戸将史：Vessels' Wall Imaging using Multislices Motion Sensitized Driven Equilibrium (MSDE)；Focused on Intracranial Arterial Dissection. AIMS Neuro Imaging 2017，東京；2017年10月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 鹿戸将史：Practice of Superselective Transarterial Infusion Therapy of High-dose Cisplatin with Concomitant Irradiation on Head and Neck Cancers；Focused on the Maxillary Cancer. 頭頸部放射線研究会，松山；2017年9月
- 2) 鹿戸将史：ナタリズマブ関連進行性多巣性白質脳症の画像診断．第534回NR懇話会，東京；2017年12月

iii 一般演題

- 1) 鹿戸将史，桐井一邦，平賀利匡，豊口裕樹，根本建二，園田順彦：脳腫瘍におけるFDG/Methionine index PET imageによる高糖代謝域と悪性度の評価．第18回山形ニューロサイエンス・医工学研究会プログラム，山形；2017年6月
- 2) 平賀利匡：側頭動脈炎の症例を見直して．山形CT・MRI研究会，山形；2017年9月
- 3) 豊口裕樹，齋藤晋太郎，渡会文果，桐井一邦，小林篤紀，平賀利匡，進藤秀樹，木村雅俊，新野一穂，高梨悠，東野大樹，矢野菜津子，小笠原理希，鹿戸将史：上腕部皮下埋め込み型中心静脈リザーバシステムのカテーテルが抜けなくなった1例．第20回山形県IVR研究会，山形；2017年11月
- 4) 簡野美弥子，川崎基，川崎直未，上村雄太，目黒亨，佐藤裕子，石垣隆介，小田切徹州，安孫子雅之，鈴木康太，藤井隆，三井哲夫，阿部尚弘，加藤博久，中村潤，大泉弘幸，貞弘光章，豊口裕樹，渡会文果，根本建二：胸水を契機に発見された右胸腔内血管系腫瘍の新生児例．第40回東北小児がん研究会，仙台；2018年3月

(5) 座長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 鹿戸将史：ガドリニウム造影剤の脳内蓄積懸念による添付文書改訂について．第17回山形デジタル画像セミナー，山形；2018年3月

(6) その他

- 1) 鹿戸将史：中枢神経系の造影MRIーガドビストの使用経験を含めてー．ガドビストWebカンファレンス，東京；2017年7月

3. 学会等での受賞

- 1) 平賀利匡，鹿戸将史，齊藤晋太郎，豊口裕樹，根本建二：脊髄神経膠腫における頭蓋内脳実質内進展症例の検討．優秀演題賞．第137回日本医学放射線学会北日本地方会，宮城；2017年10月

4. そ の 他

- 1) 平賀利匡：フィルムリーディング参加 第30回頭頸部放射線研究会，愛媛；2017年9月
- 2) 平賀利匡：フィルムリーディング参加 第37回神経放射線ワークショップ，岐阜；2017年7月

放射線腫瘍学講座／東北未来がん医療学講座

1. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i 一般演題

- 1) 金井貴幸, 角谷倫之**, 中島祐二郎**, 宮坂友佑也*, 家子義朗**, 伊藤謙吾**, 山本貴也**, 土橋卓**, 武田賢**, 根本建二, 神宮啓一**: 4DCT 換気能を用いた放射線肺臓炎の予測. 第 30 回高精度放射線外部照射部会学術大会, 仙台市; 2017 年 3 月

(2) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 根本建二: JASTRO の新体制と課題. 第 15 回九州放射線治療システム研究会, 福岡市; 2017 年 1 月
根本建二: 食道癌に対する放射線治療の今後の展開について. 第 8 回千葉食道疾患研究会, 千葉市; 2017 年 2 月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 市川真由美: パネリスト参加. Scientific Exchange Meeting in Yamagata, 山形市; 2017 年 2 月

iii 一般演題

- 1) 佐藤啓, 山田真義, 原田麻由美, 市川真由美, 金本彩恵**, 松本康男**, 杉田公**, 根本建二: 婦人科がんの放射線腸炎 (頻回の水様性下痢) に対する五苓散の有効性. 第 15 回山形骨盤外科研究会, 山形市; 2017 年 1 月
- 2) 金井貴幸: 4 次元 CT 換気能で重みづけした DVH パラメータによる放射線肺臓炎の予測. 平成 28 年度東北大学・新潟大学合同放射線治療セミナー, 仙台市; 2017 年 1 月

(3) 座長

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 根本建二: ランチョンセミナー2. 第 30 回高精度放射線外部照射部会学術大会, 仙台市; 2017 年 3 月

2. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第 31 回山形県放射線科医の会, 山形市; 2017 年 1 月

3. その他

- 1) 根本建二: 転移性脳腫瘍の放射線治療. 神戸大学大学院医学研究科特別講義, 神戸市; 2017 年 3 月

1. 論文

(1) 原著

- 1) Koto M^{**}, Demizu Y^{**}, Saitoh JI^{**}, Suefuji H^{**}, Tsuji H^{**}, Okimoto T^{**}, Ohno T^{**}, Shioyama Y^{**}, Takagi R^{**}, Nemoto K, Nakano T^{**}, Kamada T^{**}; Japan Carbon-Ion Radiation Oncology Study Group: Multicenter Study of Carbon-Ion Radiation Therapy for Mucosal Melanoma of the Head and Neck: Subanalysis of the Japan Carbon-Ion Radiation Oncology Study Group (J-CROS) Study (1402 HN). *Int J Radiat Oncol Biol Phys.* 2017; 97(5): 1054-1060
- 2) Kawashiro S^{**}, Mori S^{**}, Yamada S^{**}, Miki K^{**}, Nemoto K, Tsuji H^{**}, Kamada T^{**}: Dose escalation study with respiratory-gated carbon-ion scanning radiotherapy using a simultaneous integrated boost for pancreatic cancer: simulation with four-dimensional computed tomography. *Br J Radiol.* 2017; 90(1072): 20160790
- 3) Jingu K^{**}, Matsuo Y^{**}, Onishi H^{**}, Yamamoto T^{**}, Aoki M^{**}, Murakami Y^{**}, Yamashita H^{**}, Kakuhara H^{**}, Nemoto K, Sakayauchi T^{**}, Okamoto M^{**}, Niibe Y^{**}, Nagata Y^{**}, Ogawa K^{**}: Dose Escalation Improves Outcome in Stereotactic Body Radiotherapy for Pulmonary Oligometastases from Colorectal Cancer. *Anticancer Res.* 2017; 37(5): 2709-2713
- 4) Shirai K^{**}, Koto M^{**}, Demizu Y^{**}, Suefuji H^{**}, Ohno T^{**}, Tsuji H^{**}, Okimoto T^{**}, Shioyama Y^{**}, Saitoh JI^{**}, Nemoto K, Nakano T^{**}, Kamada T^{**}; Japan Carbon-Ion Radiation Oncology Study Group: Multi-institutional retrospective study of mucoepidermoid carcinoma treated with carbon-ion radiotherapy. *Cancer Sci.* 2017; 108(7): 1447-1451
- 5) Saitoh JI^{**}, Koto M^{**}, Demizu Y^{**}, Suefuji H^{**}, Ohno T^{**}, Tsuji H^{**}, Okimoto T^{**}, Shioyama Y^{**}, Nemoto K, Nakano T^{**}, Kamada T^{**}; Japan Carbon-Ion Radiation Oncology Study Group: A Multicenter Study of Carbon-Ion Radiation Therapy for Head and Neck Adenocarcinoma. *Int J Radiat Oncol Biol Phys.* 2017; 99(2): 442-449
- 6) Sadoyama S^{**}, Sekine A^{**}, Satoh H^{**}, Iwasawa T^{**}, Kato T^{**}, Ikeda S^{**}, Sata M^{**}, Baba T^{**}, Tabata E^{**}, Minami Y^{**}, Nemoto K, Hayashihara K^{**}, Saito T^{**}, Okudela K^{**}, Ohashi K^{**}, Tajiri M^{**}, Ogura T^{**}: Isolated Brain Metastases as the First Relapse After the Curative Surgical Resection in Non-Small-Cell Lung Cancer Patients With an EGFR Mutation. *Clin Lung Cancer.* 2018; 19(1): e29-e36
- 7) Sato H, Yamada M, Harada M, Ichikawa M, Kanemoto A^{**}, Matsumoto Y^{**}, Sugita T^{**}, Nemoto K: Effects of Goreisan on radiation enteritis in gynecological cancer. *Recent progress of KAMPO MEDICINE in obstetrics and gynecology.* 2017; 34: 43-46

(2) 著書

- 1) 佐藤啓: 8 食道癌. 井上俊彦, 小川和彦, 小泉雅彦編, 放射線治療学 改定6版. 東京; 南山堂, 2017: 199-206
- 2) 市川真由美, 根本建二: 消化器腫瘍総論 食道癌総論 食道癌 (胸部・腹部). 大西洋, 唐澤久美子, 唐澤克之編著, がん・放射線治療 2017 改訂第7版. 東京; 学研メディカル秀潤社, 2017: 848-850, 851-853, 859-864

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) Takayuki Kanai, Noriyuki Kadoya^{**}, Yujiro Nakajima^{**}, Yuya Miyasaka^{*}, Yoshiro Ieko^{**}, Tomohiro Kajikawa^{**}, Kengo Ito^{**}, Takaya Yamamoto^{**}, Suguru Dobashi^{**}, Ken Takeda^{**}, Kenji Nemoto, Keiichi Jingu^{**}: Impact of Optimal Weighting for Functional Lung Avoidance Using CT Ventilation. *The American Association of Physicists in Medicine 59th annual meeting, Denver (USA); JUL-AUG 2017*

ii 一般演題

- 1) Hiroko Akamatsu, Katsumasa Nakamura**, Takeshi Ebara**, Koji Inaba**, Satoshi Itasaka**, Keiichi Jingu**, Yasuhiro Kosaka**, Taro Murai**, Kenji Nagata**, Toshinori Soejima**, Shigeo Takahashi**, Tatsuya Toyoda**, Shinichiro Toyoshima**, Kenji Nemoto, Tetsuo Akimoto** : Radiotherapy aimed at functional preservation in patients with small cell carcinoma of the bladder. 36th European Society for Radiotherapy, Vienna, Austria; May 2017

(2) 国内の学会

i 一般演題

- 1) 市川真由美：膠原病モデルマウスを用いた放射線障害増強の検討。日本放射線腫瘍学会第30回学術大会，大阪市；2017年11月
- 2) 原田麻由美，佐藤啓，小笠原理希，木村雅俊，山田真義，赤松妃呂子，市川真由美，根本建二，黒田勇氣**，鈴木幸司*，金井貴幸：体幹部定位照射における呼吸移動抑制法についての比較検討。日本放射線腫瘍学会第30回学術大会，大阪市；2017年11月
- 3) 山田真義：重粒子線・陽子線・X線照射におけるスパーサーの有効性の検討。日本放射線腫瘍学会第30回学術大会，大阪市；2017年11月

(3) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 市川真由美：膠原病モデルマウスを用いた放射線障害増強の検討。第136回日本医学放射線学会北日本地方会，山形市；2017年6月
- 2) 原田麻由美，佐藤啓，小笠原理希，木村雅俊，山田真義，赤松妃呂子，市川真由美，根本建二，黒田勇氣**，鈴木幸司*，金井貴幸：体幹部定位照射における呼吸移動抑制法の検討。第136回日本医学放射線学会北日本地方会，山形市；2017年6月
- 3) 山田真義：重粒子線・陽子線・X線照射におけるスパーサーの有効性の検討。第136回日本医学放射線学会北日本地方会，山形市；2017年6月
- 4) 佐藤啓，高梨悠，小笠原理希，新野一穂，山田真義，赤松妃呂子，原田麻由美，市川真由美，根本建二：分化型甲状腺癌におけるサイログロブリン倍加時間の検討。第137回日本医学放射線学会北日本地方会，仙台市；2017年10月

(4) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 根本建二：転移性脳腫瘍に対する放射線治療。CSR研究会，仙台市；2017年9月
- 2) 根本建二：食道癌に対する放射線治療の動向。第38回筑後放射線腫瘍談話会，久留米市；2017年9月
- 3) 根本建二：日本のがん医療の現状と将来。第62回人吉・球磨最新医療研究会，人吉市；2017年11月
- 4) 金井貴幸：MATLABを用いたDICOM RT データ解析の基礎。第47回臨床医学物理研究会，日光市；2017年7月

ii 一般演題

- 1) 佐藤啓，山田真義，原田麻由美，市川真由美，根本建二：分化型甲状腺がんに対するTKIについて。第68回北日本放射線腫瘍学研究会，仙台市；2017年10月
- 2) 山田真義：重粒子線・陽子線・X線照射におけるスパーサーの有効性の検討。第16回山形骨盤外科研究会，山形市；2018年1月

(5) 座 長

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 根本建二：シンポジウム5「精度放射線治療と画像診断」。第76回日本医学放射線学会総会，横浜市；2017年4月
- 2) 根本建二：ランチョンセミナー「Translating a new treatment paradigm to better patient outcomes」。第136回日本医学放射線学会北日本地方会，山形市；2017年6月
- 3) 根本建二：学術セミナー4「本邦での放射線治療の展開」。第55回日本癌治療学会学術集会，横浜市；2017年10月
- 4) 根本建二：アフタヌーンセミナー1「科学放射線療法後遺残再発食道癌に対する第2世代 Photodynamic

therapy」．日本放射線腫瘍学会第30回学術大会，大阪市；2017年11月

- 5) 根本建二：シンポジウム2「食道癌に対する治療戦略」．日本放射線腫瘍学会第30回学術大会，大阪市；2017年11月
- 6) 根本建二：Advanced lecture「未来予想図Ⅲ：AIシテル、レディオゲノミクス」．日本放射線腫瘍学会第31回高精度放射線外部照射部会学術大会，大阪市；2018年2月

(6) その他

- 1) 根本建二：山形大学における重粒子線治療計画．米沢市医師会講演会「好生会」，米沢市；2017年7月
- 2) 根本建二：転移性脳腫瘍に対する放射線治療．岡山大学特別講義，岡山市；2017年10月
- 3) 根本建二：これからの最先端医療「重粒子線がん治療」．山形大学医学部発の未来医療展開会議 in 鶴岡，鶴岡市；2017年11月
- 4) 根本建二：山形大学のがん医療．総合南東北病院講演会～STR(Southern TOHOKU Research)Medical Conference～，郡山市；2017年12月
- 5) 市川真由美：放射線治療とは何？．山形済生病院講演会，山形市；2018年1月
- 6) 市川真由美：放射線治療ってなんだらう．公立置賜総合病院講演会，川西町；2018年3月
- 7) 佐藤啓：骨盤領域の放射線治療．山形県がん化学療法セミナー，山形市；2017年9月

3. 学会，講演会，シンポジウム，ワークショップ等の開催

- 1) 第136回日本医学放射線学会北日本地方会，山形市；2017年6月

産科婦人科学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Yamagami W**, Nagase S, Takahashi F**, Ino K**, Hachisuga T**, Aoki D**, Katabuchi H**: Clinical statistics of gynecologic cancers in Japan. J Gynecol Oncol. 2017; 28(2): e32 B

2. 学会報告及び座長

(1) 研究会

i 一般演題

- 1) 榑 宏諭, 清野 学, 太田 剛, 岡田雅司, 北中千史, 永瀬 智: 卵巣がんにおける Paclitaxel 感受性の改善を目指して. 第2回3大学次世代コンソーシアム, 山形市; 2017年2月
- 2) 杉山晶子, 太田 剛, 榑 宏諭, 清野 学, 須藤 毅, 永瀬 智: 子宮体部漿液性腺癌細胞株において、スルファサラジンはフェロトーシスを介して細胞増殖を抑制する. 第2回3大学次世代コンソーシアム, 山形市; 2017年2月

(2) 座長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 永瀬 智: 婦人科悪性腫瘍治療の最近の話題. 第26回山形県婦人科悪性腫瘍研究会, 山形市; 2017年3月

ii 一般演題

- 1) 川越 淳: 不妊新患の子宮内膜ポリープが治療に及ぼす影響について. 第17回東北ART研究会, 仙台; 2017年2月

産科婦人科学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Mikami M^{**}, Nagase S, Yamagami W^{**}, Ushijima K^{**}, Tashiro H^{**}, Katabuchi H^{**} : Opportunistic bilateral salpingectomy during benign gynecological surgery for ovarian cancer prevention: a survey of Gynecologic Oncology Committee of Japan Society of Obstetrics and Gynecology. J Gynecol Oncol. 2017; 28(4): e52 B
- 2) Shigeta S^{**}, Nagase S, Mikami M^{**}, Ikeda M^{**}, Shida M^{**}, Sakaguchi I^{**}, Ushioda N^{**}, Takahashi F^{**}, Yamagami W^{**}, Yaegashi N^{**}, Udagawa Y^{**}, Katabuchi H^{**} : Assessing the effect of guideline introduction on clinical practice and outcome in patients with endometrial cancer in Japan: a project of the Japan Society of Gynecologic Oncology (JSGO) guideline evaluation committee. J Gynecol Oncol. 2017; 28(6): e76 B
- 3) Kuramoto K^{*}, Suzuki S^{*}, Sakaki H, Takeda H^{*}, Sanomachi T^{*}, Seino S^{*}, Narita Y^{**}, Kayama T^{*}, Kitanaka C^{*}, Okada M^{*} : Licochalcone A specifically induces cell death in glioma stem cells via mitochondrial dysfunction. FEBS Open Bio. 2017; 7: 835-844 B
- 4) Shoji T^{**}, Takatori E^{**}, Omi H^{**}, Kagabu M^{**}, Honda T^{**}, Futagami M^{**}, Yokoyama Y^{**}, Kaiho M^{**}, Tokunaga H^{**}, Otsuki T^{**}, Takano T^{**}, Yaegashi N^{**}, Kojimahara T^{**}, Ohta T, Nagase S, Soeda S^{**}, Watanebe T^{**}, Nishiyama H^{**}, Sugiyama T^{**} : A phase II study of irinotecan and pegylated liposomal doxorubicin in platinum-resistant recurrent ovarian cancer (Tohoku Gynecologic Cancer Unit 104 study). Cancer Chemother Pharmacol. 2017; 80: 355-361 B
- 5) Narumi M^{**}, Takahashi K^{**}, Yamatani H, Seino M, Yamanouchi K^{**}, Ohta T, Takahashi T^{**}, Kurachi H^{**}, Nagase S : Oxidative stress in the visceral fat is elevated in postmenopausal women with gynecologic cancer. J Women's Health. 2018; 27(1): 99-106 B
- 6) 鈴木百合子, 清野 学, 榎 宏諭, 須藤 毅, 太田 剛, 永瀬 智: 子宮体癌術後補助療法としてのドセタキセルおよびカルボプラチン併用化学療法の有用性. 山形大学紀要(医学). 2018; 36(1): 36-42

(2) 総説及び解説

- 1) 高橋一広: 婦人科悪性腫瘍治療後における骨粗鬆症の実際と対応. 産科と婦人科. 2017; 84(4): 470-475
- 2) 堤 誠司: 妊娠期のこれホント!? ②. ペリネイタルケア. 2017; 36(10): 17-21
- 3) 堤 誠司: 妊娠初期の腹痛・腹緊. 周産期医学. 2017; 47(増刊号) 母と子の診断羅針盤: 44-48
- 4) 榎 宏諭, 永瀬 智: 卵巣癌遠隔転移の取り扱い. 日本臨牀. 2017; 75(増刊号9)がん転移学(下): 263-267
- 5) 堤 誠司: TSLS (劇症型A群溶血性レンサ球菌感染症)・TSS. 産婦人科の実際. 2018; 67(1): 25-29

(3) 症例報告

- 1) 松尾幸城, 堤 誠司, 西村杏子, 深瀬実加, 松川 淳, 竹原 功, 鈴木聡子, 渡邊憲和, 川越 淳, 永瀬 智: 妊娠初期の卵巣出血に対して緊急腹腔鏡下手術を行った2例. 山形大学紀要(医学). 2018; 36(1): 77-83

(4) 著書

- 1) Nagase S, Ohta T, Seino M : Primary chemotherapy and targeted molecular therapy of epithelial ovarian cancer. Katabuchi H, Frontiers in Ovarian Cancer Science. Singapore: Springer, 2017: 207-224

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 一般演題

- 1) Seino M, Ohta T, Sugiyama A, Sakaki H, Sudo T, Nagase S : Metabolomic analysis of uterine serous carcinoma with acquired resistance to paclitaxel. The 5th Biennial Meeting of Asian Society of Gynecologic Oncology, Tokyo(Japan); November 2017

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 永瀬 智：婦人科悪性腫瘍の登録事業と公共性 第59回日本婦人科腫瘍学会，熊本；2017年7月
- 2) 永瀬 智：よりよい卵巣癌・子宮頸癌治療を目指して～アバスチンへの期待～ 第59回日本婦人科腫瘍学会，熊本；2017年7月

ii 一般演題

- 1) Kawagoe J, Igarashi H, Matsuo K, Suzuki S, Takehara I, Matsukawa J, Nagase S: Comparison of estrogen profiles among different controlled ovarian hyper-stimulations during IVF treatment revealed that excess E₂ level alone could not be predictive for IVF failure. 第69回日本産科婦人科学会，広島；2017年4月
- 2) Sakaki H, Seino M, Ohta T, Nagase S: GSKJ4, a selective jumonji H3K27 demethylase inhibitor, targets ovarian cancer stem cells. 第69回日本産科婦人科学会，広島；2017年4月
- 3) 清野 学, 太田 剛, 杉山晶子, 榊 宏諭, 須藤 毅, 永瀬 智：子宮体部漿液性癌のタキサン耐性獲得に関するメタボローム解析. 第69回日本産科婦人科学会，広島；2017年4月
- 4) 杉山晶子, 太田 剛, 榊 宏諭, 清野 学, 須藤 毅, 永瀬 智：子宮体部漿液性腺癌細胞株におけるスルファサラジンによるバクリタキセル抵抗性解除機構に関する検討. 第69回日本産科婦人科学会，広島；2017年4月
- 5) 竹原 功, 五十嵐秀樹, 松川 淳, 鈴木聡子, 松尾幸城, 川越 淳, 永瀬 智：小胞体ストレス制御による加齢卵の胚発生改善. 第69回日本産科婦人科学会，広島；2017年4月
- 6) 深瀬実加, 渡邊憲和, 杉山晶子, 小幡美由紀, 堤 誠司, 永瀬 智：Teamとして考える当院における超緊急帝王切開シミュレーション訓練. 第69回日本産科婦人科学会，広島；2017年4月
- 7) 鈴木百合子, 渡邊憲和, 深瀬実加, 杉山晶子, 小幡美由紀, 堤 誠司, 永瀬 智：関節リウマチ合併妊娠の管理に関する検討. 第69回日本産科婦人科学会，広島；2017年4月
- 8) 石田博美, 杉山晶子, 深瀬実加, 渡邊憲和, 小幡美由紀, 堤 誠司, 永瀬 智：妊娠16週に頭部異常所見を契機に診断された Meckel-Gruber 症候群の1例. 第53回日本周産期・新生児医学会，横浜；2017年7月
- 9) 渡邊憲和, 深瀬実加, 杉山晶子, 小幡美由紀, 堤 誠司, 永瀬 智：出生前に尿管管開存症に伴う臍帯嚢胞が疑われ、嚢胞の破裂後に胎児機能不全を来した1例. 第53回日本周産期・新生児医学会，横浜；2017年7月
- 10) 杉山晶子, 渡邊憲和, 深瀬実加, 小幡美由紀, 堤 誠司, 永瀬 智：産後の社会的支援を要する精神疾患合併妊娠の特徴. 第53回日本周産期・新生児医学会，横浜；2017年7月
- 11) 太田 剛, 清野 学, 榊 宏諭, 須藤 毅, 永瀬 智：卵巣癌におけるエストロゲン受容体活性化による白金製剤抵抗性誘導機序についての検討. 第59回日本婦人科腫瘍学会，熊本；2017年7月
- 12) 清野 学, 太田 剛, 榊 宏諭, 須藤 毅, 永瀬 智：当科における若年卵巣皮様嚢腫悪性転化の検討. 第59回日本婦人科腫瘍学会，熊本；2017年7月
- 13) 松尾幸城：当施設の内視鏡手術センターにおける包括的クオリティーコントロールの現状. 第57回日本産科婦人科内視鏡学会，岡山；2017年9月
- 14) 松川 淳：卵管妊娠手術症例の術後フォローアップ期間の検討. 第57回日本産科婦人科内視鏡学会，岡山；2017年9月
- 15) 渡邊憲和：成熟奇形腫の腹腔内播種と考えられた1例. 第57回日本産科婦人科内視鏡学会，岡山；2017年9月
- 16) 山上 亘^{**}, 永瀬 智, 高橋史朗^{**}, 青木大輔^{**}, 榎本隆之^{**}, 片渕秀隆^{**}：日本産科婦人科学会 婦人科腫瘍登録のデータマネージメント. 第1回日本臨床疫学会，東京；2017年9月 B
- 17) 川越 淳, 柴田健一^{*}, 山谷日鶴, 永瀬 智：タモキシフェンからアロマターゼ阻害薬への薬剤変更に伴い月経回復が認められた、乳癌術後療法中の一症例. 第32回日本女性医学学会，大阪；2017年11月
- 18) 川越 淳, 五十嵐秀樹, 竹原 功, 松川 淳, 松尾幸城, 永瀬 智：ART 前周期の黄体期に施行した子宮鏡検査による胚受容能改善効果の検討—山形大学での検討では有用性を認めなかった— 第62回日本生殖医学会，山口；2017年11月

- 19) 竹原 功, 五十嵐秀樹, 松川 淳, 西 美智, 松尾幸城, 川越 淳, 永瀬 智: Salburinal は加齢卵の胚発生を改善させ得る. 第62回日本生殖医学会, 山口; 2017年11月
- 20) 松尾幸城, 堤 誠司, 深瀬実加, 松川 淳, 渡邊憲和, 清野 学, 太田 剛, 永瀬 智: 妊娠初期の卵巣腫瘍に臓器固定用シリコンデバイスを用いて腹腔鏡手術を行った2例. 第40回日本産婦人科手術学会, 大阪; 2017年11月
- 21) 松川 淳, 松尾幸城, 深瀬実加, 渡邊憲和, 川越 淳, 堤 誠司, 永瀬 智: 腹腔鏡下に治療し得た腹膜妊娠の1例. 第40回日本産婦人科手術学会, 大阪; 2017年11月

(3) 国内地方会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 川越 淳: 核内受容体転写補助因子 Ncoa6 は子宮内膜の胚受容能調節と発癌抑制に重要な機能を示す. 第65回北日本産科婦人科学会, 仙台; 2017年9月
- 2) 永瀬 智: アバスチンをどのように使っていくか～卵巣癌の予後改善を目指して～. 第4回愛媛 Gynecologic Cancer Symposium, 松山; 2017年10月
- 3) 永瀬 智: アバスチンをどのように使っていくか～卵巣癌の予後改善を目指して～. Ovarian Cancer Symposium in Hiroshima, 広島; 2017年11月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 永瀬 智: 卵巣癌・子宮頸癌患者さんの延命を目指して～アバスチンによってもたらされたもの～. 第65回北日本産科婦人科学会, 仙台; 2017年9月

iii 一般演題

- 1) 松川 淳, 松尾幸城, 鈴木聡子, 渡邊憲和, 山谷日鶴, 川越 淳, 堤 誠司, 永瀬 智: 当科で経験した腹膜妊娠の1例. 第143回東北連合産科婦人科学会, 秋田; 2017年6月
- 2) 杉山晶子, 渡邊憲和, 深瀬実加, 小幡美由紀, 堤 誠司, 永瀬 智: 当院における精神疾患合併妊娠に対する産後の支援に関する検討. 第143回東北連合産科婦人科学会, 秋田; 2017年6月
- 3) 鈴木百合子, 清野 学, 榊 宏諭, 須藤 毅, 太田 剛, 永瀬 智: 若年者に発症した卵巣成熟嚢胞奇形腫悪性転化の3例. 第143回東北連合産科婦人科学会, 秋田; 2017年6月
- 4) 佐藤 藍, 深瀬実加, 渡邊憲和, 杉山晶子, 小幡美由紀, 堤 誠司, 永瀬 智: 胎児期に臍帯嚢胞を指摘され、嚢胞破裂後に胎児機能不全を来した尿管管開存症の1例. 第143回東北連合産科婦人科学会, 秋田; 2017年6月
- 5) 松川 淳, 竹原 功, 渡邊憲和, 松尾幸城, 川越 淳, 堤 誠司, 永瀬 智: 卵管妊娠手術症例の術後フォローアップ期間の検討. 第65回北日本産科婦人科学会, 仙台; 2017年9月
- 6) 榊 宏諭, 清野 学, 山谷日鶴, 須藤 毅, 太田 剛, 永瀬 智: ヒストン脱メチル化酵素阻害薬 GSKJ4 を用いた卵巣がん幹細胞標的治療. 第65回北日本産科婦人科学会, 仙台; 2017年9月
- 7) 奥井陽介*, 中原健次**, 出井 麗, 石田博美, 椎名有二**: 子宮内膜炎を反復した sarcomatous overgrowth を伴った子宮体部腺肉腫の1例. 第65回北日本産科婦人科学会, 仙台; 2017年9月 B
- 8) 酒井一嘉**, 西村杏子, 吉田隆之**, 木村和彦**: 術前に変性子宮筋腫が疑われた STUMP の一例. 第65回北日本産科婦人科学会, 仙台; 2017年9月 B
- 9) 深瀬実加, 杉山晶子, 出井 麗, 渡邊憲和, 堤 誠司, 永瀬 智: hCG 異常高値を示し、妊娠19週で子宮内胎児死亡となった間葉性異形成胎盤の1例. 第65回北日本産科婦人科学会, 仙台; 2017年9月
- 10) 渡辺智之, 渡邊憲和, 出井 麗, 深瀬実加, 杉山晶子, 堤 誠司, 永瀬 智: 妊娠36週に胎児の Ellis-van Creveld 症候群が疑われた一例. 第65回北日本産科婦人科学会, 仙台; 2017年9月
- 11) 福長健史, 竹原 功, 松川 淳, 西 美智, 松尾幸城, 川越 淳, 五十嵐秀樹, 永瀬 智: 採卵間隔は採卵獲得数を左右するか?. 第65回北日本産科婦人科学会, 仙台; 2017年9月
- 12) 伊藤友理, 清野 学, 佐藤 藍, 西村杏子, 須藤 毅, 太田 剛, 永瀬 智: トラベクテジン血管外漏出による皮膚障害を来した子宮平滑筋肉腫の1例. 第65回北日本産科婦人科学会, 仙台; 2017年9月
- 13) 中村文洋, 清野 学, 深瀬実加, 鈴木百合子, 榊 宏諭, 須藤 毅, 太田 剛, 永瀬 智: 子宮頸癌放射線治療後に癌性リンパ管症による皮膚転移を来した1例. 第65回北日本産科婦人科学会, 仙台; 2017年9月
- 14) 伊藤泰史, 松川 淳, 渡邊憲和, 松尾幸城, 山谷日鶴, 堤 誠司, 永瀬 智: 腹腔鏡下に治療し得た腹膜妊娠の1例. 第65回北日本産科婦人科学会, 仙台; 2017年9月

- 15) 川越 淳, 五十嵐秀樹, 竹原 功, 松川 淳, 松尾幸城, 永瀬 智: ART 前周期の黄体期に施行した子宮鏡検査による胚受容能改善効果の検討—山形大学での検討では有用性を認めなかった—. 第 55 回東北生殖医学会, 福島; 2017 年 10 月
- 16) 佐藤裕子, 松尾幸城, 竹原 功, 松川 淳, 西 美智, 川越 淳, 五十嵐秀樹, 永瀬 智: 山形県不妊相談センターの現状. 第 55 回東北生殖医学会, 福島; 2017 年 10 月

(4) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 永瀬 智: ベンシズマブをどのように使っていくか〜卵巣癌の予後改善を目指して〜. 第 19 回多摩産婦人科臨床腫瘍研究会, 三鷹; 2018 年 3 月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 須藤 毅, 早坂 直, 堤 誠司, 鈴木明彦, 天野吾郎: 山形県での HBOC 診療の現状と今後の展望. Scientific Exchange Meeting, 山形; 2017 年 4 月

iii 一般演題

- 1) 竹原 功: 異所性妊娠のマネージメントに自信を. 第 8 回山形県若手産婦人科研究会, 山形; 2017 年 5 月
- 2) 鈴木百合子: 知ってる? アバスチンの使い方. 第 8 回山形県若手産婦人科研究会, 山形; 2017 年 5 月
- 3) 深瀬実加, 渡邊憲和, 杉山晶子, 堤 誠司, 永瀬 智: 当科における 2 年間の羊水染色体検査症例の検討. 第 34 回山形県周産期・新生児医療研究会, 山形; 2017 年 6 月
- 4) 安孫子 優, 松木 惇, 佐々木綾子, 三井哲夫, 堤 誠司, 伊藤美以子, 小幡美由紀: 先天性頭蓋骨陥没の一例. 第 34 回山形県周産期・新生児医療研究会, 山形; 2017 年 6 月
- 5) 福長健史, 渡邊憲和, 深瀬実加, 杉山晶子, 西 美智, 松尾幸城, 堤 誠司, 永瀬 智: 胎児腹腔内嚢胞の二例. 第 136 回山形県産婦人科集談会, 山形; 2017 年 7 月
- 6) 中原健次, 奥井陽介, 石田博美, 椎名有, 出井 麗: 当院で経験した横紋筋肉腫成分の過剰増殖を伴った子宮体部腺肉腫の一例. 第 136 回山形県産婦人科集談会, 山形; 2017 年 7 月
- 7) 榊 宏諭, 清野 学, 出井 麗, 深瀬実加, 須藤 毅, 太田 剛, 堤 誠司, 永瀬 智: 子宮頸癌放射線治療後に癌性リンパ管症による皮膚転移を来した一例. 第 137 回山形県産婦人科集談会, 酒田; 2017 年 9 月
- 8) 鈴木百合子, 清野 学, 出井 麗, 深瀬実加, 須藤 毅, 太田 剛, 堤 誠司, 永瀬 智: 当科における皮様嚢腫悪性転化の検討. 第 137 回山形県産婦人科集談会, 酒田; 2017 年 9 月
- 9) 出井 麗: 癒着胎盤症例. 第 10 回山形県周産期症例検討会, 山形; 2017 年 11 月
- 10) 西村杏子: 胎児気管支閉鎖症例. 第 10 回山形県周産期症例検討会, 山形; 2017 年 11 月
- 11) 佐藤 藍, 榊 宏諭, 鈴木百合子, 渡邊憲和, 清野 学, 太田 剛, 永瀬 智: 子宮漿膜下筋腫表在血管の自然破綻により腹腔内出血を来した 1 例. 第 138 回山形県産婦人科集談会, 山形; 2018 年 2 月
- 12) 中村文洋, 清野 学, 鈴木百合子, 榊 宏諭, 須藤 毅, 太田 剛, 永瀬 智: 当科における低異型度子宮内膜間質肉腫の 2 例. 第 138 回山形県産婦人科集談会, 山形; 2018 年 2 月
- 13) 渡邊憲和, 川越 淳, 永瀬 智: 子宮内膜間質の estrogen receptor α 機能調節における転写補助因子 Ncoa6 の関与についての研究. 第 3 回 3 大学次世代コンソーシアム会議, 島根; 2018 年 2 月
- 14) 竹原 功, 五十嵐秀樹, 西村杏子, 松川 淳, 松尾幸城, 川越 淳, 永瀬 智: 小胞体ストレスを制御し卵の質低下の治療をめざす. 第 3 回 3 大学次世代コンソーシアム会議, 島根; 2018 年 2 月
- 15) 鈴木百合子, 清野 学, 榊 宏諭, 須藤 毅, 太田 剛, 永瀬 智: 卵巣癌における PET-CT に関する検討. 第 27 回山形県産婦人科腫瘍研究会, 山形; 2018 年 3 月

(5) 座 長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 永瀬 智: 明日からの産科診療に役立つ超音波診断. 山形産婦人科 ME 研究会, 山形; 2017 年 4 月
- 2) 永瀬 智: 月経困難症・子宮内膜症治療の進化〜今、考える「月経の意義」〜. 山形ウィメンズヘルスケア懇話会, 山形; 2017 年 4 月
- 3) 永瀬 智: 月経困難症・子宮内膜症 薬物療法新時代〜患者中心医療への転換〜. 第 135 回山形県産婦人科集談会, 山形; 2017 年 5 月
- 4) 永瀬 智: 月経困難症・子宮内膜症 薬物療法新時代〜患者中心医療への転換〜. 第 8 回山形県若手産婦人科研究会, 山形; 2017 年 5 月

- 5) 永瀬 智：胎児診断. 第136回山形県産婦人科集談会, 山形; 2017年7月
- 6) 永瀬 智：子宮頸癌・体癌における SLN 生検の現状と課題. 第138回山形県産婦人科集談会, 山形; 2018年2月
- 7) 川越 淳：反復着床不全の治療戦略. 第19回東北ART研究会, 仙台; 2018年2月
- 8) 永瀬 智：卵巣がん治療の新展開. 第27回山形県婦人科腫瘍研究会, 山形; 2018年3月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 永瀬 智：山形県でのHBOC診療の現状と今後の展望. Scientific Exchange Meeting, 山形; 2017年4月
- 2) 永瀬 智：婦人科に関わる遺伝性腫瘍疾患(Lynch症候群を中心に). 第143回東北連合産科婦人科学会, 秋田; 2017年6月

iii 一般演題

- 1) 永瀬 智：婦人科における遺伝性卵巣がんの診療－BRCA検査の普及にむけて. Scientific Exchange Meeting, 山形; 2017年4月
- 2) 堤 誠司：星総合病院での遺伝カウンセリング. Scientific Exchange Meeting, 山形; 2017年4月
- 3) Nagase S：Endometrial cancer. 第69回日本産科婦人科学会, 広島; 2017年4月
- 4) 永瀬 智：月経コントロールの実際. 山形ウィメンズヘルスケア懇話会, 山形; 2017年4月
- 5) 松尾幸城：第143回東北連合産科婦人科学会, 秋田; 2017年6月
- 6) 松川 淳：第136回山形県産婦人科集談会, 山形; 2017年7月
- 7) 永瀬 智：ガイドラインミーティング子宮体癌2018年版・子宮頸癌2017年版. 第59回日本婦人科腫瘍学会, 熊本; 2017年7月
- 8) 太田 剛：臨床研究. 第59回日本婦人科腫瘍学会, 熊本; 2017年7月
- 9) 太田 剛：卵巣悪性腫瘍. 第65回北日本産科婦人科学会, 仙台; 2017年9月
- 10) 川越 淳：第55回東北生殖医学会, 福島; 2017年10月
- 11) 永瀬 智：無月経とその対応. 第13回山形県生殖生理研究会, 山形; 2017年10月
- 12) 松尾幸城：当院におけるタイムラプス画像評価の有用性に関する検討 山形県不妊相談センターの現状. 第13回山形県生殖生理研究会, 山形; 2017年10月
- 13) 堤 誠司：研究成果報告会. 第10回胎児骨系統疾患フォーラム, 東京; 2017年11月
- 14) Nagase S：Young Doctors' Session 1. The 5th Biennial Meeting of Asian Society of Gynecologic Oncology, Tokyo (Japan); November 2017
- 15) 永瀬 智：女性のライフステージに関連した心身の不調～更年期うつを中心に～. 第4回山形 Well-Aging フォーラム, 山形; 2017年12月
- 16) 榊 宏諭：第3回3大学次世代コンソーシアム会議, 島根; 2018年2月
- 17) 永瀬 智：BOCに関する最新の話題－乳腺－. Precision Medicine of Ovarian Cancer in Morioka－PARP阻害剤－, 岩手; 2018年3月

(6) その他

- 1) 永瀬 智：卵巣がん治療の最近の話題. 第47回三重県生涯教育特別研修セミナー, 三重; 2017年5月
- 2) 松尾幸城：子宮内膜症の病態と治療について. 山形薬剤師セミナー, 山形; 2017年6月
- 3) 永瀬 智：婦人科のがんをもっと知ろう！～検診と予防～. 白鷹町健康づくり講演会, 白鷹; 2017年10月
- 4) 堤 誠司：子宮収縮剤の使用. 平成29年度山形県助産師会教育研修会, 山形; 2017年11月
- 5) 堤 誠司：遺伝と遺伝子 一人ひとりの個性・体質の多様性. 第5回山形県病院薬剤師会妊婦・授乳薬物療法研修会, 山形; 2018年1月
- 6) 清野 学：山形大学における婦人科腫瘍手術について. 科研製薬(株)山形出張所 外部講師勉強会, 山形; 2018年2月
- 7) 川越 淳：月経困難症の治療について. あすか製薬株式会社 社内研修会, 山形; 2018年2月
- 8) 堤 誠司：染色体異常、遺伝子異常の出生前診断に関して. 山形市医師会研修会, 山形; 2018年3月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第34回山形県周産期・新生児医療研究会, 山形; 2017年6月

- 2) 第136回山形県産婦人科集談会, 山形; 2017年7月
- 3) 第137回山形県産婦人科集談会, 酒田; 2017年9月
- 4) 第138回山形県産婦人科集談会, 山形; 2018年2月

4. 学会等での受賞

- 1) 杉山晶子, 太田剛, 榎宏諭, 清野学, 須藤毅, 永瀬智: 子宮体部漿液性腺癌細胞株におけるスルファサラジンによるパクリタキセル抵抗性解除機構に関する検討. 第69回日本産科婦人科学会 優秀日本語演題賞, 広島; 2017年4月

麻酔科学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Kumasaka A, Kanazawa K*, Ohke H*, Miura I*, Miura Y**: Post-ischemic Intravenous Administration of Allogeneic Dental Pulp-Derived Neurosphere Cells Ameliorated Outcomes of Severe Forebrain Ischemia in Rats. *Neurocrit Care*. 2017;26:133-142 B
- 2) Munshi L**, Kobayashi T*, DeBacker J**, Doobay R**, Telesnicki T**, Lo V**, Cote N**, Cypel M**, Keshavjee S**, Ferguson ND**, Fan E**: Intensive Care Physiotherapy during Extracorporeal Membrane Oxygenation for Acute Respiratory Distress Syndrome. *Ann Am Thorac Soc*. 2017 ; 14(2) : 246-253 E
- 3) 川前金幸：特集 外科医が知っておくべき最新の集中治療管理 2. 最近の呼吸管理. *外科*. 2017 ; 79(1) : 7-13
- 4) 鎌水健也, 川前金幸, 岡田真行, 飯澤和恵, 百瀬望：活動性下気道症状を呈する1歳児鼠径ヘルニアの麻酔経験. *山形大学紀要*. 2017 ; 35(1):8-14

(2) 総説及び解説

- 1) 高橋菜々子, 小野寺悠, 中根正樹*：特集 急性期呼吸管理の基礎と実践 EIT (Electrical impedance tomography)：基礎と実践—特徴と適応—. *ICUとCCU*. 2017 ; 41(1) : 41-50

(3) 著書

- 1) 川前金幸, 吉岡淳*：急性呼吸窮迫症候群(ARDS). 磨田裕監修, 大塚将秀, 相嶋一登編集, 呼吸治療学. 東京；メジカルビュー社, 2017 : 98-114
- 2) 川前金幸：麻酔と呼吸機能. 澄川耕二, 岩崎寛監修, 麻酔科学レビュー2017. 東京；総合医学社, 2017 : 1-8

(4) その他

- 1) 黒田美聡, 中根正樹*：ARDS II ARDS患者の人工呼吸療法—その常識は正しいか？—「PEEPの設定はPEEP tableによるのか?」. *救急・集中治療*. 2017 ; 29(1・2) : 63-68
- 2) 川前金幸, 崎尾秀彰**：第22回3学会合同呼吸療法認定士 認定講習会テキスト. 3学会合同呼吸療法認定士認定委員会, 2017 : 1-15

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i 一般演題

- 1) 岩渕雅洋, 早坂達哉, 豊島歩美, 小野寺悠, 森谷真知佳, 秋元亮, 小林忠宏*, 岡田真行, 中根正樹*, 川前金幸：腹部末期がん患者で発症した, 下部消化管穿孔2症例の検討. 第44回日本集中治療医学会学術集会, 札幌; 2017年3月
- 2) Kobayashi T*, Takahashi K*, Onodera Y, Akimoto R, Suzuki H, Iwabuchi M, Okada M, Nakane M*, Kawamae K : Manual ASV vs INTELLiVENT-ASV for patients after cardiac surgery -Which is a better mode for the patients?-. 第44回日本集中治療医学会学術集会, 札幌; 2017年3月
- 3) 小野寺悠, 高橋一則*, 鎌水健也, 秋元亮, 杉浦明日美, 小林忠宏*, 岩渕雅洋, 岡田真行, 中根正樹*, 川前金幸：上気道狭窄による呼吸困難に対して経鼻高流量酸素療法を用いて呼吸仕事量軽減を行った症例. 第44回日本集中治療医学会学術集会, 札幌; 2017年3月
- 4) 黒田美聡, 早坂達哉, 高橋菜々子, 八島望, 狩野峻子, 鈴木麻奈美, 鈴木博人, 中根正樹*, 川前金幸：挫滅症候群による横紋筋融解症から急性腎障害をきたし, 経過中腸管穿孔を発症し救命しえなかった症例. 第44回日本集中治療医学会学術集会, 札幌; 2017年3月
- 5) 鎌水健也, 鈴木博人, 早坂達哉, 栗原一貴, 黒田美聡, 宇賀神のりえ, 成澤あゆ香, 大瀧恵, 中根正樹*, 川前金幸：喉頭に陥入した義歯を抜去した後に縦隔気腫, 気胸を発症した一例. 第44回日本集中治療医学

会学術集会, 札幌; 2017年3月

- 6) 石山智之*, 吉岡淳*, 須賀恭子*, 佐藤萌*, 片平志穂*, 小野寺悠, 秋元亮, 鈴木博人, 中根正樹*, 川前金幸: マスクのずれで生じる吸入酸素濃度の変化. 第44回日本集中治療医学会学術集会, 札幌; 2017年3月
- 7) 片平志穂*, 佐藤萌*, 須賀恭子*, 金子千佳子*, 中根正樹*, 川前金幸: 食物繊維大量投与による排便への影響〜パイロットスタディ〜. 第44回日本集中治療医学会学術集会, 札幌; 2017年3月
- 8) 佐藤萌*, 深瀬明日香*, 須賀恭子*, 金子千佳子*, 中根正樹*, 川前金幸: 離床時の写真を掲示することで早期離床は促進されるのか?. 第44回日本集中治療医学会学術集会, 札幌; 2017年3月

(2) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 山川真由美: オピオイド鎮痛薬 四方山話. 第56回山形臨床薬学研究会, 山形市; 2017年1月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会, 山形市; 2017年2月

麻酔科学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Hayashi M*, Yaguchi Y*, Okamura K*, Goto E*, Onodera Y, Sugiura A, Suzuki H, Nakane M*, Kawanae K, Suzuki T*: A case of extensive burn without sepsis showing high level of plasma presepsin (sCD14-ST). *Burns Open*. 2017; 1: 33-36
- 2) Onodera Y, Akimoto R, Suzuki H, Okada M, Nakane M*, Kawamae K: A high-flow nasal cannula system with relatively low flow effectively washes out CO₂ from the anatomical dead space in a sophisticated respiratory model made by a 3D printer. *Intensive Care Medicine Experimental*. 2018; 6: 7
- 3) Yashima N, Watanabe T, Kurota M, Kumasaka A, Kurihara F, Otaki K, Oda S, Kawamae K: Autologous transfusion in radical prostatectomy: Assessment of coagulability by rotational thromboelastometry. *Yamagata Med J*. 2017; 35(2): 108-114
- 4) 志田敏宏*, 山川真由美, 鈴木幸子*, 白石正*: フェンタニル速効性製剤で口腔内の痺れ、疼痛および味覚障害が発現した1例. *Palliative Care Research: 日本緩和医療学会誌*. 2017; 12(2): 526-529
- 5) 井筒美和, 工藤雅哉, 川前金幸: Na⁺, K⁺-ATPase 阻害薬 PBI-05204 による脳虚血傷害後の治療効果の検討. *山形医学*. 2017; 35(2): 78-89

(2) 総説及び解説

- 1) 八島望, 伊藤隆史**, 垣花泰之**, 丸山征郎**: 敗血症における血栓形成の生理と病理. *日本外科感染症学会雑誌*. 2017; 14(6): 705-711 E
- 2) 鎌水健也, 秋元亮, 中根正樹*: 慢性閉塞性肺疾患一術後合併症を防ぐため、練りに練った戦略を立てておく. *LISA*. 2017; 24(9): 836-841
- 3) 松内太郎, 小野寺悠, 中根正樹*: ICUにおける感染性合併症 人工呼吸器関連肺炎 限られた時間で確実に病態を緩解していく. *LiSA*. 2017; 24(12): 1148-1154
- 4) 早坂達哉, 小野寺悠, 中根正樹*: 特集 救命救急スキル便利帖①—すぐに役立つ A, B, C 最近注目されている人工呼吸法 ASV, APRV, PAV+, AVAPS. *救急医学*. 2017; 41(7): 779-787
- 5) 黒木雅大, 中根正樹*: 人工呼吸を見る目が変わる! まるごと PEEP マスターガイド (Theme 1) PEEP の基本がわかる5つのPoints. *呼吸器ケア*. 2017; 15(10): 958-966

(3) 著書

- 1) 川前金幸: 集中治療(1)呼吸・循環管理. 山蔭道明, 廣田和美監修, 麻酔科学レビュー2018. 東京; 総合医学社, 2018: 302-309
- 2) 八島望, 川前金幸: 急性呼吸促拍症候群. 高橋眞弓, 河本昌志, 白神豪太郎, 萩平哲編集, 麻酔偶発症 A to Z. 東京; 文光堂, 2017: 96-97
- 3) 成澤あゆ香, 川前金幸: 術後早期の呼吸不全. 高橋眞弓, 河本昌志, 白神豪太郎, 萩平哲編集, 麻酔偶発症 A to Z. 東京; 文光堂, 2017: 98-99
- 4) 森谷真知佳, 川前金幸: 手術後の呼吸停止・無呼吸. 高橋眞弓, 河本昌志, 白神豪太郎, 萩平哲編集, 麻酔偶発症 A to Z. 東京; 文光堂, 2017: 100-101
- 5) 高橋菜々子, 川前金幸: 全身麻酔後の睡眠時無呼吸症候群. 高橋眞弓, 河本昌志, 白神豪太郎, 萩平哲編集, 麻酔偶発症 A to Z. 東京; 文光堂, 2017: 118-120
- 6) 森谷真知佳, 中根正樹*: (侵襲的)人口呼吸管理. 西村匡司編集, ER・ICUにおける手技の基本と実際. 東京; 総合医学社, 2017: 47-53
- 7) 小野寺悠: 非侵襲的陽圧換気 (NPPV) ハイフローセラピー (HFT) 経鼻高流量酸素療法への適応、どこで線引きするか. 中根正樹 監修, 人工呼吸管理の「わかりません!」を29人の腕利きエースが解決する本. 大阪; メディカ出版, 2017: 188-196

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 一般演題

- 1) Takahashi K*, Sakaguchi K*, Onodera Y, Sugiura A, Kobayashi T*, Yashiro Y*, Kawamae K, Nakane M*: Laser Doppler Flowmetry Can Be An Alternative To Capillary Refill Time For Evaluating Peripheral Circulation. ESCIM EUROASIA 2017, Hong Kong; April 2017
- 2) Sakaguchi K*, Takahashi K*, Onodera Y, Sugiura A, Kobayashi T*, Yashiro Y*, Kawamae K, Nakane M*: Cerebral Oxygenation In The Trendelenburg Position Versus The Modified Trendelenburg Position. ESCIM EUROASIA 2017, Hong Kong; April 2017
- 3) Kumasaka A, Akimoto R, Sugiura A, Oda S, Kawamae K: The effects of sevoflurane and desflurane anesthetics on regional cerebral oxygen saturation during the operation of lower extremities with pneumatic tourniquet. Euroanaesthesia 2017, Geneva; June 2017
- 4) Kurota M, Otaki K, Terada T*, Kotake Y*, Ochiai R*, Kawamae K: Comparison between noninvasive estimated continuous cardiac output and arterial pressure cardiac output under general anesthesia. Euroanaesthesia 2017, Geneva; June 2017
- 5) Kobayashi T*, Onodera Y, Suzuki H, Nakane M*, Kawamae K: Manual ASV vs INTELLiVENT-ASV for patients after cardiac surgery. 30TH ESICM ANNUAL CONGRESS, Wien; Sep 2017
- 6) Onodera Y, Akimoto R, Kobayashi T*, Suzuki H, Nakane M*, Kawamae K: A high flow nasal cannula during sleep reduces inspiratory effort but does not reduce respiratory rate. 30TH ESICM ANNUAL CONGRESS, Wien; Sep 2017
- 7) Kenya Yarimizu, Yu Onodera, Tadahiro Kobayashi*, Masaki Nakane*, Kaneyuki Kawamae: Evaluation of exhaled carbon dioxide measured by volumetric capnography with a respiratory model mimicking NPPV. 30TH ESICM ANNUAL CONGRESS, Wien; Sep 2017

(2) 国内の学会

i 一般演題

- 1) 岡田真行, 高橋菜々子, 川前金幸: 胸壁のブロック (前鋸筋-肋間筋面/前鋸筋面ブロック、胸筋神経ブロック) の胸腔鏡手術の術後痛に対する効果. 日本区域麻酔学会第4回学術集会, 名古屋; 2017年4月
- 2) 岡田真行, 森谷真知佳, 飯澤和恵, 川前金幸: 緊急開腹手術の術後鎮痛に適した神経ブロック法は何かー持続硬膜外ブロックと腹横筋膜面ブロックの比較ー. 日本麻酔科学会第64回学術集会, 神戸; 2017年6月
- 3) 高橋菜々子, 鈴木博人, 松浦優, 豊島歩美, 鈴木麻奈美, 川前金幸: Oxygen Reserve Index (ORi) 測定の分離肺換気手術における有用性の検討. 日本麻酔科学会第64回学術集会, 神戸; 2017年6月
- 4) 鈴木麻奈美, 鎌水健也, 高橋菜々子, 成澤あゆ香, 鈴木博人, 川前金幸: 全身麻酔覚醒・抜管後の経過観察時における Oxygen Reserve Index の有用性の検討. 日本麻酔科学会第64回学術集会, 神戸; 2017年6月
- 5) 山川真由美, 志田敏宏, 斎藤一美, 芳賀和幸, 森谷真知佳, 白石正: 経皮呼吸型持続性疼痛治療剤はMRI検査時に剥がさなければならないのか?. 第11回日本緩和医療薬学会年会, 北海道; 2017年6月
- 6) 秋元亮, 早坂達哉, 高橋菜々子, 小野寺悠, 小林忠宏*, 中根正樹*, 川前金幸: 呼気流量の違いによる呼気一酸化窒素濃度の測定値変化. 第39回日本呼吸療法医学会学術集会, 東京; 2017年7月
- 7) 佐藤萌*, 須賀恭子*, 小野寺悠, 石山智之*, 鈴木潤, 金子千佳子*, 中根正樹*, 川前金幸: 集中治療室から一般病棟へ継続したリハビリテーションを進めていくためには～人口呼吸器装着症例のリハビリテーションを通して～. 第39回日本呼吸療法医学会学術集会, 東京; 2017年7月
- 8) 鎌水健也, 秋元亮, 黒田美郷, 小野寺悠, 鈴木博人, 中根正樹*, 川前金幸: 大動脈弁置換術直後に硬膜下血腫の存在が判明した Heyde 症候群の1例. 第22回心臓血管麻酔学会, 栃木; 2017年9月
- 9) 小林忠宏*, 坂口健人*, 小野寺悠, 屋代祥典*, 川前金幸, 中根正樹*: 家庭用洗剤の服毒により重篤な乳酸アシドーシスをきたした1例. 第45回日本救急医学会総会・学術集会, 大阪; 2017年10月
- 10) 高橋菜々子, 鈴木博人, 松浦優, 渡邊具史, 黒田美聡, 鈴木麻奈美, 川前金幸: Oxygen Reserve Index (Ori)

- が呼吸管理に有効だった頭頸部悪性腫瘍の2症例. 日本臨床麻酔学会第37回大会, 東京; 2017年11月
- 11) 森谷真知佳, 飯澤和恵, 岡田真行, 川前金幸: アミノ酸の術中投与が術後の血中アミノ酸と蛋白異化に及ぼす影響. 日本臨床麻酔学会第37回大会, 東京; 2017年11月
 - 12) 松浦優, 高橋菜々子, 渡邊具史, 黒田美聡, 鈴木麻奈美, 鈴木博人, 川前金幸: 全身麻酔患者における瞳孔記録計NPi-200の使用経験と評価. 日本臨床麻酔学会第37回大会, 東京; 2017年11月
 - 13) 鈴木博人, 山口竜平, 栗原一貴, 小野寺悠, 秋元亮, 中根正樹*, 川前金幸: 健常ボランティアにおけるO3®とINVOS® 5100Cで測定した脳組織酸素飽和度の比較検討. 日本蘇生学会第36回大会, 東京; 2017年11月
 - 14) 川前金幸: 心肺蘇生の気道確保 院内・院外・そして教育. 日本蘇生学会第36回大会, 東京; 2017年11月
 - 15) 小野寺悠, 栗原一貴, 秋元亮, 鈴木博人, 中根正樹*, 川前金幸: 蘇生しえなかったCongenital high airway obstruction syndromeの一例. 日本蘇生学会第36回大会, 東京; 2017年11月
 - 16) 黒田美聡, 黒木雅大, 山口竜平, 阿部駿, 高橋菜々子, 中村直久, 松浦優, 小野寺悠, 中根正樹*, 川前金幸: 当院における成人心臓手術後の長期挿管の発生率およびその危険因子の検討. 第45回日本集中治療医学会学術集会, 千葉; 2018年2月
 - 17) 松内太郎, 小野寺悠, 鎌水健也, 栗原一貴, 黒田美聡, 鈴木博人, 中根正樹*, 川前金幸: BT シヤント術後にCVCの血管外逸脱と右胸腔内への迷入が判明した乳児の1例. 第45回日本集中治療医学会学術集会, 千葉; 2018年2月
 - 18) 鎌水健也, 小野寺悠, 高橋菜々子, 松浦優, 黒田美聡, 栗原一貴, 秋元亮, 鈴木博人, 中根正樹*, 川前金幸: 麻酔導入時の中等量ステロイド単回投与は心拍動下冠動脈バイパス手術の術後CRP最高値を低下させる. 第45回日本集中治療医学会学術集会, 千葉; 2018年2月

(3) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 黒木雅大, 小野寺悠, 秋元亮, 鈴木博人, 中根正樹*, 川前金幸: 選択的脳分離体外循環中にrSO₂は変動なくNeurological Pupil indexが低下した一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第7回学術集会, 秋田; 2017年9月
- 2) 秋元亮, 鎌水健也, 松浦優, 小野寺悠, 中根正樹*, 川前金幸: 一過性にNPiが極端な低値を示したものの神経予後が良好であった急性大動脈解離の一例. 日本集中治療医学会第1回東北支部学術集会, 弘前; 2017年7月
- 3) 市川一誠*, 小野寺悠, 高橋 大*, 岩渕雅洋**, 中根正樹*, 川前金幸: 高尿素窒素血症と低カリウム血症を合併した偶発性低体温症に対してCHDFで治療した一例. 日本集中治療医学会第1回東北支部学術集会, 弘前; 2017年7月
- 4) 小野寺悠, 鎌水健也, 石山智之*, 吉岡 淳*, 中根正樹*, 川前金幸: Hamilton G-5使用中に生じた換気およびモニタトラブル. 日本集中治療医学会第1回東北支部学術集会, 弘前; 2017年7月
- 5) 早坂達哉, 小野寺悠, 鈴木博人, 中根正樹*, 川前金幸: Average volume assured pressure support及び大量利尿を行い挿管人工呼吸管理を回避しながら救命した呼吸循環不全を呈していた肥満低換気症候群の一例. 日本集中治療医学会第1回東北支部学術集会, 弘前; 2017年7月

(4) 研究会

i 一般演題

- 1) 早坂達哉, 鈴木博人, 中根正樹, 川前金幸: 挿管時, カブノモニタでCO₂波形を確認・両側の肺野で聴診を確認できたにも関わらず, 食道挿管であった一例. 第24回山形麻酔懇話会, 山形; 2017年7月
- 2) 松内太郎, 森谷真知佳, 鈴木博人, 岡田真行, 川前金幸: 高アンモニア血症を呈する門脈体循環短絡症に対する静脈管結紮術を施行した2歳児の麻酔経験. 第24回山形麻酔懇話会, 山形; 2017年7月
- 3) 鎌水健也, 鈴木博人, 小野寺悠, 秋元亮, 中根正樹, 川前金幸: 損傷歯牙の発見が遅れ脱落歯による無気肺を生じた心臓血管外科術後の1例. 第24回山形麻酔懇話会, 山形; 2017年7月
- 4) 永嶋瞬, 高橋菜々子, 森谷真知佳, 鈴木博人, 川前金幸: 術後覚醒遅延の精査により偶然見つかった脳幹部腫瘍の一例. 第24回山形麻酔懇話会, 山形; 2017年7月
- 5) 八島望, 伊藤隆史: 遺伝子組換えトロンボモジュリン製剤の効果を引き出すにあたって凝固検査は有用

- か?．第12回日本血栓止血学会学術標準化委員会(SSC)シンポジウム，東京；2018年2月 E
- 6) 八島望，伊藤隆史，十時崇彰，垣花泰之，丸山征郎：プリコラージュ型抗凝固分子トロンボモジュリンの効果の規定する凝固因子・抗凝固因子濃度．第18回TTMフォーラム，東京；2018年3月 E

(5) 座 長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 川前金幸：呼吸療法～温故知新～．第39回日本呼吸療法医学会学術集会，東京；2017年7月
- 2) 川前金幸：Temperature: From Greek To Future．日本麻酔科学会北海道・東北支部第7回学術集会，秋田；2017年9月
- 3) 川前金幸：蘇生の知、技と心．日本蘇生学会第36回大会，東京；2017年11月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 川前金幸：災害医療と麻酔．日本臨床麻酔学会第37回大会，東京；2017年11月
- 2) 川前金幸：蘇生学の歴史．日本蘇生学会第36回大会，東京；2017年11月

iii 一般演題

- 1) 岡田真行：一般演題 (A)．第24回山形麻酔懇話会，山形；2017年7月
- 2) 秋元亮：一般演題 (B)．第24回山形麻酔懇話会，山形；2017年7月

3. 学会，講演会，シンポジウム，ワークショップ等の開催

- 1) 第24回山形麻酔懇話会，山形；2017年7月
- 2) 第42回東北ペインクリニック学会，山形；2018年3月

歯科口腔・形成外科学講座

1. 論文

(1) 症例報告

- 1) Ishikawa S, Watanabe T, Iino M : Acute septic arthritis of the temporomandibular joint derived from otitis media: a report and review of the English and Japanese literature. Oral Maxillofac Surg. 2017 ; 21(1) : 83-85

(2) 著書

- 1) 石川恵生, 飯野光喜 : 歯の外傷. 全国医学部附属病院歯科口腔外科科長会議監修, 口の中がわかる ビジュアル 歯科口腔外科読本. クインテッセンス出版, 2017 : 111-112

(3) その他

- 1) 加藤菜々美, 片桐霽香, 滝口怜奈, 吉田優翔, 山森郁 : 食物残渣除去への洗口の効果と細菌数の比較. 平成 28 年度 3 学年テーマ研究「研究収録」. 2017 : 25-27

2. 学会報告及び座長

(1) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 山森郁, 井場明日香, 村上頌, 吉岡千穂, 石川恵生, 遊佐和之, 北畠健一朗, 橘寛彦, 飯野光喜 : 山形大学医学部附属病院歯科口腔外科における周術期口腔管理の実態. 第 43 回山形県公衆衛生学会, 山形; 2017 年 3 月
- 2) 吉田雪絵, 邵力, 橘寛彦, 張旭紅, 川崎良, 飯野光喜 : 口腔癌における microRNA による新たな診断マーカーの検討. 第 43 回山形県公衆衛生学会, 山形; 2017 年 3 月

歯科口腔・形成外科学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Kazuyuki Yusa, Hideyuki Yamanouchi**, Yukie Yoshida**, Shigeo Ishikawa, Hiromasa Sakurai**, Mitsuyoshi Iino: Evaluation of quality of life and masticatory function in patients treated with mandibular reconstruction followed by occlusal rehabilitation with dental implants: A preliminary report. Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology. 2017; 9(6): 499-503
- 2) Ishikawa S, Sugimoto M**, Kitabatake K, Tu M**, Sugano A, Yamamori I, Iba A, Yusa K, Kaneko M**, Ota S**, Hiwatari K**, Enomoto A**, Masaru T**, Iino M: Effect of timing of collection of salivary metabolomic biomarkers on oral cancer detection. Amino Acids. 2017 Apr;49(4): 761-770 B
- 3) 山森郁, 吉岡千穂, 北畠健一朗, 飯野光喜: 当科における周術期口腔機能管理対象者の口腔状態. みちのく歯學會雑誌. 2017; 48(1・2): 14-15
- 4) 北畠健一朗, 石川恵生, 山森郁, 遊佐和之, 橘寛彦, 飯野光喜: 当科における歯原性角化嚢胞(OKC), 正角化性歯原性嚢胞(OOC)の臨床的検討. みちのく歯學會雑誌. 2017; 48(1・2): 46-48

(2) 症例報告

- 1) Kazuyuki Yusa, Hideyuki Yamanouchi, Akira Takagi, Mitsuyoshi Iino: Three-dimensional printing model as a tool to assist in surgery for large mandibular tumour: a case report. Journal of Oral & Maxillofacial Research. 2017; 8(2): e4
- 2) Kazuyuki Yusa, Hideyuki Yamanouchi, Ayako Sugano, Mitsuyoshi Iino: Successful outcome of low-dose S-1 used to treat buccal squamous cell carcinoma. Case Reports in Oncological Medicine. 2017; 2017: 4537631
- 3) 菅野絢子, 尾崎尚, 遊佐和之, 山之内秀之, 橘寛彦, 飯野光喜: 幼児の両側下顎歯肉に生じた周辺性歯原性線維腫の1例. 日本口腔外科学会雑誌. 2017; 63(6): 294-297
- 4) 矢野亜希子, 菊地憲明, 池山有子, 鴻池紗耶: 軽微な外傷より発症した顔面劇症型溶連菌感染症の1例. 日本形成外科学会誌. 2017; 37(6): 298-302
- 5) 田村梨紗, 菊地憲明, 矢野亜希子: 外傷を契機に若年女性の腸骨部に発症した hidradenoma の1例. 日本形成外科学会誌. 2017; 37(6): 303-308
- 6) 中村麻里奈, 櫻井博理, 菊地憲明, 飯野光喜, 五十嵐一吉: 重度な中顔面劣成長の改善を目的として Le Fort III 型骨延長術後に Le Fort I 型骨切り術を施行した Apert 症候群の1例. 日本顎変形症学会雑誌. 2017; 27(1): 8-16

(3) 著書

- 1) 飯野光喜, 石川恵生: 歯周病. 太田伸男編, 口腔・舌病変をみる一初期病変も見逃さないポイント. (ENTONI. No215) 東京; 全日本病院出版会, 2018: 70-77

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 飯野光喜, 櫻井博理: シンポジウム 2「上顎欠損に対する広範囲顎骨支持型装置」上顎欠損に対する広範囲顎骨支持型装置—山形大学および日本海総合病院の症例について—. 第21回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, 富山; 2017年12月

ii 一般演題

- 1) 石川恵生, 北畠健一朗, 菅野絢子, 山森郁, 井場明日香, 遊佐和之, 橘寛彦, 飯野光喜: 唾液中代謝物を測定する際の唾液採取条件に関する研究～口腔癌スクリーニングのために～. 第71回日本口腔科学会学術集会, 松山; 2017年4月

- 2) 小林武仁^{**}, 飯野光喜: 当院における顎顔面外傷の現状. 第19回日本顎顔面外傷学会総会・学術大会, 札幌市; 2017年7月 E
- 3) 菊地憲明, 沼倉周彦^{*}: 翼状顎・翼状肩甲があり筋骨格系疾患を疑わせた CHARGE 症候群の1例. 第57回日本先天異常学会, 東京; 2017年8月
- 4) 菊地憲明: 趾間装具によるフットケアの経験. 第19回日本褥瘡学会, 盛岡市; 2017年9月
- 5) 山森郁, 遊佐和之, 石川恵生, 飯野光喜: 上下顎および舌に発生した先天性エプーリスの1例. 第62回日本口腔外科学会総会・学術大会, 京都市; 2017年10月
- 6) 石川恵生, 北島健一朗, 飯野光喜: 唾液中代謝物による口腔がんスクリーニングに関する研究. 第62回日本口腔外科学会総会・学術大会, 京都市; 2017年10月
- 7) 橘寛彦, 逸見朋陽, 川口太郎, 北島健一郎, 遊佐和之, 飯野光喜: 顔面多発骨折変形治療に対し咬合再建を行った1例. 第21回顎顔面インプラント学会総会, 富山; 2017年12月
- 8) 菊地憲明, 矢野亜希子^{**}, 田村理紗^{**}, 鴻池紗耶^{**}: Cross-leg 法による遊離組織移植と下肢バイパス手術により救肢し得た Buerger 病症例の術後6年9ヵ月の長期経過報告. 第44回日本マイクロサージャリー学会, 宮崎; 2017年12月
- 9) 北島健一朗, 石川恵生, 遊佐和之, 橘寛彦, 飯野光喜: 早期口腔癌患者の術前 NLR, PLR, LMR と予後との関連についての検討. 第36回口腔腫瘍学会総会・学術大会, 新潟; 2018年1月

(2) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 山森郁, 遊佐和之, 石川恵生, 飯野光喜: 先天性エプーリスの1例. 第45回日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 函館市; 2017年5月
- 2) 吉岡千穂, 山森郁, 井場明日香, 村上頌, 石川恵生, 遊佐和之, 北島健一朗, 橘寛彦, 飯野光喜: 山形大学医学部附属病院歯科口腔外科における周術期口腔管理の実態. 第45回日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 函館市; 2017年5月
- 3) 橘寛彦, 吉岡千穂, 山森郁, 石川恵生, 遊佐和之, 逸見朋陽, 北島健一朗, 菊地憲明, 飯野光喜: 顔面多発骨折変形治療に対し上顎臼歯部の部分骨切りと骨造成・インプラントにより咬合回復を行った1例. 第45回日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 函館市; 2017年5月
- 4) 山森郁, 吉岡千穂, 北島健一朗, 飯野光喜: 当科における周術期口腔機能管理対象者の口腔状態. 第70回東北地区歯科医学会, 福島市; 2017年11月
- 5) 北島健一朗, 石川恵生, 山森郁, 遊佐和之, 橘寛彦, 飯野光喜: 当科における歯原性角化嚢胞(OKC), 正角化性歯原性嚢胞(OOC)の臨床的検討. 第70回東北地区歯科医学会, 福島市; 2017年11月

(3) 研究会

i 一般演題

- 1) 菊地憲明, 矢野亜希子, 田村理紗: 下腿遠位バイパス術と遊離皮弁にて救済したバージャー病症例の長期成績. 第22回山形形成外科懇話会, 山形市; 2017年7月
- 2) 田崎紘之, 柏英雄, 徳永雅己, 田村理紗, 菊地憲明: 稀な中足骨重複と基節骨の癒合を伴う軸後性多趾症の経験. 第22回山形形成外科懇話会, 山形市; 2017年7月

(4) 座 長

i 一般演題

- 1) 飯野光喜: 基礎・その他2. 第71回日本口腔科学会学術集会, 松山; 2017年4月
- 2) 飯野光喜: 動注RT. 第41回日本頭頸部癌学会, 京都; 2017年6月
- 3) 飯野光喜: 先天異常2. 第62回日本口腔外科学会総会・学術大会, 京都; 2017年10月
- 4) 飯野光喜: 広範囲顎骨支持型装置. 第21回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, 富山; 2017年12月
- 5) 飯野光喜: パイオマーカ. 第36回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 新潟; 2018年1月
- 6) 飯野光喜: 口腔ケア歯科との連携. 第33回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 横浜; 2018年2月
- 7) 橘寛彦: 良性腫瘍・嚢胞② (1-A-7~25). 第45回日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 函館市; 2017年5月

(5) その他

- 1) 菊地憲明：Surgical Site Infection について. 大塚製薬工場, 山形市; 2017年4月
- 2) 石川恵生：早期口腔がんの発見と課題. 第2回口腔がん早期発見セミナー, 名古屋; 2017年6月
- 3) 石川恵生：早期口腔がんの発見と課題. 第3回口腔がん早期発見セミナー, 東京; 2017年10月

3. 学会等での受賞

- 1) 石川恵生：優秀口演発表賞. 第62回日本口腔外科学会総会・学術大会, 京都; 2017年10月

救急医学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Munshi L**, Kobayashi T, DeBacker J**, Doobay R**, Telesnicki T**, Lo V**, Cote N**, Cypel M**, Keshavjee S**, Ferguson ND**, Fan E**: Intensive Care Physiotherapy during Extracorporeal Membrane Oxygenation for Acute Respiratory Distress Syndrome. *Ann Am Thorac Soc.* 2017; 14(2): 246-253 E

(2) 総説及び解説

- 1) 高橋菜々子, 小野寺悠, 中根正樹: 【急性期呼吸管理の基礎と実践】 EIT(Electrical impedance tomography) 基礎と実践 特徴と適応. *ICU と CCU.* 2017; 41(1): 41-50

(3) その他

- 1) 黒田美聡, 中根正樹: 【ARDS—その常識は正しいか?—】 ARDS 患者の人工呼吸療法 その常識は正しいか? PEEP の設定は PEEP table によるのか?. *救急・集中治療.* 2017; 29(1-2): 63-68

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 中根正樹: ARDS に対する薬物療法の最新知識. 第 44 回日本集中治療医学会学術集会, 札幌; 2017 年 3 月
- 2) 中根正樹: 救命救急センターの無い地方大学病院で救急科専門医を増やすには. 第 38 回全国国公立大学病院救急部協議会, 大阪; 2017 年 2 月

ii 一般演題

- 1) 小林忠宏, 高橋一則, 小野寺悠*, 秋元亮*, 鈴木博人*, 岩渕雅洋**, 岡田真行*, 中根正樹, 川前金幸*: Manual ASV vs INTELLiVENT-ASV for patients after cardiac surgery -Which is a better mode for the patients?-. 第 44 回日本集中治療医学会総会・学術集会, 札幌; 2017 年 3 月

(2) 研究会

i 一般演題

- 1) 坂口健人, 高橋一則, 小林忠宏, 屋代祥典, 久下淳史, 川前金幸, 佐藤光弥, 中根正樹: 一時心停止に至った高位脊髄損傷が疑われた一例. 第 18 回山形救急懇話会, 山形; 2017 年 2 月
- 2) 高橋一則, 坂口健人, 小野寺悠, 小林忠宏, 屋代祥典, 川前金幸, 中根正樹: 末梢循環の評価方法としてレーザー血流計は毛細血管再充満時間の代わりとなるか. 第 18 回山形救急懇話会, 山形; 2017 年 2 月
- 3) 鎌水健也, 早坂達哉, 小野寺悠, 秋元亮, 鈴木博人, 小林忠宏, 屋代祥典, 中根正樹, 川前金幸: 輪状甲状間膜穿刺キットが甲状軟骨を貫通し食道内に誤留置された 1 例. 第 18 回山形救急懇話会, 山形; 2017 年 2 月

(3) 座長

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 中根正樹: 人工呼吸管理の進歩とリハビリテーション. 第 44 回日本集中治療医学会学術集会, 札幌; 2017 年 3 月
- 2) 中根正樹: 症例カンファレンス 敗血症(ペースメーカー有). 第 44 回日本集中治療医学会学術集会, 札幌; 2017 年 3 月

(4) その他

- 1) 中根正樹: 最適 PEEP へのアプローチ. 第 15 回徳島人工呼吸セミナー, 徳島; 2017 年 3 月

救急医学講座

1. 論文

(1) 総説及び解説

- 1) 坂口健人, 小林忠宏, 中根正樹:【今日から使える「指標」と「基準」】病態生理からみた指標と基準 酸素化と換気の指標・基準. 救急医学. 2018; 42(2): 129-137
- 2) 小林忠宏:【哲人が語る!換気モード】(Theme 3)COPD. 呼吸器ケア. 2017; 15(12): 93-96
- 3) 松内太郎, 小野寺悠, 中根正樹:【ICUにおける感染性合併症】人工呼吸器関連肺炎 限られた時間で確実に病態を紐解いていく. LiSA. 2017; 24(12): 1148-1154
- 4) 中根正樹:【人工呼吸を見る目が変わる!まるごと PEEP マスターガイド】(Theme 2)最適な PEEP を考えるときの5つのKey Words. 呼吸器ケア. 2017; 15(10): 15-23
- 5) 坂口健人, 中根正樹:【エキスパートに学ぶ呼吸管理のすべて】アドバンス編 重症呼吸不全治療をワンランクアップさせるために 人工呼吸法の限界とほかの治療法. 救急・集中治療. 2017; 29(9-10): 770-773
- 6) 黒木雅大, 中根正樹:【人工呼吸を見る目が変わる!まるごと PEEP マスターガイド】(Theme 1)PEEPの基本がわかる5つのPoints. 呼吸器ケア. 2017; 15(10): 6-14
- 7) 鎌水健也, 秋元亮, 中根正樹:【呼吸器疾患患者の周術期管理】慢性閉塞性肺疾患 術後合併症を防ぐため, 練りに練った戦略を立てておく. LiSA. 2017; 24(9): 836-841
- 8) 早坂達哉, 小野寺悠, 中根正樹:【救命救急スキル便利帖(1)一すぐに役立つA, B, C】最近注目されている人工呼吸法 ASV, APRV, PAV+, AVAPS. 救急医学. 2017; 41(7): 779-787

(2) その他

- 1) 小林忠宏:【エキスパートに学ぶ呼吸管理のすべて】ビギナーズ編 呼吸不全と身体所見. 救急・集中治療. 2017; 29(9-10): 663-670
- 2) 森谷真知佳, 中根正樹:【ER・ICUにおける手技の基本と実際—ベテランに学ぶトラブル回避法—】気道の確保・呼吸管理 (侵襲的)人工呼吸管理. 救急・集中治療. 2017; 29 巻臨増: e47-e53

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 一般演題

- 1) Kobayashi K, Onodera Y*, Suzuki Y*, Nakane M, Kawamae K*: Manual ASV vs INTELLiVENT-ASV for the patients after cardiac surgery—are automated ventilators better for the patients?. ESICM LIVES 2017, Vienna; September 2017
- 2) Sakaguchi K, Takahashi K, Onodera Y*, Sugiura A*, Kobayashi T, Yashiro Y, Kawamae K*, Nakane M: Cerebral oxygenation in the Trendelenburg position versus the modified Trendelenburg position. ESICM Euro Asia, Hong Kong; April 2017
- 3) Takahashi K, Sakaguchi K, Onodera Y*, Sugiura A*, Kobayashi T, Yashiro Y, Kawamae K*, Nakane M: Laser Doppler flowmetry can be an alternative to capillary refill time for evaluating peripheral circulation. ESICM Euro Asia, Hong Kong; April 2017

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 中根正樹:救命救急センターの無い地方大学病院で救急科専門医を増やすには?. 第45回日本救急医学会総会・学術集会, 大阪; 2017年10月
- 2) 中根正樹:エキスパートによる症例検討会. 第39回呼吸療法医学会学術集会, 東京; 2017年7月
- 3) 中根正樹:救急・ICU 輸液の指標をどうするか 非侵襲的に測定可能な中心静脈径の評価は中心静脈圧を予測する上で有用である. 日本麻酔科学会第64回学術集会, 神戸; 2017年6月
- 4) 中根正樹:人工呼吸管理の基礎. 日本麻酔科学会第64回学術集会(麻酔科領域講習)リフレッシャーコー

ス), 神戸; 2017年6月

ii 一般演題

- 1) 小林忠宏, 坂口健人, 高橋一則, 松内太郎*, 小野寺悠*, 秋元亮*, 鈴木博人*, 中根正樹, 川前金幸*: A new potential of Proportional Assist Ventilation Plus (PAV+) -Can we use it as a monitor?-. 第45回日本集中治療医学会総会・学術集会, 幕張; 2018年2月
- 2) 小林忠宏, 坂口健人, 小野寺悠*, 屋代祥典, 川前金幸*, 中根正樹: 家庭用洗剤の服毒により重篤な乳酸アシドーシスをきたした1例. 第45回日本救急医学会総会・学術集会, 大阪; 2017年10月
- 3) 高橋一則, 坂口健人, 小野寺悠*, 小林忠宏, 屋代祥典, 川前金幸*, 中根正樹: 救急搬送患者の初療における末梢循環血流量と quick SOFA との関連性. 第45回日本救急医学会総会・学術集会, 大阪; 2017年10月

(3) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 高橋一則, 菊原万希子, 坂口健人, 小野寺悠, 小林忠宏, 川前金幸, 中根正樹: 急激な呼吸状態の悪化を来した有機リン中毒の1例. 第32回日本中毒学会東日本地方会, 山形; 2018年1月
- 2) 菊原万希子, 坂口健人, 高橋一則, 小野寺悠, 小林忠宏, 屋代祥典, 川前金幸, 中根正樹: アルカリ誤飲による腐食性食道炎の一例. 第32回日本中毒学会東日本地方会, 山形; 2018年1月
- 3) 坂口健人, 高橋一則, 小林忠宏, 屋代祥典, 久下淳史, 佐藤光弥, 川前金幸, 中根正樹: 頭頂部への落下物による外傷により心肺停止をきたした一例. 第31回東北救急医学会総会・学術集会, 秋田; 2017年6月
- 4) 高橋一則, 坂口健人, 小野寺悠, 小林忠宏, 屋代祥典, 川前金幸, 中根正樹: 両側下肢痛で発症した両側腸腰筋血腫の1例. 第31回東北救急医学会総会・学術集会, 秋田; 2017年6月

(4) 研究会

i 一般演題

- 1) 坂口健人, 高橋一則, 小野寺悠, 小林忠宏, 川前金幸, 中根正樹: NIRO Pulse を用いた新しい心肺蘇生のモニタリング. 第19回山形救急懇話会, 山形; 2018年2月
- 2) 高橋一則, 菊原万希子, 坂口健人, 小野寺悠, 小林忠宏, 川前金幸, 中根正樹: 急性大動脈解離を発症した未診断妊婦において母児ともに救命できた1例. 第19回山形救急懇話会, 山形; 2018年2月

(5) 座 長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 中根正樹: 輸液管理の基礎 ICUにおける鎮静プロトコールの実践. 山形 ICU セミナー, 山形; 2017年10月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 中根正樹, 相嶋一登: 自施設の人工呼吸器を使いこなしていますか?—多機能は危険!?!—. 第39回呼吸療法医学会学術集会, 東京; 2017年7月

iii 一般演題

- 1) 中根正樹: 心臓・大血管手術3. 日本臨床麻酔学会第37回大会, 東京; 2017年11月
- 2) 中根正樹: 術後合併症(1). 日本心臓血管麻酔学会第22回学術大会, 下野; 2017年9月
- 3) 中根正樹: 優秀演題. 日本集中治療医学会第1回東北支部学術集会, 弘前; 2017年7月
- 4) 中根正樹: 周術期管理②. 日本麻酔科学会第64回学術集会, 神戸; 2017年6月

(6) その他

- 1) 中根正樹: 西村山地域の救急医療を考える. 西村山地方救急医療対策協議会救急隊員研修会, 寒河江; 2018年2月
- 2) 中根正樹: 敗血症における急性期呼吸管理の基本. 第10回東北セプシスセミナー, 仙台; 2018年1月
- 3) 小林忠宏: 医師の目から見た人工呼吸中のアセスメント. 第11回東京呼吸療法セミナー, 東京; 2017年12月
- 4) 中根正樹: 呼吸管理における各種モニタリング. 第3回呼吸モニタリングセミナー, 東京; 2017年12月
- 5) 中根正樹: 敗血症性ARDSとDIC. 旭化成ファーマ社内勉強会, 山形; 2017年11月
- 6) 小林忠宏: 呼吸不全の身体所見一視打触聴を使いこなそう. 第45回日本呼吸療法医学会セミナー, 東

- 京; 2017年11月
- 7) 小林忠宏 : 呼吸不全の身体所見—視打触聴を使いこなそう—。第10回やまがた呼吸療法セミナー, 山形; 2017年10月
 - 8) 中根正樹 : 敗血症性ARDSとDIC: 診断と治療戦略. Critical Care DIC Forum in Osaka, 大阪; 2017年10月
 - 9) 中根正樹 : Do not attempt resuscitation (DNAR) 指示を考える。山形県立新庄病院講演会, 新庄; 2017年8月
 - 10) 中根正樹 : 山形県における救急蘇生率の現状と今後の対応策。山形県医師会 救急・大規模災害等対策委員会, 山形; 2017年7月
 - 11) 小林忠宏 : NPPV体験実習(インストラクター参加)。日本呼吸療法医学会実技セミナー, 東京; 2017年7月
 - 12) 小林忠宏 : 呼吸不全の身体所見—視打触聴を使いこなそう—。第44回日本呼吸療法医学会セミナー, 神戸; 2017年5月
 - 13) 中根正樹 : 敗血症ARDSの呼吸管理をどう進めていくか。Anesthesia Seminar, 浜松; 2017年4月
 - 14) 中根正樹 : 西村山地域の救急医療を考える。山形県立河北病院講演会, 河北; 2017年4月

病理診断学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Namba H*, Narumi M*, Susa S*, Ohe R, Kato T*, Yamakawa M, Yamashita H*: Corneal vesicles accumulate collagen VI associated with tissue remodeling in apolipoprotein a-I deficiency: a case report. BMC Ophthalmol. 2017; 17(1): 11

2. 学会報告及び座長

(1) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 山口諒子*, 北岡匠*, 大江倫太郎, 樺澤崇允, 須藤文, 玉澤暢之, ナイン・イエイ・アウン*, 加藤智也, 山岸敦史*, 山川光徳: 右尿管周囲腫瘍の1例. 第84回日本病理学会東北支部学術集会, 宮城; 2017年2月

(2) 座長

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 山川光徳: 基調講演〈診断〉. Yamagata Lymphoma Seminar 2017, 山形; 2017年1月

ii 一般演題

- 1) 大江倫太郎: 一般演題. 第84回日本病理学会東北支部学術集会, 宮城; 2017年2月

(3) その他

- 1) 大江倫太郎: ALCLの病理診断について. Yamagata Lymphoma Seminar 2017, 山形; 2017年1月

病理診断学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Ohe R, Aung NY*, Shiono Y*, Utsunomiya A, Kabasawa T, Tamazawa N, Tamura Y, Kato T, Yamada A*, Hasegawa S*, Aizawa K*, Inokura K*, Ito S*, Toubai T*, Kato Y*, Tsunoda T*, Onami K*, Suzuki T*, Ishizawa K*, Yamakawa M: Detection of Minimal Bone Marrow involvement of Blastic Plasmacytoid Dendritic Cell Neoplastic Cells - CD303 immunostaining as a diagnostic tool. J Clin Exp Hematop. 2018; 58(1): 1-9

(2) 総説及び解説

- 1) 樺澤崇允, 大江倫太郎, 山川光徳: 9. 病理診断: 術中迅速診断. 産科と婦人科. 2018; 85(2): 185-189

(3) 症例報告

- 1) 柿崎泰明*, 牧野直彦*, 安藤嘉章*, 松田暁子*, 石澤哲也*, 齋藤吉彦*, 須藤文, 山川光徳, 木村理*, 上野義之*: 自己免疫性膵炎に併発した PanIN-3 の 1 例. 日本消化器病学会雑誌. 2017; 114(6): 1023-1030
- 2) 黒川真行*, 内藤整*, 一柳統*, 樺澤崇允, 黒田悠太*, 櫻井俊彦*, 西田隼人*, 川添久*, 加藤智幸*, 長岡明*, 山川光徳, 土谷順彦*: エベロリムス関連間質性肺疾患の自然軽快を認めた転移性腎癌の 1 剖検例. 泌尿器科紀要. 2017; 63(9): 377-380

(4) 著書

- 1) 鈴木利光**, 中村栄男**, 深山正久**, 山川光徳, 吉野正** 監訳, カラー ルービン病理学 臨床医学への基盤 改訂版. 東京: 西村書店, 2017 F
- 2) 大江倫太郎, 山川光徳: 第 20 章血液病理学①. 鈴木利光**, 中村栄男**, 深山正久**, 山川光徳, 吉野正** 監訳, カラー ルービン病理学 臨床医学への基盤 改訂版. 東京: 西村書店, 2017: 942-1028 F
- 3) 大江倫太郎, 山川光徳: C 骨髓系腫瘍 8 芽球形形質細胞様樹状細胞腫瘍. 通山薫, 張替秀郎編集, 血液細胞アトラス 第 6 版. 東京: 文光堂, 2018: 311-315 F

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i 一般演題

- 1) 須藤文, 大江倫太郎, 玉澤暢之, 樺澤崇允, ナイン・イエイ・アウン*, 加藤智也, 山川光徳: 神経芽腫の成分を含んだ成熟嚢胞性奇形腫の一例. 第 106 回日本病理学会総会, 東京: 2017 年 4 月
- 2) 玉澤暢之, 大江倫太郎, 樺澤崇允, 須藤文, ナイン・イエイ・アウン*, 加藤智也, 山川光徳: Anaplastic thyroid carcinoma, rhabdoid variant. 第 106 回日本病理学会総会, 東京: 2017 年 4 月
- 3) 福田瑞貴*, 赤池邦仁*, 石井芳樹*, 内山尚哉*, 佐藤ふみ*, 大江倫太郎, 樺澤崇允, 須藤文, 加藤智也, 山川光徳: (学生発表) AL 型アミロイドーシスと S 状結腸穿孔を合併した多発性骨髄腫の一例 — 結腸穿孔機序の組織学的解析 —. 第 106 回日本病理学会総会, 東京: 2017 年 4 月
- 4) 玉澤暢之, 大江倫太郎, 樺澤崇允, 宇都宮文, ナイン・イエイ・アウン*, 加藤智也, 黒田吉則*, 内田徹郎*, 貞弘光章*, 山川光徳: IgG4 関連大動脈炎に大動脈解離を生じた 1 例. 第 57 回日本リンパ網内系学会総会, 東京: 2017 年 6 月

(2) 国内地方会

i 一般演題

- 1) Naing YA*, Tamazawa N, Utsunomiya A, Kabasawa T, Ohe R, Kato T, Yamakawa M: Comparative study of estrogen receptors and progesterone receptors expression in tonsils between IgA nephropathy and non-IgA nephropathy. 第 57 回日本リンパ網内系学会総会, 東京: 2017 年 6 月
- 2) 鈴木一司*, 大江倫太郎, 樺澤崇允, 宇都宮文, 玉澤暢之, ナイン・イエイ・アウン*, 加藤智也, 矢野充泰*, 木村理*, 山本雅一**, 山川光徳: 潰瘍性大腸炎経過中に直腸穿孔を生じた 1 例. 第 85 回日本病理学会東北支部学術集会, 山形: 2017 年 7 月

- 3) 樺澤崇允, 玉澤暢之, 宇都宮文, ナイン・イエイ・アウン*, 加藤智也, 大江倫太郎, 内藤整*, 土谷順彦, 山川光徳: 精巣腫瘍の1例. 第85回日本病理学会東北支部学術集会, 山形; 2017年7月
- 4) 玉澤暢之, 大江倫太郎, 樺澤崇允, 宇都宮文, ナイン・イエイ・アウン*, 加藤智也, 加藤博久*, 大泉弘幸*, 貞弘光章*, 山川光徳: 肺腫瘍の1例. 第86回日本病理学会東北支部学術集会, 宮城; 2018年2月

(3) 研究会

i 一般演題

- 1) 樺澤崇允, 玉澤暢之, 宇都宮文, ナイン・イエイ・アウン*, 大江倫太郎, 加藤智也, 山川光徳: 甲状腺がんのリンパ管侵襲と腫瘍関連マクロファージの関連について. 第27回日本樹状細胞研究会, 東京; 2017年6月

(4) 座 長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 山川光徳: 特別講演2. 第85回日本病理学会東北支部総会学術集会, 山形; 2017年7月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 山川光徳: 一般演題. オプジーボ ホジキンリンパ腫 ～がん治療の新たな治療戦略～, 山形; 2017年9月
- 2) 山川光徳: エリアセッション. 中外eセミナー on Pathology, 山形; 2017年9月

iii 一般演題

- 1) 山川光徳, 木下朝博: 優秀演題口演I. 第57回日本リンパ網内系学会総会, 東京; 2017年6月

(5) その他

- 1) 樺澤崇允: ホジキンリンパ腫の病理診断について. オプジーボ ホジキンリンパ腫 ～がん治療の新たな治療戦略～, 山形; 2017年9月
- 2) 大江倫太郎: 県内におけるコンパニオン診断の現状. 日本病理学会東北支部山形県部会総会, 山形; 2017年12月
- 3) 玉澤暢之, 大江倫太郎, 樺澤崇允, 宇都宮文, ナイン・イエイ・アウン, 加藤智也, 山川光徳: Pulmonary blastoma の1例. 日本病理学会東北支部山形県部会総会, 山形; 2017年12月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第85回日本病理学会東北支部総会学術集会, 山形; 2017年7月
- 2) 日本病理学会東北支部山形県部会総会, 山形; 2017年12月

4. 学会等での受賞

- 1) 福田瑞貴*: 第106回日本病理学会総会学部学生示説 最優秀賞. 2017年4月
- 2) 樺澤崇允: 第27回日本樹状細胞研究会 奨励賞. 2017年6月

看護学

基礎看護学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) 高橋方子^{**}, 布施淳子: 訪問看護師が在宅療養高齢者の代弁意思に添う終末期医療の提供に必要と認識した情報. 千葉科学大学紀要. 2017; 10: 75-89

(2) その他

- 1) 片岡ひとみ: よく見て考えよう! 実践に活かす褥瘡ケアと予防対策. 地域医療. 2017; 第56回特集号: 223-227

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 一般演題

- 1) Junko Fuse, Satomi Tanaka, Miki Niino, Shiho Kato: A literature review of the relation between retention factors among Japanese nurses. The20th EAFONS, Hong Kong; 2017 Mar
- 2) Masako Takahashi^{**}, Mieko Ishizu^{**}, Yasuhiho Suzeki^{**}, Shizuko Sugaya^{**}, Junko Fuse, Kazuko Takahashi^{**}: The Method of Using the Japanese Version of Values History Topic Categories: Cancer and palliative and end-of-life care. The20th EAFONS, Hong Kong; 2017 Mar B

(2) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 岡田奈々^{*}, 田中聡美, 新野美紀, 布施淳子: 理想の看護師増と学習意欲との関連. 第43回山形県公衆衛生学会, 山形; 2017年3月
- 2) 佐藤緑^{*}, 田中聡美, 新野美紀, 布施淳子: インシデントレポートの情報共有方法についての文献検討. 第43回山形県公衆衛生学会, 山形; 2017年3月
- 3) 多出村美聡^{*}, 田中聡美, 新野美紀, 布施淳子: 卒後2年目看護師の急変時対応における困難要因. 第43回山形県公衆衛生学会, 山形; 2017年3月
- 4) 齋藤育^{*}, 田中聡美, 新野美紀, 布施淳子: 看護系大学における基礎看護学実習, 領域別実習, 統合実習の看護実践力に関する自己評価の比較. 第43回山形県公衆衛生学会, 山形; 2017年3月

(3) 座長

i 一般演題

- 1) 片岡ひとみ: 高齢者・ターミナルのストーマケア・排泄管理. 第34回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会, 名古屋; 2017年2月

3. その他

- 1) 布施淳子: 鶴岡市立荘内病院看護研究支援, 山形; 2017年2月

基礎看護学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Nakao A**, Inaba T**, Murakami-Sekimata A, Nogawa H**: Morphogenesis and Mucus Production of Epithelial Tissues of Three Major Salivary Glands of Embryonic Mouse in 3D Culture. *Zoolg Sci.* 2017; 34(6): 475-483 B
- 2) 高橋方子**, 菅谷しづ子**, 鈴木康宏**, 石津みゆ子**, 布施淳子, 高橋和子**: 訪問看護師を対象としたデジタルファイ法による日本版バリューズヒストリーの開発. *日本看護研究学会雑誌.* 2017; 40 (5) : 771-782 B
- 3) 片岡ひとみ, 酒井透江, 松原康美, 安藤嘉子, 土田敏恵, 三富陽子, 渡邊光子: 質問紙調査による消化管ストーマ保有者の生活における困った経験と相談先の実態調査. *日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌.* 2017; 21 : 273-280
- 4) 向井加奈恵**, 山口豪**, 大島千佳**, 石田陽子, 松田友美*, 竹野ゆかり**, 荒川満枝**: 看護系大学における解剖生理学教育の実態調査. *形態・機能.* 2017; 16(1) : 8-18 B
- 5) 河部房子**, 今井宏美**, 椿祥子**, 植村由美子**, 石田陽子, 鈴木恵子**, 小高亜由美**: 臨床看護師のフィジカルアセスメント技術修得に関わる経験. *千葉県立保健医療大学紀要.* 2018; 9(1) : 17-25 B
- 6) 椿祥子**, 河部房子**, 今井宏美**, 石田陽子: 看護現場におけるフィジカルアセスメント技術活用状況に関する実態調査. *千葉県立保健医療大学紀要.* 2018; 9(1) : 55-61 B

(2) 総説及び解説

- 1) 松田友美*, 石田陽子: DTI とは. *看護技術.* 2017; 63(4) : 56-58

(3) 著書

- 1) 布施淳子: 第3章 在宅糖尿病治療で使用される薬剤とリスク管理 2節 在宅における自己注射による糖尿病治療のインシデント. 在宅医療市場に向けたマーケティングと製品開発. 東京; 技術情報協会 (株), 2017 : 130-141
- 2) 片岡ひとみ: 直腸・膀胱機能障害のリハビリテーション. 上月正博編著, 新編 内部障害のリハビリテーション 第2版. 東京; 医歯薬出版, 2017: 348-358
- 3) 石田陽子: 5. 神経系. 三上れつ, 小松万喜子編集, ヘルスアセスメント 臨床実践能力を高める 改訂第2版. 東京; 南江堂, 2017 : 158-176

(4) その他

- 1) 片岡ひとみ: 瘻孔・ストーマ・ドレーンの管理とケア 消化器ストーマ. *看護技術.* 2017; 63(9) : 47-50

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 一般演題

- 1) Junko Fuse, Satomi Tanaka, Miki Niino: Suggestion for improvement of the patient safety education at facilities covered by long-term care insurance in Japan. *International Forum on Quality & Safety in Healthcare, Kuala Lumpur;* 2017 Sep
- 2) Satomi Tanaka, Miki Niino, Junko Fuse: Relationship between turnover intention and nurses' turnover values in Japan. *INRC WANS2017, Thailand;* 2017 Oct
- 3) Kimiko Takahashi**, Junko Fuse: A Study on the Practical Education Provided by Nursing Teacher of 3-year Course Nursing Diploma Schools while in the Instruction of Nursing Clinical Practices. *ICN congress 2017, Spain;* 2017 May B
- 4) Masako Takahashi**, Mieko Ishizu**, Yasuhiho Suzeki**, Shizuko Sugaya**, Junko Fuse, Kazuko Takahashi**: Development of the Japanese version of Values History—Integration of survey for families and survey for home visiting nurses—. *The21th EAFONS, Seoul Korea;* 2018 Jan B

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 片岡ひとみ：東北のエキスパートに聞く 私の褥瘡ケア ここだけは絶対に譲れないところ。第14回日本褥瘡学会東北地方会，郡山；2017年7月
- 2) 片岡ひとみ：高齢者のスキンケアから考える褥瘡予防対策。第19回日本褥瘡学会学術集会，盛岡；2017年9月
- 3) 三國裕子**，藤澤珠織**，中島由加里**，向井加奈恵**，三浦奈都子**，石田陽子，松田友美*，荒川満枝*：看護学と解剖生理学のScientific Collaboration—教育、研究・ケア開発の現状と課題—。第37回日本看護科学学会学術集会，仙台；2017年12月 B

ii 一般演題

- 1) 高橋公子**，布施淳子：3年課程看護師養成所看護教員が臨地実習指導で行う教育実践因子構造モデル。37回日本看護科学学会学術集会，仙台；2017年12月 B
- 2) 高橋方子**，菅谷しづ子**，鈴木康宏**，石津みゆ子**，布施淳子，高橋和子**：バリューズヒストリーの構成項目に対する訪問看護師と看取りを体験した家族の評価。第37回日本看護科学学会学術集会，仙台；2017年12月 B
- 3) 田中聡美，新野美紀，布施淳子：早期コミュニケーション実習後に看護系大学1年次生が気付いた患者とのコミュニケーションの重要性（第1報）。第27回日本看護教育学会学術集会，沖縄；2017年8月
- 4) 新野美紀，田中聡美，布施淳子：早期コミュニケーション実習後に看護系大学1年次生が気付いた患者とのコミュニケーションの重要性（第2報）。第27回日本看護教育学会学術集会，沖縄；2017年8月
- 5) 田中聡美，新野美紀，布施淳子：看護系大学における基礎看護学実習の学生自己評価と教員評価の差異（第2報）。第43回日本看護研究学会，愛知；2017年8月
- 6) 新野美紀，田中聡美，布施淳子：看護系大学における基礎看護学実習の学生自己評価と教員評価の差異の特徴（第1報）。第43回日本看護研究学会，愛知；2017年8月
- 7) 北川智美**，大網さおり**，片岡ひとみ：専従の役割を担う認定看護師が成長したと感じた経験の分析。第21回日本看護管理学会学術集会，横浜；2017年8月 B
- 8) 小林由貴子*，稲村佳子*，斎藤史枝*，佐原佑佳*，鈴木愛史*，中川智子*，和田沙智子*，小野久実子*，齊藤律子*，片岡ひとみ，鈴木民夫*：小児のライン確保時の下腿シーネ固定による褥瘡予防の取り組み。第19回日本褥瘡学会学術集会，盛岡；2017年9月
- 9) 飯野むつみ*，杉山知歌子*，片岡ひとみ：在宅移行を目指すストーマ造設術を受けた患者指導に対する病棟看護師の困難感。第20回北日本看護学会学術集会，山形；2017年9月
- 10) 杉山知歌子*，飯野むつみ*，片岡ひとみ：交代制勤務を行う同居者がいる看護師の休日の過ごし方と疲労回復との関連。第20回北日本看護学会学術集会，山形；2017年9月
- 11) 小浦美奈*，富塚佐智子*，佐藤洋子*，櫻井俊彦*，片岡ひとみ：ウロストミー造設予定患者へのストーマ装具装着による疑似体験の有効性。第35回日本ストーマ・排せりハビリテーション学会総会，札幌；2018年2月
- 12) 関亦明子，阿藤祐子*，推名祐美*，本間千明*，柳橋志帆*，関亦正幸**：唾液腺保護ケア開発を目指したマウス唾液腺培養モデル構築の試みにおけるSerum Replacementの効果について。第5回看護理工学会学術集会，金沢；2017年10月 B
- 13) 関亦明子，野川宏幸**，関亦正幸**：マウス胎児顎下腺原基上皮細胞の無血清培地による単層化培養の試み。第90回日本組織培養学会，岡山；2017年6月 B
- 14) 吉田大貴**，関亦明子，伊閑憲**，関亦正幸**：インターロイキン9（IL9）遺伝子サイレンサーと転写因子Runx1によるエピジェネティックなIL9転写調節機構の解明。第40回日本分子生物学会年会，神戸；2017年12月 B
- 15) 青木綾香*，古川稔弥*，三枝真*，石田陽子：ラット圧迫創における一酸化窒素発生に関する実験的研究。第20回北日本看護学会学術集会，山形；2017年9月
- 16) 古川稔弥*，青木綾香*，三枝真*，石田陽子：複数回圧迫により作製したラット創傷に関する実験的研究。第20回北日本看護学会学術集会，山形；2017年9月
- 17) 三枝真*，青木綾香*，古川稔弥*，石田陽子，松田友美*：解剖実習用遺体にみられた褥瘡に関する基礎的研

究. 第20回北日本看護学会学術集会, 山形; 2017年9月

- 18) 徳田花凜, 相馬祐也*, 草刈優*, 荒木唯*, 石田陽子, 松田友美*: 電法が圧迫創モデルマウスの創傷治癒に与える影響—好中球の浸潤時期と分布に着目して—. 第19回日本褥瘡学会学術集会, 盛岡; 2017年9月
- 19) 相馬祐也*, 徳田花凜*, 荒木唯*, 草刈優*, 石田陽子, 松田友美*: 電法が圧迫創モデルマウスの創傷治癒に与える影響—M2マクロファージとIL-10に着目して—. 第19回日本褥瘡学会学術集会, 盛岡; 2017年9月

(3) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 伊藤亘, 田中聡美, 新野美紀, 布施淳子: 低・中所得国における非感染性疾患予防の現状と課題. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月
- 2) 伊藤千尋, 田中聡美, 新野美紀, 布施淳子: 看護学生の失敗観の違いと目標志向性との関連. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月
- 3) 小池紗貴, 田中聡美, 新野美紀, 布施淳子: 看護学生の滅菌手袋の装着における基礎看護技術教科書の記述の理解の差異. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月
- 4) 小野綾香, 田中聡美, 新野美紀, 布施淳子: 看護系大学生の学年進行による職業アイデンティティの変化に関する研究. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月
- 5) 長谷川亜美, 田中聡美, 新野美紀, 布施淳子: 看護学生の内服と薬確認におけるエラー発生と実施中の認識の様相. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月
- 6) 田中佐和, 田中聡美, 新野美紀, 布施淳子: 2016年における医療事故の動向. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月

(4) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 飛内瑠夏, 片岡ひとみ: オストメイト対応トイレ使用についての看護学生のイメージに関する実態調査. 第32回東北ストーマリハビリテーション研究会, 山形; 2018年3月

(5) 座 長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 榊間春利*, 石田陽子: 次世代の会 企画シンポジウム コ・メディカル分野における研究活動の軌跡と未来への提言. コ・メディカル形態機能学会第16回学術集会, 名古屋; 2017年9月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 布施淳子: 市民フォーラム もし、あなたが認知症になったら ～自分らしく生きるために～. 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台; 2017年12月

iii 一般演題

- 1) 布施淳子: 看護教育その他. 日本看護学教育学会第27回学術集会, 沖縄; 2017年8月
- 2) 布施淳子: 基礎看護. 第20回北日本看護学会学術集会, 山形; 2017年9月
- 3) 布施淳子: 看護教育. 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台; 2017年12月
- 4) 片岡ひとみ: ストーマ保有者の諸問題. 第26回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会, 千葉; 2017年6月
- 5) 片岡ひとみ: 成人看護. 第20回北日本看護学会学術集会, 山形; 2017年9月
- 6) 片岡ひとみ: 多職種連携. 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台; 2017年12月
- 7) 片岡ひとみ: (超) 高齢者・認知症. 第35回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会, 札幌; 2018年2月
- 8) 関亦明子: 看護③. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月
- 9) 三村真季*, 石田陽子: 機器・用具 (2). 第19回日本褥瘡学会学術集会, 盛岡; 2017年9月
- 10) 石田陽子: 動く・体位を整えるケア. 日本看護技術学会第16回学術集会, 東京; 2017年10月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 関亦明子: (副学会長) 山形県看護研究会, 山形; 2017年11月

- 2) 石田陽子, 松田友美*: 看護学のための解剖実習講習会, 山形; 2017年8月
- 3) 石田陽子: 山形大学医学部附属病院看護部 解剖実習講習会, 山形; 2017年10月

4. その他

- 1) 布施淳子: 医療安全教育. 実習指導の原理原則. 第22回山形県看護実習指導者講習会, 5回, 山形県看護協会主催, 山形; 2017年6月
- 2) 布施淳子: 実習指導の原理原則. 第22回山形県看護実習指導者特定分野講習会, 2回, 山形県看護協会主催, 山形; 2017年7月
- 3) 布施淳子: 鶴岡市立荘内病院看護研究支援, 山形; 2017年6, 12月
- 4) 布施淳子: 日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員
- 5) 片岡ひとみ: レポートの書き方. 平成29年度実習指導者講習会, 山形県看護協会主催, 山形; 2017年6月
- 6) 片岡ひとみ: 看護サービス提供論: レポートの書き方. 平成29年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル, 山形県看護協会主催, 山形; 2017年6月
- 7) 片岡ひとみ: 日本海総合病院看護研究支援, 山形; 2017年8月
- 8) 片岡ひとみ: 山形発・地元ナース養成プログラム 小規模病院等ブラッシュアッププログラム ‘根拠に基づく看護’における‘褥瘡ケアの看護’. 山形県立保健医療大学, 山形; 2017年8月
- 9) 片岡ひとみ: 介護サービス担当者のためのストーマケア講習会開催, 山形; 2017年11月
- 10) 片岡ひとみ: 在宅における褥瘡管理の推進. 在宅褥瘡セミナー山形, 山形; 2017年11月
- 11) 片岡ひとみ: 在宅における褥瘡管理の推進. 在宅褥瘡セミナー宮城, 宮城; 2017年11月
- 12) 新野美紀: 実習指導者研修会. 酒田市立酒田看護専門学校主催, 山形; 2017年10月

臨床看護学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) 松田裕美*, 古瀬みどり: 喉頭全摘出術を受けた患者を支える配偶者が患者との生活に適応するプロセス. 家族看護学研究. 2017; 22(2): 122-133
- 2) 長谷川日菜子**, 佐藤幸子, 山口咲奈枝, 藤田愛: 授乳場面における NICU 入院児とその母親の応答性の特徴. 北日本看護学会誌. 2017; 19(2): 7-15
- 3) 山田志枝, 佐藤幸子, 山口咲奈枝, 藤田愛: わが国における母乳育児確立の概念分析. 母性衛生. 2017; 58(2): 470-478

(2) 著書

- 1) 川口寛介, 佐藤和佳子: 腎・泌尿器の解剖生理の基礎知識. メヂカルフレンド社編集部, 看護学生のための疾患別看護過程 2. 東京; メヂカルフレンド社, 2017: 142-143
- 2) 武田洋子, 川口寛介: 疾患別看護過程 膀胱がん. メヂカルフレンド社編集部, 看護学生のための疾患別看護過程 2. 東京; メヂカルフレンド社, 2017: 166-187
- 3) 川口寛介, 武田洋子: 疾患別看護過程 前立腺肥大症. メヂカルフレンド社編集部, 看護学生のための疾患別看護過程 2. 東京; メヂカルフレンド社, 2017: 188-209

(3) その他

- 1) 古瀬みどり: エンドオブライフケアと家族の癒し. 家族看護学研究. 2017; 22(2): 149-152
- 2) 齋藤深雪, 阿部智美**, 石本祥子**: これでうまくいく!患者さんとのコミュニケーション Lesson(第10回) 患者さんから秘密を打ち明けられたときのコミュニケーション. クリニカルスタディ. 2017; 38(1): 74-77
- 3) 齋藤深雪, 阿部智美**, 石本祥子**: これでうまくいく!患者さんとのコミュニケーション Lesson(第11回) 患者さんが不満を訴えたときのコミュニケーション. クリニカルスタディ. 2017; 38(2): 170-177
- 4) 阿部智美**, 齋藤深雪, 石本祥子**: これでうまくいく!患者さんとのコミュニケーション Lesson(第12回) 患者さんの家族とのコミュニケーション. クリニカルスタディ. 2017; 38(3): 266-269

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 松浪容子: シンポジウム 禁煙治療・禁煙支援 福祉事務所現業員による生活保護受給者に対する禁煙支援内容の分析. 第26回 日本禁煙推進医師歯科医師連盟学術総会, 茨城県つくば市; 2017年2月

ii 一般演題

- 1) 藤田愛, 山口咲奈枝, 山田志枝: 助産教育における SNS 型 e ポートフォリオの活用と卒業時到達度の評価. 第31回日本助産学会学術集会, 徳島; 2017年3月
- 2) 松浪容子, 古瀬みどり, 川合厚子**: 居宅生活保護受給者の禁煙動機分析. 第26回 日本禁煙推進医師歯科医師連盟学術総会, 茨城県つくば市; 2017年2月
- 3) 松浪容子: 福祉事務所で活用できる生活保護受給者に対する禁煙支援ツールの検討. 第26回 日本禁煙推進医師歯科医師連盟学術総会, 茨城県つくば市; 2017年2月
- 4) 大竹修一**, 川合厚子**, 齋藤純一**, 熱海裕之**, 松浪容子, 高橋功子**: 受動喫煙防止周知のための「やまがた受動喫煙防止コンテスト」の成果と課題. 第26回 日本禁煙推進医師歯科医師連盟学術総会, 茨城県つくば市; 2017年2月
- 5) 山代寛**, 柴田忠佳**, 松浪容子: 看護学生に対する禁煙教育について. 第26回 日本禁煙推進医師歯科医師連盟学術総会, 茨城県つくば市; 2017年2月

(2) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 千葉珠希*, 山口咲奈枝: 立ち会い分娩による父性意識の変化についての文献検討. 第43回山形県公衆衛生学会, 山形; 2017年3月

3. その他

- 1) やまがた在宅ケアかごねっと学習会(運営委員), 山形; 2017年1月, 3月

臨床看護学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) 古瀬みどり：福祉職を基礎資格とする熟練したケアマネジャーの終末期がん療養者への支援プロセス。ホスピスケアと在宅ケア。2017；25(2)：109-115
- 2) Konta S, Sato Y: Reliability and Validity of an Assessment Algorithm to Predict the Coping Skills of 3- to 6-Year-old Children Undergoing Blood Sampling. International Journal of Nursing & Clinical Practices. 2017；4：259. <https://doi.org/10.15344/2394-4978/2017/259>
- 3) 佐々木るみ子**, 佐藤幸子, 今田志保: 思春期がん患者の予後告知に至る要因の検討 看護師が体験した事例の分析から。山形医学。2017；35(2)：69-77
- 4) 山田志枝, 佐藤幸子, 山口咲奈枝, 藤田愛: わが国における母乳育児確立の概念分析。母性衛生。2017；58(2)：470-478
- 5) 宮下ルリ子**, 遠藤由美子**, 山口咲奈枝: 東北地方在住中高年女性の生活習慣病リスクと不定愁訴の実態。母性衛生。2017；58(1)：158-165
- 6) 小松朋子**, 東海林愛佳**, 柏倉幸子**, 村岡未希子**, 齋藤玲子**, 芳賀玲子**, 堀江若子**, 松浪容子: デスカンファレンス導入による看取りに関する意識の変化。日本看護学会論文集: 慢性期看護。2017；47：47-50
- 7) 阿部桃子**, 佐藤和佳子: 回復期脳卒中患者の蓄尿症状の実態と日常生活動作、うつ状態との関連。山形医学。2017；5(2)：49-60

(2) 総説及び解説

- 1) 古瀬みどり：婦人科がん患者の緩和ケア 在宅ケアにおける家族のケア。産科と婦人科。2017；84(9)：1094-1098

(3) 著書

- 1) 斎藤貴史：第1章 肝疾患の基礎知識 C型肝炎。長尾由実子, 斎藤貴史, 佐田通夫編集, 歯科医師が知っておきたい肝疾患のキホン。東京；南山堂, 2017：25-31
- 2) 斎藤貴史：第1章 肝疾患の基礎知識 肝疾患患者の食生活と日常生活。長尾由実子, 斎藤貴史, 佐田通夫編集, 歯科医師が知っておきたい肝疾患のキホン。東京；南山堂, 2017：49-53
- 3) 斎藤貴史：慢性肝疾患 内科治療の進歩。福田眞作編集, 日本消化器病学会東北支部第19回教育講演会記録。仙台；笹氣出版印刷, 2017：37-43

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 一般演題

- 1) Furuse M, Matsunami Y: Characteristics of End-of-Life Care Management for Cancer Patients: A Comparison of Long-term Care Support Specialists with Basic Qualifications in Nursing and Those with Basic Qualifications in Welfare. The 13th International Family Nursing Conference, Pamplona; June 2017
- 2) Sato Y, Konta S, Suzuki E: Case study: Improving family systems through nursing care for families of children with attention-deficit hyperactivity disorder. The International Council of Nurses Congress 2017, Barcelona, Spain; May 2017
- 3) Yamaguchi S, Fujita M, Yamada Y: Objective structured clinical examination for evaluating midwifery skills in the midwifery degree program in Japan. 31th ICM Triennial Congress, Toronto; June 2017
- 4) Miyashita R**, Endoh Y**, Yamaguchi S: Lifestyle-related disease risks and menopause symptoms among middle-aged women in the Tohoku Region of Japan. 31th ICM Triennial Congress, Toronto; June 2017

- 5) Abe M**, Satoh W : Development of emotional response scale associated with urinary experience of stroke patients in the recovery phase. International Continence Society, Florence; September 2017

(2) 国内の学会

i 一般演題

- 1) 工藤朋子**, 古瀬みどり : 訪問看護師が家族介護者に用いる遺族ケアアセスメントシートの開発～支援の必要性を予測する因子の探索～. 日本家族看護学会第24回学術集会, 千葉; 2017年9月
- 2) 古瀬みどり, 東海林美幸, 松浪容子 : 在宅ケア領域におけるアドバンス・ケア・プランニングに関する文献検討. 日本家族看護学会第24回学術集会, 千葉; 2017年9月
- 3) 渡辺正子*, 高橋早苗*, 東海林美幸, 古瀬みどり : 拒否的な反応を示す認知症高齢患者・家族への看護介入の実際と課題. 第20回北日本看護学会学術集会, 山形; 2017年9月
- 4) 鈴木果歩**, 古瀬みどり, 松浪容子 : エンドオブライフにある小児がん患児の家族に対する看護援助についての文献検討. 第20回北日本看護学会学術集会, 山形; 2017年9月
- 5) 渡部衿花*, 古瀬みどり, 松浪容子 : 救急医療における家族への援助についての文献検討. 第20回北日本看護学会学術集会, 山形; 2017年9月
- 6) 佐藤幸子, 塩飽仁**, 遠藤芳子**, 今田志保 : 心身症・神経症児の学校や仲間関係における対人関係の困難が高まる場面の検討. 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台; 2017年12月
- 7) 長島弥生**, 山田花恵**, 佐藤幸子 : 出生前訪問の対象者と時期に関する検討—A病院における出生前訪問の実態調査から— . 日本小児看護学会第27回学術集会, 京都; 2017年8月
- 8) 三上千佳子**, 佐藤幸子, 今田志保 : 幼児が採血による苦痛を乗り越えていくまでの苦痛行動評価尺度の開発. 日本小児看護学会第27回学術集会, 京都; 2017年8月
- 9) 長島弥生**, 山田花恵**, 佐藤幸子 : A病院NICUにおけるきょうだい支援の取り組みについて. 第20回北日本看護学会学術集会, 山形; 2017年9月
- 10) 石原梓**, 佐藤幸子, 今田志保 : 通院や活動制限を必要として復学した慢性疾患患児に対するクラスメイトの思いと声掛け. 第20回北日本看護学会学術集会, 山形; 2017年9月
- 11) 酒匂麻衣**, 佐藤幸子, 今田志保 : 医療的ケアを必要として在宅療養している子どもの母親の育児ストレスとそれに対する父親の認識. 第20回北日本看護学会学術集会, 山形; 2017年9月
- 12) 佐藤清香**, 佐藤幸子, 今田志保 : アトピー性皮膚炎患児を持つ母親の皮膚状態の評価とケア行動及びQOLの関連について. 第20回北日本看護学会学術集会, 山形; 2017年9月
- 13) 卯野陽子*, 橋本里奈*, 石山絵美子*, 阿部泉*, 山口咲奈枝 : 大学病院における産婦の出産体験満足度の実態. 第58回日本母性衛生学会学術集会, 神戸; 2017年10月
- 14) 工藤瑞生**, 木村明希子**, 三浦弓枝**, 森谷智美**, 鈴木美佐子**, 松浪容子 : 宿泊人間ドックにおける特定保健指導の効果と改善群・非改善群の比較. 第58回日本人間ドック学会学術大会, 埼玉県; 2017年8月
- 15) 井上由希**, 大沼奈穂子**, 渋谷綾**, 松浪容子 : 地域包括ケア病棟における患者情報シートの有効性. 第20回北日本看護学会学術集会, 山形市; 2017年9月
- 16) 松浪容子, 古瀬みどり, 川合厚子** : 福祉事務所現業員による生活保護受給者に対する禁煙支援と社会的ニコチン依存. 第11回日本禁煙学会学術総会, 京都市; 2017年11月
- 17) 久保田聡美**, 谷口千枝**, 今野郁子**, 藤本恵子**, 内田久仁子**, 荻込利衣**, 瀬在泉, 松浪容子, 高畑裕美** : 禁煙学会ナース委員会運営における現状と課題. 第11回日本禁煙学会学術総会, 京都市; 2017年11月
- 18) 大竹修一**, 川合厚子**, 斎藤純一**, 熱海裕之**, 高橋功子**, 松浪容子, 加藤淳**, 山田修久** : 『面白かった』と言われる喫煙防止教育を目指すちょっとした工夫. 第11回日本禁煙学会学術総会, 京都市; 2017年11月
- 19) 松浪容子, 川合厚子** : 福祉事務所現業員による生活保護者への禁煙支援とKTSND. 第27回日本禁煙推進医師歯科医師連盟学術総会, 横浜市; 2018年2月
- 20) 松浪容子 : 防煙教育と禁煙支援法の同時講義による看護学生のKTSNDと禁煙支援への自信・意欲の変化. 第27回日本禁煙推進医師歯科医師連盟学術総会, 横浜市; 2018年2月
- 21) 大竹修一**, 川合厚子**, 斎藤純一**, 熱海裕之**, 松浪容子**, 橋本秀樹** : 『面白い』と言われる喫煙防止

- 教育のための Teaching Tips. 第 27 回 日本禁煙推進医師歯科医師連盟学術総会, 横浜市; 2018 年 2 月
- 22) 東海林美幸, 古瀬みどり: 進行がん患者の家族の QOL に関する文献検討. 日本家族看護学会, 千葉; 2017 年 9 月
 - 23) 川口寛介, 佐藤和佳子: 前立腺全摘除術を受ける患者の QOL 支援における自己効力感の活用に関する文献検討. 第 30 回日本泌尿器科学会, 東京; 2017 年 6 月
 - 24) 田中真莉恵*, 川口寛介, 佐藤和佳子: 変形性膝関節症・変形性股関節症の手術を受ける患者の入院時・退院時・退院後 2 週間の ADL・IADL の変化と意欲との関連. 第 20 回北日本看護学会学術集会, 山形; 2017 年 9 月
 - 25) 佐藤鞠江*, 工藤愛美*, 川口寛介, 佐藤和佳子: 看取りケアについて介護老人保健施設の看護職が学生に伝えたいこと～利用者本人に対する見取りケア～. 第 20 回北日本看護学会学術集会, 山形; 2017 年 9 月
 - 26) 川口寛介, 川添久*, 柴崎智宏**, 西田隼人*, 櫻井俊彦*, 加藤智幸*, 武田洋子, 土谷順彦*, 佐藤和佳子: 前立腺全摘除術患者の術後 3 カ月間の日常生活の回復と EPIC・SF-8 の推移. 第 55 回日本癌治療学会学術集会, 横浜; 2017 年 10 月

(3) 国内地方会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 齋藤貴史: 看護職が知っておきたい消化器病のピットフォール. 看護実践能力向上セミナー, 第 20 回北日本看護学会学術集会, 山形市; 2017 年 9 月
- 2) 齋藤貴史: 慢性肝疾患 内科治療の進歩. 日本消化器病学会東北支部第 19 回教育講演会, 盛岡市; 2017 年 11 月
- 3) 柿崎秀宏**, 佐藤和佳子: どうなる? 地域包括ケアにおける排泄ケア. 日本老年泌尿器科学会, 東京; 2017 年 6 月

ii 一般演題

- 1) 上山愛未, 古瀬みどり, 松浪容子, 齋藤久美: 日本のがん領域におけるグリーフケアに関する看護研究の動向. 第 44 回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018 年 3 月
- 2) 嶋涼香, 古瀬みどり, 松浪容子, 齋藤久美: 緩和ケアに携わる看護師の困難感についての文献検討. 第 44 回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018 年 3 月
- 3) 加藤美樹, 古瀬みどり, 松浪容子, 齋藤久美: 手術室のチーム医療における看護師の役割についての文献検討. 第 44 回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018 年 3 月
- 4) 山口敦士, 古瀬みどり, 松浪容子, 齋藤久美: 開心術後の心臓リハビリテーションに関する文献検討. 第 44 回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018 年 3 月
- 5) 齋藤深雪, 加藤真理子, 鈴木英子**, 吾妻知美**: 精神科デイケア利用者のアサーティブネスと通所目的達成度の関係. 第 37 回日本看護科学学会学術集会, 仙台市; 2017 年 12 月

(4) 座 長

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 佐藤幸子: 看護実践能力向上セミナー. 日本小児看護学会第 27 回学術集会, 京都; 2017 年 8 月

ii 一般演題

- 1) 古瀬みどり: 緩和ケア・慢性の健康問題をもつ人と家族. 日本家族看護学会第 24 回学術集会, 千葉; 2017 年 9 月
- 2) 古瀬みどり: 成人看護. 第 20 回北日本看護学会学術集会, 山形; 2017 年 9 月
- 3) 佐藤幸子: 小児看護. 日本小児看護学会第 27 回学術集会, 京都; 2017 年 8 月
- 4) 藤田愛: 一般演題. 第 2 回日本臨床アロマセラピー学会, 東京; 2017 年 5 月
- 5) 佐藤和佳子: 高齢者看護. 北日本看護学会, 山形; 2017 年 9 月

(5) その他

- 1) 松浪容子: 子どもたちの喫煙防止をめざした活動の実際. ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区 子どもたちの喫煙防止について学ぶセミナー, 茨城県土浦市; 2017 年 6 月
- 2) 高田早苗*, 野嶋佐由美**, 小板橋喜久代**, 大森純子**, 佐藤和佳子, 川原由佳里**: 看護学術用語の検討—2011 年版の改訂に向けて. 第 37 回日本看護科学学会学術集会 交流集会, 仙台; 2017 年 12 月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 日本臨床アロマセラピー学会入門セミナー, 郡山 ; 2017 年 9 月

4. 学会等での受賞

Abe M*, Satoh W : Early Career Best Presenter 賞. Development of emotional response scale associated with urinary experience of stroke patients in the recovery phase. International Continence Society, Florence; September 2017

- 1) 松浪容子 : 日本禁煙学会繁田正子賞 (Shigeta Masako Young Investigator Award ; SMYIA) . 2017 年 11 月

5. その他

- 1) 古瀬みどり : 実習指導の評価 (講師). 平成 29 年度国立病院機構北海道東北ブロック看護師等実習指導者講習会, 仙台 ; 2017 年 6 月
- 2) 第 20 回北日本看護学会学術集会 (実行委員), 山形県 ; 2017 年 9 月
- 3) 日本看護科学学会 (査読委員), 宮城県 ; 2017 年 12 月
- 4) やまがた在宅ケアかんばんと学習会 (運営委員), 山形 ; 2017 年 5 月, 7 月, 9 月, 11 月

地域看護学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) 渡邊和美, 大竹まり子, 小林淳子: 国内で報告された終末期がん患者の呼吸困難に関する看護研究の文献検討. 日本在宅看護学会誌. 2017; 5(2): 53-59

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 一般演題

- 1) Yumi Akama, Yuko Morikagi, Atsuko Kobayashi: The realities of mental health in Japanese caseworkers employed in social welfare offices in Tohoku region's coastal areas. The 20th East Asian Forum of Nursing Scholars, Hong Kong; March 2017

(2) 国内の学会

i 一般演題

- 1) 赤間由美, 森鍵祐子, 小林淳子: 東北地方4市における生活保護現業員の精神健康度の実態. 第5回日本公衆衛生看護学会学術集会, 仙台; 2017年1月

(3) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 阿部愛*, 進藤真由美, 赤間由美, 森鍵祐子, 小林淳子, 大谷和子, 大竹まり子: 働く世代の介護準備に対する認識. 第43回山形県公衆衛生学会, 山形; 2017年3月
- 2) 植木顕任*, 赤間由美, 進藤真由美, 大竹まり子, 大谷和子, 小林淳子, 森鍵祐子, 清水瞳**, 吉田美智子**: コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いた高齢化率の高い山間部Z地区の地区診断. 第43回山形県公衆衛生学会, 山形; 2017年3月
- 3) 近藤朝美*, 赤間由美, 進藤真由美, 大竹まり子, 大谷和子, 小林淳子, 森鍵祐子, 清水瞳**, 吉田美智子**: 高齢化率の高い山間部Z地区に在住する独居高齢事例の孤独感とその対処法.
- 4) 宍戸裕実*, 赤間由美, 進藤真由美, 大竹まり子, 大谷和子, 小林淳子, 森鍵祐子, 清水瞳**, 吉田美智子**: 高齢化率の高い山間部Z地区で住民が中心となって運動教室が始まったきっかけと継続される理由について. 第43回山形県公衆衛生学会, 山形; 2017年3月
- 5) 小向結希*, 赤間由美, 進藤真由美, 大竹まり子, 大谷和子, 小林淳子, 森鍵祐子, 清水瞳**, 吉田美智子**: 高齢化率の高い山間部Z地区における住民と保健師の捉える文化. 第43回山形県公衆衛生学会, 山形; 2017年3月
- 6) 川代佳奈*, 進藤真由美, 赤間由美, 森鍵祐子, 小林淳子, 大谷和子, 大竹まり子: 認知症カフェ運営者の思い. 第43回山形県公衆衛生学会, 山形; 2017年3月
- 7) 須藤有紗*, 赤間由美, 進藤真由美, 大竹まり子, 大谷和子, 森鍵祐子, 小林淳子: 妊娠期から産後1年6か月までの妊産婦の喫煙行動の変化. 第43回山形県公衆衛生学会, 山形; 2017年3月
- 8) 齋藤萌奈*, 赤間由美, 進藤真由美, 大竹まり子, 大谷和子, 森鍵祐子, 小林淳子: 乳幼児を持つ父親の育児・家事の参加及び制度利用の状況. 第43回山形県公衆衛生学会, 山形; 2017年3月
- 9) 三原万愛*, 進藤真由美, 赤間由美, 森鍵祐子, 小林淳子, 大谷和子, 大竹まり子: 介護支援専門員が求める病院との連携. 第43回山形県公衆衛生学会, 山形; 2017年3月
- 10) 瀬川美紀*, 進藤真由美, 赤間由美, 森鍵祐子, 小林淳子, 大竹まり子, 大谷和子: 介護支援専門員の情報収集の実態—担当利用者の退院時に着目して—. 第43回山形県公衆衛生学会, 山形; 2017年3月
- 11) 大島流花*, 進藤真由美, 赤間由美, 森鍵祐子, 小林淳子, 大谷和子, 大竹まり子: 看護系大学生の親世代の最終段階に関する認識. 第43回山形県公衆衛生学会, 山形; 2017年3月
- 12) 佐藤ありさ*, 進藤真由美, 赤間由美, 森鍵祐子, 小林淳子, 大竹まり子, 大谷和子: 在宅ターミナル療養

者を看取る家族支援を通して訪問看護師が受けた影響に関する文献検討. 第43回山形県公衆衛生学会, 山形; 2017年3月

- 13) 小林真里奈*, 赤間由美, 進藤真由美, 大竹まり子, 大谷和子, 森鍵祐子, 小林淳子: 新任期保健師の地域診断教育・研修の実際と課題についての文献検討. 第43回山形県公衆衛生学会, 山形; 2017年3月
- 14) 秋葉郁絵*, 進藤真由美, 赤間由美, 森鍵祐子, 小林淳子, 大竹まり子, 大谷和子: 訪問看護師の離職意向と職場環境との関連. 第43回山形県公衆衛生学会, 山形; 2017年3月
- 15) 菊池翔太*, 進藤真由美, 赤間由美, 森鍵祐子, 小林淳子, 大竹まり子, 大谷和子, 山川一枝**, 鈴木郁子**: 老老介護の男性主介護者の介護負担感および介護肯定感. 第43回山形県公衆衛生学会, 山形; 2017年3月

(4) 座 長

i 一般演題

- 1) 森鍵祐子: 一般演題 (示説) 成人保健. 第5回日本公衆衛生看護学会学術集会, 仙台; 2017年1月
- 2) 小林淳子: 一般演題 (口演) 看護教育②・その他. 第43回山形県公衆衛生学会, 山形; 2017年3月

(5) そ の 他

- 1) 大竹まり子: 看護研究講評. 山形徳洲会病院看護研究研修会, 山形; 2017年1月
- 2) 森鍵祐子: 大学との協働による地域づくりの取り組みについて. 山形県健康福祉部, 住民主体の健康づくりを考える研修会, 天童; 2017年1月
- 3) 小林淳子: 健康づくり事業の評価. 村山保健所健康増進事業評価検討会, 山形; 2017年3月
- 4) 大竹まり子: みんなで学ぶ訪問看護～基礎編～. 平成28年度在宅療養推進講演会, 鮭川村; 2017年3月
- 5) 大竹まり子: みんなで学ぶ訪問看護～基礎編～. 平成28年度在宅療養推進講演会, 金山町; 2017年3月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 大竹まり子: やまがた在宅ケアかごねっと学習会; 山形; 2017年1月, 3月

地域看護学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) 向井加奈恵**, 山口豪**, 大島千佳**, 石田陽子*, 松田友美, 竹野ゆかり**, 荒川満枝**: 看護系大学における解剖生理学教育の実態調査. 形態・機能. 2017; 16 (1) : 8-18 B
- 2) 松田光子**, 森鍵祐子, 細谷たき子**, 小林淳子: 山形県の新任期保健師の集団・地域を対象とした実践能力の到達度と家庭訪問との関連. 日本公衆衛生雑誌. 2018; 65(1) : 10-19
- 3) 石井春美*, 大竹まり子, 小林淳子: 訪問看護師に対する暴力と暴力対策に関する文献レビュー. 日本在宅看護学会誌. 2018; 6(2) : 83-91

(2) 総説及び解説

- 1) 善生まり子**, 藤縄理**, 久保田亮**, 菅野康二**, 戸田肇**, 中村裕美**, 菊池東陽**, 小原弘子**, 森鍵祐子, 黒田真由美*: 高齢者のフレイル予防: ヘルスリテラシーに着目した IPW 支援プロジェクト. 地域ケアリング. 2017; 19(8) : 70-72 B, F

(3) その他

- 1) 松田友美: 深部損傷褥瘡 (DTI) のケア. DTI とは. 看護技術. 2017; 63(4) : 53-64
- 2) 小林淳子: 学部長インタビュー保健医療学部の魅力とは?. 蛭雪時代. 2017; 6 : 12-13
- 3) 森鍵祐子: 健診結果はどうでしたか?. 山形産業保健総合支援センターメールマガジン. 2017; 117

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 一般演題

- 1) Yumi Akama, Yuko Morikagi, Atsuko Kobayashi: Change after ten months of mental health support intervention program in caseworkers employed in social welfare offices in Tohoku District of Japan. TNMC & WANS International Nursing Research Conference 2017, Bangkok; October 2017

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 三國裕子**, 藤澤珠織**, 中島由加里**, 向井加奈恵**, 三浦奈都子**, 石田陽子*, 松田友美, 荒川満枝*: 看護学と解剖生理学の Scientific Collaboration—教育, 研究・ケア開発の現状と課題—. 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台; 2017年12月 B

ii 一般演題

- 1) 森鍵祐子, 菅原保**, 中野あゆみ**, 神村裕子**, 齋藤忠明**: 地域産業保健センターにおける保健師配置状況と保健師の必要性. 第90回日本産業衛生学会, 東京; 2017年5月 E
- 2) 菅原保**, 森鍵祐子, 中野あゆみ**, 神村裕子**, 齋藤忠明**: 地域産業保健センターにおけるコーディネーター, 地域運営主幹の活動の現状と課題. 第90回日本産業衛生学会, 東京; 2017年5月 E
- 3) 中野あゆみ**, 菅原保**, 森鍵祐子, 神村裕子**, 齋藤忠明**: 地域産業保健センターにおける情報提供と地域連携, 年間計画と記録の現状と課題について. 第90回日本産業衛生学会, 東京; 2017年5月 E
- 4) 今井宏美**, 河部房子**, 椿 祥子**, 松田友美: 看護現場におけるフィジカルアセスメント技術活用状況に関する実態調査. 第27回日本看護学教育学会学術集会, 沖縄; 2017年8月 B
- 5) 渡邊和美**, 大竹まり子, 小林淳子: 呼吸困難感を抱える終末期がん患者とその家族に対する訪問看護支援の実態. 第20回北日本看護学会学術集会, 山形; 2017年9月
- 6) 三澤裕美**, 大竹まり子, 小林淳子: 非侵襲的陽圧換気療法導入時における高齢慢性呼吸不全患者の意思決定. 第20回北日本看護学会学術集会, 山形; 2017年9月
- 7) 齋藤裕子*, 小林淳子, 松田友美, 大竹まり子: 退院支援における事例検討の効果の検証. 第20回北日本看護学会学術集会, 山形; 2017年9月

- 8) 須藤有紗*, 赤間由美, 森鍵祐子, 小林淳子: 妊娠中に喫煙を継続した妊婦の妊娠出生状況と喫煙並びに育児環境. 第20回北日本看護学会, 山形; 2017年9月
- 9) 三枝真*, 青木綾香*, 古川稔弥*, 石田陽子*, 松田友美: 解剖実習用遺体に見られた褥瘡に関する基礎的研究. 第20回北日本看護学会学術集会, 山形; 2017年9月
- 10) 徳田花凜*, 相馬祐也*, 草刈優*, 荒木唯*, 石田陽子*, 松田友美: 電法が圧迫創モデルマウスの創傷治癒に与える影響—好中球の浸潤時期と分布に着目して—. 第19回日本褥瘡学会学術集会, 岩手; 2017年9月
- 11) 相馬祐也*, 徳田花凜*, 荒木唯*, 草刈優*, 石田陽子*, 松田友美: 電法が圧迫創モデルマウスの創傷治癒に与える影響—M2マクロファージとIL-10に着目して—. 第19回日本褥瘡学会学術集会, 岩手; 2017年9月
- 12) 剣持亜紀**, 野口千佳子**, 石川真紀**, 田中和美**, 進藤真由美: 人工膝関節全置換術後からの自主訓練の効果. 第48回日本看護学会—慢性期看護—学術集会, 神戸; 2017年9月 B
- 13) 小屋勝子**, 芳賀真紀子**, 柴田佐江子**, 須貝ひとみ**, 進藤真由美: ストーマケアに関する患者指導の標準化によるスタッフの意識の変化. 第48回日本看護学会—急性期看護—学術集会, 岐阜; 2017年9月 B
- 14) 菅原洗祐**, 小林紀美子**, 阿部郁子**, 佐藤奈未**, 高橋友美**, 渡部美香**, 進藤真由美: ASV導入患者における心理的变化について—継続できた人, できなかった人の比較から—. 第48回日本看護学会—急性期看護—学術集会, 岐阜; 2017年9月 B
- 15) 菅原保**, 森鍵祐子: 地域産業保健センターで活動する地域運営主幹と登録産業医の現状. 第76回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島; 2017年10月 E
- 16) 森鍵祐子, 菅原保**: 地域産業保健センターと地域関係機関との連携の実態. 第76回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島; 2017年10月 E
- 17) 赤間由美, 森鍵祐子, 小林淳子: 生活保護現業員に対する介入プログラムが職場のソーシャルキャピタルに及ぼす効果. 第76回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島; 2017年10月
- 18) 菅原保**, 森鍵祐子, 中野あゆみ**, 神村裕子**, 齋藤忠明**: 地域産業保健センターにおける特徴的な良好実践事例 (GPS). 第27回日本産業衛生学会全国協議会, 高知; 2017年11月 E
- 19) 進藤真由美, 小林淳子: 退院患者の看護情報フィードバックの現状に関する文献検討. 第7回日本在宅看護学会学術集会, 山梨; 2017年11月
- 20) 森鍵祐子, 赤間由美, 小林淳子: 行政機関保健師の経験年数別にみた事業評価に対する認識と事業評価の実態. 第6回日本公衆衛生看護学会学術集会, 大阪; 2018年1月

(3) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 菅原保**, 森鍵祐子, 中野あゆみ**, 神村裕子**, 齋藤忠明**: 東北地方における地域産業保健センターの活動の現状. 第76回日本産業衛生学会東北地方会, 福島; 2017年7月 E
- 2) 森鍵祐子, 菅原保**, 中野あゆみ**, 神村裕子**, 齋藤忠明**: 東北地方の2地域産業保健センターにおける特徴的な良好実践事例 (GPS). 第76回日本産業衛生学会東北地方会, 福島; 2017年7月 E
- 3) 横山みゆき**, 野崎陽子**, 渡会みみ**, 海藤美紀**, 進藤真由美: 集中治療室における夜勤リーダー看護師の感じるストレス. 平成29年度山形県看護研究学会, 山形; 2017年11月
- 4) 安部優香*, 赤間由美, 進藤真由美, 大竹まり子, 松田友美, 小林淳子, 森鍵祐子, 海老名まゆみ**, 永沢照美**: 高齢者の食事摂取状況と食物入手行動の実態. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月
- 5) 遠藤美希*, 赤間由美, 森鍵祐子, 小林淳子, 松田友美, 大竹まり子: 筋萎縮性側索硬化症の看護を担う看護師のストレスサー. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月
- 6) 奥山緩香*, 赤間由美, 進藤真由美, 大竹まり子, 松田友美, 小林淳子, 森鍵祐子: 自立高齢者の外出の実態に関する文献検討. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月
- 7) 加藤優花*, 赤間由美, 大竹まり子, 松田友美, 森鍵祐子, 小林淳子: 山形市中心市街地の屋外喫煙所の実態と受動喫煙対策. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月
- 8) 荒井陽菜子*, 進藤真由美, 赤間由美, 森鍵祐子, 小林淳子, 大竹まり子, 松田友美: 肩甲骨周辺のスレッチングが腸蠕動に及ぼす影響. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月
- 9) 笹山幸乃*, 赤間由美, 森鍵祐子, 小林淳子, 松田友美, 大竹まり子: 外来化学療法室看護師の訪問看護との連携. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月

- 10) 小林実加*, 赤間由美, 大竹まり子, 松田友美, 森鍵祐子, 小林淳子: 学生の喫煙行動と喫煙に対する意識に関する文献検討. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月
- 11) 新田あきほ*, 赤間由美, 大竹まり子, 松田友美, 森鍵祐子, 小林淳子: 大学生のアルバイトにおける受動喫煙の実態と喫煙・受動喫煙に関する認識. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月
- 12) 大石万梨乃*, 赤間由美, 森鍵祐子, 小林淳子, 松田友美, 大竹まり子: 病棟看護師による退院支援の実際. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月
- 13) 大谷拓也*, 進藤真由美, 赤間由美, 森鍵祐子, 小林淳子, 大竹まり子, 松田友美: 訪問看護師のポータブルエコー使用に関する認識. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月
- 14) 田宮幸知*, 赤間由美, 進藤真由美, 大竹まり子, 松田友美, 小林淳子, 森鍵祐子: 未就学の在宅重症心身障害児を持つ家族のニーズに関する文献検討. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月
- 15) 二本柳縁, 赤間由美, 森鍵祐子, 小林淳子, 松田友美, 大竹まり子: 地域住民の地域包括ケアシステムの認識. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月
- 16) 齋藤真歩*, 赤間由美, 進藤真由美, 大竹まり子, 松田友美, 小林淳子, 森鍵祐子, 石井美喜**, 小林まゆみ**: 地域で自立した生活を送る後期高齢者の健康観. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月
- 17) 大竹まり子, 高橋直美**, 志田淳子**, 大澤てい子**, 山口節子**, 堀江美紀子**, 松田友美: 看護職ネットワークの現状と課題1 報一やまがた在宅ケアかんごねつとの現状一. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月
- 18) 志田淳子**, 高橋直美**, 徳田喜恵子**, 元木真紀, 富岡小百合*, 大竹まり子: 看護職ネットワークの現状と課題2 報一やまがた在宅ケアかんごねつと学習会の評価一. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月
- 19) 高橋直美**, 志田淳子**, 齋藤春美**, 松田光子**, 進藤真由美, 東海林美幸*, 大竹まり子: 看護職ネットワークの現状と課題3 報一やまがた在宅ケアかんごねつとの効果一. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月
- 20) 中舘のり子**, 大竹まり子, 高石純子**, 村山由紀子**, 後藤真由美**, 須藤京子**, 鈴木由美子**, 鈴木郁子**: 「山形県在宅医療連携情報誌」の活用状況と今後の課題. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月
- 21) 森鍵祐子, 赤間由美, 小林淳子: 山形県内保健師の事業評価に対する認識と事業評価の実態. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月
- 22) 清水瞳**, 荒木祥子**, 須藤絵美**, 半田茜**, 佐藤弥栄**, 松浦恵里菜**, 吉田美智子**, 森鍵祐子: 高齢化率の高い山間部地区における運動教室の自主グループ化を目指した取り組み. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月
- 23) 須藤絵美**, 清水瞳**, 荒木祥子**, 半田茜**, 佐藤弥栄**, 松浦恵里菜**, 吉田美智子**, 森鍵祐子: 高齢化率の高い山間部地区における住民の今後の居住意向. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月

(4) 研究会

i 一般演題

- 1) 丘龍祥*, 相馬祐也*, 三枝真*, 徳田花凛*, 松田友美, 柏倉美幸*, 白石正*, 渡邊利広*, 木村理*: 粘度可変型栄養剤の固形化に関する検討. 第32回東北静脈経腸栄養研究会, 弘前; 2017年12月

(5) 座長

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 大竹まり子: 山形から発信する看護連携. 平成29年度山形県看護研究学会, 山形; 2017年11月

ii 一般演題

- 1) 松田友美: 一般演題(口演) その他(1). 第19回日本褥瘡学会学術集会, 岩手; 2017年9月
- 2) 森鍵祐子: 一般演題(示説) 地域看護・公衆衛生看護. 第37回日本看護科学学会学術集会, 仙台; 2017年12月
- 3) 松田友美: 一般演題(示説) 褥瘡に対する栄養療法2. 第33回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 横浜; 2018年2月
- 4) 小林淳子: 一般演題(口演) 訪問看護. 第44回山形県公衆衛生学会, 山形; 2018年3月

(6) その他

- 1) 大竹まり子：研究概論・研究計画。山形徳洲会病院看護研究研修会，山形；2017年5月
- 2) 大竹まり子：意思決定を支える退院支援。寒河江市立病院看護科教育研修，寒河江；2017年5月
- 3) 大竹まり子：認知症の看護。鶴岡北高等学校進路選択ガイダンス，鶴岡；2017年5月
- 4) 森鍵祐子：看護研究の実践—看護研究のプロセスを学ぶ—。山形県看護協会 継続教育研修，山形；2017年5月
- 5) 赤間由美：看護研究の実践。山形県看護協会看護研究の実践研修，山形；2017年5月
- 6) 赤間由美：あなたの元気は河北の宝～みんなでつくろういきいき河北町～。平成29年度第1回健康づくり推進員養成研修会，河北町；2017年5月
- 7) 進藤真由美：研究の意義、進め方、文献検索、テーマの絞り込み。山形県立新庄病院看護研究研修，新庄；2017年5月
- 8) 大竹まり子：在宅医療のはなし—最期まで生ききるを支える—。山形北高校一日総合大学，山形；2017年6月
- 9) 大竹まり子：看護研究の進め方。山形徳洲会東北ブロック看護部研修，山形；2017年6月
- 10) 松田友美：看護師としてできること一つつながって支える地域包括ケアの時代に生きる看護活動を！！—。やまがた在宅ケアかんごねっとプレゼン大会，山形；2018年7月
- 11) 松田友美：看護を学ぶ 大学を選ぶ 看護実践と科学的思考 Evidence Based Nursing。山形県立山形西高等学校 平成29年度進学説明会，山形；2017年7月
- 12) 進藤真由美：実習指導の実際 I 在宅看護論の指導方法。平成29年度第3回山形県保健師助産師看護師実習指導者講習会（特定分野）研修，山形；2017年7月
- 13) 大竹まり子：退院支援における看護職の役割。至誠堂総合病院看護部研修会，山形；2017年8月
- 14) 大竹まり子：地域包括ケアシステム構築に向けた医療・介護連携のポイント。置賜地域包括ケアシステム構築に係る医療・介護合同会議，南陽；2017年8月
- 15) 森鍵祐子：保健事業の組み立てから評価まで—事業のまとめを発表してみよう—。山形県置賜保健所 平成29年度第1回置賜地域中堅期保健師等研修会，米沢；2017年8月
- 16) 森鍵祐子：地域保健活動の評価とまとめ方。山形県村山保健所 村山地域新任・中堅期保健師研修会，山形；2017年8月
- 17) 松田友美，進藤真由美：第4回フィジカルアセスメント実習研修会—疾患と症状の見分け方、副作用早期発見—。病院薬剤師研修会，山形；2017年10月
- 18) 松田友美，進藤真由美：訪問看護に活かすフィジカルアセスメント。山形県訪問看護ステーション連絡協議会訪問看護従事者研修会，山形；2017年10月
- 19) 松田友美：訪問薬剤師のためのフィジカルアセスメント—褥瘡を中心に—。山形県薬剤師会，鶴岡；2017年10月
- 20) 松田友美，大竹まり子，進藤真由美：膀胱内留置カテーテルの挿入に関する知識・技術の講習会。訪問看護ステーションやまがた，山形；2017年10月
- 21) 大竹まり子：在宅療養と社会資源。山形県看護協会 訪問看護養成講習会公開講座，山形；2017年10月
- 22) 大竹まり子：在宅がん療養者と家族を支える多職種連携。平成29年度在宅医療・在宅看護教育センターがん緩和看護合同研修会，山形；2017年10月
- 23) 進藤真由美：大学で看護を学ぶ—未来の自分に種をまこう—。平成29年度山形県立米沢東高等学校総合大学体験「出前講座」，米沢；2017年10月
- 24) 小林淳子：地域で看護する 地域を看護する —健康と公衆衛生看護—。新潟県立村上高校，新潟；2017年11月
- 25) 松田友美：救急隊員のための研修会「在宅療養者における救急搬送時の留意点」。西村山広域行政事務組合消防本部，寒河江；2017年11月
- 26) 森鍵祐子：地域保健活動の評価とまとめ方。山形県最上保健所 平成29年度第2回最上地域市町村支援研修会，新庄；2017年11月
- 27) 森鍵祐子：山形県看護協会平成29年度自治体保健師に求められる能力について—標準的なキャリアラダーの活用—研修。実践事例の検討・グループワークコーディネーター，山形；2017年11月

- 28) 森鍵祐子：定期健康診断事後措置について。山形産業保健総合支援センター 衛生管理者等研修，米沢；2017年11月
- 29) 森鍵祐子：地域保健活動・事業のまとめを発表してみようー抄録のまとめ方と発表の仕方ー。山形県置賜保健所 平成29年度第2回置賜地域中堅期保健師等研修会，米沢；2017年11月
- 30) 赤間由美：地域保健活動の評価とまとめ方。山形県村山保健所管内新任期・中堅期保健師研修会，山形；2017年11月
- 31) 大竹まり子：平成29年度在宅療養推進講演会。みんなで学ぶ訪問看護～基礎編～，新庄；2017年12月
- 32) 赤間由美：こころの健康について。平成29年度山形県社会福祉事業団健康運動普及推進員養成講座，山形；2017年12月
- 33) 松田友美，進藤真由美：自立につながるポジショニング実践講座。訪問看護ステーションにこ，鶴岡；2018年1月
- 34) 松田友美，進藤真由美：自立につながるポジショニング実践講座。山形県置賜保健所，長井；2018年1月
- 35) 森鍵祐子：地域保健活動評価について。山形県置賜保健所 平成29年度第3回置賜地域中堅期保健師等研修会，米沢；2018年1月
- 36) 森鍵祐子：置賜地域保健活動発表会助言者。山形県置賜保健所 平成29年度第2回地域保健人材育成研修会，米沢；2018年2月
- 37) 松田友美：看護を学ぶ 大学を選ぶ 看護実践と科学的思考 Evidence Based Nursing。天童市立第一中学校 平成29年度職業講話，天童；2018年3月

3. 学会，講演会，シンポジウム，ワークショップ等の開催

- 1) 小林淳子：第20回北日本看護学会学術集会主催（山形大学医学部），山形市；2017年9月
- 2) 小林淳子：（座長）山形県看護師等確保推進会議，山形；2017年10月
- 3) 松田友美：山形大学医学部在宅がん緩和看護及び在宅医療・在宅看護教育センター合同研修会 特別講演「地域医療構想と在宅医療・在宅看護」，山形；2017年6月
- 4) 松田友美：山形大学医学部在宅がん緩和看護及び在宅医療・在宅看護教育センター合同研修会 教育講演「在宅の不思議な力～どんなときでも、命は輝く」「がん体験者と共に歩む～マギーズ東京における支援の実際～」，山形；2018年2月
- 5) 大竹まり子：やまがた在宅ケアかごねつと学習会，山形；2017年5月，7月，11月，2018年3月

医学系研究科

先進的医科学専攻 創薬・システム医科学コース

生命情報工学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Kikuchi M^{**}, Feng Z^{**}, Kosawada T^{**}, Sato D, Nakamura T, Umezu M^{**}: Stress relaxation and stress-strain characteristics of porcine amniotic membrane. *Bio-Med Mater Eng.* 2016; 27(6): 603-611 (doi: 10.3233/BME-161612) (pub'd Feb 21, 2017) B

1. 論文

(1) 原著

- 1) Nishina A**, Itagaki M**, Suzuki Y**, Koketsu M**, Ninomiya M**, Sato D, Suzuki T**, Hayakawa S**, Kuroda M**, Kimura H**: Effects of flavonoids and triterpene analogues from leaves of *Eleutherococcus sieboldianus* (Makino) Koidz. 'Himeukogi' in 3T3-L1 preadipocytes. *Molecules*. 2017; 22(4): 671 (14 pages) (doi: 10.3390/molecules22040671) B
- 2) Nishina A**, Shimizu K**, Koketsu M**, Ninomiya M**, Sato D, Suzuki T**, Hayakawa S**, Kimura H**: 5,7-Dihydroxyflavone analogues may regulate lipopolysaccharide-induced inflammatory responses by suppressing I κ B α -linked Akt and ERK5 phosphorylation in RAW 264.7 macrophages. *Evid Based Complement Alternat Med*. 2017; 2017: 7898973 (12 pages) (doi: 10.1155/2017/7898973) B
- 3) Nishina A**, Itagaki M**, Sato D, Kimura H**, Hirai Y**, Phay N**, Makishima M**: Rosiglitazone-like effect of vitexilactone, a constituent from *Vitex trifolia* L. in 3T3-L1 preadipocytes. *Molecules*. 2017; 22(11): 2030 (13 pages) (doi: 10.3390/molecules22112030) B
- 4) Fujita K**, Feng Z**, Sato D, Kosawada T**, Nakamura T, Shiraisi Y**, Umezu M**: Modulation of the mechanical properties of ventricular extracellular matrix hydrogels with a carbodiimide crosslinker and investigation of their cellular compatibility. *AIMS Mater Sci*. 2018; 5(1): 54-74 (doi: 10.3934/matersci.2018.1.54) B

(2) 総説及び解説

- 1) Yamada K**, Sato D, Nakamura T, Amano H**, Morimoto Y**: Unknown biological effects of L-glucose, ALA, and PUFA. *J Physiol Sci*. 2017; 67: 539-548 (doi: 10.1007/s12576-017-0544-x) B
- 2) Feng Z**, Kosawada T**, Nakamura T, Sato D, Kitajima T**, Umezu M**: Theoretical methods and models for mechanical properties of soft biomaterials. *AIMS Mater Sci*. 2017; 4(3): 680-705 (doi: 10.3934/matersci.2017.3.680) B

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 一般演題

- 1) Sato D, Yamaguchi R, Suzuki R, Sasaki H, Kusunoki M**, Feng Z**, Nakamura T: Electrical microstimulation of peripheral sympathetic nerve fascicle enhances glucose uptake independently of insulin action in rats. *ISAN 2017, Nagoya; September 2017* B

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 馮忠剛**, 小沢田正**, 中村孝夫, 佐藤大介, 梅津光生**: コラーゲンゲルにおける細胞・組織の力学. 第56回日本生体医工学会大会, 仙台; 2017年5月 (オーガナイズドセッション) B

ii 一般演題

- 1) 佐々木寛之, 小玉麻衣, 石井直樹, 佐藤大介, 楠正隆**, 中村孝夫: 単離脂肪細胞径測定法の開発. 第56回日本生体医工学会大会, 仙台; 2017年5月 B
- 2) 鈴木遼, 山口陸, 佐藤大介, 楠正隆**, 中村孝夫: ラット末梢交感神経束への microstimulation による糖取り込み亢進効果. 第56回日本生体医工学会大会, 仙台; 2017年5月 B
- 3) 齊藤丈, 小坂薫, 佐藤大介, 馮忠剛**, 楠正隆**, 中村孝夫: ラット初代培養心筋細胞の拍動能に及ぼすドコサヘキサエン酸及びアラキドン酸の効果. 第56回日本生体医工学会大会, 仙台; 2017年5月 B
- 4) 藤田恭平**, 馮忠剛**, 小沢田正**, 佐藤大介, 中村孝夫, 白石泰之**, 梅津光生**: 心室組織 ECM 由来ハイドロゲルの力学特性の向上と細胞適合性の評価. 第56回日本生体医工学会大会, 仙台; 2017年5月 B

- 5) 柳橋隆全^{**}, 三浦恒^{**}, 鈴木陽介^{**}, 馮忠剛^{**}, 小沢田正^{**}, 佐藤大介, 中村孝夫, 梅津光生^{**}: 応力印加により弾性を調整した羊膜上での培養線維芽細胞の挙動. 第56回日本生体医工学会大会, 仙台; 2017年5月 B
- 6) 佐藤大介, 小坂薫, 斉藤丈, 楠正隆^{**}, 中村孝夫: ラット培養心筋細胞の拍動能及び脂肪酸組成に及ぼす多価不飽和脂肪酸の効果. 第69回日本生物工学会大会, 東京; 2017年9月 B
- 7) 佐藤大介, 小田加奈子, 楠正隆^{**}, 中村孝夫: 高脂肪食がラット脂肪組織中脂肪酸組成の解剖学的部位依存性に及ぼす影響. 第38回日本肥満学会, 大阪; 2017年10月 B

(3) 座 長

i 一般演題

- 1) 中村孝夫: 「呼吸器」セッション. 第56回日本生体医工学会大会, 仙台; 2017年5月
- 2) 佐藤大介: 「筋骨格系2」セッション. 第56回日本生体医工学会大会, 仙台; 2017年5月
- 3) 佐藤大介: 「循環器バイオ」セッション. 第56回日本生体医工学会大会, 仙台; 2017年5月

医学部附属施設

メディカルサイエンス推進研究所

遺伝子実験センター

1. 論文

(1) 原著

- 1) Homma T*, Akihara R*, Okano S, Shichiri M**, Yoshida Y**, Yamada KI**, Miyata S**, Nakajima O, Fujii J*: Heightened aggressive behavior in mice deficient in aldo-keto reductase 1a (Akr1a). Behav Brain Res. 2017; 319: 219-224 B

2. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 蛋白質同定のための質量分析講習会 (第14回). 遺伝子実験センター講習会, 山形; 2017年2月
- 2) DNA組換え実験トレーニングコース (第15回). 遺伝子実験センター講習会, 山形; 2017年3月

遺伝子実験センター

1. 論文

(1) 原著

- 1) Saitoh S, Okano S, Nohara H, Nakano H, Shirasawa N*, Naito A*, Yamamoto M**, Kelly VP**, Takahashi K**, Tanaka T**, Nakajima M**, Nakajima O: 5-aminolevulinic acid (ALA) deficiency causes impaired glucose tolerance and insulin resistance coincident with an attenuation of mitochondrial function in aged mice. *PLoS One*. 2018; 13: e0189593 B, C, D

(2) 総説

- 1) 中島修, 中島元夫: ヘム生成前駆体 5 - アミノレブリン酸(ALA)の糖尿病治療薬への応用と、生体内でのALA合成失調による糖代謝異常. *医薬品相互作用*. 2018; 42: 1-9

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 一般演題

- 1) Osamu Nakajima, Shinichi Saitoh, Hiroshi Nakano, Hidekazu Nohara, Satoshi Okano, Tsukasa Osaki*, Tadaaki Ichinose*, Nobuyuki Shirasawa*, Akira Naito*, Masayuki Yamamoto**, Vincent P. Kelly**, Kiwamu Takahashi**, Tohru Tanaka**, Motowo Nakajima**: Heme Deficiency Causes impaired Glycogen Synthesis in Skeletal Muscle due to Elevation in ATP levels, Leading to Insulin Resistance. 5th International ALA and Porphyrin Symposium, Munich; December 2017 B, C, D
- 2) Okano S, Yasui A**, Kanno S**, Satoh K**, Hayasaka K**, Igarashi M**, Nakajima O: Pancreatic intraepithelial neoplasia-like cells in diabetic cysteine414-alanine-mCRY1 transgenic mice. *Tohoku Forum on Aging Science*, Sendai; May 2017 B
- 3) Okano S, Yasui A**, Kanno S**, Hayasaka K**, Igarashi M**, Nakajima O: Reduced expression of KPNA2 and dysfunction of β -cells in C414A-CRY1 transgenic mice. 77th Scientific Sessions American Diabetes Association, San Diego; June 2017 B
- 4) Okano S, Yasui A**, Kanno S**, Satoh K**, Hayasaka K**, Igarashi M**, Nakajima O: Features of pancreatic intraepithelial neoplasia and tubular complex in diabetic cysteine414-alanine-mCRY1 transgenic mice. XV European Biological Rhythms Society Congress, Amsterdam; Aug 2017 B

(2) 国内の学会

i 一般演題

- 1) 斉藤真一, 中野博, 野原豪和, 尾崎司*, 白澤信行**, 岡野聡, 山本雅之**, Vincent Kelly**, 高橋究**, 田中徹**, 中島元夫**, 中島修: ヘム欠乏は骨格筋での細胞内ATPレベル上昇をもたらす、インスリン抵抗性の原因となるグリコーゲン合成異常を惹起する. 第7回ポルフィリン-ALA学会年会, 宇部; 2017年4月 B, C, D
- 2) 松野秀太郎, 岡野聡, 斉藤真一, 中野博, 中島修: 時計遺伝子産物CRY1ヘム結合モチーフへの点変異導入マウスにおける糖代謝および生物時計機能の解析. 2017年度生命科学系学会合同年次大会, 神戸; 2017年12月
- 3) 斉藤真一, 尾崎司*, 中野博, 野原豪和, 岡野聡, 一瀬白帝*, 白澤信行**, 内藤輝, 山本雅之**, ケリー ヴィンセント**, 高橋究**, 田中徹**, 中島元夫**, 中島修: ヘム欠乏は骨格筋での細胞内ATPレベル上昇をもたらす、インスリン抵抗性の原因となるグリコーゲン合成異常を惹起する. 2017年度生命科学系学会合同年次大会, 神戸; 2017年12月 B, C, D
- 4) 岡野聡, 安井明**, 菅野新一郎**, 佐藤賢一**, 早坂清**, 五十嵐雅彦**, 中島修: mCRY1-C414A変異体過剰発現マウスの膵臓におけるtubular complexからの膵 β 細胞の新生とKPNA2の発現. 2017年度生命科学系学会合同年次大会, 神戸; 2017年12月 B

(3) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 齊藤真一, 中野博, 野原豪和, 尾崎司, 一瀬白帝, 白澤信行, 内藤輝, 岡野聡, 山本雅之, Vincent Kelly, 高橋究, 田中徹, 中島元夫, 中島修: ヘム欠乏は骨格筋での細胞内 ATP レベル上昇をもたらし、インスリン抵抗性の原因となるグリコーゲン合成異常を惹起する. 日本生化学会東北支部第 83 回例会・シンポジウム, 仙台; 2017 年 5 月
- 2) 齊藤真一, 中野博, 野原豪和, 岡野聡, 山本雅之, 高橋究, 田中徹, 中島元夫, 中島修: 赤血球型 5-アミノレブリン酸合成酵素 ALAS2 遺伝子破壊マウスヘテロ接合体における血清インスリンレベル低下に伴う耐糖能異常. 日本生化学会東北支部第 83 回例会・シンポジウム, 仙台; 2017 年 5 月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) ゲノム編集技術の遺伝子改変マウス作製への応用. 遺伝子実験センター技術講習会, 山形; 2017 年 6 月

4. その他

- 1) ゲノム編集マウス受託作製 (学内 4 件[山形大学医学部 4 件, 全件ゲノム編集マウス], 学外 5 件[京都府立医科大学 5 件, うち 1 件がゲノム編集マウス, 4 件がトランスジェニックマウス])
- 2) トランスジェニックマウスライン化作業 (学外 4 件[札幌医科大学 1 件, 徳島大学疾患酵素センター 3 件])

動物実験センター

1. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 伊藤恒賢：山形大学における3Rsに基づいた実験動物福祉の実践と支援技術。日本全薬工業株式会社研究開発本部中央研究所 教育講演，福島県郡山市；2018年1月

ii 一般演題

- 1) 伊藤恒賢，尾崎順子，福田直樹，須藤まゆみ，田中大資：129系ノックアウトマウスの体外受精率に対するBuserelinの効果。第64回日本実験動物学会総会，郡山市；2017年5月
- 2) 伊藤恒賢，尾崎順子，福田直樹，須藤まゆみ，野原豪和，長橋 武，金子健也，志田由美子，井上 歩：PMSG-hCGホルモンの投与間隔および交尾刺激がマウスの体外受精成績に及ぼす影響。第51回日本実験動物技術者協会総会，山形；2017年10月
- 3) 伊藤恒賢，尾崎順子，福田直樹，須藤まゆみ，野原豪和，長橋 武，金子健也，志田由美子，井上 歩：マウスの体外受精成績に及ぼす交尾刺激の影響。日本実験動物技術者協会第3回実験動物技術研究交流大会，仙台；2017年10月

(2) 座長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 伊藤恒賢：「ラットの生殖工学～技術の現状と目的～」江藤智生（公益財団法人実験動物中央研究所）。日本実験動物技術者協会平成28年度東北支部総会特別講演，山形県山形市；2017年4月
- 2) 伊藤恒賢：「サイトメガロウイルス（CMV）感染症の発症病理」錫谷 達夫（福島県立医科大学医学部微生物学講座）。第51回日本実験動物技術者協会総会-2017山形大会-特別講演2，山形県山形市；2017年10月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 尾崎順子：「ミニブタにおける実験手技と実験モデル」小沼 克安（株式会社日本バイオリサーチセンター試験部）。第51回日本実験動物技術者協会総会-2017山形大会-ワークショップ4，山形県山形市；2017年10月

2. 学会，講演会，シンポジウム，ワークショップ等の開催

- 1) 平成28年度日本実験動物技術者協会東北支部総会及び講演会，山形市；2017年4月
- 2) 第51回日本実験動物技術者協会総会，山形市；2017年10月
- 3) 日本実験動物技術者協会第3回実験動物技術研究交流大会，仙台市；2017年11月
- 4) 実験動物セミナー・第28回研究成果発表会，山形市；2017年12月

生化学解析センター

1. 学会報告及び座長

(1) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 田中敦：ミトコンドリアのストレス応答からみたオルガネラ接触場の形成と細胞内鉄動態恒常性の関係. 第379回川崎医学会（川崎医科大学，招待講演），岡山県；2017年1月
- 2) 田中敦：ストレス応答性ミトコンドリア由来小胞とオルガネラ接触場形成の関係性. AMED 難治性疾患実用化研究事業：ミトコンドリア病診療の質を高める、レジストリシステムの構築、診断基準・診療ガイドラインの策定および診断システムの整備を行う臨床研究，AMED 班会議（外部研究者，招聘講演），神奈川県；2017年2月

ii 一般演題

- 1) 田中敦：オートファジー欠損肝臓におけるミトコンドリア崩壊像の素過程観察と検討. AMED 肝炎等克服実用化研究事業－ウイルス性肝疾患領域における新たな知見の創出や新規技術の開発に関する研究，AMED 班会議（研究進捗報告），大阪府；2017年1月

2. 学会等での受賞

- 1) 田中敦：山形大学 研究活動報奨. 2017年3月

生化学解析センター

1. 論文

(1) 原著

- 1) Ochi H, Suzuki N, Kawaguchi A**, Ogino H**: Asymmetrically reduced expression of hand1 homeologs involving a single nucleotide substitution in a cis-regulatory element. *Developmental Biology*. 2017; 425(2): 152-160 B
- 2) Ochi H, Kawaguchi A**, Tanouchi M**, Suzuki N, Kumada T, Iwata Y**, Ogino H**: Co-accumulation of cis-regulatory and coding mutations during the pseudogenization of the *Xenopus laevis* homeologs six6.L and six6.S. *Developmental Biology*. 2017; 427(1): 84-92
- 3) Satoh A**, Mitogawa K**, Saito N**, Suzuki M**, Suzuki KT**, Ochi H, Makanae A**: Reactivation of larval keratin gene (*krt62.L*) in blastema epithelium during *Xenopus* froglet limb regeneration. *Developmental Biology*. 2017; 432(2): 265-272 B
- 4) Cakir Z**, Funk K**, Lauterwasser J**, Todt F**, Zerbes RM**, Oelgeklaus A**, Tanaka A, van der Laan M**, Edlich F**: Parkin promotes proteasomal degradation of misregulated BAX. *J Cell Sci*. 2017; 130(17): 2903-2913 B, D

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 鈴木菜花, 熊田樹, 荻野肇, 越智陽城: 腎組織再生における *Arid3a* による再生シグナル応答エンハンサーの活性化メカニズム. 第 88 回日本動物学会(シンポジウム: 2 倍体と 4 倍体の両生類ゲノム情報の整備をうけて 一両生類を利用した生命科学の次の 10 年を探る), オーガナイザー: 越智陽城, 荻野肇, 富山; 2017 年 9 月
- 2) 鈴木菜花, 熊田樹, 川口茜, 荻野肇, 越智陽城: 二倍体と四倍体のカエルのゲノムに刻まれたシス調節配列から遺伝子発現調節の進化を読み解く. 第 89 回日本遺伝学会(ワークショップ: 遺伝子重複は生物進化になにをもたらしたのか?), オーガナイザー: 宇野好宣, 一柳健司, 岡山; 2017 年 9 月

ii 一般演題

- 1) 川岸由**, 久保純**, 松本健**, 田中敦, 小椋利彦**, 野村真一郎**: 巨大リボソーム電気融合による異種細胞へのミトコンドリア導入. 2017 年度生命科学系学会合同年次大会(Conbio2017, 第 40 回日本分子生物学会年会・第 90 回日本生化学会大会), 兵庫県; 2017 年 12 月 B
- 2) 田中敦, 井上弘章, Mattie S**, McBride H**: ミトコンドリアが感知する細胞内鉄動態と応答するミトコンドリアダイナミクスの変化. 2017 年度生命科学系学会合同年次大会(Conbio2017, 第 40 回日本分子生物学会年会・第 90 回日本生化学会大会), 兵庫県; 2017 年 12 月 B, D

(2) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 田中敦: ミトコンドリアのストレス応答からみた細胞小器官接触場の形成と細胞内鉄動態恒常性の関係. 第 53 回 肝形態科学研究会(招待講演), 広島県; 2017 年 6 月
- 2) 越智陽城: 二倍体と四倍体のカエルのゲノムに刻まれた遺伝子発現調節の進化. 日本動物学会北海道支部講演会(招待講演), 北海道; 2017 年 8 月

ii 一般演題

- 1) 田中敦: オートファジー欠損肝臓における発現解析とミトコンドリア崩壊像の関係性検討. AMED 肝炎等克服実用化研究事業-ウイルス性肝疾患領域における新たな知見の創出や新規技術の開発に関する研究, AMED 班会議(研究進捗報告), 大阪府; 2017 年 7 月
- 2) 田中敦: オートファジー欠損肝臓における発現解析とミトコンドリア崩壊における鉄代謝変化の検討.

AMED 肝炎等克服実用化研究事業－ウイルス性肝疾患領域における新たな知見の創出や新規技術の開発に関する研究, AMED 班会議 (研究進捗報告), 大阪府; 2018 年 1 月

(3) 座 長

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 越智陽城, 荻野肇: (オーガナイザー) シンポジウム: 2 倍体と 4 倍体の両生類ゲノム情報の整備をうけて一両生類を利用した生命科学の次の 10 年を探る。第 88 回日本動物学会, 富山県; 2017 年 9 月
- 2) 田中敦: (オーガナイザー) ショートトーク. ミトコンドリアサイエンスワークショップ 2017, 山形県; 2017 年 7 月
- 3) 田中敦: セッション II. 第 25 回山形分子生物学セミナー, 山形県; 2017 年 11 月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) ミトコンドリアサイエンスワークショップ 2017, 山形県; 2017 年 7 月
- 2) サイエンスレクチャー (外部研究者招聘セミナー) 睡眠と脳内プロテオスタシス 「良質な睡眠」による神経変性疾患の治療の可能性, 山形県; 2017 年 10 月
- 3) メディカルサイエンス推進研究所主催セミナー オートファジーの生理的役割～神経特異的 Atg5 レスキューマウスからの考察～, 山形県; 2017 年 10 月

4. 学会等での受賞

- 1) 越智陽城: 奨励賞. 脊椎動物の組織・器官形成における遺伝子発現調節メカニズムとその進化の研究. 第 88 回日本動物学会, 富山県; 2017 年 9 月
http://www.zoology.or.jp/news/index.asp?patten_cd=12&page_no=1131
- 2) 田中敦: 山形大学 研究活動報奨. 2018 年 3 月
- 3) 越智陽城: 山形大学 研究活動報奨. 2018 年 3 月

5. そ の 他

- 1) 田中敦: 細胞の中から探る病気のしくみ. 山形大学学長定例記者会見, 山形県; 2017 年 9 月
https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/information/press/20170921_01/

総合医学教育センター

1. 論文

(1) 原著

- 1) 森田恵美子^{**}, 杉浦良啓^{**}, 中西淑美: 看護師長の共感学習が組み込まれた医療メデイエーション研修効果とその要因検討. 陶生医療. 2016; 32; 91-97 (2017年3月発行)
- 2) 長島久^{**}, 東良平^{**}, 永井弥生^{**}, 村山博和^{**}, 渡邊良平^{**}, 志賀隆^{**}, 中西淑美, 和田仁孝^{**}: 医師・歯科医師を対象とした医療コンフリクト・マネジメント教育プログラム策定に向けた検討—医療対話推進者養成講座基礎編を修了した医師・歯科医師に対するアンケート調査の結果から. 医療コンフリクト・マネジメント. 2017; 5: 41-48

(2) その他

- 1) 中西淑美: No. 8 臨床倫理メデイエーション講座. 文化連情報. 2017; 1(466): 44-48
- 2) 中西淑美: No. 9 臨床倫理メデイエーション講座. 文化連情報. 2017; 2(467): 26-30
- 3) 中西淑美: No. 10 臨床倫理メデイエーション講座. 文化連情報. 2017; 3(468): 34-37

2. 学会報告及び座長

(1) 国内地方会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 中西淑美: 整形外科に必要な臨床倫理とは何か. 第82回山形整形外科研究会, 山形; 2017年3月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 中西淑美: セルフメデイエーション. 日本医療評価機構教育研修, 東京; 2017年2月

(2) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 佐藤慎哉: 転移性脳腫瘍に関する大規模治験(JCOG study). 第67回弘前癌治療懇話会, 弘前; 2017年2月

(3) その他

- 1) 中西淑美: 医療対話推進者教育担当として教育評価項目指導. 日本医療機能評価機構, 東京; 2017年1月-2017年3月
- 2) 中西淑美: 家事民事調停相談. 山形県調停協会, 山形; 2017年1月-2017年3月
- 3) 中西淑美: 適宜教育評価者として指導教育. 早稲田大学紛争交渉研究所, 東京; 2017年1月-2017年3月
- 4) 中西淑美: 医療対話推進者教育担当として会員向け指導教育, 山形; 2017年1月-2017年3月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 中西淑美: 医療コンフリクト・マネジメント勉強会. 山形大学医療ADR定例勉強会, 山形; 2017年1月-2017年3月 (毎月1回)

追録

1. 論文

(1) 著書

- 1) 和田仁孝^{*}, 中西淑美: 第3章 周産期の医療事故とリスクマネジメント 1. 周産期医療事故. 我部山キヨ子, 毛利多恵子編集, 助産学講座10第5版 助産管理. 東京; 医学書院, 2016年2月: 80-91

総合医学教育センター

1. 論文

(1) 総説及び解説

- 1) 佐藤慎哉, 嘉山孝正: 脳脊髄液漏出症. *Clinical Neuroscience*. 2017; 35(9): 1131-1133
- 2) 佐藤慎哉, 嘉山孝正: 山形県コホート研究. *実験医学*. 2017; 35(17)Supple: 67-73
- 3) 佐藤慎哉: 12 水頭症. *BRAIN NURSING*. 2017; 33(4): 353-355
- 4) 中西淑美: 臨床現場での患者安全への取り組み 医療メディエーション. *治療*. 2017; 99(12): 1536-1541

(2) 著書

- 1) 中西淑美: もうひとつの医療ADR—「医療メディエーション」という和解論. 豊田愛祥, 太田勝造, 林圭介, 斎藤輝夫編, 和解は未来を創る. 東京; 信山社, 2018: 417-450

(3) その他

- 1) 中西淑美: 巻頭言. *医療コンフリクト・マネジメント*. 2018; 6: 1-2
- 2) 中西淑美: No. 11 臨床倫理メディエーション講座. *文化連情報*. 2017; 4(469): 40-45
- 3) 中西淑美: No. 12 臨床倫理メディエーション講座. *文化連情報*. 2017; 5(470): 38-43
- 4) 中西淑美: No. 13 臨床倫理メディエーション講座. *文化連情報*. 2017; 6(471): 40-43
- 5) 中西淑美: No. 14 臨床倫理メディエーション講座. *文化連情報*. 2017; 7(472): 54-59
- 6) 中西淑美: No. 15 臨床倫理メディエーション講座. *文化連情報*. 2017; 9(474): 70-75
- 7) 中西淑美: No. 16 臨床倫理メディエーション講座. *文化連情報*. 2017; 10(475): 46-51
- 8) 中西淑美: No. 17 臨床倫理メディエーション講座. *文化連情報*. 2017; 11(476): 46-51
- 9) 中西淑美: No. 18 臨床倫理メディエーション講座. *文化連情報*. 2017; 12(477): 34-37
- 10) 中西淑美: No. 19 臨床倫理メディエーション講座. *文化連情報*. 2018; 1(478): 42-44
- 11) 中西淑美: No. 20 臨床倫理メディエーション講座. *文化連情報*. 2018; 2(479): 36-40
- 12) 中西淑美: No. 21 臨床倫理メディエーション講座. *文化連情報*. 2018; 3(480): 28-32

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Nakanishi T: Restorative significance in medical mediation (part of a Panel organized by Yoshitaka Wada, Theme: Medical Law III). 2017 Asian Law and Society Annual Conference, Taiwan; Dec 2017

ii 一般演題

- 1) Nakanishi T: Healthcare Workers' Perceptions of Apology, Judicial Function, Dialogue with Patients, and Patient Safety/Medical Quality in case of a Medical Adverse Event. International Annual Conference of The Law & Society, Mexico; June 2017

(2) 国内の学会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 佐藤慎哉: 都道府県医師会と各大学などとの連携の実際 山形県について. 医療事故の調査などに関するシンポジウム, 東京; 2017年7月
- 2) 中西淑美: 医療メディエーションの経営効果. 全国自治体病院協議会経営セミナー2017 特別講演, 東京; 2017年11月
- 3) 中西淑美: 知情意の未来—協働へ向けて. 第7回日本医療コンフリクト・マネジメント学術集会, 会長講演, 山形; 2018年2月

ii 一般演題

- 1) 中西淑美, 伊藤嘉高*: 看護職のコンフリクト・マネジメントにおける実態調査—協働阻害要因. 第19回日本医療マネジメント学会, 仙台; 2017年7月

- 2) 中西淑美:医療メデイエーション教育が医師専門職意識に与える効果. 第49回日本医学教育学会, 札幌; 2017年8月
- 3) 長島久**, 東良平**, 永井弥生**, 村山博和**, 渡邊良平**, 志賀 隆**, 中西淑美, 和田仁孝**: 医師・歯科医師を対象とした医療コンフリクト・マネジメント教育プログラム策定に向けた検討—医療対話推進者養成講座基礎編を修了した 医師・歯科医師に対するアンケート調査の結果から. 第12回医療の質・安全学会学術集会, 千葉; 2017年11月
- 4) 杉浦良啓**, 森田恵美子**, 中西淑美: 言語の共言葉の再起ネットワークを用いた医療メデイエーション対話の可視化. 第7回日本医療コンフリクト・マネジメント学術集会, 山形; 2018年2月
- 5) 早坂美柚, 中西淑美: 医療メデイエーションはインフォームド・コンセントの相互理解を促進する. 第7回日本医療コンフリクト・マネジメント学術集会, 山形; 2018年2月

iii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 佐藤慎哉: 脳脊髄液漏出症の画像診断基準. 第45回日本頭痛学会総会, 大阪; 2017年11月
- 2) 佐藤慎哉: 山形県の支援状況. 医療事故・紛争対応研究会 北海道・東北セミナー, 函館; 2017年9月
- 3) 中西淑美: 多様化する生と死をめぐる対話. 第7回日本医療コンフリクト・マネジメント学術集会, 山形; 2018年2月

(3) 国内地方会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 中西淑美: リハビリテーションと医療安全. 第42回日本リハビリテーション医学会東北地方会専門医・認定臨床医生涯教育研修, 山形; 2017年9月
- 2) 中西淑美: 臨床能力としてのインフォームド・コンセント. 岩手県立病院医学会新規学術集会, 岩手; 2018年1月
- 3) 中西淑美: インフォームド・コンセントに医療メデイエーション概念を活用する. 第145回日本小児科学会静岡地方会, 静岡; 2018年3月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 中西淑美: 医療コンフリクト・マネジメント導入基礎編. JAHM北陸支部フォローアップ研修, 富山; 2017年5月
- 2) 中西淑美: 医療安全と医療コンフリクト・マネジメント. 河北病院, 山形; 2017年5月
- 3) 中西淑美: 医療コンフリクト・マネジメント導入編. JAHM東北支部, 宮城; 2017年5月
- 4) 中西淑美: 医療メデイエーションフォローアップ研修. 新潟県医師会研修, 新潟; 2017年7月
- 5) 中西淑美: 臨床倫理ワークショップ. 日本医療メデイエーター協会東北支部第4回学術集会, 仙台; 2017年7月
- 6) 中西淑美: 医療コンフリクト・マネジメント基礎編. 京都府医師会研修, 京都; 2017年7月
- 7) 中西淑美: 医療コンフリクト・マネジメント研修. 全日本労働災病院機構, 東京; 2017年8月
- 8) 中西淑美: 医療コンフリクト・マネジメント基礎編. 山形県立病院機構, 山形; 2017年9月
- 9) 中西淑美: 医療コンフリクト・マネジメント基礎編. 福岡市医師会, 福岡; 2017年9月
- 10) 中西淑美: 医療コンフリクト・マネジメント基礎編. 和歌山赤十字病院, 和歌山; 2017年9月
- 11) 中西淑美: 医療コンフリクト・マネジメント事例. JAHMワークショップ研修, 仙台; 2017年10月
- 12) 中西淑美: 医療コンフリクト・マネジメント基礎編. JAHM東北支部, 宮城; 2017年10月
- 13) 中西淑美: 医療メデイエーション概念への誘い. 日本海総合病院, 山形; 2017年10月
- 14) 中西淑美: 医療安全スキルアップ研修. 山形県看護協会, 山形; 2017年10月
- 15) 中西淑美: 医療コンフリクト・マネジメント基礎編. 青森県医師会研修, 仙台; 2017年10月
- 16) 中西淑美: 医療メデイエーション研修医編. 愛媛県医師会, 愛媛; 2017年11月
- 17) 中西淑美: 医療コンフリクト・マネジメント基礎編. 全国厚生農業協同組合連合会, 東京; 2017年11月
- 18) 中西淑美: 医療コンフリクト・マネジメント導入編. 仙台医療センター, 宮城; 2017年11月
- 19) 中西淑美: 医療安全と医療メデイエーション. 静岡県磐田市立病院, 静岡; 2017年11月
- 20) 中西淑美: 医療メデイエーションフォローアップ研修. 新潟県医師会研修, 新潟; 2017年12月
- 21) 中西淑美: 医療コンフリクト・マネジメント基礎編. 日本医療機能評価機構, 埼玉; 2017年12月
- 22) 中西淑美: 臨床倫理. みゆき病院, 山形; 2017年12月

- 23) 中西淑美：医療コンフリクト・マネジメント基礎編。神奈川県病院機構研修，神奈川；2018年1月
- 24) 中西淑美：倫理メディエーション事例検討会。JAHM会員研修，秋田；2018年1月
- 25) 中西淑美：臨床倫理とは何か。福山循環器病院，広島；2018年3月

(4) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 中西淑美：人と人をつなぐ医療メディエーション。日本医療メディエーター協会東北支部，仙台；2017年10月
- 2) 中西淑美：医療コメディエーションとは何か。秋田整形外科懇話会学術集会，秋田；2018年1月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 中西淑美：母と子の市民講座。NPO法人AGORA，京都；2017年11月

(5) 座長

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 佐藤慎哉：がんの中樞神経転移。第37回日本脳神経外科コンgres総会，横浜；2017年5月
- 2) 佐藤慎哉：脳深部腫瘍に対する手術戦略。第22回日本脳腫瘍の外科学会，鹿児島；2017年9月

ii 一般演題

- 1) 佐藤慎哉：脳出血：一般。日本脳神経外科学会 第76回学術総会，名古屋；2017年10月
- 2) 中西淑美：医療メディエーションの実践（理学療法、作業療法）。第19回医療マネジメント学会，宮城；2017年7月

(6) その他

- 1) 中西淑美：家事民事調停相談。山形県調停協会，山形；2017年4月-2018年3月
- 2) 中西淑美：適宜教育評価者として指導教育。早稲田大学紛争交渉研究所，東京；2017年4月-2018年3月
- 3) 中西淑美：医療対話推進者教育担当として会員向け指導教育，山形；2017年4月-2018年3月

3. 学会，講演会，シンポジウム，ワークショップ等の開催

- 1) 中西淑美：臨床倫理と医療メディエーション。ADR東北有志研究会勉強会，山形；2017年8月
- 2) 中西淑美：医療コンフリクト・マネジメント勉強会。山形大学医療ADR定例勉強会，山形；2017年4月-2018年3月（毎月1回）
- 3) 中西淑美：第12山形県医療ADR学術研究会開催，山形；2017年12月
- 4) 中西淑美：看護師の対人関係の日本海病院の実態報告。山形大学医学部付属病院看護師長看護者教育，山形；2017年6月-2018年3月

中央診療施設

検査部

1. 論文

(1) 総説及び解説

- 1) 森兼啓太：ポータブルトイレ・ベッドパン用袋の有効性に関する検討. INFECTION CONTROL. 2017 ; 26 (3) : 228-231

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Morikane K : Antimicrobial prophylaxis in surgery. The 8th International Congress of the Asia Pacific Society of Infection Control. Meet the Expert, Bangkok, Thailand ; February 2017
- 2) Morikane K : How to apply new technologies and traditional surveillance to prevent SSI?. The 8th International Congress of the Asia Pacific Society of Infection Control, Bangkok, Thailand; February 2017

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 森兼啓太：グラム陰性薬剤耐性菌わが国の現状. 第 28 回日本臨床微生物学会総会・学術集会, 長崎市 ; 2017 年 1 月
- 2) 森兼啓太：SSI サーベイランス事業報告. 第 32 回日本環境感染学会総会・学術集会, 神戸市 ; 2017 年 2 月
- 3) 多湖ゆかり**, 森兼啓太：バスキュラーアクセス関連の感染対策. 第 32 回日本環境感染学会総会・学術集会, 神戸市 ; 2017 年 2 月
- 4) 森兼啓太：2016 年の感染対策 Top Ten Papers. 第 32 回日本環境感染学会総会・学術集会, 神戸市 ; 2017 年 2 月

ii 一般演題

- 1) 森兼啓太, 前川慶之** : 心臓血管外科における 6 年間の SSI サーベイランスの評価. 第 32 回日本環境感染学会総会・学術集会, 神戸市 ; 2017 年 2 月
- 2) 前多香**, 森兼啓太, 谷口弘美**, 宮田貴紀**, 高橋陽一**, 大澤忠**, 細田清美**, 村田弘美**, 伊藤淳**, 又吉慶**, 帯金里美**, 山下恵美**, 多湖ゆかり**, 林沼聖子**, 水野住恵**, 奥由美**, 坪根淑恵**, 畠山国頼**, 吉川美智代**, 政本紀世**, 上野一枝**, 神谷雅代**, 中島博美**, 松崎幸江**, 工藤雅美**, 赤尾康子** : 透析関連感染サーベイランス 9 年目の報告. 第 32 回日本環境感染学会総会・学術集会, 神戸市 ; 2017 年 2 月
- 3) 永野美紀**, 森兼啓太, 中里栄介**, 緒方剛**, 金井信一郎**, 坂本史衣** : 院内感染対策医療機関連携ネットワークへの保健所の関与等の調査と保健所支援事業. 第 32 回日本環境感染学会総会学術集会, 神戸市 ; 2017 年 2 月
- 4) 林沼聖子**, 森兼啓太, 谷口弘美**, 前多香**, 高橋陽一**, 細田清美**, 村田弘美**, 伊藤淳**, 又吉慶**, 山下恵美**, 多湖ゆかり**, 水野住恵**, 坪根淑恵**, 畠山国頼**, 吉川美智代**, 政本紀世**, 神谷雅代**, 帯金里美**, 中島博美**, 松崎幸江** : 透析関連感染防止のための実務調査 ～ガイドライン改訂を踏まえて～. 第 32 回日本環境感染学会総会学術集会, 神戸市 ; 2017 年 2 月

(3) 研究会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 森兼啓太：2016年の感染症と感染制御を振り返る。第56回多摩感染対策懇話会，立川市；2017年1月
- 2) 森兼啓太：カテーテル関連血流感染：その現状と対策。第14回院内感染対策セミナー，新潟市；2017年1月

(4) 座長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 白田亨：血清酵素診断学入門 前川真人先生。平成28年度北日本支部生物化学分析部門研修会，山形市；2017年2月
- 2) 森兼啓太：特別講演2 (Hot topics in hand hygiene)。第32回日本環境感染学会総会学術集会，神戸市；2017年2月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 佐藤美由紀：講演「目指せ尿沈渣ソムリエ 尿中上皮細胞成分判別の極意」。平成28年度山臨技臨床一般部門研修会 大腸がん検診従事者講習会，山形市；2017年1月
- 2) 白田亨：メーカー講演1,2。平成28年度生物化学分析部門研修会，山形市；2017年1月
- 3) 風間知之：血液脈波検査の基礎・臨床・応用。第2回山形動脈硬化セミナー，山形市；2017年2月
- 4) Morikane K, Doo Ryeon Chung：Symposium 19 (Improvement of SSI prevention in Asia Pacific)。The 8th International Congress of the Asia Pacific Society of Infection Control, Bangkok, Thailand；February 2017
- 5) 森兼啓太，黒須一見*：シンポジウム9 (サーベイランスデータを活用した感染対策)。第32回日本環境感染学会総会・学術集会，神戸市；2017年2月
- 6) 森兼啓太：アフタヌーンセミナー3 (薬剤耐性 (AMR) 対策と感染対策)。第32回日本環境感染学会総会・学術集会，神戸市；2017年2月
- 7) 森兼啓太：シンポジウム15 (2016年の感染対策 Top Ten Papers：最新知見のアップデート)。第32回日本環境感染学会総会・学術集会，神戸市；2017年2月

(5) その他

- 1) 森兼啓太：感染症の季節到来！インフル・ノロの対策。山形市立病院済生館感染防止対策研修会，山形市；2017年1月
- 2) 森兼啓太：SSIサーベイランス。感染管理認定看護師のためのキャリアアディベロプメント講座，東京；2017年1月
- 3) 森兼啓太：感染症サーベイランス。厚生労働省院内感染対策講習会，神戸市；2017年1月
- 4) 森兼啓太：再考！感染対策の基本。湘南中央病院感染対策講演会，藤沢市；2017年1月
- 5) 森兼啓太：薬剤耐性菌のアウトブレイクにみる日常の感染対策の重要性。全国自治体病院協議会香川県支部合同研修会，香川県高松市；2017年2月
- 6) 森兼啓太：極めよう～感染対策！SSI予防策から最近話題の感染症まで。びわこICN研修会，京都市；2017年2月
- 7) 森兼啓太：「ばい菌」と「人間」と「抗生剤」の深～い関係：耐性菌の現状と抗菌薬の適正使用。日本海総合病院院内感染対策研修会，酒田市；2017年3月

3. 学会等での受賞

- 1) Keita Morikane：International Ambassador. Society of Healthcare Epidemiology of America, International Ambassador Program；March 2017

検査部

1. 論文

(1) 原著

- 1) Morikane K: Epidemiology and risk factors associated with surgical site infection following different types of hepatobiliary and pancreatic surgery. Surg Today. 2017; 47(10): 1208-1214
- 2) 森兼啓太, 谷口弘美**, 宮田貴紀**: バスキュラーアクセス関連感染症の疫学とそのリスク因子に関する多施設共同研究. 日本透析医会雑誌. 2017; 32(3): 544-549 B
- 3) Kanouchi K, Narimatsu H**, Ohnuma O**, Morikane K, Fukao A: Clinical usefulness of the dilute Russell viper venom time test for patients taking warfarin. Int J Hematol. 2017; 106(2): 206-211 B
- 4) 堀龍一朗, 白田亨, 森兼啓太: 微生物検査の基本 (1) 検体採取. 日本臨床麻酔学会誌. 2017; 37(5): 681-683
- 5) 堀龍一朗, 白田亨, 森兼啓太: 微生物検査の基本 (2) 薬剤感受性試験. 日本臨床麻酔学会誌. 2017; 37(5): 684-686
- 6) 佐和章弘**, 森兼啓太, 針原康**, 清水潤三**: JHAIS SSI サーベイランスの全国集計結果 (No. 18) の報告. 日本環境感染学会誌. 2017; 32(5): 291-301 B

(2) 総説及び解説

- 1) 森兼啓太: 最新の CDC ガイドラインにみるエビデンスに基づいた血流感染対策. Expert Nurse. 2017; 33(5): 82-84
- 2) 森兼啓太: 医療関連感染～日本の現状と対策. クリニックマガジン. 2017; 44(6): 9-13
- 3) 森兼啓太: 論文・ガイドライン Best10. INFECTION CONTROL. 2017; 26(12): 1278-1280

(3) 著書

- 1) 森兼啓太: 総論 VII 医療関連感染. F 医療関連感染の予防とサーベイランス. 日本感染症学会編, 感染症専門医テキスト 改訂第2版. 東京; 南江堂, 2017: 16-531
- 2) 森兼啓太: A 院内感染病態別の管理 4 手術部位感染. 志馬伸朗編集, ICU 感染制御を究める. 東京; 南江堂, 2017: 53-61
- 3) 森兼啓太: I 集中治療領域 12. 感染管理. 大塚将秀, 佐藤直樹, 松田直之編集, 集中治療医学レビュー 2018-'19. 東京; 総合医学社, 2018: 78-81

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) Morikane K: Epidemiology of SSI in Japan and its risk factors. Korean Surgical Infection Society Conference 2017, Seoul (South Korea); July 2017
- 2) Morikane K: Antimicrobial resistant bacteria and its outbreak in Japan. Annual Congress of Korean Surgical Society 2017, Seoul (South Korea); November 2017

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Morikane K: How can we reduce CRBSI incidence rate in the ICU?. The 36th Annual Congress of the Korean Society of Critical Care Medicine, Seoul (South Korea); April 2017
- 2) Morikane K: Epidemiology and impact of peripheral line associated complications. The 30th International Congress of Chemotherapy and Infection, Taipei (Taiwan); November 2017

iii 一般演題

- 1) Kanouchi K, Sakata T**, Ohta R, Sato M, Takahama Y, Suzuki A, Morikane K: Assessment of a pre-analytical check system on ACL TOP 750 CTS. 63rd Annual Scientific and Standardization Committee (SSC) Meeting of the International Society on Thrombosis and Haemostasis, Berlin (Germany); July 2017

- 2) Sakaki H**, Takano Y**, Watanabe T**, Fujita R**, Kurosu H**, Shibatani R**, Sakamoto F**, Morikane K, Harihara Y**: Device-associated infections surveillance project among neonatal intensive care units by the Japanese Society for Infection Prevention and Control, Data summary for 2015 and 2016. Infection Prevention 2017, Manchester (United Kingdom); September 2017 B
- 3) Fujita R**, Takano Y**, Watanabe T**, Sakaki H**, Kurosu H**, Shibatani R**, Sakamoto F**, Morikane K, Harihara Y**: Device-associated infection surveillance project by Japanese Society for Infection Prevention and Control, data summary for 8 years. Infection Prevention 2017, Manchester (United Kingdom); September 2017 B
- 4) Morikane K: Epidemiology and risk factors associated with surgical site infection following thoracic aortic surgery. IDWeek2017, San Diego (USA); October 2017

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 森兼啓太：患者の命をまもる 梢ラインの理想的な管理をめざして. 第 6 回日本感染管理ネットワーク学会学術集会, 函館市; 2017 年 5 月
- 2) 森兼啓太：感染症専門家から見た感染症対策の課題と対応. 第 76 回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島市; 2017 年 10 月
- 3) 森兼啓太：海外と比較する日本の手術部位感染の現状. 第 31 回日本手術看護学会年次大会, 大阪市; 2017 年 11 月
- 4) 森兼啓太：医療従事者が知っておきたい感染対策. 第 19 回大阪病院学会, 大阪市; 2017 年 11 月
- 5) 森兼啓太：薬剤耐性菌の伝播防止対策およびアウトブレイクへの対応. 第 64 回日本臨床検査医学会学術集会, 京都市; 2017 年 11 月
- 6) 森兼啓太：カテーテル関連血流感染の疫学と防止. 第 37 回日本臨床麻酔学会, 東京; 2017 年 11 月
- 7) 森兼啓太：周術期感染症の防止ハイリスク症例を如何に見極めるか?. 第 30 回日本外科感染症学会総会学術集会, 東京; 2017 年 11 月
- 8) 森兼啓太：末梢ライン関連合併症はまれなのか?. 第 30 回日本外科感染症学会総会学術集会, 東京; 2017 年 11 月
- 9) 森兼啓太：透析関連感染サーベイランスの意義 NHSN (DSN) と DSN-J との比較. 第 33 回日本環境感染学会総会・学術集会, 東京; 2018 年 2 月
- 10) 森兼啓太：SSI サーベイランス事業報告. 第 33 回日本環境感染学会総会・学術集会, 東京; 2018 年 2 月
- 11) 森兼啓太：2016 年の感染制御に関する Top Papers. 第 33 回日本環境感染学会総会・学術集会, 東京; 2018 年 2 月
- 12) 木戸内清**, 吉川徹**, 満田年宏**, 李宗子**, 網中眞由美**, 國島広之**, 黒須一見**, 細見由美子**, 森兼啓太, 森澤雄司**, 和田耕治**, 森屋恭爾**: エピネット日本版サーベイランスの成り立ちとその意義. 第 33 回日本環境感染学会総会学術集会, 東京; 2018 年 2 月 B
- 13) 細見由美子**, 吉川徹**, 満田年宏**, 李宗子**, 網中眞由美**, 木戸内清**, 國島広之**, 黒須一見**, 森兼啓太, 森澤雄司**, 和田耕治**, 森屋恭爾**: エピネット日本版の正しいデータ収集・入力方法—データ入力の間違い事例等から. 第 33 回日本環境感染学会総会学術集会, 東京; 2018 年 2 月
- 14) 白田亨：ラボスペクト 2 台を搬送で接続した運用. 第 28 回生物試料分析科学学会年次学術集会, 山形市; 2018 年 3 月

ii 一般演題

- 1) 風間知之, 西山悟史*, 吉田由美子, 渡邊哲*, 橋本直土*, 山浦玄斎*, 和根崎真大*, 田村晴俊*, 森兼啓太, 久保田功*: 深部静脈血栓症における下肢静脈超音波検査の有用性 CT・D-dimer との比較検討. 第 90 回日本超音波医学会学術集会, 宇都宮市; 2017 年 5 月
- 2) 叶内和範, 惣宇利正善*, 小川ひな**, 大久保里枝**, 若井幸子**, 森兼啓太, 一瀬白帝*: 複合的凝固系異常所見を示した高力価の中和型抗 V 因子抗体 (第 V 因子インヒビター) の実験的解析. 第 39 回日本血栓止血学会学術集会, 名古屋市; 2017 年 6 月 B
- 3) 小川ひな**, 大久保里枝**, 川西智子**, 若井幸子**, 叶内和範, 惣宇利正善*, 森兼啓太, 一瀬白帝*: 透析後止血困難で当初第 VIII, 第 IX 因子インヒビターが疑われた高力価第 V 因子インヒビター症例. 第 39

- 回日本血栓止血学会学術集会, 名古屋市; 2017年6月
- 4) 阿部知世, 梅本昂, 佐藤大亮, 波多野寛治, 佐藤直仁, 白田亨, 渡辺俊夫, 森兼啓太: 救急外来における高感度トロポニンI (hsTn-I) の有用性 —BNP/hsTn-I を用いた急性冠症候群 (ACS) の特異的診断法の検討—. 第66回日本医学検査学会, 千葉市; 2017年6月
 - 5) 叶内和範, 太田玲子, 佐藤牧子, 高濱祐太, 鈴木あゆみ, 白田亨, 森兼啓太: 採血不良による過凝固検体中における凝固線溶マーカーの変動について. 第18回日本検査血液学会学術集会, 札幌市; 2017年7月
 - 6) 高濱祐太, 叶内和範, 鈴木あゆみ, 佐藤牧子, 太田玲子, 岩村京美, 阪田敏幸, 白田亨, 森兼啓太: ACLTOP750CTSによるプレアナリティカルチェック機能の評価. 日本臨床検査自動化学会第49回大会, 横浜市; 2017年9月
 - 7) 安田英人**, 近藤夏樹**, 山本良平**, 志馬伸朗**, 森兼啓太, 谷本唯**, 前田幹広**, 高瀬暁**, 阿部貴行**, 林淑朗**: ICU患者における末梢静脈カテーテル静脈炎発生頻度と危険因子の抽出. 第45回日本集中医学学会学術集会, 千葉市; 2018年2月
 - 8) 平光良充**, 李宗子**, 吉川徹**, 木戸内清**, 満田年宏**, 網中眞由美**, 黒須一見**, 國島広之**, 森澤雄司**, 和田耕治**, 森兼啓太: 医師と看護師の針刺し・切創報告率に関する分析. 第33回日本環境感染学会総会学術集会, 東京; 2018年2月
 - 9) 白野倫徳**, 赤平恵美**, 一条和枝**, 大石泰也**, 小山田厚子**, 勝平真司**, 桐則行**, 齋藤潤栄**, 潮平英郎**, 篠原真理子**, 鈴木義紀**, 高田英之**, 高橋尚子**, 田嶋信子**, 根岸美恵**, 松田純一**, 村上純子**, 吉田智恵子**, 井上隆俊**, 森兼啓太: 感染管理システム施設連携研究会17施設による抗菌薬使用と耐性菌分離率に関する国内共同サーベイランス. 第33回日本環境感染学会総会学術集会, 東京; 2018年2月
 - 10) 森兼啓太: 心臓血管外科における7年間のSSIサーベイランスの評価. 第33回日本環境感染学会総会・学術集会, 東京; 2018年2月
 - 11) 水野住恵**, 森兼啓太, 谷口弘美**, 宮田貴紀**, 前多香**, 高橋陽一**, 大澤忠**, 細田清美**, 村田弘美**, 伊藤淳**, 又吉慶**, 帯金里美**, 山下恵美**, 多湖ゆかり**, 林沼聖子**, 奥由美**, 坪根淑恵**, 島山国頼**, 吉川美智代**, 政本紀世**: 透析関連感染サーベイランス10年目の報告. 第33回日本環境感染学会総会学術集会, 東京; 2018年2月

(3) 国内地方会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 叶内和範, 白田亨, 森兼啓太: 凝固因子活性値の影響を受けないThe Dilute Russell Viper Venom Time Testの開発. 第49回日本臨床検査医学会東北支部総会・第28回日本臨床化学会東北支部総会, 秋田市; 2017年7月

ii 一般演題

- 1) 白田亨, 阿部知世, 森兼啓太: 高感度トロポニンIによる救急外来における急性冠症候群の特異的検出法の検討. 第49回日本臨床検査医学会東北支部総会・第28回日本臨床化学会東北支部総会, 秋田市; 2017年7月
- 2) 佐藤牧子, 高橋裕子, 田中麻生子, 高濱祐太, 叶内和範, 太田玲子, 白田亨, 森兼啓太: 末梢血に帰属不明細胞を認め骨髓検査で悪性黒色腫の骨髓転移と診断された1症例. 第6回日本臨床衛生検査技師会北日本支部医学検査学会, 秋田市; 2017年10月
- 3) 佐藤直仁, 平井一樹, 梅本昂, 阿部知世, 佐藤大亮, 波多野寛治, 白田亨, 森兼啓太: 可溶性IL-2受容体測定試薬「ナノピア IL-2R」の基礎的検討. 第6回日本臨床衛生検査技師会北日本支部医学検査学会, 秋田市; 2017年10月
- 4) 田中麻生子, 高橋裕子, 高濱祐太, 叶内和範, 佐藤牧子, 太田玲子, 白田亨, 森兼啓太: 自動血球測定装置で血小板数偽高値を示した熱傷患者2症例の検討. 第38回山形県医学検査学会, 長井市; 2017年10月
- 5) 情野文恵, 鈴木朋, 阿部宏美, 吉田由美子, 風間知之, 白田亨, 森兼啓太: 広域周波オシレーション法にて、開胸手術前後の呼吸機能の経過観察が有用だった1症例. 第38回山形県医学検査学会, 長井市; 2017年10月

(4) 研究会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 風間知之：DVTに対する下肢静脈エコーの実際。山形静脈血栓塞栓症懇話会（バイエル薬品主催），山形市；2017年5月
- 2) 風間知之：当院のPAD診療における下肢静脈エコー検査の現状。第9回山形PAD・心不全研究会（大塚製薬共催），山形市；2017年6月
- 3) 森兼啓太：感染対策のトピックス 薬剤耐性菌と標準予防策。第5回精神科感染制御セミナー，仙台市；2017年7月
- 4) 森兼啓太：臨床検査技師が知っておきたい感染症と感染対策。Wako感染対策特別講演セミナー，静岡市；2017年7月
- 5) 森兼啓太：最近の感染制御に関する潮流。第1回KICNセミナー，松本市；2017年8月
- 6) 森兼啓太：手術部位感染防止対策 基本と最新の知見。ICCSN研究会北東北セミナー2017年，秋田市；2017年9月
- 7) 森兼啓太：JANIS データと指標をSSI対策に役立てるには。指標を用いたTQM研究会セミナー，東京；2017年9月
- 8) 森兼啓太：多職種で取り組む感染対策。感染管理セミナー，京都市；2017年9月
- 9) 森兼啓太：感染対策 最近の潮流。第14回医療関連感染と消毒のセミナー，大阪市；2017年9月
- 10) 堀龍一郎：当院の感染対策の現状と課題。第5回感染症診断フォーラム，仙台市；2017年9月
- 11) 叶内和範：ACLTOP750CTSによるプレアナリティカル検体チェックを用いた凝固検査の標準化への取り組み。Werfen血液凝固セミナー in Tokyo 2017，東京；2017年10月
- 12) 森兼啓太：JHAISの活動とCLABSIデータ。2017年ICT育成コースセミナー，東京；2017年10月
- 13) 森兼啓太：血管内留置カテーテル 感染の実態とその防止。第21回日本アクセス研究会学術集会・総会，岐阜市；2017年10月
- 14) 叶内和範：ACLTOP750CTSを用いたプレアナリティカル検体チェックの有用性。Werfen血液凝固セミナー in Tohoku 2017，仙台市；2017年11月
- 15) 叶内和範：ACLTOP750CTSを用いたプレアナリティカル検体チェックの有用性。Werfen血液凝固セミナー in Osaka 2017，大阪市；2017年11月
- 16) 森兼啓太：解析データの見方と今後の研究会の展開。第3回感染管理システム施設連携研究会，東京；2017年12月
- 17) 森兼啓太：血管内留置カテーテル関連血流感染防止の現状と対策。第3回日本VADコンソーシアム研究会，東京；2017年12月
- 18) 森兼啓太：感染症と感染対策 2017年を振り返る。第65回多摩感染対策懇話会，立川市；2018年1月
- 19) 佐藤美由紀：尿一般検査の精度管理。アークレー オーションアカデミー，仙台市；2018年1月
- 20) 佐藤直仁：可溶性インターロイキン2受容体（sIL-2R）測定試薬「ナノピア IL-2R」の基礎的検討。山形県臨床検査技師会2017年度第2回村山地区研修会，山形市；2018年2月
- 21) 阿部知世：救急外来における高感度トロポニンI（hsTn-I）の有用性。山形県臨床検査技師会2017年度第2回村山地区研修会，山形市；2018年2月
- 22) 佐藤牧子：末梢血に帰属不明細胞を認め骨髄検査で悪性黒色腫の骨髄癌腫症と診断された1症例。山形県臨床検査技師会2017年度第2回村山地区研修会，山形市；2018年2月
- 23) 叶内和範：基礎から学ぶ凝固検査。2017年度青森県臨床検査技師会血液検査部門研修会，青森市；2018年2月

ii 一般演題

- 1) 佐藤牧子，田中麻生子，高橋裕子，高濱祐太，叶内和範，太田玲子，白田亨，森兼啓太：化学療法後にみられる末梢血好中球形態異常についての検討。第31回山形造血管器腫瘍研究会，山形市；2017年7月

(5) 座 長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 森兼啓太：特別講演1（口腔ケアを再考する）。第12回日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会セミナー，大阪市；2017年4月

- 2) 佐藤美由紀：新しいタイプの尿管上皮細胞。腎泌尿器検査研究会セミナー2017 in 山形, 山形市；2017年6月
- 3) 風間知之：ライブ&レクチャー PADに対するリハビリ・超音波検査の見方・考え方を学ぶ。第4回東北CVT連絡会・第3回山形動脈硬化セミナー, 山形市；2017年9月
- 4) 白田亨：共用基準範囲 ～ニーズと普及～。平成29年度山形県生物化学分析部門研修会, 山形市；2017年9月
- 5) Morikane K：Invited lecture (WHO SSI prevention guideline) . The 1st International Conference of Surgical Infection Society Asia-Pacific, Tokyo(Japan)；2017年11月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 森兼啓太, 志村浩己**：シンポジウム2(臨床検査医学研究の現状と課題の克服に向けて)。第49回日本臨床検査医学会東北支部総会・第28回日本臨床化学会東北支部総会, 秋田市；2017年7月
- 2) 白田亨：ランチョンセミナー。第6回日本臨床衛生検査技師会北日本支部医学検査学会, 秋田市；2017年10月14日
- 3) 白田亨：ランチョンセミナー。第6回日本臨床衛生検査技師会北日本支部医学検査学会, 秋田市；2017年10月15日
- 4) 森兼啓太, 中嶋一彦**：パネルディスカッション3(アウトブレイク対策の実学)。第30回日本外科感染症学会総会学術集会, 東京；2017年11月
- 5) 森兼啓太, 多湖ゆかり**：シンポジウム6(透析関連感染サーベイランスを元にした感染対策から透析室で日常遭遇する感染症対策まで)。第33回日本環境感染学会総会・学術集会, 東京；2018年2月
- 6) 森兼啓太：アフタヌーンセミナー1。第33回日本環境感染学会総会・学術集会, 東京；2018年2月
- 7) 森兼啓太：シンポジウム8(2017年の感染制御に関するTop Papers)。第33回日本環境感染学会総会・学術集会, 東京；2018年2月
- 8) 森兼啓太：ランチョンセミナー12。第33回日本環境感染学会総会・学術集会, 東京；2018年2月

iii 一般演題

- 1) 佐藤牧子：教育システム。第7回日本検査血液学会東北支部学術集会, 盛岡市；2017年5月
- 2) 白田亨：臨床化学17。第66回日本医学検査学会, 千葉市；2017年6月
- 3) 佐藤牧子：血液。第6回日本臨床衛生検査技師会北日本支部医学検査学会, 秋田市；2017年10月
- 4) 佐藤美由紀：一般検査。第38回山形県医学検査学会, 長井市；2017年10月
- 5) 堀龍一朗：微生物検査。第38回山形県医学検査学会, 長井市；2017年10月
- 6) 柴田早紀：輸血検査。第38回山形県医学検査学会, 長井市；2017年10月
- 7) 佐藤大亮：臨床化学2。第38回山形県医学検査学会, 長井市；2017年10月
- 8) 森兼啓太, 飯沼由嗣**：感染対策1。第64回日本臨床検査医学会学術集会, 京都市；2017年11月
- 9) 風間知之：JSS東北。第24回地方会学術集会, 仙台市；2017年12月
- 10) 森兼啓太：疫学統計1。第29回日本臨床微生物学会総会・学術集会, 岐阜市；2018年2月

(6) その他

- 1) 白田亨：ディメンション生化学ユーザーサーベイ結果報告。山形県ディメンションユーザー会, 山形市；2017年5月
- 2) 森兼啓太：薬剤耐性菌のアウトブレイクにみる日常の感染対策の重要性。西尾市民病院感染対策研修会, 愛知県；2017年6月
- 3) 森兼啓太：透析室の感染管理。2017年度透析療法従事職員研修, さいたま市；2017年7月
- 4) 森兼啓太：耐性菌のアウトブレイクにみる日常の感染対策の重要性。宮城県立こども病院感染対策研修会, 仙台市；2017年7月
- 5) 白田亨：第1回みちのく自動分析研究会セミナー, 仙台市；2017年8月
- 6) 森兼啓太：BSIサーベイランス。感染管理認定看護師のためのキャリアディベロプメント講座, 東京；2017年9月
- 7) 森兼啓太：薬剤耐性菌の現状とその対策。大阪母子医療センター院内感染防止対策研修会, 大阪；2017年9月
- 8) 森兼啓太：透析関連血流感染の現状とその防止に向けた取り組み。みやぎ県北感染対策セミナー2017, 宮

城県；2017年10月

- 9) 森兼啓太：新型インフルエンザの脅威と対策．庄内地域新型インフルエンザ等対策研修会，酒田市；2017年11月
- 10) 森兼啓太：手術部位感染症とその対策．神戸大学附属病院感染症対策講演会，神戸市；2017年12月
- 11) 森兼啓太：手術部位感染とその予防策．厚生労働省院内感染対策講習会，東京；2018年1月
- 12) 森兼啓太：手術部位感染サーベイランスと予防対策．厚生労働省院内感染対策講習会，神戸市；2018年1月
- 13) 森兼啓太：感染を断ち切る決め手！経路別予防策．湘南中央病院感染対策講演会，藤沢市；2017年2月
- 14) 森兼啓太：薬剤耐性菌のアウトブレイクにみる日常の感染対策の重要性．徳洲会グループ感染管理部会全国全体会議，千葉県；2018年3月

放射線部

1. 学会報告及び座長

(1) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 信夫章宏：山形県内における面積線量による患者照射基準点の線量比較～県内14施設の血管撮影装置のアンケート結果～，第41回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会，郡山；2017年1月

(2) 座長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 佐藤俊光：現場で生かす診断参考レベル，第16回山形デジタル画像セミナー，山形；2017年3月
- 2) 鈴木幸司：「エレクトロニアックの最新技術を生かした臨床応用」，第1回東芝エレクトラ RT ミーティング in みやぎ，仙台；2017年3月

2. 学会，講演会，シンポジウム，ワークショップ等の開催

- 1) 第41回乳房撮影研究会，山形；2017年1月
- 2) 平成28年度第3回統一講習会，山形；2017年2月
- 3) 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会，山形；2017年2月
- 4) 平成28年度核医学研究会，東根；2017年3月

放射線部

1. 論文

(1) 原著

- 1) 佐藤俊光, 齋藤之寛, 齋藤暢利, 大場誠: X線CT体幹部1相撮影(胸腹骨盤部)における実効線量調査. 日本放射線技術学会誌. 2017; 73(4): 258-266

(2) その他

- 1) 保吉和貴, 佐藤俊光, 岡田明男: 金属アーチファクト低減再構成に対する逐次近似応用再構成の影響～評価法による比較～. Japanese journal of computed tomography technology. 2017; 5(2): 50-53

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 鈴木幸司: 強度変調放射線治療の実践テクニック「IMRT・VMATの精度管理」. 日本放射線技術学会放射線治療部会 第46回放射線治療セミナー, 札幌; 2017年6月
- 2) 鈴木幸司: 画像誘導放射線治療 IGRT がもたらすパラダイムシフト「IGRTとIMRT」. 日本放射線技術学会放射線治療部会 第47回放射線治療セミナー, 大宮; 2017年8月
- 3) 鈴木幸司: AAPM TG106 に準じた3次元水ファントムおよびビームデータの取扱い. 日本放射線技術学会放射線治療部会 第48回放射線治療セミナー(実機講習編), 東京; 2017年11月
- 4) 信夫章宏: 山形大学ハートチームにおける診療放射線技師の役割. 第31回日本冠疾患学会, 大阪; 2017年12月

ii 一般演題

- 1) 保吉和貴, 佐藤俊光, 岡田明男: 金属アーチファクト低減再構成に対する逐次近似応用再構成の影響. 第73回日本放射線技術学会総会学術大会, 横浜; 2017年4月
- 2) 保吉和貴, 佐藤俊光, 岡田明男: 金属アーチファクト低減再構成に対する逐次近似応用再構成の影響～評価法による比較～. 日本CT技術学会第5回学術大会, 金沢; 2017年6月
- 3) 佐藤俊光, 菊地雄歩, 中村昌隆: X線CT位置決め画像の被ばく線量—一般撮影のDRLと比較して—. 日本放射線技術学会第45回秋季学術大会, 広島; 2017年10月
- 4) 樋口裕平, 芳賀和幸, 岡田明男: Dual Flip Angle法を用いたT1値測定にB1mapの撮像条件が与える影響. 第45回日本放射線技術学会秋季学術大会, 広島; 2017年10月
- 5) 谷地守, 芳賀和幸, 岡田明男: 術中MRI後のFLAIRにおける残存造影効果の検討. 第45回日本放射線技術学会秋季学術大会, 広島; 2017年10月
- 6) 大場誠, 小久保安昭*, 園田順彦*: ^{99m}Tc -ECD脳血流SPECTにおける頭部固定具が再構成画像に与える影響. 第37回日本核医学技術学会総会学術大会, 横浜; 2017年10月

(2) 国内地方会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 信夫章宏: ハイブリッド手術室における3Dロードマップの活用. 第55回東北循環器撮影研究会, 盛岡; 2017年6月
- 2) 岡田明男: 「今どきの放射線検査、治療とは」RI・PET. 第7回東北放射線医療技術学術大会, 青森; 2017年10月

ii 一般演題

- 1) 信夫章宏, 石井英夫, 佐藤俊光, 山田金市, 岡田明男: 山形県内における面積線量計による患者照射基準点の線量比較～県内14施設の血管撮影装置のアンケート結果～. 山形県放射線技師会, 上山; 2017年5月
- 2) 日野隆喜, 中村昌隆, 千葉裕太, 佐藤俊光, 岡田明男: 局所被ばく低減機構使用時の寝台の高さの違いに

- よる被ばくと画質評価. 第53回山形県放射線技師学術大会, 上山; 2017年5月
- 3) 中村昌隆, 日野隆喜, 千葉裕太, 佐藤俊光, 岡田明男: 撮影条件が局所被ばく低減機構に与える影響. 第53回山形県放射線技師学術大会, 上山; 2017年5月
 - 4) 佐藤菜都実, 芳賀和幸, 大場誠, 佐藤有希, 岡田明男: MRI 画像を用いた血管径計測精度の基礎的検討. 第53回山形県放射線技師学術大会, 上山; 2017年5月
 - 5) 佐藤優輝, 鈴木幸司, 水谷康郎, 山澤喜文, 山崎智香, 山澤友佳, 山川萌江美: 前立腺 VMAT における固定方法の違いによる固定精度の検討. 第53回山形県放射線技師学術大会, 上山; 2017年5月
 - 6) 千葉裕太, 佐藤俊光, 日野隆喜, 中村昌隆: 頭部における局所被ばく低減機構による被ばく低減効果と画質の検討. 第53回山形県放射線技師学術大会, 上山; 2017年5月
 - 7) 藤田恭輔, 吉岡正訓, 谷地守, 樋口裕平, 森大樹, 岡田明男: eZIS SVA における NDB の違いによる CIScore の比較検討. 日本核医学技術学会第23回東北地方会, 八戸; 2017年9月
 - 8) 大場誠, 小久保安昭, 園田順彦: ^{99m}Tc -ECD 脳血流 SPECT における頭部固定具が再構成画像に与える影響. 日本核医学技術学会第23回東北地方会, 青森; 2017年9月
 - 9) 中村昌隆, 日野隆喜, 千葉裕太, 佐藤俊光, 岡田明男: 撮影条件が局所被ばく低減機構に与える影響. 第7回東北放射線医療技術学術大会, 青森; 2017年10月
 - 10) 森大樹: PET/CT における散乱線補正法の比較. 第7回東北放射線医療技術学術大会, 青森; 2017年10月

(3) 研究会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 鈴木幸司: VMAT における Collimator Angle を考える. 第12回福島放射線治療懇話会, 福島; 2017年4月
- 2) 鈴木幸司: VMAT における Collimator Angle を考える. 第3回MIYAGI RT LAB, 仙台; 2017年5月
- 3) 佐藤俊光: 見えています? 見せてみます? 深部静脈血栓～血栓は金曜日～. 山形県至適造影を語る会, 山形; 2017年6月
- 4) 佐藤有希: 当院における DWIBS の現状. 第44回 MRI 研究会, 山形; 2017年6月
- 5) 齋藤暢利: 脳血流画像における収集・再構成条件の考え方. 第8回東北 Symbia Users Meeting, 仙台; 2017年6月
- 6) 保吉和貴: 東芝 CT をプレゼンしよう. 第3回山形県東芝 CT ユーザー会, 山形; 2017年7月
- 7) 佐藤俊光: AAS/デスク報告. 第3回山形県東芝 CT ユーザー会, 山形; 2017年7月
- 8) 佐藤俊光: 東芝 CT 装置と他社 CT 装置の比較検討. 第3回福島県東芝 CT ユーザー会, 福島; 2017年7月
- 9) 大沼千津: マンモグラフィにおける物理評価. 第11回東北支部セミナー, 秋田; 2017年7月
- 10) 大沼千津: デジタルマンモグラフィのポイントについて. 富士フィルムメディカルセミナー2017 in 山形, 山形; 2017年7月
- 11) 芳賀和幸: Multi-Band SENSE 何ができる?～ユーザーからの使用報告～. 第15回東北 MR 技術研究会, 仙台; 2017年7月
- 12) 齋藤暢利: 脳血流検査の収集・再構成条件の考え方. 14回 ZAO Imaging Conference, 山形; 2017年8月
- 13) 佐藤有希: Signa 甲子園検証. 山形県 SIGNA User's Meeting, 山形; 2017年9月
- 14) 日野隆喜: 使ってますよ! OEM!! . 第13回東北地区東芝 CT ユーザー会, 青森; 2017年11月
- 15) 日野隆喜: 外傷によって生じた肝損傷に対して TAE を行った症例. 第2回山形 ER イメージング, 山形; 2017年11月
- 16) 棚田丈雄: 当院における Ai (Autopsy imaging) の運用. 第42回山形県 CT 研究会, 山形; 2017年12月
- 17) 服部雅之: 病室撮影における間接変換型 FPD の画質特性. DR 連合フォーラム, 金沢; 2017年12月
- 18) 山川萌江美: 線量校正・ケーブル効果について. 第26回みやぎ放射線治療研究会, 宮城; 2018年1月

ii 一般演題

- 1) 大場誠, 岡田明男, 小久保安昭, 園田順彦: ^{99m}Tc -ECD 脳血流 SPECT における頭部固定具の検討. 第24回東北脳循環カンファレンス, 宮城; 2017年11月
- 2) 大沼千津: MMG のポジショニングについて. 第44回乳房撮影研究会, 山形; 2018年2月
- 山澤喜文: XVI における線量と画質の評価. 第2回 キヤノンメディカルシステムズ エレクトラ RT ミーティング in みやぎ, 仙台; 2018年3月

(4) 座 長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 佐藤俊光：外傷診断における全身CTの有用性。第2回山形ERイメージング，山形；2017年11月
- 2) 佐藤俊光：CTの進歩とNonvascular IVR。平成29年度山形県放射線技師会秋季セミナー，山形；2017年12月
- 3) 佐藤俊光：犯罪死の見逃しに対する県警の取組について。山形県放射線技師会 第42回CT研究会，山形；2017年12月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 鈴木幸司：先端放射線治療の動向と未来。日本放射線技術学会 第74回放射線治療部会シンポジウム，横浜；2017年4月
- 2) 岡田明男：認知症診断にSPECTがどこまで貢献できるか。第8回 東北Symbia User's Meeting，仙台；2017年6月
- 3) 岡田明男：医学研究のための統計解析⑤。第5回実践核医学研究会，山形；2017年7月
- 4) 岡田明男：MR/CT形態画像との合わせ技で一本ー認知症・脳血管障害の脳核医学画像利用のための一次読影ー。第14回ZAO Imaging Conference，山形；2017年8月
- 5) 鈴木幸司：学術講演1「粒子線治療、ここだけの話」。第2回放射線治療あすなる会，仙台；2017年8月
- 6) 佐藤俊光：低電圧撮影について。第13回東北地区東芝CTユーザー会，青森；2017年11月
- 7) 岡田明男：拡散強調画像の撮影技術。第17回山形デジタル画像セミナー，山形；2018年3月
- 8) 鈴木幸司：VersaHD導入経験～定期的品質管理からVMATに至るまで～。第2回キヤノンメディカルシステムズ エレクトラ RT ミーティング in みやぎ，仙台；2018年3月

iii 一般演題

- 1) 鈴木幸司：放射線治療 粒子線（演題496-500）。日本放射線技術学会第73回総会学術大会，横浜；2017年4月
- 2) 大沼千津：マンモ・一般。第53回山形県放射線技師学術大会，上山；2017年5月
- 3) 大場誠：研究発表V（核医学）。第53回山形県放射線技師学術大会，山形；2017年5月
- 4) 佐藤俊光：CT検査5 被ばく。第7回東北放射線医療技術学術大会，青森；2017年10月
- 5) 鈴木幸司：放射線治療 線量計測-1（演題54-58）。日本放射線技術学会第45回秋季学術大会，広島；2017年10月
- 6) 芳賀和幸：技術解説。第2回山形MR技術研究会，山形；2017年11月

3. 学会，講演会，シンポジウム，ワークショップ等の開催

- 1) 第53回山形県放射線技師学術大会及び第7回定時社員総会，山形；2017年5月
- 2) 第45回MR研究会，山形；2017年6月
- 3) 平成29年度フレッシューズセミナー・若手技師交流会，山形；2017年6月
- 4) 第13回山形医療情報システム研究会，山形；2017年8月
- 5) 平成29年度マネジメント部会，山形；2017年8月
- 6) 第1回統一講習会，鶴岡；2017年9月
- 7) 第26回山形放射線治療研究会，山形；2017年10月
- 8) 第72回山形血管撮影研究会，山形；2017年11月
- 9) 第2回山形ERイメージング，山形；2017年11月
- 10) 平成29年度山形県放射線技師会 秋季セミナー，山形；2017年12月
- 11) 山形県放射線技師会第42回CT研究会，山形；2017年12月
- 12) 第43回乳房撮影研究会，山形；2018年1月
- 13) 第44回乳房撮影研究会，山形；2018年2月
- 14) 平成29年度胃がん検診エックス線撮影従事者講習会，山形；2018年2月
- 15) 第2回統一講習会，山形；2018年2月

- 16) 平成 29 年度放射線治療担当放射線技師研修, 山形; 2018 年 3 月
- 17) 第 14 回山形医療情報システム研究会, 山形; 2018 年 3 月
- 18) 平成 29 年度核医学研究会, 山形; 2018 年 3 月

4. 学会等での受賞

- 1) 信夫章宏: 山形県放射線技師会研究奨励賞. 2017 年 5 月
- 2) 中村昌隆, 日野隆喜, 千葉裕太, 佐藤俊光, 岡田明男: 撮影条件が局所被ばく低減機構に与える影響. 第 7 回東北放射線医療技術学術大会, 青森; 2017 年 10 月
- 3) 中村昌隆: 学術奨励賞. 2017 年 10 月
- 4) 佐藤俊光, 菊地雄歩, 中村昌隆: X 線 CT 位置決め画像の被ばく線量— 一般撮影の DRL と比較して—. 日本放射線技術学会第 45 回秋季学術大会, 広島; 2017 年 10 月
- 5) 佐藤俊光: 日本放射線技術学会平成 29 年度研究奨励賞・技術奨励賞 (計測分野). 2017 年 11 月

5. その他

- 1) 信夫章宏: 卒業から 12 年半～大学病院は堅苦しいところじゃないよ!～. 鈴鹿医療科学大学第 27 回碧鈴祭, 三重; 2017 年 11 月

特殊診療施設

輸血・細胞治療部

1. 学会報告及び座長

(1) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 奈良崎正俊, 石山裕子, 柴田早紀, 加藤裕一, 石澤賢一: 骨髄濃縮処理における Optia、Spectra、HES 沈降法の比較検討. 第110回 日本輸血・細胞治療学会 東北支部例会, 秋田市; 2017年3月

(2) 研究会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 奈良崎正俊: (基調報告) 造血幹細胞移植のトータルケア 輸血管理について. 第3回 血液内科勉強会, 山形市; 2017年2月

輸血・細胞治療部

1. 論文

(1) 総説及び解説

- 1) 奈良崎正俊：2章 検査室Q&A 輸血3 不規則抗体検査の間接抗グロブリン試験で、スクリーニングと同定用パネル血球が全て陽性を示し、自己対照のみ陰性でした。どう解釈すればよいでしょうか？ また、輸血用赤血球製剤の選択はどうすればよいですか？. 臨床検査. 2017； 61(4)増刊号（臨床検査スターターズガイド）：440-442

2. 学会報告及び座長

(1) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 奈良崎正俊, 石山裕子, 柴田早紀, 大塚那奈, 中川美貴子, 加藤裕一, 石澤賢一：緊急輸血時の異型適合血運用の年変化について. 第111回 日本輸血・細胞治療学会 東北支部例会, 盛岡市；2017年9月
- 2) 奈良崎正俊, 柴田早紀, 石山裕子, 大塚那奈, 加藤裕一, 石澤賢一：緊急患者への血液製剤搬送と監視装置付き無線ロガーによる血液輸送バッグ温度管理. 第112回 日本輸血・細胞治療学会 東北支部例会, 仙台市；2018年3月

(2) 研究会

i 一般演題

- 1) 奈良崎正俊, 石山裕子, 柴田早紀, 大塚那奈, 中川美貴子, 加藤裕一, 石澤賢一：血液製剤廃棄削減、全国大学病院1位までの対策 一職員研修会「一度溶けたアイスは誰も食べない」から始まった. 山形県合同輸血療法委員会 第7回山形県輸血療法セミナー, 山形市；2017年12月

(3) 座長

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 奈良崎正俊：平成29年度山形県臨床検査技師会村山地区主催研修会, 山形市；2017年9月
- 2) 奈良崎正俊：平成29年度第2回 山形県臨床検査技師会村山地区主催研修会, 山形市；2018年2月

ii 一般演題

- 1) 加藤裕一：輸血検査. 第111回 日本輸血・細胞治療学会 東北支部例会, 盛岡市；2017年9月
- 2) 柴田早紀：輸血検査. 第38回 山形県医学検査学会, 長井市；2017年10月

3. 学会、講演会、シンポジウム、ワークショップ等の開催

- 1) 奈良崎正俊：平成29年度山形県臨床検査技師会村山地区主催研修会, 山形；2017年9月
- 2) 山形県臨床検査技師会 高校生進学支援ガイダンス, 山形；2017年12月
- 3) 奈良崎正俊：平成29年度第2回 山形県臨床検査技師会村山地区主催研修会, 山形；2018年2月

4. 学会等での受賞

- 1) 奈良崎正俊：平成29年度保健衛生関係功労者山形県知事表彰, 山形；2017年11月

リハビリテーション部

1. 論文

(1) 原著

- 1) Iwazaki K**, Takana T**, Hozumi Y**, Okada M**, Tsuchiya R**, Iseki K**, Topham MK**, Kawamae K**, Takagi M, Goto K*: DGK ζ downregulation enhances osteoclast differentiation and bone resorption activity under inflammatory conditions. J Cellular physiol. 2017; 232(3): 617-624 B
- 2) Kadoma C**, Takahara M**, Maruyama M, Satake H, Takagi M: Ultrasonographic assessment of the Flexor pollicis longus tendon after plate fixation. Orthopaedics. 2017; 40(1): e104-e108
- 3) Kaneko MK**, Nakamura T**, Honma R, Ogasawara S**, Fujii Y**, Abe S**, Takagi M, Harada H**, Suzuki H**, Nishioka Y**, Kato Y**: Development and characterization of anti-glycopeptide monoclonal antibodies against human podoplanin, using glycan-deficient cell lines generated by CRISPR/Cas9 and TALEN. Cancer Medicine. 2017; 6(2):382-396 B
- 4) Maruyama M, Satake H, Takahara M**, Harada M**, Uno T**, Mura N**, Takagi M: Treatment for ulnar neuritis around the elbow in adolescent baseball players: Factors associated with poor outcome. Am J Sports Med. 2017; 45(4): 803-809
- 5) Yamakawa J, Hashimoto J, Takao M**, Takagi M: The bone regeneration using bone marrow stromal cells with moderate concentration platelet-rich plasma in femoral segmental defect of rats. Open Orthop J. 2017; 11: 1-11
- 6) 伊藤重治, 佐々木幹, 高窪祐弥, 高木理彰: 大腿骨転子下不顕性骨折を契機に診断された Fanconi 症候群に伴うくる病の1例. 東日本整災会誌. 2017; 29(1): 93-98
- 7) 宇野智洋**, 原田幹生**, 丸山真博, 村成幸**, 高木理彰, 高原政利**: 高校野球選手における投球数と投球時痛との関係. 整スポ会誌. 2017; 37(1): 89-93
- 8) 鈴木智人, 橋本淳一, 山川淳一, 嶋村之秀, 赤羽武, 高木理彰: 脊椎固定術における手術部位感染の予防法 -ジベカシン筋肉注射とバンコマイシン粉末 創内散布の比較検討-. 東日本整災会誌. 2017; 29(1) 56-59
- 9) 原田幹生**, 高原政利**, 丸山真博, 高木理彰: ジュニアテニス選手のパフォーマンスに関与する因子についての検討 -体の痛みや身体所見との関係-. 日臨スポーツ医会誌. 2017; 25(1): 24-29
- 10) 和根崎禎大**, 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 豊島定美**, 高木理彰: 副甲状腺亢進症後の大腿骨頸部骨折に人工股関節全置換術を施工した1例. 東日本整災会誌. 2017; 29: 32-36

(2) 総説及び解説

- 1) 鈴木朱美, 石垣大介**, 高木理彰: 腓骨筋腱脱臼の診断と治療. 関節外科. 2017; 36(1): 72-81
- 2) 高木理彰, 村川美幸, 高窪祐弥: 関節リウマチ患者のリハビリテーション. 医学と薬学. 2017; 74(1): 29-39

2. 学会発表及び座長

(1) 国際学会

i 一般演題

- 1) Honma R, Maruyama M, Oki H, Xing Liu, Fuji Y**, Ogasawara S**, Kaneko MK**, Kato Y**, Takagi M: Establishment of a novel monoclonal antibody Pmab-32 against rabbit podoplanin for regenerated cartilage and inflammatory synovitis. Orthopaedic Research Society 2017 Annual Meeting, San Diego; March 2017
- 2) Maruyama M, Satake H, Honma R, Naganuma Y, Takakubo Y, Takagi M: A comparative study of platelet-rich fibrin (PRF) and platelet-rich plasma (PRP) on the large osteochondral plug in rabbit model. Orthopaedic Research Society 2017 Annual Meeting, San Diego; March 2017

- 3) Naganuma Y, Satake H, Honma R, Maruyama M, Hanaka N**, Shibuya J, Takakubo Y, Takagi M: The influence of hemodialysis and amyloid deposits on the severity of carpal tunnel syndrome. Orthopaedic Research Society 2017 Annual Meeting, San Diego; March 2017
- 4) Suzuki T, Liu Yang, Oki H, Takakubo Y, Takagi M: Immunohistochemical analysis of different inflammatory synovial conditions using novel panel of established anti-human podoplanin antibodies. Orthopaedic Research Society 2017 Annual Meeting, San Diego; March 2017
- 5) Takakubo Y, Oki H, Naganuma Y, Sasaki K, Takagi M: High-Molecular-Weight adiponectin is correlated with disease activity in the patients with rheumatoid arthritis. Orthopaedic Research Society 2017 Annual Meeting, San Diego; March 2017
- 6) Takakubo Y, Takagi M: The role of innate sensors in aseptic and septic loosening of total joint arthroplasty. Orthopaedic surgery meeting at UCSF, San Francisco; January 2017
- 7) Takakubo Y, Takagi M: The role of innate sensors in aseptic and septic loosening of total joint arthroplasty. Ground raound of Orthopaedic surery at Utah University, Utah; February 2017
- 8) Takakubo Y, Takagi M: The role of innate sensors in aseptic and septic loosening of total joint arthroplasty. Evening conference in UCSF Afternoon meeting in stanford unirersity, California; February 2017

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 石井政次**, 川路博之**, 門馬亮介**, 伊藤重治, 高窪祐弥, 佐々木幹, 高木理彰: (シンポジウム) VTE ガイドラインの位置づけ. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月

ii 一般演題

- 1) 石垣大介**, 花香直美**, 佐竹寛史, 長沼靖, 高木理彰: Hand20による肘部管症候群の評価. 第29回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2017年2月
- 2) 伊藤重治, 佐々木幹, 高窪祐弥, 門馬亮介**, 川路博之**, 石井政次**: 変形性股関節症に対する collarless polished tapered(CPT)ステムを使用した人工股関節全置換術の中期成績. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月
- 3) 宇野智洋**, 渡邊忠良**, 丸山真博, 原田幹生**, 鶴田大作**, 高原政利, 高木理彰: 骨端線閉鎖前のまれな小児肘関節脱臼の3例. 第29回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2017年2月
- 4) 大石隆太**, 福島重宣**, 山本尚生, 鈴木朱美, 菅原裕史**, 成田淳, 高木理彰: Bicruciate retaining(BCR)型TKAにおける術後成績の検討. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月
- 5) 岡田宗一郎, 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生, 高木理彰: 人工膝関節置換術後の仮性動脈瘤に対し観血的止血術を行った1例. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月
- 6) 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 石井政次**, 川路博之**, 門馬亮介**, 高木理彰: 当科における人工股関節術後の感染率の推移. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月
- 7) 佐竹寛史, 長沼靖, 澁谷純一郎, 丸山真博, 高木理彰, 石垣大介**: 上腕骨外側上顆炎の診断における Thomsen テストとは?. 第29回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2017年2月
- 8) 澁谷純一郎, 佐竹寛史, 長沼靖, 丸山真博, 高木理彰: 上腕骨小頭離断性骨軟骨炎に対する骨軟骨柱移植術施行後に膝蓋大腿関節障害をきたし再手術を要した1例. 第29回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2017年2月
- 9) 高窪祐弥, 伊藤重治, 大木弘治, 梁秀蘭, 門馬亮介**, 川路博之**, 佐々木幹, 石井政次**, 高木理彰: 初回THAにおいてKTプレートと圧語法骨移植により寛骨臼再建を行ったリウマチ股の中期成績. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月
- 10) 永井惇, 鈴木朱美, 成田淳, 山本尚生, 北純**, 高木理彰: 距骨壊死に対し人工距骨置換術を行った2例. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月 B
- 11) 中島拓**, 浅野多聞, 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生, 高木理彰: 両十字靭帯温存型TKAと従来型TKAとの前後制動性の検討. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月
- 12) 長沼靖, 佐竹寛史, 丸山真博, 澁谷純一郎, 高木理彰: 人工肘関節に挟まれて尺骨神経の部分断裂を生じた1例. 第29回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2017年2月

- 13) 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生, 浅野多聞**, 高木理彰: 透析患者に対する人工膝関節全置換術の治療成績. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月
- 14) 花香直美**, 石垣大介**, 長沼靖, 丸山真博, 佐竹寛史, 高木理彰: 橈骨粗面骨棘による出血が原因と考えられた橈骨神経浅枝障害の1例. 第29回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2017年2月
- 15) 原田幹生**, 高原政利**, 近藤幹朗**, 丸山真博, 宇野智洋**, 高木理彰: 上腕骨外側上顆炎に対する鏡視下手術の術後成績. 第29回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2017年2月
- 16) 福島重宣**, 菅原裕史**, 鈴木朱美, 山本尚生, 成田淳, 高木理彰: Bicruciate retaining (BCR) TKAの短期成績と課題. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月
- 17) 丸山真博, 佐竹寛史, 長沼靖, 澁谷純一郎, 高木理彰: 家兎膝骨軟骨欠損部に対する多血小板血漿と多血小板フィブリンを併用した自家骨軟骨柱移植術の効果. 第29回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2017年2月
- 18) 宮地隆浩**, 松木宏史**, 林雅弘**, 高木理彰: 人工膝関節再置換術後に生じた大腿四頭筋腱断裂に対し修復術を行った1例. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月
- 19) 山本尚生, 成田淳, 鈴木朱美, 岡田宗一郎, 高窪祐弥, 高木理彰: 当院における生物学的製剤使用の有無による人工膝関節置換術の検討. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月

(3) 研究会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 佐竹寛史, 長沼靖, 澁谷純一郎, 丸山真博, 本間龍介, 高木理彰, 的場浩介**: (パネルディスカッション) 絞扼輪症候群の診断と治療. 第31回東日本手外科研究会, 札幌; 2017年2月 B
- 2) 原田幹生**, 高原政利**, 村成幸**, 丸山真博, 宇野智洋, 佐竹寛史, 高木理彰: (パネルディスカッション) 私の選択 スポーツと私. 第31回東日本手外科研究会, 札幌; 2017年2月

ii 一般演題

- 1) 佐竹寛史, 小鹿雅隆**, 長沼靖, 澁谷純一郎, 丸山真博, 本間龍介, 高木理彰: 初診時手根管症候群と診断した上腕動脈血栓症の1例. 第31回東日本手外科研究会, 札幌; 2017年2月
- 2) 澁谷純一郎, 浅野多聞**, 阿部義幸**: アキレス腱付着部踵骨裂離骨折に対する軟鋼線締結法. 第27回東北脊椎外科研究会, 仙台; 2017年1月
- 3) 鈴木智人, 橋本淳一, 山川淳一, 嶋村之秀, 赤羽武, 高木理彰: Rapid turnover protein/C-reactive protein比を用いた脊椎術後手術部位感染の検討. 第27回東北脊椎外科研究会, 仙台; 2017年1月
- 4) 花香直美**, 石垣大介**, 長沼靖, 丸山真博, 佐竹寛史, 高木理彰: 掌側転移型橈骨遠位骨端線離間に對する掌側からの intrafocal pinning 法. 第31回東日本手外科研究会, 札幌; 2017年2月

(4) 座 長

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 高木理彰: ランチョンセミナー10. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月

ii 一般演題

- 1) 高木理彰: 一般口演 32 THA 術中支援2. 第47回日本人工関節学会, 宜野湾; 2017年2月

(5) その他

- 1) 高窪祐弥: (特別講演) 最新関節リウマチ治療と山形地区リウマチ病診連携ーやらかなネットーの現状. みちのく Web セミナー, 山形; 2017年3月

3. その他

- 1) 高窪祐弥: 日本股関節研修振興財団 第1回トラベリングフェロー

追 録

1. 論 文

(1)原 著

- 1) 高窪祐弥, 太田大地, 奥田正太*, 大木弘治, 長沼靖, 高木理彰: 当科のリウマチ性疾患における非定型大腿骨骨折症例の検討. 関節の外科. 2016; 43(3-4): 101-106

リハビリテーション部

1. 論文

(1) 原著

- 1) Harada M**, Takahara M**, Maruyama M, Kondo M**, Uno T**, Takagi M, Mura N**: Outcome of conservative treatment for Little League shoulder in young baseball players: factors related to incomplete return to baseball and recurrence of pain. *J Shoulder Elbow Surg.* 2018; 27(1): 1-9 B
- 2) Maruyama M, Satake H, Suzuki T, Honma R, Naganuma Y, Takakubo Y, Takagi M: Comparison of the effects osteochondral autograft transplantation with platelet-rich plasma or platelet-rich fibrin on osteochondral defects in a rabbit model. *The American journal of sports medicine.* 2017; 45(14): 3280-3288
- 3) Suzuki T, Takakubo Y, Oki H, Liu X, Honma R, Naganuma Y, Goodman SB**, Kaneko MK**, Kato Y**, Takagi M: Immunohistochemical analysis of inflammatory rheumatoid synovial tissues using anti-human podoplanin monoclonal antibody panel. *Monoclon Antib Immunodiagn Immunother.* 2018; 37(1): 12-19 D
- 4) Takakubo Y, Ohta D**, Ishi M**, Ito J, Oki H**, Naganuma Y, Uno T**, Sasaki A**, Akabane T, Dairaku K**, Goto S**, Goto Y**, Kanauchi Y**, Koabayashi S**, Nakajima T**, Masuda K**, Matsuda M**, Mura N**, Takeuchi K**, Tsuchida H**, Onuma Y**, Shibuya J, Seino M**, Yamaguchi O**, Hiragami K**, Urayama Y**, Furukawa T**, Okuda S**, Ogura K**, Naganuma T**, Sasaki K, Konta T**, Takagi M: The Incidence of atypical femoral fractures in Patients with rheumatic disease. Yamagata prefectural committee of atypical femoral fractures (YamaCAFe) study. *Tohoku J Exp Med.* 2017; 242: 327-334
- 5) Takakubo Y, Oki H, Naganuma Y, Sasaki K, Sasaki A, Tamaki Y**, Suran Y, Konta T**, Takagi M: Distribution of podoplanin in synovial tissues in rheumatoid arthritis patients using biologic or conventional disease-modifying anti-rheumatic drugs. *Curr Rheumatol Rev.* 2017; 13(1): 72-78
- 6) Takano M**, Hashimoto J, Tsuchida H**, Takagi M: The bone regeneration using bone marrow-derived mesenchymal stem cell with recombinant human bone morphogenetic protein-2 in allogeneic repair model of femoral segmental defect of rats. *Yamagata Med J.* 2017; 35(2): 90-100
- 7) 五十嵐貴宏**, 浅野多聞**, 中島拓**, 高木理彰: 恒久性蓋骨脱臼を伴う変形性膝関節症に対して人工膝関節全置換術を施行した1例. *JOSKAS.* 2017; 42(3): 681-685
- 8) 伊藤重治, 佐々木幹, 高窪祐弥, 嶋村之秀, 鈴木智人, 高木理彰: ハイブリット手術室を使用した寛骨臼骨折に対する観血的骨接合術の経験. *東北整災誌.* 2017; 60(1): 123-126
- 9) 伊藤重治, 高窪祐弥, 佐々木幹, 門馬亮介**, 川路博之**, 石井政次**, 高木理彰: 人工股関節全置換術後静脈血栓塞栓症の検索における造影CTと静脈エコーの比較検討. *Hip Joint.* 2017; 43(1): 608-611
- 10) 伊藤重治, 佐々木幹, 高窪祐弥, 門馬亮介**, 川路博之**, 石井政次**, 高木理彰: 変形性股関節症に対するCollarless Polished Tapered (CPT) ステムを使用した人工股関節全置換術の中期成績. *日本人工関節学会誌.* 2017; 47: 689-590
- 11) 伊東貴史**, 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 大木弘治, 高木理彰: Collarless polished double taper stem 固定における高粘度骨セメントと中粘度骨セメントの比較. *Hip Joint.* 2017; 43(2): 1006-1008
- 12) 大石隆太**, 高窪祐弥, 伊藤重治, 長沼靖, 梁秀蘭, 結城一声, 鈴木朱美, 佐々木明子**, 佐々木幹, 鶴田大作**, 村成幸**, 大類広**: トシリズマブ使用下での関節リウマチ手術の検討. *東北整災誌.* 2017; 60(1): 63-67
- 13) 大石隆太**, 福島重宣**, 菅原裕史**, 山本尚生**, 鈴木朱美, 成田淳, 高木理彰: Bicruciate retaining (BCR) 型TKAにおける術後成績の検討. *日本人工関節学会誌.* 2017; 47: 49-50
- 14) 岡田宗一郎**, 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生**, 高木理彰: 人工膝関節置換術後の仮性動脈瘤に対し観血的止血術を行った1例. *日本人工関節学会誌.* 2017; 47: 91-92
- 15) 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 大木弘治, 伊東貴史**, 石井政次**, 川路博之**, 門馬亮介**, 高木理彰:

- 当科における人工股関節再置換術の短・中期成績. Hip Joint. 2017; 43(2): 928-931
- 16) 佐々木幹, 石井政次**, 井田英雄**, 高窪祐弥, 伊藤重治, 門馬亮介**, 小林真司**, 大木弘治**, 高木理彰: 山形県における発育性股関節形成不全(脱臼)の検診と診断遅延例について. 日小整会誌. 2017; 26(1): 68-71
 - 17) 佐竹寛史, 長沼靖, 鈴木朱美, 高窪祐弥, 高木理彰: 重なり趾変形の特徴. 東日本整災会誌. 2017; 29: 437-441
 - 18) 澁谷純一郎, 佐竹寛史, 長沼靖, 高木理彰, 石垣大介**: 小児上腕骨顆上骨折に伴う神経麻痺. 骨折. 2017; 39(4): 948-951
 - 19) 鈴木朱美, 成田淳, 山本尚生**, 高木理彰: 膝関節周囲骨切り手術における3Dプリンターモデルの有用性. JOSKAS. 2017; 42(2): 348-349
 - 20) 鈴木朱美, 福島重宣**, 村成幸**, 太田大地**, 高木理彰: Osgood-Schlatter 病の遺残障害に対し鏡視下骨片摘出術を行った2例. 整スポ会誌. 2017; 37(3): 262-266
 - 21) 鈴木朱美, 成田淳, 山本尚生**, 浅野多聞**, 福島重宣**, 高木理彰: 解剖学的二十束前十字靭帯再建術における大腿骨骨孔作製法の比較検討. 山形医学. 2017; 35(2): 61-68
 - 22) 鈴木智人, 橋本淳一, 山川淳一, 嶋村之秀, 高木理彰: 成人脊柱変形の病態と治療 Pedicle subtraction osteotomy の手術成績. 東北整災誌. 2017; 60(1): 15-21
 - 23) 鈴木智人, 橋本淳一, 山川淳一, 嶋村之秀, 高木理彰: 脊椎・脊髄手術における肥満症例の検討. 東北整災誌. 2017; 60(1): 22-25
 - 24) 鈴木智人, 橋本淳一, 山川淳一, 嶋村之秀, 赤羽武, 高木理彰: 高齢者の併存疾患・合併症に対する対策 高齢者脊椎変性疾患における術後合併症発生の危険因子 周術期栄養状態評価の重要性. 別冊整形外科. 2017; 72: 152-155
 - 25) 大楽勝之**, 大石隆太**, 高原大一郎**, 篠村友紀**, 渡邊忠良**, 長谷川浩士**, 松木宏史**, 林雅弘**, 佐々木幹, 高木理彰: 10歳以上の年長児に発症したペルテス病の2症例. 東北整災誌. 2017; 60(1): 119-122
 - 26) 高窪祐弥, 伊藤重治, 佐々木幹, 門馬亮介**, 川路博之**, 大楽勝之**, 小林真司**, 石井政次**, 高木理彰: 過去12年間の股関節関節温存骨切り術の手術件数の推移 一当院と関連病院の傾向と特徴一. Hip Joint. 2017; 43(1): 612-615
 - 27) 高窪祐弥, 伊藤重治, 大木弘治, 梁秀蘭, 長沼靖, 門馬亮介**, 川路博之**, 佐々木明子**, 佐々木幹, 石井政次**, 高木理彰: 初回THAにおいてKYプレートと圧詰法骨移植により寛骨臼再建を行ったリウマチ股の中期成績. 日本人工関節学会誌. 2017; 47: 721-722
 - 28) 玉井夢果*, 小山響子*, 八木橋崇仁*, 高窪祐弥, 伊藤重治, 長沼靖, 大木弘治, 梁秀蘭, 佐々木明子**, 佐々木幹, 鈴木潤, 遠藤誠*, 大泉弘幸*, 高木理彰: (学生発表) 関節リウマチ治療中に肺癌によるRS3PE症候群様症状を呈した腫瘍随伴症候群の1例. 東北整災誌. 2017; 60(1): 167-172
 - 29) 鶴田大作**, 鈴木朱美, 結城一声, 丸山真博, 高木理彰: 疼痛の強弱に着目した肩腱板断裂手術症例の臨床像に対する検討. 肩関節. 2017; 41(2): 494-496
 - 30) 豊野修二**, 石垣大介**, 佐竹寛史, 高木理彰: 受傷後8週以上経過した舟状骨骨折に対する経皮的内固定. 骨折. 2017; 39(4): 925-928
 - 31) 永井惇**, 鈴木朱美, 成田淳, 山本尚生**, 北純**, 高木理彰: 特発性距骨壊死に対し人工距骨置換術を行った2例. 日本人工関節学会誌. 2017; 47: 473-474
 - 32) 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生**, 高木理彰: 透析患者に対する人工膝関節全置換術の生命予後. JOSKAS. 2017; 42(2): 208-209 F
 - 33) 原田幹生**, 高原政利**, 丸山真博, 高木理彰: ジュニアテニス選手における腰痛発症の危険因子についての検討. 整スポ会誌. 2017; 37(2): 190-195
 - 34) 福島重宣**, 菅原裕史**, 山本尚生**, 鈴木朱美, 成田淳, 高木理彰: Bicruciate retaining (BCR) TKA の短期成績と課題. 日本人工関節学会誌. 2017; 47: 399-400
 - 35) 宮地隆浩**, 松木宏史**, 林雅弘**, 高木理彰: 人工膝関節再置換術後に生じた大腿四頭筋腱断裂に対し修復術を行った1例. 日本人工関節学会誌. 2017; 47: 79-80
 - 36) 村田宙, 佐々木幹, 高木理彰: THA 術後における腰背部運動機能と自覚的脚長差の関連性の検討. Hip

Joint. 2017; 43(2): S174-S177

- 37) 村田宙: 人工股関節全置換術後患者における体幹運動機能について. 山形医学. 2017; 35(2): 101-107
- 38) 門馬亮介**, 川路博之**, 石井政次**, 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 高木理彰: 反復性人工股関節脱臼に対してコンストレインドライナーのセメント固定を行った2例. 東北整災誌. 2017; 60(1): 127-130
- 39) 門馬亮介**, 石井政次**, 川路博之**, 高窪祐弥, 伊藤重治, 佐々木幹, 高木理彰: 当院における人工股関節のインプラント周囲骨折の発生状況. 日本人工関節学会誌. 2017; 47: 457-458
- 40) 結城一声, 村成幸**, 鶴田大作**, 鈴木朱美, 高木理彰: コンタクト・コリジョンスポーツ選手に対する鏡視下Bankart修復術 (footprint fixation法) の治療成績. 東日本整災会誌. 2017; 29(2): 131-136
- 41) 結城一声, 村成幸**, 高木理彰: 肩甲関節窩前縁骨折に対しノットレス DAFF 法を用いた鏡視下骨接合術の治療経験. JOSKAS. 2017; 42(3): 475-479

(2) 総説及び解説

- 1) Takagi M, Takakubo Y, Pajarinen J**, Naganuma Y, Oki H, Maruyama M, Goodman SB**: Danger of frustrated sensors: Role of Toll-like receptors and NOD-like receptors in aseptic and septic inflammations around total hip replacements. J Orthop Translat. 2017; 10: 68-85 D
- 2) 高窪祐弥, 佐々木幹, 高木理彰: 変形性関節症 (股関節) の手術療法 -骨切り術から人工股関節置換術まで-. Pharma Medica. 2017; 35(6): 49-57
- 3) 高窪祐弥, 佐々木幹, 高木理彰: 変形性股関節症のリハビリテーションに必須の評価法と活用法. Jpn J Rehabil Med. 2018; 54(11): 849-853

(3) その他

- 1) 高木理彰: リウマチ・膠原病診療ゴールドハンドブック (書評). 整形外科. 2017; 68(4): 341
- 2) 高木理彰: 避難生活で起こりやすい廃用症候群を防ぐために -災害リハビリテーションとは-. Medical Note. 2018

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i 一般演題

- 1) Maruyama M, Nabeshima A**, Pan CC**, Bruyas A**, Behn A**, Pajarinen J**, Lin T**, Takagi M, Goodman SB**, Yang YP**: The combination effect of functionally-graded scaffold and bone marrow-derived mononuclear cells on treatment of early stage steroid-induced osteonecrosis of the femoral head in rabbits. ORS annual meeting 2017, New Orleans; March 2018 D
- 2) Sugawara M, Kobayashi E**, Yoshida A**, Asano N**, Endo M**, Tanzawa Y**, Nakatani F**, Takagi M, Chuman H**, Kawai K**: Malignant peripheral nerve sheath tumor of femur: A rare diagnosis supported by a complete immunohistochemical loss of H3K27me3. The 19th International Society of Limb Salvage General Meeting, Kanazawa; May 2017 B
- 3) Sugawara M, Tsuchiya T**, Takakubo Y, Sasaki K, Takagi M: Postoperative complications and functional outcome of the patients underwent external hemipelvectomy as a surgery for malignant bone and soft tissue tumors. 2018 ORS annual meeting, New Orleans; March 2018
- 4) Suzuki T, Takakubo Y, Oki H, Liu X, Honma R, Goodman SB**, Takagi M: Immunohistochemical analysis of inflammatory rheumatoid synovial tissues using anti-human monoclonal podoplanin antibody panel. Orthopaedic Research Society 2018 Annual meeting, New Orleans; March 2018 D
- 5) Takakubo Y, Sasaki K, Oki H, Naganuma Y, Narita A, Hirayama T**, Tamaki Y**, Takagi M: Is increasing the trend of primary total hip arthroplasties for the patients with osteoarthritis, but decreasing the rate of female in super-aging area of Japan in last twelve years?. EULAR, Madrid; June 2017
- 6) Takakubo Y, Sasaki K, Ito J, Oki H, Honma R, Kawaji H**, Ishii M**, Takagi M: Trend of total hip arthroplasties in the super-aging area in Northern Japan. ISTA in Seoul, Seoul; September 2017
- 7) Takakubo Y, Oki H, Sasaki K, Naganuma Y, Takagi M: High-molecular-weight adiponectin is

correlated with disease activity in the patients with rheumatoid arthritis. ORS 2018, New Orleans; Mar 2018

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Takagi M, Kasai Y**, Itoi E**, Iwamoto Y**, Yamagata T**, Saiki K, Yonezawa T**: (Symposium) International medical support in the disaster experience from Nepal big earthquake 2015. The 90th Annual Meeting of the Japanese Orthopaedic Association, Sendai; May 2017 B
- 2) Takakubo Y, Sasaki K, Narita Atsushi, Narita Aya, Kanauti Y, Yamakawa J, Sugawara M, Kobayashi S**, Hanaka N**, Takagi M: (Session) Postoperative rehabilitation of atypical femoral fractures in patients with rheumatic diseases. The 54th Annual meeting of the Japanese Association of Rehabilitation Medicine, Okayama; June 2017
- 3) 石井政次**, 川路博之**, 門馬亮介**, 伊藤重治, 高窪祐弥, 佐々木幹, 高木理彰: (パネルディスカッション)人工股関節再置換術(大腿側)IBG法の成績と基本手技. 第44回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017年10月
- 4) 川路博之**, 石井政次**, 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 門馬亮介**, 高木理彰: 当科での人工股関節置換術後の静脈血栓塞栓症に対する薬物的予防. 第44回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017年10月
- 5) 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 石井政次, 川路博之**, 門馬亮介**, 高木理彰: (シンポジウム)変形性股関節症の保存療法. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月
- 6) 佐竹寛史, 金内ゆみ子**, 柏英雄**, 石垣大介**, 高木理彰: (シンポジウム)当科で経験した先天性橈尺骨癒合症. 第60回日本手外科学会学術集会, 名古屋; 2017年4月
- 7) 高木理彰: (イブニングセミナー)人工関節によるリウマチ性股関節障害の機能障害. 第46回日本リウマチの外科学会, 仙台; 2017年8月
- 8) 高窪祐弥, 大木弘治, 長沼靖, 高木理彰: (シンポジウム)当科における生物学的製剤使用下の整形外科手術の現状. 第46回日本リウマチの外科学会, 仙台; 2017年8月
- 9) 高窪祐弥: (新評議員講演)リウマチ整形外科医としてのこれまでとこれから. 第46回日本リウマチの外科学会, 仙台; 2017年8月
- 10) 高原政利**, 原田幹生**, 丸山真博, 佐竹寛史, 宇野智洋**, 高木理彰: (シンポジウム)少年野球肘の診断と治療. 第43回日本整形外科学スポーツ医学会学術集会, 宮崎; 2017年9月

ii 一般演題

- 1) Takakubo Y, Oki H, Yang S, Sasaki A, Naganuma Y, Nagai J**, Orui H**, Suzuki T, Kato Y**, Takagi M: Expression of podoplanin in synovial tissue of rheumatoid arthritis. The 61th Annual General Assembly and Scientific Meeting of the Japan College of Rheumatology, Fukuoka; April 2017
- 2) Takakubo Y, Ota D**, Oki H, Naganuma Y, Ito J, Ito T**, Narita A, Sasaki K, Takagi M: Trend of atypical femoral fractures in rheumatic patients in the highly super aging area of North Japan. The 61th Annual General Assembly and Scientific Meeting of the Japan College of Rheumatology, Fukuoka; April 2017
- 3) Takakubo Y, Naganuma Y, Nagai J**, Oki H, Yang S, Sasaki A, Ito J, Sasaki K, Takagi M: Trend of orthopaedic surgeries for the patients with rheumatoid arthritis who are received biologic agents in our institute. The 90th Annual Meeting of the Japanese Orthopaedic Association, Sendai; May 2017
- 4) Takakubo Y, Ohta D**, Okuda S**, Ito J, Oki H, Naganuma Y, Sasaki K, Ishii M**, Takagi M: The incidence of atypical femoral fractures in patients with rheumatic disease in our prefectural area of north Japan in the super-aging society: YamaCAFe study. The 90th Annual Meeting of the Japanese Orthopaedic Association, Sendai; May 2017
- 5) 赤羽武, 橋本淳一, 山川淳一, 鈴木智人, 嶋村之秀, 高木理彰: 外傷性頸髄損傷に併発する後咽頭血腫の危険因子に関する検討. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月
- 6) 赤羽武, 橋本淳一, 山川淳一, 鈴木智人, 嶋村之秀, 高木理彰: 透析症例における脊椎手術の周術期栄養評価と合併症の検討. 第66回東日本整形災害外科学会, 東京; 2017年9月

- 7) 浅野多聞*, 中島拓, 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生**, 澁谷純一郎, 結城北斗**, 高木理彰: 前十字靭帯・後十字靭帯温存型 TKA の短期成績と成績不良因子の検討. 第 90 回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017 年 5 月
- 8) 浅野多聞*, 中島拓, 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生**, 高木理彰: 両十字温存型十字 TKA の前後制動性と術後疼痛の関連. 第 9 回日本関節鏡・膝・スポーツ日本整形外科学会, 札幌; 2017 年 6 月
- 9) 麻生正, 福島重宣**, 菅原裕史**, 山本尚生**, 成田淳, 高木理彰: ACL・PCL 温存型 TKA 術後の前方不安性の評価. 第 9 回日本関節鏡・膝・スポーツ日本整形外科学会, 札幌; 2017 年 6 月
- 10) 五十嵐貴宏**, 高窪祐弥, 浅野多聞**, 高原政利**, 林雅弘**, 高木理彰: 大腿骨近位部骨折術後の歩行能力に対する認知症の影響. 第 90 回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017 年 5 月
- 11) 五十嵐貴宏**, 小関和彦**, 鈴木朱美, 成田淳, 高木理彰: 膝蓋骨裂離骨折の治療経験. 第 9 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 札幌; 2017 年 6 月
- 12) 五十嵐貴宏**, 原田幹生**, 高木理彰: テニス選手における上肢疲労骨折. 第 9 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 札幌; 2017 年 6 月
- 13) 五十嵐貴宏**, 高窪祐弥, 結城北斗**, 丸山真博, 高原政利**, 高木理彰: V リーグ・バレーボール選手における足関節捻挫の現状 -アンケート調査の結果から-. 第 43 回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 宮崎; 2017 年 9 月
- 14) 石垣大介**, 花香直美**, 加藤義洋**, 佐竹寛史, 高木理彰: X線透視下手術における手外科医の手指被曝(第 2 報) -パルス透視による直接被曝線量低減効果-. 第 60 回日本手外科学会学術集会, 名古屋; 2017 年 4 月
- 15) 伊藤重治, 佐々木幹, 高窪祐弥, 大木弘治, 今野祐生, 金谷篤, 門馬亮介**, 川路博之**, 石井政次**, 高木理彰: リウマチ性疾患に対する Collarless Polished Tapered (CPT) ステムの短/中期成績. 第 44 回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017 年 10 月
- 16) 伊東貴史**, 高窪祐弥, 佐々木明子**, 長沼靖, 梁秀蘭, 大木弘治, 佐々木幹, 高木理彰: 当科紹介時のスクリーニング検査で悪性腫瘍を認めた関節リウマチ患者の検討. 第 61 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡; 2017 年 4 月
- 17) 伊東貴史**, 土屋登嗣**, 菅原正登, 高木理彰: 悪性骨・軟部腫瘍患者の終末期にて癌性胸水による呼吸不全出現後の死期の検討. 第 50 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会, 東京; 2017 年 7 月
- 18) 岩崎聖**, 尾鷲和也**, 橋本淳一, 山川淳一, 鈴木智人, 嶋村之秀, 赤羽武, 林雅弘**, 長谷川浩士**, 伊藤友一**, 千葉克司**, 内海秀明**, 武井寛**, 杉田誠**, 古川孝志**, 笹木勇人**: 85 歳以上の超高齢者の脊椎手術 -多施設共同研究-. 第 46 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 札幌; 2017 年 4 月
- 19) 内海秀明**, 千葉克司**, 伊藤友一**, 橋本淳一, 高木理彰: 精神医学的問題が腰椎手術成績と与える影響 -BS-POP による術前評価と治療成績との関係-. 第 46 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 札幌; 2017 年 4 月
- 20) 内海秀明**, 千葉克司**, 橋本淳一, 高木理彰: 当科における内視鏡視下腰椎間板摘出術と経皮的内視鏡下腰椎間板摘出術の短期成績. 第 66 回東日本整形災害外科学会, 東京; 2017 年 9 月
- 21) 宇野智洋**, 原田幹生**, 丸山真博, 村成幸**, 高原政利**, 鶴田大作**, 高木理彰: 高校野球選手のクールダウンと痛みやパフォーマンスとの関係. 第 90 回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017 年 5 月
- 22) 宇野智洋**, 丸山真博, 原田幹生**, 村成幸**, 高原政利**, 佐竹寛史, 高木理彰: 高校野球選手における下肢の柔軟性と体の痛みおよびパフォーマンスとの関係. 第 90 回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017 年 5 月
- 23) 宇野智洋**, 丸山真博, 原田幹生**, 村成幸**, 高原政利**, 佐竹寛史, 高木理彰: 山形県全県下の高校野球選手を対象にしたクールダウン時のストレッチの試み. 第 43 回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 宮崎; 2017 年 9 月
- 24) 宇野智洋**, 村成幸**, 結城一声, 遠藤誠一**, 高木理彰: 鏡視下腱板修復術直後の塩酸ロピバカイン肩峰下腔単回注入の効果. 第 44 回日本肩関節学会, 東京; 2017 年 10 月
- 25) 浦山樹, 丸山真博, 原田幹生**, 宇野智洋**, 村成幸**, 佐竹寛史, 高原政利**, 高橋俊章**, 高木理彰: 高校野球選手における腰痛は非投球側股関節の柔軟性低下と関連する. 第 43 回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 宮崎; 2017 年 9 月

- 26) 浦山樹, 神先秀人**, 高橋俊章**, 高木理彰: 女性高齢者の立ち上がり動作における仙骨傾斜角が膝関節へ与える影響 —全額面における検討—. 第52回日本理学療法学会大会, 千葉; 2017年5月
- 27) 遠藤誠一**, 村成幸**, 結城一声, 丸山真博, 高木理彰: 橈骨遠位端骨折に合併する肩痛 —手術を要する腱板断裂について—. 第44回日本肩関節学会, 東京; 2017年10月
- 28) 大石隆太**, 原田幹生**, 村成幸**, 丸山真博, 宇野智洋**, 佐竹寛史, 高木理彰, 高原政利**: 小中学野球選手における僧帽筋下部線維筋力についての検討 —肩肘痛や投球パフォーマンスとの関連性—. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月
- 29) 大石隆太**, 福島重宣**, 菅原裕史**, 山本尚生**, 鈴木朱美, 成田淳, 高木理彰: 拘縮筋に対する中間広筋 snip の効果. 第9回日本関節鏡・膝・スポーツ日本整形外科学会, 札幌; 2017年6月
- 30) 大石隆太**, 高窪祐弥, 門馬亮介**, 伊藤重治, 佐々木幹, 川路博之**, 石井政次**, 高木理彰: 当院における施設内ボーンバンクの使用状況. 第66回東日本整形災害外科学会, 東京; 2017年9月
- 31) 大石隆太**, 原田幹生**, 丸山真博, 宇野智洋**, 佐竹寛史, 高原政利**, 高木理彰, 村成幸**: 少年野球選手の野球肘発症に関連する上肢身体的要因. 第44回日本肩関節学会, 東京; 2017年10月
- 32) 大類広**, 高木理彰: 寝返り不能の重症心身障害児(者)の骨折と骨粗鬆症. 第54回日本リハビリテーション医学会学術集会, 岡山; 2017年6月
- 33) 大木弘治, 高窪祐弥, 鈴木智人, 長沼靖, 梁秀蘭, 佐々木明子**, 佐々木幹, 大類広**, 高木理彰: 新規抗ポドプラニン抗体LpMab-3のエピトープ解析. 第61回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡; 2017年4月
- 34) 大木弘治, 菅原正登, 高窪祐弥, 土屋登嗣**, 高木理彰: 新規抗ポドプラニン抗体LpMab-7による抗腫瘍効果の検討. 第50回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会, 東京; 2017年7月
- 35) 大木弘治, 高窪祐弥, 本間龍介**, 丸山真博, 鈴木智人, 劉興, 加藤幸成**, 高木理彰: 新規抗ポドプラニン抗体LpMab-3のエピトープ解析. 第32回日本整形外科学会基礎学術集会, 宜野湾; 2017年10月
- 36) 大木弘治, 高窪祐弥, 金谷篤, 小形拓也, 伊藤重治, 佐々木幹, 門馬亮介**, 川路博之**, 石井政次**, 小林真司**, 高木理彰: 当科における抗TNF製剤投与中の関節リウマチ患者における人工股関節手術の検討. 第44回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017年10月
- 37) 大木弘治, 伊藤重治, 高窪祐弥, 佐々木幹, 小林真司**, 小形拓也, 金谷篤, 今野祐生, 寒河江拓盛, 高木理彰: リウマチ性疾患と精神疾患を合併した股関節障害患者に対するTHAの術後合併症の検討. 第44回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017年10月
- 38) 太田大地**, 高窪祐弥, 奥田正太**, 伊藤重治, 佐々木幹, 高木理彰: 非定型大腿骨骨折における転子下骨折と骨幹部骨折の比較検討. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月
- 39) 小形拓也, 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 大木弘治, 平山朋幸**, 高木理彰: 小児期の近位大腿骨骨髄炎の既往のある患者に対して人工股関節全置換術を施行した1例. 第66回東日本整形災害外科学会, 東京; 2017年9月
- 40) 小形拓也, 高窪祐弥, 大木弘治, 長沼靖, 佐々木明子**, 梁秀蘭, 大類広**, 高木理彰: 当科の関節リウマチ(RA)患者に対するJAK阻害剤(tofacitinib)使用例の短期成績. 第45回日本関節病学会, 東京; 2017年11月
- 41) 岡本純一**, 豊島定美**, 豊野修二**, 高木理彰: PS-TKA術後屈曲角に影響を与える因子の検討. 第48回日本人工関節学会, 東京; 2018年2月
- 42) 奥田正太**, 佐竹寛史, 長沼靖, 本間龍介**, 高木理彰: 四肢末梢手術における予防的抗菌薬投与方法. 第60回日本手外科学会学術集会, 名古屋; 2017年4月
- 43) 奥田正太**, 佐竹寛史, 澁谷純一郎, 根本信太郎**, 渡邊忠良**, 石垣大介**, 高木理彰: 成人上腕骨遠位端骨折AO/OTA type A手術症例における治療成績の検討. 第43回日本骨折治療学会, 郡山; 2017年7月
- 44) 金内ゆみ子**, 高木理彰, 佐々木幹, 成田淳, 高窪祐弥, 山川淳一, 菅原正登, 成田亜矢, 小林真司**: 地域包括ケア病棟から在宅復帰が可能であった胸髄損傷の1例. 第54回日本リハビリテーション医学会学術集会, 岡山; 2017年6月
- 45) 金内ゆみ子**, 高木理彰, 佐々木幹, 高窪祐弥, 成田淳, 成田亜矢, 小林真司**: 下腿切断術後、大腿骨外顆骨折観血的手術を施行した1例. 第1回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 大阪; 2017年10月

- 46) 金谷篤, 橋本淳一, 高窪祐弥, 山川淳一, 鈴木智人, 嶋村之秀, 赤羽武, 高木理彰: 胸椎高位に発生した肥厚性硬膜炎の1例. 第66回東日本整形災害外科学会, 東京; 2017年9月
- 47) 川路博之**, 石井政次**, 門馬亮介**, 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 大木弘治, 高木理彰: 当院における人工股関節置換術の経年推移. 第48回日本人工関節学会, 東京; 2018年2月
- 48) 今野祐生, 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 大木弘治, 寒河江拓盛, 高木理彰: CTガイド下穿刺にて治療し得た股関節内発生ガングリオンの一例. 第44回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017年10月
- 49) 寒河江拓盛, 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 大木弘治, 今野祐生, 高木理彰: 変形性股関節症に対する外来リハビリテーションの効果. 第44回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017年10月
- 50) 佐々木明子**, 高窪祐弥, 梁秀蘭, 長沼靖, 大木弘治, 大類広**, 高木理彰: 肝臓に多発したメトトレキサート関連リンパ増殖症の1例. 第61回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡; 2017年4月
- 51) 佐々木明子**, 高窪祐弥, 梁秀蘭, 長沼靖, 大木弘治, 大類広**, 吉岡信彰**, 高木理彰: 当科関連施設における生物学的製剤の減量状況. 第61回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡; 2017年4月
- 52) 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 大木弘治, 小形拓也, 金谷篤, 寒河江拓盛, 高木理彰: 進行期・末期変形性股関節症に対する保存療法の成績. 第44回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017年10月
- 53) 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 大木弘治, 石井政次**, 川路博之**, 門馬亮介**, 高木理彰: 人工股関節置換術における taper polished stem の回旋安定性の評価. 第48回日本人工関節学会, 東京; 2018年2月
- 54) 佐々木健, 荒川忍, 大森充, 村川美幸, 横山美雪*, 沓澤大輔*, 有本貴範*, 渡邊哲*, 久保田功*, 高窪祐弥, 高木理彰: 病院連携による回復期心臓リハビリテーションの効果. 第1回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 大阪; 2017年10月
- 55) 佐竹寛史, 丸山真博, 長沼靖, 澁谷純一郎, 鶴田大作**, 伊東貴史**, 鈴木朱美, 高木理彰: オーバーヘッドスローに障害をきたした胸郭出口症候群に対する関節鏡補助下第1肋骨切除術. 第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 宮崎; 2017年9月
- 56) 佐竹寛史, 長沼靖, 澁谷純一郎, 丸山真博, 高木理彰: 強剛母指の特徴と治療. 第28回日本小児整形外科学会, 東京; 2017年12月
- 57) 佐竹寛史, 長沼靖, 澁谷純一郎, 高木理彰, 石垣大介**: 上腕骨外側上顆炎に対する上腕骨外側上顆除神経術. 第30回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2018年2月
- 58) 澁谷純一郎, 佐竹寛史, 奥田正太**, 根本信太郎**, 長沼靖, 渡邊忠良**, 佐々木淳也**, 石垣大介**, 高木理彰: 成人上腕骨遠位端骨折に伴う術後合併症. 第43回日本骨折治療学会, 郡山; 2017年7月 B
- 59) 澁谷純一郎, 佐竹寛史, 長沼靖, 石垣大介**, 花香直美**, 渡邊忠良**, 原田幹生**, 宇野智洋**, 高原政利**, 高木理彰: 75歳以上の上腕骨遠位端骨折に対する治療成績. 第30回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2018年2月
- 60) 嶋村之秀, 橋本淳一, 山川淳一, 鈴木智人, 赤羽武, 高木理彰: 後期高齢者の化膿性脊椎炎の検討. 第46回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 札幌; 2017年4月
- 61) 嶋村之秀, 橋本淳一, 山川淳一, 鈴木智人, 赤羽武, 高木理彰: シリンジ法 (Syringe technique) を用いた頸椎椎弓根スクリューの刺入精度の検討. 第66回東日本整形災害外科学会, 東京; 2017年9月
- 62) 菅原正登, 小林英介**, 遠藤誠**, 丹澤義一**, 中谷文彦**, 中馬広一**, 高木理彰, 川井症: 軟部肉腫の治療成績における病期分類別の比較検討. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月 B
- 63) 菅原正登, 山川淳一, 高窪祐弥, 佐々木幹, 高木理彰: 骨盤半截を施行した7例における機能予後の検討. 第54回日本リハビリテーション医学会学術集会, 岡山; 2017年6月
- 64) 菅原正登, 土屋登嗣**, 高木理彰: 当科で骨盤半截を施行した7例の臨床予後の検討. 第50回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会, 東京; 2017年7月
- 65) 菅原正登, 高窪祐弥, 太田大地*, 伊藤重治, 土屋登嗣**, 永井惇**, 伊東貴史**, 岡田宗一郎**, 石川朗**, 佐々木幹, 高木理彰: 非定型大腿骨骨折を受傷した転移性骨腫瘍患者における大腿骨彎曲変形の検討 - 山形県における非定型大腿骨骨折実態調査から - . 第50回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会, 東京; 2017年7月
- 66) 菅原正登, 土屋登嗣**, 高木理彰: 骨梗塞部に発生した大腿骨遠位続発性骨肉腫の1例. 第1回日本サルコーマ治療研究学会学術集会, 東京; 2018年2月

- 67) 鈴木朱美, 成田淳, 山本尚生**, 浅野多聞**, 高木理彰: 自家培養軟骨移植術の短期成績. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月
- 68) 鈴木朱美, 成田淳, 山本尚生**, 浅野多聞**, 福島重宣**, 高木理彰: 解剖学的二重束前十字靭帯再建術のMRI画像による移植腱の再構築過程の検討—異なる大腿骨骨孔作製法による比較—. 第9回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 札幌; 2017年6月
- 69) 鈴木朱美, 成田淳, 佐竹寛史, 丸山真博, 高木理彰: 膝前十字靭帯不全による大腿骨内顆軟骨損傷に対し前十字靭帯再建術・高位脛骨骨切り術・自家骨培養軟骨移植術を同時に行った2例. 第43回日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会, 宮崎; 2017年9月
- 70) 鈴木朱美, 山口奈美**, 斎田良知**, 成田淳, 高木理彰: なでしこジャパン: 団体女子に帯同している女性Drの立場から. 第43回日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会, 宮崎; 2017年9月 B
- 71) 鈴木朱美, 高窪祐弥, 佐竹寛史, 長沼靖, 石垣大介**, 高木理彰: 鏡視下距骨下関節固定手術を行った3例. 第42回日本足の外科学会・学術集会, 名古屋; 2017年11月
- 72) 鈴木智人, 大木弘治, 高窪祐弥, 佐々木明子**, 梁秀蘭, 高木理彰: 抗ポドプラニン抗体を音痴板滑膜組織におけるポドプラニン発現の検討. 第61回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡; 2017年4月
- 73) 鈴木智人, 橋本淳一, 山川淳一, 嶋村之秀, 赤羽武, 高木理彰: 脊椎脊髄手術におけるTリンパ球サブセットと周術期感染症合併症との関連. 第46回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 札幌; 2017年4月
- 74) 杉田誠**, 武井寛**, 石井淳二**, 土田浩之**, 平上健**, 高木理彰: 骨粗鬆症性椎体骨折における厳密な入院保存療法の治療成績. 第66回東日本整形災害外科学会, 東京; 2017年9月
- 75) 大染勝之**, 田中賢**, 高木理彰, 佐々木幹: 骨盤輪損傷・寛骨臼骨折合併損傷の一例. 第44回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017年10月
- 76) 高窪祐弥, 佐々木幹, 成田淳, 山川淳一, 成田垂矢, 花香直美**, 菅原正登, 金内ゆみ子**, 小林真司**, 高木理彰: 当科のリウマチ性疾患における非定型大腿骨骨折症例の術後リハビリテーションの検討. 第54回日本リハビリテーション学会, 岡山; 2017年6月
- 77) 高窪祐弥, 大木弘治, 長沼靖, 梁秀蘭, 佐々木明子**, 佐々木幹, 大類広**, 高木理彰: マイクロパーテュル刺激による形質細胞様樹状細胞のToll様受容体発現の検討. 第3回日本骨免疫学会, 石垣; 2017年6月
- 78) 高窪祐弥: 抗IL-6受容体抗体製剤使用RA滑膜組織におけるtoll-like receptorの発現. 第4回日本リウマチ学会ベーシックリサーチ, 東京; 2017年10月
- 79) 高窪祐弥, 長沼靖, 大木弘治, 梁秀蘭, 佐々木明子**, 丸山真博, 鈴木智人, 根本信仁, 伊藤重治, 佐々木幹, 高木理彰: CTLA4-Ig製剤使用RA患者の滑膜組織における制御性免疫担当細胞とToll様受容体の検討. 第32回日本整形外科学会基礎学術集会, 宜野湾; 2017年10月
- 80) 高窪祐弥, 伊藤重治, 宮地隆浩, 佐々木幹, 大木弘治, 門馬亮介**, 川路博之**, 小林真司**, 麻生正, 石井政次**, 高木理彰: 当科のリウマチ性疾患における非定型大腿骨骨折症例の検討. 第44回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017年10月
- 81) 高窪祐弥, 佐々木幹, 伊藤重治, 門馬亮介**, 川路博之**, 大木弘治, 小林真司**, 今野祐生, 寒河江拓盛, 石井政次**, 高木理彰: 過去12年間の小児股関節骨切り術件数の推移—当院と関連病院の傾向と特徴—. 第44回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017年10月
- 82) 高窪祐弥: 生物学的製剤時代の関節リウマチ(RA)患者における手術内容の変遷. 第45回日本関節病学会, 東京; 2017年10月
- 83) 高窪祐弥, 長沼靖, 鈴木朱美, 佐竹寛史, 石垣大介**, 高木理彰: 関節リウマチ患者に対する逆行性髄内釘を用いた足関節固定術の検討. 第42回足の外科学会・学術集会, 名古屋; 2017年11月
- 84) 高窪祐弥, 梁秀蘭, 大木弘治, 長沼靖, 佐々木明子**, 小形拓也, 大類広**, 門馬亮介**, 佐々木幹, 川路博之**, 石井政次**, 高木理彰: 生物学的製剤時代の関節リウマチ(RA)患者における手術内容の変遷. 第45回日本関節病学会, 東京; 2017年11月
- 85) 高窪祐弥, 伊藤重治, 大木弘治, 門馬亮介, 川路博之**, 佐々木幹, 小林真司**, 石井政次**, 高木理彰: KTプレートと塊状同種骨移植により寛骨臼再建を行った人工股関節再置換術の中期成績. 第48回日本人工関節学会, 東京; 2018年2月
- 86) 高原政利**, 原田幹生**, 丸山真博, 宇野智洋**, 佐々木淳也**, 佐竹寛史, 高木理彰: 野球肘の超音波診

- 断. 第30回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2018年2月
- 87) 武井寛*, 杉田誠**, 嶋村之秀, 笹木勇人**, 高木理彰: カーボンPEEK ケージとチタンケージによる CBT-PILF の成績. 第66回東日本整形災害外科学会, 東京; 2017年9月
- 88) 竹内隆二**, 福島重宣**, 成田淳, 鈴木朱美, 高木理彰: 半月板縫合の疼痛対策 内転筋管ブロック (ACB) の効果. 第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 宮崎; 2017年9月
- 89) 土屋登嗣**, 菅原正登, 石川朗**, 高木理彰: 当院におけるアクリジンオレンジ治療の短期成績. 第50回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会, 東京; 2017年7月
- 90) 鶴田大作**, 鈴木朱美, 結城一声, 江藤淳**, 丸山真博, 村成幸**, 佐竹寛史, 高木理彰: 一次修復困難な腱板大・広範囲断裂の手術成績. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月
- 91) 豊野修二**, 豊島定美**, 岡本純一**, 高木理彰: TKA における術中トラキネサム酸関節内投与の有効性. 第48回日本人工関節学会, 東京; 2018年2月
- 92) 永井惇**, 土屋登嗣**, 赤羽武, 菅原正登, 高窪祐弥, 高木理彰: 軟部腫瘍が疑われ dual energy CT にて診断できた痛風結節の3例. 第50回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会, 東京; 2017年7月
- 93) 永井惇**, 原田幹生**, 丸山真博, 宇野智洋**, 村成幸**, 佐竹寛史, 高原政利**, 高木理彰: 成長期野球選手における腰痛と下肢柔軟性との関係. 第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 宮崎; 2017年9月
- 94) 中島拓, 浅野多聞**, 澁谷純一郎, 結城北斗**, 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生**, 高木理彰: 両十字靭帯温存型 TKA の前後制動性の検討 - 従来型 TKA との比較 -. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月
- 95) 中島拓, 浅野多聞**, 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生**, 高木理彰: 両十字靭帯温存型 TKA の前後制動性と可動域の関係. 第9回日本関節鏡・膝・スポーツ日本整形外科学会, 札幌; 2017年6月
- 96) 長沼靖, 高窪祐弥, 大木弘治, 高木理彰: 関節鏡視下に人工肘関節内遊離体摘出を行った一例. 第46回日本リウマチの外科学会, 仙台; 2017年8月
- 97) 長沼靖, 鈴木朱美, 高窪祐弥, 佐竹寛史, 石垣大介**, 高木理彰: 関節リウマチによる距舟関節障害に対して鏡視下滑膜切除を行った1例. 第42回日本足の外科学会・学術集会, 名古屋; 2017年11月
- 98) 長沼靖, 佐竹寛史, 澁谷純一郎, 花香直美**, 石垣大介**, 高木理彰: 靭帯修復術を行った骨折を伴わない外傷性肘関節脱臼の治療成績. 第30回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2018年2月
- 99) 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生**, 浅野多聞**, 高木理彰: 透析患者に対する人工膝関節全置換術の治療成績と生命予後. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月
- 100) 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生**, 高木理彰: 人工膝関節単顆置換術後感染の2例. 第9回日本関節鏡・膝・スポーツ日本整形外科学会, 札幌; 2017年6月
- 101) 成田亜矢, 高野満夫**, 井田英雄**, 菅原正登, 山川淳一, 成田淳, 高窪祐弥, 佐々木幹, 高木理彰, 金内ゆみ子**, 小林真司**: 療育施設長期入所児の社会復帰に向けた取り組み. 第54回日本リハビリテーション医学会学術集会, 岡山; 2017年6月
- 102) 成田亜矢, 菅原正登, 金内ゆみ子**, 高窪祐弥, 佐々木幹, 村川美幸, 高木理彰, 石川雅樹: 当院におけるリハビリテーション対象疾患の動向. 第1回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 大阪; 2017年10月
- 103) 仁藤敏哉**, 澁谷純一郎, 長沼靖, 佐竹寛史, 石垣大介**, 高原政利**, 高木理彰: (若手優秀演題アワードセッション) 上腕骨遠位端骨折 AO-OTA 分類 C 型に対する治療の成績. 第66回東日本整形災害外科学会, 東京; 2017年9月
- 104) 根本信太郎**, 佐竹寛史, 澁谷純一郎, 奥田正太**, 長沼靖, 渡邊忠良**, 佐々木淳也**, 石垣大介**, 高原政利**, 高木理彰: 成人上腕骨遠位端骨折における疫学的検討. 第43回日本骨折治療学会, 郡山; 2017年7月
- 105) 根本信仁, 佐々木幹, 朝比奈一三**, 高木理彰: 小児大腿骨骨幹部骨折の3症例. 第66回東日本整形災害外科学会, 東京; 2017年9月
- 106) 花香直美**, 石垣大介**, 加藤義洋**, 佐竹寛史, 高木理彰: 短母指外転筋複合筋活動電位導出不能の手根管症候群の術後成績 - 第2虫洋筋複合筋活動電位の値による比較 -. 第60回日本手外科学会学術集会, 名古屋; 2017年4月

- 107) 花香直美^{**}, 石垣大介^{**}, 澁谷純一郎, 長沼靖, 佐竹寛史, 高木理彰: 掌側転位型頭骨遠位骨端線離開に対する掌側からの intrafocal pinning 法. 第 43 回日本骨折治療学会, 郡山; 2017 年 7 月
- 108) 原田幹生^{**}, 高原政利^{**}, 丸山真博, 高木理彰: ジュニアテニス選手における腰痛発症の危険因子についての検討. 第 90 回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017 年 5 月
- 109) 原田幹生^{**}, 高原政利^{**}, 丸山真博, 宇野智洋^{**}, 近藤幹朗^{**}, 村成幸^{**}, 高木理彰: 上腕骨小頭離断性骨軟骨炎に対する関節鏡視下病巣・遊離体切除術の手術適応の限界についての検討. 第 90 回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017 年 5 月
- 110) 原田幹生^{**}, 高原政利^{**}, 丸山真博, 宇野智洋^{**}, 高木理彰: ジュニアテニス選手の体幹安定性評価法についての検討. 第 43 回日本整形外科学スポーツ医学会学術集会, 宮崎; 2017 年 9 月
- 111) 原田幹生^{**}, 村成幸^{**}, 丸山真博, 宇野智洋^{**}, 佐竹寛史, 大石隆太^{**}, 高原政利^{**}, 高木理彰: 中学野球選手における肩関節内インピンジメントについての検討. 第 44 回日本肩関節学会, 東京; 2017 年 10 月
- 112) 原田幹生^{**}, 高原政利^{**}, 近藤幹朗^{**}, 丸山真博, 宇野智洋^{**}, 太田大地^{**}, 高木理彰: 肘関節内骨折に対する関節鏡補助手術の治療経験. 第 30 回日本肘関節学会学術集会, 東京; 2018 年 2 月
- 113) 針生光博^{**}, 尾山かおり^{**}, 和根崎禎大^{**}, 永井惇^{**}, 岩崎聖^{**}, 平山朋幸^{**}, 佐藤大祐^{**}, 佐々木淳也^{**}, 尾鷲和也^{**}, 高木理彰: PS 型 TKA における術中ギャップ評価法の検討. curved gap gauge とテンサーの比較. 第 48 回日本人工関節学会, 東京; 2018 年 2 月
- 114) 福島重宣^{**}, 菅原裕史^{**}, 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生^{**}, 高木理彰: Bi-cruciate retaining (BCR) TKA の短期成績と課題. 第 90 回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017 年 5 月
- 115) 福島重宣^{**}, 菅原裕史^{**}, 山本尚生^{**}, 鈴木朱美, 成田淳, 高木理彰: TKA の術後疼痛対策に内転筋管ブロック (FBN) と同様な効果がある. 第 9 回日本関節鏡・膝・スポーツ日本整形外科学会, 札幌; 2017 年 6 月
- 116) 福島重宣^{**}, 菅原裕史^{**}, 山本尚生^{**}, 鈴木朱美, 成田淳, 高木理彰: BCR (Bi Cruciate Retaining) TKA 術後の問題点. 第 9 回日本関節鏡・膝・スポーツ日本整形外科学会, 札幌; 2017 年 6 月
- 117) 福島重宣^{**}, 菅原裕史^{**}, 山本尚生^{**}, 成田淳, 鈴木朱美, 高木理彰: ACL・PCL 温存型 (BCR) TKA の手術適応. 第 66 回東日本整形災害外科学会, 東京; 2017 年 9 月
- 118) 福島重宣^{**}, 菅原裕史^{**}, 山本尚生^{**}, 中島拓, 鈴木朱美, 成田淳, 高木理彰: BCR TKA 2 年以上の臨床成績. 第 48 回日本人工関節学会, 東京; 2018 年 2 月
- 119) 福島重宣^{**}, 菅原裕史^{**}, 山本尚生^{**}, 中島拓, 鈴木朱美, 成田淳, 高木理彰: Vanguard ID (Individualized Desihn) TKA の短期成績. 第 48 回日本人工関節学会, 東京; 2018 年 2 月
- 120) 本間龍介^{**}, 高窪祐弥, 大木弘治, 鈴木智人, 佐々木明子^{**}, 長沼靖, 梁秀蘭, 高木理彰: リポポリサッカライド誘発性家兎関節炎モデルにおけるポドプラニンの発現に関する検討. 第 61 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡; 2017 年 4 月
- 121) 本間龍介^{**}, 高窪祐弥, 大木弘治, 丸山真博, 鈴木智人, 根本信仁, 劉興, 加藤幸成^{**}, 高木理彰: ウサギポドプラニンに対する特異的モノクローナル抗体の樹立とリポポリサッカライド誘発性関節炎モデルにおける応用. 第 32 回日本整形外科学会基礎学術集会, 宜野湾; 2017 年 10 月 B
- 122) 丸山真博, 佐竹寛史, 鈴木智人, 本間龍介^{**}, 劉興, 長沼靖, 澁谷純一郎, 高窪祐弥, 高木理彰: 家兎膝骨軟骨欠損モデルにおける多血小板血漿および多血小板フィブリンを併用した自家骨軟骨柱移植術の効果. 第 32 回日本整形外科学会基礎学術集会, 宜野湾; 2017 年 10 月
- 123) 宮地隆浩, 高窪祐弥, 大木弘治, 伊藤重治, 麻生正, 小形拓也, 金谷篤, 今野祐生, 寒河江拓盛, 佐々木幹, 高木理彰: 非定型大腿骨折術後の骨癒合不全に対し腸骨自己骨移植とロッキングプレート固定を施行した 1 例. 第 44 回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017 年 10 月
- 124) 村川美幸, 佐々木健, 石川雅樹, 高窪祐弥, 高木理彰: 早期リハビリテーション介入の取り組み. 第 1 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 大阪; 2017 年 10 月
- 125) 村田宙, 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 高木理彰: THA 後患者の立位骨盤傾斜と体幹側屈可動域の関連性について. 第 44 回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017 年 10 月
- 126) 村成幸^{**}, 伊藤重治, 結城一声, 佐々木幹, 高木理彰: 上腕骨人工骨頭再置換術に同種骨 impaction bone graft を行い 15 年経過した 1 例. 第 48 回日本人工関節学会, 東京; 2018 年 2 月
- 127) 門馬亮介^{**}, 石井政次^{**}, 川路博之^{**}, 高窪祐弥, 伊藤重治, 佐々木幹, 高木理彰: 当科における taper

- polish型システムを用いた人工股関節全置換術後のインプラント周囲骨折の機種毎の発生頻度. 第44回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017年10月
- 128) 門馬亮介**, 石井政次**, 川路博之**, 大木弘治, 伊藤重治, 高窪祐弥, 佐々木幹, 高木理彰: 人工股関節全置換術後急性期におけるアセトアミノフェン点滴製剤の有用性. 第48回日本人工関節学会, 東京; 2018年2月
- 129) 山川淳一, 橋本淳一, 鈴木智人, 嶋村之秀, 赤羽武, 高木理彰: 非骨傷性頸髄損傷の機能回復 -MR Iにおける靭帯損傷の有無は予後に影響するか-. 第46回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 札幌; 2017年4月
- 130) 山本尚生**, 成田淳, 鈴木朱美, 豊島定美**, 浅野多聞, 中島拓, 豊野修二**, 和根崎禎大**, 高木理彰: 人工膝関節全置換術の術後疼痛対策におけるステロイド製剤の種類および投与方法についての検討. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月
- 131) 山本尚生**, 成田淳, 鈴木朱美, 豊島定美**, 豊野修二**, 高木理彰: 人工膝関節全置換術の術中ステロイド注射による屈曲角度への影響 -投与方法の違いによる検討-. 第9回日本関節鏡・膝・スポーツ日本整形外科学会, 札幌; 2017年6月
- 132) 山本尚生**, 福島重宣**, 菅原裕史**, 成田淳, 鈴木朱美, 中島拓, 高木理彰: 人工膝関節全置換術に対する術後疼痛対策として的大腿神経ブロックと内転筋管ブロックの比較検討. 第66回東日本整形災害外科学会, 東京; 2017年9月
- 133) 山本尚生**, 福島重宣**, 菅原裕史**, 成田淳, 鈴木朱美, 中島拓, 高木理彰: 術後疼痛対策として両側同時人工膝関節全置換術における大腿神経ブロックと内転筋管ブロックの比較検討. 第48回日本人工関節学会, 東京; 2018年2月
- 134) 梁秀蘭, 高窪祐弥, 佐々木明子**, 長沼靖, 成田淳, 大木弘治, 高木理彰: 関節リウマチ滑膜表層におけるHO-1発現と多層化の関係. 第32回日本整形外科学会基礎学術集会, 宜野湾; 2017年10月
- 135) 結城一声, 村成幸**, 鶴田大作**, 鈴木朱美, 丸山真博, 原田幹生**, 高木理彰: 腱板大~広範囲断裂に対する鏡視下腱板修復術後2年間の筋力回復. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月
- 136) 結城一声, 村成幸**, 鈴木朱美, 鶴田大作**, 高木理彰: 肩甲下筋腱単独断裂に対するNet-like DAFF法による鏡視下腱板修復術の治療成績. 第9回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 札幌; 2017年6月
- 137) 結城一声, 村成幸**, 宇野智洋**, 鶴田大作**, 鈴木朱美, 佐竹寛史, 高木理彰: 80歳以上に対する鏡視下腱板修復術の治療成績. 第66回東日本整形災害外科学会, 東京; 2017年9月
- 138) 結城一声, 村成幸**, 遠藤誠一**, 宇野智洋**, 鶴田大作**, 佐竹寛史, 鈴木朱美, 高木理彰: 鏡視下腱板修復術後1年における筋力回復例と回復不良例の検討. 第44回日本肩関節学会, 東京; 2017年10月
- 139) 結城北斗**, 高原政利**, 原田幹生**, 丸山真博, 宇野智洋**, 村成幸**, 佐竹寛史, 高木理彰: 高校野球選手のバッティング動作時の手~手関節痛とバットの握り方およびグリップエンドの形状の関係. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月
- 140) 和根崎禎大**, 針生光博**, 尾山かおり**, 高木理彰: 糖尿病合併患者の人工膝関節置換術におけるステロイド添加関節近傍注射の血糖値への影響. 第48回日本人工関節学会, 東京; 2018年2月

(3) 国内地方会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 田中賢**, 根本信仁, 岡本純一**, 江藤淳**, 石川朗**, 朝比奈一三**, 高木理彰: 山形県立中央病院における小児下肢骨折・骨端線損傷治療の動向. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月
- 2) 根本信仁, 成田淳, 佐々木幹, 朝比奈一三**, 高木理彰: 垣根を超えた外傷診療・教育 ~科を超えた取り込み・チーム医療を目指して~ 山形からの報告. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月

ii 一般演題

- 1) 赤羽武, 橋本淳一, 山川淳一, 鈴木智人, 嶋村之秀, 高木理彰: 胸椎椎間板ヘルニアの発生要因と手術成績の検討. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月
- 2) 麻生正, 伊藤重治, 高窪祐弥, 佐々木幹, 高木理彰: 診断に難渋し経過観察中に完全を来し外科的治療を要した非定型大腿骨骨折の一例. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月
- 3) 荒川忍, 沓澤大輔, 大森允, 佐々木健, 石川雅樹, 村川美幸, 有本貴範, 渡邊哲, 高窪祐弥, 高木理彰: 外来心臓リハビリテーションにおける身体運動機能・運動耐容能・QOL変化の検討. 日本心臓リハビ

- リテーション学会 第2回東北支部地方会, 仙台; 2017年12月
- 4) 五十嵐貴宏**, 鈴木朱美, 成田淳, 高原政利**, 高木理彰: 膝蓋骨裂離骨折の治療経験. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月
 - 5) 伊東貴史**, 結城一声, 鈴木朱美, 鶴田大作**, 高木理彰: 2枚のプレートで内固定した鎖骨骨幹部骨折の1例. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月
 - 6) 宇野智洋, 鶴田大作**, 篠村友紀**, 江藤淳**, 鈴木朱美, 結城一声, 村成幸**, 林雅弘**, 高木理彰: 肩甲骨関節窩骨折に対し、スーチャーアンカーを併用した鏡視下骨接合術を行った3例. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月
 - 7) 大石隆太**, 石垣大介**, 花香直美**, 高木理彰: 爪下に発生した表皮嚢腫の治療経験. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月
 - 8) 大木弘治, 佐々木幹, 高窪祐弥, 伊藤重治, 高木理彰: 変形性股関節症におけるTHA術前患者と経過観察例の比較 -JOAスコアとJHEQの観点から-. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月
 - 9) 大木弘治, 伊藤重治, 高窪祐弥, 佐々木幹, 小林真司**, 高木理彰: 精神疾患を合併したリウマチ性股関節障害患者に対する初回THAの術後合併症の検討. 第27回日本リウマチ学会 北海道・東北支部学術集会, 山形; 2017年11月
 - 10) 大森允, 沓澤大輔, 高窪祐弥, 村川美幸, 石川雅樹, 佐々木健, 荒川忍, 高木理彰: 循環器疾患患者に対する二重積を用いた至適運動強度の推定 一定量負荷の運動療法中の生体反応を観察して. 第35回東北理学療法学術大会, 盛岡; 2017年11月
 - 11) 岡田宗一郎**, 高窪祐弥, 長沼靖, 伊藤重治, 佐々木幹, 菅原正登, 土屋登嗣**, 高木理彰: 巨大な痛風結節に対し外科的切除を行った1例. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月
 - 12) 佐々木健, 大森允, 荒川忍, 石川雅樹, 村川美幸, 沓澤大輔, 有本貴範, 高窪祐弥, 高木理彰: 地域連携による外来心臓リハビリテーションの効果. 第23回山形心臓外科懇話会, 山形; 2017年7月
 - 13) 佐竹寛史, 丸山真博, 長沼靖, 澁谷純一郎, 鶴田大作**, 伊東貴史**, 高木理彰: 血流障害による胸郭出口症候群に対して関節鏡補助下第1肋骨切除術を施行した1例. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月
 - 14) 柴橋広智, 村川美幸, 佐々木健, 菊池瑞恵, 辺見大剛, 長沼靖, 高木理彰: 積極的な腱滑走訓練により伸展不全が改善した伸筋腱断裂の一例 ~ZONE VIにおける複数指伸筋腱断裂~. 第25回山形県作業療法学会, 酒田; 2017年5月
 - 15) 嶋村之秀, 橋本淳一, 山川淳一, 鈴木智人, 赤羽武, 伊藤友一**, 千葉克司**, 内海秀明**, 高木理彰: 胸腰椎経皮的椎弓根スクリューの刺入精度の検討. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月
 - 16) 鈴木智人, 橋本淳一, 山川淳一, 嶋村之秀, 赤羽武, 高木理彰: 脊椎変性疾患における術後合併症発生の危険因子 一周術期栄養状態の動的評価-. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月
 - 17) 大楽勝之**, 太田大地**, 宇野智洋, 長谷川浩士**, 渡邊忠良**, 鶴田大作**, 松木宏史**, 林雅弘**, 高木理彰: 長期血液透析患者に発症した股関節アミロイドーシス1例. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月
 - 18) 高窪祐弥, 長沼靖, 大木弘治, 梁秀蘭, 結城北斗, 大類広**, 佐々木幹, 高木理彰: ジャック関節症の病理学的検討. 第27回日本リウマチ学会 北海道・東北支部学術集会, 山形; 2017年11月
 - 19) 土屋登嗣**, 菅原正登, 高木理彰: 遠隔転移の初発病変が多発性骨転移であった粘液型脂肪肉腫の3例. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月
 - 20) 鶴田大作**, 大石隆太**, 宇野智洋, 太田大地**, 伊東貴史**, 鈴木朱美, 結城一声, 高木理彰: 関節鏡補助下に人工靭帯を用いた再建術を行った肩鎖関節脱臼の3例. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月
 - 21) 永井惇**, 鈴木朱美, 成田淳, 山本尚生**, 高木理彰: 膀胱癌全摘出後に発生した下腿コンパートメント症候群の1例. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月
 - 22) 辺見大剛, 村川美幸, 佐々木健, 菊池瑞恵, 柴橋広智, 浦山樹, 菅原正登, 高木理彰: 上腕二頭筋を切除した症例の前腕回内外運動 -悪性軟部腫瘍患者における筋電図学的検討-. 第25回山形県作業療法学会, 山形; 2017年5月
 - 23) 山本尚生**, 鈴木朱美, 成田淳, 岡田宗一郎**, 高木理彰: 膝前十字靭帯より発生したガングリオンの1

例. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月

- 24) 梁秀蘭, 佐々木明子**, 高窪祐弥, 大木弘治, 長沼靖, 大類広**, 吉岡信弥**, 高木理彰: 整形外科単科病院リウマチ外来における高齢関節リウマチ患者の生物学的製剤使用状況. 第27回日本リウマチ学会 北海道・東北支部学術集会, 山形; 2017年11月

(4) 研究会

i 一般演題

- 1) 石垣大介**, 花香直美**, 佐竹寛史, 長沼靖, 澁谷純一郎, 高木理彰: 手根管症候群の再手術例に対し、橈骨動脈穿通枝脂肪弁で神経被覆を行った2例. 第32回東日本手外科学研究会, 東京; 2018年2月
- 2) 佐竹寛史, 長沼靖, 澁谷純一郎, 高木理彰, 石垣大介**: くびれが確認された特発性後骨間神経麻痺に対する神経剥離術. 第32回東日本手外科学研究会, 東京; 2018年2月
- 3) 澁谷純一郎, 佐竹寛史, 長沼靖, 高木理彰, 石垣大介**: 正中神経の繊維脂肪性過誤腫による手根管症候群の1例. 第32回東日本手外科学研究会, 東京; 2018年2月
- 4) 菅原正登, 土屋登嗣**, 石川朗**, 高木理彰: 大腿骨遠位骨腫瘍の1例. 第24回東北地区骨軟部腫瘍研究会, 秋田; 2017年10月
- 5) 菅原正登, 丹澤義一**, 高木理彰: 大腿骨骨腫瘍の1例. 第11回金沢骨軟部腫瘍セミナー, 金沢; 2017年12月
- 6) 菅原正登, 土屋登嗣**, 高木理彰: 当院でアクリジンオレンジ治療を行った症例の検討. 第9回アクリジンオレンジ治療研究会, 京都; 2018年2月
- 7) 鈴木智人, 橋本淳一, 山川淳一, 嶋村之秀, 赤羽武, 高木理彰: 高齢者脊椎変性疾患術後合併症と術前腎機能との関連. 第28回東北脊椎外科学研究会, 仙台; 2018年1月
- 8) 高窪祐弥: リウマチ診断におけるピットホール. 第82回山形整形外科学研究会, 山形; 2017年6月
- 9) 高窪祐弥, 梁秀蘭, 長沼靖, 佐々木明子**, 高木理彰: やらんなネットによる循環型病診連携中に、白血球減少症と肝機能酵素異常をきたした2例. やらんなネット懇話会, 山形; 2017年8月
- 10) 高窪祐弥, 大木弘治, 長沼靖, 佐々木明子**, 梁秀蘭, 大類広**, 高木理彰: 当科におけるトファンチニブの適応症例について. 第34回山形リウマチ研究会, 山形; 2017年11月 B
- 11) 長沼靖, 佐竹寛史, 澁谷純一郎, 花香直美**, 石垣大介**, 高木理彰: 正中神経断裂に対して神経再生誘導チューブを用いて治療した1例. 第32回東日本手外科学研究会, 東京; 2018年2月
- 12) 花香直美**, 石垣大介**, 本間龍介**, 加藤義洋**, 佐竹寛史, 高木理彰: 橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート術後長期経過後に判明した屈筋腱皮下断裂. 第32回東日本手外科学研究会, 東京; 2018年2月
- 13) 結城一声, 鈴木朱美, 鶴田大作**, 村成幸**, 高木理彰: 肩甲骨関節窩骨折と上腕二頭筋断裂を合併した1例. 第28回東北肩関節研究会, 仙台; 2017年7月

(5) 座長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 高木理彰: 特別講演. 第27回日本リウマチ学会 北海道・東北支部学術集会, 山形; 2017年11月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 高木理彰, 宍戸孝明: シンポジウム2 人工股関節長期耐用性における課題と展望. 第44回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017年10月
- 2) 高木理彰: ランチョンセミナー21. 第44回日本股関節学会学術集会, 東京; 2017年10月
- 3) 高木理彰: モーニングセミナー3. 第1回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 大阪; 2017年10月
- 4) 高木理彰: ランチョンセミナー10. 第48回日本人工関節学会, 東京; 2018年2月
- 5) 安永裕司**, 高木理彰: シンポジウム8 変形性股関節症の保存療法. 第90回日本整形外科学会学術総会, 仙台; 2017年5月

iii 一般演題

- 1) 高木理彰, 関矢一郎: 一般演題講演39 軟骨: 培養・病態. 第32回日本整形外科学会基礎学術集会, 宜野湾; 2017年10月

(6) その他

- 1) 高窪祐弥: (教育講演) リウマチ性疾患の画像診断. RA 財団教育研修講演, 盛岡; 2017年9月
- 2) 平野れな*, 入江克宗*, 成田淳, 鈴木朱美, 山本尚生**, 高窪祐弥, 佐竹寛史, 高木理彰: (学生セッション) 本学医学生における膝前十字靭帯損傷と性格・心理学的特性. 第114回東北整形災害外科学会, 新潟; 2017年6月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 高木理彰: 日本股関節学会 第3回教育研修セミナー (開催責任者), 東京; 2017年10月
- 2) 高木理彰: 第27回日本リウマチ学会 北海道・東北支部学術集会 (主催), 山形; 2017年11月

病理部

1. 論文

(1) 原著

- 1) Namba H*, Narumi M*, Susa S*, Ohe R, Kato T*, Yamakawa M, Yamashita H*: Corneal vesicles accumulate collagen VI associated with tissue remodeling in apolipoprotein a-I deficiency: a case report. BMC Ophthalmol. 2017; 17(1): 11

2. 学会報告及び座長

(1) 国内地方会

i 一般演題

- 1) 山口諒子*, 北岡匠*, 大江倫太郎, 樺澤崇允, 須藤文, 玉澤暢之, ナイン・イエイ・アウン*, 加藤智也, 山岸敦史*, 山川光徳: 右尿管周囲腫瘍の1例. 第84回日本病理学会東北支部学術集会, 宮城; 2017年2月

(2) 座長

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 山川光徳: 基調講演〈診断〉. Yamagata Lymphoma Seminar 2017, 山形; 2017年1月

ii 一般演題

- 1) 大江倫太郎: 一般演題. 第84回日本病理学会東北支部学術集会, 宮城; 2017年2月

(3) その他

- 1) 大江倫太郎: ALCLの病理診断について. Yamagata Lymphoma Seminar 2017, 山形; 2017年1月

病理部

1. 論文

(1) 原著

- 1) Ohe R, Aung NY*, Shiono Y*, Utsunomiya A, Kabasawa T, Tamazawa N, Tamura Y, Kato T, Yamada A*, Hasegawa S*, Aizawa K*, Inokura K*, Ito S*, Toubai T*, Kato Y*, Tsunoda T**, Onami K*, Suzuki T*, Ishizawa K*, Yamakawa M: Detection of Minimal Bone Marrow involvement of Blastic Plasmacytoid Dendritic Cell Neoplastic Cells - CD303 immunostaining as a diagnostic tool. J Clin Exp Hematop. 2018; 58(1): 1-9

(2) 総説及び解説

- 1) 樺澤崇允, 大江倫太郎, 山川光徳: 9. 病理診断: 術中迅速診断. 産科と婦人科. 2018; 85(2): 185-189

(3) 症例報告

- 1) 柿崎泰明*, 牧野直彦*, 安藤嘉章*, 松田暁子*, 石澤哲也*, 齋藤吉彦*, 須藤文, 山川光徳, 木村理*, 上野義之*: 自己免疫性膵炎に併発した PanIN-3 の 1 例. 日本消化器病学会雑誌. 2017; 114(6): 1023-1030
- 2) 黒川真行*, 内藤整*, 一柳統*, 樺澤崇允, 黒田悠太*, 櫻井俊彦*, 西田隼人*, 川添久*, 加藤智幸*, 長岡明*, 山川光徳, 土谷順彦*: エペロリムス関連間質性肺疾患の自然軽快を認めた転移性腎癌の 1 剖検例. 泌尿器科紀要. 2017; 63(9): 377-380

(4) 著書

- 1) 鈴木利光**, 中村栄男**, 深山正久**, 山川光徳, 吉野正** 監訳: ラファエル・ルービン, デイヴィッド・S・ストレイヤー編. カラー ルービン病理学 臨床医学への基盤 改訂版. 東京; 西村書店, 2017 F
- 2) 大江倫太郎, 山川光徳: 第 20 章血液病理学①. ラファエル・ルービン, デイヴィッド・S・ストレイヤー編, 鈴木利光, 中村栄男, 深山正久, 山川光徳, 吉野正 監訳, カラー ルービン病理学 臨床医学への基盤 改訂版. 東京; 西村書店, 2017: 942-1028 F
- 3) 大江倫太郎, 山川光徳: C 骨髓系腫瘍 8 芽球形質細胞様樹状細胞腫瘍. 通山薫, 張替秀郎編, 血液細胞アトラス 第 6 版. 東京; 文光堂, 2018: 311-315 F

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i 一般演題

- 1) 須藤文, 大江倫太郎, 玉澤暢之, 樺澤崇允, ナイン・イエイ・アウン*, 加藤智也, 山川光徳: 神経芽腫の成分を含んだ成熟嚢胞性奇形腫の一例. 第 106 回日本病理学会総会, 東京; 2017 年 4 月
- 2) 玉澤暢之, 大江倫太郎, 樺澤崇允, 須藤文, ナイン・イエイ・アウン*, 加藤智也, 山川光徳: Anaplastic thyroid carcinoma, rhabdoid variant. 第 106 回日本病理学会総会, 東京; 2017 年 4 月
- 3) 福田瑞貴*, 赤池邦仁*, 石井芳樹*, 内山尚哉*, 佐藤ふみ*, 大江倫太郎, 樺澤崇允, 須藤文, 加藤智也, 山川光徳: (学生発表) AL 型アミロイドーシスと S 状結腸穿孔を合併した多発性骨髄腫の一例 — 結腸穿孔機序の組織学的解析 —. 第 106 回日本病理学会総会, 東京; 2017 年 4 月
- 4) 玉澤暢之, 大江倫太郎, 樺澤崇允, 宇都宮文, ナイン・イエイ・アウン*, 加藤智也, 黒田吉則*, 内田徹郎*, 貞弘光章*, 山川光徳: IgG4 関連大動脈炎に大動脈解離を生じた 1 例. 第 57 回日本リンパ網内系学会総会, 東京; 2017 年 6 月

(2) 国内地方会

i 一般演題

- 1) Naing YA*, Tamazawa N, Utsunomiya A, Kabasawa T, Ohe R, Kato T, Yamakawa M: Comparative study of estrogen receptors and progesterone receptors expression in tonsils between IgA nephropathy and non-IgA nephropathy. 第 57 回日本リンパ網内系学会総会, 東京; 2017 年 6 月
- 2) 鈴木一司*, 大江倫太郎, 樺澤崇允, 宇都宮文, 玉澤暢之, ナイン・イエイ・アウン*, 加藤智也, 矢野充泰*, 木村理*, 山本雅一**, 山川光徳: 潰瘍性大腸炎経過中に直腸穿孔を生じた 1 例. 第 85 回日本病理学

会東北支部学術集会, 山形; 2017年7月

- 3) 樺澤崇允, 玉澤暢之, 宇都宮文, ナイン・イエイ・アウン*, 加藤智也, 大江倫太郎, 内藤整*, 土谷順彦*, 山川光徳: 精巣腫瘍の1例. 第85回日本病理学会東北支部学術集会, 山形; 2017年7月
- 4) 玉澤暢之, 大江倫太郎, 樺澤崇允, 宇都宮文, ナイン・イエイ・アウン*, 加藤智也, 加藤博久*, 大泉弘幸*, 貞弘光章*, 山川光徳: 肺腫瘍の1例. 第86回日本病理学会東北支部学術集会, 宮城; 2018年2月

(3) 研究会

i 一般演題

- 1) 樺澤崇允, 玉澤暢之, 宇都宮文, ナイン・イエイ・アウン*, 大江倫太郎, 加藤智也, 山川光徳: 甲状腺がんのリンパ管侵襲と腫瘍関連マクロファージの関連について. 第27回日本樹状細胞研究会, 東京; 2017年6月

(4) 座長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 鈴木俊紀: 特別講演. 第4回日臨技北日本支部病理部門研修会, 岩手; 2017年6月
- 2) 山川光徳: 特別講演2. 第85回日本病理学会東北支部総会学術集会, 山形; 2017年7月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 山川光徳: 一般演題. オブジーボ ホジキンリンパ腫 ～がん治療の新たな治療戦略～, 山形; 2017年9月
- 2) 山川光徳: エリアセッション. 中外eセミナー on Pathology, 山形; 2017年9月
- 3) 鈴木俊紀: 教育講演. 平成29年度山臨技病理細胞部門研修会, 山形; 2017年12月
- 4) 鈴木俊紀: 技術セミナー. 第6回東北病理技術研修会, 宮城; 2017年12月
- 5) 鈴木俊紀: レクチャー. 平成29年度山臨技学術部研修会, 山形; 2018年2月

iii 一般演題

- 1) 山川光徳, 木下朝博: 優秀演題口演I. 第57回日本リンパ網内系学会総会, 東京; 2017年6月

(5) その他

- 1) 鈴木俊紀: 技術講演. 病理検体取扱いマニュアル(日本病理学会)に基づいた精度管理を目指して. 平成29年度日臨技北日本支部病理部門研修会, 岩手; 2017年6月
- 2) 斉藤友則: スライドカンファランス(婦人科細胞診)回答. 第37回山形県臨床細胞学会総会学術集会, 山形; 2017年6月
- 3) 樺澤崇允: ホジキンリンパ腫の病理診断について. オブジーボ ホジキンリンパ腫 ～がん治療の新たな治療戦略～, 山形; 2017年9月
- 4) 鈴木俊紀: 「認定病理検査技師・細胞検査士」ガイダンス. 平成29年度日臨技北日本支部臨床検査総合部門研修会, 山形; 2017年9月
- 5) 鈴木俊紀: 病理検体取扱いマニュアル(日本病理学会)に基づいた患者安全管理を目指して. 平成29年度青臨技病理検査部門研修会, 青森; 2017年11月
- 6) 鈴木俊紀: 山形大学医学部附属病院病理部における医療安全に対する取り組み. 日本病理学会東北支部山形県部会総会, 山形; 2017年12月
- 7) 大江倫太郎: 県内におけるコンパニオン診断の現状. 日本病理学会東北支部山形県部会総会, 山形; 2017年12月
- 8) 玉澤暢之, 大江倫太郎, 樺澤崇允, 宇都宮文, ナイン・イエイ・アウン, 加藤智也, 山川光徳: Pulmonary blastomaの1例. 日本病理学会東北支部山形県部会総会, 山形; 2017年12月
- 9) 斉藤友則: 胸水、気管支擦過細胞診で中皮腫との鑑別に苦慮した肺腺癌の一例. 日本病理学会東北支部山形県部会総会, 山形; 2017年12月
- 10) 鈴木俊紀: 技師も知っておきたい感染症病理. 平成29年度第3回岩臨技病理・細胞診部門研修会, 岩手; 2018年1月

3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催

- 1) 第85回日本病理学会東北支部総会学術集会, 山形; 2017年7月
- 2) 日本病理学会東北支部山形県部会総会, 山形; 2017年12月

4. 学会等での受賞

- 1) 福田瑞貴：第106回日本病理学会総会学部学生示説 最優秀賞. 2017年4月
- 2) 樺澤崇允：第27回日本樹状細胞研究会 奨励賞. 2017年6月

ME センター（臨床工学部）

1. 論 文

(1) 総説及び解説

- 1) 吉岡淳：山形県における HMV の現状と課題—CE と HMV と HTM—。呼吸器ケア。2017；15(1)：64-65
- 2) 吉岡淳：山形県における HMV の現状と課題—山形から全国へ—。呼吸器ケア。2017；15(2)：58-59

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 吉岡淳：山形県における医工連携の取り組みについて。メディカルジャパン大阪，大阪；2017年2月

ii 一般演題

- 1) 石山智之，吉岡淳，須賀恭子*，佐藤萌*，小野寺悠*，秋元亮*，鈴木博人*，中根正樹*，川前金幸*：マスクのずれで生じる吸入酸素濃度の変化。第44回日本集中治療医学会学術集会，札幌；2017年3月

(2) 座 長

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 吉岡淳：人工呼吸器ツールを用いた呼吸管理とその応用。第44回日本集中治療医学会，札幌；2017年3月

ME センター（臨床工学部）

1. 論文

(1) 原著

- 1) 吉岡淳, 石山智之, 三春摩弥, 斎藤大樹, 田中隆昭, 宇井勇氣, 藤田政樹*, 古川淳**, 土谷順彦: 間欠的空気圧迫装置専用テスターの開発と運用効果. 医機学. 2017; 87(3): 441-450 C

(2) 総説及び解説

- 1) 三春摩弥: あなたの弱点救います! 呼吸療法問題集. 呼吸器ケア. 2017; 15(9): 44-48
- 2) 吉岡淳: NPPV のインターフェイス (マスク) によって治療効果に違いは出るのか. 呼吸器ケア. 2017; 冬季増刊: 181-187

2. 学会報告及び座長

(1) 国際学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) Jun Yoshioka: Introduction of devices currently on the market that have been previously developed by clinical engineers in Japan and the US. AAMI Expo & Conference 2017, Austin, TX; June 2017

(2) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 吉岡淳: 山形県における医工連携の取り組みと実際のニーズ収集から製品化までの事例紹介. 第 27 回日本臨床工学会, 青森; 2017 年 5 月
- 2) 吉岡淳: 10 年後の国際的な臨床工学技士教育像を見据える～外国人たちと接するうえで必要な語学力や心構え～. 第 27 回日本臨床工学会, 青森; 2017 年 5 月
- 3) 三春摩弥, 杉山陽子, 吉岡淳, 市川一誠, 今田恒夫*, 土谷順彦: 薬物中毒での血液浄化における CE の役割. 第 62 回日本透析医学会学術集会, 神奈川; 2017 年 6 月
- 4) 吉岡淳: 輸液・シリンジポンプを知ろう～エラーやトラブル対応に強くなる～. 第 39 回日本手術医学会, 東京; 2017 年 9 月

ii 一般演題

- 1) 吉岡淳, 石山智之, 三春摩弥, 斎藤大樹, 藤田政樹*: ウォーターレス輸液ポンプテスターの開発. 第 27 回日本臨床工学会, 青森; 2017 年 5 月 C
- 2) 吉岡淳, 石山智之, 斎藤大樹, 保科政美**, 松田智美**, 中根正樹*, 川前金幸*: 監視通信機器およびリストバンド型ウェアラブル端末を用いた人工呼吸器遠隔監視システムの開発. 第 39 回日本呼吸療法医学会学術総会, 東京; 2017 年 7 月 C
- 3) 石山智之, 吉岡淳, 斎藤大樹, 小野寺悠*, 秋元亮*, 中根正樹*, 川前金幸*: ヘルメット型インターフェイスを用いた持続気道陽圧経鼻高流量療法を併用した呼吸管理法の検討. 第 39 回日本呼吸療法医学会学術総会, 東京; 2017 年 7 月
- 4) 斎藤大樹, 吉岡淳, 石山智之, 秋元亮*, 小野寺悠*, 中根正樹*, 川前金幸*: 駆動方式が異なる在宅人工呼吸器の比較検討. 第 39 回日本呼吸療法医学会学術集会, 東京; 2017 年 7 月
- 5) 亀井祐哉, 有本貴範, 中村圭佑, 安孫子明博, 岩山忠輝*, 香澤大輔*, 熊谷遊*, 渡邊哲, 久保田功*: クライオアブレーションにおける横隔膜複合筋活動電位 (CMAP) の最適部位の検討. 第 64 回日本不整脈心電学会, 横浜; 2017 年 9 月
- 6) 吉岡淳, 岡崎正信**, 石川陽市**, 五十嵐洋行**, 黒田康彦**, 石塚后彦**, 矢萩匠**, 長岡健**, 江口幸也**, 安孫子幸一**, 佐藤巧弥**, 佐藤慎哉*: 医療現場ニーズ聞き取り調査の実施と活用～ニーズ発の医療機器開発を目指して～. 第 4 回北海道・東北臨床工学会, 仙台市; 2017 年 10 月 B
- 7) 三春摩弥, 吉岡淳, 石山智之, 斎藤大樹, 田中隆昭, 平井一郎*, 土谷順彦: 電子カルテ導入による高気圧酸素治療患者誤認防止と業務効率向上の有用性について. 第 52 回日本高気圧環境・潜水医学会学術総会, 沖

縄; 2017年11月

- 8) 吉岡淳, 石山智之, 斎藤大樹, 保科政美*, 松田智美*, 中根正樹*, 川前金幸*: スマートデバイスを用いた人工呼吸器遠隔監視システムの検証試験. 第45回日本集中治療医学会学術集会, 千葉; 2018年2月 C
- 9) 石山智之, 吉岡淳, 斎藤大樹, 田中隆昭, 小野寺悠*, 秋元亮*, 中根正樹*, 川前金幸*: ヘルメット型インターフェイスを用いた持続気道陽圧に経鼻高流量療法を併用した再呼吸の比較検討. 第45回日本集中治療医学会学術集会, 千葉; 2018年2月
- 10) 斎藤大樹, 吉岡淳, 石山智之, 藤田政樹*, 中根正樹*, 川前金幸*: ウォータートラップホルダー付き人工呼吸回路支持アームの開発. 第45回日本集中治療医学会学術集会, 千葉; 2018年2月 C

(3) 国内地方会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 吉岡淳: 伝わるプレゼンテーション～英語での研究発表のコツ教えます～. 東京都臨床工学会, 東京; 2017年6月
- 2) 吉岡淳: カフ圧コントローラーを用いたVAP予防～コメディカルのために～. 第1回東北集中治療医学会, 弘前市; 2017年7月
- 3) 中村圭佑, 安孫子明博: 当院における体外循環教育の現状と新たな試み. 第4回北海道・東北臨床工学会, 仙台市; 2017年10月
- 4) 吉岡淳: 臨床工学技士だから出来る医工連携と安全対策. 第4回北海道・東北臨床工学会, 仙台市; 2017年10月

ii 一般演題

- 1) 宇井勇氣, 安孫子明博, 中村圭佑, 石山智之, 亀井祐哉, 丸藤健, 斎藤大樹, 田中隆昭, 宇野沢徹: 重症型横隔膜ヘルニアに対してV-A ECMOが有用であった1症例. 第36回日本体外循環技術医学会東北地方会大会, 仙台市; 2017年7月
- 2) 丸藤健, 安孫子明博, 中村圭佑, 石山智之, 亀井祐哉, 斎藤大樹, 田中隆昭, 宇井勇氣, 宇野沢徹, 川島龍彦, 佐藤将志: 人工心肺自動記録システムによるペーパーレス化の達成. 第36回日本体外循環技術医学会東北地方会, 仙台市; 2017年7月
- 3) 小沼和樹, 安孫子明博, 中村圭佑, 石山智之, 亀井祐哉, 丸藤健, 三春摩弥, 斎藤大樹, 田中隆昭, 宇井勇氣, 宇野沢徹, 川島龍彦, 佐藤将志, 東剛広, 杉山陽子, 吉岡淳: 当院でのデバイス業務における遠隔モニタリングシステムの現状と展望. 山形県臨床工学会, 山形; 2017年9月
- 4) 佐藤将志, 安孫子明博, 中村圭佑, 石山智之, 亀井祐哉, 丸藤健, 三春摩弥, 斎藤大樹, 田中隆昭, 宇井勇氣, 宇野沢徹, 川島龍彦, 杉山陽子, 吉岡淳: 手術支援ロボットにおけるトラブル事例～トラブル対応と今後の展望～. 第4回北海道・東北臨床工学会, 仙台市; 2017年10月

(4) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 吉岡淳: 臨床工学技士ニーズから医工連携事業成功のポイント. 医工連携フォーラム・マッチング会, 飯塚市; 2017年10月
- 2) 吉岡淳: 山形初! 医療機器開発を目指して. 茨城県機器管理セミナー, 取手市; 2017年12月

ii 一般演題

- 1) 亀井祐哉, 安孫子明博, 中村圭佑, 丸藤健: デバイス機器管理業務の現状. 第3回Yamagata Cathelabo Conference, 山形; 2017年7月
- 2) 亀井祐哉, 安孫子明博, 中村圭佑, 丸藤健: デバイス機器管理業務の現状と手術時対応. 山形心臓外科懇話会, 山形; 2017年7月
- 3) 杉山陽子, 吉岡淳, 田中隆昭, 斎藤大樹, 石山智之, 市川一誠, 土谷順彦: 川崎病に対する緩徐血漿交換(SPE)+CHDFの施行経験. 第28回東北アフェレシス研究会, 仙台市; 2018年3月

(5) 座 長

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 吉岡淳: 呼吸不全の身体所見一視打聴を使いこなそう. 第10回やまがた呼吸療法セミナー, 山形市; 2017年10月

ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 安孫子明博：体外循環中の最適な抗凝固管理を再考する．第27回日本臨床工学会，青森県；2017年5月
- 2) 安孫子明博：心臓周術期における最適な抗凝固管理について．第43回日本体外循環技術医学会大会，北海道；2017年10月
- 3) 中村圭佑：TAVIのはじまりと展望～ハートチームを支えるコメディカルの連携～．TREND InterConference 2018，仙台市；2018年3月

iii 一般演題

- 1) 吉岡淳：ME 機器管理．第27回日本臨床工学会，青森県；2017年5月
- 2) 丸藤健：デジタルポスター手術関連4．第27回日本臨床工学会，青森；2017年5月
- 3) 亀井祐哉：コメディカルセッション．山形心臓外科懇話会，山形；2017年7月
- 4) 安孫子明博：一般演題 4 [手術室/内視鏡/先進医療]．第4回北海道・東北臨床工学会，仙台市；2017年10月

3. 学会等での受賞

- 1) 吉岡淳：日本呼吸療法医学会「人工呼吸」会誌 優秀論文賞．2017年7月
- 2) 吉岡淳：第27回日本臨床工学会 優秀発表賞．2017年5月
- 3) 吉岡淳：第39回日本呼吸療法医学会 優秀発表賞．2017年7月

薬剤部

1. 論文

(1) 原著

- 1) Kose E**, Toyoshima M**, Okazoe S**, Oka R, Shiratsuchi Y**, Hayashi H** : The relationship between polypharmacy and recovery of activities of daily living among convalescent stroke patients. A propensity score-matched analysis European geriatric medicine. 2017 ; 8(3) : 250-255 B
- 2) 金野昇, 新関昌宏, 豊口禎子, 白石正 : 抗がん薬調製ロボット導入による効率的運用と費用削減効果. 日病薬誌. 2017 ; 53(1) : 45-48
- 3) 畠山史朗, 豊口禎子, 佐藤一真, 白石正 : メトトレキサートの血中濃度測定装置の比較検討. 日病薬誌. 2017 ; 53(1) : 37-40
- 4) 小林聖子**, 鈴木聖子**, 豊口禎子, 白石正, 奥山直行**, 小林厚子** : 精神科領域のバルプロ酸ナトリウム服用患者における高アンモニア血症のリスク因子の検討. 日病薬誌. 2017 ; 53(3) : 290-294 B

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 白石正 : オゾンの殺菌効果と基礎知識. 第32回日本環境感染学会総会 スイーツセミナー, 神戸 ; 2017年2月
- 2) 志田敏宏 : 経口抗がん剤治療における薬剤師の実務でのコミュニケーション. 日本臨床腫瘍薬学会学術大会2017 Basicセミナー, 新潟 ; 2017年3月
- 3) 金子基子 : 前立腺がん治療におけるタキサン製剤の位置付けと有害事象対策～高齢者における薬物療法の実際～. 日本臨床腫瘍薬学会学術大会2017 ランチョンセミナー, 新潟 ; 2017年3月

ii 一般演題

- 1) 丘龍祥, 柏倉美幸*, 松田友美*, 増田修三**, 高須直樹*, 白石正, 木村理* : 粘度可変型栄養剤の特性に関する比較検討～注入時間及び人工胃液を用いた固形化率について～. 第32回日本静脈経腸栄養学会年会, 岡山 ; 2017年2月 B
- 2) 浅井泰詞**, 小柴美紀恵**, 東敬一朗**, 樋島学**, 中村直人**, 丘龍祥, 横田学**, 宮崎徹**, 古田麻衣子**, 佐藤知香**, 大川浩子**, 増田修三** : 薬剤師を対象とした在宅栄養療法の基礎と実践方法(ワークショップ)を開催して見えた現状と課題. 第32回日本静脈経腸栄養学会年会, 岡山 ; 2017年2月 B
- 3) 丘龍祥, 柏倉美幸*, 高須直樹*, 松田友美*, 増田修三**, 林勝次**, 樋島学**, 浅井泰詞**, 中村直人**, 林宏行**, 杉浦伸一**, 松原肇**, 東海林徹**, 白石正, 木村理* : 在宅医療の視点から病院型栄養管理システムへのFIM(Functional Independence Measure)導入の試み. 第32回日本静脈経腸栄養学会年会, 岡山 ; 2017年2月 B
- 4) 志田敏宏, 遠藤裕司, 白石正, 吉岡孝志*, 鈴木薫**, 小林由佳**, 小野裕紀**, 井上忠夫** : 進行再発大腸癌に対するファーストライン治療(FOLFOX6 Base)の臨床判断分析を用いた統合研究. 日本薬学会137年会, 仙台 ; 2017年3月 B

(2) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 白石正 : ウイルス感染症と感染対策. 岐阜病院薬剤師会セミナー, 岐阜 ; 2017年1月

ii 一般演題

- 1) 金野昇 : リウマチ疾患における薬剤師の関わり. 第2回薬剤師・看護師のためのリウマチセミナー in 岩手, 岩手 ; 2017年1月

(3) 座 長

i 一般演題

- 1) 豊口禎子：一般口頭発表. 日本薬学会第137年会, 仙台; 2017年3月

薬剤部

1. 論文

(1) 原著

- 1) Shida T, Endo Y, Kato T*, Tsuchiya N*, Shiraishi T, Ito T**, Inoue T** : Clinical decision analysis of first-line regimens for advanced recurrent renal cell carcinoma. Jpn J Pharm Health Care Sci. 2017 ; 43 : 245-251 B
- 2) Shida T, Kato T*, Tsuchiya N*, Shiraishi T, Inoue T** : Cost-effectiveness analysis of sunitinib and sorafenib sequential treatment of metastatic renal cell carcinoma. Jpn J Pharm Health Care Sci. 2017 ; 43 : 610-618 B
- 3) Shida T, Endo Y, Shiraishi T, Yoshioka T*, Suzuki K**, Kobayashi Y**, Ono Y**, Ito T**, Inoue T** : Economic evaluation of mFOLFOX6-based first-line regimens for unresectable advanced or recurrent colorectal cancer using clinical decision analysis. 薬学雑誌. 2018 ; 138 : 83-90 B
- 4) 志田敏宏, 山川真由美*, 鈴木幸子*, 白石正 : フェンタニル速効性製剤で口腔内の痺れ、疼痛および味覚障害が発現した1例. Palliative Care Research. 2017 ; 12(2) : 526-529
- 5) 畠山史朗, 豊口禎子, 白石正 : カルボプラチン併用化学療法レジメンがワルファリンの抗凝固作用におよぼす影響. 医薬品相互作用研究. 2017 ; 41(3) : 18-24
- 6) 石山智絵, 今村優哉, 志田敏宏, 豊口禎子, 白石正 : 簡易懸濁法における腸溶性顆粒のデュロキセチン塩酸塩カプセル単剤及び塩基性薬剤同時懸濁時の安定性の評価. 日病薬誌. 2017 ; 53(12) : 1485-1490

(2) 著書

- 1) 白石正 : 消毒薬の基礎知識. 日本病院薬剤師会監修, 薬剤師のための感染制御マニュアル第4版. 東京 ; 薬事日報社, 2017 : 137-139 F
- 2) 白石正 : 消毒薬の適正使用—生体に対する消毒—. 日本病院薬剤師会監修, 薬剤師のための感染制御マニュアル第4版. 東京 ; 薬事日報社, 2017 : 383-387 F
- 3) 豊口禎子 : 抗菌薬の基礎知識VI. 日本病院薬剤師会監修, 薬剤師のための感染制御マニュアル第4版. 東京 ; 薬事日報社, 2017 : 107-115 F
- 4) 豊口禎子 : 感染管理. 渡辺善照, 芳賀信, 外山聡編, 標準薬理学改訂第4版. 東京 ; 南江堂, 2017 : 674-684 F

2. 学会報告及び座長

(1) 国内の学会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 志田敏宏 : がん・緩和医療に関わる支持療法の最新エビデンスとそれを創る薬剤師主導臨床研究. 分子標的薬の口内炎に対するアズレンスルホン酸ナトリウム含嗽による予防的介入. 第11回日本緩和医療薬学会年会, 札幌 ; 2017年6月
- 2) 志田敏宏 : 実践から考える!薬剤師・看護師のためのチーム医療講座～腎細胞がんを題材として～「チーム医療における分子標的薬治療副作用対策」. 第55回日本癌治療学会学術集会, 横浜 ; 2017年10月

ii 一般演題

- 1) 志田敏宏, 加藤智幸*, 土谷順彦*, 白石正, 井上忠夫** : 転移性腎細胞がんのスニチニブおよびソラフェニブ逐次治療における経済評価. 第55回日本癌治療学会学術集会, 横浜 ; 2017年10月 B
- 2) 鈴木薫**, 志田敏宏, 小野裕紀**, 小林由佳**, 白石正, 吉岡孝志*, 井上忠夫** : 進行再発大腸癌に対する一次治療(FOLFIRIbase)の臨床判断分析を用いた統合研究. 第55回日本癌治療学会学術集会, 横浜 ; 2017年10月 B
- 3) 佐藤一真, 豊口禎子, 鏡優貴, 杉浦明日実*, 屋代祥典*, 白石正 : 一般用医薬品大量服薬患者におけるカフェイン血中濃度の検討. 第27回日本医療薬学会年会, 千葉 ; 2017年11月

(2) 国内地方会

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 豊口禎子：次世代の薬物投与設計支援へのアプローチ. 薬物中毒時の処方支援. 日本病院薬剤師会東北ブロック第7回学術大会, 弘前; 2017年6月
- 2) 志田敏宏：医療用麻薬自己管理から疼痛自己管理へ. 日本病院薬剤師会東北ブロック第7回学術大会・第72回医薬品相互作用研究会シンポジウム, 弘前; 2017年6月
- 3) 志田敏宏：費用対効果を考慮した薬学的介入. 日本病院薬剤師会東北ブロック第7回学術大会・第72回医薬品相互作用研究会シンポジウム, 弘前; 2017年6月
- 4) 畠山史朗, 稲村真理子, 豊口禎子, 白石正：産科病棟及びNICUにおける薬物療法支援. 日本病院薬剤師会東北ブロック第7回学術大会・第72回医薬品相互作用研究会シンポジウム, 弘前; 2017年6月
- 5) 富永綾, 豊口禎子, 白石正：国立大学病院の災害対応体制. 日本病院薬剤師会東北ブロック第7回学術大会, 弘前; 2017年6月

ii 一般演題

- 1) 稲毛あずさ, 畠山史朗, 豊口禎子, 簡野美弥子*, 三井哲夫*, 白石正：小児CML及びALL患者におけるTKIによる成長障害の検討. 日本病院薬剤師会東北ブロック第7回学術大会・第72回医薬品相互作用研究会シンポジウム, 弘前; 2017年6月
- 2) 矢口武憲, 海老原光孝, 豊口禎子, 白石正, 渡辺皓*：薬剤師のための解剖実習研修会の有用性と問題点の解析. 日本病院薬剤師会東北ブロック第7回学術大会・第72回医薬品相互作用研究会シンポジウム, 弘前; 2017年6月

(3) 研究会

i 特別講演・招待講演・会長講演

- 1) 白石正：感染対策の過去と現在の相違. 第16回山形県インフェクションコントロール研究会, 山形; 2017年9月
- 2) 白石正：ウイルス感染症の予防対策. 足利赤十字病院職員研究会, 栃木; 2017年9月
- 3) 白石正：麻疹事例とその対策. 第23回東北院内感染対策研究会, 仙台; 2017年11月
- 4) 白石正：麻疹感染症とその対策. 第6回福島県感染・疫学研究会. 郡山; 2017年11月
- 5) 白石正：論文作成のポイント. 第8回山形臨床薬学研究会, 山形; 2018年1月
- 6) 白石正：さまざまな感染対策の実例. 東北感染制御ネットワーク感染制御専門薬剤師セミナー, 仙台; 2018年2月

ii 一般演題

- 1) 佐藤一真, 豊口禎子, 白石正：造血器腫瘍患者における感染症治療. 平成29年度第1回山形県がん化学療法セミナー, 山形; 2017年4月
- 2) 青木一真, 豊口禎子, 白石正：EGFR-TKIにおける皮膚障害の調査. 平成29年度第1回山形県がん化学療法セミナー, 山形; 2017年4月
- 3) 青木一真, 豊口禎子, 白石正：EGFR-TKIにおける皮膚障害の調査. 第57回山形臨床薬学研究会, 山形; 2017年7月
- 4) 澤田広樹, 豊口禎子, 白石正：造血器腫瘍患者における抗MRSA薬アルベカシンの有効性と安全性評価. 第31回造血器疾患研究会, 山形; 2017年7月
- 5) 丘龍祥, 松田友美*, 柏倉美幸*, 渡邊利広*, 木村理*：FIM(Functional Independence Measure)システム構築の試み. 第15回山形NST研究会, 山形; 2017年9月
- 6) 富永綾, 豊口禎子, 細谷順, 白石正, 堀龍一朗*, 東海林桂兼*, 阿部修一**：注射用抗菌薬使用量と耐性の検討. 第12回山形県抗菌薬療法研究会, 山形; 2017年11月B
- 7) 丘龍祥, 相馬祐也*, 三枝真*, 徳田花凛*, 松田友美*, 柏倉美幸*, 白石正, 渡邊利広*, 木村理*：粘度可変型栄養剤の固形化に関する検討. 第32回東北静脈経腸栄養研究会, 弘前; 2017年12月
- 8) 久坂亮介, 志田敏宏, 畠山史朗, 豊口禎子, 白石正：腎移植患者におけるミコフェノール酸モフェチルとバルガンシクロビル併用時の影響. 第58回山形臨床薬学研究会, 山形; 2018年1月

(4) 座 長

i シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等

- 1) 豊口禎子：妊婦・授乳婦を地域・多職種・薬業連携を通してサポートする。日本病院薬剤師会東北ブロック第7回学術大会，弘前；2017年6月
- 2) 豊口禎子：基調講演。周産期における葉酸摂取の重要性に関するシンポジウム，仙台；2018年1月

ii 一般演題

- 1) 豊口禎子：有害事象・副作用 1. 第27回日本医療薬学会年会，千葉；2017年11月

(5) そ の 他

- 1) 白石正：消毒と感染対策の歴史を振り返る。広島県病院薬剤師会呉支部研修会，呉；2017年4月
- 2) 白石正：ウイルス感染症と感染対策。岩手県病院薬剤師会定例学習会，盛岡；2017年5月
- 3) 白石正：感染症対策の基本と子供の感染症対策。山形県社会福祉協議会保育所職員研修，山形；2017年5月
- 4) 白石正：ウイルス感染と予防対策。長崎県病院薬剤師会感染制御研修会，長崎；2017年8月
- 5) 白石正：日病薬の近況。日本病院薬剤師会置賜ブロック研修会，山形；2017年10月
- 6) 白石正：消毒薬を適正に使用するための知識。平成29年度日本病院薬剤師会感染制御専門薬剤師講習会，仙台；2017年10月
- 7) 白石正：事例から考える感染対策。平成29年度山形県感染対策講習会，山形；2017年11月
- 8) 白石正：衛生管理と消毒薬の適正使用。第6回抗菌化学療法・感染制御専門領域薬剤師養成研修会，東京；2018年1月
- 9) 白石正：病院内の衛生管理と消毒薬の留意点。東北中央病院職員研修会，山形；2018年1月
- 10) 白石正：消毒薬を適正に使用するための知識。平成29年度日本病院薬剤師会感染制御専門薬剤師講習会，東京；2018年3月
- 11) 豊口禎子：医薬品教育について。平成29年度養護教諭研修会，天童；2017年10月
- 12) 豊口禎子：ガイドラインにはない抗菌薬TDM。平成29年度第1回山形県病院薬剤師会感染対策講習会，山形；2017年11月
- 13) 金野昇：抗がん薬曝露対策の現状。山形県抗がん薬曝露対策セミナー，山形；2018年2月
- 14) 畠山史朗：当院産婦人科病棟における薬剤師の妊婦・授乳婦への関わり。第5回山形県病院薬剤師会妊婦・授乳婦薬物療法研修会，山形；2018年1月
- 15) 稲村真理子：妊娠と薬外来について。第5回山形県病院薬剤師会妊婦・授乳婦薬物療法研修会，山形；2018年1月
- 16) 稲毛あずさ：小児白血病治療におけるTKIの成長への影響。第37回山形県病院薬剤師会実務研修会，山形；2017年11月
- 17) 鏡優貴，佐藤一真，豊口禎子，杉浦明日美*，屋代祥典*，白石正：眠気防止剤及び総合感冒薬によるカフェイン中毒。第64回山形県薬学大会，山形；2018年3月

編 集 後 記

編集委員長（麻醉科学講座教授）

川 前 金 幸

2017年から2018年にかけて、業績集編集に関し2つの改革が行われた。

一つは、従来、年末締めで1月から同年12月で締めて集約していたが、2017年4月から年度締めの2018年3月までの1年間の業績を集約した。2017年1月から3月分は分けて業績とした。この理由は、各講座や診療科の業績が文部科学省を始めとした各種省庁や機関、団体からの評価や問い合わせが年度単位に扱われており、それに合わせた形を取っている。それによってスムーズな対応ができるようになる。

もう一つは、各業績が国内外の関係機関との共同の研究であることや、特許の出願状況、受賞歴、なども記載することとなり、評価の対象とされることである。今後、職員の方々の尽力で、知的財産である特許申請、各学会で受賞された学会賞等が掲載されることは喜ばしいことである。

さて、業績を集約して総括することは大変な作業である。各講座の技官の方、秘書の方、あるいは職員が直接に担当されてまとめられているものと推察する。しかしながら、原著、総説、著書等の区分に関して、少し疑問を感じるものも散見され、最終確認を各講座の担当責任者の方々に確認をお願いしたいと考えている。

一方、2018年4月より臨床研究法なる法律が施行され、倫理的問題、利益相反的問題、オーサーシップ、研究デザイン構成にまつわる問題、その他の課題が指摘され、かなり整理されてきた。従来の考え方では、不具合が生じたり、各種機関から指摘を受けたり、雑誌によってはエディターから注意を促されることなど、増えている。学会発表や論文掲載に当たってもその適切性に関して十分な議論がなされている。今後、そのような試練を経て、形ある未来への財産として業績が積まれていくものと期待される。各講座の皆さんの尽力に敬意と感謝の意を示したい。

山形大学医学部研究業績集編集委員会

委員長 川前 金幸※

副委員長 中村 孝夫

副委員長 片岡 ひとみ

委員 木村 理

委員 山崎 健太郎

※ 編集責任者

平成30年9月発行

編集兼
発行者 山形大学医学部
山形市飯田西2丁目2-2

印刷所 コロニー印刷
山形市桜田南1-19